

2004(平成16)年度

講義内容

文学部

人駒澤大學

講 義 內 容

目 次

I	全 学 共 通 科 目	
1	宗 教 教 育 科 目	9
2	教 養 教 育 科 目	23
	(1) 人 文 分 野	23
	(2) 社 会 分 野	50
	(3) 自 然 分 野	63
	(4) 綜 合 分 野	93
3	外 国 語 科 目	115
4	保 健 体 育 科 目	267
II	專 門 教 育 科 目	
1	国 文 学 科	311
2	英 米 文 学 科	367
3	地 理 学 科	419
4	歷 史 学 科	477
5	社会学科(社会学専攻)	545
6	社会学科(社会福祉学専攻)	585
7	心 理 学 科	641
III	他 学 部 履 修 科 目	687
IV	「日本語」・「日本事情」科目	753
V	随 意 科 目	767

全 学 共 通 科 目	宗教教育
	人文分野
	社会分野
	自然分野
	総合分野
	外国語
	保健体育
	国
	文 英 米 文 地
	理 歴
史 社 (社会学)	
社 会 社 (社会福祉学)	
心	
理	
履修科目	
「日本語」	
「日本事情」	
随意科目	

(注意)

講義内容に掲載している配当学科（学年）の欄は、それぞれの学科名で表記していますが、地理学科・歴史学科・社会学科については次のとおりになっています。誤りのないように履修してください。

学科	専攻	全学共通科目	専門教育科目
地理学科	地域文化研究専攻	地理	地文
	地域環境研究専攻	地理	環境
歴史学科	日本史学専攻(16年度入学生)	歴史	日本史
	外国史学専攻(16年度入学生)	歴史	外国史
	考古学専攻(16年度入学生)	歴史	考古学
	15年度以前入学生	歴史	歴史
社会学科	社会学専攻	社会	社会
	社会福祉学専攻	福祉	福祉

I 全 学 共 通 科 目

1. 宗教教育科目

1. 宗教教育科目

仏教と人間 (国)	〈小 川 順 敬〉	9
仏教と人間 (英)	〈洗 建〉	9
仏教と人間 (地 理)	〈池 上 良 正〉	10
仏教と人間 (歴 史)	〈山 端 昭 道〉	10
仏教と人間 (歴 史)	〈佐々木 章 格〉	11
仏教と人間 (心)	〈佐 藤 憲 昭〉	11
仏教と人間 (社・福)	〈竹 内 弘 道〉	12
仏教と人間 [再クラス]	〈池 田 魯 参〉	12
仏教と人間 [再クラス]	〈晴 山 俊 英〉	13
仏教と人間 [再クラス]	〈福 田 孝 雄〉	13
仏教と人間 [再クラス]	〈吉 津 宜 英〉	14
文 化 と 宗 教	〈長谷部 八 朗〉	14
社 会 と 宗 教	〈池 上 良 正〉	15
自 然 と 宗 教	〈小 川 順 敬〉	15
坐 禅	〈佐藤 秀孝・熊本 英人〉	16

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	お ^{がわ} 小 ^{とし} 川 ^{ゆき} 順 敬	国文1必	4

講義のねらい

日本人は仏教や寺院と深い関わりをもって生活しています。お彼岸やお盆といった年中行事、葬儀や年忌などの人生儀礼、また時には寺院で「祈願」を行なうなど、仏教は生活の中の宗教として定着してきたといっても良いでしょう。しかし、そこで行なわれている法要や行事の意味について私たちは十分に理解しているでしょうか。多くの場合、これらの法要や行事は仏教本来の教えとは異なっています。教義で説く仏教と、私たちが普通に考えている仏教には大きな違いがあるのです。すなわち日本仏教は本来の仏教から大きく変容していると考えられているのです。

この講義では、私たちをとりまく仏教の現状から初めて、その変容の意味を考えたいと思います。しかし変容を考えるためには、本来の仏教の教えについて学ばなくてはなりません。仏教がどの様にして生まれ、発展してきたのか、この点について理解を深めたいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は日本の仏教の現状と、仏教と民俗慣行との関わりについて、歴史をふまえながら紹介していきます。後期は仏教思想について紹介していきたいと考えています。

成績評価の方法

評価はレポートと年度末の筆記試験により行います。夏期休暇前にレポート課題を出します。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教 科 書

水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院）2,100円

参 考 書 等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	あ ^{らい} 洗 ^{けん} 建	英米文1必	4

講義のねらい

多くの日本人は、自分は無宗教であり、宗教とは無関係であると思っている。しかし、それは事実であろうか。あなたは合格祈願のお守りを貰わなかっただろうか。初詣やお墓参りの経験はないだろうか。それは宗教ではないのだろうか。日本は仏教国であるといわれ、かつての日本人は自分を仏教徒であると自覚していた。現在、日本人と仏教とのかかわりの実態はどのようなものであるのか、なぜ無宗教と思うようになったのか、日本人の仏教とのかかわり方がどのような意味を持つのか、まずそのあたりを理解することから始めよう。

その上で、世界の諸宗教と仏教の特質、開祖釈尊が示した人間の生き方、日本における仏教の展開、現代の我々にとっての仏教などの問題を正しく理解することを目指したい。

講義の内容・
授業スケジュール

前半は諸宗教と仏教を関連づけながら、広く宗教が人間生活にとって持つ意味と役割を探り、後半は特に仏教の正しい理解を目指す。

履修上の留意点

事実を覚えることよりも、問題や考え方を理解することを心がけて受講して欲しい。

成績評価の方法

原則的には試験で評価するが、ときどき出席をとり、また場合によってはレポートを提出して貰い、評価の参考にする。

教 科 書

水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院）2,100円

参 考 書 等

必要に応じて紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	いけがみ よし まさ 池 上 良 正	地理1必	4

講義のねらい

「仏教」には高度な思想から、生活に根づいた習俗まで多様な幅があるが、本講義では、仏教に関する基礎的知識の解説に主眼をおきつつも、とくに地理学科の学生諸君が興味をもてそうなトピックを中心に講義を進めたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、とくに風土論的な視点に注目しながら、世界宗教としての仏教の成立過程を考察する。後期は、「死者供養」「山と日本仏教」などのテーマを中心に、日本における仏教の土着化の問題を考える。

成績評価の方法

出席状況と学年末試験などを総合的に評価する。

教 科 書

水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院）

参 考 書 等

池上良正『死者の救済史』（角川書店）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 と 人 間	やま はた しろう どう 山 端 昭 道	歴史1必	4

講義のねらい

我が国には、さまざまな宗教とその諸相がある。中でも仏教は、遠来の宗教ではあるが、永い歴史を通して、日本の文化的宗教的土壌に根を下ろし、人びとの考え方や行動、また社会生活等に大きな影響を与えてきた。

そして近年、「定年出家」という言葉が使われている。人生の半ばで、あるいは脱サラをしてまで、あらためて仏教を学び、厳しい仏道修行の生活に身を投じようとする人びとのことである。そこに、現代人の「こころ」の揺れを見せしめ、かつ人生経験豊富な人びとに対しても新たに「生きる力」を与え得る仏教の「力」を認めることができよう。君たちは若い。しかし、長い人生を歩む上に、宗教への正しい理解と共に、仏教が君たちにとって、どのように機能し、「生きる力」となり得るか、ともに考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

まず、身近な具体的な事例を通して、宗教が果たしている役割を知り、また仏教の基本的な考え方・基礎的な教理を理解する。そして、釈尊（仏教の開祖・釈迦）をはじめ宗教的に生きた先人達の言行や教えを学び、また苦悩しつつも確かに歩み続ける人びとの詩文・告白等に触れ、現代人が仏教をいかに受け止めるべきかの指針・導き、としたい。

履修上の留意点

自分自身にとって、現代社会にとって宗教・仏教がどうなのか、と常に問題意識をもって履修してほしい。

成績評価の方法

基本的には定期試験で評価。ただし、提出レポートの内容および出席状況を考慮する。

教 科 書

水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院）2,100円
他に、先人達の遺した比較的平易な言葉や今に生きる人びとの詩文等を、資料として随時使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	佐々木 しょうかく 々々木 章 格	歴史1必	4

講義のねらい

「父母未生以前、本来の面目」という公案がある。かの夏目漱石も若いころに宿題とされ、それは晩年にいたる小説の中まで鮮やかに反映されていた。本来の人間とは何か、本当の自分自身とは――。釈尊（ブツダ）はその最後に、弟子たちに向かって「法灯明、自灯明」すなわち真理を抛り処とし、自分自身を抛り処とせよ、と説示した。それは理想としての宗教ではなく、現実にある自分の姿としての、苦悩と戦いながらの実践修道（生きざま）なのではないだろうか。

本講義においては、宗教教育科目として、本学の建学の精神に関わる仏教思想・禅思想に焦点を合わせ、仏教の開祖釈尊以来の説示を概説する。さらに学生手帳に載せる『般若心経』や『修証義』にも言及したい。

講義の内容・授業スケジュール

次のテーマを用意し、世界宗教・仏教・禅について順次理解を深めたいと考えている。

- 1) 文化と宗教、宗教現象の諸相、宗教の分類、世界宗教・民族宗教についての概要。
- 2) インドの古代思想、釈尊の成道、仏教の基本的教理、大乘仏教（菩薩道）の成立。
- 3) 中国における仏教の受容とその梗概、禅宗の成立と展開。
- 4) 日本における仏教の受容とその梗概、および道元禪師と瑩山禪師の思想。

履修上の留意点

この科目専用のノートを用意し、講義内容を自分の手で、ノートすることを要望する。またレポートの提出をお願いするが、内容については一般常識などの借り物ではなく、課題に対しての本人の主体的意見が存在したものを希望する。

成績評価の方法

定期試験を基本とし、加えて別に指示する課題についてのレポート、受講の度合（欠欠）を考慮した総合評価とする。

教科書

水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院）2,100円

参考書等

必要に応じて適宜紹介、またプリント等も配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	佐藤 のりあき 藤 憲 昭	心理1必	4

講義のねらい

仏教は、人間・社会にとってどのような意味と役割をもっているか、他の諸宗教との関連のもとに考察する。日本人の多くは、宗教を信じていないとみずから認識している人たちが、その一方で、お盆や春秋のお彼岸には墓参りに行き、あるいは仏僧に読経を依頼するなど、仏教徒としての行動をとっていることが少なくない。こうした生活の中で展開している仏教は「民俗仏教」と呼ばれるが、これは教義で説く仏教とは大きく異なっている。この講座では、仏教徒には、教義仏教と民俗仏教との異なる二つのレベルがあることを認識した上で、教義仏教の思想と行動を理解することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、1. 宗教学の視点と方法、2. 人類と文化、3. 風土と宗教、4. 民俗宗教の特質、5. 教義仏教と民俗仏教などについて考察し、後期は、6. 原始仏教、7. 大乘仏教と上座部仏教、8. 禅仏教の特質、9. 曹洞宗の特質などの問題について考えてみたい。

履修上の留意点

抜き打ち的に出席をとるので、欠席をした場合（または欠席をする場合）には、欠席届（形式は任意）を提出することが望ましい。

成績評価の方法

学年末の筆記試験で評価する。合格の基準は、講義内容を踏まえて、みずからの言葉でどのように論じているかという点にある。なお、不合格の場合には、出席点を加算して最終評価を行う予定。

教科書

水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院）

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	なげ うち ひろ みち 竹 内 弘 道	社会・福祉1必	4

講義のねらい 学生であるならば、世界のさまざまな事柄に関心を寄せ、現代社会が抱える今日的な問題に対して何らかの自分なりの考えを持ちたいと思うであろう。しかし、いざ自分の意見を表明する段になると、依って立ち、判断基準とする自分の「思想」がなければ、何の見解も導き出せないことに気づく。しかも、極めて現代的な問題は、背景に深く自らの宗教観が問われる場合が多い。自己の宗教的視点が確立していないと、はっきりと問題の本質が見えず、判断を下すことが困難になる。戦後の、病的なまでに宗教を排除した教育体制によって形成された我々の意識に、大きく欠落している部分は宗教観である。授業は、現代社会の具体的問題を考える中で、この欠けたる部分に気づき補っていくことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 仏教の基本的思想や禅の目指す人間観について講義するが、次のようなテーマについて、具体的問題を取りあげ、随時講義する予定である。時間が許せば予定外のテーマも取りあげたい。

1. 破壊的カルト教団の諸相とマインドコントロールの恐怖
2. 生命倫理と脳死・臓器移植－日本人の生命観
3. 環境問題と現代社会－仏教の可能性
4. 仏教と人権－フェミニズムからの挑戦
5. 日本仏教の社会的機能と使命－葬祭と仏教

成績評価の方法 試験はレポート提出で、講義したテーマの中から課題を選び、自分の見解を交えて論述する形式をとる予定である。

参考書等 問題の領域が広範囲にわたるため特定の教科書は存在しないが、参考書は宗教学ハンドブックほか。その都度授業で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間 〔再クラス〕	いけ た る さん 池 田 魯 参	全学科2・3・4年	4

講義のねらい 一年間の講義を通じて、世界の諸宗教と比較して仏教にはどのような特色があるのか考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール 前期では、世界の代表的な諸宗教が成立する歴史的文化的背景を明らかにし諸宗教の特質を意義づけ、その上で仏教成立の史的意義を明らかにし、釈尊（ブツダ）の人間観はどういうものであったのか考えてみたい。
後期では、釈尊滅後の教団史的展開の諸問題を、インド・チベットを始め中国・朝鮮・日本などの東アジア諸地域における仏教の伝播と変容の歴史的意義を明らかにし、仏教信仰に生きた人々の人生観はどういうものであったのか、具体的に考えてみたい。

履修上の留意点 日頃から宗教の問題に関心を持って、宗教に関して見識のある教養人を目指して学んで欲しい。虚心に見聞し自分の頭で考える習慣を身につけて欲しい。

成績評価の方法 夏休みの課題レポートと学年末試験（論文形式）を中心に評価する。

教科書 適宜、講義資料をコピーして、課題毎に参考書等を紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間 〔再クラス〕	はれ やま しゅん えい 晴 山 俊 英	全学科2・3・4年	4

講義のねらい

仏教と一口に言っても、場所により宗派により様々な相違があり、場合によっては同じ仏教でも180度違う主張をする。これは人間が人間として生きることの多様性を示していることに他なるまい。仏教を信じる信じない、そして何が「正しい仏教」なのかは、最終的には個人の信念に依ろうが、一社会人としてその予備知識を養っておきたい。その意味も込めて、本講義のねらいは各国・各宗派の特徴とその背景を、大きな仏教史の中で概観して貰うことにある。

講義の内容・授業スケジュール

釈尊の生涯とその教えに始まり、インド・中国・日本における仏教の展開と主な人物、特徴を概説していく。

履修上の留意点

仏教が何らかの展開する際には、必ず人間の何らかの要請が介在していると思われる。本講義を通じて、そういった人間の要請というものを考察されたい。

成績評価の方法

期末試験に出席の状況（不定期に出欠をとります）を加味して評価する。

参考書等

授業において適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間 〔再クラス〕	かく だ たか お 福 田 孝 雄	全学科2・3・4年	4

講義のねらい

無数に存在する世界の諸宗教の中で、仏教とは一体どういう宗教であり、その特徴、特質は何であり、いかなる可能性をもっているのか。それらを学んでいく上でまず、一般的宗教現象を一通り学び、宗教の共通の要素や性格を知っておくことも必要であるから、宗教学的基礎を学ぶことから始め、最終的に、仏教の基本的特色や特質を概観していくことにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

宗教学的の基礎的な構造としての宗教現象、宗教経験、宗教儀礼などを概説し、最終的に仏教思想の基本構造、仏教々団、経典の組織などについて学んでいくことにする。

成績評価の方法

出席点及びレポートなどにより総合的に評価する。

参考書等

講義の進行に従って、その都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間 〔再クラス〕	よしづ よしひで 吉津 宜英	全学科2・3・4年	4

講義のねらい

まず最初にこの科目名は「仏教と人間」となっていますが、私は「宗教と人間」という位に広く考えてゆきたいと思います。仏教を含めた宗教に対して皆さんはどのようなイメージを抱き、どのような意見を持っているのでしょうか。すでに特定の宗教を信じている人もいるかもしれませんが、これまで関心の無かった人もあり、また宗教批判者もあるかもしれません。私は宗教に対して肯定的な人にも否定的な方にもまず宗教や仏教への正しい知識を持ってもらいたいと思います。宗教は政治、経済、科学技術、教育、芸術などと並んで人間の文化の一翼を担っています。太古からいろいろな様々な宗教が存在しています。ある宗教は「神を信仰しますが、他には多くの神を信仰したり、仏教のように仏を主張するものもあります。なぜ人間は宗教を求めるのでしょうか。この講義ではまず様々な宗教の多様性の確認から始めます。そして、宗教は社会の中でどのような機能を果たしているのかを考えます。また、宗教をめぐる様々な問題点を取り上げます。宗教は人々の幸福を成就する目的を持っているのに、民族紛争などと絡んで宗教戦争が起こり、多くの不幸な人々が出てしまう問題もあります。宗教は個人個人が何かを信じていれば他に迷惑をかけないですむと思うのですが、宗教集団が成立すると、公共の福祉に反する社会的問題を引き起こします。講義全体としては、仏教を含めた宗教の功罪両面を考えてゆくことをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

前期には宗教の様々な形態について概説します。そして、世界の諸宗教の中で仏教の特色を明らかにします。後期は仏教を含めた宗教と人間社会の様々な問題を取り上げます。新新宗教と呼ばれる存在にも注目します。また、政教分離などの宗教と政治の問題、民族紛争絡みの宗教戦争の問題、人権と宗教の関連性、脳死の是非、遺伝子工学など生命倫理の問題と宗教との関わり等のテーマを順次取り上げます。毎回、必ずあるタイトルを明示して、講義を行います。

履修上の留意点

この科目専用のノートを用意して下さい。講義を筆記すると同時に自分の意見や疑問を書き留め、年間を通して受講と思索の軌跡が残るようにしてもらいたいと希望します。質問は大歓迎です。講義中でも挙手して質問して下さい。ただ、私語は厳禁です。厳しく注意します。

成績評価の方法

毎回出席を取り、年間で2～3回の課題提出を御願ひし、最後に期末試験を行い、その結果を総合して成績評価を行います。

教科書

特に使用しないが、出来るだけ参考資料としてのプリントを配布します。

参考書等

授業の中で随時参考図書などを紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化と宗教	はせべ はちろう 長谷部 八郎	全学科選	4

講義のねらい

本講義は、我が国の近代以降、各時代状況の中で、宗教が社会とどのようにかわり、近・現代の精神文化の形成に影響を及ぼしたかを、仏教を中心にみていく。具体的には、寺院の中でもいわゆる教会・結社組織に焦点を据え、それらが、仏教と民衆をつなぐ接点として果たしてきた役割を探ってみる。仏教諸宗派の中でも教会・結社活動の盛んであった曹洞宗や日蓮宗を主軸に講述する。

また、そうした教会・結社と新宗教・新新宗教を比較検討し、両者に対する民衆のニーズとそれに対する対応の仕方の類似点および相違点を明らかにしていきたい。

成績評価の方法

授業時に1、2回小論文を課し、評価の一部に加える予定である。

教科書

使用しない。

参考書等

授業の中で適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 と 宗 教	いけ がみ よし まさ 池 上 良 正	全学科選	4

講義のねらい

宗教学・宗教社会学などの理論的成果をふまえて、「近代社会と宗教」というテーマを中心に講義する。近代という特異な時代が成立する過程において宗教はどのような関わりをもったのか、様々な問題を抱えた近現代社会のなかで宗教はどのような形態で存続し、またどのような意義や役割を担っているのか、といった問題を考える手がかりを探ってみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、宗教が近代社会の形成に果たした役割についての考察からスタートして、世俗化論、私事化論などの検討する。後期は、現代世界における宗教の動態的理解、近代日本の社会変動と民衆宗教の展開、といった問題を考える。近年の精神世界ブームや新宗教の動向などにも触れる予定。

成績評価の方法

年度末に筆記試験。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

授業中に適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自 然 と 宗 教	お がわ とし ゆき 小 川 順 敬	全学科選	4

講義のねらい

人間は古来から、自然のいとなみの背後に説明のつかない大きな力を感じ、自然の事物や、自然現象を崇拜の対象としてきたと言われます。それでは、人間は自然の背後にどのような“説明のつかない力”をみたのでしょうか。あるいは、自然を人間とのつながりでどのようにとらえ、考えてきたのでしょうか。

この講義では、宗教と自然との関わりという角度から、これらの問題を考えてゆくことにしたいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

まず最初に、宗教現象を考えていくための宗教学、宗教人類学のいくつかの基本的な概念を概説、紹介します。その後、山と宗教、海と宗教、森と宗教、また仏教と自然、キリスト教と自然などのテーマを立て、具体的事例をあげながら人間と自然との宗教的な関わりを諸相を紹介していくことにしたいと思います。また、環境問題に対する仏教やキリスト教、新宗教、あるいは伝統宗教からの発言や取り組みを紹介し、その考え方や今日の評価・議論を概観、紹介する予定です。

成績評価の方法

評価はレポートと年度末の筆記試験により行います。夏期休暇前にレポート課題を出します。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教 科 書

原則として教科書は用いません。

参 考 書 等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
坐 禅	<small>きとう しゅうこう くまもと えいじん</small> 佐藤 秀孝・熊本 英人	全学科選	2

講義のねらい

駒澤大学では建学の理念に基づき宗教教育科目が設けられ、その中に「坐禅」の授業があります。本授業は、仏教学部だけではなく広く一般学生に門戸を開き「坐禅」の世界を知ってもらうことを、その目的としています。他大学では経験できない、駒澤ならではの授業が「坐禅」といえるでしょう。坐禅に触れることによって、本学の良さを味わい、学生生活の貴重な体験としてもらいたいと思い、この授業を進めるものです。

今、私たちの周りでは、さまざまな宗教が声高に叫んでいます。反面、多くの人は何を抛り所にしてよいか不安感が募っています。基本的な人生観を学生時代にこそ考え培いたいものです。

坐禅は、決して特殊な精神状態を作るものではありません。姿勢を整え、静けさの中で自己を見つめるのです。初めはぎこちないかもしれませんが、何回か経験するうちに静けさに落ちつきを感じることでしよう。

この授業では、初心者にも無理なく坐禅に親しめることに指導のポイントを置き、経験を積む中で、坐禅の静寂な時間に落ちつきと安らぎが感ぜられるよう実習を進めたいと思っています。併せて、坐禅の世界をより深く体得できるように、禅の歴史とその思想にも触れる時間を設けます。

講義の内容・授業スケジュール

半期単位ですので、全体で13回ほどの開講数が予定されます。その流れを以下のように進めます。

1～3 「坐禅の作法指導」(坐禅堂に即して基本的知識と、坐るに至るまでの作法を修得)

4～13 「坐禅実習」(1回の坐禅実習の時間は、初心者にも無理のない程度です)

(道元禅師の書かれた坐禅の指導書ともいえる『正法眼蔵-坐禅儀』を通して坐禅の本来の姿を学びます)

履修上の留意点

実習をその主なる内容としますので出席を重視します。また、まじめに授業を受けられることを要望します。

成績評価の方法

出席数、出席態度、レポートを総合して成績評価とします。

教 科 書

適宜、プリントにて配布します。

参 考 書 等

『坐禅-講本-』(更生社) 2,226円

2. 教養教育科目

2. 教養教育科目

(1) 人文分野

文学	[日本文学「近代」]	〈小林 治〉	23
文学	[外国文学「中国文学」]	〈清水 浩子〉	23
文学	[日本文学「近代」]	〈川島 淳史〉	24
歴史学	[古代オリエント史]	〈大城 道則〉	25
歴史学	[西洋中世史]	〈田中 美穂〉	26
芸術学	(1) [日本美術]	〈北野 良枝〉	26
芸術学	(2) [西洋美術]	〈矢野 陽子〉	27
芸術学	(3) [音楽]	〈赤羽 由規子〉	27
哲学	[現代文明と人間]	〈黒崎 剛〉	28
哲学	[現代文明と人間]	〈滝沢 正之〉	28
哲学	[現代文明と人間]	〈箭野 浩司〉	29
論理学	[科学方法論と現代論理学]	〈山口 祐弘〉	30
論理学	[科学方法論と現代論理学]	〈河谷 淳〉	30
論理学	[科学方法論と現代論理学]	〈滝口 清栄〉	31
論理学	[知の技法]	〈箭野 浩司〉	31
論理学	[知の技法]	〈伊古田 理〉	32
科学史	[近代科学の成立と展開]	〈小宮山 隆〉	32
倫理学	(1) [人間観]	〈古田 知章〉	33
倫理学	(2) [応用倫理学]	〈黒崎 剛〉	34
倫理学	(3) [価値観]	〈滝沢 正之〉	34
倫理学	(4) [応用倫理学]	〈箭野 浩司〉	35
倫理学	(5) [制度とモラル]	〈滝口 清栄〉	35
倫理学	(6) [東洋倫理]	〈末木 恭彦〉	36
宗教学	(1) [比較宗教文化]	〈池上 良正〉	36
宗教学	(2) [聖と俗]	〈田中 かの子〉	37
宗教学	(3) [思想と儀礼]	〈小川 順敬〉	37
宗教学	(4) [組織と運動]	〈洗 建〉	38
人文地理学	(1) [風土と文化]	〈竹林 和彦〉	38
人文地理学	(2) [風土と文化]	〈高橋 健太郎〉	39
人文地理学	(3) [空間と行動]	〈山口 太郎〉	40
人文地理学	(4) [空間と行動]	〈伊藤 修一〉	41
※教育の思想	〈豊田 千代子〉	42	
※教育の思想	〈北村 三子〉	43	
※教育の思想	〈伊藤 茂樹〉	43	
※教育の思想	〈萩原 建次郎〉	44	
※教育と社会	〈豊田 千代子〉	44	
※教育と社会	〈北村 三子〉	45	
※教育と社会	〈伊藤 茂樹〉	45	
※教育と社会	〈萩原 建次郎〉	46	
※発達と学習の心理学	〈大浜 幾久子〉	46	
※発達と学習の心理学	〈山本 政人〉	47	
※発達と学習の心理学	〈角野 善司〉	47	
※カリキュラムと学習	〈大浜 幾久子〉	48	
※カリキュラムと学習	〈夏堀 睦〉	48	

(2) 社会分野

社会学〔社会生活を考える〕	〈小畑和〉	50
社会学〔社会生活を考える〕	〈呉炳三〉	51
統計学〔社会現象の統計的分析〕	〈稲葉敏夫〉	51
文化人類学〔社会変化と価値観〕	〈小川順敬〉	52
文化人類学〔社会変化と価値観〕	〈内山明子〉	52
法学・憲法〔法と権利〕	〈沼田雅之〉	53
法学・憲法〔法と社会生活〕	〈長谷川日出世〉	53
法学・憲法〔法と社会生活〕	〈鷄徳啓登〉	54
法学・憲法〔法と国家〕	〈佐藤多美夫〉	55
法学・憲法〔法と権利〕—夏季集中—	〈藤本茂〉	56
政治学〔社会生活とデモクラシー〕	〈大山礼子〉	57
政治学〔政治システムと政治参加〕	〈富崎隆〉	58
経済学〔現代経済理解へのガイド〕	〈橋本泰明〉	59
社会科学論〔社会認識の思想〕	〈大石雄爾〉	60
教育学〔デス・エデュケーション〕	〈柳堀素雅子〉	61
教育心理〔大学生の心理—教育臨床心理学の立場から—〕	〈野中弘敏〉	62

(3) 自然分野

生物学〔生物と環境〕	〈中村敏枝〉	63
生物学〔生態と進化〕	〈清水善和〉	64
地球科学〔自然景観の成り立ち〕	〈市川清士〉	65
地球科学〔地球環境の現在・過去・未来〕	〈山縣毅〉	66
地球科学〔地球システムと人間圏〕	〈澤口隆〉	67
自然環境論〔生命と環境〕	〈持丸真里〉	68
自然環境論〔自然史と環境〕	〈藤井享〉	69
自然環境論〔生命と環境〕	〈中村敏枝〉	70
自然環境論〔環境と保全〕—夏季集中—	〈山縣毅〉	71
自然誌〔現代の自然像〕	〈清水善和・篠原正雄・持丸真里・山縣毅〉	72
数学(1)〔微積分学入門〕	〈小沢誠〉	73
数学(2)〔線型代数学入門〕	〈小沢誠〉	73
数学(3)〔現代数学入門〕	〈福田賢一〉	74
情報数学〔情報と論理〕	〈上原隆平〉	74
物理学〔光と物質〕	〈篠原正雄〉	75
化学〔衣食住の化学〕	〈持丸真里〉	76
宇宙科学〔星と銀河〕	〈篠原正雄〉	76
コンピュータ基礎(1)(4)(6)(9)〔コンピュータの実際〕	〈小沢誠〉	77
コンピュータ基礎(2)(7)〔コンピュータの実際〕	〈山本博信〉	78
コンピュータ基礎(3)(8)〔コンピュータの実際〕	〈小川健次郎〉	79
コンピュータ基礎(5)〔コンピュータの実際〕	〈澤口隆〉	80
コンピュータ基礎(10)(23)(24)〔コンピュータの実際〕	〈上原隆平〉	81
コンピュータ基礎(11)(15)〔コンピュータの実際〕—夏季集中—	〈元木光雄〉	82
コンピュータ基礎(12)〔コンピュータの実際〕—夏季集中—	〈小沢誠〉	83
コンピュータ基礎(13)(17)〔コンピュータの実際〕—夏季集中—	〈山本博信〉	84
コンピュータ基礎(14)(18)〔コンピュータの実際〕—夏季集中—	〈長坂浩史〉	85
コンピュータ基礎(19)(21)〔コンピュータの実際〕—夏季集中—	〈澤口隆〉	86
コンピュータ基礎(16)(20)(22)〔コンピュータの実際〕—夏季集中—	〈小川健次郎〉	87
コンピュータ応用(1)(2)〔コンピュータの原理〕	〈上原隆平〉	88
人類学(1)(2)〔人類の進化〕	〈遠藤萬里〉	88
心理学〔人間関係を考える〕	〈北川公路〉	89
心理学〔人間関係を考える〕	〈高橋良博〉	89
心理学〔心を科学する〕	〈中丸茂〉	90
心理学〔ヒューマン・ウォッチング〕	〈高橋良博〉	91
心理学〔心を科学する〕—夏季集中—	〈堀内正彦〉	92

(4) 総合分野

総合 I (1) [仏教と自然]	〈四津谷 孝道〉	93
総合 I (2) [仏教と社会]	〈熊本 英人〉	93
総合 II	〈休 講〉	
総合 III (1) [人権と社会問題]	〈ピアス, D. M.〉	94
総合 III (2) [欧米の教育と日本の教育]	〈岡崎 寿一郎〉	95
総合 III (3) [中国語圏文化の諸相]	〈岩崎 皇〉	95
総合 IV (1) [現代アメリカ事情]	〈林 明人〉	95
総合 IV (2) [米国シアトル NPO の経営研究]	〈西村 祐子〉	96
総合 IV (3) [ポスト・モダンの世界]	〈丸小 哲雄〉	97
総合 V	〈休 講〉	
総合 VI (1) [民族とは何か]	〈大野 祐二〉	98
総合 VI (2) [イスラム]	〈吉田 京子〉	98
総合 VI (3) [フェミニズム・ジェンダー]	〈早川 紀代〉	99
総合 VII (1) [トラブルと法的解決]	〈藤本 茂他〉	100
総合 VII (2) [都市論]	〈早川 純貴他〉	101
総合 VIII	〈休 講〉	

科目名	担当者名	配当学科	単位
文 学 〔日本文学「近代」〕	こばやし おさむ 小林 治	国文・英米文選	4

講義のねらい

優れた文学作品の条件とは何だろうか。一例としてリアリティを挙げても、現実を写してありのままらしく見えるものほど実はリアルではなく、技巧によってそれらしく仮装された規範にすぎないことも多い。このような文学特有の陥穽を見通す視点から、文学について再考することを試みたい。

講義の内容・授業スケジュール

対象に予定している作家は、第二次戦後派の安部公房、島尾敏雄、また異端の作家として深沢七郎、ルポルタージュ文学の先駆者としての上野英信である。主に教科書と配布プリントを使用する。

履修上の留意点

具体的に上記の作家の作品を読んでいく中で、文学作品という現象を通じて見えてくるものは何か、あるいは文学が表現し得るものは何かを考えていくので、講義を受ける前にあらかじめ対象作品だけは読んでおいていただきたい。作品名の詳細は講義を進めていく中で、時々指示するが、とりあえず下記の作品と教科書で指定する作品は必読である。

安部公房『砂の女』
島尾敏雄『死の棘』
深沢七郎『楢山節考』
上野英信『追われゆく坑夫たち』

成績評価の方法

定期試験の結果、レポートの内容を総合し、さらに出席状況を加味して評価する。

教科書

安部公房『R62号の発明、鉛の卵』（新潮文庫）476円
安部公房『砂の女』（新潮文庫）400円

参考書等

授業時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文 学 〔外国文学「中国文学」〕	しみず ひろこ 清水 浩子	地理・歴史選	4

講義のねらい

前期の前半は中国神話・伝説について解説する。その後はテキストを講読し、『風俗通義』の作者応劭の神話・伝説・俗説についての考え方を知る。

講義の内容・授業スケジュール

神話・伝説・俗説について、テキストに従って講読・解説を行う。

履修上の留意点

毎時間、その日の講義に対する意見を書き、それを提出してもらう。

成績評価の方法

年間2～3回のレポートと毎時間の意見文を参考に総合的に判断する。

教科書

中村璋八・清水浩子著『風俗通義』（明德出版社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文 学 〔日本文学〔近代〕〕	かわしま あつし 川 島 淳 史	社会・福祉・心理選	4

講義のねらい

文学テキストを読み解くためには、どのような方法があるのか。近年の語り論や読者論、フェミニズム批評などの方法と成果を紹介しながら、それらの理論を応用して文学テキストの新たな読みの可能性を模索する。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は谷崎潤一郎が大正から昭和にかけて発表した作品を取り上げる。谷崎の小説には矛盾や空白などが周到に設けられており、物語事実は巧みに隠蔽されている。しかも「読者」は語り手の話術によって、知らず知らず一定の読みの方向へ誘導されてしまっている。この講義では、その語りの構造を分析し、従来の制度化された読みの再検討を試みたい。また、当時のモダニズムの動向や周辺の作家についても言及する予定である。

履修上の留意点

この講義では可能な限り多くの作品を取り上げたいと考えている。当然のことながら、予告された作品は事前に読んでおき、受講する際は必ず携行してこること。また、受講後は各自紹介された文献を探し、レポート作成の準備をしておくことが必要。

成績評価の方法

講義で提示した課題を各自が考察し、レポートを作成する。出席状況と三回ないし四回のレポートの内容によって評価する。期日を過ぎてしまった場合は受け取らないので注意すること。

教 科 書

詳しくは最初の時間に指示するが、現在予定している作品は次の通り。受講希望者は早めに入手しておくことが望ましい。

- 『痴人の愛』（新潮文庫）
- 『蘆刈・汜』（中公文庫）
- 『吉野葛・盲目物語』（新潮文庫）
- 『春琴抄』（新潮文庫）

参 考 書 等

その都度、講義の中で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史学 〔古代オリエント史〕	おおしろみちのり 大城道則	国文・英米文選	4

講義のねらい

古代オリエント世界と古代地中海世界との交流関係について具体例を挙げつつ紹介し、当時の歴史背景や研究上の問題点などを解説・指摘する。

講義の内容・
授業スケジュール

ヨーロッパ世界の起源である古代地中海世界は、様々な文明と多様な文化が接触・交錯し、相互に影響を与え合い、共存する場であった。我々は、ヨーロッパ世界を理解するために、その根源である古代地中海世界について考える必要がある。そのため本講義では、古代エジプト文明の成立から、古代ギリシアを通して、古代ローマ帝国の地方都市である埋没都市ポンペイや隊商都市パルミラの歴史までを取り扱う。

前期

- ① 地中海世界の中のエジプト
- ② 古代エジプト形成期（統一王朝の出現）
- ③ 古王国時代のエジプト（ピラミッドの発展過程）
- ④ 古王国時代のエジプト
- ⑤ 新王国時代のエジプト
- ⑥ メソポタミアの古代都市
- ⑦ 鉄の王国ヒッタイト

後期

- ⑧ 古代エーゲ文明の成立
- ⑨ 東方化の時代と大植民時代
- ⑩ エトルリア文明
- ⑪ 古代ローマ皇帝伝
- ⑫ 火山で埋もれた都市ポンペイ
- ⑬ 古代ローマ人の食生活
- ⑭ 砂漠の隊商都市パルミラの歴史

履修上の留意点

お互いの信頼関係のため講義中の携帯電話および遅刻は禁じる。配布したプリントはファイルし、毎回講義に持参すること。

成績評価の方法

学年末試験、出席率、受講態度により総合的に評価する。

教科書

講義の際には講義内容に則したプリントを配布する。

参考書等

大城道則『古代エジプト文化の形成と拡散—ナイル世界と東地中海世界—』（ミネルヴァ書房）

その他

スライドとビデオを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史学 〔西洋中世史〕	田中美穂	地理・歴史・社会・福祉・心理選	4

講義のねらい

現在のブリテン（イギリス）という国家は、イングランド、ウェールズ、スコットランド、北アイルランドからなる連合王国です。また、ブリテンとアイルランド（ブリテン諸島）は、先史時代より互いに影響し合ってきました。ブリテン諸島を構成する四つの地域（イングランド、ウェールズ、スコットランド、アイルランド）、および各地のネイション意識は中世に形成されていきました。その過程について、ヨーロッパ大陸とブリテン諸島との交流や、現在のブリテン諸島にいたる連続性を重視しつつ、講義を行います。ブリテン諸島の多様性と各地のネイション意識の重要性を示すことが、本講義のねらいです。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) (1)ブリテン諸島史とは (2・3)イングランド中心史観と「ケルト・ブーム」
(4・5)鉄器時代とローマン・ブリテン (6・7)初期キリスト教時代
(8～11)イングランド、ウェールズ、スコットランド、アイルランド各地の王国
(12・13)ヴァイキング時代
(後期) (14・15)ノルマン人とブリテン諸島 (16・17)イングランドとアンジュー王家
(18・19)スコットランド王国の成立
(20～22)アイルランド、ウェールズ各地の統一への動き
(23)「アーサー王」伝説と各地の起源神話 (24)中世末期のブリテン諸島
(25・26)近現代のブリテン諸島

履修上の留意点

講義中の私語、携帯電話、遅刻を禁止します。

成績評価の方法

出席と学年末試験により評価します。講義中の態度も考慮に入れます。

教科書

講義内容をまとめたプリントを毎回配布します。

参考書等

講義中に随時、紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
芸術学 (1) 〔日本美術〕	北野良枝	全学科選	4

講義のねらい

室町時代から江戸時代に至る日本絵画の流れを、中国およびヨーロッパとの関係に留意しつつ概説する。美術の歴史を解説するにあたっては、常に作品を参照する必要があるため、授業では毎回スライドを使用する。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) 室町から桃山時代の絵画
(1) ガイダンス (2) 絵画に関する基礎知識
(3) ～ (7) 室町時代の水墨画 (8) ～ (10) 阿弥派、土佐派、狩野派
(11) ～ (12) 狩野永徳と桃山画壇
(後期) 江戸時代の絵画
(13) 江戸時代の狩野派 (14) ～ (17) 琳派
(18) ～ (19) 浮世絵 (20) 南蘋派
(21) 文人画 (22) 秋田蘭画と司馬江漢
(23) 伊藤若冲と曾我蕭白 (24) 江戸から明治へ

履修上の留意点

ペンライトなどを持参し、スライドで映写する内容についてもノートをとることが望ましい。

成績評価の方法

学年末に筆記試験を実施し、その得点によって評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
芸術学 (2) 〔西洋美術〕	矢野陽子	全学科選	4

講義のねらい

ひとつの美術作品が制作されるにあたっては、芸術家の個性や技術のみならず、その時代と地域の宗教・文化・政治状況などさまざまな要因も関係しています。この講義では私たちが異なる文化から生まれた西洋美術のうち、およそ15世紀から18世紀までの美術、つまりイタリア・ルネサンス期からフランス革命期頃までの美術を対象とします。まず美術作品に表現された内容を理解し、その表現様式の特徴を考えながら、美術の主要な流れを把握することを目的とします。さらに芸術家と注文主や鑑賞者との関係、美術が社会のなかで占めていた位置についても考察していきます。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) 15・16世紀の美術
イタリア初期ルネサンス／15世紀の北方美術／イタリア盛期ルネサンス／北方ルネサンス／マニエリスム
(後期) 17・18世紀の美術
バロック美術 (イタリア、ネーデルラント、スペイン、フランス)／ロココ美術／新古典主義美術

履修上の留意点

初回にガイダンスを行うので必ず出席してください。スライドで作品を見ながら時代順に講義を進めるので、授業にはなるべく遅刻欠席をせず続けて出席することが望まれます。

成績評価の方法

夏休みの課題としてのレポートと学年末の試験とを合わせて評価します。

教科書

高階秀爾監修『カラー版西洋美術史』(美術出版社) 1,900円

参考書等

参考文献は授業中適宜紹介します。

その他

授業では毎回スライドを使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
芸術学 (3) 〔音楽〕	赤羽由規子	全学科選	4

講義の内容・授業スケジュール

前期 民族音楽学——日本人の伝統的な音感覚について考えていく。焼き芋屋さんの売り声や子どもの遊びの歌から芸術音楽にまで共通する日本のメロディーについて考察し、それらと外国の歌との共通性、異質性について具体的に音を聴きながら学び、音楽とは何かを考えていきたい。
後期 20世紀と音楽——20世紀における音楽に関する様々な新しい動きを追って行き、「ポスト・モダン」といわれる今日の音楽の在り方について考えて行く。音や映像を用いて、わかりやすく進めて行くつもりである。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

夏期レポートと学年末試験で採点する。

教科書

印牧由規子著『現代からの音楽史』(公論社) 2,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学 〔現代文明と人間〕	黒崎 剛 <small>くろさき つよし</small>	国文選	4

講義のねらい

近代社会（近代とは現代も含む）のなかで人間のあり方と、社会構造（近代市民社会＝資本主義社会）について、近現代哲学を総括した上で、テーマ別に人間論と社会論について入門的な講義を行う。個々の哲学者の学説史ではないので、哲学史の知識を求める人には向かない。

講義の内容・授業スケジュール

- 以下のテーマを取り上げる予定
1. はじめに：われわれはどんな社会に生きているか
 2. 近代的自我：「自分である」とはどういうことか
 3. 近代的自由：自己決定。自律、労働
 4. 労働の哲学的意義
 5. 近代資本主義社会の構造：われわれはなぜモノとカネに支配されるか
 6. 二十世紀の人間解放論
 7. 歴史哲学

履修上の留意点

近代哲学の主要テーマ別によりかなり抽象的な形で取り上げるので、単位獲得のためだと割切っている人は退屈するはず。自分で考える姿勢を持つことを要求したい。

成績評価の方法

受講態度、出席、試験（レポート）、を総合評価。

教科書

教科書はプリントを使用。教科書、参考書は教場で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学 〔現代文明と人間〕	滝沢 正之 <small>たきざわ まさゆき</small>	英米文・歴史選	4

講義のねらい

現代哲学の主要なトピックのいくつかを紹介し検討する。しかし、現代の哲学といっても、哲学史の流れを無視しては理解し難い。そこで、基本的な問題について、現代だけに視野を限らず、過去のいろいろな考え方と比較しつつ考えていくことにしたい。

具体的には、貨幣、他者、身体、歴史、言語といったものが問題となる。どれも大きいテーマなので、解決を提示するというよりは、問題を確認することを目的にする。よくわかっていると思ったことが、実はよくわからないものだったとわかる、という経験も楽しいものである。

講義の内容・授業スケジュール

上述の諸テーマそれぞれについて、哲学史的な位置づけを確認する。そのうえで、現代哲学における、その扱いを検討していく。教科書などで、原典のテキストを参照することも行う。

成績評価の方法

基本的に中間および期末試験により評価する。

教科書

久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

講義中に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
哲 学 〔現代文明と人間〕	や の ひろ し 箭 野 浩 司	地理・社会・福祉・心理選	4

講義のねらい

哲学は直接的には何の役にも立ちません。例えば、営業に向かうサラリーマンが満員電車の中で哲学に目覚め、存在とは何かを考え始めて仕事に行かなければ、職を失ってしまうかもしれません。しかも存在とは何かという問題に答えが出たとしても、経済的には何のメリット也没有ありません。それはまさに自分のために出す答えであり、すべての人間がその答えを求めているわけではありません。むしろ哲学は始めない方が正常です。その上、哲学とは何かという問題自体が哲学であるというやっかいな問題も付いてきます。この学問(?)が向いているのは、人があまり不思議には思わないことについて考え続ける人、自分と世界との関係が破綻していて修復する必要がある人、既存のシステムの外部に出ることに喜びを見出す人、西欧の哲学者が生み出した知的必殺技を知りたい人などです。

 講義の内容・
授業スケジュール

以下のテーマと哲学者を扱います：哲学とは何か？ 哲学と神話、哲学と宗教、哲学と科学、キリスト教、仏教、道教、神道、タレス、ソクラテス、プラトン、アリストテレス、デカルト、ホッブズ、ロック、バークリ、ヒューム、カント、ヘルダー、ヘーゲル、シュライエルマッハ、ショーペンハウアー、ニーチェ、プラグマティズム、フロイト、マルクス、フッサール、ハイデガー、サルトル、ヴァイトゲンシュタイン、カルナップ、クワイン、ラカン、フーコー、バタイユ、ポストモダン、デリダ、ジジエク、カルチュラル・スタディーズなど。

履修上の留意点

教官は考えるためのヒントを提示します。問題について話し合うヨーロッパ方式で授業を進めます。会話能力が前提となります。

成績評価の方法

中間試験と期末試験、リアクション・ペーパーなどで評価しますが、知識を暗記する能力は全く評価しません。哲学は他者の思想を暗記するものではないからです。考える力、疑う力、発想力やオリジナリティ、あるいは〈哲学的〉と形容される言説の構築力を評価します。

教 科 書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔科学方法論と現代論理学〕	やまぐちまさひろ 山口祐弘	国文・英米文選	4

講義のねらい

伝統的論理学から現代の記号論理学に至るヨーロッパの論理思想の発展を、弁証法論理や東洋の思惟様式にも眼を向けつつ広い視野において学び、人間の思考の働きを理解するとともに、正しく考える態度を養う。

講義の内容・授業スケジュール

【前期】

1. 論理学とは何か
2. 思考の原理
3. 同一性と同一律
4. 関係の思想
5. 対立と矛盾
6. 矛盾の概念
7. 判断論
8. 無限判断
9. 二律背反
10. 弁証論
11. 無限性の思想
12. 論理思想の比較

【後期】

1. 記号論理学の基本思想
2. 真理関数
3. 標準形
4. 公理体系
5. 定理の演繹
6. 同
7. 同
8. 体系の条件
9. 述語論理学
10. 無矛盾性、完全性、決定問題
11. 伝統的論理学との対応
12. 三段論法の基礎付け

履修上の留意点

出席を重視する。

成績評価の方法

テストによる。

教科書

『論理学概論』（岩波書店）

参考書等

『ドイツ概念論における反省理論』（勁草書房）

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔科学方法論と現代論理学〕	かわたにあつし 河谷淳	国文・英米文選	4

講義のねらい

日常において私たちがまとまった文章を書いたりまとまった話をする場合、そこでは思考の何らかの「流れ」が要請されている。また、何気なく発せられた単発の文（命題）にしても、反省してみれば、それもまた暗黙の前提命題からの「流れ」の帰結であることに気づく場合がある。アリストテレス以来の歴史を持つ論理学とはそうした「流れ」の妥当な形式とは何かを考える学だということができる。本講義の目的は、論理的であるとは一体どういうことなのかを考え、さらにそれを身につける訓練をつむことにある。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では概ね次のような内容を取り扱う。

前期：伝統的論理

- (a) 論理学の基本概念（概念・命題・推論）
- (b) 演繹推理（定言・仮言三段論法の妥当性の判定）
- (c) 帰納推理（ミルの方法、仮説演繹法）

後期：現代論理（記号論理）入門

- (d) 命題論理（日常言語の記号化と証明）
- (e) 述語論理（日常言語の記号化と証明）

履修上の留意点

継続して授業に出席することは言うまでもなく、毎回の授業内容を積極的に復習することが望ましい。

成績評価の方法

中間・期末試験（それぞれ40点満点）と夏休みレポートと出欠の総合点で評価する。

教科書

『新しい認識への論理』（公論社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔科学方法論と現代論理学〕	たきぐち きよい 滝口清栄	理・政・社・福・心理	4

講義のねらい

私たちはさまざまな情報のうずのなかで生活している。それは身近な日常生活から社会や世界の動きにまで及んでいる。これら多岐に及ぶ情報の伝達と表現は言葉によっておこなわれている。また送り手も受け手も思考を通して情報に関わっている。私たちはそれらの情報に時にあまいさを感じたり不快な気持ちをもったりする。あるいは納得したりする。このようなことに目を向けるならば、私たちは言葉と思考のあり方に敏感にならざるをえないのではなからうか。ひとたびこの点について注意を払うようになると、日常生活そしてさまざまな学問的な営みの基礎として、論理学が重要なものと思えてくるであろう。本講義では、このような基礎をしっかりとしたものとするよう思考の諸法則を検討していきたい。講義はできるだけ理解しやすいうように努める。

講義の内容・授業スケジュール

教科書にそって形式論理学に重点をおいて講義を進めていくが、記号論理学にも立ち入る。

履修上の留意点

理解を深めるために練習問題を解く機会をできるだけ設けて、思考の諸法則の理解に努める。積極的な取り組みを期待したい。

成績評価の方法

小テストならびに学年末テストにより成績を評価する。

教科書

山下太郎他著『新しい認識の論理』（公論社）3,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔知の技法〕	やのひろし 箭野浩司	全学科選	4

講義のねらい

ディベート、ディスカッション、プレゼンテーション、ネゴシエーションのスキルアップを目的とします。日本の教育制度はこの四つの能力を育成しませんが、民主主義社会の一員として、ビジネスパーソンとして、国際社会の一員として、これからの時代を生きてゆくためには武器となるスキルです。（ただし、この授業は伝える内容は育成しません。内容は自分で育成してください。この授業が育成するのはメッセージを伝達する形式に関わる部分のみです）

初めての参加者は、人に何かを伝えようとする前に、恥ずかしい、言うことがない、意見がない、何も思いつかないといった状況に直面することになるかもしれませんが、それを乗り越えることも目的の一つとします。

講義の内容・授業スケジュール

まずディベートから始めて、ディスカッション、プレゼンテーション、ネゴシエーションのどれか、あるいはすべてに挑戦してもらいます。オプションとして、司会術、情報分析、ビジネス戦略、ユーザー・クレーム、ビジネス・マナーを検討します。

履修上の留意点

単位よりも能力が欲しいことを参加条件とします。参加人数を減らすために、四回休んだら単位は出ません。単位のいない人の参加は歓迎します。この授業は今年で三年目となり、すでに単位を取っているのにスキルアップのために参加し続けている人がいます。そんな熱心な人たちのために今年は、有段者の黒帯、あるいはトーナメントの勝利者に与えられるトロフィーに相当するものを認定する制度をつくりたいと思います。それについてもプレゼン・バトルで決定しますので、アイデアを練っておいてください。

成績評価の方法

中間試験と期末試験、やる気、スキルの修得度などで評価します。

教科書

プリントを配布します。

参考書等

その都度紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
論理学 〔知の技法〕	いこた まさる 伊古田 理	全学科選	4

講義のねらい

本講義は、文科系の文章技術について解説し、かつトレーニングを試みる。すなわち、あるテーマについて、文献を集め、読み、考え、そのうえで自分の考えを文章としてまとめるといった一連のプロセスについての実際的なノウハウの習得を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

まず、最初に文献・資料集めのしかたについて、簡単に解説する。次にあるテーマについて異なる立場からの考察を読みこなすトレーニングを行う。そのうえでこうした読解をもとにして自分の考え、立場を文章としてまとめあげるトレーニングを行う。

履修上の留意点

以下の「成績評価の方法」でも触れてあるが、この授業は基本的に講義スタイルですすめてゆくが、それと平行して、数回のレポート課題を出す。そして、この提出したレポートを材料に授業を進めるケースも少なくない。したがって、レポート課題がこなせないという意識をもつ諸君には受講をすすめたくない。

成績評価の方法

随時課するレポート課題（問題演習＋文章要約、等々：年間10本以上はありうることを承知しておいてほしい。翌週提出厳守）のほか、最終的に本講義で扱ったテーマに対する諸君の考えをまとめた原稿用紙20枚程度のレポート（12月最終週講義時提出）によって判定。定期試験はいっさい実施しない。

教科書

本年度は、テーマとして「道徳の理由（なぜ道徳なんてものに従って行動しなければならないのか）」をとりあげる。

教科書：大庭他著『なぜ悪いことをしてはいけないのか』（ナカニシヤ出版）

副読本：野矢茂樹『論理トレーニング』（産業図書）

参考書等

そのつど指示する。

その他

上記教科書のテーマに対する関心を予めそなえていることは、必ずしも前提しない。しかし無関心でいつづけることはできない。自分で興味をみつけてゆくつもりで授業に臨んでほしい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
科学史 〔近代科学の成立と展開〕	こみやま たかし 小宮山 隆	全学科選	4

講義のねらい

科学・技術の進歩の道筋は紆余曲折にみちたものであり、その成功だけでなく躓きも、われわれにとって示唆に富む内容を含んでいる。

そこで、いくつかの事例を取り上げ、具体的な科学理論の歴史的展開を、技術の進歩や各時代の支配的な思潮との相関のなかでとらえ、現代のわれわれにとっての意味を考察していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

今日の物理学、化学、生物学がそれぞれ近代科学として成立する過程を中心に、現代への展開を含めて概観する。

履修上の留意点

講義に対する積極的な取り組みが受講の要件であり、それ以外に自然科学的な知識等、予備知識は一切必要としない。

成績評価の方法

前・後期の試験と夏のレポートで評価する。

教科書

八杉龍・『図解・科学の歴史』（東京教学社）

参考書等

講義の際に、その都度紹介する。

その他

通常の講義形式をとるが、教科書掲載の図版をはじめ、できるだけ多くの図版・図表等をもちて講義を進めたい。必要に応じてビデオ等も使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
倫 理 学 (1) 〔人間観〕	ふる た とも あき 古 田 知 章	全学科選	4

講義のねらい

われわれは、社会の中で、一人の人間として、さまざまなものを「よい」あるいは「悪い」と判断しながら生活している。逆に言うと、この判断なしにわれわれは生きていくことができない。では、このような倫理的生活を送っているわれわれ人間とは何者であろうか。日常、われわれは「人間」という言葉を自明なものとして扱っている。しかし「人間とは何か」と問われたとき、さまざまな問題が浮かび上がり、簡単には解答に到達できない。西洋の思想的領域では、この問いに対して、その時代の社会的状況や思想的背景との関連のもとで、さまざまな解答が示されてきた。現代に生きるわれわれが、自らが人間であることの意味を問い直すとき、これらの諸説を一度、検討することは有意義であると考えられる。

講義の内容・授業スケジュール

教科書を利用し、以下の内容を取り上げる（各項目ごとに、2～4回の講義）。

〔前期〕人間観の形成の歴史

1. 人間と倫理 一人間であるために―
2. 古代ギリシア思想における人間観の諸相
3. 中世キリスト教思想における人間観
4. 人間観の転換 ―ルネサンス・宗教改革―

〔後期〕新しい時代の人間観

1. 出発点としてのデカルト《思惟する私》
2. 自己の内面性と他者の問題
3. 人格 ―ロックを手がかりに―
4. 人間存在と自由

成績評価の方法

二回の定期試験（中間試験、年度末試験）と平常点（出席状況、夏期レポート等）で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

講義の際にその都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (2) 〔応用倫理学〕	黒崎剛 <small>くろさき つよし</small>	全学科選	4

講義のねらい

「倫理」というのは、人間が世界の中で、世界に対して振る舞う上にさいして基準とする「規範」—「価値」や「義務」、「習慣」といった—の正当性を問うものである。だから「倫理学」というのは、自分が行動するに際して自覚的・無自覚的にとっている規範が半端なものではないか、みずから検証するという課題を持っている。ところで、科学技術、そして最近の生命科学の驚異的な発展によって、私たちがこれまでまったく自明のものとなっていた多くの「価値」「規範」がその地位を失おうとしている。そこで、この授業では、生命科学と医療の分野でここ二、三十年の間に起った変動にもなつて提起されてきた問題を取り上げる。すなわち「生命倫理」をテーマとする。

講義の内容・授業スケジュール

- 「生命倫理」の諸問題のうち、以下のテーマを取り上げる予定
1. 生命の倫理——講義の課題概説
 2. 「インフォームド・コンセント」：自己決定の思想
 3. 人工妊娠中絶
 4. 安楽死と尊厳死
 5. 脳死と臓器移植
 6. 「生殖革命」——人工生殖の現状と問題点
 7. 遺伝子操作論

履修上の留意点

課題はすべて現在進行形のものばかりなので、受講生にも起りつつある問題に絶えず嗅覚を働かせる態度を望む。

成績評価の方法

受講態度、出席、試験（レポート）、を総合評価。

教科書

教科書はプリントを使用。参考書は教場で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (3) 〔価値観〕	滝沢正之 <small>たきざわ まさゆき</small>	全学科選	4

講義のねらい

倫理学の主要な潮流を概説する。
我々は日常、道徳的な善悪について語る。たとえば、親は子供に「それは悪いことだからしてはいけません」と言うだろう。しかし、少し反省してみると、道徳的な善悪というものはそれほど自明ではない。
そもそも、何が善いことで何が悪いことなのだろうか。たとえば、人は殺してはいけない、とよく言うが、世の中には死刑もあるし戦争もある。
また、少し前までは、性別や人種で差別することが当然のように行われていた。それが悪いことではない、と思われていたのだ。善悪は時代や場所によって変わってしまう、ただの決まりごとなのだろうか。
このように、道徳的な善悪の本性とは、実のところ、よくわからないものなのだ。そこで、道徳についての哲学的考察、すなわち倫理学が登場することになる。

講義の内容・授業スケジュール

倫理学の主要な潮流を互いに対決させつつ紹介する。具体的には、カントの義務論、功利主義、ニーチェの道徳批判、徳論の四つとなる予定。

成績評価の方法

基本的に中間試験および期末試験により評価する。

教科書

久保・河谷編『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

講義中に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (4) 〔応用倫理学〕	やのひろし 箭野浩司	全学科選	4

講義のねらい

例えば、自動車でスーパーマーケットに行き、バックされた牛肉を買って、ポリエチレン製の袋に入れてもらって、家に持って帰って食べる場合、人はさまざまな選択を行っています。多くの人々は選択を行っているという意識を持っていません。それはシステムや文明によるマインドコントロールを受けている状態であり、考えて行動する力を奪われている状態であるとも言えます。この授業の目的は、そのような問題の存在に気づき、自分にインストールされた行動様式の外にいったん出ることによって、考えること、意見を持つこと、判断を下すことをシミュレートすることです。応用倫理学とは、論理の応用ではなく、問題に参加することで生き方を模索する学問です。

講義の内容・授業スケジュール

毎回異なる問題を扱います：安楽死、遺伝子操作、劣化ウラン弾、地雷、パレスチナ問題、アメリカとイラク、代理母、中絶、女性器切除、AIDS、18トリソミー、IT犯罪、IT汚染、天皇制、南京虐殺、教科書問題、自衛隊、自動車、食料、難民、刑務所、死刑、売買春、おたく、わいせつ、引きこもり、化粧、ファッション、美容整形、殺人、地域通貨、資本主義、徴兵制、温暖化、煙草、アイドル、アメリカ映画、内部告発、メディア倫理、ビジネス倫理など。

履修上の留意点

本年度は、授業終了後に希望者のみでグループ・ディスカッションを行います。この部分に関しては単位は出ませんが、意見を深めたい者、ディスカッション能力を高めたい者は参加してください。参加希望者がいない場合は行いません。

成績評価の方法

中間試験と期末試験、リアクションペーパーとディスカッション能力で評価します。

教科書

プリントを使用します。

参考書等

その都度紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (5) 〔制度とモラル〕	たきのぐちきよえい 滝口清栄	全学科選	4

講義のねらい

人間は古くから共同体を作り、さまざまな社会的・政治的の制度を生みだしてきた。そこには時代によりあるいは地域により違いが見られるが、そこにはまた人間のよりよいあり方とよりよい社会的・政治的の制度のあり方をめぐり、絶えることのない思想的な営みがあった。どのような時代にあっても人間はこの営みをやめることはなかった。私たちの社会は今どのような方向に進んでいくのか。いろいろと考えざるをえなくなっている。歴史的視野をもち以上の思想的営みをふりかえておくことが、今日の問題を考えていく上でも大切な土台となるであろう。本講義では、西洋倫理思想史のなかで古代、近代、現代からいくつかの思想をピックアップし、まず人間観の特徴をつかみ、そして人間のよりよき生活を可能にするよりよき制度をめぐり、その思案のあとを検討する。制度はもちろんそれを担うことのできる人間を必要とする。そこにはモラルの問題が関わる。時代的な違いを背景において以上の問題を検討していく。

講義の内容・授業スケジュール

こまかなスケジュールについては開講時にスケジュール表を配布する。

履修上の留意点

講義は平明を心がける。ときどき質問用紙を配るので、不明な点について質問を出してほしい。

成績評価の方法

中間テスト（10月上旬を予定）と学年末テストにより成績を評価する。

教科書

久保陽一・河谷淳編『原典による哲学の歴史』（公論社）3,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学 (6) 〔東洋倫理〕	すえ き やす ひこ 末 木 恭 彦	全学科選	4

講義のねらい

漢文古典はすべて「倫理」学と言っても過言ではない。それらを産み出した人々の主要な関心は、人と人の中で如何に生きるかにあった。従って、漢文古典を考えれば、自ずと倫理学となる。又、漢文古典が示す人の生き方は、東アジアの人々に等しく人生の指針であった。先人の積みあげた歴史の上に我々はいる。漢文古典の世界を知ること、決して他人事ではなく、我々の心の奥底を知ることである。これを知ること、我々の未来の生き方を開くことにもなる。この様な重要な意味を担う我々先人達の人生の思想を問い直し、そこから未来の手掛りを掴む—ここにこの講義の目標はある。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は、東洋古典の智慧がどれだけ現代の問題を考えるのに役立つか検討を試みたい。環境倫理—環境問題にいかに対処してゆくかという問題を取り上げ、この問題に東洋の智慧がどのように光を投げかけるかを見てみたい。教科書は、この様な問題意識に基づいて開かれたシンポジウムの報告論文集である。講義は、教科書に収められた論文の中から講師が重要と考える論文を選び、順次読み進めながら考察を深めてゆく。

履修上の留意点

ノートは確実にとること。

成績評価の方法

基本は年二回以上の試験あるいはレポートにより判断する。それに、出席状況・受講への積極性（質問の有無—質問は原則書面で提出して貰う）などを加味して最終的な成績をつける。

教科書

『東洋的環境思想の現代的意義』（農山漁村文化協会）

参考書等

講義中に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗教学 (1) 〔比較宗教文化〕	いけ がみ よし まさ 池 上 良 正	全学科選	4

講義のねらい

宗教学という学問は、そもそもの出発点から比較宗教学という性格をもっていた。そこでは「ひとつの宗教しか知らない者は、いかなる宗教をも知らない」（マックス・ミュラー）という信念が前提になっていた。「国際化」が進む今日の世界において、異なる社会に育った人々の生活の基盤を形づくってきた宗教文化の相互理解は、ますます重要な課題となっている。本講義では、宗教学の基本的な視点を紹介しながら、いくつかの具体的な研究成果を学ぶことにする。

講義の内容・授業スケジュール

大きなテーマとして、次の三つを考えている。①「宗教」概念の成立とその意義。②人類史と宗教。③現代社会に生きる「宗教」。

成績評価の方法

年度末に筆記試験。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 (2) 〔聖と俗〕	田 中 かの子	全学科選	4

講義のねらい

ありのままの世界には「聖」も「俗」もなく、あるがままに続けられてゆくその営みがみられるばかりである。そこにあえて「聖と俗」という対立概念をみるのは、人間に固有の宗教的価値観がはたしているからにはほかならない。「聖」と「俗」にいかなる内容を盛るかは、神の啓示や仏の理法、あるいは大自然の威力など、信仰対象の特質によって多様化する。それはあたかも諸宗教間の相違を生むものであるかのようにみえる。しかし「聖と俗」の観念が生活のなかで活かされるとき、それは、無力にして至らぬ自己を「不浄から清浄」「苦しみから救い」「罪から改悛」へのプロセスに向かわせるという、どの宗教にとっても重要な、ひいては日々新たに生まれかわろうと欲する人間に共通の問題となる。本講では、現代に生きる諸宗教の信奉者たちと「聖なるもの」との関わりを実際の見聞にもとづいて解説し、各宗教の特殊性よりは普遍性について講じてゆく。それにより、本来は聖俗不分の如実なる世界に立ち返り、日常の大切さ、いのちの尊さに思い到ることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、Ⅰ. 宗教学の基本的立場、Ⅱ. 原始時代の宗教、Ⅲ. 一宗教の諸相、多宗教の比較、Ⅳ. 諸宗教の構成要素一覧、Ⅴ. 聖なる母性の比較美術、Ⅵ. 仏陀とキリスト、後期は、Ⅶ. ゴアスター教、ユダヤ教、キリスト教、イスラーム、シーク教、ヒンドゥー教、ジャイナ教、仏教、儒教、道教、神道の歴史・思想・文化について解説する。

履修上の留意点

講義を聴き、板書を写すにとどまらず、その過程で考えたことをノートに取り、独創性や文章力を養うのに役立てよう。

成績評価の方法

各自の創意工夫と知識の応用力を問う論述式の学年末試験、レポート、出席状況。

教科書

拙著『比較宗教学—「いのち」の探求—』（北樹出版）2004年

その他

講義担当者の現地調査によるスライドと録音テープを活用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 (3) 〔思想と儀礼〕	小 川 順 敬	全学科選	4

講義のねらい

人間の“宗教行動”を理解することはなかなか困難な作業です。目に見えぬものに語りかけたり、その声に耳をそばだてたり、時としてその声を代弁したりすることを一体どのように分かれれば良いと言えるのでしょうか。祈りやお告げといった“宗教行動”は、信仰を持たぬものにとっては全く理解不可能な事なのでしょう。宗教学は、そういった行動を信仰者の立場からではなく、“人間の行動”として、その背後の考え方を探ることによって理解しようと努めてきました。

この講義では、宗教学の立場から儀礼（宗教行動）とその思想について考えていこうと思います。一見、不可解な行動に見えても、その背後の思想を知ることによって、宗教行動の意味をいささかでも理解する端緒が開かれるはずで。

講義の内容・授業スケジュール

まず最初に、宗教学の基本的な考え方や方法論、いくつかの基本概念などを具体事例にそって概説、紹介します。この際、儀礼に関する議論や理論を、宗教学や宗教人類学、あるいはもう少し広く社会科学や人文学の中から紹介する予定です。ついで、様々な儀礼の諸相を具体例をあげて紹介し、その事例の検討を通して、思想や世界観、神話との関係について考えてゆくことにしたいと考えています。

成績評価の方法

評価はレポートと年度末の筆記試験により行います。夏期休暇前にレポート課題を出します。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書

未定。授業開始後、紹介します。

参考書等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 (4) 〔組織と運動〕	あらい けん 洗 建	全学科選	4

講義のねらい

宗教学は、宗教現象の実証的研究を通じて宗教の客観的理解を目指す学問である。宗教現象は、文化、社会、個人の人格などの各次元にわたって展開するが、この講義では宗教の社会的展開を中心に考察する。宗教は個人の内面において、単なる知識としてではなく、情意的にも真実として把握された世界認識である。しかし、それはまったく個人的な信念にとどまるものではなく、多くの人々に共有された文化として存在する。そして宗教を共有する人々は、集団を作り、共に礼拝その他の宗教的実践をするのが一般的である。そこに社会現象としての宗教の問題が生じる。社会現象としての宗教には、どのような集団が形成されるのかという、集団内部の組織の問題と、宗教集団の活動が、外部の一般社会とどのような関係を生じるのかという宗教運動の問題とがある。これらの問題を事実即して考察し、宗教現象の理解を目指したい。

講義の内容・授業スケジュール

わが国の宗教伝統を形成する神道、仏教、儒教など、なかでもその基層をなしている神道的なるものが、わが国の社会や文化の形成に、いかにかかわっているのかを考察したい。

履修上の留意点

受講者の人数にもよるが、事実を覚えることより、問題を理解し共に考えることを目指したいと思っているので、とにかく出席して受講して貰いたい。原則として出席をとる。

成績評価の方法

定期試験と、出席点を総合評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

随時、紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人 文 地 理 学 (1) 〔風土と文化〕	たけ ばやし かず ひこ 竹 林 和 彦	全学科選	4

講義のねらい

人文地理学の基本的概念や思考対象について、具体的な事例を取り上げながら検討してゆく。特に本講義のサブテーマである「風土と文化」について、文化地理学のアプローチを紹介しながら検討していく。講義でアジアを主に取り上げていくが、適宜ヨーロッパ・アメリカ等の地域と比較検討する。講義は、スライドやOHP等を使用し、事例として取り上げる地域を具体的にイメージできるように進める。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|-------------------------|-------------------|
| 1. ガイダンス | 10. 文化景観 |
| 2. 人文地理学の学問的性格 | 11. 文化伝播 |
| 3. 人文地理学の基本概念 | 12. 東南アジアの風土と文化 |
| 4. 人文地理学の思考対象とその方法 | 13. 東アジアの風土と文化 |
| 5. 人文地理学と地誌学 | 14. 市場の風景 |
| 6. 地理学にとって文化とは何か? | 15. 都市での居住(都市の文化) |
| 7. 地域とは(地域の概念) | 16. 都市と農村 |
| 8. 文化地域 | 17. まとめ |
| 9. 文化生態～主に人間と自然環境のかかわり～ | |

履修上の留意点

授業には必ず地図帳(中学・高校で使用したものでもよい)を持参すること。

成績評価の方法

定期試験80%、平常点20%

教科書

特に指定しない。必要に応じて講義中に指示する。

参考書等

特になし。必要に応じて講義中にプリントにて配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
人文地理学 (2) 〔風土と文化〕	たか 高 橋 健太郎 たか 高 橋 健太郎	全学科選	4

講義のねらい

人々の世界観や価値観、生活様式といった文化的側面と、地域社会の特徴や変容とを関連づけて考えるという、人文地理学の基本概念について理解を深める。

講義の内容・
授業スケジュール

全体的には、自分の生活、または異文化について考える際に、空間的側面からの視点がいか
に重要であるかということについて検討する。具体的には、講義内容として以下の項目を予定
している。◇人文地理学の位置づけ、◇文化伝播、◇文化生態、◇文化景観、◇文化変容、◇
大衆文化、◇基層文化、◇居住、◇観光開発、◇地図、◇地名、◇空間認知、◇地域イメージ。

履修上の留意点

講義内容についての理解の程度を把握するため、また一部を講義の資料として使用するた
め、頻繁に、教場にてレポートを作成し提出してもらう。

成績評価の方法

教場レポートの内容（30％）と定期試験の結果（70％）で採点する。

教 科 書

使用しない。授業時にプリントを配布する。

参 考 書 等

高校で使用した地図帳を持参のこと。その他、参考書については、適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学 (3) 〔空間と行動〕	やまぐち たろう 山口太郎	全学科選	4

講義のねらい 都市を歩くことによって都市を体験し、都市への批判的なまなざしを養うことを目的とする。本講義は、受講生の都市でのフィールドワークに対し、地理学的な切り口を提示していく。前期はまち歩きをするための準備という位置付けで、東京に関する地理的知識と先達の都市観察・記述を紹介する。渋谷、原宿、新宿、田園調布など、東京のさまざまな場所を事例に進めていく。後期は都市に関する諸理論・さまざまなテーマ別に、都市を批判的に見つめるまなざしを養う。

講義の内容・授業スケジュール

(前期)

I 東京の自然史

II 東京の歴史社会地理
江戸から東京へ、モダニズム・大衆文化、高度経済成長、都市論ブーム、バブルの時代、郊外居住、都心回帰

III 先達による都市観察・記述
小田内通敏、今和次郎、陣内秀信、正井泰夫、路上観察学会、江波戸昭、川本三郎、泉麻人、石井實、奥田道大、ライフヒストリー

(後期)

IV 都市の中の差異
都市計画、時間地理学、認知地図

V 都市民の憂鬱
選好地図、まなざしの権力性、都市と故郷、都市の集団の風景

VI 商品としての都市
場所のイメージ、ディズニーランド化、創られた伝統、住民参加のまちづくり

履修上の留意点 出席はとらないが、理解度や要望等を把握するため、不定期に小レポートを課することがある。

成績評価の方法 夏休みのレポートと後期試験で評価する。平常点も若干評価の対象とする。

教科書 前期に以下のテキストを使用する。
正井泰夫監修2003『図説歴史で読み解く東京の地理』（青春出版社）1,000円

参考書等 講義中に随時紹介していくが、さしあたり以下の文献を挙げておく。
エドワード、レルフ著（高野・神谷・岩瀬訳）『都市景観の20世紀』（筑摩書房）
田島則行・久野紀光・納村信之編『都市／建築フィールドワークメソッド』（INAX 出版）
若林幹夫『都市への／からの視線』（青弓社）

その他 講義は受講生のまち歩きを楽しくし、批判的なまなざしを身につけるための一助の場と位置付けたい。そのため、この1年間自発的にまち歩きをして欲しい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学 (4) 〔空間と行動〕	伊藤 修一 <small>いとう しゅういち</small>	全学科選	4

講義のねらい

日常生活の中の多くの場面で、我々は個々の意思の基に行動しています。ところがその行動には規則性や一般性が認められることが少なくありません。特に、都市には多様な人々が活動しており、そこには都市のもつ特徴が大きく反映されていることは明らかです。ここでの目的は、次のような講義を通じて、都市や空間・距離がもつ意味をより深く理解することです。前期には、都市がどのように形成されて今日のように分布することとなったかについて、地理学ではどのように説明しているかを概説します。後期には、都市の形成や変化に不可欠な人口動態と移動の傾向を把握し、都市に関する既存の実証研究を紹介し、個人の行動と都市をめぐる理論との結びつきの理解をねらいます。

講義の内容・授業スケジュール

[前期] イントロダクション (1)、地図 (2)、都市の分布と立地 (3~7)、地域の結びつき (8・9)、都市の内部構造 (10)
[後期] 人口変動と分布・人口移動 (1・2)、都市の居住構造の形成過程とその変化-郊外化・再都市化 (3~8)、都市と余暇活動 (9)、都市空間における知覚と認知 (10)

履修上の留意点

講義では簡単な数式を用いることがありますので、高校数学や統計学などの知識を持っているとより理解が深まるでしょう。

成績評価の方法

原則として学年末の試験結果から評価しますが、出席状況も考慮する予定です。

教科書

講義では資料を随時配布します。

参考書等

坂本英夫・浜谷正人編『最近の地理学』(大明堂)(1985)
富田和暁・藤井 正編『図説 大都市圏』(古今書院)(2001)
なお、高校などで利用した地図帳を準備することが望ましいです。

その他

プロジェクターを用いて講義を行います。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育の思想 (前期)	とよ たちよこ 豊 田 千代子	国文2選	2

講義のねらい

この授業では、「子どもの権利条約を思想として読む」ことをめざす。1989年に国連で採択された「子どもの権利条約」は、ポーランドによって提案された。この背景の一つには、第一次世界大戦および第二次世界大戦下で多くのポーランドの子どもたちが戦争の犠牲になった（第二次大戦では、とくにユダヤ系ポーランド人の子どもたちの人権が守られなかった）という歴史的事実とそのことへの反省がある。

ユダヤ系ポーランド人の教育者であり医者であり、また作家でもあったヤヌシュ・コルチャック（本名ヘンリク・ゴールドシュミット、1878～1942）は、当時、孤児院の子どもたちのくらしや教育に携わっていたが、それらにみられる「コルチャック先生」の教育の思想、とりわけその核をなす子ども観は、子どもの権利条約の思想的基礎となっているとも言われている。

このようなコルチャック先生の教育の思想を土台にしつつ、わが国の教育をめぐる子どもたちの現状について考えたり、子どもの権利条約を読みたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ・自分たちの受けてきた教育のふり返り
- ・教育をめぐる子どもたちの現状
- ・コルチャック先生の思想
- ・子どもの権利条約とコルチャック先生

成績評価の方法

出席点、レポート等により成績評価を行なう。

教科書

教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する。

参考書等

樋渡直哉『子どもの権利条約とコルチャック先生』（ほるぷ出版）

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育の思想 (前期)	きたむらみつこ 北村三子	国文・英米文・地理・歴史2選	2

講義のねらい

今日の日本の教育制度の理念や思想について深く理解するために、その源流となる西洋近代の教育思想を学んでいきます。あわせて、今日の教育をめぐる諸問題を乗り越えていけるような新たな教育思想のあり方を探っていきたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

- ①近代教育思想の特徴…18世紀の啓蒙思想、19世紀後半から20世紀にかけて発展をみる教育学や発達論など、近代社会・国家の成立と手を携えて近代学校制度を生み出したもののうち、代表的なものを取り上げて検討します。
- ②近代教育思想の再考…今日の不登校や学級崩壊などの現象は、近代学校システムが機能不全になりつつあることを暗示していますが、それはまた近代教育思想の行き詰まりを意味しています。そこで近代教育思想から何を受け取り、何を変革しなくてはならないのかを探るために、近代では周知的だった教育思想や実践を検討します。

履修上の留意点

この科目は教養教育科目ですが、同時に教職の専門科目でもあります。教育に関心をもつ人の参加を期待します。

成績評価の方法

出席状況とレポートによって評価します。

教科書

J, デューイ『学校と社会』(岩波文庫)

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育の思想 (前期)	いとうしげき 伊藤茂樹	国・英・社・心選	2

講義のねらい

私たちが今日知っている学校教育という営みは、近代という時代の到来とともに出現した制度であり、また近代社会を成り立たせる不可欠の制度でもある。この「公教育」のバックボーンとなった思想、歴史的経緯、その特色や社会的帰納について概観し、今日の教育やそれが直面する諸問題について考えるための手がかりを探索する。

講義の内容・授業スケジュール

とりあげるテーマ群として以下のようなことがらを予定している。
・近代社会と教育
・学校という場

履修上の留意点

自分が通ってきた学校やそこで受けてきた教育について、批判的に再考する姿勢を求める。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育の思想 (前期)	はぎ わら けんじろう 萩原 建次郎	英文文・福祉・心理2選	2

講義のねらい

この授業を通し、「私」とのかかわりにおいて「学ぶこと」「生きること」をとらえ直す機会をもちたい。そのために自らの学校教育体験を、人間形成の大きな流れ、ライフサイクルという視座から問い直すこと。そこから、自らの学校教育体験に依拠しながら暗黙のうちに意味付けてしまっている「教育」や「学習」について相対化する視点と感性を養いたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ①学習体験をふりかえる－「学び」のマップづくり
- ②人間形成のプロセスをふりかえる1－私のライフライン
- ③人間形成のプロセスをふりかえる2－「学び」の自分史
- ④人間形成のプロセスを考える－ライフサイクル論の検討
- ⑤人間形成に関わる「重要な他者」を考える－子育てエージェントの歴史と現状
- ⑥あらためて私・学校・教育・学習を考える

履修上の留意点

この授業は講義だけではなく、受講者自身の作業が多く含まれる参加型学習である。よって授業への積極的な参加姿勢が求められる。小レポートを毎回提出してもらう。

成績評価の方法

小レポート、作品の提出状況、授業への参加度、学期末レポートを総合して評価する。

教科書

とくに使用しない。

参考書等

そのつど紹介する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育と社会 (後期)	とよ た ちよこ 豊田 千代子	国文2選	2

講義のねらい

教育と社会とは、相互に緊密な関係にある。教育は社会のあり方に影響を受けるとともに、社会にも影響を及ぼしている。したがって、教育を考える場合、それを社会と切り離して考えることはできず、社会の中での教育・教育の中にみられる社会という視点からの検討が不可欠であろう。授業では、現代における教育の諸問題を総合的にとらえる力を形成するために、このような視点を養うことをめざしたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ・学習体験のふり返り
自分たちが受けてきた教育をふり返り、その中でみえてきた教育のさまざまな問題を、社会の歴史や構造等との関連で検討する。
- ・教育と人権
障害者、女性、在日外国人、義務教育未修了者などの教育に焦点を当て、それらの教育と社会との関係を考える。

成績評価の方法

出席点、レポート等により成績評価を行なう。

教科書

教科書は用いず、必要に応じて資料を配布する。

参考書等

適宜紹介する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育と社会 (後期)	きたむらみつこ 北村三子	国・英・地・理・史・倫	2

講義のねらい

教育のあり方と社会のあり方との間には密接な関係がありますが、本講義では、とりわけ、近代社会と教育との関係を中心に考察してゆきます。今まで体験してきた学校教育をもう少し広い視野から捉えなおし、自分達がどのように社会的に形成されてきたのかを改めて考えてみたいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①近代学校システムの特質……近代学校システムの成立とその特徴について論じます。
- ②近代学校システムを越えて……教育に関する具体的な問題を通して近代学校システムの矛盾について考察し、今後の教育のありかたを探ります。

履修上の留意点

この科目は教養教育科目ですが、同時に教職の専門科目でもあります。教育に関心をもつ人の参加を期待します。

成績評価の方法

出席状況とレポートにより評価します。

参 考 書 等

教場で指示。

そ の 他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育と社会 (後期)	いとうしげき 伊藤茂樹	理・史・地・社・倫・理	2

講義のねらい

学校教育という営みは社会のあり方や他の諸領域に広く影響されると同時に、社会に影響を及ぼす関係にある。また一方で、学校という場もひとつの社会を形成している。こうした観点から、現代社会における学校教育が直面している諸問題や、これからの時代に学校教育が向かおうとしている方向性について、多面的に考えていく。

講義の内容・
授業スケジュール

- とりあげるテーマ群として以下のようなことがらを予定している。
- ・現代の教育問題
- ・教育改革の現在

履修上の留意点

ふだんから教育に関するニュースに気をつけ、自分なりに考えることを心がける。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教 科 書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

そ の 他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育と社会 (後期)	はぎ 原 けんじろう 萩原 建次郎	英文文・福祉・心理2選	2

講義のねらい

80年代半ばから不登校問題とともに「居場所」という言葉がマスコミに登場したが、いまや教育学、心理学、社会学においてもキーワードになっている。居場所の喪失感が静かに広がる中で、私たちはそこにどのような人間の姿、世界の在り様を感じるのだろうか。

この授業ではまず、子どもの自己形成空間と若者の文化変容、大人と子ども・若者の関係性の変容を読み解きながら、「居場所」が何において生まれ、何において失うのかを探っていく。次に「居場所」となりうる場のデザインを目指した具体的な方法論はあるのか、子ども・若者の居場所にかかわるいくつかの実践を手がかりに検討し、教育の可能性を考えていく。

この授業を通して、「居場所」を切り口として今いる自分を見つめなおしながら、他者(子ども・友人・親・先生など)とのかかわりの質を問い直し、さまざまな場面での教育実践に応用していける視点と感性を養ってもらいたいと願っている。

講義の内容・授業スケジュール

- ①「居場所」をめぐる言説の登場
- ②「居場所」の意味を読み解く
- ③子ども・若者の自己形成空間の変容
- ④子ども・若者の居場所空間をデザインする
- ⑤「居場所」に関わる指導者論
- ⑥「居場所」と子どもの参加論

履修上の留意点

授業はできるだけ参加型学習をとりいれたいので、積極的な姿勢が求められる。小レポートを毎回提出してもらう。

成績評価の方法

小レポート、出席状況、授業への参加度、学期末レポートを総合して判断する。

教科書

田中治彦編著『子ども・若者の「居場所」の構想-「教育」から「関わり」の場へ-』(学陽書房) 3,000円

参考書等

久田邦明編著『子ども・若者の居場所』(萌文社)
ロジャー・ハート著『子どもの参画』(萌文社)

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
発達と学習の心理学 (前期)	おお ば ぎ く こ 大 浜 幾久子	国文・英文文2選	2

講義のねらい

子どもが大人になる過程を20世紀の心理学は、どのようにとりあげ、また解明しようとしてきたのだろうか。他の諸学問分野が心理学の成立に果たしてきた役割にも言及しつつ、次のような基本的な問題をめぐる諸研究を学んでいく。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 発達と学習は、どのように定義され、また両者の関係はどのように説明されるのか。
- 2) 知能の発達と情意の発達は、どのような関係にあるのか。
- 3) 障害をも含む発達および学習における個人差を、どのようにとりあげ得るのか。

成績評価の方法

レポート提出を中心とした評価の予定である。

教科書

参考資料等については、必要に応じて準備、指示していく。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育心理学(教育方法論を含む)」あるいは「青年心理学(教育方法論を含む)」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
発達と学習の心理学 (前期)	やまもとまさと 山本政人	観・融・検・融・心理	2

講義のねらい

児童・生徒の発達と学習のメカニズム、およびそれらへの援助、指導のあり方について、教育心理学の見地から概説する。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|---------|-----------|
| ①発達とは何か | ⑥学習理論 |
| ②発達の要因 | ⑦学習の要因 |
| ③発達理論 | ⑧発達と学習 |
| ④人格発達 | ⑨発達と教育 |
| ⑤認知発達 | ⑩発達・学習と臨床 |

履修上の留意点

不定期に小レポートを課すことがある。

成績評価の方法

学期末試験の成績に小レポートの成績を加味して行う。

その他

講義形式で行う。教科書は指定しない。参考書は授業で紹介する。授業で資料を配布することがある。

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育心理学（教育方法論を含む）」あるいは「青年心理学（教育方法論を含む）」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
発達と学習の心理学	すみのぜんじ 角野善司	文学部全学科2選	2

講義のねらい

教育心理学は、教育現場に対して心理学的にアプローチする学問であり、教師が、生徒を理解し、効果的な教育を行うためにはどうしたらよいかを、多様な観点から心理学的に考えようとするものです。この科目では、教育心理学の中でも、特に発達と学習に焦点を当てていきます。講義を通じて学び、考えたことを、生徒と接する際のヒントにしてほしいと願っています。

講義の内容・授業スケジュール

- (1)教育心理学とは (2・3)発達観の変遷 (4・5)発達の規定因 (6)教育の最適期
(7)発達段階と発達課題 (8)学習への動機づけ (9)内発的動機づけ (10)学習性無力感
(11)原因帰属 (12)学習目標と遂行目標 (13・15)補遺

履修上の留意点

この科目は、教職課程の科目として開講されます。白らの意志で免許・資格の取得を目指す以上は、毎回出席するのはもちろんのこと、授業を聴きながら考えるという主体的な態度で臨んでください。また、教養教育科目として履修する学生にも同様のことを要求します。他の教養教育科目以上に単位の取得は困難だと思いますので、それを承知の上で受講してください。

成績評価の方法

免許・資格の取得に関連する科目なので、単位認定の基準を甘くするわけにはいきません。成績評価は、毎回の授業で行う小テスト・課題提出状況・学期末テスト・学期末レポートの4つに基づいて行う予定です。小テストは、その日の授業で取り上げた内容に関する問題を出题して、全問正解した場合に限り合格とします。合格した回数が授業回数半分の以下ならば、学期末テストの受験、レポートの提出を認めず、単位は付与しません。

教科書

使用しません。講義は、図表などを載せた資料プリントを活用して進めます。

参考書等

講義の進行に合わせて、適時紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
カリキュラムと学習 (後期)	おおはま きくこ 大 浜 幾久子	国文・英米文2選	2

講義のねらい

はじめに、学生自身が学んできた小学校、中学校、高等学校における教育課程がどのように編成されていたのかを、当該の学習指導要領により考える。次に、現行の新しい教育課程を学び、その背景にある基本的考え方について考察していく。とくに教科・科目等の具体的内容の削減や再編については、子どもの発達と学習の観点からの考察を深めたい。さらに、諸外国における学習課程の歴史や編成原理について、異文化間教育学的な観点から検討を試みる。その際、潜在的カリキュラムにも注目することとする。

成績評価の方法

レポート提出を中心とした評価の予定である。

参考書等

『(小学校・中学校・高等学校) 学習指導要領』文部科学省
その他の参考資料については、必要に応じて準備、指示していく。

その他

前期に、「発達と学習の心理学」を履修することを原則とします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
カリキュラムと学習	なつばり ちか 夏 堀 睦	観・聴・読・観・聴	2

講義のねらい

今日、教育実践のなかで相対評価から絶対評価への移行や総合学習の導入に伴い、教育評価の問題が重要となってきています。教育心理学の領域では、これまでにさまざまなテスト開発や教育実践の分析を通じて、教育評価の問題にアプローチがなされてきました。

この講義では、過去の教育評価の知見を紹介するとともに、児童期の発達の特徴と重ね合わせながら、子どもの教育評価の問題を考えていきます。そして、児童への評価の方法とともに、授業分析および授業評価の方法、教師の自己評価の問題も取りあげます。具体的には、まず児童期の発達の特徴をさまざまな発達理論から概観します。第二に、形成的評価、到達度評価等これまでの教育評価の方法と問題点、また評価の心理的影響についての知見を紹介します。第三に、授業分析と授業評価に関する方法論と教師の自己評価について、さまざまな研究から得られた知見を紹介します。最後に、最近創造活動に関わる分野で注目されているポートフォリオ評価の内容と実践例について検討します。

講義の内容・授業スケジュール

①児童期の発達の特徴と評価内容 ②児童と学校文化 ③評価の心理的影響 ④教育評価の方法論 ⑤ポートフォリオ評価の内容 ⑥ポートフォリオ評価に基づく実践

履修上の留意点

実践案を考えてもらう課題を出します。書籍、雑誌、テレビ等で具体的な教育実践が紹介されていると思いますので、積極的に実践例を収集しておいてください。

成績評価の方法

出席点、レポートによる総合評価。

教科書

特に指定しません。

参考書等

梶田淑一『教育評価【第2版補訂版】』(有斐閣双書)
B. D. シャクリー/N. バーバー/R. アンブローズ/S. ハンズフォード著 田中耕治 監訳
『ポートフォリオをデザインする—教育評価への新しい挑戦—』(ミネルヴァ書房)

その他

パワーポイントを使い、講義形式で行います。
この科目は、平成11年度以前入学者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
カリキュラムと学習	すみのの 野 善 司	文学部全学科2選	2

講義のねらい

この科目では、カリキュラムの編成・実施を中心テーマとして取り上げ、それが生徒の学習をどう規定し、どう導いていくかを検討していきます。これからの教育がどのようなカリキュラムで行われていくべきかを、各自考えてほしいと願っています。

講義の内容・授業スケジュール

(1)カリキュラム（教育課程）とは (2)カリキュラムに関する法制 (3)カリキュラム編成の原則 (4)学習指導要領改訂の歴史 (5・7)平成10年(11年)学習指導要領改訂の経緯と基本方針 (8・10)平成15年学習指導要領改訂の経緯と基本方針 (11・12)平成15年改訂学習指導要領の下での教育評価 (13・15)補遺

履修上の留意点

この科目は、教職課程の科目として開講されます。自らの意志で免許・資格の取得を目指す以上は、毎回出席するのはもちろんのこと、授業を聴きながら考えるという主体的な態度で臨んでください。また、教養教育科目として履修する学生にも同様のことを要求します。他の教養教育科目以上に単位の取得は困難だと思しますので、それを承知の上で受講してください。

成績評価の方法

免許・資格の取得に関連する科目なので、単位認定の基準を甘くするわけにはいきません。成績評価は、毎回の授業で行う小テスト・課題提出状況・学期末テスト・学期末レポートの4つに基づいて行う予定です。小テストは、その日の授業で取り上げた内容に関する問題を出題して、全問正解した場合に限り合格とします。合格した回数が授業回数の半分以下ならば、学期末テストの受験、レポートの提出を認めず、単位は付与しません。

教科書

開講時に指示します。講義は、図表などを載せた資料プリントも活用して進めます。

参考書等

講義の進行に合わせて、適時紹介します。

その他

この科目は、平成11年度以前入学者は履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学 〔社会生活を考える〕	お ぼた かず 小 畑 和	国文・英米文選	4

社会分野

講義のねらい

社会学はつかみどころのない学問と言われますが、その理由は、社会学が「社会人の形式として社会関係や社会集団を研究するだけでなく、家族、人口、経済、法律、政治、企業、教育…等々の領域を一切含み込んだ社会全体を研究する学問だからです。それ故に幅広く、内容も多種多様で、明確な統一的立場を見出し難い性格を持っています。

講義では、生産力と消費力の2つのキー概念を用いて現代社会の構造を捉え、人々の社会生活が生産と消費の社会的環境の中でどのように影響されているかを明らかにしたい。また講義を通して「巨視的 (Macroscopic) なものの見方」を身に付けて貰いたい。

講義の内容・授業スケジュール

この講義では「ゆたかさは人間を幸せにしたか」を主テーマに、人々の社会生活を誕生から老後に至る過程を追いながら次の7つの要因について講義する。

- ①マクロ的要因 (現代の生産の意味、生産力と消費力の関係が個人の社会生活にどのような影響を与えるかを中心に現代社会 (少子社会) を総合的に講義する。)
- ②誕生に関する要因 (出生・墮胎・殺児…)
- ③幼児・子供の成長に関する要因 (育児・保育・遊び・いじめ・体罰・塾・進学…)
- ④家庭生活に関する要因 (核家族化、晩婚晩産化、生涯独身、パート、共働き、残業、余暇、離婚の増大…)。
- ⑤消費生活に関する要因 (広告・宣伝・ローン、消費者教育、自己破産、ホームレス問題、ゴミ問題等の消費者問題…)
- ⑥会社生活に関する要因 (入社、転職、失業、終身雇用制の崩壊…)
- ⑦老後の生活に関する要因 (年金、介護、生きがい、死の問題…)などを講義する。

この7つの要因を通して、全体として現代社会の社会生活を考えて見たいと思います。

履修上の留意点

初回の講義で説明する。

成績評価の方法

五段階2乗方式によるが、そのやり方は初回の講義で説明する。

教科書

初回の講義で説明する。

参考書等

初回の講義で説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学 〔社会生活を考える〕	奥 炳 三 <small>お びん さん</small>	娯・融・社・融・心理	4

社会分野

講義のねらい

社会学は個人、集団、社会などを対象とし、その分野は、「家族」「経済」「企業」「教育」「宗教」「文化」など様々である。このような分野において特徴的であるといえる問題は何だろうか。また、われわれは、それらの問題を解決するためにどのような手段を取りうるのか。この講義は、前期は社会学の基礎となる諸概念を踏まえた上で、後期よりは、以下のようなトピックスに焦点をあてて、現代社会の特徴的な問題について考察を深めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 現代の社会変動にともなう家族の変化をおう。特に乳幼児期における親との関わりや家族生活における様々な要因によって子供の社会化に影響を与え、または青春期や高齢期に様々な問題が現れる。このような一連をみていくとともに、少子化・高齢化といった家族に関する諸問題の検討。
- (2) 経済のグローバル化にともなう企業活動の意義、特に企業人の「豊かさ」と「余暇」の問題。
- (3) 社会・文化的産物として男性・女性はいかにして生産されていくのだろうか。「恋愛」、「性」、「結婚」といった事項を中心に「ジェンダー（社会的な性）」の問題を考える。
- (4) 若者文化（ユース・カルチャー）が現代において果たす役割とは？など文化を通じて日本人の心を分析していく。

履修上の留意点

授業を通じて、何かを学びたい学生は歓迎します。何の目的意識もなく、時計の振り子のように「出席さえすればよい」、また「教養科目なので、簡単に単位がとれる」と思っている学生は履修しないようお勧めします。

成績評価の方法

前・後期末に筆記試験を行う。詳細は開講時に説明する。

教科書

労働・福祉研究会『21世紀の労働と福祉』（学文社）2,500円

参考書等

講義の中に、その都度お知らせします。

その他

水曜日・4時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
統計学 〔社会現象の統計的分析〕	稲 葉 敏 夫 <small>いな ぼ とし お</small>	文学部全学科選	4

講義のねらい

情報化時代においては、情報洪水の中で何が必要な情報で、何が不必要かの適切な選択が益々大切となってくる。どの様にしたら統計を適切に利用できるかを主眼に授業を進める。

講義の内容・授業スケジュール

前期は基本的な概念を説明する。平均値、標準偏差、2変量間の関係を表す相関係数、そして回帰直線を扱う。また、確率概念を導入することによって、平均値、標準偏差をとらえ直す。後期は統計的推測の基礎を講義する。世論調査における政党支持率の変化は統計的に意味があるのか、新薬は旧薬よりもはたして効き目があるのかなど、身近な例を取り上げる。

成績評価の方法

平常点とレポートによって評価する。再試験は実施しない。

教科書

稲葉三男・稲葉敏夫・稲葉和夫著『経済・経営 統計入門』（共立出版）2,100円

その他

授業は講義の形態をとるが、時々ごく簡単な計算を受講者にもしてもらい、数式の使用はできるだけ避け、主として図や表を使用して説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化人類学 〔社会変化と価値観〕	小川 順敬 <small>おがわ としゆき</small>	国文選	4

講義のねらい

文化人類学(以下、人類学)とは様々な民族の社会や文化を対象とし、人間のもっている「文化」をトータルに考察しようとする学問です。人類に多様な文化を対象とする人類学の方法の特徴は比較研究にあります。単に文化の違いを明らかにしようとするだけでなく、比較を通してその差異と共通性について考え、文化とは何か、人間とは何かを考えようとしています。人類学の研究対象領域は広範で、研究方法も多岐にわたります。この講義では「社会変化と価値観」というテーマにそって文化人類学の基本的な考え方、研究方法等を解説にすることにしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

人類学の調査対象である「異文化社会」とは多くの場合、非西欧世界の伝統社会を意味しています。それらの社会は15、6世紀の大航海時代以降「発見」され、以降はげしい近代化、社会変化・文化変化の波に洗われてきました。人類学は「西欧文化」との接触によって変容しつつある社会を調査し続けてきたのです。伝統的政治組織の変容や解体、近代の科学技術や、新たな経済システムの導入、新しい宗教、新たな価値観が伝統社会にもたらした変化はどのようなものだったのでしょうか。この講義では、人類学が取り上げてきた様々なテーマを、社会変化、文化変容という角度から紹介していきたいと思っています。

成績評価の方法

評価はレポートと年度末の筆記試験により行います。夏休み休暇前にレポート課題を出します。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方式、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書

祖父江孝男『文化人類学入門』(中公新書560番 中央公論社)

参考書等

講義の内容に関連する参考文献は適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化人類学 〔社会変化と価値観〕	内山 明子 <small>うちやま あきこ</small>	英数・融・社・観・心理	4

講義のねらい

文化人類学は、研究者が属す世界と正反対の全く異質な世界に属す「他者」、すなわち「未開」に代表される近代文明以外/以前の社会を調査対象とすることで、多様性に富んだ人類の姿を提示したり、全人類に普遍的な特徴を求めたりしてきた学問である。また、そのような「他者」を調べることによって、「他者」の目に映る近代文明の姿を描き批判していく学問としても大きな役割を果たしてきた。実際にはそのような「他者」たちは、私達と同じ近代文明世界の一員として、市場経済に組み込まれ、植民地、そして、その後は国民国家の中で生きてきたのだが、文化人類学はそのことに長いあいだ目をつぶってきたのだ。しかし、1980年代頃からそのような文化人類学に対して、他の学問や、今まで調査対象とされてきた人々の間から厳しい批判の声があがるようになり、文化人類学の側からも学問の基本的な枠組みの見直しが積極的に進められてきた。

本講義では、従来の文化人類学がどのように批判されどう見直されようとしているのかに重点を置くことで、社会変化と価値観をめぐる諸問題を扱っていくことにする。地球規模で人々やモノが移動し、テクノロジーが猛スピードで変化している今日に生きる私達は、それまで当然のこととして受け入れていた諸概念を次々と見直していく必要に迫られている。そのために必要な柔軟なものを見方をしていく切っ掛けとして、文化人類学を学んでくれることを期待している。

成績評価の方法

学期末の筆記試験を成績評価の中心に据えるが、他に夏休みの課題レポート、及び授業で取り上げるビデオに関する感想文提出なども成績評価のさいに考慮していく。

教科書

教科書は指定しない。参考文献を授業中に紹介していく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と権利〕	ぬま た まさ ゆき 沼田雅之	国文・英米文選	4

講義のねらい

この講義のねらいは、今の社会を「法」という道具を通して見る訓練をおこなうことにあります。ですから、本講義以前に私がみなさんに求める能力は、今の時代の「風」を敏感に感じとることができる能力です。それには「想像力」が大切です。それまでに培ってきた「教養」をフルに活用してもらいたいと思います。

法は、「黒」か「白」かの区別をつける作業であるという側面は否定しがたいですが、社会の高度な発展にともなって、「黒」と「白」の隙間をどのように考えるかがとても大切な作業になっています。ですから、決して単純な学問ではないことは、覚悟しておいてください。

そうはいつても、決して難解なばかりの学問ではありませんから、気楽な気持ちで受講していただきたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

(前期)

1. ガイダンス 2～3. 法と法学への道 4. 国家生活と憲法 5. 自由と平等
6. 現代社会の人権 7. 行政と法 8. 犯罪と刑罰 9. 教育と法
10. 契約取引と法 11～12. 予備日

(後期)

13. 市民生活と不法行為 14. 企業と法 15. 金融取引と法 16. 家族生活と法
17. 労働と法 18. 社会保障と法 19. 私的紛争とその解決 20. 国際社会と法
- 21～24. 予備日

履修上の留意点

留意点は特にありませんが、感想・要望、また法学を履修する上での疑問点など、みなさんの意見には率直に耳を傾けますので、講義中、講義終了後を問わず、積極的に意見を言っていたいただきたいと思います。

成績評価の方法

基本的には後期試験(筆記)のみで評価します。出席はとりません。なお、向学心のある学生、または後期試験だけでは不安な学生向けに、任意提出のレポート課題を出す場合もあります。この場合、そのレポートの得点は後期試験に加点いたします。

教科書

教科書として次のものを指定します。プリント等は配布しません。各自テキストを用意してください。森泉章『法学(第3版)』(有斐閣)2,500円。また、コンパクトなもので結構ですから、最新の六法を用意してください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と社会生活〕	はせがわ ひでよ 長谷川日出世	国文・英米文選	4

講義のねらい

我々は、好むと好まざるとにかかわらず、法と密接なかわりのある生活を強いられている。しかしながら多くの場合、我々はこの事実を知らず、何等かの法的問題が発生した時に初めて、これに気付く。

本講義では、まず、社会生活を営む上で不可欠な、社会規範としての法の生成およびその性質についての分析をおこなう。そして、次に、そこで得られた法概念を基礎に、国家の基本法である憲法と我々のかかわりあいを検討する。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、法を学ぶために必要な基礎的知識の習得を目指す。具体的には法と道德の関係、法と強制、法の体系性、国家と法、実定法上の原則等。

後期は、日本国憲法を具体的に検討する。特に、日本国憲法の基本原理の成り立ち、基本的人権の保障規定等についての検討。

成績評価の方法

定期試験によるものとする。

教科書

長谷川日出世著『法の基礎概念と憲法』(成文堂)

参考書等

『ポケット六法』(有斐閣)

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と社会生活〕	けい とく ひろ とし 鷄 徳 啓 登	地理・歴史選	4

社会分野

講義のねらい

よく「社会あるところ法あり」といわれる。その社会にある法とは何かを研究するのが法学であり、根本的理念、法の目的などを研究する。また、憲法は国家の基本法として他の法令の根幹をなすものであり非常に重要な法である。そして、憲法制定後50年経過した現代に至って国外的、国内的に、社会情勢の変化に伴う新しい問題が生じてきている。本講義は、これら諸問題を法的に把握し、結論を出し得るようになることをねらいとする。

講義の内容・
授業スケジュール

法学の講義は次の内容を中心として行う。

- (1) 社会生活と法
- (2) 法の意義・効力
- (3) 法規範と他の社会規範との差異
- (4) 法の分類と解釈の方法
- (5) 市民法の概論
- (6) 刑事法の概論
- (7) 法と裁判

憲法の講義は、次の内容を中心として行う。

- (1) 憲法の意義
- (2) 憲法の種類
- (3) 明治憲法の原則と特質
- (4) 現憲法の原則 基本的人権の主体
- (5) 基本的人権の分類
- (6) 各種基本的人権の内容
- (7) 国会の仕組みとその作用 行政機関の仕組みとその作用
- (8) 裁判所の仕組みとその作用
- (9) 地方自治

成績評価の方法

出席状況と試験による。

教科書

小林弘人・松村格編著『法学・憲法』（八千代出版）3,500円

参考書等

『小六法』または『ポケット型小六法』（出版社・定価各種）及び参考書は教場にて説明致します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
法 学 ・ 憲 法 〔法と国家〕	さとう たみお 佐藤 多美夫	社会・福祉・心理選	4

講義のねらい

私たちは、社会の中で生活しているが、それは現代法の中で活動していることでもある。社会の仕組みや働きは、憲法を中心として刑法・民法・商法・労働法・経済法・行政法などの法によって規律されている。この講義は、政治・裁判・市民生活・経済・文化などの分野における現代法の原理や仕組みを把握しようと思う。私たちは法によって規律されてはいるが、また、法を利用し法を制定・改廃するのも私たちである。この講義が、このような現代法の実態と諸問題を理解するために役立てればと考えている。

社会分野

講義の内容・ 授業スケジュール

- I 現代法の特徴
 1. 法とは何か
 2. 近代法の原理と展開
 3. 明治憲法から日本国憲法へ
 4. 現代資本主義と法
- II 政治機構と法
 5. 国民主権と政治権力
 6. 民主的統治の機構
 7. 権力分立の原理
 8. 地方自治の保障
 9. 政治からの自由
 10. 政治への参加
 11. 政治機構と政党
 12. 国際政治と国際法
 13. 国際政治と人権
- III 裁判と法
 14. 裁判の機能
 15. 刑事裁判の原則
 16. 民事裁判の原則
 17. 行政訴訟と不服審査
 18. 憲法訴訟の問題
 19. 法と判例
- IV 生活と法
 20. 市民生活と法
 21. 財産法の原則
 22. 個人と法人
 23. 家族法
 24. 夫婦・親子・扶養
 25. 相続と法
 26. 公安条例と集団行動の自由
 27. 検閲と表現の自由
 28. 刑事手続と人権
 29. 生存と人権
 30. 市民法から社会法へ

履修上の留意点

ノートを作成することが望ましい。

成績評価の方法

筆記試験と出席の総合評価とする。

教科書

開講時に指示します。(欠席しないように)

参考書等

『ポケット六法』(有斐閣)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法学・憲法〔法と権利〕 (夏季集中)	ふじもと しげる 藤 本 茂	全学科選	4

社会分野

講義のねらい

本講義は、法についての基礎的事項の学習や新聞などによる身近な法的問題の解説を通して、以下のことを学んでもらうことを目的としている。

- ・高校までの学習法とは違う、法学の学び方について学んでもらう。
- ・法学や法を学ぶうえで必要な基礎知識を身につけてもらう。
- ・我々と法との関わりを現代的問題を手がかりに学んでもらう。

講義の内容・
授業スケジュール

できるだけ具体的な問題・事例にふれながら、法に触れて感じてもらうことにつとめたいと思う。教科書を順次説明するという形式はとらない。もっぱら、プリントを配布するなどして授業を進める。

出席することが重要になる。

講義スケジュールについては、

- ・法的思考を形成する基本的な諸概念
- ・現代法にいたる法の発展（西欧近代法の形成をふくむ）の概観
- ・近現代法の原理の概観。特に憲法の諸原理
- ・基本的人権
- ・現代社会問題に対する法的視角からの検討 などなど

なお、これは予定であり、講義開始時にあらためて伝える。また受講者の反応に応じて、変更することがある。

履修上の留意点

講義中、質問は歓迎。私語はNO、携帯電話はOFF、内職はNO、用なく席を立つのはNOなど、授業でのマナー厳守のこと。

成績評価の方法

記述式試験。また、出席を重視する。レポート等を実施することもある。これらを総合して評価する。

教 科 書

伊藤正巳・加藤一郎編『新版現代法学入門』（有斐閣双書）。学習の道しるべとして大いに活用してもらいたい。また、講義で言及できない部分を教科書の記述に委ねることがある。そうした場合は口頭、板書で触れなかったことがらでも試験の範囲となりうると考えて欲しい。

参 考 書 等

参考書として、たとえば、道垣内正人『自分で考えるちょっと違った法学入門』（有斐閣）、渡辺洋三『法とは何か』（岩波新書）。その他授業で、読んでほしい文献を紹介する。

そ の 他

六法は、毎回は使わないが、持参して授業に臨んでほしい。

授業日程

前半		1	2	3	4	5	後半		1	2	3	4	5
8月2日	月	○	○	○	○	○	8月20日	金					
8月3日	火	○	○	○	○	○	8月23日	月					
8月4日	水	○	○	○	○	○	8月24日	火					
8月5日	木	○	○	○	○	○	8月25日	水					
8月6日	金	○	○	○	○	○	8月26日	木					
8月9日	月	○	○	○	○	○	8月27日	金					

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政 治 学 〔社会生活とデモクラシー〕	おおやま れいこ 大 山 礼 子	国文・英米文・地理選	4

講義のねらい

この講義の目的は、一人一人が良き有権者として、選挙での投票をはじめとするさまざまな機会に政治と適切に関わっていくための基礎づくりにある。政治学の基本的な知識を身につけることによって、マスメディアの政治報道を鵜呑みにせず、自分自身で考える力を養っていただきたい。

1年間をとおして受講すれば、テレビや新聞の政治関連ニュースが面白くなるはずである。

講義の内容・授業スケジュール

基本的には教科書の順序にしたがって2回で1章を読むペースで講義を進めるが、そのときどきの時事的な問題も扱う。わかりやすい教科書なので、必ず事前に一読し、予習しておくこと。また、一方的に講義を聴くだけでなく、毎回、感想や簡単なレポートなどの提出を求めるので、積極的な参加を期待する。

主な講義内容は次のとおり。1) 政策決定、2) 規制緩和、3) 企業と政治、4) 選挙、5) 地方分権、6) マスメディア、7) 国会、8) 内閣と首相、9) 官僚、10) 国際政治。

履修上の留意点

新聞の政治面に目をとおす習慣をつけること。

成績評価の方法

受講者の人数にもよるが、定期試験は行わず、レポートや小テストの結果、質問・感想票の提出状況によって評価する予定である。

教 科 書

真淵勝、久米郁男、北山俊哉『はじめて出会う政治学（新版）』（有斐閣アルマ、2003年）

社会分野

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政 治 学 〔政治システムと政治参加〕	とみ きま たかし 富 崎 隆	歴史・社会・福祉・心理選	4

社会分野

講義のねらい

「2001年9月11日、世界が変わった」と表現されることがある。米同時多発テロを境に、「ポスト冷戦」が終了し、「新しい時代」に入ったとする論者は多い。しかし、世界政治の方向性がはっきりとしている訳ではない。一方、世界の急速なグローバル化と情報化を背景に、膨大な情報が、テレビ、ラジオ、新聞、コンピュータ・ネットワークを通じ流通している。しかし、これらの情報を単に漫然と受け取っているだけでは、毎日起こる事件の本当の意味は理解できない。事件や出来事を整理する「体系的視点」がどうしても必要となる。政治学を学ぶ基本的な意義もここにある。

本講義では、政治学が蓄積してきた視点を、最新の成果を含めた形で、かなり網羅的に、かつ現実政治との連関を失わないように検討し、受講生が日々の政治的事件に対し自分の見解をもつための土台を提供したい。講義は、大きく「マクロ政治学」、「ミクロ政治学」、「国際政治学」3部に分かれる。講義全体として、特に現代における「国家」と「民主主義」の意義と役割、その動態について明らかにし、考えてもらうことを中心テーマとしていきたい。さらに、今日の対テロ問題とグローバル化・情報化が現代政治と政治学にどのように影響を与えるかについても検討していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- I マクロ政治学－国家と自由民主主義体制の枠組み－
 - 1. 政治・権力・国家の意味
 - 2. 望ましい「国家」のあり方（1）；国家の仕事の範囲
 - 3. 望ましい「国家」のあり方（2）；国家の運営方法
 - 4. 自由民主主義体制の意味
 - 5. 民主化と体制変動
 - 6. 自由民主主義体制の比較枠組み
- II ミクロ政治学－自由民主主義体制の作動メカニズム－
 - 1. 政党と政党制
 - 2. 有権者の投票行動と選挙
 - 3. 官僚制と議会
 - 4. 利益集団とマスメディア
 - 5. 中央地方関係
- III 国際政治学
 - 1. 国際政治の意味
 - 2. 国際政治の主要理論潮流
 - 3. 日本の外交政策
 - 4. 冷戦後の世界政治展開をみる新視点

成績評価の方法

受講生と相談の上、総合的に評価する。

教科書

青木・大谷・中邨編『国家のゆくえ－21世紀世界の座標軸－』（芦書房）2001年

参考書等

適時指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 学 〔現代経済理解へのガイド〕	はし もと ひろ あき 橋 本 泰 明	文学部全学科選	4

社会分野

講義のねらい

経済学的なものの見方、考え方を修得することを目標とする。より具体的には、前期では、日本経済の現状を念頭におきつつ、一国の国民の所得や労働環境の決まり方を理論的に把握し、後期では、消費者と生産者の経済的行動が、ものの価格の決定にどう作用するのかを理解することを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

前期：日本経済の概観 経済循環 国民所得 消費・貯蓄 国民所得の決定要因の分析 物価
為替変動と国民所得
後期：需要と供給 無差別曲線 所得の制約 需要量の決定 生産曲線 費用曲線 限界費用
曲線 利潤最大化 供給量の決定 市場による価格決定 余剰概念 市場の効率性

履修上の留意点

さまざまな経済政策の背後にある理論の基礎を理解することが目標であるので、かなりの出席率を確保し、しかも授業中に脳細胞を働かせて思考し、論理展開を十分理解することが大切である。いったん考え方をマスターしてしまえば、かなりの応用が利き、試験のための丸暗記は不要になるであろう。

成績評価の方法

前期と後期の二回の筆記テストおよび授業中に課せられる小レポートによる。なお再試験は実施しない。

教 科 書

小野編著『現代経済学の基礎』（学文社）3,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会科学論 〔社会認識の思想〕	大石雄爾	全学科選	4

講義のねらい

私たちをとりまく社会はめまぐるしく変化しています。日本はいまだに「複合不況」とよばれる深刻な経済スランプから抜け出せていません。近年、危機に見まわれたアジア諸国の人も、貧困にあえいでいるばかりか、好調に推移してきたアメリカ経済も大きくゆらいでいます。また、世界中の国々が協力して地球環境破壊を防止しようと前向きの姿勢を示しているときに、他方では、中東などの地域には戦闘の火だねが残っているのです。こうした問題を私たちはどのように扱えばよいのでしょうか。

人々は、人種や信条のちがいを問わず、より豊かに、より自由に、より安全に生活できることを願っています。社会科学は、社会の仕組みと法則性を明らかにすることを通して、こうした人類の願いに応える道を探ることを課題としています。

社会科学は、17世紀におけるイギリス資本主義経済の発展とともに芽生え、19世紀、機械制大工業の確立とともに体系的なものへと発展してきました。社会の変化とともに、社会を支配する法則の認識も発展してきたのです。

この講義では、資本主義の経済とそこにおける法や国家の仕組みに焦点をあてて、社会的諸関係を把握する方法について考えてゆきます。とくに、社会科学の前進にとって重要な意味をもった社会学者・思想家の社会観および思想をとり上げ、現代的な意味について考えます。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 思考する楽しみ
2. 社会科学とは何か
3. 社会の歴史的発展と社会思想
4. 社会科学の生誕：ホップスとロック
5. 資本主義経済の把握：スミスとリスト
6. 資本主義の経済と国家：マルクスとウェーバー
7. 現代資本主義の捉え方：レーニン・ケインズ・ガルブレイス
8. 現代社会の思想的諸潮流

なお、現代社会の時事的な諸問題についても時折とり上げ、解説してみるつもりです。

履修上の留意点

講義を聴きながらノートをとるという作業を1年間続けることによって、皆さんの理解力、書写能力も飛躍的に高まります。講義には、毎回欠かさず出席することを望みます。

成績評価の方法

授業中に小レポートを作成してもらうことがあります。成績は、この小レポートと後期に行なわれる定期試験の点数の合計点で評価します。再試験は実施しません。

教科書

特に指定しない。

参考書等

高嶋善哉『社会科学入門』（岩波新書）
平野喜一郎『社会科学の生誕』（大月書店）
城塚登編著『社会思想史の構図』（八千代出版）
大石雄爾『商品の価値と価格』（創風社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育学 〔デス・エデュケーション〕	やなぎ 柳 ぼり 堀 すがこ 素雅子	全学科選	4

講義のねらい

死の問題をさまざまな視点から考えていく。病気による死、殺人による死、事故による死、戦争による死、自殺死など死の原因はさまざまである。いずれにしても「人間の死」には変わらないが、死んでいく本人、そして遺族をはじめとする周囲の人々に与える影響は異なってくる。

現在のところ「デス・エデュケーション」あるいは「死生学」という形で、これらを総合的に取り扱っている文献はほとんど見あたらないが、講義の中ではこれらの死を総合的に取り扱う予定である。あらゆる分野、多くのパースペクティブを必要とする内容なので、読書力、思考力、創造力、分析力などを働かせて、真剣に取り組んでもらいたい。人間の死を考えるには、それだけの人格を備えている必要があります。

講義の内容・授業スケジュール

- ①先端医療と死の問題—生命倫理の視点から取り扱う。医療の進歩と患者の人権。
 - ②戦争と死の問題—平和とは何か。核と人類。ヒロシマ、ナガサキ、沖縄、アウシュヴィッツ
 - ③環境倫理と死の問題—水俣病と公害問題。レイチェル・カーソンの警告。環境ホルモン。遺伝子組み換え食品の問題等。
 - ④自殺と死の問題—自殺者の心理と自殺防止の問題。遺族の気持ちとグリーフケア
 - ⑤犯罪事件と死の問題—犯罪者の分析。犯罪被害者および遺族のケア、犯罪防止の問題。
- ①～⑤のテーマをすべて取り扱うとは限らないが、講義のはじめに参加者と協議の上決めていく。

履修上の留意点

授業中に何回もレポートを提出してもらうので、講義に出席する意欲のない人は履修しないでほしい。

成績評価の方法

レポートの提出状況と出席状況など総合的に評価する。

参考書等

講義中にその都度お知らせします。

その他

ビデオ、OHP も使用する。

社会分野

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教 育 心 理 (大学生の心理—教育臨床心理学の立場から—)	の なか ひろ とし 野 中 弘 敏	全学科選	4

社会分野

講義のねらい

「心の健康」なる言葉を耳にすることがありますが、人がいろいろな意味でできる限り「豊かに」生きていこうとするのはなかなか大変なことのようです。そして様々ないきざつから、人が「心のつまずき」を経験することも少なからずあるようですし、それぞれ生い立ちや出会った人々、とりまく環境も様々な人間の「心を理解する」といっても、それについてただ一つの公式があるというわけでもなさそうです。

「心理学」と一口に言っても、人間の心の作用や行動などに関して、焦点を当てる領域や研究方法はきわめて多岐にわたっています。この講義では、主に臨床心理学の立場から、「心のつまずき」に対する広い意味での「心理臨床的援助」の実際と、そのような援助の手がかりとなる基本的な考え方を紹介したいと思います。また、心理臨床的援助の実際のありようを通じて、人のこころや他者との関係の構造・成り立ち・はたらきについて、これまでの理論でどのような仮説が与えられてきたか、などをお話できればと思います。

講義の中で紹介する理論や話題を、自分の体験や身の回りで触れる出来事などについて考えてみるきっかけに生かしてもらえたら幸いです。

講義の内容・
授業スケジュール

おおむね以下のトピックをとりあげる予定です。

- ・「心理的異常」の考え方をめぐって
- ・人間の心理—社会的発達
- ・人格の構造と機能
- ・心理臨床的アセスメント（心理検査など）
- ・心理療法の基本的考え方
- ・さまざまな心理臨床現場での実際

成績評価の方法

夏休み（前）のレポートと年度末の試験（持込不可）とを併せて考慮します。

参 考 書 等

一読をお勧めしたい文献などは、その都度の講義の中で紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生 物 学 〔生物と環境〕	なかむらとしえ 中村敏枝	国文・英米文選	4

講義のねらい

この地球が誕生したのは46億年の昔といわれる。40億年前にはすでに生命が誕生し、以後それは地球の環境を変えつつ、自らも進化の歴史を歩みながら現在に至っている。この長い歴史の中で、種の構成は変わり、あるものは絶滅してしまったけれど、現存する生物は40億年の間、生まれ・成長し・繁殖し・死ぬ ということを営々と繰り返してきた。この生物たちの営みをいろいろな段階（細胞・個体・個体群・生態系）で紹介したい。

後期には、環境問題を取りあげる。地球温暖化についてその背後にある社会・経済問題も視野にいれながら考察したい。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) (1-5) 地球の歴史と生命の期限
- (6-13) 生態系のしくみ
- (後期) (14-21) 生物の生活-植物群落の遷移・動物の生殖行動
- (22-26) 地球温暖化-生態系に与える影響・代替エネルギー

履修上の留意点

義務教育までの数学、理科をはじめ各教科の知識を、本講義の前提とする。意見発表の機会をつくりたいので積極的に取り組む学生の参加を期待します。

成績評価の方法

学期終了時に講義内容についての試験またはレポートを課します。成績は上記と出席状況、授業時間内の小レポートなどを考慮して、総合的に評価します。

教 科 書

赤堀他著『生物学-地球に生きるいのちを考える』(宣協社) 2,700円

参 考 書 等

授業時間内に随時紹介します。

そ の 他

授業スケジュールを変更して時事問題を扱うことがあるかもしれません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
生物学 〔生態と進化〕	清水善和	地理・歴史・社会・福祉・心理	4

自然分野

講義のねらい

地球上の生物はすべて約40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後に連綿と続いた進化の産物である。どの生物も進化の遺産を背負って存在しており、進化を抜きにして生物を理解することはできない。また、この地球上には現在1000万種以上の生物が存在していると推定されている。肉眼では見えないバクテリアから体長20mを超すシロナガスクジラまでさまざまな形、大きさの生物が熱帯から極地、高山から深海まで地球上のあらゆる場所において独自の生活を築いている。そして、これらの生物は孤立して存在するのではなく、互いに密接な関係を保ちながら地球上にさまざまな生態系を形成している。この多様、複雑な姿が生物のもう一つの特徴である。一方、生命の基本的な情報を担う分子である遺伝子の研究が進んで、あらゆる生命現象を遺伝子レベルで統一的に理解することも可能になってきた。そこで、本講義では生物の進化、多様性、遺伝子を3つのキーワードにして、生物の分類や生態の実際を体系的に捉えるとともに、生物の進化や多様性の維持に関するメカニズムについて解説する。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1章 遺伝子と進化－我ら生物みな兄弟
 - (1) 生命の歴史性 (2) 遺伝子と生命現象 (3) 進化のメカニズム
- 第2章 40億年の生物進化－偶然と必然が織りなす奇跡
 - (1) 地質年代図 (2) マーグリスの共生説 (3) カンブリアの爆発 (4) 大量絶滅 (5) 生物の上陸
- 第3章 系統と分類－名もなき雑草はない
 - (1) リンネ式分類体系 (2) 生物五界説 (3) 種の定義と属性 (4) 分子時計 (5) 動物と植物の系統
- 第4章 行動と進化－生き物は誰がために生きるか
 - (1) 動物行動学の歩み (2) 適応度とゲーム理論 (3) 性選択と性比 (4) 利他的行動と血縁淘汰 (5) 利己的遺伝子
- 第5章 個体群生態学－産めよ殖えよ地に満てよ
 - (1) 潜在的な増殖率 (2) 密度効果とr-K淘汰 (3) 食う・食われる関係 (4) 生命表
- 第6章 共生と競争－出し抜きながら深い仲
 - (1) 種間関係(共生と寄生) (2) 花と昆虫の共進化 (3) 菌根 (4) 擬態
- 第7章 人類の進化－ヒトは唯一の生き残り
 - (1) 霊長類の系統 (2) ヒトの発展段階 (3) ホミニゼーション(ヒト化) (4) 人体の特徴
- 第8章 進化論－進化論も進化する
 - (1) ダーウィン以前 (2) ダーウィン進化論 (3) ネオ・ダーウィニズム (4) 進化論批判
- 第9章 生態系－命は無数のつながりの中で
 - (1) 生態系(エコ・システム) (2) 食物連鎖と生物濃縮 (3) 光合成と呼吸 (4) 生産諸量
- 第10章 物質の循環－元素はめぐるよどこまでも
 - (1) 物質循環の大原則 (2) 水の循環 (3) 炭素の循環 (4) 窒素の循環 (5) 地球環境の形成
- 第11章 植生遷移－裸地もいずれは森林に
 - (1) 遷移のモデル (2) 遷移の実例 (3) 森林の更新
- 第12章 生物多様性－多様な世界に未来あり
 - (1) 3つの多様性 (2) 多様性の尺度 (3) 生物地理区と植生帯 (4) 多様性の危機
- 第13章 人為と生物－生物界のグローバリゼーション
 - (1) 里山の生物 (2) 都市と生物 (3) 帰化種の侵入

成績評価の方法

レポート、試験、出席を勘案して評価する。

教科書

受講者には清水が執筆したweb版教科書(無料ダウンロード可)を紹介する。

参考書等

適宜紹介する。

その他

必要な図表は適宜プリントにして配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 球 科 学 〔自然景観の成り立ち〕	いち かわ きよ し 市 川 清 士	国文選	4

講義のねらい

地球が誕生して46億年といわれています。この間、地球はたえず表情を変化させつづけてきました。では、私たちの生活している周辺の自然景観、たとえば山や川、平野や海洋などはいつどのようにしてできたのでしょうか？ 本講義では、この問いに答えるために地形、気候、水文などの地球表面の現象を対象として、その成り立ちについて探っていきます。

講義の内容・
授業スケジュール

前期では、大陸の成り立ちや造山運動（プレートテクトニクス）、氷河期（気候変動）などの大きなスケールの変動について探っていきます。

後期では、前期の内容をふまえて、南関東を中心とした「身近な自然景観」の成り立ちについてより具体的に探っていきたいと思います。

履修上の留意点

高校で使用した地図帳を用意すること（できれば最新のものが望ましい）。

成績評価の方法

授業への積極性・レポート・学年末の試験を総合して評価を行います。

教 科 書

『地表環境の地学 一地形と土壌一』（東海大学出版会）2,500円

参 考 書 等

参考書はその都度紹介します。

そ の 他

一般的な講義を主とし、スライド・OHP・ビデオによる説明を入れて皆さんが興味を持てるような講義を行おうと考えています。

また、駒沢公園など近くに行き実際に野外観察もする予定です。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 球 科 学 〔地球環境の現在・過去・未来〕	やま がた たけし 山 縣 毅	英米文・歴史選	4

講義のねらい

現在、地球温暖化、海水準の上昇、オゾン層の破壊などの地球規模の自然環境の変化が、21世紀の大きな問題として捉えられています。これらの問題に対処する手段、特に自然環境がどのように過去、将来において変化し、それが何に起因するかを推定・予測する手段の一つとして地球科学があります。本講義では、地球科学による過去の環境（古環境）の推定・復元方法を、地球環境の変遷を創生期から現在までたどりながら、理解してもらうことを目標としています。

また、私たちが住んでいる関東地方の古環境の復元も、いくつかの地域を例に取りながら解説していきます。受講者にとって、自分の居住地域と共にグローバルな自然環境についても考える契機になることを期待します。

講義の内容・授業スケジュール

前半に地球科学の概説を行い、後半に地球環境の変遷、関東地方の地質について講義をしていきます。

1. 地球の内部構造と地質変動
2. 地球の環境変遷
3. 関東地方の地質
 - ・関東平野の断層と地震
 - ・房総・三浦半島の地質－付加テクトニクス－
 - ・伊豆大島、箱根の火山活動
 - ・関東山地の地質
 - ・関東平野の地下表層部の地質

成績評価の方法

期末試験で評価いたします。

教 科 書

特に定めない。

参 考 書 等

『最新 図表地学』（浜島書店）ISBN 4 - 8343 - 4002 - 3 C7344

そ の 他

OHP、スライド等を使用します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 球 科 学 〔地球システムと人間圏〕	さわぐち たかし 澤 口 隆	地理・社会・福祉・心理選	4

講義のねらい

宇宙形成から150億年。地球の誕生から46億年。人類が地球上に生まれてから400万年…地球システムと人間圏の形成。果たして人間圏は地球上にあと何年存在しうるのであろうか？46億年におよぶ地球システムの分化の歴史を学び、そのサブシステムとしての人間圏が安定に存在し続けるための条件とは何かを考えることが、本講義の目的である。

講義の内容・
授業スケジュール

まず、地球をシステムとしてとらえるために必要な空間と時間のスケールを学び、それぞれのサブシステム内の諸現象の理解を深めたあと、サブシステム間の物質やエネルギーの交換という観点から、地球温暖化や資源エネルギー問題など、現代人間社会にとっての重要課題について学習する。

自然分野

- | | | | |
|------|---|------|--|
| (前期) | <ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション 2. 空間と時間のスケール 3. 太陽系形成の標準モデル 4. 地球の始まり 5. 地球システムとは 6. 大気圏の構造と大気循環 7. 地球温暖化 8. オゾン層破壊 9. 酸性雨 10. エルニーニョ (海洋循環と気候変動) 11. 地質年代 12. プレートテクトニクス
・プレュームテクトニクス | (後期) | <ol style="list-style-type: none"> 13. 日本列島の歴史 14. 火山噴火 15. 地震と地震予知 16. 南極大陸 17. 地球資源問題と環境破壊 18. 化石エネルギー 19. 原子力発電 20. 放射性廃棄物処理 21. 地熱発電 22. 海底資源 23. 地球上の生命の歴史 24. 恐竜の絶滅と隕石衝突説 25. 複雑系と自然界 |
|------|---|------|--|

履修上の留意点

毎回独立したトピックについての講義を行う。
それに関連した内容の課題レポートが毎週与えられるので、翌週の講義日前日までにe-mailの添付ファイルとして提出。
提出先e-mailアドレスは講義にて指示する。

成績評価の方法

毎回提出された課題レポートを5段階で評価し、その総合点で成績評価を行う。

教科書

使用しない。適宜プリントを配布。

参考書等

『岩波講座・地球惑星科学』(全14巻)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自 然 環 境 論 〔生命と環境〕	もち 丸 まる まり 真 里	国文選	4

自然分野

講義のねらい

生物を中心とした自然環境の仕組みを理解した上で、現代の人間活動が生態系へもたらしている諸問題について考えることを目的とする。講義では、基礎知識として、生物の基本構造と多様性、物質及びエネルギー代謝、生態系の成り立ちなどについて解説した上で、生化学・生態学的な視点を要求される現代の諸問題について各論的に取り上げてゆく。また、これらの事例を通して、生態系の保全のためにどのような姿勢が要求されるか考察する。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) (1) 生態系の成り立ち (2・3) 生物とは何か (4・5) 生命の誕生と地球環境
(6・7) 地球温暖化 (8・9) 生態系内の物質循環 (10) 生産者の働きと生態系
(11・12) 森林破壊 (13) 前期まとめ
(後期) (14・15) 生態系の浄化作用 (16～18) 化学物質による生態系汚染
(19・20) ダイオキシン問題 (21・22) 環境ホルモン (23) オゾン層破壊
(24・25) 近代農業の問題 (26) まとめ

履修上の留意点

授業中の私語・飲食・携帯電話の使用は禁止。上記のようなスケジュールを基本とするが、学生の理解度にあわせて進度を調整したり、途中でニューストピックスを取り上げるなど、柔軟に進めて行く。

成績評価の方法

出席点と筆記試験による。

参 考 書 等

大石正道『入門ビジュアルエコロジー生態系と地球環境のしくみ』(日本実業出版社) 1,500円
その他、講義の中で随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自 然 環 境 論 〔自然史と環境〕	ふじ 藤 井 すすむ 享	国文・英米文・歴史選	4

講義のねらい

最新の地質時代を第四紀というが、この時代は約170万年前にはじまり寒冷な氷期と比較的温暖な間氷期を繰り返した時代である。この170万年間には少なくとも6回の氷期が確認されているが、このうち最終の氷期を「ヴェルム氷期」と呼ぶ。ヴェルム氷期は約72,000年前にはじまり約1万年前までの62,000年間継続したとみられる。つまり、長く続いた氷河時代の、最後の氷期が終わったのはごく最近のことなのである。私たちは今、最終氷期のあとの、東の間の温暖期に生きているのである。

ヴェルム氷期の中でも、約2万年前から約18,000年前は特に寒かった時代であり、現在の氷河分布面積の約3倍にあたるおよそ4,900万 km²もの氷河が陸地を覆っていたとみられる。北半球についてみると、それらの大部分は北緯40°以北に分布していた。

では、その頃の日本列島はどのような自然環境下にあったのであろうか。本講義は最終氷期以後の気候や植生、地形など気候変動に伴う自然環境の変化について考えてみたい。

自然分野

講義の内容・
授業スケジュール

授業は最終氷期（ヴェルム氷期）と現在、後氷期（最温暖期）と現在の各気候、海面変化、植生、地形等の自然環境を比較しながら進めたいと思う。その内容とスケジュールは下記のとおりである。

- ① 第四紀の編年と氷期・間氷期
- ② ケッペンの気候分類と寒冷高緯度地域の自然環境
- ③ 日本列島周辺の気候帯と植生分布
- ④ 植生の垂直分布と森林限界
- ⑤ 周氷河気候と自然環境
- ⑥ 最終氷期の気候と植生変化
- ⑦ 日本海の古環境
- ⑧ 海面変動と陸橋の形成
- ⑨ サハリンの植生史
- ⑩ 後氷期の自然と環境

スケジュールは前期：①～④、後期：⑤～⑩を予定

履修上の留意点

この講義は、最終氷期から後氷期に至る気候や地形、植生等の自然変遷史を考察するものである。したがって、ヴェルム氷期以後の自然史を扱うので、留意してほしい。講義の中で地図を多用するので、講義ノートとともに地図帳を準備してほしい。

成績評価の方法

テスト、レポート、出席状況を総合して評価する。

教科書

使用しない。

参考書等

講義の中で紹介する。

その他

講義形式であるが、必要によりビデオ、スライド等を使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然環境論 〔生命と環境〕	なかむらとしえ 中村敏枝	地理・歴史・社会・福祉・心理	4

自然分野

講義のねらい

はるかな昔、火を手に入れることによって、他の生物と一線を画する存在となったヒトは、その後限りなく神に近づこうとしている。農業の開始、自然の改変、科学技術を駆使しての合成物質の創製、そして原子核エネルギーを操り、試験管の中で生命を誕生させ、ついには遺伝子を組み換えて新生物まで創りだす。生命観や倫理観がゆらいだとしても、それは当然の結果といえよう。科学技術は、どこに私たちを連れていくのだろうか。現状を正しく把握して、今後私たちはどこに向かうべきなのかを、個々人の問題として考えよう。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) 森林と野生生物の現状
 (1-6) 森林-熱帯雨林・タイガ・酸性雨
 (7-12) 野生生物-ジュゴン・タンチョウ・アホウドリ
 (後期) 食をめぐる問題
 (13-18) 農業-有機農業・灌漑・遺伝子組み替え作物
 (19-22) 畜産業-肉食とは何か・狂牛病・クローン動物
 (23-25) 漁業-海外依存度・環境ホルモン汚染

履修上の留意点

義務教育までの数学、理科をはじめ各教科の知識を、本講義の前提とする。意見発表の機会をつくりたいので積極的に取り組む学生の参加を期待します。

成績評価の方法

学期終了時に講義内容についての試験またはレポートを課します。成績は上記と出席状況、授業時間内の小レポートなどを考慮して、総合的に評価します。

教科書

教科書は使用しない。

参考書等

赤堀他著『生物学-地球に生きるいのちを考える』(宣協社) 2,700円
 その他については授業時間内に随時紹介します。

その他

授業スケジュールを変更して時事問題を扱うことがあるかもしれません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
自然環境論〔環境と保全〕 (夏季集中)	やまがた たけし 山 縣 毅	全学科選	4

講義のねらい

18世紀後半から始まった産業革命以降、産業文明の発展により、地球規模の環境変化が自然の復元能力を超えて急激に進んでいます。その変化は、人類の生存自体にも深刻な影響を及ぼすようになってきています。本講義では、地球科学的立場から、地球環境の諸問題を解説し、人間活動が自然環境に与える影響、環境保全の意義について考えてもらうことを目標としています。実生活で体験したり、各種報道により伝えられる地球環境に関する諸事象を正しく理解するための教養を、受講者に身につけてもらえるように、講義を進めていきます。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 地球表層の環境変遷とその要因
2. 人間活動による環境変化
(地球温暖化、大気酸性化、オゾン層の破壊)
3. 資源・エネルギーと環境
4. 地質変動による環境変化と自然災害
(地震、火山活動、崖崩れ)
5. 地球環境に対する海の影響
6. 環境保全

成績評価の方法

レポートと出席状況で評価します。

教科書

特に定めなし。

参考書等

講義の中で紹介します。

その他

OHP、スライド等を使用します。

授業日程

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
8月2日	月	○	○	○	○	○	8月20日	金					
8月3日	火	○	○	○	○	○	8月23日	月					
8月4日	水	○	○	○	○	○	8月24日	火					
8月5日	木	○	○	○	○	○	8月25日	水					
8月6日	金	○	○	○	○	○	8月26日	木					
8月7日	土	○	○	○	○	○	8月27日	金	△	△	△	△	△

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然誌 〔現代の自然像〕	清水善和・篠原正雄 持丸真里・山縣毅	文学部全学科選	4

講義のねらい

我々は何者か、なぜ、今ここにいるのか？大宇宙の中で人類存在の意味を問う本質的には哲学的なこの問いに対して、20世紀の自然科学が見いだした一応の答えは、我々を取り巻く自然環境が100億年を越える宇宙の進化と、46億年の地球及び生命の進化の果てに出来上がったかけがえのないものであることを語っている。一方で、今世紀の科学技術の発展は、このかけがえのない自然環境を脅かすに至っている。もはや科学の未来は科学者だけの問題ではありえない。社会を構成する一人一人が考えねばならないことである。本講義では自然科学教室の専門を異にする4人の教員がそれぞれの専門分野の知識を持ち寄り、自然の階層構造と進化を軸に現代科学諸分野を総合して得られる自然像を語る。それは自然界全体を総合的、統一的にとらえるナチュラル・ヒストリー（博物学、自然誌）の伝統を現代的に蘇らせる試みでもある。地球の未来に向けいかなる道を目指すべきかを考える足掛かりとしてほしい。

講義の内容・授業スケジュール

自然科学教室の専任教員4人により、1人6回程程度の輪講形式で行われる。宇宙の始まりから地球と生命の進化を経て人類の時代に至る自然の歴史をたどり、私達にとっての自然環境がどのようにして今日の姿をとるようになったかを学ぶ。また、21世紀の重要課題となる地球環境問題の本質とその解決の方向についても考察する。

- 第1講 宇宙の進化と地球の起源 篠原正雄
- (1) 宇宙の起源（自然の階層構造、膨張する宇宙、ビッグバンと元素の起源）
 - (2) 星の進化と物質の進化（星の一生、星間物質の進化、銀河の渦と星生成領域）
 - (3) 太陽系と地球の起源（太陽系起源仮説、牡牛座T型星、宇宙の有機化合物）
 - (4) 太陽と地球の進化（地球の核の形成、大気と海の起源、太陽の進化と地球環境）
 - (5) 宇宙の中の地球（太陽放射の変動、地球軌道の変化、隕石、銀河系）
- 第2講 地球の地殻変動と災害 山縣 毅
- (1) 地球のシステム（地球内部・表層での現象）
 - (2) 地震のメカニズムと災害
 - (3) 火山活動のメカニズムと災害
- 第3講 生命の起源と進化 清水善和
- (1) 生命の起源（生物体を作る物質、遺伝暗号とタンパク質合成、生命起源仮説）
 - (2) 生物の進化と進化論（生物進化40億年の歴史、進化のメカニズム、現代進化論）
 - (3) 人類の進化（霊長類の系統、ヒトの発展段階、ホミニーゼーション）
 - (4) 生物の多様性（分類体系、生物多様性、植生帯、動植物の分布）
- 第4講 産業の発達と環境の変化 持丸真里
- (1) 人口増加とエネルギー消費の歴史
 - (2) エネルギー消費と「豊かさ」
 - (3) 化石燃料の化学
 - (4) 大気環境の変化（古典的大気汚染からグローバルな環境問題へ）
 - (5) 未来へ向けて－石油代替エネルギーの開発とその評価

履修上の留意点

本科目は1年間の継続的な講義を通じて総合的な自然像を養うことを目的としているので、毎回出席するのが困難な卒業年次生や運動部員等は履修を控えてほしい。一般の通年科目と異なり、4回の評価（テストやレポート等）を受けねばならないことの自覚をもって履修してほしい。

成績評価の方法

各担当者毎に小テストやレポート等の方法で評価し、最終的に4人の採点を合算して成績評価とする。

参考書等

各担当者がそれぞれ講義の中で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
数学 (1) 〔微積分学入門〕	小沢 誠	全学科選	4

講義のねらい

数学の基礎分野の一つである微積分学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的思想を身に付けることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期に、関数の極限と導関数・いろいろな関数の導関数・関数の変動・いろいろな応用を、後期に、定積分と不定積分・積分の計算・面積・曲線の長さ・体積・いろいろな応用を扱う。

履修上の留意点

毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法

前期と後期の試験の結果で評価する。出席も考慮する。

教科書

『新訂 微分積分 I』(大日本図書) 1,524円

参考書等

適宜紹介する。

その他

毎回の授業を三分割し、定義・定理の紹介、例題の解説の後、練習問題を解いていただく。

自然分野

科目名	担当者名	配当学科	単位
数学 (2) 〔線形代数学入門〕	小沢 誠	全学科選	4

講義のねらい

数学の基礎分野の一つである線形代数学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的思想を身に付けることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期に、平面のベクトル・空間のベクトル・行列・連立1次方程式と行列を、後期に、行列式の定義と性質・行列式の応用・線形変換・固有値とその応用を扱う。

履修上の留意点

毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法

前期と後期の試験の結果で評価する。出席も考慮する。

教科書

『新訂 線形代数』(大日本図書) 1,619円

参考書等

適宜紹介する。

その他

毎回の授業を三分割し、定義・定理の紹介、例題の解説の後、練習問題を解いていただく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
数 学 (3) 〔現代数学入門〕	福 田 賢 一 <small>ふく だ けん いち</small>	全学科選	4

講義のねらい	現代数学の基礎概念を、諸科学への応用例を通して学ぶ。特に社会・経済現象に応用例を求め、具体的かつ基礎的な事例から無理のない数理的抽象化を計る。情報基礎数理、経済数理に力点を置き、実践な応用力の養成を目指す。
講義の内容・授業スケジュール	前期： 論理の基礎、論理と言語、情報理論と数理、論理回路、線型代数とその応用、 後期： 線型計画法、確率現象と社会現象、微積分とその応用、数値解析とその応用
履修上の留意点	予備知識は特に必要としない。高校数学の基礎的な知識があれば十分理解できる。しかし、数学は系統性の強い分野であるから、基本的な定義、性質を明確にする必要がある。
成績評価の方法	前後期試験結果を中心に、レポート、出欠状況を加味し、総合的に判断する。
教科書	使用しない。プリントを配布する。
参考書等	必要となり次第指示する。
その他	教材、資料等は数時間に一回の割合で配布する。再配布ができない事もあるので注意。講義に対する要望、質問等は積極的にを行うこと。疑問点、理解不十分なところを放置しないように努める事。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情 報 数 学 〔情報と論理〕	上 原 隆 平 <small>うえ はら りゅう へい</small>	全学科選	4

講義のねらい	形式言語理論、中でも特にオートマトン理論を学ぶ。オートマトンとは「状態を持った機械」をモデル化したもので、情報科学分野で正規表現、正規言語などと呼ばれるものと同等である。情報科学や言語理論における基礎的分野である。
講義の内容・授業スケジュール	まず始めに基礎的な数学を学ぶ。次に形式言語理論の初歩的な知識を学び、形式的な記述に慣れる。そしてオートマトン理論に的を絞り、現実の問題がどのようにオートマトンとしてモデル化されるかを学ぶ。そしてオートマトンで表現できるものと、情報科学分野で正規表現、正規言語などと呼ばれるものが同等であることを学ぶ。本授業の中では実際のプログラミングは行わない。
履修上の留意点	予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。
成績評価の方法	評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。
参考書等	J. ホップクロフト、R. モトワニ、J. ウルマン共著、野崎昭弘、高橋正子、町田元、山崎秀記共訳『オートマトン 言語理論 計算論 I [第2版]』(サイエンス社) 2,800円 (2003年発売の [第2版] であることに注意)

科目名	担当者名	配当学科	単位
物理学 〔光と物質〕	しのはらまさお 篠原正雄	文学部全学科選	4

講義のねらい

地上の天文学者は天体から来る光などの電磁波を分析して、手の届かない天体を作る物質の種類、温度、運動などを読み取ります。この天体物理学の方法は物質と光の関係の物理学的研究に伴って発展してきました。

本講では「光とはどのようなものか、光と物質の関係は？」という問いをめぐるさまざまな事柄を取り上げます。「光学」に限定せず、力学、電磁気学、熱力学、量子力学、宇宙物理等に及びます。

講義の目的は、光について学ぶことを通して、物理学的な目で世界を見ることを体験していただくことです。数式は物理学に不可欠な言葉ですが、数式により表現された物理的な意味の方が大切です。数式の使用は極力避け、用いる場合はその意味をできるだけ平易に説明するので、数学的な予備知識はいりません。

自然分野

講義の内容・授業スケジュール

次のような項目について講義します。

波としての光

光線 影 鏡 屈折 屈折 屈折 透明人間

光波 音波・地震波・水の波 シャボン玉の色

電磁波としての光

電気と磁気 電磁波 光の速度と電磁気学 電波望遠鏡 電子レンジ

色即ち波長？ 虹の七色 vs 三原色 茶色い光の波長？ X線とガンマ線

光子 熱と光 星の色 人の光 原子構造と光 光波は粒子・電子は波

光と宇宙

光速不変 ブラックホール 膨張する宇宙 光の旅

履修上の留意点

十分に出席する自信のない者は、履修しないようお勧めします。

成績評価の方法

学年末に実施する簡単な期末試験を受けた人だけが成績評価の対象となります。しかし、期末試験の比重は10%程度です。数回のテストを含む平常点を中心に評価します。

教科書

藤城敏幸著『生活の中の物理』（東京教学社）1,800円

参考書等

本間三郎・山田作衛著『電気謎をさぐる』（岩波新書）563円
その他、講義の中で適宜紹介します。

その他

理解を深めるためにほぼ毎回問題を考えてもらいます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
化学 〔衣食住の化学〕	持丸真里	全学科選	4

講義のねらい

現代の日常生活にあふれる化学物質について広く取り上げ、その利便性と問題点を理解するための基礎知識を解説してゆく。各受講生が、化学物質・技術の適用の可否や環境問題について、正確な基礎知識に基づいた意見を持てるようになることを目的とする。講義では、はじめに、生体への化学物質の作用を理解するために必要な有機化学及び生化学の基礎について解説する。その後、衣食住の化学として、各論の解説を行う予定である。

講義の内容・授業スケジュール

前期 (1) 有機化学・生化学の導入 (2・3) 物質の成り立ち (4) 水の性質 (5~7) 有機化学の基礎 (8・9) 合成繊維 (10) 染料 (11・12) 合成洗剤と水質汚濁 (13) 前期まとめ
後期 (14・15) タンパク質 (16・17) 遺伝子 (18) 遺伝子情報の社会への影響 (19・20) 遺伝子組み換え食品 (21) 食品の安全性 (22) 住環境の化学物質汚染 (23) まとめ

履修上の留意点

授業中の私語・飲食・携帯電話の使用は禁止。上記のようなスケジュールを基本とするが、学生の理解度にあわせて進度を調整したり、途中でニューストピックスを取り上げるなど、柔軟に進めていく。講義は、基礎的内容から順次、発展的・先端的事項へと進むので、欠席すると理解が困難になることを留意の上、履修すること。

成績評価の方法

出席点と筆記試験による。

参考書等

講義の中で随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宇宙科学 〔星と銀河〕	篠原正雄	文学部全学科選	4

講義のねらい

現代の天文学が描く宇宙の姿を研究の手法と併せて紹介します。観測装置やコンピューターの発展に伴い、宇宙の研究は急速に進展しています。星と銀河についての知識のほとんどは20世紀になって明らかにされました。前世紀の成果をふり返り、新世紀の天文学を展望しつつ講義を進めます。宇宙が昔思われたような永遠不変・不生不滅の静かな広がりではなく、むしろ荒々しいまでにダイナミックな進化していく世界であること、我々人類もまたそうした宇宙の歴史の所産であることを知っていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は恒星をとりあげます。
太陽： 構造 エネルギー源
恒星： 研究の手法 恒星の分類 恒星の進化 太陽系の起源
後期は銀河をとりあげます。
銀河系： 星団 星雲 恒星の運動 星生成領域
銀河： 銀河の距離 分類 銀河団 宇宙の大規模構造
宇宙： 宇宙膨張 ビッグ・バン

成績評価の方法

学年末に行う筆記試験の結果により評価します。平常点も考慮します。

教科書

高瀬文志郎『星・銀河・宇宙』（地人書館）1,800円

その他

講義を中心とするが、天体の映像などを多用する予定です。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎 (1)(4)(6)(9) 〔コンピュータの実際〕 (前期)(後期)	お ざわ まこと 小 沢 誠	全学科選	2

講義のねらい

HTML (Hypertext Markup Language) 及び CSS (Cascading Style Sheet) を学ぶ。同時に、コンピュータの基本的な知識や操作方法等も習得できるようにする。最終的に、自分のホームページを公開できるようにすることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

まず前半部分に HTML、後半部分に CSS の基礎を学ぶ。HTML では基本構造・テキスト・スタイル・リスト・テーブル・リンクを、CSS ではフォント・テキスト・色と背景・ボックス・表示形式と配置方法・リストを扱う。

履修上の留意点

毎回出席すること。

成績評価の方法

レポートで評価する。HTML・CSS・内容の3点を重視する。

教 科 書

HTML4.01Specification (<http://www.w3.org/TR/html4/>), Cascading Style Sheets, level2 (<http://www.w3.org/TR/REC-CSS2/>)

参 考 書 等

The World Wide Web Consortium (<http://www.w3.org/>)

そ の 他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

自然分野

科目名	担当者名	配当学科	単 位
コンピュータ基礎 (2)(7) 〔コンピュータの実際〕 (前期)(後期)	やま もと ひろ のぶ 山 本 博 信	全学科選	2

講義のねらい

この授業では、コンピュータの基本的な操作方法だけではなく、インターネットやワープロソフト、その他のアプリケーションの利用法を理解し、レポートや論文の作成、および、データ処理などの基礎を学習することを目的とします。そのため、パソコンの操作だけでなく、練習問題や演習問題などを含みます。

前期では、特にキータッチの基本、ワープロソフトによる文書作成・編集・印刷、電子メールやWWWブラウザの基本を取り上げます。これらのアプリケーションソフトを活用しながら、基本ソフトを操作すれば、Windows デスクトップを作業場とみなすことができますようになります。後期には特に文書によるコミュニケーションおよび表計算ソフトを学びます。

講義の内容・
授業スケジュール

- (1・2) 基本ソフトの基礎 (3・4) キータッチの基本
 (5) ActiveMail を用いたメールの操作、パスワードの変更、日本語入力・メールの送受信
 (6~7) ワープロソフトと日本語変換 (8~10) ワープロソフトによる文書作成・保存・印刷
 (11~12) WWW ブラウザを用いたホームページの閲覧、レポート作成
 (13) 総合演習

履修上の留意点

予備知識は假定しないけれども、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとします。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となります。

成績評価の方法

評価は授業期間中に適宜行う演習やレポート、授業の最終回で行う実技試験によって行います。

教 科 書

未定

参 考 書 等

参考書は必要に応じて紹介します。

そ の 他

実習が多いために、計算機室で講義を行います。コンピュータの数に限りがあるので、受講生数を制限することもあります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎 (3)(8) 〔コンピュータの実際〕 (前期)(後期)	おがわ けんじろう 小川 健次郎	全学科選	2

講義のねらい

インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール

多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上で具体的に電子メールやWWWなどのサービスを取りあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予定されている学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

参考書等

参考書は必要に応じて紹介する。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎(5) 〔コンピュータの実際〕 (前期)	さわ ぐち たかし 澤 口 隆	全学科選	2

講義のねらい

DTP (DeskTop Publishing) をはじめとしたオンライン編集や、コンピュータグラフィックス (CG) を利用した CAD イメージ、映画などで用いられるリアルな CG 映像や、インターネットブラウザ上での FLASH アニメーションなど、現在のマルチメディア社会において、コンピュータを利用した映像やデザインなどはすでに一般的なものとなっている。

本講義では、これまでコンピュータを用いた画像処理や CG でのデザイン・作図などの経験のない学生を対象に、CG の基礎知識とアプリケーションの操作方法を様々な課題を作成しながら学習することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

コンピュータグラフィックスに関する基本知識の講義と、実際のアプリケーションを用いた作品製作の演習が中心となる。OS は Windows を用い、アプリケーションは Adobe Photoshop および Adobe Illustrator を使用する予定。

その他、インターネットで活用できるような画像処理技術やアニメーションについても学ぶ。

Web サイトを構築する上でのデザイン手法や HTML (HyperText Markup Language) などについても触れる。

履修上の留意点

初心者を対象とするので予備知識は必要としない。最低限、Windows の基本操作はマスターしているほうが望ましい。授業開始前に総合情報センターにおいてコンピュータの利用申請を済ませておくこと。

成績評価の方法

授業中に作成した課題と出席状況で評価する。

教科書

使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等

同上

その他

計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者を制限することもある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎 (10)(23)(24) 〔コンピュータの実際〕 (前期)(後期)	うえ はら りゅう へい 上 原 隆 平	全学科選	2

講義のねらい

インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。具体的に電子メールやWWWなどのサービスを取りあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやったらいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。総合情報センターが発行しているコンピュータの利用手引は授業中にも使用するため、必ず携帯すること。

成績評価の方法

成績評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

参 考 書 等

村井純著『インターネット』(岩波新書416) 630円および村井純著『インターネットⅡ』(岩波新書571) 640円

そ の 他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎 (11)(15) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	もと き みつ お 元 木 光 雄	全学科選	2

自然分野

講義のねらい

コンピュータの原理とインターネットの原理や原則を学ぶ。特に、インターネットで実現されている様々なサービスを実習を通じて理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

コンピュータの動作原理、特にOSの役割やファイルシステムについて学ぶ。また、多数のコンピュータがネットワークで相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上でどのようなサービスが利用できるのか、実際のサービスを利用しながら理解する。具体的には、インターネット上のサービスとして、電子メール、WWWなどのサービスを取りあげ、実習の形で利用する。このようなサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄も、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となるので、必ず事前に総合情報センターで利用申請をして電子メールのアドレスを取得しておくこと。取得していない場合、単位取得に支障がある可能性がある。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う予定である。

参 考 書 等

参考書は必要に応じて紹介する予定である。

そ の 他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程
コンピュータ基礎(11)

前半			1	2	3	4	5	6	後半			1	2	3	4	5	6
8月2日	月		○	○	○				8月20日	金							
8月3日	火		○	○	○				8月23日	月							
8月4日	水		○	○	○				8月24日	火							
8月5日	木		○	○	○				8月25日	水							
8月6日	金		○	○	○				8月26日	木							
8月9日	月								8月27日	金							

コンピュータ基礎(15)

前半			1	2	3	4	5	6	後半			1	2	3	4	5	6
8月2日	月								8月20日	金							
8月3日	火				○	○	○		8月23日	月							
8月4日	水				○	○	○		8月24日	火							
8月5日	木				○	○	○		8月25日	水							
8月6日	金				○	○	○		8月26日	木							
8月9日	月				○	○	○		8月27日	金							

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎(12) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	お ざわ まこと 小 沢 誠	全学科選	2

講義のねらい

HTML (Hypertext Markup Language) 及び CSS (Cascading Style Sheet) を学ぶ。同時に、コンピュータの基本的な知識や操作方法等も習得できるようにする。最終的に、自分のホームページを公開できるようにすることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

まず前半部分に HTML、後半部分に CSS の基礎を学ぶ。HTML では基本構造・テキスト・スタイル・リスト・テーブル・リンクを、CSS ではフォント・テキスト・色と背景・ボックス・表示形式と配置方法・リストを扱う。

履修上の留意点

毎回出席すること。

成績評価の方法

レポートで評価する。HTML・CSS・内容の三点を重視する。

教 科 書

HTML4.01 Specification (<http://www.w3.org/TR/html4/>)、Cascading Style Sheets, level 2 (<http://www.w3.org/TR/REC-CSS2/>)

参 考 書 等

The World Wide Web Consortium (<http://www.w3.org/>)

そ の 他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程

コンピュータ基礎(12)

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
8月2日	月	○	○	○			8月20日	金					
8月3日	火	○	○	○			8月23日	月					
8月4日	水	○	○	○			8月24日	火					
8月5日	木	○	○	○			8月25日	水					
8月6日	金	○	○	○			8月26日	木					
8月9日	月	△	△	△			8月27日	金					

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎 (13)(17) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	やまもと ひろのぶ 山本博信	全学科選	2

講義のねらい コンピュータを道具として、書き方、描き方を実習を通じて技術として把握します。コンピュータは、文字や画像をデジタル化して処理します。コンピュータによる情報処理によって、表現がどのように把握されるかについて理解します。言語のレベルにありながら画像に属するものとしての技法についてパソコンを道具として身につけます。

講義の内容・授業スケジュール パソコンなどの情報機器やいろいろなソフトウェアが、企業をはじめ一般社会でも急速に普及しています。日常生活でも、パソコンなどに接する機会が増えてきました。パソコンの高性能化やLANの普及によって、ユーザは自分たちで情報を収集して発信することができるようになりました。パソコンでどのようにして画像などを作成して Web ページを作成するかについて理解します。すなわち、アプリケーションソフトの活用を、縦軸を現場（業務）ごとの特質とし、横軸をファイル形式などの基礎をみながら行います。表現能力はパソコンを活用する上でとても大事なものです。ここでは特に描き方（ビジュアル表現）についてペイント系グラフィックソフトやドロー系グラフィックソフトなどを活用しながら理解します。

- (1) コンピュータによる情報処理について
- (2) 表計算ソフトの基礎、応用
 - ・計算の自動化・運用とセキュリティ・マクロの作成など
- (3) グラフィックデータの作成
- (4) 画像効果の作成
 - ・トリミング・切抜き・明るさや色の調整など
- (5) 最適化処理
- (6) HTML ファイルの作成
- (7) ブラウザによる確認

履修上の留意点 予備知識は仮定しないけれども、講義は必ず毎回出席し、出題された演習は必ず解いているものとします。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となります。

成績評価の方法 評価は、授業期間中に適宜行う演習や最終日に実施する確認試験によって行います。

教科書 未定

参考書等 参考書は必要に応じて紹介します。

その他 実習の閉める割合が高いために、計算機室で講義を行います。コンピュータの数に限りがあるので受講生数を制限することもあります。

授業日程
コンピュータ基礎(13)

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
8月2日 月	○	○	○				8月20日 金						
8月3日 火	△	△	△				8月23日 月						
8月4日 水	○	○	○				8月24日 火						
8月5日 木	○	○	○				8月25日 水						
8月6日 金	○	○	○				8月26日 木						
8月9日 月	○	○	○				8月27日 金						

△は予備日
コンピュータ基礎(17)

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
8月2日 月							8月20日 金	○	○	○			
8月3日 火							8月23日 月	○	○	○			
8月4日 水							8月24日 火	△	△	△			
8月5日 木							8月25日 水	○	○	○			
8月6日 金							8月26日 木	○	○	○			
8月9日 月							8月27日 金	○	○	○			

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単 位
コンピュータ基礎 (14)(18) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	なが さか ひろ ふみ 長 坂 浩 史	全学科選	2

講義のねらい

初心者を対象にして、コンピュータの概要の把握と一通りの基本的な操作能力の習得を目標とする。また、Webページ作成の基本を学び、それによってインターネットを利用した情報収集・発信の実習をする。

講義の内容・授業スケジュール

情報教育センターのパソコン（OSはWindows）を使用し、実習を行う。ワープロソフトによる文章加工、Excelによる表計算・データ処理、インターネット上のサービス利用（電子メール、WWW）等を通り体験したあと、これらを総合した簡単な資料の作成をしてもらう。この資料はWebページの体裁で作成してもらうので、HTMLの入門等、Webページ作成のための基本も学ぶことになる。

履修上の留意点

初心者を対象としていることに注意。
予備知識は仮定しないが、短期集中講義なので毎回出席し、課題は必ず提出すること。
また授業開始前に情報センターの利用登録をしておくこと。（課題は基本的にファイルの形で提出してもらうが、各自バックアップ用の領域を持ってほしい。そうでなければ、初日・2日目はフロッピーディスクを持参すること。）

成績評価の方法

課題に対する提出物によって判断する。
実習という授業の性質上、毎日の基本課題をクリアしていれば、概ね厳しい評定はつかないと思っていよい。

教科書

使用しない。適宜、簡単な資料を配布する。

参考書等

同上

その他

計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者数を制限することもある。

授業日程

コンピュータ基礎(14)

前半			1	2	3	4	5	6	後半			1	2	3	4	5	6
8月2日	月		○	○	○				8月20日	金							
8月3日	火		○	○	○				8月23日	月							
8月4日	水		△	△	△				8月24日	火							
8月5日	木		○	○	○				8月25日	水							
8月6日	金		○	○	○				8月26日	木							
8月9日	月		○	○	○				8月27日	金							

△は予備日

コンピュータ基礎(18)

前半			1	2	3	4	5	6	後半			1	2	3	4	5	6
8月2日	月					○	○	○	8月20日	金							
8月3日	火					○	○	○	8月23日	月							
8月4日	水					△	△	△	8月24日	火							
8月5日	木					○	○	○	8月25日	水							
8月6日	金					○	○	○	8月26日	木							
8月9日	月					○	○	○	8月27日	金							

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎 (19)(21) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	さわぐち たかし 澤 口 隆	全学科選	2

講義のねらい DTP (DeskTop Publishing) をはじめとしたオンライン編集や、コンピュータグラフィックス (CG) を利用したCADイメージ、映画などで用いられるリアルなCG映像や、インターネットブラウザ上でのFLASHアニメーションなど、現在のマルチメディア社会において、コンピュータを利用した映像やデザインなどはすでに一般的なものとなっている。本講義では、これまでコンピュータを用いた画像処理やCGでのデザイン・作図などの経験のない学生を対象に、CGの基礎知識とアプリケーションの操作方法を様々な課題を作成しながら学習することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール コンピュータグラフィックスに関する基本知識の講義と、実際のアプリケーションを用いた作品製作の演習が中心となる。OSはWindowsを用い、アプリケーションはAdobe PhotoshopおよびAdobe Illustratorを使用する予定。その他、インターネットで活用できるような画像処理技術やアニメーションについても学ぶ。Webサイトを構築する上でのデザイン手法やHTML (HyperText Markup Language) などについても触れる。

履修上の留意点 初心者を対象とするので予備知識は必要としない。最低限、Windowsの基本操作はマスターしているほうが望ましい。授業開始前に総合情報センターにおいてコンピュータの利用申請を済ませておくこと

成績評価の方法 授業中に作成した課題と出席状況で評価する。

教科書 使用しない。適宜資料を配付する。

参考書等 同上

その他 計算機室での実習・講義となるが、計算機の数に限りがあるので受講者を制限することもある。

授業日程
コンピュータ基礎(19)

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
8月2日 月							8月20日 金	○	○	○			
8月3日 火							8月23日 月	○	○	○			
8月4日 水							8月24日 火	○	○	○			
8月5日 木							8月25日 水	○	○	○			
8月6日 金							8月26日 木	○	○	○			
8月9日 月							8月27日 金	△	△	△			

△は予備日
コンピュータ基礎(21)

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
8月2日 月							8月20日 金				○	○	○
8月3日 火							8月23日 月				○	○	○
8月4日 水							8月24日 火				○	○	○
8月5日 木							8月25日 水				○	○	○
8月6日 金							8月26日 木				○	○	○
8月9日 月							8月27日 金				△	△	△

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎 (16)(20)(22) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	小川 健次郎 <small>おがわ けんじろう</small>	全学科選	2

講義のねらい

インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール

多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上で具体的に電子メールやWWWなどのサービスをとりあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は必要としないが、講義は必ず毎回出席すること。夏季集中の授業なので、就職活動などで1度でも休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。必ず事前に総合情報センターで利用申請をしておくこと。
なお、本講義はコンピュータ初心者対象である。

成績評価の方法

評価は授業時間中に行う演習やレポートによって行う。

教科書

必要に応じて適宜指定する予定である。

参考書等

必要に応じて紹介する予定である。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程

コンピュータ基礎(16)

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
8月2日 月	○	○	○				8月20日 金						
8月3日 火	○	○	○				8月23日 月						
8月4日 水	○	○	○				8月24日 火						
8月5日 木	○	○	○				8月25日 水						
8月6日 金	○	○	○				8月26日 木						
8月9日 月	△	△	△				8月27日 金						

△は予備日

コンピュータ基礎(20)

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
8月2日 月				○	○	○	8月20日 金						
8月3日 火				○	○	○	8月23日 月						
8月4日 水				○	○	○	8月24日 火						
8月5日 木				○	○	○	8月25日 水						
8月6日 金				○	○	○	8月26日 木						
8月9日 月				△	△	△	8月27日 金						

△は予備日

コンピュータ基礎(22)

前半	1	2	3	4	5	6	後半	1	2	3	4	5	6
8月2日 月							8月20日 金	○	○	○			
8月3日 火							8月23日 月	○	○	○			
8月4日 水							8月24日 火	○	○	○			
8月5日 木							8月25日 水	○	○	○			
8月6日 金							8月26日 木	○	○	○			
8月9日 月							8月27日 金	△	△	△			

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ応用 (1)(2) 〔コンピュータの原理〕	うえ はら りょう へい 上 原 隆 平	全学科選	4

講義のねらい

コンピュータの動作原理とプログラミングを学ぶ。また「効率のよいプログラム」とは何かを知る。

講義の内容・授業スケジュール

まずはじめに、コンピュータの動作原理を簡単に学ぶ。そしてコンピュータとは、単純な動作をたくさん積み重ねること、さまざまな処理を行うことができる機械であることを知る。実際にまとまった処理を行う場合には、こうした単純な動作を、目的に応じて組み合わせることが必要になる。これをプログラミングとよぶ。いくつかの問題に対して、プログラムを作成する。同じ問題に対していくつかの解決方法があることを知り、これらの解決方法の「比較」を通じて「効率のよいプログラム」とは何かを学ぶ。

履修上の留意点

プログラミングに対する予備知識は仮定しない。しかし授業に必要な資料は WWW を通じて配布するので、必要最低限のコンピュータの操作（ウィンドウ操作、電子メール、WWW の利用など）はマスターしていること。またプログラムの比較の部分で、数学に関する知識（関数 log など）が多少必要となる。講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

参考書等

山崎秀記『Delphi によるプログラミング入門』（培風館）2,000円

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講生数を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人類学 (1) (2) 〔人類の進化〕	えん どう ばん り 遠 藤 萬 里	全学科選	4

講義のねらい

人類を理解し、その進化を知るには骨やその化石のことを聞くだけではほとんど意味をなさない。生物としてのヒトが自然界でどういう位置にあり、どのように分類され、身体の構造や機能がどうなっているかをきちんと考えることが重要である。進化史は年々書き替えられているが、このような基礎が不十分なためもある。しっかりとした基礎知識を持つように期待する。

講義の内容・授業スケジュール

ヒトが生物のなかでどのような位置にあり、動物としてどこに分類されるか、現在のようになったヒトの特異性とは何か、身体のさまざまな構造・機能にどのような特徴があるのか、文化も含めてどのように進化してきたと現在考えられているのか等について進めて行く。毎年新しい知識が加わるので注意。

履修上の留意点

できるだけ出席すること。内容の進行に応じて時々小テストを行なう。これは理解度を知るためでもある。なお、体育系運動部の学生であまり出席できない学生には、この講義の一部についてのレポートを提出してもらい採点したいので、学年度初めに申出ること。

成績評価の方法

成績は年度末試験と小テストで行なう。また上記の学生はレポートで加点する。

教科書

遠藤万里編『人類生物学入門』（てらべいあ）

参考書等

進化については 遠藤万里『人類学百話一話』（てらべいあ）2,000円、アンドリュース・ストリンガーイラスト・ガイド『私たちヒトの進化』（てらべいあ）2,400円 他の分野については難しすぎるか、古すぎるので紹介しない。

その他

スライドを多く使い、身近な例を引き合いに出して楽しく進めたい。質問は歓迎する。これまでの人体や人類進化の通俗的常識は通用しない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 〔人間関係を考える〕	きたがわ こうじ 北川 公路	社会・福祉・心理選	4

講義のねらい

心理学をこれから学ぼうと考えている人のなかには先入観をもっている人が多いと思われる。それはマスコミなどで取りあげられることの多い深層心理やカウンセリングの問題である。そのため心理学ではそれだけを扱うものであるという誤解が生まれやすい。臨床心理の問題も、心理学の中で重要な問題領域であるが、心理学が扱う問題は、それだけではないということ学ぶ。

心理学全般をおさえ、日常生活において心理学を生かしていく「きっかけ」を身につけることが本講義の目的である。

講義の内容・
授業スケジュール

心理学は独立した学問として認められてから、多くの研究領域に分化し、それぞれ多くの基礎的事実を蓄積してきた。そのようなすでに確立した基礎的な事実と考え方を、いずれの学歴にも偏らない立場ですすめるとともに、できるかぎり最新の成果をとりいれてすすめていく。基礎的分野だけではなく、社会生活の広い分野で心理学が応用されている現状を反映させて、心理学の応用分野についてもふれていく。前期は主に基礎的分野について、後期は主に応用分野について進めていく予定である。

履修上の留意点

具体的な内容、成績評価については初回の授業時に説明する。

成績評価の方法

定期試験、レポート提出、出席など総合評価とする。

教科書

使用しない。

参考書等

適宜案内をする。

その他

授業方法は履修者数により決めるが、基本的なスタイルとして講義形式を考えている。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 〔人間関係を考える〕	たか ほんし よし ひろ 高橋 良博	国文・英米文選	4

講義のねらい

心理学の基礎を学ぶ人を対象にして、その研究方法についての知識を深め、人間の心理学的理解に興味を持ってもらうことを目的に、講義を進めてゆく予定。

特に本講義では、心理学の概論的な講義の中に、人間関係にかかわるトピックスを織り込み、そのような視点を持った研究に焦点を合わせながら、講義をすすめる。

また、講義の中に、適宜、供覧実験や人格テストなどもとり上げ、心理学研究の雰囲気も伝えてゆきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

講義の予定としては、前期では、心理学の立場で人間をどう考え、どの様に捉えようとしているかを、中心に進める予定。後期は、前期の基礎的知識をふまえて、心理学立場からの人間関係に関わる各研究領域に焦点をあててゆく。

成績評価の方法

筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点（講義への出席状況や、参加度）など総合して評価を行う。

教科書

講義の中で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学 [心を科学する]	なかまる しげる 中丸 茂	地理・歴史選	4

講義のねらい

心理学は、人間の心（行動・言語を含む）を客観的に研究する学問である。心理学は、心の科学、および、心の工学と定義され、心の理解・説明・予測・制御を目的とする。本講義では、科学的観点より、日常場面での人間の行動を分析し、得られたデータの解釈の仕方といった科学的方法を身につけることを目的として行われる。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、科学論を中心に、心理学における中心的なパラダイムを紹介し、後期は、それらの日常生活への応用についての話を行う。また、講義は、下記のスケジュールにしたがって進めていく予定である。授業は、ビデオなどを使用し、簡単な実験を体験してもらいながら行っていく。

1. オリエンテーション 心理学って何？
2. 血液型と性格 本当に関係あるの？
3. 科学としての心理学 科学って何？
4. 行動分析学Ⅰ ラムちゃんの電撃
5. 行動分析学Ⅱ バナナとリンゴ
6. 行動分析学Ⅲ 月に向かって吠える
7. 認知心理学Ⅰ マジカルナンバー
8. 認知心理学Ⅱ カクテルパーティ
9. 認知心理学Ⅲ 悩めるオマカかおる
10. 心霊現象の心理学 幽霊は乗り物がお好き？
11. 社会心理学Ⅰ 他人を好きになる時
12. 社会心理学Ⅱ 恋、愛、そして、意志決定 その他（リクエスト可）
13. 無意識の心理学 UFOは存在するか？
14. 人格心理学 社交的な人は朝に弱い
15. 占いの心理学 ラッキーカラーは、赤!!
16. 呪いの心理学 呪殺は可能か？
17. 所信の心理学Ⅰ 知識は人類を駄目にする!!
18. 所信の心理学Ⅱ マインド・コントロール
19. 宗教の心理学 神社の石段
20. スポーツ心理学 イメージトレーニング
21. プロファイリング モラル・ハラスメント
22. テクノ・コミュニケーション 顔文字は使ったほうがいいのか

履修上の留意点

講義は、プリント中心に行い、毎回、参考文献や図書の紹介を行う。したがって、一冊の本を読めば本講義の内容を把握できるというものではなく、毎回の知識の積み重ねが必要である。(教科書 理解度UP++)

成績評価の方法

筆記試験の絶対評価として処理される。また、心理学の実験や調査に参加することも、心理学を学ぶために重要であり、得点として加算される。

教科書

中丸茂『心理学者のための科学入門』1999（北大路書房）
中丸茂『トワイライト・サイコロジー』2000（北大路書房）
講義オリジナル資料 毎回配布（2～3枚） 年間 40～50枚

参考書等

講義用の配布資料で紹介。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 [ヒューマン・ウォッチング]	たか はし よし ひろ 高 橋 良 博	国文・英米文選	4

講義のねらい

基礎的な心理学の概論を学ぶ人を対象にして、日常的な問題に即しながら、その研究方法についての知識を深め、人間の心理学的理解に興味を持ってもらうことを目的に、講義を進めてゆく予定。

特に本講義では、心理学の概論的な講義の中に、人間の行動生物学的研究や、環境心理学的研究などのトピックスを織り込み、そのような視点を持った研究に焦点を合わせながら、講義をすすめる。

また、講義の中に、適宜、供覧実験や人格テストなども織り込み、心理学研究の雰囲気も伝えてゆきたい。

講義の内容・ 授業スケジュール

講義の予定としては、前期では、心理学の立場で人間をどう考え、どの様に捉えようとしているかを、中心に進める予定。後期は、前期の基礎的知識をふまえて、心理学の人間行動に関わる各研究領域に焦点をあててゆく。

成績評価の方法

筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点（講義への出席状況や、参加度）など総合して評価を行う。

教 科 書

講義の中で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 〔心を科学する〕 (夏季集中)	ほり うち まさ ひこ 堀 内 正 彦	全学科選	4

自然分野

講義のねらい

人間を理解するための1つの視点として心理学を学ぶことを本講義のねらいとする。ここでいう人間理解とは一個人の性格や人格の理解も含むが、そればかりではなく、人間が一般的にもつ特性を知ることを含む。例えば、物の見え方や判断の仕方などのような様々な場面で何気なく行なっている活動全般について理解するということである。

講義の内容・授業スケジュール

心理学の概略、行動の基本様式、感覚・知覚、記憶、学習、思考、発達、社会的行動などについて講義する予定である。

履修上の留意点

この講義に限らず何かを学ぶということの根底には、普段の生活の中での「当たり前」のこととして捉えているようなことに対して、素朴な疑問とでもいうべき問題意識を抱くことが大切であると考えている。このような問題意識をもって授業に臨むことを希望する。なお、その他の細かい点については以下の通りである。

- ① 私語は厳禁である。
- ② 講義中に分からないことがあった場合には、講義をさえぎって質問してもよい。また、E-mailでの質問も受け付ける。
- ③ 1回の講義において2回目以降に私語を中止された学生は、その講義に限り退場とする。

成績評価の方法

試験の結果を重視する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

講義の中で紹介する。

その他

授業日程

前半		1	2	3	4	5	6	後半		1	2	3	4	5	6
8月2日	月	○	○	○	○	○		8月20日	金						
8月3日	火	○	○	○	○	○		8月23日	月						
8月4日	水	○	○	○	○	○		8月24日	火						
8月5日	木	○	○	○	○	○		8月25日	水						
8月6日	金	○	○	○	○	○		8月26日	木						
8月9日	月	○	○	○	○	○		8月27日	金						

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合 I (1) 〔仏教と自然〕	よつや こうどう 四津谷 孝道	全学科選	4

講義のねらい

「エコロジー」というものが、大きな社会的な且つ学問的な課題になって久しいが、仏教学の分野においても「エコロジー」との関連ですでに多くの研究が蓄積されつつある。本講座では、それらの研究を参照しながら、いくつかの具体的テーマに焦点をしばって、仏教と自然に関する検討を進めてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

まず、本講座において扱うところの「仏教」並びに「自然」というものについて明確な説明を加える。

それを前提にして、「仏教と菜食主義」というテーマを、インド思想全体の関連の中で検討する。もう一つのテーマは「仏教と医学」である。このテーマの下に、特にインド・チベットの伝統医学の中にその自然観・人間観を探ってみる。

履修上の留意点

外国語の文献を扱うことが多いので、受講生は英語、ドイツ語、フランス語のある程度の語学力を有することが望ましい。

成績評価の方法

学年末の試験。

教科書

特になし。必要と思われるものは、授業において適宜に指示をする。

参考書等

特になし。必要と思われるものは、授業において適宜に指示をする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合 I (2) 〔仏教と社会〕	くま もと えい にん 熊本英人	全学科選	4

講義のねらい

日本の社会の諸問題を、仏教とのかかわりから考える。

講義の内容・授業スケジュール

社会とは、人間の言語、慣習、規範、制度などによって規定された世界であり、人間は、その社会のあり方を思索し、理想的な社会の実現に努力している。

仏教は、社会とどのようにかかわり、影響を与え、あるいは運動を起こしてきたか。生死、人権、女性、家族、平和といったキーワードから、仏教の立場、仏教への期待、社会の現実などをみていくことで、現代への問題提起を行いたい。

成績評価の方法

適宜レポートを課す。年度末の筆記試験と合わせて評価する。

教科書

適宜プリントで配布する。

参考書等

講義の中で随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 Ⅲ (1) 〔人権と社会問題〕	ピアス, D. M.	全学科選	4

講義のねらい

This being the most advanced English course available, its first intention is to prepare for studying abroad. Students will get a partial experience of what it is like to take a university-level course in a foreign country, and thereby have more success from studying abroad. Students will not study English; they will study something *in* English. Lectures, compositions, and conversation practice will concentrate on international social problems such as human rights, war, feminism, poverty, suicide, sex, racism, euthanasia, abortion, ecology, etc. Alternatively, programs in the history of economic and political thought, and in American sociology, may be used as lecture material.

講義の内容・授業スケジュール

Elementary level English conversation will not be taught, but there will be intensive practice every period in spoken English on, quotidian, opinion exchange, and intellectual levels. Emphasis is placed on learning to converse *intelligently*, that is, to communicate thought in spoken language. Time will be devoted to English composition and to listening comprehension practice.

The format of the course is not based fundamentally upon the lecture series; during most of the class time students will be actively producing, in writing and speaking.

履修上の留意点

ATTENDANCE: Attendance and active participation are most important; only practice improves English. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter-grade less than what the student would otherwise have received.

EXAMINATIONS: Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

成績評価の方法

GRADING: Your final grade is the quality of the employment that you can find after university graduation. Never forget that English ability is extremely important when you are looking for a job; you will get better employment if you improve your English this year. This is an extremely important point; you are taking a high-quality English course to get better employment in the future, not just to get a university grade!

GRADING, AGAIN: Your final grade depends 70% on your class performance, in every class. I will keep a record of your participation in every single class meeting. This is a course for intellectual English conversation; one can improve speaking ability, similarly to playing piano, only by constant practice. This is true no matter how advanced the student may be. Therefore, attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Finally! Everyone in the class is equally able to get an "A" in the class, because the final grade does not depend on the final examination. Even if a student cannot speak English at all, he/she has as much a chance as the other students to get an "A", because his final grade depends on his effort and his improvement in comparison to his initial ability.

教 科 書

Textbook and materials: We will probably use *Social Practices*, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or an electronic dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅲ (2) 〔欧米の教育と日本の教育〕	岡崎 寿一郎 <small>おか さき としいちろう</small>	全学科選	4

講義のねらい

日本の大学は、1949年の改革で、アメリカの一般教育の理念を採用し、人文・社会・自然科学・体育・外国語のコースを専門課程の前に課してきました。それが、新カリキュラムによって変更されました。しかし、アメリカの大学がいかなる変革を経て今日にいたったのか。また、その現状がどのようなものであるのかは、知られていないとおもわれます。大学数は、現在、アメリカでは、約3,000校、日本は、約1,000校（短大・四年制大学）です。ヨーロッパでは、まだ、日本の戦前における数（旧大学令・47校）とほぼ同数です。進学率も10%前後です。また、大学入試制度については、例えば、「各大学単位で独自の入学試験が行われている国は、OECD加盟国の中では日本とユーゴスラヴィアの二国だけであり、また選抜試験のみで大学生を入学させているのは、日本以外はポルトガルとトルコの二国のみである」（西尾幹二『ヨーロッパ像の転換』）とあります。欧米では、大学入学資格認定制度が採用されています。（例、イギリスの「A」レベル、ドイツのアビトゥア、フランスのパカロレア、アメリカのSAT等）講義では、文化相対論（異なる文化の風俗・習慣についての批判・評価と同時に、その風土・歴史的背景を十分に考慮する）の観点から、自国の教育（制度）を絶対視する価値観の単一化を避けつつ、国際化の時代に即応したグローバルな教育観の展望について論じます。

総合分野

成績評価の方法

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、講義内容に則したプリントを配布します。成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

参考書等

参考書・文献については適宜言及します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅲ (3) 〔中国語圏文化の諸相〕	岩崎 皇 <small>いわ さき ひろし</small>	全学科選	4

講義のねらい

同じ漢字文化圏の国として、中国の、漢字に関する言語政策を紹介します。

講義の内容・授業スケジュール

文字改革と80年以降の情報化社会に対応する政策を中心に解説します。

成績評価の方法

出席及び授業態度で判断します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅳ (1) 〔現代アメリカ事情〕	林 明人 <small>はやし あき と</small>	全学科選	4

講義の内容・授業スケジュール

現代のアメリカが抱えているさまざまな問題を、具体的なキーワード（abortion, affirmative action, euthanasia, Brady Bill 等）を説明しながら紹介します。なぜその問題が起こったのか、そしてそれがどのように発展し、現在どうなっているのかを見てゆきます。知っているようで知らないアメリカの諸相が見えてきます。

成績評価の方法

前・後期のレポート、出席の総合評価。

教科書

プリントを配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 IV (2) 〔米国シアトルNPOの経営研究〕	にしむらゆうこ 西村祐子	全学科選	4

講義のねらい

アメリカのNPO, NGO(非営利組織)は日本に比べ、非常にアクティブであるといわれるが、なかでもまちづくり(コミュニティビルディング)において市民と自治体の協同がとりわけて盛んでユニークな発展を続けているワシントン州、シアトル市の事例をとりあげてみる。さらに日本におけるまちづくりのありかたとの比較を行う。

講義の内容・
授業スケジュール

授業は通年で以下のようなテーマを中心におこなわれる。

アメリカの非営利組織と日本の非営利組織との違い
 コミュニティ・ビルディングとまちづくり
 シアトルのまちづくり
 シアトル・アジア系住民のまちづくり
 自治体とNPOの協同について
 日本のまちづくりとシアトル

成績評価の方法

平常点(出席率、レポート内容)重視。

教 科 書

教場にて指定。

参 考 書 等

教場にて指定。

総合分野

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 IV (3) 〔ポスト・モダンの世界〕	丸 小 哲 雄	全学科選	4

講義のねらい

本講義の狙いは、受講生の既成概念に対して兆発することで、既視感に対して違和感を抱くように講義します。それを念頭において、近代化の啓蒙思想を批判し、それを乗り越えるための主体性としての自己組織の確立を目指すことにあります。ポストモダン概念を整理し、そのような学際的な知の最前線として、固有なものに出会うための批判の方法によって権力の座(特権化された場所)を移動・転倒させつつ、歴史的過渡期の思想的表現としての近現代史の思想を批判すること(帝国主義と植民地化に対する批判)にあります。そのために「大きな物語」の終息後に、どのようにして世界を再構築していくかが現代的な問題となります。本講義においては、基本的に、近代の思想を担った思想家たちをモデルにして、その論理的枠組み、哲学・宗教の思想的な特徴、経済・政治におけるメカニズムと思想史的な特徴などのさまざまなキーワードを手がかりにして、近代思想の根拠を跡づけて、ポストモダンの現象と批判的立場を明確化していきます。前期では、近代建築史、広告批評史、エロスの解放問題、ファッション・モードの変遷、映画の変遷過程の特徴、文学と文学理論の特徴、近代を乗り越える根拠を原理的に見出すように講義していきます。従って、受講生がどのようにして主体性を形成するかが受講生の課題となります。

講義の内容・授業スケジュール

講義に際して、関連文献リストを配布し、事前を読むテキストを指示します。また、クラス外では文庫本・新書版を読んで、前期と後期にレポートを作成します。講義の骨子は以下の通りです。

1. 「モダン」の定義とポストモダンの特質について
2. 近代言語観の変遷について
3. 現代という時代の捉え方；「今ここ」における自己言及のパラドックスについて
4. 近代における人間観、宇宙観、社会観の変遷について
5. 西洋の理性批判(啓蒙思想批判)について
 - 1) ソクラテス、デカルト、ヘーゲルとマルクス、ショーペンハウエル、
 - 2) ニーチェとハイデガー 3) マック・ヴェーバー 4) ミュシエル・フーコー
6. トランスモダン
横断的近代：アメリカン・イデオロギーとグローバリズムに対するナショナル意識とリージョンナル意識との対抗性について
7. レビュー：冷戦後における自己組織と反省的人間の特質について

成績評価の方法

出席、前期・後期の読書レポート(リストから選択)、ターム・ペーパー作成などの総合評価。

教 科 書

- ・ 読書リスト配布
- ・ プリント配布

参 考 書 等

リーディング・リスト配布

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅵ (1) 〔民族とは何か〕	おおの ゆうじ 大野 祐二	全学科選	4

講義のねらい

この講義は、文化人類学的な視点から「民族」にまつわる様々な現象を、我々の日常生活において理解することを、主たるねらいとしています。世界各地で噴出する民族問題の百科事典的な紹介ではなく、問題を理解する際に必要なアプローチなり、方法や認識について考察することを通して、我々の日常との関連について、つまり「あちら／他者」の問題としてではなく、「あちらとこちら／自己と他者」との関係のあり方から検討することを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

具体的なスケジュールについては最初の講義の際に伝えますが、前期においては文化人類学的方法論(文化の概念、異文化の記述・異文化へのまなざし、文化相対主義、他者表象など)についてが中心になります。

後期は、ビデオ教材も使いながら、日本・朝鮮半島・北米などにおける事例を検討しながら、「民族」現象について国家・ナショナリズム・植民地主義・歴史・伝統文化などとの関連から考察を進める予定です。

履修上の留意点

講義形式ですすめますが、一方的にならないため質問時間も可能な限りとります。大幅に遅刻する人はご遠慮ください。

成績評価の方法

前後期の定期試験(またはレポート)、および小テストで評価します。

教科書

詳細については授業中にプリントで伝える予定です。

参考書等

原尻英樹著『コリアンタウンの民族誌』(筑摩書房)
吉野耕作者『文化ナショナリズムの社会学』(名古屋大学出版会)
李孝徳著『表象空間の近代』(新曜社)

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅵ (2) 〔イスラム〕	よしだ きょうこ 吉田 京子	全学科選	4

講義のねらい

現在、最も注目される思想、文化体系としてのイスラームに関する日本人の知識不足を補うための授業。国際社会の一員として最低限知っておくべき教養としての範囲のイスラームに関する知識を習得することが本講義の最大の目的である。多様な「イスラーム」認識の方法論の中から、イスラームの宗教的側面、信仰の概略、思想の根本を理解するため宗教学的アプローチを中心に講義を行う。従って、国際関係論的、政治学的、社会学的、文化人類学的視座に基づくイスラーム概説とは異なる点を注意されたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期、後期を通じ、イスラームの信仰の核である、クルアーン、預言者ムハンマド、イスラーム法学、イスラーム神学、歴史的分派、スーフイズム等々の思想トピックごとに概論的授業を行う。

履修上の留意点

宗教学的、思想的側面からのイスラーム論なので、社会学的、歴史学的、政治学的、国際関係論的アプローチの前段階の内容となる。そのため、そのような意味でのイスラーム論を期待する学生には不適當である場合もある。

成績評価の方法

年間を通じ、出席率、提出物、後期末の試験により成績を決定する。

教科書

特になし

参考書等

授業中紹介

その他

数回のビデオ上映を予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 VI (3) 〔フェミニズム・ジェンダー〕	はやかわのりよ 早川紀代	全学科選	4

講義のねらい

この世の中はあたり前のことだけれども、男性と女性、女性と男性の両性から成りたっている。この両性の関係はどんな風に私たちの社会の中で構成されているだろうか。それをつぎの分野でみなさんとともに考えます。私たちはどんな両性関係を望んでいるのか。私たちが理想とする両性関係を創造するには、どんなことが必要か、みなさんと考えます。

講義の内容・
授業スケジュール

前期

a. ジェンダーってなに？

フェミニズムやジェンダーという考え方が誕生した歴史背景と私たちがもっているジェンダー観を考えます。

b. セクシュアリティとジェンダー

性同一性障害、ドメスティックバイオレンス、ホモセクシュアルとヘテロセクシュアル、生殖技術の発展と人間の歴史などを考えます。

後期

c. 家族の過去、現在、未来

日本の家族の歴史をふり振り返りながら、みなさんが生まれ、現在にいたるまでの間に、どんな風に家族の機能や形、人間関係、家族観が変わったか、今後の家族のあり方をさぐります。

d. 労働とジェンダー

2003年10月の新卒の就職率は60パーセント。企業の雇用戦略が変貌する過程で男女の配置はどうなっているのか。男女がともに家族と労働の生活をおくるには何が必要か、考えます。

成績評価の方法

前期 夏休みに課題のレポートをまとめ提出する。

後期 論述式試験。

そ の 他

随時、感想文などを提出してもらおう。なるべくみなさんの間で意志交換できるようにする。資料を随時配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総 合 VII (1) 〔トラブルと法的解決〕	藤本 茂・荒木 正孝 竹中 智香・原田啓一郎 日笠 完治・山口 邦夫	全学科選	4

講義のねらい

日常生活は、常に順調と言うわけにはいかない。社会生活につきまとうトラブルを法的に解決することを考える。

法的トラブルにはどのようなパターンがあるか。それをどう解決すればよいのか、あるいは、トラブルを未然に防ぐにはどうすればよいのか。これらの点について、市民として知っておくべき基礎的知識を、各法領域の教員が交替で講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

第1回目の講義で、履修上の注意点と各法領域での講義内容の概要を説明する。受講希望者は必ず、出席すること。

担当教員の順番や講義内容は、「詳細情報画面」を参照すること。各領域3回から4回を予定している。ここでは、各担当教員のテーマを上げるに止める。

- 1 日笠 完治 トラブルを憲法的観点から考える
- 2 山口 邦夫 刑事事件と法定手続
- 3 竹中 智香 変化する市民生活と民法
- 4 荒木 正孝 現代社会と商法
- 5 藤本 茂 現代雇用社会と労働法
- 6 原田啓一郎 大学生活と社会保障の法的トラブル

履修上の留意点

各担当教員の実質講義回数が少ないため、講義には必ず出席すること。
私語は慎むこと。携帯電話のスイッチはOFFにすること。

成績評価の方法

各担当教員がそれぞれの担当枠の最後に実施する試験の成績を総合して評価する。講義に出席することはもとより、各担当教員の実施する試験は必ず受け、レポートが出されれば必ず、その担当期間内に提出すること。

追・再試験は、講義の形態上、行わない。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

各担当教員が講義に際し、必要に応じて、その都度開示する。
六法は毎回忘れずに、持参すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅶ 〔都市論〕 (2)	早川純貴・浦田早苗 坂井文・品田知美 保坂尚郎	全学科選	4

講義のねらい

いま大都市は多くの問題を抱えている。過密化と空洞化、住宅難、犯罪、失業と貧困、ホームレス、ゴミ問題、再開発、あるいは国際化と多文化主義。しかしこれらは独自のダイナミズムを持ち、拡大と変容を繰り返すと都市社会が示す多様な表象にほかならない。都市の現状を政治学や経済学、あるいは社会学や建築学の観点から概観し、都市の将来を考える。

講義の内容・授業スケジュール

講義は5名の講師により、各々4～6回ずつ行う。その順序/時期と講義内容は以下の通り。

早川純貴「都市論」のガイダンス（1回/4月）

品田知美「都市の変容と生活様式」（6回/4・5月）——都市には、多くの人々が集う場として独特の生活様式が見いだせる。本講義では、日本の大都市の変容過程を、主に2つの視点から振り返る。①環境：都市のかたちは、エネルギーや資源の消費とどう関係するのか。②家族：都市はいつも新しい家族のかたちを生み出す。異質な人々にとって、都市とはどういう場であるのか。2つの視点を、生活様式というキーワードで結びながら、近未来の都市のゆくえを考えたい。

保坂尚郎「都市と労働」（6回/6・7月）——労働による肉体的負担は、労働時間に通勤時間、乗り物の混雑なども加わり、都市部ほどその負担が大きい。また都市では居住環境の制約から核家族が多く、両親が就労しながら子育てする場合、保育施設の整備が不可欠であるが、現実には絶対数が不足している。この講義では、裁量労働制、時差通勤、SOHOワークなどの新たな働き方と、駅周辺保育施設の整備などを組み合わせ、快適・効率的で、子育てと両立できる都市労働のあり方を考える。

坂井文「都市オープンスペースの公共性」（4回/9月・10月）——公共性の概念は、時代・文化とともに変容していく。本講座は、都市施設の一要素である都市オープンスペース整備の政策に注目しながら、その公共性のあり方について考察することを目的とする。具体的には、ロンドンと東京の歴史的な都市オープンスペースの概念の形成について考察したうえで、現在の政策について検証する。

早川純貴「『まちづくり』と住民参加」（4回/10・11月）——いわゆる迷惑施設や道路建設をめぐる住民と行政の対立、地域による防災への取り組み、老人・障害者支援など身近にあるまちづくり、そして古い家並みや建造物の保存運動などを通じ、住みやすく愛着のある「まちのかたち」を住民参加の観点で考える。

浦田早苗「イギリスの都市はおいしい」（4回/11・12月）——イギリス一般市民の都市生活を、食事、娯楽、住居などの面から観察し、日英の都市文化の比較を試みる。

総合分野

履修上の留意点

日本や海外の都市問題に強い関心を持つ学生の受講を歓迎する。もちろん学生諸君が「都市」に居住しているかどうかは問わない。

成績評価の方法

成績は各講師がレポートないし小テスト等により判定し、それらを早川が総合して評価する。

総合分野

3. 外 国 語 科 目

科外
国
目語

3 . 外国語科目

[英 語]

英語 I A (国・地)	〈井出功一〉	115
英語 I A (国)	〈山口晃〉	115
英語 I A (国)	〈平林卓郎〉	116
英語 I A (国)	〈渡部孝治〉	116
英語 I A (英)	〈市川仁〉	116
英語 I A (英)	〈児林英子〉	117
英語 I A (英・地)	〈安齋薫〉	117
英語 I A (英)	〈植村恵子〉	117
英語 I A (地)	〈市川仁〉	118
英語 I A (地)	〈児林英子〉	118
英語 I A (歴)	〈水崎野里子〉	118
英語 I A (歴)	〈岩屋玉江〉	119
英語 I A (歴)	〈浜田一宇〉	119
英語 I A (歴)	〈真砂久晃〉	119
英語 I A (歴)	〈池上賀英子〉	120
英語 I A (歴)	〈塚本利男〉	120
英語 I A (社)	〈木村正俊〉	120
英語 I A (社)	〈平林卓郎〉	121
英語 I A (福)	〈中林正身〉	121
英語 I A (福)	〈植村恵子〉	122
英語 I A (福)	〈山口晃〉	122
英語 I A (心)	〈岩永祥恵〉	122
英語 I A (心)	〈芝田興太郎〉	123
英語 I A (心)	〈風間則比古〉	123
英語 I A (国・英・地・歴)	〈山縣裕〉	123
英語 I A (社・福・心)	〈桧山晋〉	124
英語 I B (国・歴・心)	〈藤島喬樹〉	125
英語 I B (国・英)	〈高橋佳江〉	125
英語 I B (国)	〈高橋明子〉	126
英語 I B (国)	〈濱口真木〉	126
英語 I B (英)	〈岡崎寿一郎〉	126
英語 I B (英)	〈三幣友行〉	127
英語 I B (英)	〈国見晃子〉	127
英語 I B (地)	〈小山太一〉	127
英語 I B (地)	〈濱口真木〉	128
英語 I B (地)	〈本間章郎〉	128
英語 I B (歴)	〈前田脩〉	128
英語 I B (歴・社)	〈国見晃子〉	129
英語 I B (歴・福)	〈高橋明子〉	129
英語 I B (歴・社)	〈三芳康義〉	129
英語 I B (歴)	〈本間章郎〉	130
英語 I B (福)	〈太田美智子〉	130
英語 I B (福)	〈高橋美貴〉	131
英語 I B (心)	〈牧野正秀〉	131
英語 I B (心)	〈高橋佳江〉	131

英語 I B (文学部全学科)	〈前田 脩〉	132
英語 II A (国)	〈北村 弘文〉	133
英語 II A (国)	〈杉本 誠〉	134
英語 II A (国)	〈岩永 祥恵〉	134
英語 II A (英・社)	〈古富 猛〉	134
英語 II A (英)	〈石原 孝哉〉	135
英語 II A (英)	〈加藤 佐和子〉	135
英語 II A (英)	〈岸本 茂和〉	135
英語 II A (地)	〈甲斐 捷子〉	136
英語 II A (地)	〈小布施 圭佐三〉	136
英語 II A (地)	〈川手 浩一〉	136
英語 II A (地)	〈岩井 洋美〉	137
英語 II A (歴)	〈木村 克彦〉	137
英語 II A (歴)	〈江田 幸子〉	137
英語 II A (歴)	〈武藤 久緒〉	138
英語 II A (社)	〈堀 千和子〉	138
英語 II A (心)	〈尾上 典子〉	139
英語 II A (心)	〈太田 由紀子〉	139
英語 II A (心)	〈町田 成男〉	139
英語 II B (国)	〈宇都宮 秀和〉	140
英語 II B (国)	〈佐藤 勝〉	140
英語 II B (国)	〈長谷川 公一〉	141
英語 II B (英)	〈山口 晃〉	141
英語 II B (英)	〈佐藤 明子〉	141
英語 II B (英)	〈伊藤 美代子〉	142
英語 II B (英)	〈松堂 啓子〉	142
英語 II B (歴)	〈外池 一子〉	142
英語 II B (歴)	〈高見 陽子〉	143
英語 II B (歴)	〈大庭 直樹〉	143
英語 会話 I	〈ウェルズ, J. K.〉	144
英語 会話 I	〈ソルタ, P. N. F.〉	144
英語 会話 I	〈ジトウィッツ, P. D.〉	145
英語 会話 I	〈ピアス, D. M.〉	145
英語 会話 I	〈プラスキー, J. C.〉	146
英語 会話 I	〈ラージ, R.〉	146
英語 会話 I	〈レイン, R. V.〉	147
英語 L L I	〈甲斐 捷子〉	148
英語 L L I	〈加藤 佐和子〉	148
英語 L L I	〈久保 ひさ子〉	149
英語 L L I	〈中林 正身〉	149
英語 L L I	〈西村 祐子〉	150
英語 L L I	〈塙 美智子〉	150
英語 L L I	〈ヘラー, P. S.〉	151

〔ドイツ語〕

ドイツ語 I A (文学部全学科)	〈栗原 万修〉	152
ドイツ語 I A (国・地・社・福・心)	〈野島 利彰〉	152
ドイツ語 I A (国・地・社・福・心)	〈五十嵐 信子〉	153
ドイツ語 I A (英・歴)	〈野島 利彰〉	153

ドイツ語ⅠA (英・歴)	〈松 岡 晋〉	154
ドイツ語ⅠB (文学部全学科)	〈栗 原 万 修〉	154
ドイツ語ⅠB (文学部全学科)	〈岡 本 時 子〉	154
ドイツ語ⅠB (国・地・社・福・心)	〈杉 本 正 俊〉	155
ドイツ語ⅠB (英・歴)	〈杉 本 正 俊〉	155
ドイツ語ⅡA (国・地・歴)	〈柴 野 博 子〉	155
ドイツ語ⅡA (英)	〈百 濟 勇〉	156
ドイツ語ⅡB (国・歴)	〈織 田 繁 美〉	156

〔 フ ラ ン ス 語 〕

フランス語ⅠA (国・地・社・福・心)	〈井 田 清 子〉	157
フランス語ⅠA (国・地・社・福・心)	〈小 玉 齊 夫〉	157
フランス語ⅠA (文学部全学科)	〈遠 山 博 雄〉	158
フランス語ⅠA (英・歴)	〈佐 藤 久 美 子〉	158
フランス語ⅠA (英・歴)	〈芦 原 眷〉	158
フランス語ⅠB (文学部全学科)	〈竹 田 正 純〉	159
フランス語ⅠB (国・地・社・福・心)	〈浜 崎 設 夫〉	159
フランス語ⅠB (文学部全学科)	〈桑 田 禮 彰〉	159
フランス語ⅠB (英・歴)	〈浜 崎 設 夫〉	160
フランス語ⅡA (国・地・歴)	〈遠 山 博 雄〉	160
フランス語ⅡA (英)	〈小 玉 齊 夫〉	161
フランス語ⅡA (英)	〈前 田 祝 一〉	161
フランス語ⅡB (国・歴)	〈畑 中 千 晶〉	162

〔 中 国 語 〕

中国語ⅠA・ⅠB (文学部全学科)	〈布施直子・胡玉華〉	164
中国語ⅠA・ⅠB (文学部全学科)	〈福地桂子・前川亨〉	165
中国語ⅠA・ⅠB (国・地・社・福・心)	〈工藤早恵・布施直子〉	165
中国語ⅠA・ⅠB (国・地・社・福・心)	〈釜屋修・下出宣子〉	165
中国語ⅠA・ⅠB (国・地・社・福・心)	〈塩 旗 伸 一 郎〉	166
中国語ⅠA・ⅠB (国・地・社・福・心)	〈佐 藤 普 美 子〉	166
中国語ⅠA・ⅠB (国・地・社・福・心)	〈天野節・曹泰和〉	166
中国語ⅠA・ⅠB (英・歴)	〈工藤早恵・塩旗伸一郎〉	167
中国語ⅠA・ⅠB (英・歴)	〈戸張嘉勝・下出宣子〉	167
中国語ⅠA・ⅠB (英・歴)	〈天野 節・佐藤普美子〉	168
中国語ⅠA・ⅠB (英・歴)	〈釜 屋 修〉	168
中国語ⅠA・ⅠB (英・歴)	〈小 川 隆〉	169
中国語ⅡA (国・地・歴)	〈松 本 丁 俊〉	169
中国語ⅡA (国・地・歴)	〈福 地 桂 子〉	169
中国語ⅡA (国・英・地・歴)	〈岩 崎 皇〉	170
中国語ⅡA (国・地・歴)	〈弘 兼 加 奈 子〉	170
中国語ⅡA (英)	〈釜 屋 修〉	170
中国語ⅡA (英)	〈李 雲〉	171
中国語ⅡA (英)	〈松 本 丁 俊〉	171
中国語ⅡB (国・歴)	〈根 岸 政 子〉	171
中国語ⅡB (国・歴)	〈櫻 庭 和 典〉	172
中国語ⅡB (国・歴)	〈松 本 丁 俊〉	172

[スペイン語]

スペイン語 I A (国・地・社・福・心)	〈上野 勝 広〉	173
スペイン語 I A (文学部全学科)	〈宮地 達 郎〉	173
スペイン語 I A (文学部全学科)	〈亀山 晃 一〉	174
スペイン語 I A (英・歴)	〈ルイズティノコ, C.〉	174
スペイン語 I B (文学部全学科)	〈佐藤 麻里乃〉	174
スペイン語 I B (文学部全学科)	〈米田 博 美〉	175
スペイン語 I B (国・地・社・福・心)	〈栗林 ゆき絵〉	175
スペイン語 I B (英・歴)	〈荻野 雅 司〉	176
スペイン語 II A (国・地・歴)	〈真下 祐 一〉	176
スペイン語 II A (英)	〈大岩 功〉	177
スペイン語 II A (英)	〈福本 久美子〉	177
スペイン語 II B (国・歴)	〈福本 久美子〉	177

[ロシア語]

ロシア語 I A (文学部全学科)	〈杉山秀子・佐野朝子〉	179
ロシア語 I B (文学部全学科)	〈廣田 英 靖〉	180
ロシア語 II A (国・地・歴)	〈木村 英 明〉	180
ロシア語 II A (英)	〈杉山 秀 子〉	181
ロシア語 II B (国・歴)	〈佐野 朝 子〉	181

《再履修クラス》

〔 英 語 〕

英語 I A	〔再クラス〕	〈西村 祐子〉	182
英語 I A	〔再クラス〕	〈岩井 洋美〉	182
英語 I A	〔再クラス〕	〈林 孝憲〉	182
英語 I A	〔再クラス〕	〈牧野 輝良〉	183
英語 I A	〔再クラス〕	〈朝川 真紀〉	183
英語 I A	〔再クラス〕	〈佐藤 アヤ子〉	183
英語 I A	〔再クラス〕	〈吉江 正雄〉	184
英語 I A	〔再クラス〕	〈埴 美智子〉	184
英語 I A	〔再クラス〕	〈塚本 利男〉	185
英語 I A	〔再クラス〕	〈川島 弘之〉	185
英語 I A	〔再クラス〕	〈尾上 典子〉	186
英語 I A	〔再クラス〕	〈外池 一子〉	186
英語 I A	〔再クラス〕	〈高柳 文江〉	186
英語 I A	〔再クラス〕	〈熊沢 和明〉	187
英語 I A	〔再クラス〕	〈岩原 康夫〉	187
英語 I A	〔再クラス〕	〈西原 克政〉	187
英語 I B	〔再クラス〕	〈手島 敬子〉	188
英語 I B	〔再クラス〕	〈林 孝憲〉	188
英語 I B	〔再クラス〕	〈木村 克彦〉	188
英語 I B	〔再クラス〕	〈武藤 久緒〉	189
英語 I B	〔再クラス〕	〈江田 幸子〉	189
英語 I B	〔再クラス〕	〈甲斐 捷子〉	190
英語 I B	〔再クラス〕	〈石原 孝哉〉	190
英語 I B	〔再クラス〕	〈真砂 久晃〉	190
英語 I B	〔再クラス〕	〈高柳 文江〉	191
英語 I B	〔再クラス〕	〈熊沢 和明〉	191
英語 I B	〔再クラス〕	〈町田 成男〉	191
英語 I B	〔再クラス〕	〈飯沼 好永〉	192
英語 II A	〔再クラス〕	〈佐藤 明子〉	192
英語 II A	〔再クラス〕	〈宇都宮 秀和〉	192
英語 II A	〔再クラス〕	〈岡崎 寿一郎〉	193
英語 II A	〔再クラス〕	〈佐藤 江里子〉	193
英語 II A	〔再クラス〕	〈岡崎 寿一郎〉	193
英語 II A	〔再クラス〕	〈井伊 順彦〉	194
英語 II A	〔再クラス〕	〈川崎 浩太郎〉	194
英語 II A	〔再クラス〕	〈矢島 直子〉	194
英語 II A	〔再クラス〕	〈相馬 美明〉	195
英語 II A	〔再クラス〕	〈河内 賢隆〉	195
英語 II A	〔再クラス〕	〈古富 猛〉	195
英語 II A	〔再クラス〕	〈三浦 眞理〉	196
英語 II A	〔再クラス〕	〈山岸 二郎〉	196
英語 II B	〔再クラス〕	〈佐藤 江里子〉	196
英語 II B	〔再クラス〕	〈伊藤 美代子〉	197
英語 II B	〔再クラス〕	〈川手 浩一〉	197
英語 II B	〔再クラス〕	〈川手 浩一〉	197
英語 II B	〔再クラス〕	〈長谷川 公一〉	198

英語ⅡB〔再クラス〕	〈澤田真弓〉	198
英語ⅡB〔再クラス〕	〈落合和昭〉	198
英語ⅡB〔再クラス〕	〈前田脩〉	199
英語ⅡB〔再クラス〕	〈河内賢隆〉	199
英語ⅡB〔再クラス〕	〈本間俊一〉	199
英語ⅡB〔再クラス〕	〈笹倉貞夫〉	200
英語ⅡB〔再クラス〕	〈笹倉貞夫〉	200

〔ドイツ語〕

ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	〈柴野博子〉	201
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	〈志真斗美恵〉	201
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	〈本橋右京〉	201
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	〈杉本正俊〉	202
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	〈飯塚公夫〉	202
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	〈野島利彰〉	203
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	〈井村行子〉	203
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	〈本橋右京〉	203
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	〈松岡晋〉	204
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	〈織田繁美〉	204
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	〈栗原万修〉	204
ドイツ語ⅡB〔再クラス〕	〈百濟勇〉	205
ドイツ語ⅡB〔再クラス〕	〈柴野博子〉	205
ドイツ語ⅡB〔再クラス〕	〈織田繁美〉	205

〔フランス語〕

フランス語ⅠA〔再クラス〕	〈竹田正純〉	206
フランス語ⅠA〔再クラス〕	〈芦原眷〉	206
フランス語ⅠA〔再クラス〕	〈小玉齊夫〉	206
フランス語ⅠA〔再クラス〕	〈遠山博雄〉	207
フランス語ⅠA〔再クラス〕	〈谷川かおる〉	207
フランス語ⅠB〔再クラス〕	〈菅谷暁〉	207
フランス語ⅠB〔再クラス〕	〈今関アーン〉	208
フランス語ⅠB〔再クラス〕	〈小玉齊夫〉	208
フランス語ⅠB〔再クラス〕	〈長谷川光明〉	209
フランス語ⅡA〔再クラス〕	〈畑中千晶〉	209
フランス語ⅡA〔再クラス〕	〈沼倉広子〉	209
フランス語ⅡA〔再クラス〕	〈長谷川光明〉	210
フランス語ⅡB〔再クラス〕	〈前田祝一〉	210
フランス語ⅡB〔再クラス〕	〈沼倉広子〉	210
フランス語ⅡB〔再クラス〕	〈谷川かおる〉	211

〔中国語〕

中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈江林英基〉	212
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈戸張嘉勝〉	212
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈杉山静〉	212
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈佐藤普美子〉	213
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈塩旗伸一郎〉	213
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈根岸政子〉	213
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈櫻庭和典〉	214

中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈曹 泰 和〉	214
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈村 松 哲 文〉	214
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈三田村 圭 子〉	215
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈小 川 隆〉	215
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈胡 玉 華〉	215
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈弘 兼 加奈子〉	216
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈蘭 明〉	216
中国語ⅡA〔再クラス〕	〈平 石 淑 子〉	216
中国語ⅡA〔再クラス〕	〈岩 崎 皇〉	217
中国語ⅡA〔再クラス〕	〈大久保 明 男〉	217
中国語ⅡB〔再クラス〕	〈李 雲〉	217
中国語ⅡB〔再クラス〕	〈李 雲〉	218
中国語ⅡB〔再クラス〕	〈蘭 明〉	218

〔 スペイン 語 〕

スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈真 下 祐 一〉	219
スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈大 岩 功〉	219
スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈上 野 勝 広〉	220
スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈亀 山 晃 一〉	220
スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈宮 地 達 郎〉	221
スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈荻 野 恵〉	221
スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈ナバロ, ホワン J.〉	221
スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈佐 藤 麻里乃〉	222
スペイン語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈福 本 久美子〉	222
スペイン語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈大 岩 功〉	223
スペイン語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈亀 山 晃 一〉	223

〔 ロ シ ア 語 〕

ロシア語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈廣 田 英 靖〉	224
ロシア語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈佐 野 朝 子〉	224
ロシア語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈木 村 英 明〉	225
ロシア語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈安 德 ニーナ〉	225
ロシア語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈高 木 美菜子〉	225
ロシア語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈クロチコフ, Y.〉	226
ロシア語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈安 德 ニーナ〉	226

《 選 択 科 目 》

英 文 講 読	〈林 明 人〉	227
英 文 講 読	〈矢 島 直 子〉	227
英 文 講 読	〈牧 野 輝 良〉	227
時 事 英 語 研 究	〈竹 村 惠 都 子〉	228
時 事 英 語 研 究	〈林 明 人〉	228
時 事 英 語 研 究	〈岸 本 茂 和〉	228
時 事 英 語 研 究	〈丹 治 弘 昌〉	229
時 事 英 語 研 究	〈矢 島 直 子〉	229
マルチ・メデア	〈大 庭 直 樹〉	230
マルチ・メデア	〈落 合 和 昭〉	231
マルチ・メデア	〈西 村 祐 子〉	231
英 会 話 II	〈ジトウィッツ, P. D.〉	232
英 会 話 II	〈プラスキー, J. C.〉	232
英 会 話 II - 夏 季 集 中 -	〈ピアス, D. M.〉	233
英 会 話 III	〈ウェルズ, J. K.〉	234
英 会 話 III	〈ラージ, R.〉	235
英 会 話 III - 夏 季 集 中 -	〈レーン, C. M.〉	236
英 語 L L II	〈太 田 雅 子〉	237
英 語 L L II	〈外 池 一 子〉	237
英 語 L L II	〈西 村 祐 子〉	238
英 語 L L III	〈久 保 ひ さ 子〉	239
英 語 L L III	〈西 村 祐 子〉	239
英 語 L L III	〈レーン, C. M.〉	240
ド イ ツ 語 外 国 書 講 読	〈柴 野 博 子〉	240
時 事 ド イ ツ 語	〈野 島 利 彰〉	241
上 級 ド イ ツ 語	〈栗 原 万 修〉	241
ド イ ツ 語 L L I	〈小 林 ゲ ア リ ン デ〉	241
ド イ ツ 語 L L II	〈小 林 ゲ ア リ ン デ〉	242
ド イ ツ 語 I A (選)	〈五 十 嵐 信 子〉	242
ド イ ツ 語 I B (選)	〈野 島 利 彰〉	243
ド イ ツ 語 II (選)	〈松 岡 晋〉	243
フ ラ ン ス 語 外 国 書 講 読	〈小 玉 齊 夫〉	244
時 事 フ ラ ン ス 語	〈大 野 英 士〉	244
上 級 フ ラ ン ス 語	〈小 玉 齊 夫〉	245
フ ラ ン ス 語 L L I	〈ラリア・三倉, M.〉	245
フ ラ ン ス 語 L L II	〈ラリア・三倉, M.〉	245
フ ラ ン ス 語 I A (選)	〈井 田 清 子〉	246
フ ラ ン ス 語 I A (選)	〈伊 藤 な お〉	246
フ ラ ン ス 語 I B (選)	〈大 野 英 士〉	247
フ ラ ン ス 語 I B (選)	〈菅 原 猛〉	247
フ ラ ン ス 語 II (選)	〈桑 田 禮 彰〉	248
中 国 語 外 国 書 講 読	〈佐 藤 普 美 子〉	248
時 事 中 国 語	〈塩 旗 伸 一 郎〉	249
上 級 中 国 語	〈釜 屋 修〉	249
中 国 語 L L I	〈佐 藤 普 美 子〉	250
中 国 語 L L II	〈小 川 隆〉	250
中 国 語 I A (選)	〈釜 屋 修〉	250

中国語 I A (選)	〈宮本厚子〉	251
中国語 I B (選)	〈蘭明〉	251
中国語 II (選)	〈松本丁俊〉	251
スペイン語外国書講読	〈真下祐一〉	252
時事スペイン語	〈真下祐一〉	252
上級スペイン語	〈上野勝広〉	253
スペイン語 L L I	〈ナバロ, ホワン J.〉	253
スペイン語 L L II	〈ナバロ, ホワン J.〉	253
スペイン語 I A (選)	〈宮地達郎〉	254
スペイン語 I B (選)	〈亀山晃一〉	254
スペイン語 II (選)	〈荻野雅司〉	255
ロシア語外国書講読	〈廣田英靖〉	255
時事ロシア語	〈木村英明〉	256
上級ロシア語	〈クロチコフ, Y.〉	256
ロシア語 L L I	〈安德ニーナ〉	256
ロシア語 L L II	〈安德ニーナ〉	257
ロシア語 I A (選)	〈クロチコフ, Y.〉	257
ロシア語 I B (選)	〈木村英明〉	258
ロシア語 II (選)	〈佐野朝子〉	258
朝鮮語 I A (選)	〈宋美玲〉	259
朝鮮語 I B (選)	〈宋美玲〉	259
朝鮮語 II (選)	〈宋美玲〉	260

科外
国
目語

英 語 I A

〈英語 I A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をのばします。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	井 出 功 一	国文・地理1必	2

講義のねらい

テキストはフロリダ大学のビゲロー教授が、外国語として英語を学んでいる学生のために編纂したもので、主として速読と理解力の養成に重点が置かれている。

講義の内容・授業スケジュール

内容は植民地の建設、独立戦争、南北戦争、産業の発展、辺境の削減などの六つのエッセイが、アメリカの歴史的発展の姿を通して興味深く描かれている。
英文のスタイルは簡潔、明快なので、内容のみでなく、英文法や英作文にも触れながら講義を進めてゆく。

履修上の留意点

全授業日数の3分の2以上の出席、予習、辞書の携帯が必要。

成績評価の方法

前後期テスト、平常テスト、レポート、出席による総合評価。

教 科 書

『*The Building of the Nation* アメリカの形成』(成美堂)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	山 口 晃	国文1必	2

講義のねらい

英文を書くことと発音に重点を置く。

講義の内容・授業スケジュール

環境の問題を、今年度は教材にして行っていく。

履修上の留意点

辞書は毎回、必ず持ってくること。

成績評価の方法

前期、後期のテスト。他にレポートの提出。それに平常点を加味して評価する。

教 科 書

プリントを配布する。他に授業中に、随時、関連するプリントを配る。

科外
国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	ひら ばやし たく ろう 平 林 卓 郎	国文1必	2

講義のねらい

英語の技能は聞く、話す、読む、書くの4つに分けられるが、この授業は書くことに重点が置かれた教科書を使う。内容的には大学生にとって身近なトピックスを英文で書けるようになることを目的としている。また問題によっては個人添削をして各人の英語力を伸ばす。英語の授業を通して主体性の養成をも目的とする。

履修上の留意点

授業は必ず予習して来ること。

成績評価の方法

前期、後期の試験の結果とレポート、出席点によって評価する。

教 科 書

青木庸效著『Let's Write and Communicate!』（金星堂）1,850円＋税

参 考 書 等

その都度指示する。

科外
国
目
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	わた べ こう し 渡 部 孝 治	国文1必	2

講義のねらい

英語の運用能力の向上をめざす。読解、作文を中心に行うが、リスニングにも力を入れたい。

講義の内容・
授業スケジュール

講義の内容・授業スケジュールについては開講時に指示する。

履修上の留意点

会話にも活かせる基本的な表現を学び、さらに応用表現も学ぶ。

成績評価の方法

成績評価は、3分の2以上の出席とそれぞれの期末テストによって行ないます。

教 科 書

テキストについては、開講時に指示する。

参 考 書 等

参考書等についても開講時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	いち かわ ひとし 市 川 仁	英米文1必	2

講義のねらい

これまで学んで身につけた英語の力を基礎に、和文英訳を数多くこなすことによって英語の表現力を向上させることを目的とします。

講義の内容・
授業スケジュール

基本的な文法事項等について説明・確認した上で、学生のみさんの発表を中心に授業をすすめてゆきます。

履修上の留意点

演習科目ですので、当然予習を前提として授業を行ないます。わからないところもあるかもしれませんが、できる範囲で必ず予習をしてください。

成績評価の方法

成績評価は、年間授業回数の3分の2以上の出席を条件とした上で、授業中の発表、前期と後期の試験および小テスト等を総合して行ないます。

教 科 書

岸野英治著『大学生のための表現英文法・英作文』（英宝社）1,800円
ISBN4-269-32026-5 C-1082

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	児林英子 <small>こばやしひでこ</small>	英米文1必	2

講義のねらい

大学英語教育の目ざすところは、英語能力の養成のみならず、英語が話される国々の歴史・地理・文化に対する興味を掻きたてることです。大学で英語及び英米文学を専攻しようとする学生のために、上記の点に留意して授業を行います。

履修上の留意点

学生は、必ず予習をして問題意識をもって授業に出て下さい。

成績評価の方法

前・後期共、二回ずつのテストをすることにより、一層学習効果をあげたいと考えます。各学期とも、出席三分の二以上の学生が受験資格があるものとします。

教科書

テキスト等については新学期、教室で伝えます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	安齋薫 <small>あんざい かおる</small>	英米文・地理1必	2

科外国語

講義のねらい

日常基本表現・会話に多く触れることで英語運用能力である『書く力』と『話す力』の習得を目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

毎回発表形式を取り入れながらテキストを進めていきます。

履修上の留意点

予習をしてきて下さい。

成績評価の方法

出席状況、前期後期試験、レポートから総合的に評価します。

教科書

『THE ROAD FROM WRITING TO SPEAKING (コミュニケーションのための口語英作文)』
(成美堂) 1,600円 ISBN4-7919-5026-7

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	植村恵子 <small>うえむらけいこ</small>	英米文1必	2

講義のねらい

基本的な文法事項に留意しながら、日常生活によく用いられる英文表現の発音、聴解及び英作文に習熟することを目的とした。

講義の内容・授業スケジュール

聞き取った内容を声に出して発音したり、各自英語で文章を書いてみたり、と一年を通じて同じ方法で進めていきたい。

履修上の留意点

授業には必ず予習をして臨み、テキストを忘れた場合はコピーを準備しておくこと。

成績評価の方法

出席状況(実授業回数の少なくとも2/3以上の出席が原則)、平常点(授業態度、予習や発表の内容、復習の意味での授業後の小テスト)及び前期・後期試験による。

教科書

<未定>

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	い ^る か ^わ ひ ^と し 市 川 仁	地理1必	2

講義のねらい

これまで学んで身につけた英語の力を基礎に、和文英訳を数多くこなすことによって英語の表現力を向上させることを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

基本的な文法事項等について説明・確認した上で、学生のみなさんの発表を中心に授業をすすめてゆきます。

履修上の留意点

演習課題ですので当然、予習を前提として授業を行ないます。わからないところもあるかもしれませんが、できる範囲で必ず予習をしてください。

成績評価の方法

成績評価は、年間授業回数の3分の2以上の出席を条件とした上で、授業中の発表、前期と後期の試験および小テスト等の結果を総合して行ないます。

教科書

岸野英治著『大学生のための表現英文法・英作文』（英宝社）1,800円
ISBN4-269-32026-5 C-1082

科外
国
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	こ ^ば やし ^ひ で ^こ 児 林 英 子	地理1必	2

講義のねらい

最近の大学生の英語に対する要望は、「話せる英語」ということのようにです。この点に注意しながら授業いたします。但し、学習意欲及び、予習がなければクラスの運営は不可能です。新学期は、もう一度初心にかえて、発音記号・筆記体などからはじめます。

成績評価の方法

成績評価は各学期二度のテストと平常の出席率と態度でいたします。
出席は前後期共三分の二以上必要です。

教科書

テキストは最初の授業の際に伝えます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	み ^ず さ ^き の ^り こ 水 崎 野 里 子	歴史1必	2

講義のねらい

ヒアリング、スピーキングの練習をする。英語を聞き取れ、話せるようになって欲しい。

講義の内容・授業スケジュール

指定のテキストを使用し、ネイティブ・スピーカーの吹き込んだテープを活用しながら、授業を進めて行く。テキストは前期で終了し、後期は新たな教材を使用する予定。また、年間を通じて、副教材を使用する。

履修上の留意点

授業態度を平常点として加味する。特に出席には、学生は留意して欲しい。

成績評価の方法

前期後期二度の平常試験に平常点（出席率）を考慮し、総合評価する。

教科書

Hiromi Nema 他著『なれよう、英語の音とリズム』（英宝社）1,400円
水崎野里子訳『現代アメリカアジア系詩集』（土曜美術社）1,400円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	いわや たまえ 岩屋玉江	歴史1必	2

講義のねらい

これまでに培ってきた基礎知識の拡充および英語表現力の向上を目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

授業は予習復習を前提とした発表形式でおこないます。

履修上の留意点

テキスト中のエッセイやダイアログには、日常生活で使える表現が多くあるので覚えるようこころがけて下さい。辞書を毎回持参して下さい。

成績評価の方法

評価は前期・後期試験、小テスト、出席および演習への参加状況を総合しておこないます。

教科書

『Let's Write and Communicate』（金星堂）1,850円 ISBN4-7647-3714-0

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	はま だ かず いえ 浜田一宇	歴史1必	2

講義のねらい

〈日常生活を表現〉国際化時代の到来と共に、国際交流や相互理解は個人レベルの問題となり、いかなる分野で社会生活を営むとも国際人としての教養を深め、交流をはかることは不可欠となりつつあります。私達の日常生活の衣食住から気候風土、普段の何気ない動作でもあらためて英語で表現しようとするとなかなかやっかいなものであります。この時間は、日常生活を表現することを目標に、実用的な単語と表現力の習得をはかろうと思います。具体的には日本の一年の四季と生活を作文と会話演習で学習するテキストを使用し、他に実用会話のVTRの書き取りと会話演習、四コマ漫画のナレーションなどで実用的な単語の習得と会話に親しみながらの英語表現力を養うつもりです。

講義の内容・授業スケジュール

語学の修得ですから欠席が多いとわからなくなりますから、3分の2以上必ず出席のこと。

成績評価の方法

前期試験、後期試験の成績と授業内での評価と出席状況を考慮して評価します。

教科書

『発信型作文演習一季節の中の日本』（マクミラン・ランゲージハウス）1,450円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	まな ご ひさあき 真砂久晃	歴史1必	2

講義のねらい

入学時の英語を基礎として、英語の運用能力向上を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

初回の授業でオリエンテーションをする。必ず出席すること。

履修上の留意点

出席が3分の2未満の学生は単位を取得できない。但し、正当な理由のある欠席に関しては考慮する。

成績評価の方法

成績 = (前期の成績 + 後期の成績) ÷ 2
前期、後期共、成績は (100点満点) = 出席点 (20~30%) + テスト (70~80%) となる。

教科書

大矢 復著『Matrix』（金星堂）1,900円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	いけ がみ か え こ 池 上 賀 英 子	歴史1必	2

講義のねらい 入学時の英語力を基礎として英語の運用能力を養う。

講義の内容・授業スケジュール ヒヤリング、スピーキング、ライティングの、より高度な運用能力練習をする。ビデオ(VHS、DVD)等も使用する。

履修上の留意点 3分の2以上出席し、授業に参加すること。

成績評価の方法 発表を中心とする平常点と定期試験の成績を総合し評価する。

教科書 プリント教材を適宜配布、使用する。教科書は未定。

科外
国
目
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	つか もと と し お 塚 本 利 男	歴史1必	2

講義のねらい 入学時の英語を基礎として、語彙力の増強を図りながら、基本的な文法知識を復習・強化して英語の運用の能力を向上させる。

講義の内容・授業スケジュール 各章が、読み物、文法事項の解説と英作文から構成されていますので、1回の授業で1章を読み終えるようにします。毎回、授業の最後に、予習を兼ねる意味で作文の問題を提出する。テキストの問題以外にも100語～200語程度で自分の考えや意見を短文にまとめて、提出してもらう事もあります。

履修上の留意点 授業の予習をして下さい。

成績評価の方法 授業における発表・小テストと前・後期の定期試験に基づく。特に、平常授業を重視しますので、全授業の3分の2以上は、必ず出席して下さい。

教科書 『エンジョイ・イングリッシュ』(朝日出版) 1,700円+税 ISBN4-255-15390-6C1082

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	き むら まさ と し 木 村 正 俊	社会1必	2

講義のねらい 基本的な文法知識を復習・強化しつつ、英語の運用能力をバランスよく、総合的に向上させる。

講義の内容・授業スケジュール 受講学生にとって興味深いと思われるトピックを扱った英文を教材に、音声テープを聞いたあと、文中の語彙や重要表現を解説し、さらにそれを口頭で発話する練習をする。またトピックに関連する会話形式の英作文問題で運用能力を強化する。各章の終わりに小テストを実施する。テキストは全体で18章あるので毎回1章進むことを予定している。

履修上の留意点 授業への参加度を重視するので、毎回欠かさず出席するように心がけること。復習を大事にし、音読を繰り返し行なってほしい。

成績評価の方法 平常点で評価する。すなわち、授業中に行なう小テストの成績、レポート等提出物の成績をもとに、出席状況、授業への参加意欲等を考慮して総合的に判定する。

教科書 『エンジョイ・イングリッシュ』(朝日出版社) 1,700円 ISBN4-255-15390-6C1082

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 I A	ひら ばやし たく ろう 平 林 卓 郎	社会1必	2

講義のねらい

英語の技能は聞く、話す、読む、書くの4つに分けられるが、この授業は書くことを中心にし、かつリーディングとリスニングの勉強をも兼ねる。内容的には大学生に身近なトピックで各章は成り立っているので実用的な英作文や単語の力が身につくようになっている。英語の授業を通して各人の主体性の養成も目的の一つである。

履修上の留意点

授業はスムーズに行なわれるよう必ず予習して来ること。

成績評価の方法

前期、後期の試験の結果とレポート、出席点によって評価する。

教科書

富岡龍明著『*Read Better to Write better*』（金星堂）1,900円＋税

参考書等

その都度指示する。

科外
国
自語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 I A	なか ばやし まさ み 中 林 正 身	福祉1必	2

講義のねらい

英語による意思伝達を可能にするための力を養うための準備をする。

講義の内容・
授業スケジュール

一年間の授業のなかでも、とくに前期では、順不同に並べられた英文を正しい英文に並べ替える問題や、比較的短い日本語を英文に直す問題、そしてダイアログ全体を英文に直すことなどをやってもらう。その結果、基礎的な表現を集めた基本例文集が出来上がると思う。英語でコミュニケーションを図るためには覚えておくに役に立つだろうと思われる例文ばかりである。そして後期では、他人が書いた英文の文法的な誤りを訂正する作業から始め、そして次には文法的には間違っていない英文を、より自然な英語表現に仕上げていく作業をしてもらう。後期の授業のポイントは、与えられて日本語をそのまま英語に直そうとすることではなく、自分の英語力で英語に直せる日本語にまず置き換えることである。一年をとおしての授業のポイントは、自分で英文を考えるというよりも模範的な正しい英文の暗記になる。

履修上の留意点

文章表現と口頭表現での意思伝達の能力を高めていくために、様々な英語に触れてもらうことになる。

成績評価の方法

出席状況と授業への参加態度、そして各期末試験を総合的に評価する。

教科書

最初の授業時に指示する。

参考書等

『Collins Cobuild English Dictionary』
英語の類義語辞典等

そ の 他

授業は演習形式で行なう。従って学生諸君の毎回の授業への参加態度は重視される。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	うえむらけいこ 植村恵子	福祉1必	2

講義のねらい

基本的な文法事項に留意しながら、日常生活によく用いられる英文表現の発音、聴解及び英作文に習熟することを目的としたい。

講義の内容・
授業スケジュール

聞き取った内容を声に出して発音したり、各自英語で文章を書いてみたり、と一年を通じて同じ方法で進めていきたい。

履修上の留意点

授業には必ず予習をして臨み、テキストを忘れた場合はコピーを準備しておくこと。

成績評価の方法

出席状況（実授業回数の少なくとも2/3以上の出席が原則）、平常点（授業態度、予習や発表の内容、復習の意味での授業後の小テスト）及び前期・後期試験による。

教 科 書

<未定>

科外国
言語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	やまぐちあきら 山口晃	福祉1必	2

講義のねらい

英文を書くための力を養う。その際発音に注意する。

講義の内容・
授業スケジュール

環境、生活に関する問題を教材にする。

履修上の留意点

辞書は、毎回必ず持参。遅刻のないように。

成績評価の方法

前期、後期のテスト。他にレポートの提出。それに平常点を加味して評価する。

教 科 書

授業中に、プリントを配布。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	いわながよしえ 岩永祥恵	心理1必	2

講義のねらい

近年では自分の意見、感想などを積極的に表現できる英語力が特に必要とされている。この講義では日本人青年がアメリカに旅行した場面を想定した会話表現を学ぶ。まずビデオで場面を把握し、テープで発音練習を行い、より自然な発話環境に慣れていく。必ずしもアメリカに限定されない多様な旅行場面における表現能力を高めることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

15のスキットを以下の手順で進めていく。まず場面をビデオで確認して状況を把握する。その後リスニング練習を行い、大筋の理解から細部の理解を目指す。次にターゲットとなる表現に慣れる。この後スピーキング練習を行い、リスニングで学んだ表現を実際の状況下で使い、習得を目指す。

履修上の留意点

毎回の授業への積極的な参加を望む。授業時に辞書を持参のこと。

成績評価の方法

出席、予習、課題提出、試験等を総合的に判断して評価する。具体的な説明を開講時に行う。

教 科 書

ポールマクレーン *Survival English* (朝日出版社) 1,359円
ISBN4-255-15168-7

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	しば た こうたろう 芝田 興太郎	心理1必	2

講義のねらい

言いたいこと、思っていることをのびのびと書いてみよう。英語で発表してみよう。表現しようとする意欲と表現できた達成感を育ててゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

(A) 幾つかのテーマの中から自由に選択し、年間3～4篇のESSAY（自由作文）を書き上げる。
(B) 併行して和文英訳演習プリントを継続的に使用。基礎力を増進する。

履修上の留意点

表現しようとする意欲を最重視する。欠席、遅刻、駒澤大学学生にふさわしくないマナーには厳しく対処するつもり。辞書必携。

成績評価の方法

定期試験は行わず。ESSAY、小テスト、平常の積極性、出席率を総合的に判断する。

教科書

テキスト、参考書は使わない予定。

科外
国
目語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A	かざ ま のりひ こ 風間 則比古	心理1必	2

講義のねらい

英語の勉強をより実のあるものにするためには最低限の文法の習得が必要である。その観点から、この授業では基本的な文法事項と、その応用として簡単な英作文を学ぶことにする。

成績評価の方法

評価は出席、発表、前期と後期の試験結果などを総合して決める。

教科書

『Unique English Composition I (ユニーク英作文正体)』(成美堂)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔基礎英語特別クラス〕	やま がた ゆたか 山 縣 裕	国文・英文文・地理・歴史1必	2

講義のねらい

日常会話・日常表現の修得に力点を置く。

成績評価の方法

出席・定期試験などから総合的に評価する。

教科書

宍戸真、Bruce Allen 著『アメリカ西海岸へ行こう』(成美堂) 1,700円
ISBN 4-7919-4051-2

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A	ひ やま すずむ 松 山 晋	社会・福祉・心理1必	2

講義のねらい

英語での受信・発信の基礎力習得を目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

(前期) 基礎を固める。(後期) 応用力を伸ばす。

履修上の留意点

授業中何度も発言を求める。欠席・遅刻回数等の問合せには一切応じないので自己管理すること。携帯を授業中に鳴らした者は退室してもらい欠席扱いとする。毎回小テストを行い、小テスト解答終了時以降の入室は欠席扱い。

成績評価の方法

小テスト、出席、授業参加、発表等の平常評価50%、前期・後期試験50%。全授業日数の3分の1以上を欠席した者は自動的に「不可」。

教 科 書

第一回日の授業で指示。

科外
国
目語

英 語 I B

〈英語 I B の授業内容と履修上の留意点〉

Reading and Listening Comprehension (Reading and Listening) : 入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と speed reading の基礎を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	ふじ しま たか き 藤 島 喬 樹	国文・歴史・心理1必	2

履修上の留意点

年間二十数回の授業枠でやれることは限られるかも知れないが、再三ご承知のとおり〈語学は習うより慣れる〉。教わる事は一部に過ぎず、実際血となり肉となるようなモノにしてゆくにはやはり当人の普段からの不断的努力の積み重ねが必要。そこを十分に踏まえ、真剣に取り組んで頂きたい。必ず予習をしてくる事を前提に授業を進める。

1. 年間全授業回数の中の少なくとも2/3以上の出席回数が不可欠。但し出席回数充足が即単位認定を意味するわけではない。
2. くれぐれも集合時間厳守で出席の事。遅刻は授業進行に最も支障を来すから。
3. 授業各回前半に施行する小テストは授業開始と同時に実施するので、遅刻や欠席のゴマかしは絶対にきかない。

成績評価の方法

平常点(出席、発表、小テスト)並びに、前・後期両定期試験等を総合し、年間単位で最終的に評価を出す。

尚、欠席回数が全授業数の1/3を割ればそこでもう DROP OUT。また好成績を取得するなら、当然、それなりの努力と成果を達成する事が絶対条件。

(欠席1回につき、年間総合点より3点減点、遅刻1回につき2点減点する。)

教 科 書

本教材と副教材とを併用する。具体的には追って指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	たか はし よし え 高 橋 佳 江	国文・英米文1必	2

講義のねらい

高校や、大学入試のために学んだ英語力を落とすことなく、更に上の目標に向かって頑張っていく。正確な読みが要求される。

講読：一回の授業で必ず何人も当たるので、毎回予習を欠かさないこと。授業時間内にあわせて調べることをないように。高校時代にならった文法は意外に役立つ。苦手だった者は文法の教科書を参考にすると良い。辞書(大学生・社会人向けの学習用を使うこと。コンサイスなどの薄いものは不可)は必携。

成績評価の方法

前・後期の試験の平均が60点以上の受験資格のある者を合格とする。欠席が1/3を越えた者(前・後期合わせて欠席8回以上)、理由なく連続4回欠席した者は受験の資格がない。遅刻3回で欠席1回扱いとする。

教 科 書

未定

科外
国
目語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	高橋明子	国文1必	2

講義のねらい

新聞記事やベストセラーから抜粋された話題性の高い内容の英文を読み、語彙や文法の知識を強化しながら、総合的な読解能力を養成します。

成績評価の方法

平常評価としての出席・発表（40%）、前期試験（30%）、後期試験（30%）による総合評価をします。

教科書

『エンジョイ・イングリッシュ』（朝日出版社）1,700円 ISBN4-255-15391-6C1082

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	濱口真木	国文1必	2

講義のねらい

入学期の英語を基礎に、英語の読解力と表現力の一層の向上を目指す。また、必要に応じてリスニングも取り入れながら英語の読解力の向上をはかる。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読みすすめていく。また、英語雑誌などからのプリントを配布し、英語を正確に読み取る練習をする。必要に応じて小テストを行う。

履修上の留意点

授業は平常点を重視するので、予習をして授業に参加してもらいたい。

成績評価の方法

出席や発表などの平常評価（50%）、前期・後期試験（50%）の総合評価とする。

教科書

『*The British Today*（イギリス人の生活と文化）』（成美堂）1,600円 ISBN4-7919-4047-

4

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	岡崎寿一郎	英米文1必	2

講義のねらい

語学教育は、人間の能力の開発と完成を目指す大学教育の場にある学生たちに必須の教育過程といえます。授業では、文法・文の構造についての理解を深めつつ、綿密な読解によって国際化の時代に即応したグローバルな視野の養成を目指します。

履修上の留意点

テキストの内容のトータルで正確な理解を目指すので、必ず予習をしてください。

成績評価の方法

平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）の総合評価とします。

教科書

富永育次郎他『現代の英米小説』（南雲堂）1,300円

科外
国
目
語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	三幣友行	英米文1必	2

講義のねらい

これまでに学んだ英語を基礎として、英文を正しく読み、正しく理解することを目標とする。

履修上の留意点

予習を前提として授業をすすめる。

成績評価の方法

出席、発表、授業態度などの平常点と定期試験を総合的に評価する。出席が全授業の2/3に満たない場合は単位を認めない。

教科書

未定

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	国見晃子	英米文1必	2

講義の内容・
授業スケジュール

- ①TOEFL[®]や TOEIC[®]の問題形式のプリントを用いて、文法の知識を確実にする。
- ②英語の歌のヒアリング練習と歌詞分析を行う。取り扱う曲の時代背景も合わせて学ぶ。

履修上の留意点

全授業の3分の2以上の出席が必要。(つまり欠席は前期・後期あわせて7回までしか認められない。遅刻〔30分以内〕は3回で1回の欠席とみなす)。辞書は毎回必ず持参すること。

成績評価の方法

授業内での参加度、課題提出状況、前期・後期の試験、出席。

教科書

未定

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	小山太一	地理1必	2

講義のねらい

現代のポップ・カルチャーを扱うナマの英語を読むことによって語彙のアップデートをはかるとともに、英文法の基礎をもういちど確認することを目的とします。

講義の内容・
授業スケジュール

毎回1セクションの記事を読むとともに、練習問題を解いて内容を確認していきます。

履修上の留意点

全回数の3分の2以上の出席、および予習は必須です。授業にはテキストと辞書を持参してください。

成績評価の方法

日常の発表を重視し、期末試験の結果と合わせて総合的に評価します。

教科書

Popculture: Developing Essential Reading Skills, Book1 (マクミラン・ランゲージハウス)
2,000円 ISBN4-89585-428-0

科外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	はまぐちまさき 濱 口 真 木	地理1必	2

講義のねらい

英語の基本的な文法・構文を重点的にチェックしつつ、テキストの内容をより速く、正確に読みとる能力の向上をはかる。また、リスニングを行い、文章の大意を把握する力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読みすすめ、同時に、リスニングを通して、内容の趣旨・要点を正確にとらえる練習を行う。

履修上の留意点

授業は平常点を重視するので、予習をして授業に参加してもらいたい。

成績評価の方法

出席や発表などの平常評価 (50%)、前期・後期試験 (50%) の総合評価とする。

教 科 書

Environment and Health (成美堂) 1,700円 ISBN4-7919-4050-4

科外
国
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	ほんまあきお 本 間 章 郎	地理1必	2

講義のねらい

今まで勉強してきた英語の文法、構文の知識を確認しながら、英語の読解力を高めていきたいと思います。特に、一定の長さの英文をできるだけ短い時間で読み、内容を的確にまとめることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

毎回、テキストを進めていきます。リスニングの能力の確認と向上のために、小テストなどもおこないます。

履修上の留意点

授業では、できるだけたくさんの授業出席者に質問をしていきます。内容を把握しているかどうかということが、成績評価に大きく影響します。

成績評価の方法

上述したように、授業における質問に対する返答、小テスト、前期と後期とにおこなう試験によって成績を評価します。

教 科 書

ジョアン・ペロケティ他著『*Ecology and Business* (エコロジーとビジネス)』(南雲堂) 1,900円 ISBN4-523-17430-X

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	まえだおさむ 前 田 脩	歴史1必	2

講義のねらい

19世紀イギリスの歴史を英文で読むことで、急成長したイギリスのプラス、マイナスの面を読みとり、今日の日本の教訓としたい。

講義の内容・授業スケジュール

授業はじめにリスニングを行い、その後テキストを読みすすめます。英文ニュースのコピーを使用することがあります。

履修上の留意点

授業は予習が重要です。積極的に参加してください。

成績評価の方法

日常の発表を重視し、前期、後期の試験の結果を総合評価します。

教 科 書

England in the Nineteenth Century (The Pelican History of England) (PENGUIN BOOKS) ISBN0-14-013770-X
『トピック別 TOEIC テスト・リスニング基礎編』(成美堂) 900円 ISBN4-7919-4571-9C1082

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	くにみあきこ 国見晃子	歴史・社会1必	2

講義の内容・
授業スケジュール

英語の歌のヒアリング練習を行うことで、英語特有の音声変化現象や話し言葉のスピードの速さに慣れることを目的とする。また時代背景を考慮しながら歌詞を分析することで、曲の理解を一層深いものにする。

履修上の留意点

全授業の3分の2以上の出席が必要。(つまり欠席は前期・後期あわせて7回までしか認められない。遅刻〔30分以内〕は3回で1回の欠席とみなす)。辞書は毎回必ず持参すること。

成績評価の方法

授業内での参加度、課題提出状況、前期・後期の試験、出席。

教科書

未定

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	たかほしあきこ 高橋明子	歴史・福祉1必	2

科外国
言語

講義のねらい

ポップスのヒット曲を聴きながら、英語独特の音声変化やリズムに慣れるリスニング能力を養成します。また、アーティストや歌詞についての英文エッセイを読みながら読解力も高めましょう。

成績評価の方法

平常評価としての出席・発表(40%)、前期試験(30%)、後期試験(30%)による総合評価をします。

教科書

『楽しく学ぶロック&ポップ・改訂新版』(マクミラン ランゲージハウス) 2,000円
ISBN4-89585-455-8

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	みよしやすよし 三芳康義	歴史・社会1必	2

講義のねらい

この科目の目的は、TOEFL[®]のような学外での英語検定試験を意識した内容の英文を速読し、要約する練習をします。また同時に、プリントによるリスニング能力の向上を目指します。

成績評価の方法

授業中の口頭発表、出席率、前・後期小テスト(4回~6回)などを総合して評価します。ただし、平常授業の出席率が3分の2に満たない場合は「不合格」とします。

教科書

川村義治/Robert Muraskin 著『民族から見たアメリカ社会』(成美堂)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	ほんま あきお 本間 章 郎	歴史1必	2

講義のねらい

今まで勉強してきた英語の文法、構文の知識を確認しながら、英語の読解力を高めていきたいと思います。特に、一定の長さの英文をできるだけ短い時間で読み、内容を的確にまとめることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

毎回、テキストを進めていきます。リスニングの能力の確認と向上のために、小テストなどもおこないます。

履修上の留意点

授業では、できるだけたくさんの授業出席者に質問をしていきます。内容を把握しているかどうかということが、成績評価に大きく影響します。

成績評価の方法

上述したように、授業における質問に対する返答、小テスト、前期と後期におこなう試験によって成績を評価します。

教科書

岩政伸治他著『Different Voices (日本と世界の情勢を知る12の記事)』(金星堂) 1,800円

科外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	おおた みちこ 太田 美智子	福祉1必	2

講義のねらい

英語読解力の養成とリスニングの向上を目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

「推理小説の父」と言われるウィルキー・コリンズの代表作のひとつ、*The Moonstone* を読みます。テキストを味わいつつ、ほの見えるヴィクトリア朝の問題点にも目を向け、広範な楽しみ方をしましょう。また、奥床しいささか占風な表現方法なども堪能しましょう。

履修上の留意点

必ず予習し、真摯な態度で授業に臨むこと。単位の修得ではなく、各自の実力の向上が目的であることを決して忘れないこと。そして何事にも知的好奇心を持つ。単に椅子に座しているのみで、授業参加していない場合には出席とはみなさない。

成績評価の方法

平常時の授業態度、予習の有無、場合によってはレポートの内容、また試験を行った際はその素点、等々の総合評価。

教科書

The Moonstone (南雲フェニックス)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	たか はし み き 高 橋 美 貴	福祉1必	2

講義のねらい

精読、リスニングを通して、文章理解を深めていきます。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストを読み進めるとともに、適宜参考資料を紹介していきます。

履修上の留意点

授業は予習しておくこと。

成績評価の方法

前期と後期に試験を行い、平常点を考慮したうえで評価します。

教 科 書

『English Custom with Smile (楽しく学ぶイギリス文化)』(成美堂) 1,600円
ISBN4-7919-4027-X C1082
『Listen, Laugh and learn (ユーモアで学ぶショート・ヒアリング)』(成美堂) 800円
ISBN4-7919-4524-7C1082

参 考 書 等

適宜紹介します。

科外
国
目
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	まさ の まさ ひで 牧 野 正 秀	心理1必	2

講義のねらい

多くの英文を読み、正しく解釈するには直感的に単語と単語を結びつけて日本語に置き換えたり、内容を考えるのではなく、構文(文法)や語法などの知識を活用しながら辞書を活用すればいかなる英文も、内容を正確に理解できる力を身につけたい。

講義の内容・
授業スケジュール

独習だけでは、誤解や思い込みから自分流の知識に左右される場合があり、そこを何か客観的な手段に訴える必要があります。従って積極的な態度が要求されます。今まで学んできた基本的な知識を、復習再確認しながら勉強しますので、予習をしてきて下さい。

履修上の留意点

活発な授業が出来るように、授業より圧倒的に多い自学自習の時間を有効に活用して予習をしてきて下さい。その上で積極的な授業参加を期待します。

成績評価の方法

前、後期の試験に、平常点(発表回数-指名されたら必ず発表する事を前提条件とする。)出席状況などを、加味して総合的に判断します。

教 科 書

未定

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B	たか はし よし え 高 橋 佳 江	心理1必	2

講義のねらい

高校や、大学入試のために学んだ英語力を落とすことなく、更に高度の長文を読めるようにする。正確な読みが要求される。

一回の授業で必ず何人も当たるので、毎回予習を欠かさないこと。授業時間内にあわせて調べることはないように。高校時代にならった文法は意外に役立つ。苦手だった者は文法の教科書を参考にすると良い。辞書(大学生・社会人向けの学習用を使うこと。コンサイスなどの薄いものは不可)は必携。

成績評価の方法

前・後期の試験の平均が60点以上の受験資格のある者を合格とする。欠席が1/3を越えた者(前・後期合わせて欠席8回以上)、理由なく連続4回欠席した者は受験の資格がない。遅刻3回で欠席1回扱いとする。

教 科 書

未定(最初の授業時に指定)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B 〔基礎英語特別クラス〕	まえ だ おさむ 前 田 脩	文学部全学科1必	2

講義のねらい

英文を読むことで、日英異なる文化の思考方法のちがいを学びます。

講義の内容・
授業スケジュール

授業はじめにリスニングを行い、その後英文を読みすすめます。さらに英文ニュースのコピーを使用することがあります。

履修上の留意点

授業は予習が重要です。積極的に参加してください。

成績評価の方法

日常の発表を重視し、前期、後期の試験の結果を総合的に評価します。

教 科 書

『スクリーンミュージックで学ぶ英語』（金星堂）1,200円 ISBN4-7647-3693-4C1082

科外
国
語

英 語 Ⅱ A

〈英語ⅡAの授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : I A を基礎として、より高度な英語の運用能力を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 Ⅱ A	きたむらひろ 北村弘文	国文2年	2

講義のねらい

英語 (A) の授業であるから、特に英語で自由に発信できる力を養うことを目指すのは言うまでもないことですが、一年中文法作文の内容の授業では話題性を欠き、味気ないので、テキストには総合教材を使用します。

成績評価の方法

定期試験 (前・後期) の成績以外に、授業中の発表、レポート、出席状況などを勘案して評価します。

教科書

YOUNG POP CULTURES (郁文堂) 1,751円
 なお、テキストの目次は以下の通り (参考までに)

CONTENTS	
CHAPTER 1	COLLEGE LIFE (A)...1
CHAPTER 2	COLLEGE LIFE (B)...6
CHAPTER 3	SPORTS (A)...11
CHAPTER 4	SPORTS (B)...16
CHAPTER 5	DATING (A)...21
CHAPTER 6	DATING (B)...26
CHAPTER 7	DRINKING (A)...31
CHAPTER 8	DRINKING (B)...36
CHAPTER 9	CARS (A)...41
CHAPTER10	CARS (B)...46
CHAPTER11	FAMILY RELATIONS (A)...51
CHAPTER12	FAMILY RELATIONS (B)...56
CHAPTER13	GUNS (A)...61
CHAPTER14	GUNS (B)...66
CHAPTER15	GIFT - GIVING (A)...71
CHAPTER16	GIFT - GIVING (B)...76
CHAPTER17	FASHION (A)...81
CHAPTER18	FASHION (B)...86
CHAPTER19	PUBLIC MANNERS (A)...91
CHAPTER20	PUBLIC MANNERS (B)...96
CHAPTER21	THE ELDERLY (A)...101
CHAPTER22	THE ELDERLY (B)...106
CHAPTER23	CAREERS (A)...111
CHAPTER24	CAREERS (B)...116

科外
国
目語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A	すぎもと まこと 杉 本 誠	国文2年	2

講義のねらい

日常生活の会話を題材としたテキストを使用して、各場面に合う表現練習をし、使える英語が身につく、英語をコミュニケーションの手段として積極的に活用できるようにするのが目的である。

講義の内容・授業スケジュール

旅行、アルバイト、Eメール、ファーストフードなど、若者の生活に密着したテーマをダイアログで紹介し、その後に短い和文英訳から長めの会話の和文英訳へと段階的に表現力を養っていきます。

履修上の留意点

かならず毎時間の予習が必要である。

成績評価の方法

前・後期定期試験、小テスト、出席率などを総合して評価する。

教 科 書

『エンジョイ・イングリッシュ』（朝日出版）1,700円 ISBN4-255-15390-6C1082

科外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A	いわたなげ え 岩 永 祥 恵	国文2年	2

講義のねらい

本クラスでは英米文化を広く理解し、議論となりうるさまざまな問題点について話し合う。そのプロセスで読解力、論理的思考、表現能力等の向上を図る。また、効果的なテキスト理解のために適宜リスニング等の練習も取り入れる予定である。

講義の内容・授業スケジュール

まず英文パッセージを読んで内容を理解した後問題点を指摘しつつ各人の意見を具体化させる。それをふまえてユニットのまとめりにグループでの発表、討論を行う。

履修上の留意点

毎回の授業への積極的な参加。辞書を持参すること。

成績評価の方法

出席、予習、授業参加、課題提出、試験等を総合的に判断して評価する。詳細は開講時に指示する。

教 科 書

宮原文夫他著 *An Introduction to American Studies?* (松柏社) 1,850円 ISBN4-88198-472-1

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A	こ とも たけし 古 富 猛	英米文・社会2必	2

講義のねらい

講座上の点で、英語を使える様な素養を身につけるべく方向付けて欲しい。情報伝達の発展した今日、その渦の中で冷静さを失うわけにはゆかないので、国際化の中、外国語習得は重要ではないかと思われる。

講義の内容・授業スケジュール

日本人の資質にそった習得法を私なりに実践している。そのやり方は最近、活躍している著名人のものと極めて共通点が多く、自信を深めているので、講義中に話をしたい。テキストにも重点を置き、一年間、多読を目指したい。

履修上の留意点

最近とみに言われているが、学生諸君の学力低下の傾向は事実であると英語においても痛感させられている。語学の習得は、本来地道な努力の積み重ねが、基本であることを認識してもらい、もう一度復習をしてもらいたい。

成績評価の方法

成績はあくまでもテキストによる予習発表を平常点とし、出席と前後期のペーパー・テストによって判断する。

教 科 書

テキストは教場にて指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	石原孝哉	英米文2必	2

講義のねらい

英語の総合力アップを目指します。特に発音、リスニングに力を入れます。

成績評価の方法

中間試験、期末試験のほか、レポート、出席を重視します。

教科書

Looking Backward, Major Events of the 20th Century, (南雲堂) 1,800円
First Step to the TOEIC Test Listening, (成美堂) 900円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	加藤佐和子	英米文2必	2

講義のねらい

スピーキング・ライティングを中心に英語での意思伝達ができるように訓練する。

講義の内容・
授業スケジュール

授業は、前半と後半に分けて行う。前半は、テキストを Lesson1 ずつ進み、模範文型を覚え、それを実際の場で使えるように訓練する。後半は、各章で英文の書き方を学んだあと、トピック毎に英作文を提出してもらう。

履修上の留意点

予習・復習を必ずすること。

成績評価の方法

小テスト25%
課題英作文25%
まとめテスト50%

教科書

Ten Steps to Oral English (英進社)
Ten More Steps to Oral English (英進社)
Peragraph that Communicate (英進社)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	岸本茂和	英米文2必	2

講義のねらい

やさしい英語で書かれた小説を読みときつつ、アメリカとアメリカ人の一面を理解できればと考えている。

講義の内容・
授業スケジュール

【註】のついていないアメリカ直輸入の小説作品をかなりはやいスピードで読もう。「スタデイ・グループ」をつくって読む、というのもひとつの考えかもしれない。

履修上の留意点

授業にはかならず辞書をもってこること。

成績評価の方法

試験は前期・後期の2回。出席は毎回とる。欠席が授業日数の3分の1をこえたばあいは「不可」とする。

教科書

未定。教科書は開講時に担当者が用意する。

外国
言語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	甲斐捷子	地理2年	2

講義の内容・授業スケジュール

テキストは様々な状況においてアメリカの文化、社会事情を紹介しながら展開するやさしいビデオ会話教材です。現場の映像と生の音声を通して、臨場感を楽しみながら、コミュニケーションのための英語の運用能力を高めることを目的とします。毎回の授業は、「聞き」、「話し」、「読み」、「書く」、徹底的な総合演習です。前後期でビデオ一本終了する予定です。

履修上の留意点

一単元終わるごとに小テストを必ず行います。これは詳細な復習のためのテストで、本試験と同様の傾向のもので、このテストで70%以上得点できるよう、復習に重点を置いて学習して下さい。

成績評価の方法

一応の目安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。総合点が基準に達しなかった場合、欠席が三分の一を超えた場合、および前後期試験のいずれかを欠試した場合は不合格となりますから、特に欠席をしないよう、十分注意して下さい。

教科書

『LA ビート』（朝日出版社）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	小布施圭佐三	地理2年	2

講義のねらい

「日本語の単文を英語に訳す」といった和文英訳の作業ではなく、既習の語彙、構文を活用しながら、なるべく英語的な発想によって自由にパラグラフ単位の英文を書けるようにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

《前期》
Chapter I (About Self) ~ Chapter III (Book Reviews and Descriptions)
《後期》
Chapter IV (Diaries) ~ Chapter V (Letters)

履修上の留意点

授業形態は演習形式で行います。

成績評価の方法

出席点/授業の貢献度/レポート/定期試験（前・後期）などを加味して総合評価します。

教科書

斎藤宏/関裕三郎/William Bell, *A New Way to English Writing* (成美堂) 1,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	川手浩一	地理2年	2

講義のねらい

外国語としての広い見識と深い考えを養うようにする。

講義の内容・授業スケジュール

外国語としての英語を学ぶ目的はその国の文化を知ることである。

履修上の留意点

授業は前後、関連しているので予習復習をして問題点をさぐり出すようにしたい。

成績評価の方法

日常の出席を重視し、前期後期のテストを含めて総合評価とする。

教科書

『Ecology and Business (エコロジーとビジネス)』（南雲堂）1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	いわいひろみ 岩井洋美	地理2年	2

講義のねらい

様々なテーマについて英語で表現できるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

テキストで文法を確認しながら、英作文などの問題に取り組む。

履修上の留意点

授業への出席、間違いを恐れない発言、意欲的な姿勢を重視。
予習、復習を欠かさないこと。

成績評価の方法

出席と授業態度、発表、前期試験、後期試験で評価。

教科書

ENGLISH COMPOSITION WORKBOOK (マクミラン ランゲージハウス) 1,800円
ISBN4-89585-460-4

科外
国
目
語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	きむらかつひこ 木村克彦	歴史2年	2

講義のねらい

文学作品ではあるが、まず、戯曲の台詞を精読することにより、英語特有の表現になれるようにしたい。また作者の会話(談話)で、記録されているものもあるので、適宜コピーを使用しそれらを訳読しながら、暗記までできれば最も良いであろう。

成績評価の方法

基本的には、前・後期の定期試験によるが、それ以上に授業態度を重視する。私語厳禁。

教科書

『オスカリアーナ』(北星堂) 1,400円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	えださちこ 江田幸子	歴史2年	2

講義のねらい

このクラスでは、読む、聞く、書く、の三要素を重点的に学習します。今日的なトピックを扱った簡素な英語文を多様な分野に渡って読みます。そこで使われている基礎的な英語構文を使えるようにします。英語文は英文を書くためのお手本として読みますのでテキスト中の使用頻度の高い単語句は徹底的にマークして覚えます。そしてそれ等の構文、単語句を用いて短い英文を書く練習を行います。

準備としてはまず各章の英語文を日本語に訳したノートを各自作ります。その日本語から原文の英語が書けるようにします。その上で重要な構文や表現方法を用いて応用英作文を実践します。

成績評価の方法

一年間を通して最低5回テストを行い、平均点60点以上に欠席回数5回迄を以って合格点とします。欠席が5回以上になった人は、試験の平均点が70点以上を以って合格とします。欠席が5回以上の人は英語の実力で評価します。

教科書

Hidehiko konaka 著 *Easy Everyday English Through Sentence Patterns* 1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	武藤久緒	歴史2年	2

講義のねらい

英語で書いて話せる実践的能力の強化を目標とします。従って平易な英文を文法理解を基礎に正しく書く訓練が授業の中心となります。

講義の内容・授業スケジュール

現在・過去・未来、仮定、使役、許可、依頼・勧誘、提案、意図、決定、推量、原因・理由、目的・結果、譲歩・様態、比較、強調など発想別に16の概念の型と表現方法を学習します。習得した知識を応用、特定のテーマで作文し前後期一回ずつ提出してもらいます。

前期 第1課から第8課まで
後期 第9課から第16課まで

履修上の留意点

毎回、受講者に順次作文を板書発表してもらいますので予習をして下さい。

成績評価の方法

成績評価は前後期のテスト、授業中の発表、作文レポート、出席状況などを考慮して行います。

教科書

岸野英治著「大学生のための表現英文法・英作文」(英宝社)

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	堀千和子	社会2必	2

講義のねらい

イギリスのドラマを字幕なしで見ながら、読む・聞く・書く・話すの英語の四技能を鍛えていきます。

講義の内容・授業スケジュール

13世紀から20世紀のロンドンにタイム・スリップした男性を主人公にしたドラマを字幕なしで見ます。ビデオを見る前、見ながらのエクササイズをすることで内容を把握し、習得した表現を使って writing や speaking の練習をします。英語を学ぶ外国人向けに作られたこのドラマは、いずれの単元も13世紀と現代とのカルチャー・ギャップに遭遇する主人公の姿を描写するストーリーとなっていますが、各単元の内容に応じて関連した副教材(ニュース、新聞、インターネット記事など)を適宜取り入れていく予定です。

履修上の留意点

毎時間、ビデオを見ての学習となるので、欠席しないこと。また、授業には必ず自分のテキストを持参し、集中して臨むこと。毎回、簡単な小テストをします。

成績評価の方法

成績は、前・後期の試験、授業中の発言、提出物、休暇中の課題、小テストから総合的に判断する。欠席は1回につき2点の減点とし、通年の授業回数の3分の1以上の欠席で失格とする。欠席分を補う提出物はないので、くれぐれも欠席しないこと。

教科書

大八木廣人他「カズン・ウィリアム(2)」(成美堂)1,890円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	尾上典子 <small>おのえのりこ</small>	心理2必	2

講義のねらい

現代のアメリカ文化形成に決定的な役割を演じてきた幾つかの大企業について論じたテキストを使用し、アメリカのビッグ・ビジネスの企業研究・アメリカ文化研究を行なうとともに、実践的な英語運用能力の向上をはかる。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを翻訳させながら、同時にアメリカのビッグ・ビジネスに関する様々な資料を配布し、読解・聴解・作文などの英語運用能力の向上を目標とする。

履修上の留意点

正当な理由なくして年間の出席率が2/3に満たない者および授業態度の著しく悪い者は落第させる。
毎回、授業のための予習・復習を充分にしておいてもらいたい。

成績評価の方法

評価は、授業態度、出席率、年2回の前・後期試験、小テストなどによって、総合的に判断する。

教科書

廣原真由子・Blake Baxter 共著『Big Business in America ビジネスとアメリカ文化』（成美堂）

科外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	太田由紀子 <small>おおたゆきこ</small>	心理2必	2

講義のねらい

アメリカの喜劇王チャールズ・チャップリンの『自伝』を教材とすることで、様々な種類の英語表現に親しむ。また彼の監督・主演映画の鑑賞を通じて会話やナレーションに馴染み、自ら応用できるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

『自伝』や映画から得られるいろいろの英語表現：具体的には状況説明文、意見や感想文、手紙、会話などをまず理解し、次にこれを応用して自己表現力を養う。

履修上の留意点

予習・復習をすること。

成績評価の方法

授業時の応答、前期・後期の試験結果を総合する。

教科書

Charles Chaplin, *My Autobiography* (Penguin Modern Classics Non-Fiction) UK £9.99
ISBN : 0141011475

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA	町田茂男 <small>まちだしげお</small>	心理2必	2

講義のねらい

入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をめざす。文章表現の場合、センテンスからパラグラフへ、また、会話表現の場合、日常の基本表現からダイアログをめざす。

講義の内容・授業スケジュール

テキストにしたがって読みすすめることを原則とする。

履修上の留意点

テキストと辞書は忘れずに持参すること。

成績評価の方法

出席+発表+試験の総合評価とする。

教科書

検討中のため、第1回の授業時に、オリエンテーションの中で発表する。

英 語 II B

〈英語 II B の授業内容と履修上の留意点〉

Speed Reading and Intensive Reading: I B を基礎として、できるだけ多くの量を読めるように、大意の把握に心掛け、読む速度を上げます。また、より高度な英文を正確に理解するための構文も学びます。

演習科目なので、全授業日数の 3 分の 2 以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B	うつのみや ひでかず 宇都宮 秀 和	国文 2 年	2

科外 国 語

講義のねらい	「外国語を知らぬ者は白国語をも知らぬ」とゲーテは言ったそうだが、人間は A と B とを比較することによってよりよく A と B を知ることも事実である。異文化交流を念頭において授業をすすめていきたい。
講義の内容・授業スケジュール	テキストの各章を完全に終了し、余裕があれば、インターネット、Pbs 放送の記事なども読んでいきたい。
履修上の留意点	テキストの予習は不可欠。
成績評価の方法	毎回、毎回の授業が大切である。平常点。
教 科 書	『国際交流から学ぶ知恵 <i>Broadening Your Cultural Horizons</i> 』（成美堂）1,700円 ISBN4-7919-4072-5

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B	さとう まさる 佐 藤 勝	国文 2 年	2

講義のねらい	基本英文法を踏まえた正確な英文読解力、そして英文多読・速読力の充実を図ります。
講義の内容・授業スケジュール	プリント演習の後、教科書での授業を行います。教科書の進度は原則 1 回で 1 課とします。
履修上の留意点	予習をして下さい。辞書を持参下さい。年度初回の授業ガイダンスで本授業の詳細を述べます。
成績評価の方法	平常点（出席状況・授業態度等）+ レポート + 定期試験。
教 科 書	浅間・Sloss 編著『異文化への視線』（南雲堂）1,600円+税 ISBN4-523-17398-2
参 考 書 等	推薦辞書：『ジーニアス英和辞典』（大修館書店）、『プログレッシブ英和中辞典』（小学館）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II B	はせがわ こういち 長谷川 公 一	国文2年	2

講義のねらい

わずか400年足らずという短期間のうちに、アメリカは世界唯一の超大国にのし上り、わが国とも経済・文化・安全保障の面で親密な関係をつくり上げました。現代のローマ帝国とさえ呼ばれるアメリカを、この教科書では数々のエピソードを読みながら、建国期の政治、リンカーンやエジソン、フォードなど独立独歩の精神で社会の進歩に貢献した人達を通して、大ざっぱながら、アメリカという国の実態把握に接近してみようと思います。

成績評価の方法

出席率プラス前後期2回のテストによって採点します。

教科書

『Made in America—ことばが語るアメリカ史—』（金星堂）1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II B	やまぐち あきら 山 口 晃	英米文2必	2

科外国語

講義のねらい

英文をしっかりと読み、解釈していくことに、重点を置く。

講義の内容・授業スケジュール

環境、生活の問題を、一緒に考えられるような教材を使って、英語の理解を深める。

履修上の留意点

辞書は毎回、必ず持参。遅刻のないように。

成績評価の方法

前期、後期のテスト。他にレポートの提出。それに平常点を加味して評価。

教科書

授業中にプリントを配布。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II B	さとう あきこ 佐 藤 明 子	英米文2必	2

講義のねらい

イギリス女性文学の歴史を学びながら、英語の理解を深めることがこの授業の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、1回に2～3ページ程度進む予定です。英文を正確に読むことを学ぶ一方で、長い間英文学史であり注目されることのなかった女性文学の問題も考えていきたいと思っています。

履修上の留意点

積極的な授業態度を十分に評価するつもりですから、予習を必ずしてきて下さい。

成績評価の方法

前期・後期試験、平常点、出席状況を総合的に評価します。(ただし出席が3分の1に満たない場合は「不合格」とします)

教科書

Veronica Doubleday, *Woman and Literature*. (プリント使用)

参考書等

辞書を持ってきて下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡB	伊藤美代子	英米文2必	2

講義のねらい

IBを基礎として、より高度で実社会に直結した生の英文の理解をめざす。
また、リーディングだけでなく、スピーキング、ヒヤリング、ライティングも行い、総合的な英語力を強化する。

講義の内容・授業スケジュール

原則として和訳は行わず、英語による内容の理解を図る。できるだけ、英語を使用するが、構文等の説明は日本語で行う。

履修上の留意点

予習が絶対条件である。また、半期に、4回以上欠席したものには、単位を与えない。また、遅刻2回で欠席1回と教える。

成績評価の方法

各学期毎に中間テストと期末テストを行い、その結果の平均が80%、残りの20%は、小テスト、平常点、提出物により計算する。

教科書

1. Alan E. Jackson/Hiroko Uchida, *More News and Views from The Japan Times Weekly* (マクミランランゲージハウス) 1,600円
2. 伊藤美代子 (編著) 『さらばジャパニーズイングリッシュ』(北樹出版) 1,500円

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡB	松堂啓子	英米文2必	2

講義のねらい

短篇小说を精読することにより、IBで身につけた英語力を強化する。

履修上の留意点

要予習。

成績評価の方法

日常の発表及び演習を重視し、試験の結果等を含めて総合的に評価する。

教科書

- 『*The Whole Story*』(南雲堂フェニックス)
『*5-Minute Quizzes for the TOEIC Test Listening* TOEIC 聴き取り対策の要点』(マクミラン・ランゲージハウス)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡB	外池一子	歴史2年	2

講義のねらい

身近なテーマについて書かれた文章を、なるべく辞書を使わずにある程度の速さで読んで大意をつかめるようになる訓練をします。

講義の内容・授業スケジュール

基本的にはテキストに従って進みますが、必要に応じて英字新聞や雑誌の記事など、生の素材も教材として取り上げます。

履修上の留意点

英語の理解にはテーマに関する知識も非常に重要です。授業の予習では、日本語で良いので、テーマについて調べ、前もってある程度の知識をもって出席すること。

成績評価の方法

平常点30%、授業の進度にあわせて行う試験(目安は前期・後期各2-3回)70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。

教科書

開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II B	たかみ ようこ 高見陽子	歴史2年	2

講義のねらい

英文を速く的確に読むための基礎をふまえ、さらに多くの量の英文を読みこなせるようにすることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

音読やリスニングを通して英語のリズムを学び、「理解しながら読む」ことに重点をおいてテキストを読み進めます。

履修上の留意点

辞書を毎回必ず持参すること。授業では、解説を交えながらも、ある程度スピードをあげてテキストを読むこととなりますので、各自必要に応じて復習等でテキスト内容の十分な理解を図ってください。

成績評価の方法

全授業回数の3分の2以上の出席が必要です。前・後期試験の結果をベースに、授業中の取り組み方や発言を重視した平常点と、小テスト・レポート等の課題を加味して、総合的に評価します。

教科書

テキストについては、第一回目の授業で指示します。

科外国語
目録

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II B	おおほ なおき 大庭直樹	歴史2年	2

講義のねらい

多くの英文を読んで内容を要約する力を養うこと。

講義の内容・授業スケジュール

このクラスでは、インターネットで流れている英語の最新のニュースを教場で配布して読んでいく。できるだけ多くの英文を読んで、それらを要約する力を養うことがこのクラスの重点である。課題として、いろいろな出来事を要約し、それらを報告、あるいは提出してもらう。後期からは、映画を一本観ながらダイアログの英語表現を検討する。
達成目標：多くの英文を読んで内容を要約する力を養うこと、日常使われる英語表現を理解する力を養うこと

履修上の留意点

教室では、マルチメディア語学教材、インターネットの語学学習のホームページ（英会話、英文読解、英文作成、TOEFL[®]、TOEIC[®]の問題など）、コンピューターを使った語学教材を紹介していくので、受講生は、それらを自主的に利用することである。

成績評価の方法

出席はもちろんのこと、クラスでの発表に重点をおく。また課題を頻繁に提出してもらう。

英 会 話 I

〈英会話 I の授業内容と履修上の留意点〉

基本的な日常表現ができることを目指した大学初級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検 2 級合格、TOEFL® のスコアー 450 点、TOEIC® のスコアー 500 点程度。I A の振り替え選択科目です。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

1 クラスの受講人数に制限があるので、希望通りに選択できない場合もあります。

科外
国
目語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	ウェルズ, J. K.	国文・地理・歴史・ 社会・福祉・心理 1 年	2

講義のねらい

WELCOME TO ENGLISH CONVERSATION I !!

Come to my class and learn to speak English by question and answer in pairwork. Learn proper pronunciation and challenge yourself. The 1st semester will be question and answer, while the 2nd semester will be role playing activities.

成績評価の方法

However, attendance is very important ! Small tests and quizzes will also be given.
LET'S HAVE FUN

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	ソルタ, P. N. F.	国文・地理・歴史・ 社会・福祉・心理 1 年	2

講義のねらい

English Conversation I was designed for typical Japanese high school graduates who have studied English for six years at junior and senior high school, but have great difficulty in speaking and understanding spoken English. The course helps students overcome their natural shyness at speaking in a foreign language, and gives them many opportunities to practice, in a meaningful context, communicating in natural spoken English. This enables students to build up their speaking and listening skills, and improve their ability to understand and use real English for real communication. Finally, this course seeks to increase the number of situations in which students can function using real - world English.

講義の内容・
授業スケジュール

A textbook with 15 units and the instructor's worksheets will be used as sources of classroom material. The course is based on the principle that the only way to become fluent in a language is through lots of practice. The emphasis in this class, therefore, will be firmly on speaking and listening exercises. Students will do most of their exercises with one other student (this is called pairwork) to give everyone the maximum number of opportunities for speaking and listening practice.

履修上の留意点

It will be assumed that students taking this course have studied English language at high school level for six years. Students must be willing to take a class where the instructor will speak only English. Students should note that only two absences per semester are permitted in this course. Constant attendance, and a positive attitude towards and active participation in all class activities, will be essential for a passing grade in English Conversation I.

成績評価の方法

A final grade will be based on three measures: a mid-year exam (30%), an end-of-year exam (30%), and a mark based on attendance, attitude in class and class performance throughout the year (40%). The nature of the exams may vary depending upon the class size. An interview-style exam will be given if the number of students is small. Otherwise, listening and written exercises will be used.

教 科 書

Communicate: book 1a / David Paul / Macmillan Language House, ¥1, 230,
ISBN 0 - 435 - 26119 - 3.

科目名	担当者名	配当学科	単位
英会話 I	ジトウィッツ, P. D.	国文・地理・歴史・ 社会・福祉・心理1年	2

講義のねらい

To help students English in a variety of social usel and business situations. To increase students' working vocabulary and to improve pronunciation.

講義の内容・
授業スケジュール

Students will intensively practice English through intensive pair work and assigned dialogues.

成績評価の方法

Students are expected to attend at least 80% of all classes and to positively participate in classes.

教科書

Teamwork by Richard Carrington, Macmillian Language House, 1994.

科目名	担当者名	配当学科	単位
英会話 I	ピアス, D. M.	国文・地理・歴史・ 社会・福祉・心理1年	2

科外国
目語

講義のねらい

Please join this class together with your friends! During most of the class period you will be talking to each other in groups. You will not be learning any more English; all you have to do is to start using what you already know. By the end of the course you should be able to speak enough English to travel in foreign countries, talk with foreigners, and communicate about all the usual things in everyday life. Our textbook will guide you through everything. You will learn all the conversation patterns for everyday situations such as buying things, getting information, making reservations. The course also aims at helping you to find good employment in the future, and so we will concentrate on TOEFL®, EIKEN, and TOEIC®. There will also be a lot of intensive practice in English composition, which you can practice together in groups. It's a lot of fun!

履修上の留意点

Attendance and active participation are most important, because improvement in English speaking depends on the amount of practice. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter-grade less than what the student would otherwise have received.

Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

成績評価の方法

Your final grade is how good your employment will be after university graduation. Never forget that English ability is extremely important when you are looking for employment; you will be able to get better employment if you improve your English this year. You are taking a high-quality English course to get better employment in the future, not just to get a university grade!

Your final grade depends 70% on your class performance, in every class. I will keep a record of your participation in every single class meeting. This is a course for English conversation; one can improve speaking ability, similarly to playing the piano, only by constant practice. This is true no matter how advanced the student may be. Therefore, attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Finally! Everyone in the class is equally able to get an "A" in the class, because the final grade does not depend on the final examination. Even if a student cannot speak English at all, he/she has as much a chance as the other students to get an "A" because his final grade depends on his effort and his improvement in comparison to his initial ability.

教科書

We will probably use *American Sociology*, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or a battery-powered dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	プラスキー, J. C.	国文・地理・歴史・ 社会・福祉・心理1年	2

講義のねらい

The goal of this course is for students to begin to express themselves at a basic level of proficiency about themselves and other topics about which they are familiar.

講義の内容・
授業スケジュール

This class will primarily consist of student discussions. Topics will focus on the students, school, family and friends. These activities will be supplemented with grammar, pronunciation, intonation, stress and rhythm exercises as well as listening practice.

履修上の留意点

Students will be required to complete homework assignments before each class.

成績評価の方法

Students will be evaluated on the basis of class participation (50%), homework (30%) and a final oral test (20%) given during the last class meeting.

教 科 書

None.

科外
国
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	ラーズ, R.	国文・地理・歴史・ 社会・福祉・心理1年	2

講義のねらい

The goal of this class is to give students simple fluency and confidence in English conversation by developing listening skills, asking questions and communicating information about themselves, their families, interests, homes and neighborhoods. Special attention is given to pronunciation. Students are given basic exposure to the differences in English spoken in the U.S. and U.K.

講義の内容・
授業スケジュール

Vocabulary building and conversations in Present Simple and Present Continuous tense (some introductory use of future and past tense) about the following subjects: Personal information and meeting people; home and classroom objects, places around town and everyday activities; nationalities, professions and describing people and things; describing the weather; talking about family members, activities and events; asking directions, describing locations, describing and asking questions about neighborhoods and apartments; clothes, colors, going shopping; likes and dislikes, feelings; numbers; speaking about days of the week, months, years.

The class meets once a week for 90 minutes. After roll call, students follow modeled exercises in the text. Additional vocabulary is introduced and practiced. Once the model is established, pair-work, group-work and conversations around and beyond the model are practiced. To enhance listening skills "conversations on tape" are played. Students listen and answer relevant questions. Homework consists of memorizing the new vocabulary and models, and completing grammar exercises in the Workbook. Extra materials including vocabulary, grammar exercises and conversation games are used in addition to the text.

履修上の留意点

Students must be punctual. They must bring their Textbooks and Workbooks for every class. They should be ready for unannounced quizzes and tests.

成績評価の方法

There is no final exam. Students will be marked for (i) Speeches (on predetermined topics) and answering questions on the speech (ii) 3 or 4 written tests over the year (iii) effort and class participation (hard work and improvement over the year). Students absent for more than 2/3 of the year will fail the course.

教 科 書

I) *Side by Side* (Third Edition) Book 2 *Student's book* by Steven J. Molinsky & Bill Bliss. Published by Pearson Longman. ISBN # 0-13-183935-7
II) *Side by Side* (Third Edition) Book 2 *Activity Workbook* by Steven J. Molinsky & Bill Bliss. Published by Pearson Longman. ISBN # 0-13-026750-3

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 I	レイン, R. V.	国文・地理・歴史・ 社会・福祉・心理1年	2

講義のねらい

This course will help the student to : 1)use conversational English language patterns and idioms with increased confidence, and 2)improve their presentation-skills.

講義の内容・
授業スケジュール

The first half of the class is devoted to textbook speaking activities(done in pairs)to provide the student with opportunities to use a variety of language patterns and verb tenses. The second half of the class is devoted to students giving presentations in both small groups and in front of the class. Students are expected to participate actively in class and practice the activities at home.

履修上の留意点

Students should be aware that attendance is important. If the student is absent for 1/3 of the scheduled classes (approximately eight times), the student will fail the class.

成績評価の方法

Students will be tested orally on the textbook activities twice a month and will be given a grade for both group and class presentations.

教 科 書

Steven Molinsky and Bill Bliss, *Side by Side, 3rd Edition, LEVEL 3* (Pearson Education) 2001

科外
国
語
目
録

英 語 L L I

〈英語 LL I の授業内容と履修上の留意点〉

ランゲジ・ラボラトリ（1号館3・4階PC教場）を使用し、発音、アクセント、イントネーションなどの口頭練習とデジタル化されたテープ教材またはビデオ教材を用いて、日常会話などのヒアリングとスピーキングを訓練します。英検2級合格、TOEFL®のスコア450点、TOEIC®のスコア500点程度を達成目標とする初級レベルです。I Aの振り替え選択科目なので、各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。1クラスの定員が30名ですから、希望通りに選択できない場合もあります。

科外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L I	か い がつ こ 甲 斐 捷 子	全学科1年	2

講義の内容・
授業スケジュール

テキストは日本人の留学生がアメリカの家庭、教育現場を通して、アメリカ社会に馴染んでゆく過程を写したビデオ教材です。様々な意思伝達の現場をビデオで見ながら、コミュニケーションのための英語運用能力を高めることを目的とします。徹底的に「聞き」、「話す」、授業の中で、基本的な発音の矯正も身につくまで、しっかり行います。
「旅行編」、「留学編」、全20課を前後期で終了する予定です。

履修上の留意点

授業としては週一回ですが、演習科目の成否は学習量で決まりますから、少なくとも週2回はLL自習室で復習して下さい。また一単元終了時には小テストを行います。

成績評価の方法

一応の目安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。総合点が基準に達しなかった場合、欠席が三分の一を超えた場合、および前後期試験のいずれかを欠試した場合は不合格となりますから、特に欠席をしないよう、十分注意して下さい。

教 科 書

Viva! San Francisco (マクミラン・ランゲージハウス) 2,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L I	か どう きわ こ 加 藤 佐和子	全学科1年	2

講義のねらい

発音・アクセント・イントネーションを学習し、ネイティブ・スピーカーとのコミュニケーションが円滑にとれるようにする。TOEIC®スコア500を目標にする。

講義の内容・
授業スケジュール

毎回テキストを1Lesson進む。更に、ヒットソング・映画の一場面・ニュース報道などのディクテーションをし、スピーキング・リスニングの力をつけていく。TOEIC®受験のための学習も行う。

履修上の留意点

各自カセット・テープを用意すること。必ず復習をすること。

成績評価の方法

毎回の小テスト・授業参加度50%
まとめテスト50%

教 科 書

『English20』（英進社）
『10分間 TOEIC リスニング演習』（桐原書店）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L I	久保 ひさ子	全学科1年	2

講義のねらい 海外旅行の場面別に、一回で通じる短い英会話文を習得する。

講義の内容・授業スケジュール 旅行英会話の短文を、ラボを使用して、聞き取り、書き取り、反復練習、録音、再生する。応用できるようにするため、さらに暗記する。小テストあり。

履修上の留意点 LL 授業は、ラボを用いた実習授業のため、欠席しないようお願い致します。

成績評価の方法 試験と授業実習点と小テスト合計点

教科書 マイケル・ブラウン『旅行でしゃべる英会話』(南雲堂)

外国
語目録

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L I	中林 正身	全学科1年	2

講義のねらい 英語の発音、アクセント、イントネーション等の理解と習得。ほとんが母語である日本語を習得してきたのと同じように、このクラスでは音声技能（リスニングとスピーキング）の習得に眼目を置く。英語の母音や子音の正しい発音を身につけて、英語の基本的な音を正しく発音できるようになり、また正しく聞き分けることができるようになってもらうことがこのクラスの第一のねらいである。第二のねらいは、多量の英語を聞き取り、リスニング能力を増強させることである。

講義の内容・授業スケジュール 前期は、英語の特徴を掴みながら、とくにフレーズ、文章などのリスニングを重点的にやってもらう。この作業のなかで学生諸君他人には、日本語のアクセントはピッチ・アクセントであるのに対して、英語のアクセントはストレス・アクセントであるとか、日本語が各音節をほぼ等しい時間で発音することによってリズムをつくる言語であるのに対して、英語はほぼ等しい間隔でストレスを置くことによってリズムをつくる言語であるというようなことを実体験とおして知ってもらう。後期には、とにかく多種多様の英語をドンドン聞いて、英語の音に慣れてもらう。

履修上の留意点 上述したような能力をつけるためには、週に一回の授業では当然不十分である。従って諸君には何らかの課題を毎週課し、翌週の授業までの一週間に家などでその課題のためにそれ相応の時間を割いてもらうことになることを覚悟してもらいたい。そして、その結果を確認するためのテストを毎週行なうつもりである。授業時間外での復習は必須である。

成績評価の方法 出席状況と授業への参加態度と毎回の確認テストを総合的に評価する。

教科書 最初の授業時に指示する。

参考書等 最初の授業時に指示する。

その他 家庭やLL自習室を利用したの予習復習は、毎週課せられることを認識して履修してもらいたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L I	にしむらゆうこ 西村祐子	全学科1年	2

講義のねらい

基本的な表現をつかってまず「話すこと」からはじめ、日常的なテーマを英語で話してみる。後期は日常的スピードで話される会話をききとり、受け答えできるように聞き取る力を向上させていく。説明は日本語でおこなうが、すべて英語での授業となる LLII に進むための橋渡しとして、後期にはペアワークが多く取り入れられ、毎回かなりの量の英語を実際に話すことをめざす。

講義の内容・授業スケジュール

4-7月：英語のビデオを見、ストーリーのまとめ方を学習。基本的な会話表現を学ぶ。
9-12月：ペアワークを多く取り入れ、ビデオの中で行われる会話を再現しながらスキットを独自につくっていく訓練をする。

成績評価の方法

定期試験はおこなわない。平常点（出席率、発表など）重視。

教科書

教場で指定。

参考書等

教場で指定する。

科外
国
目語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L I	はなわ 美智子	全学科1年	2

講義のねらい

LLI教室を使い英語の発音、アクセント、イントネーション等を習得し、明確な英語が使える、話せる様にする。自分のことばで表現する力を養成する。

講義の内容・授業スケジュール

日常生活の中で実際に話されている生きたことばを教材に用い、音声を聞き、繰り返し練習する。聞き、話す力を高めていく。

履修上の留意点

表現について研究したり、ことばの広がりをも自分なりに探す習慣をつける。

成績評価の方法

日常の授業を重視し、出席状況、前後期の試験の結果を入れて総合的に評価する。

教科書

『Talk of the Town—Adaptive language skills— 生きた英語から学ぶ会話ストラテジー』（マクミラン・ランゲージハウス）1,600円

参考書等

その都度黒板に板書し、案内する。

その他

いろいろなテーマが出てくるので、英語文化についても知識を増やしていく努力をする。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 語 L L I	ヘラー, P.S.	全学科1年	2

講義のねらい

発音を改善し会話ができる様にしていく。

講義の内容・
授業スケジュール

教材を使いリスニング練習、口頭練習を通し、発音、イントネーション、リズム、ストレスを改善していく。

履修上の留意点

教室内では英語で話すこと。宿題をしてくること。

成績評価の方法

出席率、宿題、リスニングテスト、スピーキングテスト、授業に参加しているかどうかを総合して評価。

教 科 書

IMPACT LISTENING 1 ISBN962-00-5133-5
CLEAR SPEECH FROM THE START ISBN0-521-63737-6

科外
国
目語

[ドイツ語]

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 I A	くり はら かず のぶ 栗 原 万 修	文学部全学科1年	2

講義のねらい

ドイツ語履修では、I Aは文法です。このクラスではドイツ語初級文法を学びますが、できるだけ丁寧に、わかりやすく説明します。ただし、初習の外国語は継続して勉強しないと習得できませんから休まないように。

成績評価の方法

成績評価は、平常の小テストや宿題を中心に、学習意欲なども含め総合的に判断します。

教科書

大岩信太郎『英語対照新ドイツ文法14時間』（三修社）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 I A	の 野 島 利 彰 の し ま と し あ き 野 島 利 彰	政・経・社・福・心健	2

科外 国 語 目 録

講義のねらい

ドイツ語は言葉の組み立てがともしっかりした言語です。それを理解するには文法から入るのが近道です。ヨーロッパの言語は親戚同士なので、ドイツ語の文法を知ることはヨーロッパの他の言語を理解する上にも役に立ちます。

講義の内容・ 授業スケジュール

原則として1日1課進みます。授業は練習問題から始め、残った時間で次の課の説明をします。動詞変化に慣れるため発音練習には動詞の変化表を使います。

履修上の留意点

練習問題を予習して授業に出席してください。ドイツ語作文問題は宿題とします。毎回授業時に提出してください。

成績評価の方法

練習問題をやってきているか否かがまず成績評価の大きな基準になります。そして夏と冬の定期試験の成績、臨時の小テストの成績を総合して評価します。

教科書

馬上・里村著『ドイツ語へのアプローチ』（郁文堂）2,500円

参考書等

ドイツ語の辞書は最初は引きにくいのですが、すぐに慣れます。二年次でもドイツ語を履修する人、将来大学院まで進む人は簡単な辞書を買わず、しっかりした辞書を購入してください。

そ の 他

語学はまず量の問題です。ラジオやテレビのドイツ語講座も活用してください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A	い がらし のぶ こ 五十嵐 信子	欧・煙・絵・観・煙草	2

講義のねらい

1年間でドイツ語の基礎的な力をつけることを目指します。発音からはじまり、動詞、冠詞、名詞、形容詞、前置詞…とすすんで一通りの文法を学び、1年の最後には、辞書を引きながらやさしいドイツ語の文章を読むことができるようになるでしょう。ドイツ語を身につけることは、ドイツ語圏への鍵を手に入れることになるのです。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) ドイツ人の発音のテープを聞き、それを声に出して発音することで、ドイツ語を聞き取り、また正しく発音することを学びます。
- 2) ドイツ語の文法をしっかりと理解し、くりかえし練習して身につけます。
- 3) 同時に良いドイツ語の例文に多く触れて、楽しくそのルールを感得します。
- 4) やさしいドイツ語会話を学びます。

履修上の留意点

新しい言葉を学ぶことは、本来楽しいことです。それは新しい世界への発見の旅だからです。しかし言語はどの部分も不可欠な建造物のようなものです。それゆえこの時間は、休まず出席して下さい。

成績評価の方法

年2回の試験および時間内の小テストを行ない、これに出席、授業への参加態度などを加味して評価します。

教科書

橋本政義・橋本淑恵著『楽しく身につくドイツ文法』(白水社) 1,800円

科外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A	の しま とし あき 野 島 利 彰	英米文・歴史1年	2

講義のねらい

ドイツ語は言葉の組み立てがとてもしっかりした言語です。それを理解するには文法から入るのが近道です。ヨーロッパの言語は親戚同士なので、ドイツ語の文法を知ることは同時にヨーロッパの他の言語を理解する上にも役に立ちます。

講義の内容・授業スケジュール

原則として1日1課進みます。授業は練習問題から始め、残った時間で次の課の説明をします。動詞変化に慣れるため発音練習には動詞の変化表を使います。

履修上の留意点

練習問題がたくさんあります。問題を予習して授業に出席してください。

成績評価の方法

練習問題をやってきているか否かがまず大きな基準になります。そして夏と冬の定期試験の成績、臨時の小テストの成績を総合して評価します。

教科書

岩崎・平尾著『新訂・岩崎・平尾・初歩ドイツ文法』(同学社) 2,000円

参考書等

ドイツ語の辞書は最初は引きにくいのですが、すぐに慣れます。二年度でもドイツ語を履修する人、将来大学院まで進む人は簡単な辞書を買わず、しっかりした辞書にしてください。

その他

語学はまず量の問題です。ラジオやテレビのドイツ語講座も活用してください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A	まつ 松岡 晋	英米文・歴史1年	2

講義のねらい

下に記した教科書を用いて一年間でドイツ語の初等文法を学習します。

講義の内容・
授業スケジュール

ドイツ語の文字、発音規則の説明から始めて徐々に積み重ね、一年後には簡単なドイツ語の文章を読めるレベルに到達できれば、と考えております。授業では文法規則の説明が中心になりますが、それ以外に短文の和訳練習を行います。初等文法を一通り終える予定ですが、とりわけ動詞に関わりのある項目を重点的に学習することになります。

履修上の留意点

教科書以外に、最初の授業で紹介する各種の中型独和辞典のうち一点を必ず入手して下さい。また、文法の学習は継続的に行われますので、定期的に出席し、積極的に授業に参加されることを切に願っております。

成績評価の方法

成績評価は、最低二回以上おこなう筆記試験の結果および平常点（出席率、授業に取り組む姿勢など）によっておこないます。したがって、試験結果もさることながら、定期的出席、授業中の熱意なども重視します。

教科書

在間進はか著『明るく楽しくドイツ語を』（三修社）2,100円

科外
国
目語

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B	くり 栗原 万修	文学部全学科1年	2

講義のねらい

ドイツ語履修ではI Bは講読となっていますが、このクラスでは初級の実用的な会話を中心に授業をすすめます。ただし、初習の外国語は継続してやらないと習得できませんから、授業は休まず出席して下さい。欠席がつづくとな名前を名簿から抹消します。

成績評価の方法

定期試験は行わず、平常の小テストを中心に、授業中の学習意欲等を含め総合的に判断します。

教科書

テキストは特定せず、手作りの教材をその都度教場で配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B	おか 岡本 時子	文学部全学科1年	2

講義のねらい

初心者を対象に、ドイツ語が使えるようになるための基礎的学力、知識の養成を目指し、併せてドイツ語圏の文化、社会、歴史等についても学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

前期はドイツ語の発音・文法の基礎を中心に簡単な挨拶や文が言えるようにする。後期は辞書を引ながら平易なドイツ語の文章を読めるようにし、口頭では複文や重文が組み立てられるようにする。

履修上の留意点

受身に「教わる」授業ではなく、積極的に自分から「学び、考える」授業にしたい。

成績評価の方法

期末筆記試験・授業への出席・参加等を総合して評価する。

教科書

教科書については開講時に指定します。

参考書等

参考書・辞書等については第一回目の授業で説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B	すぎもとまさとし 杉本正俊	歐・姫・社・融・機庫	2

講義のねらい

ヨーロッパ文化の重要な一翼を担い、現代日本とも深い関係を持つドイツ語圏の言語、ドイツ語を、発音、文法、語彙、文など、様々な角度から学び、ドイツ語への入門を果たしてもらう。

講義の内容・授業スケジュール

教科書に従った授業を行う。

履修上の留意点

初めのうちは特に、予習は必要でないが、授業中は、教師の話に耳を傾け、しっかり学んで頂きたい。

成績評価の方法

前後2回の期末テストも無論重要だが、授業にきちんと参加する事を重視します。当てられた問いには、必ずよく考えて答えて下さい。その際、正しい答えをしたかどうか、より、自分なりに考えて答えを出せたかどうか、という点をより重視します。

教科書

大岩信太郎『覚えるドイツ語』（同学社）1,900円
ISBN4-8102-0937-7

科外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I B	すぎもとまさとし 杉本正俊	英米文・歴史1年	2

講義のねらい

ヨーロッパ文化の重要な一翼を担い、現代日本とも深いかわりを持つドイツ語圏の言語、ドイツ語を、発音、文法、語彙、文など様々な角度から学び、ドイツ語への入門を果たしてもらう。注）（ドイツ語圏は、ドイツ、オーストリア、スイスの一部を主要部分とする）

講義の内容・授業スケジュール

教科書に従った授業を行う。

履修上の留意点

予習よりも、授業中の集中力に重きを置いて要領良く学んで下さい。特に教師のことばにしっかり耳を傾ける事が必要です。

成績評価の方法

前後2回の期末テストも重要だが、授業にきちんと参加する事を非常に重視します。当てられた問いには必ず自分なりによく考えて答えを出して下さい。その際に、正しい答えをしたかどうかより、自分なりに考えて答えを出せたのかどうかという点をより重視します。

教科書

橋本政義・Bernhard Neuberger・橋本淑恵著『フィール・シュパース〔新訂版〕』（郁文堂）2,400円 ISBN4-261-01194-8

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 II A	しばのひろこ 柴野博子	国文・地理・歴史2年	2

講義の内容・授業スケジュール

この授業は、初級文法で習った事柄を復習しながら、ある程度まとまった、やさしい文章を読んでゆきます。
また、時々ビデオを使って、バイエルンの美しい町と芸術を紹介します。

履修上の留意点

ドイツ語の勉強には、一步一步積み重ねてゆくことが非常に大切です。できるだけ休まずに出席して下さい。

成績評価の方法

試験は年に3回行います。この3回の試験と、平常の学習態度を総合して、成績評価を行います。

教科書

黒崎 勇『バイエルンの町と芸術』（朝日出版社）1,942円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡA	もも ずみ いさむ 百 濟 勇	英米文2年	2

講義のねらい

自分が客員研究員をしている「ベルリン・ドイツ経済研究所」(DIW)のドイツ人大學院生は勿論のこと、フランス、ロシアなどの学生・院生は、明白な問題意識をもって勉強をしていると同時に、それに必要な外国語学修得が前提となっていることだ。そうした学習方法を学ぶ必要がある。

講義の内容・授業スケジュール

諸君が、ヨーロッパの人文科学、社会科学を履修対象とする場合には、ヨーロッパで一番語られているドイツ語が必要だ。その修得には、まず徹底して声をだして読むことだ。毎時間、一人一人数回当てでの口答対話を行う。

履修上の留意点

ドイツ人が英国訪問をした際の「ドイツ人の為の英語会話」をテキストを使うので、毎回の授業出席が前提になる。そしてこうした学習方法は、結果として英会話も力がつくだろう。

成績評価の方法

これらを総合して年度末の成績として評価する。前期、後期の定期試験は行わない。時にはドイツの新聞の文化・政治・経済・記事などのコピーも使用する。熱心な学生の受講を希望する。

教科書

日本で作成した教科書は使わず、その都度、既に指摘したプリントを配布する。その際に初年度で使用したドイツ辞書、ドイツ語教科書を持参すること。

科外
国
語

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡB	み だ しげ み 織 田 繁 美	国文・歴史2年	2

講義のねらい

ドイツ語の基礎文法が履修されていることが望ましい。日常生活の様々な場面に遭遇した場合を扱った会話や記事、それに必要な常識的な知識をカセットやプリントを教材として勉強する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は比較的やさしい文を取り上げ、カセットで美しいドイツ語を聞くことに心掛け、日常の様々な状況をどんな風に表現しているかを感じ取るようにする。後期は会話を通じて日常の更に広い分野に切り込んでいくと同時に、文章を読み取る訓練もしていく。

履修上の留意点

平常点を重視するため、や止むを得ない事情でもない限り、授業を休まない、遅刻をしないこと。辞書を必ず持参すること。

教科書

プリントを使用する。

[フランス語]

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I A	井 田 清 子 い だ きよ こ	政・経・社・福・心理	2

講義のねらい

フランス語をはじめ学ぶ学生のための文法中心の授業です。文章を理解するための基本的な文法事項(動詞、名詞、冠詞、形容詞の用法など)を一年間で習得し、生きたフランス語を、無理なく学び、使えるようにするのが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

文法と共に、実際に使われている基本的な表現に慣れるように、平易な例文を選び、フランス語が身につくようにわかりやすく構成されたテキストです。こうして獲得した文法知識を、例文の中で実際に応用しながら、各種の文章も理解できるようにしましょう。

履修上の留意点

辞書をひく手間を惜まず、自分で面白さを味わってください。

成績評価の方法

前期・後期の試験を中心に、通常点も加味します。

教 科 書

山田他著『初級フランス文法案内(改訂版)』(第三書房) 1,700円

科外国
目語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I A	こ 小 玉 齊 夫 こ だま なり お 夫	政・経・社・福・心理	2

講義のねらい

初歩のフランス語文法の授業として、基本的な文のしくみを、なるべく多くの例文を読みとおすことによって理解していきたいと思います。一年次の目標は、自分で辞書をひいて、音読を試みながら読解していくことですが、そのためには、覚えている単語、表現の数が多いほど、聞き取りの場面でも有利になるはずですが、つとめて、記憶機能と、記憶を呼び起こす機能を鍛えるようにしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

日常的な表現を重視して、各課の課題をこなしていきたいと思っています。一回の授業で、一課あるいはそれ以上、進んで行く予定です。

履修上の留意点

上のようなことも考慮すれば、特別な場合を除いて、授業には毎回出席し、そのつど、覚えるべきことを確認していくようにしてください。

成績評価の方法

随時行う小テスト、それに、前・後期の試験によって、成績評価をします。出席は、毎回、出ることが原則です。

教 科 書

田辺 著 『アミ・アミ』(第三書房) 2,100円
ISBN4-8086-2090-1C 1085

参 考 書 等

辞書等については、最初の授業時に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I A	とよ やま ひろ お 遠 山 博 雄	文学部全学科1年	2

講義のねらい

基礎的な文法事項をきちんと身につけること。

講義の内容・
授業スケジュール

はじめに詳しい説明をし、その後で練習問題をやります。単純な事項から複雑な事項に順を追って進んでいきます。

履修上の留意点

必ず辞書を持って出席し、自分で問題に取り組む姿勢が必要です。遅刻をして説明を聞きもらさないこと。

成績評価の方法

3回の筆記試験を行ないます。

教科書

天羽均他著『初級フランス語文法（改訂2004年度版）』（朝日出版社）2,200円

参考書等

最初の授業で仏和辞典のガイダンスをします。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I A	さ とう くみ こ 佐 藤 久美子	英米文・歴史1年	2

講義のねらい

フランス語を初めて学ぶ学生を対象とし、アルファベ（アルファベット）から始めて、1年間で文法の基礎を習得する。

講義の内容・
授業スケジュール

発音練習に続いて文法解説を行う。習ったばかりの事項の確認のため、すぐ練習問題に取り組んでもらう。フランス語になるべく多く接してもらうために宿題を頻繁に課す。

履修上の留意点

出席を重視する。年間授業回数の三分の一以上欠席した場合は評価の対象からはずす。ただし出席さえしていればよいというのではなく、積極的に授業に参加することが肝要。そのために予習（最低限新しい単語を調べておくこと）が不可欠。

成績評価の方法

前・後期の試験の結果、授業への参加度、宿題の提出状況などから総合的に判断する。

教科書

佐藤著『フロレゾン』（白水社）2,000円

参考書等

仏和辞典（初回の授業で紹介）を授業時に必ず持参すること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I A	あし はら けん 芦 原 峯	英米文・歴史1年	2

講義のねらい

1年かけて、仏語のやさしい文章（おもに会話の多い文章）が読めて（発音）、その内容が理解（読解力）できるようにします。読解力をつけるためには、文法の知識を身につけることがどうしても必要です。文法は読解力に非常に役立つ道具です。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、文法を土台にして、仏語の読み方、辞書の上手な引き方を覚えます。後期は、前期の作業を発展させて、できるだけ多くの仏文を読めるようにします。

履修上の留意点

教科書と同時に辞書を持参して下さい。

成績評価の方法

毎回小テストか辞書を使う和訳のテストをします。それに、期末の総合テスト。ときどきレポート。

教科書

安田悦子『ヴィット・メ・ビヤン』（白水社）1,680円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I B	たけだまさずみ 竹 田 正 純	文学部全学科1年	2

- 講義のねらい フランス語の音を大切にしながら、基礎的な文法項目の修得を目指したい。
- 講義の内容・授業スケジュール 初歩的な読む・書く・話すができるよう反復練習を中心に授業をすすめていく。
- 履修上の留意点 度々小テストをおこなうので授業を休まないこと。
- 成績評価の方法 前後期2度の試験と、上記小テストの結果で評価する。
- 教 科 書 藤田裕二『彼女は食いしん坊！』（朝日出版社）2,500円

科外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I B	はまざきせつお 浜 崎 設 夫	国文・地理・社会・福祉・心理1年	2

- 講義のねらい 文法読本の教科書を使い、文法を復習しつつ初級の文章を読解できるようにする。またフランス文化に対する関心を強めてもらう。
- 講義の内容・授業スケジュール 発音の練習から始めて、約25回の授業で、最終段階の接続法まで進みたい。1課ごとにまず文法を説明し、文章の和訳と練習問題を宿題にする。レポートを2度出してもらう。
- 履修上の留意点 なるべく遅刻欠席をしないこと。必ず復習すること（予習は必要なし）。ノートを用意すること。毎回辞書を持って来ること。辞書は最初の授業で紹介する。
- 成績評価の方法 出席回数、宿題をやって来た回数、前後期の試験の成績、レポートの内容等に基づいて評価する。
- 教 科 書 山下『カイエ・ド・フランス』（駿河台出版）
- 参 考 書 等 前もって買う必要はない。授業中に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I B	くわたのりあき 桑 田 禮 彰	文学部全学科1年	2

- 講義のねらい フランス語の基礎の習得。
- 講義の内容・授業スケジュール まず発音の基本をしっかりと確認した上で、簡単な会話表現に親しみながら、初級文法を理解し、読解力の基礎を身につけます。
- 履修上の留意点 発音練習や文法理解のために最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。
- 成績評価の方法 ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。
- 教 科 書 北山研二他『パリ・セズイエム』（駿河台出版社）2,500円
- 参 考 書 等 そのつど授業で指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 I B	はまき せつ お 濱 崎 設 夫	英米文・歴史1年	2

講義のねらい

文法読本の教科書を使い、文法を復習しつつ初級の文章を読解できるようにする。またフランス文化に対する関心を強めてもらう。

講義の内容・授業スケジュール

発音の練習から始めて、約25回の授業で、最終段階の接続法まで進みたい。1課ごとにまず文法を説明し、文章の和訳と練習問題を宿題にする。レポートを2度出してもらう。

履修上の留意点

なるべく遅刻欠席をしないこと。必ず復習すること（予習は必要なし）。ノートを用意すること。毎回辞書を持って来ること。辞書は最初の授業で紹介する。

成績評価の方法

出席回数、宿題をやって来た回数、前後期の試験の成績、レポートの内容等に基づいて評価する。

教 科 書

滑川『ポケットにフランス語』（第三書房）2,100円

参 考 書 等

前もって買う必要はない。授業中に紹介する。

科外
国
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 II A	と お や ま ひ ろ お 遠 山 博 雄	国文・地理・歴史2年	2

講義のねらい

辞書を使ってやさしいフランス語の文章を読み、発音すること。あわせて口語的な表現を覚えること。

講義の内容・授業スケジュール

1年次でやり残した文法事項の説明をまずすませ、その他の文法事項は復習したり、追加しながら、辞書を片手に熟読していきます。後期は短い読み物に挑戦します。

履修上の留意点

必ず辞書を持って出席すること。

成績評価の方法

2回の筆記試験を行いません。リスニングも含まれます。

教 科 書

浜名エレヌ著『ア・ラ・カルト』（駿河台出版社）2,625円
ISBN4-411-01336-3 C1085

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡA	こ だま なり お 小 玉 齊 夫	英米文2年	2

講義のねらい

中級程度のフランス語で書かれた、フランス語の新聞記事を、読んでいきます。自分自身の、日本あるいはフランス文化に対する思いを確定していく、そのきっかけになれば、という意図で、授業をすすめていくつもりです。

講義の内容・授業スケジュール

初めは、文法的な事項の再確認を重視して、ゆっくりと読んでいきますが、後期からは、フランス語長文読解・把握の練習として、いささか速度を早めた読み方も試みてみます。可能であれば、フランス語の作文も、宿題として、書いてもらいます。

履修上の留意点

仏和辞典を駆使して、フランス語としての言葉のつながり方を理解するつもりで、授業に出ること。生活に必要な単語を、フランス語として、覚えること。特別の事情がないかぎり、毎回、授業に出ること。

成績評価の方法

宿題などの提出状態、前期・後期の試験によって、総合的に評価します。

教科書

滝川 等著 『やさしく読めるフランス語新聞 (2004年度版)』(第三書房) 1,700円
ISBN4-8086-2674-8 C 1085

参考書等

『現代和仏小辞典』(白水社)が、フランス語の単語を使えるようになるためには、便利です。

科外
国
目
語

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語ⅡA	ま え だ の り か ず 前 田 祝 一	英米文2年	2

講義のねらい

レベルを中級フランス語に設定します。したがって、一年生で学んだフランス語の後半部分を学習し直し、さらに豊かなフランス語の世界への参入を試みます。

講義の内容・授業スケジュール

テキストに沿って進め、細かいニュアンスの把握にも挑戦しましょう。

履修上の留意点

初級フランス語ⅠA・ⅠBの単位の未修者は、自分で参考書などで勉強する覚悟でいて下さい。

成績評価の方法

基本的には前・後期のペーパー・テストで成績を評価しますが、授業中の課題や出席の状況にも配慮します。

教科書

ジャン・ド・ブリュノフ作、安東次男編『仔象のパパール』(第三書房) 1,000円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅡB	はた なか ち あき 畑 中 千 晶	国文・歴史2年	2

講義のねらい

リスニング力を強化しながら、フランス語でコミュニケーションする能力を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

初回の講義の際に年間スケジュールを配布します。

履修上の留意点

自宅学習とクラスでの活動を連動させることで、力が伸びていきます。宿題には必ず取り組むようにしてください。

成績評価の方法

前期末試験30%、学年末試験30%、平常点（宿題、小テストなど）20%、夏期休暇の課題10%、出席10%

教科書

中井珠子『コミュニケーションのためのフランス語リスニング入門（教科書版）』（白水社）
1,800円

科外
国
語

中国語

中国語ⅠA・ⅠB

中国語の入門クラス。発音と文字（簡体字）そして文法の基礎を学ぶ。授業では、まず「ピンイン」というローマ字表記を使って発音を学び、次いでその表記法によりつつ基本的な文法・文型等を学んでゆく。「ピンイン」表記を最初にしっかり覚えないと、その後の学習がほとんど不可能になる（漢字で書かれているので他の外国語より易しいというのは、誤った俗説である）。

ⅠA-ⅠBという週2コマの授業を通して1冊の教科書を使用する。ⅠA-ⅠBの組み合わせは固定されており、それを一人の教員が担当する場合と、二人の教員が共同で担当する場合とがある。いずれにしても必ずその2コマを1セットで履修しなければならない。

中国語の学習には自分の口と耳を使った教室での実地練習がきわめて重要である。休まず出席し、教員の指導のもと、積極的に練習を行ってほしい。出席は成績評価においても重要な判断材料となる。そのほか年間を通じての各種小テスト、中間・定期試験、課題提出、および授業中に見られる実際の習熟度等々に基づいて最終的な成績評価がなされる。日頃の努力の積み重ねが不可欠であり、定期試験のときだけ一夜漬けで乗り切るといことは絶対に不可能である。

科外国語
目録

中国語ⅡA

ⅠA-ⅠBの学習を基礎としつつ、ピンイン付の長文を学び、中級程度の読解力・文法的理解力を養う。正確な読解は、読み書きだけでなく、話したり聞いたりするための基礎ともなるものである。

授業は、各担当者によって多彩な内容が用意される。文学的なもの、中国の社会や文化の理解に役立つもの、文法学習を主とするもの、またいろいろな文章の抜粋を読むもの、1~2篇の、まとまった作品をじっくり読み上げるもの、等々である。いずれの場合も、発音と基礎文法の復習・定着、やや複雑な中区勇程度の語彙・文法・文型の学習、そして長文の論理展開や文章構成の把握、といったことが目標となるであろう。また、それと同時に、教材を通して、表面的な知識や情報にとどまらない、内在的な中国理解の眼を養ってもらいたいと思う。

中国語ⅡB

ⅠA-ⅠBの学習を基礎としつつ、簡単な内容の文を言ったり書いたりすることのできるような、初歩的な表現力の獲得を目指す。長文読解中心のⅡAに対し、ⅡBの教材は短文の会話体を主とするもので、内容理解だけならさほど難しくはないであろう。ここで目標とされているのは新たな知識の拡張よりも、むしろ既修の知識を血肉化させ、それを「使える」ようにすることなのである。つまり、「発信型」の語学力の土台を築こうというわけである。そのため毎回の授業に休まず出席するのはもちろんのこと、教室で行われる練習に積極的に参加し、なるべく多くの反復練習をこなすよう努めてほしい。成績評価の原則は、上記ⅠA-ⅠBに準ずる。

【辞書について】

1年次の授業は辞書の購入を前提とせずに進められる。最初から中国語の勉強は1年限りと決めてしまうなら、辞書なしで済ませることはできる。しかしそういう人にとっても、1年間の学習をより実りあるものとするために、次の辞書は役に立つことだろう。

相原茂『はじめての中国語学習辞典』（2002年 朝日出版社） 2,800円

2年次以降も中国語学習を続ける場合、辞書の購入は必須である。近年は中国語の辞書の出版が相次いだが、特に以下の2点が薦められる。

商務印書館・小学館『中日辞典〔第2版〕』（2003年 小学館）語法解説や図版豊富。6,300円
相原 茂『講談社中日辞典〔第2版〕』（2002年 講談社）全例文にピンイン付き。6,500円

より手軽なサイズと価格では次の2点も推薦できる。しかし、学習の伴侶として息長くおつきあいすることを考えれば、思いきって奮発したほうが結局は「得」である。

松岡榮志『クラウン中日辞典』（2001年 三省堂）4,000円
武信 彰『プログレッシブ中国語辞典』（1998年 小学館）3,500円
また、これらよりさらに小型のものや、中日・日中を1冊で間に合わせる類の辞書は薦められない。

なお、下の2点も、初学者向けではないが、中級から上級以降の学習や研究に十分耐え得る内容を具えた優れた辞書である。

伊地智善継『白水社中国語辞典』（2002年 白水社）7,800円
愛知大学中日大辞典編纂処『中日大辞典〔増訂第2版〕』（1987年 大修館書店）8,600円

日中辞典は授業では必須としないが、次のものが手元にあれば重宝するであろう。
对外経貿大学・商務印書館・小学館『日中辞典〔第2版〕』（2002年 小学館）7,000円
倉石武四郎、折敷瀬興『岩波日中辞典〔第2版〕』（2001年 岩波書店）5,000円

科外
国
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 語 I A	布 施 直 子 ふせ なおこ	文学部全学科1年	2
中 国 語 I B	胡 玉 華 こ ぎょく か		2

講義のねらい

中国語の初級段階の学習を内容とする。中国語の発音のしかたを覚え、中国語の文の構造を理解することを目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

二人の教員が連携して授業を進める。基礎となる発音をしっかりマスターした後、基本的な語彙や文法、言い回しを身につける。

履修上の留意点

初めて学ぶ言語なので、授業での文法等の説明をしっかりと聞き、音声練習や作文練習に取り組むことが非常に大切である。欠席せずに毎回の出席を心がけてほしい。

成績評価の方法

出席状況、平常点、小テスト・中間テスト、期末テストによって総合的に評価する。

教 科 書

相原茂 陳淑梅著『語学三十六景』（東方書店）2,400円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	福地桂子	文学部全学科1年	2
中国語 I B	前川亨		2

講義のねらい

福地 (A)、前川 (B) が同一教科書で授業を行う。発音、ピンイン表記、基本文法の習得を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

正確な発音、簡単な文章の音読・解釈と作文、基本会話の実践をめざす。

履修上の留意点

自主的な予・復習、前向きな学習姿勢、外国語への大胆なとりくみを求める。授業を阻害する行為 (私語、携帯電話の受信等) は許さない。出席は初級段階ゆえ皆出席を原則とする。

成績評価の方法

年間数回の小テスト、宿題、前・後期の期末考査、平常点、出席状況等から総合的に判定する。

教科書

牧田英二・楊立明『新編・例文中心初級中国語』(同学社) 2,300円

参考書等

辞書については、開講後に説明する。

科外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	工藤早恵	政・経・社・融・理・法	2
中国語 I B	布施直子		2

講義のねらい

中国語の初級段階の学習を内容とする。中国語の発音のしかたを覚え、中国語の文の構造を理解することを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

二人の教員が連携して授業を進める。基礎となる発音をしっかりマスターした後、基本的な語彙や文法、言い回しを身につける。

履修上の留意点

初めて学ぶ言語なので、授業での文法等の説明をしっかりと聞き、音声練習や作文練習に取り組むことが非常に大切である。欠席せずに毎回の出席を心がけてほしい。

成績評価の方法

出席状況、平常点、小テスト・中間テスト、期末テストによって総合的に評価する。

教科書

相原茂 陳淑梅著『語学三十六景』(東方書店) 2,400円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	釜屋修	政・経・社・融・理・法	2
中国語 I B	下出宣子		2

講義のねらい

入門科目として中国語標準語の発音の基礎を習得し、文法の概要を把握することを目指す。とりわけ発音表記のピンインの確かな学習に力点を置く。

講義の内容・授業スケジュール

二人の教師が同一テキストにより週二回のセット授業を展開する。下出が文法の解説を中心に、釜屋が表現能力開発を中心に担当する。

履修上の留意点

皆出席、積極的学習姿勢、大胆率直な疑問の提起を要望する。

成績評価の方法

出席点、課題・小テストや期末テストの成績と授業への参加姿勢により総合的に判断する。

教科書

鄭萍・安力『チャイニーズ・ガーデン』(白帝社) 2,500円

参考書等

開講後指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 I A	塩旗伸一郎 <small>しお ぼた しんいちろう</small>	国・地理・社会・福祉・心理1年	2
中国語 I B	塩旗伸一郎 <small>しお ぼた しんいちろう</small>		

講義のねらい

中国語の音声の魅力を体感するとともに、その構造的特徴や文化的表現、ひいては中国人のものの考え方や世界観を理解し、私たち自身の言葉や習慣、社会について異なる視点から捉えなおすこと。

講義の内容・
授業スケジュール

音を離れて言葉は存在し得ない。漢字だけ睨んで当て推量する暗号解読作業に陥らぬため、定期試験の約半分は音声により出題する。また年間を通じて聞き取り・発音等の小テストを盛大に行う。
なお教科書には、遊び感覚で単語が身につく CD-ROM「中国語入門300語ワールド」が附いているので活用してほしい。

履修上の留意点

I Aと I Bが連動するので、必ずセットで履修すること。
なお、携帯電話&メールの電源を切らぬ者は、そこにいないのと同じ。退席を命じ、欠席扱いとする。

成績評価の方法

定期試験+小テスト+平常点-欠席点。前・後期とも欠席3回を超えると10点ずつ減点する。

教科書

相原・陳・飯田『300語ワールド版：一年生のころ』（朝日出版社）2,600円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 I A	佐藤普美子 <small>さ とう ふみこ</small>	国・地理・社会・福祉・心理1年	2
中国語 I B	佐藤普美子 <small>さ とう ふみこ</small>		2

講義のねらい

中国語の基礎になる文法と発音のしかたを学ぶ。

履修上の留意点

4・5月は発音のためのローマ字表記（ピンイン）を重点に学ぶ。この最初の関門をぜひ突破してほしい。

成績評価の方法

平常点（出席及び小テスト）と学期末テストを合わせて評価。

教科書

牧田英二・楊立明『新編・例文中心初級中国語』（同学社）2,300円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 I A	天野節 <small>あまの せつ</small>	国・地理・社会・福祉・心理1年	2
中国語 I B	曹泰和 <small>そう たい わ</small>		2

講義のねらい

中国語に興味と関心を持ってもらうこと。

講義の内容・
授業スケジュール

単語の発音と意味の確認、文法の説明及び例文の発音と意味を I A で行い、文法の復習と会話文の発音と意味及び会話練習を I B で行う。

履修上の留意点

予習、復習を行い、必ず出席して声を出して発音練習すること。

成績評価の方法

出席、課題、授業態度、テストで総合評価する。

教科書

牧田英二『新編・例文中心初級中国語』（同学社）2,300円

参考書等

授業の中で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	工藤 早恵	英米文・歴史1年	2
中国語 I B	塩 旗 伸一郎		2

講義のねらい

中国語の音声的魅力を体感するとともに、その構造的特徴や文化的表現、ひいては中国人のものの考え方や世界観を理解し、私たち自身の言葉や習慣、社会について異なる視点から捉えなおすこと。

講義の内容・授業スケジュール

音を離れて言葉は存在し得ない。漢字だけ睨んで当て推量する暗号解読作業に陥らぬため、定期試験の相当部分は音声により出題する。また年間を通じて聞き取り・発音等の小テストを盛大に行う。

なお教科書には、遊び感覚で単語が身につく CD-ROM「中国語入門300語ワールド」が附いているので活用してほしい。

履修上の留意点

必ず中国語 I A（火曜第4時限、工藤先生）とセットで履修すること。

なお、携帯電話&メールの電源を切らぬ者は、そこにいないのと同じ。退席を命じ、欠席扱いとする。

成績評価の方法

定期試験+小テスト+平常点-欠席点。

欠席は前期・後期それぞれ4回目から10点ずつ原点。遅刻は2回で欠席1回に相当。

教科書

相原・陳・飯田『300語ワールド版：一年生のころ』（朝日出版社）2,600円

科外
国
語

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	戸張 嘉勝	英米文・歴史1年	2
中国語 I B	下出 宣子		2

講義のねらい

発音（ピンイン）と基本文法を覚え、そして会話や文章の基本表現を修得する。

講義の内容・授業スケジュール

①文字・語義・文法・表現などの面から日本語と中国語を比較し、その異同を認識すると同時に学習上の注意事項や学習要領を覚える。

②発音と声調を正確に覚え、特に日本語にない発音や発音上の約束事などを反復練習する。

③文法は教科書の展開に従い、文型を解析する。文法を理解してから応用会話や作文練習を行なう。

成績評価の方法

前期と後期の中間試験・前期と後期の期末試験・授業態度や発表などの平常点と出席率によって評価する。

教科書

牧田英二・楊立明著『新編・例文中心初級中国語』（同学社）2,300円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 語 I A	あまの野 せつ 天 節	英米文・歴史1年	2
中 国 語 I B	さ とう ふう 佐 藤 普美子		2

講義のねらい

中国語に興味と関心を持ってもらうこと。

講義の内容・
授業スケジュール

単語の発音と意味の確認、文法の説明及び例文の発音と意味をIAで行い、文法の復習と会話文の発音と意味及び会話練習をIBで行う。

履修上の留意点

予習、復習を行い、必ず出席して声を出して発音練習すること。

成績評価の方法

平常点（出席、授業態度）、小テスト、学期末テストを総合的に評価します。評価はA、B担当教官がそれぞれ行います。

教 科 書

牧田英二『新編・例文中心初級中国語』（同学社）2,300円

参 考 書 等

授業の中で紹介する。

科外
国
語
目
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 語 I A	かま や おさむ 釜 屋 修	英米文・歴史1年	2
中 国 語 I B	かま や おさむ 釜 屋 修		2

講義のねらい

中国語の発音の基礎を学び、発音表記のピンインをしっかりと学ぶ。語法の基礎のしくみを理解し、中国語入門の基礎を固める。

講義の内容・
授業スケジュール

一人の教師が同一テキストで週二回の授業を展開する。

履修上の留意点

皆出席、大胆不敵の質問、大声と積極的な授業への参画を切望する。

成績評価の方法

出席点、各種課題、小テスト、期末テスト等の成績と授業態度を総合的に評価して判定する。

教 科 書

荒川清秀・趙煒宏・上野由紀子『簡明初級中国語』（光生館）1,300円

参 考 書 等

開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A	小川 隆 <small>おがわ たかし</small>	英文文・歴史1年	2
中国語 I B	小川 隆 <small>おがわ たかし</small>		2

講義の内容・授業スケジュール

IA と IB とで特に内容を分けず、週2回の授業で、ともかくどんどん頭から学んでゆく。本文は比較的易しい会話体で、その後文法解説用の例文と練習問題が続く。授業時間中は音読練習の機会をなるべく多く設け、漢字に頼らず、音声そのものを通して中国語を理解し表現できるようにしてゆきたい。

成績評価の方法

教科書は全15課で、2課に1度の割合でテストを行い、解答はすべてピンイン（ローマ字・声調記号）で書いてもらう。出席最重視。毎回、復習と練習問題をやって来ることが必要。授業進行の為の最低限のルールとマナーを守れない人には、受講をお断りする。

教科書

荒川・周・塩山『キャンパスライフ中国語』（白帝社）2,400円（CD付）

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 II A	松本 丁俊 <small>まつもと ちやうじゆん</small>	国文・地理・歴史2年	2

科外国語

講義のねらい

初級中国語から一段あげた中級中国語のレベルに到達する事。

講義の内容・授業スケジュール

単なる中国紹介ではなく、1人の女性の体験を通して中国にふれる。

1. 「重点」には、対話形式の例文
2. 「比較」には、類義語、類義表現
3. 「詞句」には、常用される多義語、関連表現
4. 「練習」には、ピンインの漢字変換、穴埋め、並べ替え、作文

成績評価の方法

前期と後期のテストを重点とし、通常授業中に発音のチェック、練習などと小テスト、さらに出席点を加味する。

教科書

荒川清秀・周関『中国見たり聞いたり15章』（光生館）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 II A	福地 桂子 <small>ふくち けいこ</small>	国文・地理・歴史2年	2

講義のねらい

自分で辞書をひいて、簡単な文章が読めることを目指す。
文法は中国語 I で学んだ基礎を定着させ、さらに接続詞を使った複文表現を学ぶ。
中国語 I に引き続き、正確な発音の練習に力を入れる。
中国の社会文化に対する理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

中国の最新事情を紹介した文章を読む。
文法事項を体系的に把握する。
下記の教科書を用い、だいたい3週間に2課の進捗で進めていく。

履修上の留意点

必ず予習してくる事。授業には辞書を携帯すること。

成績評価の方法

期末テスト（前後期各1回）、小テスト、授業での発表内容（予習してあるかどうかを重視）を総合して評価する。

教科書

王曙光『中文大世界』（白帝社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	いわさき ひろし 岩崎 皇	国文・英米文・地理・歴史2年	2

講義のねらい

中国語の文章を読むための文法知識の獲得及び語彙量を増やすことが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

授業は、始めに本文を各自訳してもらった後、解説をするという形になります。単語のプリントを配布しますが、まず自分で訳さなければなりません。その際、疑問点は自由に質問して構いません。

履修上の留意点

授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由(急病、急用、忌引、クラブ活動等)により欠席する場合でも、6回を越えた場合は成績評価をしませんから注意してください。

成績評価の方法

試験の成績により評価します。試験は前期2回、後期2回行う予定です。

教科書

原田松三郎『エペンディのとんち話』(金星堂) 1,850円

科外
国
語

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	ひろ かね かなこ 弘 兼 加奈子	国文・地理・歴史2年	2

講義の内容・授業スケジュール

めざましい発展をとげている現在の中国を「住宅の話」「結婚の話」等の十二の項目に分けて授業を行なう。翻訳が中心となるが、発音・声調も重視していく。

成績評価の方法

成績は年間約4回のテストと教場での平常評価によって総合的に判断する。

教科書

三瀧正道・楊光俊 新訂版『現代中国 走馬看花』(朝日出版社) 2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	かま や おさむ 釜屋 修	英米文2年	2

講義のねらい

中国語Ⅰで身につけた力をさらに発展向上させ、基礎能力をいっそう固める。またⅠの復習の場ともする。

講義の内容・授業スケジュール

週一回、会話文と読解文を交互に学んでいくが、一人ひとり朗読、翻訳を担当する。

履修上の留意点

出席し積極的、自主的に授業に参加すること。予習、課題の提出を義務づける。

成績評価の方法

出席状況、授業への参加態度、平常点、期末テスト等を総合的に評価して判断する。

教科書

小川郁夫『中国を知るための中国語中級テキスト』(白帝社) 1,700円

参考書等

開講時に指示する。辞書を必要とする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	李雲	英米文2年	2

講義のねらい 講読と文法をかねたテキストを用いて、易しい読み物を通して中国語の発音、基礎的な文法の勉強を行う。

講義の内容・授業スケジュール 下記のテキストを使用し、だいたい3週間に2課の進捗で授業を進めていく。

履修上の留意点 授業中、私語をしないこと。ちゃんと予習と復習をすること。

成績評価の方法 出席状況、日常の学習態度、並びに小テストによって成績評価を行います。

教科書 武信彰等『教養初級中国語』（郁文堂）2,000円

科外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	松本丁俊	英米文2年	2

講義の内容・授業スケジュール 中国の故事や民話、人民の生活、新聞記事、名作等から講読や鑑賞にふさわしい文章を選び、難易度に応じて、優しい文章から順に学習。長文学習は、単に読解力の向上にとどまらず、中国人の生活、風俗習慣、ものの見方、考え方なども垣間みることが出来る。巻末に練習があり、短文を作る様に工夫されている。

成績評価の方法 前期と後期のテストを重点とし、普段の授業中に、あてられた訳が出来ているか、練習をしているか、さらに出席状況も加味して、総合的に採点する。

教科書 陳榮生・頼石傳・蔡柱国『現代中文読本』（神保出版）1,650円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB	根岸政子	国文・歴史2年	2

講義のねらい 1年次に習得した基本文法を復習しながら、身近な会話をもとにして「読む」「聞く」「話す」を中心とした中国語の習得をめざす。

講義の内容・授業スケジュール 会話を中心としたテキストを使用し、3回で2課のペースで進めていく。

履修上の留意点 平常の反復練習が上達への鍵であるから、大きな声を出して何回も読むこと。必ず予習を行うこと。

成績評価の方法 前期後期の試験、小テスト、出席状況、授業への参加度などで評価する。

教科書 陳浩・梁月軍『中国語会話—ステップアップ（改訂版）』（郁文堂）2,300円（CD付）

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB	さくらばかずのり 櫻庭和典	国文・歴史2年	2

講義のねらい

中国語は、特に発音（四声）が明瞭でないと、意味が通じないため、一年次で学んだことを復習しながらより正しい発音（四声）の習得と、実生活で使える会話の習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

発音（四声）・ピンイン表記（中国式ローマ字）の習得、中国語文の反復・応用練習・暗誦を中心に授業をおこない、さらに、各課ごとに内容について、中国語で質問し中国語で答える練習をする。

履修上の留意点

必ず予習を行うこと。
授業には辞書を携帯すること。

成績評価の方法

平常評価（授業態度・出席日数）、小テスト、学期末テスト（前期、後期各一回）を行うが、特に平常評価に重きをおく。出席日数の足りない場合は、受験資格を失うため注意すること。欠席・遅刻は日数により減点する。

教科書

櫻庭和典・服部元彦・堀誠共著『音で学ぶ中国語』（晃洋書房）1,700円

参考書等

必要になったら授業のなかで紹介する。

その他

授業中の私語は厳禁とする。

科外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB	まつもとあつとし 松本丁俊	国文・歴史2年	2

講義の内容・授業スケジュール

中国の文化、歴史、風俗習慣、社会生活と歌等が理解できる様な内容、「読む」、「書く」、「聞く」、「話す」中国語の力になる様な授業を行う。

成績評価の方法

前・後期テストを重点とし、授業中に発音、訳し方又は練習用の小テスト、さらに出席点も加味する。

教科書

平井和子・于小薇『中国語の魅力』（好文出版）2,000円

[スペイン語]

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I A	うえの かつひろ 上野 勝 広	歌・観・絵・社・理・障	2

講義のねらい

スペイン語の基礎（発音・文法・語彙）を身につけ、その背景文化への理解と関心を深めてゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを用いて、前期は導入部から5課まで、後期は6～10課を解説します。同時に口頭および筆記の練習を行います。

履修上の留意点

少しでもスペイン語を身につけるには、ただ授業に出席するだけでは達成できません。集中して教師や録音CDのスペイン語を聴き、疲れるくらい口や手を動かしてレッスンに励みましょう。また最低限の復習も欠かせません。

成績評価の方法

年間4回のテストの結果（70％）に平常点（30％）を合わせて評価します。

教科書

上野勝広『新世紀のスペイン語』（同学社）2,200円

参考書等

初回の授業で紹介します。

科外
国
目語

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I A	みやこ たつろう 宮 地 達 郎	文学部全学科1年	2

講義のねらい

スペイン、中南米の国語スペイン語は国連の公用語6ヶ国語の一つでもあり、米国ではヒスパニックの人口比率が黒人を抜き最大となっている。米国におけるスペイン語の必要性は現在でも大きく、さらに増大することは必至である。従って、国際社会におけるスペイン語の重要性を認識させ興味を持続させることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

基礎文法の徹底が目的。前期は英語との違い、特に性数一致、動詞の変化（現在形）に重点を置く。後期は過去形、未来形、できれば接続法まで入ることが目的。

履修上の留意点

欠席が多い場合、前回の授業内容が分からなければ、その回の授業についていけなくなる。スペイン語は他の外国語より易しいという先入観を持ったり、英語が苦手だからという簡単な理由で受講しても単位取得は簡単ではないことを認識して受講してほしい。

成績評価の方法

出席率、授業中の態度、テストの3点を総合して評価する。

教科書

宮本博司著『ようこそスペイン語の世界へ』（大学書林）

参考書等

推薦辞書：『現代スペイン語辞典（西和および和西）』（白水社）
『スペイン語ミニ辞典』

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I A	かめ やま こう いち 亀 山 晃 一	文学部全学科1年	2

講義のねらい

初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を確実に習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習継続の為の動機付けとしたい。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書

開講時、指示します。

科外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I A	ルイズティノコ, C.	英米文・歴史1年	2

講義のねらい

この授業ではスペイン語の文章を読んで、練習をしながら文法の構造や表現に徐々に慣れ、基本的な会話能力を身につけることが目標である。
毎回の練習は重要なので積極的に参加してください。

成績評価の方法

出席を重視します。前期と後期の成績と授業参加の状態で評価します。

教科書

未定

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I B	ま とう まりの 佐 藤 麻里乃	文学部全学科1年	2

講義のねらい

文法の初歩を習得し、スペイン語の基本的な構造を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

教科書にそって解説と練習を行う。性数変化、動詞の変化（現在形・過去形）、再帰動詞、人称代名詞、分詞などを主に扱う。また必要に応じて適宜小テストを行う。

履修上の留意点

教科書と辞書を毎回必ず持参すること。授業中は先生の話をよく聞き、きちんとノートをとること。宿題が出たら必ずやってくること。

成績評価の方法

各学期末の試験、小テスト、授業中の態度を総合して評価する。

教科書

教科書：未定
辞書：『プログレッシブスペイン語辞典』（小学館）

参考書等

宮本博司『超入門スペイン語』（大学書林）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ペ イ ン 語 I B	よね だ ひろ み 米 田 博 美	文学部全学科1年	2

講義のねらい

情報のグローバル化には目を見はるものがあり、世界各地で発信される情報がインターネットを通じて瞬時に得ることができます。スペインやラテンアメリカ諸国で4億以上の人々が話すスペイン語を理解できれば自らの世界は大きく広がることでしょう。自動翻訳機、自動通訳機なども近未来において、日常的なものとなるであろうが、原語で解読し、直接、言葉によりコミュニケーションを図ることは、より深い理解と大きな満足につながるものです。来年度には南北アメリカ全域を対象とした自由貿易協定が結ばれる可能性もあり、スペイン語を母国語とする多くのラテンアメリカ諸国の発展が予想され、日本との結びつきも益々深まることでしょう。その意味で、スペイン語の重要性は確実に増えています。強い目的意識と希望をもって新たな挑戦をしてください。

講義の内容・授業スケジュール

年間スケジュールとして、下記テキストの1～7課までの範囲を学習します。

履修上の留意点

スペイン語は、発音しやすく聞きとりやすいと言われますが、語学の学習は、基礎の積み重ねが特に大切であり、欠席をしないように。

成績評価の方法

成績は、一般の授業態度、出席、テストなどにより総合的に判断します。

教 科 書

細川幸夫著『英語からスペイン語へ』（芸林書房）

参 考 書 等

辞書は、各自自由に選択して下さい。参考までに、『現代スペイン語辞典』（白水社）、『和西中辞典』（小学館）、『新スペイン語辞典』（研究社）などを推薦しておきます。

そ の 他

一方的な文法的説明に終わることなく、スペイン語圏の文化や社会についても関心を深めることができるようコメントをしたり、ビデオ鑑賞をできる機会もつくる考えです。

科外
国
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ペ イ ン 語 I B	くり ばやし え 栗 林 ゆき絵	政・経・社・融・理・科	2

講義のねらい

年間で約50の基本会話表現を修得する。そのために必要な基本的な文法事項を整理して、スペイン語のことばのしくみを学習する。

講義の内容・授業スケジュール

授業は、文法事項の説明と、それを応用した練習問題、という構成で進める。前期は現在形、後期は過去形、未来形、現在完了を中心に学習する。随時、課題、小テストを実施。

履修上の留意点

指示された課題（単語の意味、和訳、作文等）は必ずやってくる。

成績評価の方法

平常点（出席・課題）6割以上、試験（小テストおよび前後期末）6割以上で合格とする。出席が6割に満たない者は試験の受験を認めない。

教 科 書

堀田英夫『現代感覚でおぼえるスペイン語のエッセンス』（朝日出版社）1,900円

参 考 書 等

〈辞書〉『プログレッシブ スペイン語辞典』（小学館）

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I B	おぎのまさじ 荻野雅司	英米文・歴史1年	2

講義のねらい

スペイン本国のスペイン語に限らず、中南米で今日常用されているものも含めて、スペイン語の全体を概観することを狙いとします。

講義の内容・授業スケジュール

テキストに沿って初級スペイン語を学習して行きますが、言葉のみでなく、出来るだけヒスパニック圏の人々の物の考え方や文化、習慣を学ぶことで、communication がより容易に行えるようにします。さらに、このクラスはスペイン語の理解を促進するために、英語の語法との対比を常時行うことを特徴の一つとしています。

成績評価の方法

原則として年2回正規のテストを行います。総合的な成績の評価に当たっては、良くても、悪くてもテストの結果のみによってこれを行いません。むしろ、日頃の出席状況と受講態度を同じくらいに重視して評価します。

教科書

細川幸夫著『英語からスペイン語へ』（芸林書房）

科外国
目語

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 II A	ましもゆういち 真下祐一	国文・地理・歴史2年	2

講義のねらい

一年次に学んだスペイン語の基礎を完成し、以降の学習につなげていくための授業です。復習にも力を入れましょう。読み、書き、聞き、話す四つの能力の総合的なトレーニングです。

講義の内容・授業スケジュール

前期 (1~4) 復習 直説法現在不規則動詞・目的格人称代名詞・現在完了 (5・6) 再帰動詞 GUSTAR (7・8) 直説法点過去 (9・10) 直説法線過去 (11・12) 直説法過去完了 比較 (13) 試験
後期 (14・15) 直説法未来・未来完了 (16・17) 過去未来 関係代名詞 (18・19) 接続法現在・1 (20・21) 接続法現在・2 (22・23) 接続法過去 (24・25) 命令 (26) 試験

履修上の留意点

予習・復習は欠かせません。また常にスペイン語圏のニュースに注意していること。

成績評価の方法

100点満点中、40点は出席、課題の提出など授業参加、残り60点は2回の期末試験と小テストの結果で評価します。

教科書

西川 喬 『スペイン語の基礎』（第三書房）

参考書等

西和辞典を一冊。「改訂版現代スペイン語辞典」（白水社）など

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ペ イ ン 語 Ⅱ A	<small>おお いわ いさお</small> 大 岩 功	英米文2年	2

講義のねらい

スペイン語Iで学習した内容を踏まえ、文法の理解をさらに深めるとともに、スペイン語で書かれた文章に親しむことをめざします。

講義の内容・授業スケジュール

初めはスペイン語Iで学習した文法項目を復習し、その後、さらに新しい項目を学習していきます。まとまった長さの文章を読むための教材も適宜使用します。

履修上の留意点

予習することによって授業の学習効果は何倍にも増幅されます。学生諸君はぜひ予習をしっかりやって授業に参加してください。なお、授業には必ず辞書を持参すること。

成績評価の方法

出席状況と年数回のテストの得点、および授業に臨む姿勢などを考慮して総合的に評価します。

教 科 書

寿里順平他著『スペイン語－基礎と演習－』（教材マルコ社）
長文読解用の教材についてはプリントを適宜用意します。

参 考 書 等

辞書 有本紀明編『西和辞典』（白水社）4,500円
宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）4,000円
カルロス・ルビオ、上田博人編『研究社新スペイン語辞典』（研究社）4,860円
桑名一博編『西和中辞典』（小学館）6,120円
これらのうちどれか一冊を入手することが望ましい。

科外
国
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ペ イ ン 語 Ⅱ A	<small>ふく もと くみこ</small> 福 本 久美子	英米文2年	2

講義のねらい

接続法・命令法を中心に基礎文法を全て終える。また合わせて会話表現も学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

始業時に「授業方針」のプリントを配布する。

成績評価の方法

前・後期テストと、授業時の小テストの合計に拠る。

教 科 書

教室にて指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ス ペ イ ン 語 Ⅱ B	<small>ふく もと くみこ</small> 福 本 久美子	国文・歴史2年	2

講義のねらい

接続法・命令法を中心に基礎文法を全て終える。また合わせて会話表現も学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

始業時に「授業方針」のプリントを配布する。

成績評価の方法

前・後期テストと、授業時の小テストの合計に拠る。

教 科 書

教室にて指示する。

ロシア語

よく一国を理解するにはその国の言葉を学ばば、一番よくわかると人々の口に伝えられているように、現代ロシアの秘められた部分を理解するには、ロシア語を学ぶことが一番手っとり早い方法です。一口にロシア語と言ってもそれはモスクワを中心とした東スラヴ語をさします。ロシア語と兄弟の関係のように近い、よく似た言葉には、ポーランド語、ブルガリア語、ウクライナ語、チェコ語、スロヴァキア語、セルビア語、マケドニア語等、多くの言葉があります。これらの中東欧語を理解するうえでも、ロシア語は、もっとも基本的な言葉となります。またこれらのスラヴ諸国を理解するうえでもロシア語が最も中心的な位置を占めていると言っても過言ではありません。しかもロシア語人口はヨーロッパの全人口に匹敵し得る程の数にのぼっているのです、これからの国際化時代にはどうしても見すごすことのできない言葉と言えます。21世紀においては、単にロシア語を学ぶことのみならず、その背後にある文化と広大な精神風土についても学ぶことは大いに価値があることです。駒澤大学でのロシア語はこの国際化時代に向けて、実際的に使えるロシア語の学習をめざします。ロシア語もどんどん変化しつつある昨今ですが、そのような流れにも常に敏感でありたいと願っています。

科外 国 目語

なお、一週間に学ぶロシア語の時間は現状では圧倒的に不足していますが、与えられた時間を最大限に有効に使うために次のような目標をたて、年間スケジュールで授業はすすめられます。

I A・I B: 発音や聞きとり、発話を中心に学び、やさしい基本文法を一年間で修了させます。細目は以下の授業内容を参考にしてください。なお、一部のクラスはパソコンによるロシアサイトをリアルタイムでみたり、聞いたりする時間ももちます。

II A・II B: 一年のI A・I Bのロシア語を基礎にさらに会話や聞きとり、読解力をつけます。また一年でやりのこした文法の能動・被動、副動詞などの事項や、より複雑な文章を理解する練習をします。

なお、最後に参考として辞典の紹介を若干しておきます。

- 『露和辞典』(研究社) 東郷 正延他著
- 『露和辞典』(岩波書店) 和 久利他編
- 『博友社ロシア語辞典』(博友社) 木村 彰一他編
- 『和露辞典』(研究社) 藤沼 貴著
- 『和露辞典』(講談社) 佐藤 勇著

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 I A	杉山 秀子 <small>すぎやま ひでこ</small>	欧・観・社・融・理 <small>欧・観・社・融・理</small>	2
ロシア語 I A	佐野 朝子 <small>さの あさこ</small>	英米文・歴史1年	

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

前期はイントネーションや発音に力点をおき、後期はやさしい短文のききとり、初級文法を学びます。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

『21世紀のロシア語』（大学書林）1,800円＋税

参考書等

『露和辞典』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロ シ ア 語 I B	<small>ひろ た ひで やす</small> 廣 田 英 靖	文学部全学科1年	2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

前期は発音、イントネーションに重点をおき、後期はやさしい短文の読みや初級文法のエッセンスを学びます。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

杉山秀子他著『21世紀のロシア語』（大学書林）1,800円

参考書等

『露和辞典』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロ シ ア 語 II A	<small>き むら ひで あき</small> 木 村 英 明	国文・地理・歴史2年	2

講義のねらい

1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。

成績評価の方法

出席と平常点を重視します。

教科書

1年次に使用した教科書と文法表。

その他

プリント配布。教場にて指示します。

科外
国
語

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅡA	すぎやまひでこ 杉山秀子	英米文2年	2

講義のねらい

1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。

成績評価の方法

出席と平常点を重視します。

教科書

1年次に使用した教科書と文法表。

その他

プリント配布。教場にて指示します。

科外
国
目
語

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅡB	さのあさこ 佐野朝子	国文・歴史2年	2

講義のねらい

正しい文法理解と速読によってロシア語の文意を適確に把握してもらうようにする。さらにやさしいヒアリングの練習と応用により、更にロシア語力を深めます。

講義の内容・授業スケジュール

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。

成績評価の方法

平常点で評価する。

教科書

1年で使用した教科書および1年のときに渡した文法表。

その他

プリント配布。

[再履修クラス]

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A [再クラス]	にしむらゆうこ 西村祐子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

英語による電子メールの書き方を修得しながら「苦手な英語」から「使える英語」を習得することをめざす。基本的なタッチタイピングから指導し、インターネットをつかって英語で海外の各地の情報を得たり電子メールでといあわせたりしてみる。

講義の内容・授業スケジュール

前期：自己紹介の仕方、確認、問い合わせ、お礼の英文メールなど基本的な英語表現を学ぶ。
後期：より複雑な内容のメールの書き方を学ぶ。

履修上の留意点

学生への要望：大学の電子メールアドレスの取得はコンピュータ教場の使用の際にも必要なので、かならず事前におこなっておくこと。タッチタイピング修得用にフロッピーディスクを用いるので、はじめの授業から、かならず一枚持参のこと。

成績評価の方法

成績評価：平常点重視。定期試験はおこなわない。

教科書

Subject: E-mail: writing effective messages (南雲堂)

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A [再クラス]	いわいひろみ 岩井洋美	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

基礎的な文法を再確認し、英語で表現できるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

テキストで語彙や文法を確認後、英作文などの問題に取り組む。

履修上の留意点

取り組み姿勢を重視するので、遅刻と欠席は評価に大きく響く。

成績評価の方法

出席と授業態度を重視。そのほか、小テストと前、後期試験で評価。

教科書

『会話作文のための復習英文法』(朝日出版社) 1,800円 ISBN4-255-15389-2

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A [再クラス]	はやし たかのり 林孝憲	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

日常生活に必要な英作文(手紙なども含む)を短文から学んでゆく。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを用いて授業内で作文を行なう。必要に応じてプリントも使用する。

履修上の留意点

各自の必要に応じて、高校で使用した「英文法」の教科書などを持参するとよい。

成績評価の方法

出席、発表、前後期の試験の結果で総合的に評価する。

教科書

『自然な日本語から自然な英語へ』(成美堂) 1,500円 ISBN4-7919-5028-3

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	まきの てるよし 牧野輝良	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

英文を理解するのに必要な英文の構造・語句等を年間を通じ、しっかりと学習すること。

講義の内容・
授業スケジュール

英文をよりよく理解するために英語の例文をよく読み、試訳を参考に自分で和訳し、英語と日本語の表現の違いを知ること。

成績評価の方法

授業中の課題の提出、3～5課毎の小テスト、期末テスト及び2／3以上の出席を総合して評価する。

教科書

『大学英文法 A to Z』（金星堂）1,300円 ISBN4-7647-3697-7 C1082

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	あさかわ まき 朝川真紀	全学科2・3・4年	2

科外
国
目
語

講義のねらい

日常生活におけるコミュニケーションに必要な基本的英語表現力を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

大学で英語を学ぶために必要な最低限の文法事項を確認しながら、あらゆる場面での会話表現を学び、聞く力、話す力、書く力を伸ばし定着させていくための演習を繰り返す。

履修上の留意点

予習は毎回行うこと。辞書は必ず持参すること。遅刻した者は授業開始30分まで入室を認めるが、遅刻3回で1回欠席とする。全授業数の3分の2以上出席していない者は不合格とする。

成績評価の方法

平常点、小テスト、定期試験の総合評価。

教科書

浅川和也著『リスニングマスターコース英語で聴く世界事情』（金星堂）1,900円 ISBN4-7647-3782-5 C1082

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	さとう あやこ 佐藤アヤ子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

英語での E-mail の書き方を学習します。

講義の内容・
授業スケジュール

毎回様々な話題の通信文を練習し、大切な表現を暗記します。

履修上の留意点

毎週、前週に学んだ表現の暗誦テストをします。

成績評価の方法

毎回の暗写テスト、前期・後期の試験結果、平常点を総合的に評価します。

教科書

松居 司、Philip Hinder 著『はじめてのEメール英作文』（南雲堂） ISBN4-523-17321-4 C0082

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A 〔再クラス〕	よし え まさ お 吉 江 正 雄	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

英文を正しく読み、発音し、その上で英文を正しく理解することを目標とする。しかし、そこには当然、構文の理解、文法的な正しい解釈も伴われなければならない。これらのことを総合的に学びながら、文明の黎明期、言語の発達段階等についても学ぶことになる。

講義の内容・
授業スケジュール

一講時に進む範囲は大体決まってくるので、その範囲の読みと、解釈を中心に据え、後に文法・構文の説明を加える。小説家による美しい文章に触れ、美しい英文の書き方に繋げたい。

履修上の留意点

大体決まってくる一講時に進む範囲の予習をしてくることを望む。

成績評価の方法

前・後期の試験の平均点をベースに、授業参加の積極度、発表回数等を鑑みて評価を出す。ただし、授業総数の三分之一を超える欠席のある学生の評価は出ないから注意すること。

教 科 書

A Short History of the World (こびあん書房)

科外
国
目語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A 〔再クラス〕	はなわ みちこ 埴 美智子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

英語の運用能力養成をめざす。日常基本表現から多様な会話表現の理解と運用能力の養成をめざす。同時に文章表現も学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストの中から多様な英語表現を習得する。日本語に訳さないで英語の表現として身につける習慣をつけていく。

履修上の留意点

辞書を使う場合も出来るだけ英英辞典を使う習慣を身につけていく。

成績評価の方法

日常の出席状況を重視し、普段の授業態度、前後期の試験の結果を入れて総合的に評価する。

教 科 書

『*Effective reading & listening—Learning About Different Cultures—* 読解・聴解のための効果的学習ブック』(松柏社) 1,800円

参 考 書 等

その都度黒板に板書し案内する。

そ の 他

大切なことばを一つでも多く頭に入れ必要な時すぐに使える様に毎日の生活の中で英語のことばについても関心を持っているようにする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	塚本利男	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

語彙力の増強を図りながら、基本的な文法知識を復習・強化して英語の運用の能力を向上させる。

講義の内容・授業スケジュール

各章が、読み物、文法事項の解説と英作文から構成されていますので、1回の授業で1章を読み終えるようにします。毎回、授業の最後に、予習をかねる意味で作文の問題を提出する。テキストの問題以外にも100語～200語程度で自分の考えや意見を短文にまとめて、提出してもらう事もあります。

履修上の留意点

授業の予習をして下さい。

成績評価の方法

授業における発表・小テストと前・後期の定期試験に基づく。特に、平常授業を重視しますので、全授業数の3分の2以上は、必ず出席して下さい。

教科書

『エンジョイ・イングリッシュ』（朝日出版）1,700円＋税 ISBN4-255-15390-6C1082

科外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I A 〔再クラス〕	川島弘之	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

英語を楽しんでもらうことを目指す。学生が強い関心と興味を抱いているロック音楽を教材として使う。学生にもロック音楽等のリクエスト曲を出してもらう。現代の若者にとって、ロック音楽の歌詞はかつての英詩にとって代るものであり、現代詩の一翼をになっている。その歌詞の中には「生きがい」や「Love」についての深い考え方や感性がこめられているので味わってもらいたい。

ロック音楽を通して、人間の心が揺さぶられ、英語音声の感性が磨かれ、人間と社会、人間と自然、人間と人間を見る眼が深まることを望む。

履修上の留意点

他の学生の発表に関心、興味、理解を抱くよう努力することを望む。

成績評価の方法

他の学生の発表に関心をもつこと、日常の発表、レポート、前後期の定期試験等、総合的に評価します。前期のテストは英語の歌を歌うことで行うこともできる。授業の欠席が3分の1を超えた場合は不合格とする。

教科書

『ロックの心』（大修館書店）1,339円 ISBN4-469-24066-4
その他DVDの映像を使用する。

参考書等

『ロックで読むアメリカ』（近代文芸社）
『ロックの意味』（草思社）
『ロック・ミュージックとアメリカ』（シンコーミュージック）
『ロック音楽と現代社会』（マクミラン・ランゲージハウス）

その他

DVDの映像を使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A 〔再クラス〕	おのえのりこ 尾上典子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

日本と西洋の文化を比較したテキストを使用して、言語理解に必要な文化的・社会的背景知識を習得させるとともに、実践的な英語運用能力の向上をはかる。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを翻訳させながら、同時に欧米と日本の文化を正しく理解するのに役立つ様々な資料を配布し、読解・聴解・作文などの英語運用能力の向上を目標とする。

履修上の留意点

正当な理由なくして年間の出席率が2/3に満たない者および授業態度の著しく悪い者は落第させる。

成績評価の方法

評価は、授業態度、出席率、年2回の前・後期試験・小テストなどによって総合的に判断する。

教 科 書

飛岡 健・David Burleigh 共著 *Japanese and Westerners* 『日本人と欧米人』（マクミラン・ランゲージハウス）

科外
国
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A 〔再クラス〕	とのいけかずこ 外池一子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

日常生活の様々な場面をテーマにした会話の聞き取りを中心にリスニング力の向上と共に、それを基にスピーキングの力をつけることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

授業はテキストに沿って進めます。

履修上の留意点

予習は当然ですが、復習をきちんとすること。各レッスンのポイントとなる表現は必ず覚えること。

成績評価の方法

平常点30%、授業の進度にあわせて行う試験（目安は前期・後期各2回）70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。

教 科 書

開講時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A 〔再クラス〕	たかやなぎみみえ 高柳文江	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

この授業においては、現代社会が抱えている様々な問題について書かれた簡潔な文章を基に、まずその Listening と Comprehension を行います。その後、章毎のトピック文の中の語彙、慣用句、文法を理解し、それを基に、writing, speaking 両面から文章を作る事を学びます。

履修上の留意点

授業の性質上、予習が必ず必要です。又、単位取得には2/3以上の出席が要求されます。座席指定。

成績評価の方法

試験（前期試験・後期試験）60%、日常点（出席、提出物、授業への取り組み方等）40%

教 科 書

第一回の授業にて発表します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A 〔再クラス〕	くま さわ かず あき 熊 沢 和 明	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

基礎的な国語英語の教材を使い、日常基本表現からダイアログに至る会話表現の理解と運用能力の向上をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを中心に学習しながら、プリントの副教材も使用します。

履修上の留意点

ペアワークやプレゼンテーションなどの活動もします。予習が必要です。

成績評価の方法

前期・後期の試験をしますが、出席点と日常の発表点を重視します。単語小テスト、レポート課題など、様々な活動を総合評価します。

教 科 書

開講時に指示します。

科外国語
目語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A 〔再クラス〕	いわ はら やす お 岩 原 康 夫	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

英語による日常的なコミュニケーション力の向上を狙いとする。そのために、一定の基本的な動詞の構文と用法を学習する。

講義の内容・授業スケジュール

クラスはテキストに沿って、表現練習問題をやり、その応用を行ってもらう。

履修上の留意点

学生諸君の予習を前提にしてクラスは進める。

成績評価の方法

前期・後期の試験60パーセント、平常点40パーセントを基準として、成績評価をする。平常点はクラスにおける予習及び発表によって判断する。

教 科 書

Cultivating Writing Skills (朝日出版) 2,000円 ISBN4-255-15280-2

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I A 〔再クラス〕	にし はら かつ まさ 西 原 克 政	全学科2・3・4年	2

講義の内容・授業スケジュール

英語を話すときに役立つ表現力を中心にした作文の演習用のテキストを用いる。外国人が英語を学習する際に役立つと考えられている Basic English (850語で大体日常生活の必要な表現がすべてできるという考え方) を基本にしている。英語が書けるということは、英語が話せるということと直結しているので、その基礎を自分のものとして、会話に応用していただいたいと考えている。

履修上の留意点

受講者には第一回目の授業で、成績評価方法も含めて説明するので、必ず出席のこと。

成績評価の方法

出席が授業回数の3分の2以上であること。日常のプレゼンテーションをその都度評価する。前期・後期試験は行わない。

教 科 書

『英語表現トレーニング』(北星堂書店)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B 〔再クラス〕	て じま けい こ 手 島 敬 子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

本科目は発音・リズム等の音声面の指導に留意しながら、標準的な英語で書かれた文章を読む力を養うことを目標とします。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストは比較的平易な英語で書かれたものを使用し、短時間に効率良く、また適切に内容を読み取る練習を行っていきます。

履修上の留意点

英和辞典を必ず持参。

成績評価の方法

中間・定期試験、課題、出席状況、授業への参加度などに基づき総合的に行います。

教 科 書

『Reading Culture and Comprehension (2) 基礎英文講読法 (2)』
(マクミラン ランゲージハウス) 1,800円
ISBN4-89585-451-5

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B 〔再クラス〕	はやし なかのり 林 孝 憲	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

現代の我々の日常生活におけるエコロジーと経済に関する中級レベルの読解を行なう。またテーマ別のリスニングも行なう。

講義の内容・
授業スケジュール

読解とリスニングを平行して行なう。

履修上の留意点

単語調べ等、予習が必要。

成績評価の方法

出席、発表、前後期の試験の結果で総合的に評価する。

教 科 書

『エコロジーとビジネス』(南雲堂) 1,900円 ISBN4-523-17430-X
『5分間ヒアリング』(南雲堂) 700円 ISBN4-523-17151-3

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B 〔再クラス〕	きむら かつ ひこ 木 村 克 彦	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

やや平易な英文を精読することにより、徐々に実際の運用面も補っていきたい。テキストには各課ごとに練習問題があるが、これらを、本文を再読せずに解ければ、最も望ましいであろう。また、適宜、「エコノミスト誌」や「フォーチュン誌」の記事も訳読してゆきたい。

成績評価の方法

基本的には、前・後期の定期試験に因るが、それ以上に授業態度を重視する。私語厳禁。

教 科 書

Developing Reading Skills (朝日出版社) 1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	武藤 久緒	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

英語学力の基礎となるのは読解力です。標準的で平明な英語を正しく理解できるよう、必要文法事項を説明しながら精読します。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期
1. Too Many People? or Too Few?
 2. A Relative Problem
 3. Terrorists or Freedom Fighters?
 4. Fighting in the Name of God.
 5. Judging People the Wrong Way.
 6. The Emptiness Inside
 7. An All-American Planet
 8. The Enemy of Everybody
- 後期
9. A Big, Mean Teacher
 10. The Battle of the Sexes
 11. Trying to Cure the World
 12. When Conservation Isn't Enough
 13. The Fight for Rights
 14. The Issue You Seldom See
 15. Problems that Know No Borders

科外
国
目
録

履修上の留意点

毎回、受講者に順次、訳読をしてもらいます。積極的に学習にとりくむよう努めて下さい。

成績評価の方法

成績評価は前・後期の期末テスト、授業中の発表、出席状況などを考慮して行います。

教科書

Peter Weld, *The World Ahead* (金星堂)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	江田 幸子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

英語の基本的な構文の読み取り方を重点的にチェックしながら一ページ程度の英文を精読します。トピックの違う内容を15編読みます。今年度はハリウッド映画の内容を要約した英文を読みます。時折ビデオを観て話される英語を聞いてみます。各々に面白い映画が扱われているので、楽しく英文を読めたら、と思っています。

英語は一見平易ですが読解力をつけるのに勉強になる構文や表現法が使われていて、楽しく読みながら読解力をつけるのに適しているでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

クラスでは授業中が自宅学習のようにして英語学習を進めていきますので必ずテキスト、辞書、ノートを持参して下さい。解らないところは授業中に辞書をひいて、皆で学習して解るようにしていきます。

成績評価の方法

再履修クラスは出席を特に重視します。ほとんど毎回、辞書を使いながら小テストをして平常評価点とします。前期・後期の期末テストよりこの平常点を重視して評価点を出していきます。10回行う小テストの内、上位5回分の成績の平均点を最終評価点とします。欠席回数が多い人は平均点が当然悪くなりますので注意して下さい。出席者には最低50点を出しますが欠席者は0点になります。

教科書

John S. Lander, *Hollywood Dialogs* (ASAHI PRESS) 1,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B 〔再クラス〕	か い かつ こ 甲 斐 捷 子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

今年のI B再クラスは、やさしい英語で書かれた面白い小説を読みます。ただし、言葉の解釈は英語で行い、語彙を増やしながら、口語英語の運用能力も高めるような授業内容となります。

講義の内容・授業スケジュール

テキスト一冊終了後時間が余れば、著者のインタビュー記事を読みます。これはハンドアウトとして配布します。

履修上の留意点

一単元終わるごとに小テストを行います。これは詳細な復習のためのテストで、本試験と同様の内容のものです。このテストで70%以上得点できるように、復習に重点を置いて学習して下さい。

成績評価の方法

応の目安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。総合点が基準に達しない場合、欠席が三分の一を超えた場合、および前後期試験のいずれかを欠試した場合は不合格となりますから、特に欠席をしないよう、十分注意して下さい。

教 科 書

The Summer after the War and A Family Supper (鶴見書店) 900円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B 〔再クラス〕	い し はら こう せい 石 原 孝 哉	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

このクラスでは国際共通語としての英語にスポットを当てます。具体的にはアメリカ、イギリスばかりでなく、オーストラリア、インド、ドミニカ、ナイジェリアなど世界各地で使われている英語を、短編を教材にして学びます。教科書は全て英語、練習問題も英語なので英英辞典があると便利です。

成績評価の方法

成績は中間試験、期末試験のほかレポート等から総合的に評価し、出席を重視します。レポートはe-mailで提出することも可能で、提出先は教場で指示します。

教 科 書

Longman *The Whole Story* (南雲堂フェニックス)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 I B 〔再クラス〕	まな ご ひさ とき 真 砂 久 晃	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

英文読解の基礎力をつける。

講義の内容・授業スケジュール

初回の授業でオリエンテーションをする。必ず出席すること。

履修上の留意点

出席が3分の2未満の学生は単位を取得できない。但し、正当な理由のある欠席に関しては考慮する。

成績評価の方法

成績 = (前期の成績 + 後期の成績) ÷ 2
前期、後期共、成績は (100点満点) = 出席点 (20~30%) + テスト (70~80%) となる。

教 科 書

THE BEATLES (南雲堂フェニックス) 980円 + 税

参 考 書 等

THE BEATLES の CD、DVD など。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	たかやなぎ ふみ え 高柳文江	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

英文の逐一の翻訳ではなく英文を速やかに、かつ、正確に理解する事をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

世界の中で現在生じている様々な問題について書かれた簡潔な文章を基にまずその Listening と Comprehension を行います。その後、章毎のトピック文の中の語彙、慣用句、文法についての演習問題を行い、更なる理解を深めます。

履修上の留意点

授業の性質上、予習が必ず必要です。又、単位取得には2 / 3 以上の出席が要求されます。座席指定。

成績評価の方法

試験（前期試験、後期試験）60%、日常点（出席、小テスト、提出物、授業への取り組み等）40%。

教科書

『World Today—文化の諸相』（鳳書房）

科外国
目語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	くま まわ かず あき 熊沢和明	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

総合教材のテキストを使い、主に読解の能力を向上させるのをめざす。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを中心に学習しながらプリントの副教材を使用します。

履修上の留意点

ペアワークやプレゼンテーションなどの活動もします。予習してくること。

成績評価の方法

前期、後期の試験をします。出席と日常の発表なども重視。単語小テストなどもやります。総合評価です。

教科書

開講時に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	まちだ しげ お 町田成男	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と速読の基礎を身につける。また、リスニングでは聞きながら文章の大意を把握する。

講義の内容・授業スケジュール

原則としてテキストにしたがって読みすすめる。

履修上の留意点

テキストと辞書は忘れずに持参すること。

成績評価の方法

出席 + 発表 + 試験の総合評価とする。

教科書

検討中のため、第一回の授業時に、オリエンテーションの中で発表する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B 〔再クラス〕	飯沼好永	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

様々な英語の文章を読みながら、より正確な内容理解と、それに必要な基本的な文法事項も合わせて習得することに努める。

履修上の留意点

リーディングの力を向上させるには、多くの英文に触れることが大切であるが、受身の姿勢では、自己の英語力を向上させることは難しいので、積極的に授業に参加してください。特に英語に対して苦手意識のある人は、予習に力を入れてください。

成績評価の方法

出席状況、授業への取り組み方、課題、定期試験等を考慮して行う。平常評価（50%）、前期・後期試験（50%）

教科書

Reading Landmarks of the world（三修社）1,800円

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II A 〔再クラス〕	佐藤明子	全学科3・4年	2

講義のねらい

リーディング・リスニング問題を中心に英語の運用能力を高めることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは、内容読解やリスニングの問題も入った総合テキストです。1回の授業で、1章程度進む予定です。

履修上の留意点

授業ではなるべく多くの学生を指名します。毎回予習を十分にしてくることを望みます。

成績評価の方法

前期・後期試験、平常点、出席状況を総合的に評価します。（ただし出席が3分の1に満たない場合は「不合格」とします）

教科書

『*Real Life in Britain*（イギリスを感じてみよう）』（三修社）1,850円（税別）ISBN4-384-33246-7C1082

参考書等

必ず辞書を持ってきて下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 II A 〔再クラス〕	宇都宮秀和	全学科3・4年	2

講義のねらい

再履修のクラスを数年受けもって受ける印象は、a)出席数が不足している、b)理解していない部分を、理解するまで十分に掘り下げないで、あいまいな理解でやり過ぎて来た、以上の2点である。

講義の内容・授業スケジュール

以上のことを考慮して、解らない部分を中心に授業をすすめていきたい。

履修上の留意点

進み方は、遅くともよいから基本的なことをしっかりと理解しながらすすむ。

成績評価の方法

毎回、毎回、小テストを行い、それらを積み重ねた平常点。

教科書

プリント使用。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	岡崎 寿一郎 <small>おか ぎき としちろう</small>	全学科3・4年	2

講義のねらい

語学教育は、人間の能力の開発と完成を目指す大学教育の場にある学生たちに必須の教育過程といえます。授業では、文法・文の構造についての理解を深めつつ、綿密な読解によって国際化の時代に即応したグローバルな視野の養成を目指します。

履修上の留意点

テキストの内容のトータルで正確な理解を目指すので、必ず予習をしてください。

成績評価の方法

平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）の総合評価とします。

教科書

村田薫『英語で学ぶ知の原点』（鶴見書店）1,500円

その他

月曜日・5時限

科外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	佐藤 江里子 <small>さとう えりこ</small>	全学科3・4年	2

履修上の留意点

必ず予習をし、辞書を用意して授業に参加すること。

成績評価の方法

出席、発表、小テスト、授業態度などの平常点と、前期後期試験による総合評価。

教科書

未定

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ A 〔再クラス〕	岡崎 寿一郎 <small>おか ぎき としちろう</small>	全学科3・4年	2

講義のねらい

語学教育は、人間の能力の開発と完成を目指す大学教育の場にある学生たちに必須の教育過程といえます。授業では、文法・文の構造についての理解を深めつつ、綿密な読解によって国際化の時代に即応したグローバルな視野の養成を目指します。

履修上の留意点

テキストの内容のトータルで正確な理解を目指すので、必ず予習をしてください。

成績評価の方法

平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）の総合評価とします。

教科書

岡崎寿一郎『禅と日本文化』（太陽社）1,470円

その他

火曜日・4時限

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A 〔再クラス〕	井 伊 順 彦 <small>いの のぶ ひこ</small>	全学科3・4年	2

講義のねらい

H米の文化の差異について会話からはじまり、文法事項を復習。Exerciseで英語力を養成。センテンス・レベルの作文能力を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストに従って、前半 Letter から Vacation, 後半 Drinking から Loan Words まで。

履修上の留意点

授業の予習復習をすること。

成績評価の方法

日常の発表を重視し、小テスト、前・後期のテストによる総合的評価とする。

教 科 書

『異文化の理解に向けて』（旺史社）1,360円（本体）＋税

科外
国
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A 〔再クラス〕	川 崎 浩太郎 <small>かわ さき こうたろう</small>	全学科3・4年	2

講義のねらい

IAを基礎としてさらに高度な意思伝達能力の向上を目的とする。最終的には数パラグラフからなるエッセイで自分の意見を具体的かつ論理的に表現できるようになることをめざす。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストをもとに、パラグラフを書く手順、パラグラフの基本構成、論理展開等を学習する。それを踏まえた上で、教科書の Unit ごとに適切な課題を出すので、それにしたがってエッセイライティングをおこなってもらおう。また、口語表現の学習のため、TOEIC®のリスニングなどもおこなう。

履修上の留意点

毎時間必ず辞書を持ってくること。

成績評価の方法

出席点、発表点40%、授業中のレポート60%。全授業日数のうち3分の1以上欠席したものは不可とする。

教 科 書

『Skills for Better Writing—構造で書く英文エッセイ』（南雲堂）1,800円（税別）
ISBN4-523-17448-2

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A 〔再クラス〕	矢 島 直 子 <small>や じま なお こ</small>	全学科3・4年	2

講義のねらい

英語のリスニングに慣れることを目標にします。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書とCDを使って、英語を聞き取る練習をします。

履修上の留意点

授業では、学生にどんどんあててやってもらいますから、予習をしてください。二回目から教科書を使いますから、それまでに教科書を手に入れること。

成績評価の方法

平常点を考慮に入れ、前期末・後期末試験とともに総合的な評価をします。

教 科 書

James Bean 『Listen to this! Intermediate リスニングスキルの総合演習 中級』（成美堂）
2,400円 ISBN4-7919-4579-4

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A 〔再クラス〕	相 馬 よしあき 美 明	全学科3・4年	2

講義の内容・
授業スケジュール

I Aの英語を基礎として、様々な英語の運用能力(発話・読解・聴解)を身につける。また、様々な検定試験などにも対応すべく、TOEIC[®]、TOEFL[®]のリスニング・セクションの問題等にも触れ、聴解力を高めてゆく。

成績評価の方法

出席に関しては、基本的に全出席を期待し、前期・後期に行う試験、および授業で課すレポート、また授業態度等を総合的に評価する。

教 科 書

開講時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A 〔再クラス〕	かわ うち けん りゅう 河 内 賢 隆	全学科3・4年	2

講義のねらい

ここで扱われている題材は、さまざまなメディアから取った最新のものです。それを表現している語法も新しく、いわば生きた英語です。テープを多用しながら授業をすすめますので、耳の訓練も目指しています。

履修上の留意点

再履修クラスなので、出席と発表は重視します。

成績評価の方法

出席点+発表点=50点、残りの50点を二回のテストで評価します。とにかく真面目な授業態度で学習して下さい。

教 科 書

『メディア英語で読む現代社会2004』(金星堂)1,700円

科外国語
目語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II A 〔再クラス〕	こ とも たけし 古 富 猛	全学科3・4年	2

講義のねらい

講座上の点で、英語を使える様な素養を身につけるべく方向付けて欲しい。情報伝達の発展した今日、その渦の中で冷静さを失うわけにはゆかないので、国際化の中、外国語習得は重要ではないかと思われる。

講義の内容・
授業スケジュール

日本人の資質にそった習得法を私なりに実践している。そのやり方は最近、活躍している著名人のものと極めて酷似しており、自信を深めているので、講義中に話をしたい。テキストにも重点を置き、一年間、多読を目指したい。

履修上の留意点

最近とみに言われているが、学生諸君の学力低下の傾向は事実であると自らも、教壇で実感している。語学の習得は、本来地道な努力の積み重ねが、基本であることを認識してもらい、もう一度復習をしてもらいたい。

成績評価の方法

成績はあくまでもテキストによる予習発表を平常点とし、出席と前後期のペーパー・テストによって判断する。

教 科 書

テキストは教場にて指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 Ⅱ A 〔再クラス〕	み うら ま り 三 浦 眞 理	全学科3・4年	2

講義のねらい

英文法の基礎事項を学習し、日本人には分かりにくい点や、まちがいがやすい点を中心に学習し、文法的に誤りのない文が書けるように、豊かに表現できるようになることを目標とします。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書にそって基礎的な英文構造、成句、熟語をできるだけ多く学習し、それを基礎にして英作文を色々工夫しながら作成してみたいと思います。そして、実際に活用できるように学習していこうと思います。

履修上の留意点

予習しておくこと。授業には必ず辞書を携帯すること。

成績評価の方法

テストは学習した章を中心に分割して授業時間中に行い、後期最後に総まとめ試験を実施します（授業時間中の小テスト重視）。評価は、3分の2以上の出席（厳守）、小テスト、授業中の発表（50～60%）及び後期試験の結果を入れて総合的に評価します。

教 科 書

Essential English Grammar for Writing (弓プレス) 1,600円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 Ⅱ A 〔再クラス〕	やま ぎし し ろう 山 岸 二 郎	全学科3・4年	2

講義のねらい

英文構造の理解に努めつつ、いろいろな英文表現力の向上を計る。

講義の内容・
授業スケジュール

「文法事項」に目を通してから「練習問題」「発展問題」更に「復習問題」へと学習をすすめる。

履修上の留意点

必ず予習をしておくこと。

成績評価の方法

平常の学習を重視する。前期後期のテスト、小テスト等総合して評価する。

教 科 書

『語順が身につく英作文』（朝日出版社）1,800円 ISBN4-255-15360-4C1082

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 Ⅱ B 〔再クラス〕	さ とう えり こ 佐 藤 江 里 子	国文・英文・歴史3・4年	2

履修上の留意点

必ず予習をし、辞書を用意して授業に出席すること。

成績評価の方法

出席、発表、小テスト、授業態度などの平常点と、前期後期試験による総合評価。

教 科 書

未定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡB 〔再クラス〕	伊藤美代子	国文・英教・歴史3・4年	2

講義のねらい

IBを基礎として、より高度で実社会に直結した生の英文の理解をめざす。
また、リーディングだけでなく、スピーキング、ヒヤリング、ライティングも行い、総合的な英語力を強化する。

講義の内容・授業スケジュール

原則として和訳は行わず、英語による内容の理解を図る。できるだけ、英語を使用するが、構文等の説明は日本語で行う。

履修上の留意点

予習が絶対条件である。また、半期に、4回以上欠席したものには、単位を与えない。また、遅刻2回で欠席1回と数える。

成績評価の方法

各学期毎に中間テストと期末テストを行い、その結果の平均が80%、残りの20%は、小テスト、平常点、提出物により計算する。

教科書

1. Naoko Ogawa, Yumiko Yoshida, Mariko Miyajima 『パラグラフ中心の英語基礎演習』(金星堂)1,950円
2. 伊藤美代子(編著)『さらばジャパニーズイングリッシュ』(北樹出版)1,500円

科外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡB 〔再クラス〕	川手浩一	国文・英教・歴史3・4年	2

講義のねらい

外国語としての広い見識と深い考えを養うようにする。

講義の内容・授業スケジュール

外国語としての英語を学ぶ目的はその国の文化を知ることである。

履修上の留意点

授業は前後、関連しているので予習復習をして問題点をさぐり出すようにする。

成績評価の方法

日常の出席を重視し、前期後期のテストをふくめて総合評価です。

教科書

『Looking at America 素顔のアメリカ』(誠美堂)1,600円

その他

月曜日・4時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡB 〔再クラス〕	川手浩一	国文・英教・歴史3・4年	2

講義のねらい

外国語としての広い見識と深い考えを養うようにする。

講義の内容・授業スケジュール

外国語としての英語を学ぶ目的は、言葉を学習してその国の文化を知ることである。テキストを読みながらその内容について理解する。

履修上の留意点

授業は前後、関連しているので予習復習をして問題点をさぐり出すようにする。

成績評価の方法

日常の出席を重視し、前期後期のテストをふくめて総合評価です。

教科書

『Skills for Better Reading 構造で読む英文エッセイ』(南雲堂)1,900円

その他

月曜日・5時限

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	はせがわ こういち 長谷川 公一	国文・英米文・歴史3・4年	2

講義のねらい

マザー・テレサの生涯は、貧困にあえぐインド・カルカッタの人びとのハンセン氏病治療と救済のために、自分のエネルギーの全てを投入した人間愛に貫かれていた。彼女自身はユーゴ生まれだが、彼女の活動は国籍、宗教、人種の相違を越えた高い次元で、世界中の人びとに静かな感動を与えたのである。このテキストは、カトリック尼僧として、カルカッタで精力的に貧者の救済に当たったマザー・テレサの活動のドキュメントである。

成績評価の方法

出席率プラス前後期2回のテストによって採点する。

教科書

『マザー・テレサ』（桐原書店）388円

科外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	さわだ まゆみ 澤田 真弓	国文・英米文・歴史3・4年	2

講義のねらい

簡単な英語表現を学び、リスニングやライティングの能力を総合的に伸ばすことを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

毎時間さまざまな英語表現を学び、暗記してもらいます。

履修上の留意点

積極的に授業に参加することが望ましい。単語の意味調べは必ずやっておくこと。

成績評価の方法

出席回数、発表や提出物、前期後期試験の結果を総合的に判断して評価します。

教科書

教場にて指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語Ⅱ B 〔再クラス〕	おちあいかずあき 落合 和昭	国文・英米文・歴史3・4年	2

講義のねらい

このクラスのレベルは英語の中級（英検準二級、二級、準一級）程度とし、現代口語英語で書かれた文章とヒヤリングを通して、口語表現に慣れ、英語の運用能力を高めることを目標とする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC[®]、TOEFL[®]、国連英語等）の受験準備にも役立つようにする。

講義の内容・授業スケジュール

一回の講義は、主として、四段階からなる。第一段階として、ヒヤリングを通して、英語の自然なスピードに慣れる。第二段階は書き取りをする。第三段階は、ヒヤリングや書き取りのなかで使用されている慣用表現の意味や用法を、テキストを通して、確認する。第四段階は、学生に会話文の発音練習をしてもらう。

履修上の留意点

授業は徹底した演習形式を取り、学生の予習を前提にして、進める。

成績評価の方法

前・後期定期試験が全評価の40%、課題・授業中の発表・小テスト等が60%（課題は年間約20回程度提出。授業中の発表等に関しては、一回の授業中に、最低一回は当てるつもりでいる）。出席率が3分の2を越えなければ、成績は「不可」とする。

教科書

『日常会話英作文』（成美堂） ISBN 4-7919-5035-6 C1082
 Oxford Idioms Dictionary for Learners of English（オックスフォード大学出版局）2,200円
 ISBN0-19-431545-2

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B 〔再クラス〕	まえ だ おさむ 前 田 脩	国・英・文・史3・4年	2

講義のねらい

英文を丁寧に読むことで、異なる文化の思考過程の順路をたどってみます。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストを読みすすめながら、テキストにあった英文ニュースをコピーして使用します。

履修上の留意点

授業は予習し、積極的に参加してほしい。

成績評価の方法

日常の発表を重視し、前期、後期の試験の結果を総合的に評価します。

教 科 書

『サバイバル・イングリッシュ(1)』(朝日出版) 1,359円 ISBN4-255-15168-7C1082

科外
国
目
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B 〔再クラス〕	かわ うち けん りゅう 河 内 賢 隆	国・英・文・史3・4年	2

講義のねらい

テキストのタイトルからわかる様に、人間性と文化がどのように係ってきたかを歴史的に扱ったものです。これは、文明が行きつまった現代、我々が根本的に問い直さなければならない問題です。

講義の内容・
授業スケジュール

また内容と共に英文も精読し、語法的な面にも注意を向けたいと思います。

履修上の留意点

3、4年の再履クラスなので真面目な授業態度を求めます。

成績評価の方法

評価は、出席点+発表点=50点、残りの50点を二回の試験でだします。

教 科 書

『知の進化論—人間性と文化の起源』(金星堂) 1,900円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 II B 〔再クラス〕	ほん ま とし かず 本 間 俊 一	国・英・文・史3・4年	2

講義の内容・
授業スケジュール

教科書の英文の訳読とその構文理解を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は、前もって学習する予定を発表し、予習を前提に授業を進める。さらに年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する能力を養えるようにする。

成績評価の方法

前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普段の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。授業の出席は3分の2以上、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については授業で細かく説明するつもりであるが、休暇中にパソコン・ネットワークでも可能であるから興味のある学生はそれに習熟されたい。

教 科 書

Checknote For Business Trends (金星堂) 1,100円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 Ⅱ B 〔再クラス〕	ささ くら さだ お 笹 倉 貞 夫	国・英・文・歴3・4年	2

講義のねらい

近年ますます国際化していく現代社会に即応し得るような洗練された国際感覚の育成とともに英語の実践的な運用能力の伸長をめざす。

講義の内容・
授業スケジュール

平易な現代アメリカ英語で書かれたテキストを用いて、英語による文章表現を学ぶ。テープ教材併用

履修上の留意点

予習・出席重視

成績評価の方法

前・後期末テストの他、場合によっては、レポートを提出していただき、出席状況も勘案しながら総合的に最終評価を出す。

教 科 書

Malvina Vogel『珍しい事実・記録のビッグブック *The Big Book of Amazing Facts*』（太陽社）

そ の 他

土曜日・3時限

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 Ⅱ B 〔再クラス〕	ささ くら さだ お 笹 倉 貞 夫	国・英・文・歴3・4年	2

講義のねらい

近年ますます国際化していく現代社会に即応し得るような洗練された国際感覚の育成とともに英語の実践的な運用能力の伸長をめざす。

講義の内容・
授業スケジュール

平易な現代アメリカ英語で書かれたテキストを用いて、英語による文章表現を学ぶ。テープ教材併用

履修上の留意点

予習・出席重視

成績評価の方法

前・後期末テストの他、場合によっては、レポートを提出していただき、出席状況も勘案しながら総合的に最終評価を出す。

教 科 書

Pearl Buck『聖書物語 *The Bible Story*』（太陽社）

そ の 他

土曜日・4時限

〔ドイツ語〕

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A 〔再クラス〕	柴野博子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

この授業は、初級文法の最も基本的な事柄のみを重点的に教え、ドイツ語の大枠がつかめるようにすることを目標にしています。

履修上の留意点

ドイツ語の勉強には、特に初級では、一步一步積み重ねて行くことが非常に大切です。従ってできるだけ休まずに出席することを希望します。

成績評価の方法

試験は、年に3回行います。この3回の試験と、平常の学習態度を総合して、成績評価を行います。

教科書

大岩信太郎『ドイツ文法のかなめ（新装版）』（三修社）1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A 〔再クラス〕	志真斗美恵	全学科2・3・4年	2

科外国語目録

講義のねらい

ABCの発音からはじめて、ドイツ語の初級文法の基礎を学習します。

講義の内容・授業スケジュール

教科書にしたがって、文法事項を説明した後、その内容を理解するための練習問題を課し、提出していただきます。（毎回実施）

履修上の留意点

さまざまな理由で再履修になった方たちが受講していると思います。授業に参加していれば理解できる内容です。休まず出席してください。

成績評価の方法

平常点（練習問題の提出、小テスト。重視）と前・後期試験で総合的に評価します。

教科書

西本美彦・西本アンゲリカ著『エクセ12——ドイツ文法』（朝日出版社）2,100円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語 I A 〔再クラス〕	本橋右京	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

伝統的なドイツ語初級文法の配列にしたがって、やさしい文章にできるだけ多く触れることで、運用能力の涵養を期します。

講義の内容・授業スケジュール

文法を初めから復習し、ドイツ語の仕組みを把握します。これをドリル式練習問題で確実なものとしましょう。必要に応じて補助練習プリントを配布します。

履修上の留意点

予習や授業中の発表など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法

前期・後期の試験や出席などで総合評価します。

教科書

諏訪田 清 『新訂・ドイツ文法18歩』（同学社）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 I A 〔再クラス〕	すぎもと まさとし 杉本 正 俊	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

ヨーロッパ文化の重要な一翼を担い、現代日本とも深いかわりを持つドイツ語圏(ドイツ、オーストリア、スイスの一部など)の言語、ドイツ語を、発音、文法、語彙、文など様々な角度から学び、ドイツ語への入門を果たしてもらう。授業の性質上、文法に重要な力点を置いた授業を行う。

講義の内容・授業スケジュール

教科書に従った授業を行う。

履修上の留意点

予習より、授業中の集中力に重点を置いて要領良く学んで下さい。教師のことはしっかりと耳を傾け、よく理解する事が重要です。こちらも必要事項は学生が理解しているかどうかを確認しながら繰り返し説明するつもりです。

成績評価の方法

前後2回の期末テストも重要だが、授業にきちんと参加しているかどうかを非常に重視します。当てられた問いには必ず自分なりによく考えて答えを出して下さい。その際に、結果的に正しい答えを出したかどうかより、自分なりに考えて答えを出せたのかどうか、という点をより重視します。

教科書

藤代幸一・保阪靖一『ワンポイント・ドイツ文法』(郁文堂) 1,800円 ISBN4-261-01185-9

科外
国
語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語 I B 〔再クラス〕	いいづか きみお 飯塚 公 夫	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

正規の授業と同じで、ドイツ語の基本を振り出しからやっていきますが、発音と内容の読み取りを重視します。

講義の内容・授業スケジュール

教科書通りに、文法説明・発音練習・文章の読解といった手順でやっていきます。

履修上の留意点

出席しただけでは単位になりません。日常から頭をきりっとして生きている必要があります。あとはまじめであれば十分です。(授業中にものを飲んだり、ヘッドフォンを頭につけたまま、あとから教室に入ってくる神経には、ドイツ語のみならず、まともな知識は入っていないでしょう。)

成績評価の方法

前期後期各一回の筆記試験と平常点 (=発表点)。

教科書

大久保進他著『ポータルサイト：ドイツ語』(朝日出版社) 2,300円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 I B 〔再クラス〕	の 野 <small>じま</small> 島 <small>とし</small> 利 <small>あき</small> 彰	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

文法をある程度踏まえながら、耳からドイツ語を学びます。

講義の内容・
授業スケジュール

付属のCDを自宅で聞いてあることを前提として授業を進めます。教室では音読と練習問題に答えてもらうことを主眼にします。3課に1回程度ヒアリングテストを行います。

履修上の留意点

練習問題がたくさんあります。よく予習をして答えられるようにしておいてください。

成績評価の方法

予習してあるか否か、2回の期末試験、ヒアリングテストなどを総合的に判断して成績を評価します。

教 科 書

荻野・ラープ著『ベルリン・キャンパスライフ』（朝日出版）2,300円

科外
国
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 I B 〔再クラス〕	い 井 <small>むら</small> 村 <small>ゆき</small> 行 <small>こ</small> 子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

ドイツ語の基礎を復習します。

講義の内容・
授業スケジュール

文法事項を確認しながら、簡単なテキストを読んでいきます。

履修上の留意点

なにはともあれ出席を心がけてください。

成績評価の方法

学期末に試験を行います。場合によっては授業内に小テストを行うかもしれません。

教 科 書

教科書販売時までに決定して、書店の方に連絡しておきます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 I B 〔再クラス〕	も と 本 <small>はし</small> 橋 <small>う</small> 右 <small>きょう</small> 京	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

伝統的なドイツ語初級文法の配列にしたがった、やさしい文章をできるだけ多く読み、運用能力の涵養を期します。

講義の内容・
授業スケジュール

文法を初めから復習します。文法によってドイツ語の仕組みを把握し、これをやさしいテキストで確認します。さらに多くの練習問題で理解を確実なものとし、できればユーモアに富む読章で、学ぶ楽しさを味わえればと願っています。

履修上の留意点

予習や授業中の発表など、みなさんの積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法

前期・後期の試験や出席などで総合評価します。

教 科 書

春日正男 『トア！トア！トア！－サッカーで学ぶドイツ語』（都文堂）2,400円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡA 〔再クラス〕	まつおが すずも 松岡 晋	政・英・文・理・史・地・4年	2

講義のねらい

下に掲げた教科書を用いてドイツ語の現代文を読みます。ドイツ語の新聞、雑誌等を読むための基礎訓練になれば、と思っております。

講義の内容・授業スケジュール

教科書は、各課とも、現代ドイツの生活や社会に関する2～3ページのドイツ語の文章、関連する文法事項の説明および練習問題からなっています。ドイツ語の文章には注解も付いており、比較的容易に読みこなせるはずです。合計10章からなっていますので、各章を2～3回分の授業で終えることを一応の日安とします。

履修上の留意点

多少は予習をお願いいたします。また、毎回、独和辞典を持参してください。ドイツ語に限らず、外国語のテキストを読むには、最初のうちは時間と忍耐力が必要です。すぐに諦めないで、粘り強く続けてください。再履修となった理由のほとんどは、途中で勉強を諦め、出席しなかったことです。今年はそのようなことのないように切に願います。

成績評価の方法

成績評価は最低二回以上おこなう筆記試験の結果および平常点（出席率、授業に取り組む姿勢、分担箇所の和訳をきちんと準備したかどうかなど）によっておこないます。したがって、試験結果もさることながら、定期的出席、授業中の熱意なども重視します。

教科書

石井寿子ほか『時事ドイツ語 '03トピックス』（朝日出版社）1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡA 〔再クラス〕	お織 たしげ み 織田 繁美	政・英・文・理・史・地・4年	2

講義のねらい

この授業は、ドイツ社会の身近な話題、様々なジャンルの分野を扱った文章に触れながら、初級文法を見ていこうというものです。

講義の内容・授業スケジュール

授業初めの30分、40分は授業で扱う分野の説明に当てるので、遅刻しないように留意して下さい。

履修上の留意点

一回一回の積み重ねがドイツ語の力になっていくので、授業を休まないようにして下さい。辞書を必ず持参のこと。

成績評価の方法

前期末、後期末のテストの外に、平常点が重視される。

教科書

プリントを授業の都度渡す。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡA 〔再クラス〕	くり ほら かず のぶ 栗原 万修	政・英・文・理・史・地・4年	2

講義のねらい

再履修クラスなので、できるだけやさしく、わかりやすい授業にしたいと思います。ただし語学は継続的にやらないと習得できませんから出席を重視します。休まないように。

成績評価の方法

成績評価は、平常の小テストや宿題を中心に、授業中の学習意欲等も含め総合的に判断します。

教科書

テキストは特定せず、受講者の学力に合わせ、最適と思われる教材をその都度教場で配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡB 〔再クラス〕	もも ずみ いさむ 百 済 勇	国文・歴史3・4年	2

講義のねらい

自分が客員研究員をしている「ベルリン・ドイツ経済研究所」(DIW)のドイツ人の経済専攻院生は勿論のこと、フランス、ロシアなどの学生・院生は、明白な問題意識をもって勉強をしていると同時に、それに必要な外国語学修得が前提となっていることだ。そうした学習方法を学ぶ必要がある。

講義の内容・授業スケジュール

受講生は人文科学・社会科学を学ぶ3年、4年である。それ故に諸君が、ヨーロッパ経済を学習対象とする場合には、ドイツ語の履修が不可欠だ。その修得には、まず徹底して声をだして読むことだ。毎時間、一人一人数回当てての徹底した口答対話を行う。

履修上の留意点

ドイツ人が英国訪問をした際の「ドイツ人の為の英語会話」をテキストを使うので、毎回の授業出席が前提になる。そしてこうした学習方法は、結果として英会話も力がつくだろう。時には、ドイツの新聞の文化・社会・政治・経済記事なども、テキストとして使用する。熱心な学生の受講を希望する。

成績評価の方法

前期、後期の定期試験は行わないが、それを総合して年度末の成績として評価する。

教科書

日本で作成した教科書は使わず、その都度、既に指摘したプリントを配布する。その際に初年度で使用したドイツ辞書、ドイツ語教科書を持参すること。

科外国語
目語

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡB 〔再クラス〕	しば の ひろ こ 柴 野 博 子	国文・歴史3・4年	2

講義のねらい

この授業は、初級文法で習った事柄を復習しながら、ある程度まとまった、やさしい文章を読んで行きます。テキストは、はじめてドイツに留学した日本の大学生の〈異文化との出会い〉を扱ったものです。

履修上の留意点

ドイツ語の学習には、一步一步積み重ねて行くことが非常に大切です。従ってできるだけ休まずに出席して下さい。

成績評価の方法

試験は、年に3回行います。この3回の試験と、平常の学習態度を総合して、成績評価を行います。

教科書

岩崎英二郎・山路朝彦・Wolf Gewehr『留学生のみたドイツ』(朝日出版社)1,748円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡB 〔再クラス〕	おだ しげ み 織 田 繁 美	国文・歴史3・4年	2

講義のねらい

このクラスは、日常のやさしい会話を通じて、聞き取りに習熟することを目指す。そのために、常識的な知識の取得と、会話ではどのような表現がなされるかというようなことを勉強する。

講義の内容・授業スケジュール

時には短い記事のようなものを読み、読解力を養うことも進めていきたい。授業には全精力を注ぐ位に気持ちを集中して臨んで下さい。

履修上の留意点

一回一回の授業では、大して沢山の勉強をしていないかに見えますが、それを積み重ねると、ドイツ語の大きな力になります。授業に休まないように、遅刻しないようにして下さい。

成績評価の方法

平常点に大きなウエイトが置かれます。

教科書

プリントを用いる。

[フランス語]

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I A 〔再クラス〕	竹 田 正 純 <small>たけだまさずみ</small>	全学科2・3・4年	2

- 講義のねらい** フランス語の音を大切にしながら、基礎的な文法事項の修得を目指す。
- 履修上の留意点** 文法事項などの小テスト、発音テストを毎授業おこなうので休まないこと。
- 成績評価の方法** 上記テストのほか、前後期2度の試験をもとに評価する。
- 教科書** 竹内信夫・工藤 進『フランス文法カレントバージョン』（白水社）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I A 〔再クラス〕	芦 原 眷 <small>あしはらけん</small>	全学科2・3・4年	2

科外国語

- 講義のねらい** 1年かけて、仏語のやさしい文章（おもに会話の多い文章）が読めて（発音）、その内容が理解（読解力）できるようになります。読解力をつけるためには、文法の知識を身につけることがどうしても必要です。文法は読解力に非常に役立つ道具です。
- 講義の内容・授業スケジュール** 前期は、文法を土台にして、仏語の読み方、辞書の上手な引き方を覚えます。後期は、前期の作業を発展させて、できるだけ多くの仏文を読めるようにします。
- 履修上の留意点** 教科書と同時に辞書を持参して下さい。
- 成績評価の方法** 毎回小テストか辞書を使う和訳のテストをします。それに、期末の総合テスト。ときどきレポート。
- 教科書** 野村二郎著『キャロット』（白水社）1,325円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語 I A 〔再クラス〕	小 玉 齊 夫 <small>こたまなりお</small>	全学科2・3・4年	2

- 講義のねらい** フランス語の規則を、しっかりと覚えていきます。辞書を活用し、読み方を確実にして、簡単なフランス語文を読み解けるようになることが目標です。
- 講義の内容・授業スケジュール** 一回の授業で、一課を学習する、という速度で、進んでいきます。各課終了時に、まとめとしての小テストを行い、より確実な記憶・学習をめざします。
- 履修上の留意点** 特別な事情がない限り、毎回必ず出席すること。知識の確認を、授業のたびごとに、行うこと。
- 成績評価の方法** 上記の小テストならびに前期・後期の試験によって、判定します。
- 教科書** 小畑・寺家村 著 『快速フランス語』（駿河台出版社）1,600円
ISBN4-411-00752-5 C1085
- 参考書等** 辞書については、初めの授業時に、説明します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A 〔再クラス〕	と お や ま ひ ろ お 遠 山 博 雄	全学科2・3・4年	2

講義のねらい 基礎的な文法事項をきちんと身につけること。

講義の内容・授業スケジュール はじめに詳しい説明をし、その後で練習問題をやります。単純な事項から複雑な事項に順を追って進んでいきます。

履修上の留意点 必ず辞書を持って出席し、自分で問題に取り組む姿勢が必要です。遅刻をして説明を聞きもらさないこと。

成績評価の方法 2回ないし3回の筆記試験、動詞活用の小試験を行ないます。

教科書 佐藤久美子他著『フロレゾン』（白水社）2,000円

科外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A 〔再クラス〕	な に か わ 谷 川 かおる	全学科2・3・4年	2

講義のねらい フランス語の基礎をゆっくりと学び直します。

講義の内容・授業スケジュール 文法の基礎を学んだ後に、なるべく数多くの練習問題を行い、基礎力を養います。毎回、小テストを行い、重要な項目を暗記します。

履修上の留意点 出席重視。辞書は毎回持参すること。

成績評価の方法 前期・後期試験、および小テストなど。

教科書 明石伸子著『パリで会いましょう』（白水社）2,200円

参考書等 授業中に紹介する。

その他 全員参加の演習方式ですので、積極的に参加してください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I B 〔再クラス〕	す が や さ と る 菅 谷 暁	全学科2・3・4年	2

講義のねらい 初歩のフランス語を、コミュニケーション能力の学習に力点を置いて勉強します。

履修上の留意点 休まずに出席すること、継続的な努力を望みます。

成績評価の方法 前期末と後期末の試験、および小テストによります。

教科書 藤田著『彼女は食いしん坊!』（朝日出版社）2,500円

科外
国
目語

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I B 〔再クラス〕	いま ^{ざき} 関 ア ン	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

一年時に習得できなかった箇所を確実にものにし、フランス語検定5級程度の力を付ける。

講義の内容・
授業スケジュール

テープの聞き取り、単語調べ、その場での会話訓練および訳読、練習問題など。

履修上の留意点

2/3の出席は最低条件である。なお教科書・辞書も携行せず、漫然と椅子に座っていて出席点を貰おうなどと考えるのは言語道断である。予習し、積極的に授業に参加し、課題の提出を持って初めて出席と見なす。就職活動・疾病などでやむを得ず欠席する場合は、出席に相当する課題を出す。

成績評価の方法

2/3以上の出席(25%) + 夏休みの課題『ふらんす夏休み学習号』白水社の実力テスト(25%) + 前・後期定期試験(50%)

教科書

清岡智比古著『ボンボン・ショコラ』(白水社) 2,100円

参考書等

仏和辞典、『ふらんす夏休み学習号』(白水社)(7月中に大学内紀伊國屋書店で購入)
清岡智比古著『フラ語入門、わかりやすさにもホドがある』(白水社) 1,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I B 〔再クラス〕	こ ^{だま} ^{たり} 玉 齊 夫	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

音としてのフランス語の習得を中心に、可能であれば、会話の基礎をつくりあげたい、と思います。

講義の内容・
授業スケジュール

一時間に一課という進度で、そのつど、確実に、表現のかたちを確かめていく予定です。前期に、まとめとしての試験、後期に全体の試験を行ない、また、随時、知識確認のための書き取りを行ないます。

履修上の留意点

必ず毎回出席すること。文法事項よりも、フランス語表現のかたちを覚えること。授業ごとに必ず自分が発声するつもりで来ること。

成績評価の方法

前述の諸試験で総合的に判定します。

教科書

藤田 著『彼女は食いしん坊!』(朝日出版社) 2,500円
ISBN4-255-35151-1 C1085

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅠB 〔再クラス〕	はせがわ みつあき 長谷川 光 明	全学科2・3・4年	2

講義のねらい 初級文法を復習しながら、フランス語の表現能力を徐々に高めていくことを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール 下記の教科書に従って、各文法事項を解説したのち、その場で練習問題に取り組んでもらいます。試験は前期二回と後期二回の計四回行います。

履修上の留意点 基本表現をまず習得し、練習問題に取り組むことによって、その応用能力を養っていきます。そのためには、出席者は口答問題、筆答問題に積極的に取り組む必要があります。

成績評価の方法 前期二回、後期二回の試験と平常点。

教科書 岩間直文『話したくなるフランス語 全面改訂版』（朝日出版社）2,000円

科外
国
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅡA 〔再クラス〕	はた なか ちあき 畑 中 千 晶	国・英・独・仏・4年	2

講義のねらい 初級文法を復習しつつ、会話、和文仏訳の力を伸ばす。また、フランス文化について書かれた文章を読みながら読解力を高める。その際、音読できるようになることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール 初回の講義の際に年間スケジュールを配布します。

履修上の留意点 自宅学習とクラスでの活動を連動させることで、力が伸びていきます。宿題には必ず取り組むようにしてください（CDを活用します）。

成績評価の方法 前期末試験30%、学年末試験30%、平常点（宿題、小テストなど）20%、夏期休暇の課題10%、出席10%。

教科書 澤田直之、リリアンス・ラタンジオ、黒川学著『アミカルマン—フランス語・フランス文化への誘い—（改訂版、CD付）』（駿河台出版社）2004年 2,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語ⅡA 〔再クラス〕	めま くら ひろこ 沼 倉 広 子	国・英・独・仏・4年	2

講義のねらい 辞書を使いこなして、文章を読む力をつける。

講義の内容・授業スケジュール 文化、地理などを題材にフランスの現在を知る。

履修上の留意点 文法の説明など随時行うので、休まないことが肝要。

成績評価の方法 前後期とも試験を行うが、平常点も重視する。

教科書 野村二郎著『フランス、言葉と歴史の旅』（第三書房）2,400円
ISBN 4-8086-2099-5 C1085

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語Ⅱ A 〔再クラス〕	はせがわ みつあき 長谷川 光 明	国文・英数・理・歴史3・4年	2

講義のねらい

ビデオ教材を用いながら、フランス語初級文法を復習していきます。

講義の内容・
授業スケジュール

下記の教科書に従って、各文法事項を解説したのち、その場で練習問題に取り組んでもらいます。試験は前期と後期二回行います。

履修上の留意点

基本表現をまず習得し、練習問題に取り組むことによって、その応用能力を養っていきます。そのためには、出席者は口答問題、筆答問題に積極的に取り組む必要があります。辞書は毎回持参してください。

成績評価の方法

前期後期試験および平常点。

教科書

中山真彦他『ボンジュール・パリ』（白水社）2,200円

科外国
目語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語Ⅱ B 〔再クラス〕	まえだ のりかず 前 田 祝 一	国文・歴史3・4年	2

講義のねらい

中級フランス語の最初の段階に、レベルを設定します。

講義の内容・
授業スケジュール

比較的やさしい文章を少しづつ読んでゆき、音としてのフランス語に慣れ親しみ、同時にフランス人の感性や知性のあり方にも触れましょう。

履修上の留意点

初級フランス語の単位未修者や自信のない人は、自分で参考書を買って求めて勉強するつもりでいること。

成績評価の方法

前・後期のペーパー・テストで成績を評価しますが、出席や日頃の課題なども考慮します。

教科書

野内良三『フランス・ユーモア集』（第三書房）900円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語Ⅱ B 〔再クラス〕	ぬま くら ひろこ 沼 倉 広 子	国文・歴史3・4年	2

講義のねらい

辞書を使いこなして読解力をつける。

講義の内容・
授業スケジュール

歴史、文学、文化、経済など多岐にわたる内容のテキストを使用する。

履修上の留意点

文法の説明など随時行うので、休まないことが肝要。

成績評価の方法

前後期とも試験を行うが、平常点も重視する。

教科書

瀧川好庸（他）著『やさしく読めるフランス語新聞』（第三書房）1,700円
ISBN4-8086-2674-8 C1085

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 Ⅱ B 〔再クラス〕	<small>たに</small> <small>かわ</small> 谷 川 かおる	国文・歴史3・4年	2

講義のねらい

フランス語の文法を学び直しながら、実際のテキストに慣れ、辞書があれば読めるようになることを目標とします。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は主に文法の復習。後期には、いろいろなテキストの読解に挑戦します。

履修上の留意点

出席重視。辞書は毎回持参すること。

成績評価の方法

前期・後期試験、および小テストなど。

教 科 書

未定。

参 考 書 等

授業中に紹介する。

そ の 他

演習方式ですので、なるべく積極的に参加してください。

科外
国
目語

〔中国語〕

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	江 林 英 基 <small>こう りん ひで ちと</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

授業は発音とピンイン表記を再学習後、各課の文法を解説しながら本文と会話の文型を説明し、学生諸君に順番に朗読させ、正しい発音と声調を求める。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは中国人が日常生活でよく使用する単語と簡単な文型を内容とするものであり、全20課、各課の本文のあとに基礎文法の解説と会話の例文を付してある。その内容も易から難へと自然な順序で配列されている。

成績評価の方法

小テスト、宿題、年2回の定期試験及び出席状況と学習態度を総合して判定する。

教科書

上野恵司『標準中国語（基礎編）』（白帝社）2,000円

科外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	戸 張 嘉 勝 <small>と ばり よし かつ</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

中国語の発音と基礎的な文法（文型）・会話を修得する。

講義の内容・授業スケジュール

- ①中国語と日本語との異同を簡単に解説し、学習上の注意事項と学習要領を認識する。
- ②発音と声調の反復練習によって正確な発音を覚える。特に日本語にない発音や発音上の約束事を徹底して練習する。
- ③基礎的な文法（文型）や実用会話は教科書の展開に沿って行なう。

成績評価の方法

前期と後期の中間試験、前期と後期の期末試験、授業態度や発表などの平常点と出席率によって評価する。

教科書

劉郷英・嘉瀬達男・豊後宏記者『中国語精選サラダ（単語と基本文型）』（朝日出版社）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	杉 山 静 <small>すぎ やま やすし</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

本講義は初級中国語の修得を目的とする。中国語の基礎的なものの履修を通じて、基本的な中国語の学力、読む、聞く等の力の育成を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

最初の2～3週間は、中国語の最も重要且つ基本的な拼音・発音の知識について集中講義を行う。発音の力を付けてから、教科書内の基礎句型、更に常用語彙等を重点的に授業を進めながら、簡単な文法の知識も講義に含まれる。

履修上の留意点

中国語の発音を学ぶには必ず“漢語拼音方案”という北京語の音声のローマ字綴りのシステムの勉強に力を注ぐべきである。それに漢字の簡体字や発音、意味等に留意し、日本の漢字と比較して見ること。

成績評価の方法

出席率を高く評価するが、授業に臨む態度も評価のポイントとなる。年間約3回の筆記試験；前期末、中間試験と年末のテストを予定している。外に発音テストを1回行う。

教科書

渡辺晴夫・徐祖瓊著『はじめて習う中国語』（白水社）2,100円

参考書等

辞書を用意する必要がある。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	佐藤 普美子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

中国語の基礎になる発音、語彙、基本文法をしっかり身につける。中国式ローマ字表記（ピンイン）を正確に読み、書けるようにする。

履修上の留意点

授業時は、耳、口はもちろん、手もフルに活用して言葉の整理定着をはかるので、気力及び体力がないと継続受講は難しくなるだろう。覚悟が必要。私語厳禁。

成績評価の方法

学期末テストも行うが、小テスト、平常点（出席、授業時の意欲）を重視する。

教科書

戸沼市子ほか『縁日はとてにぎやか』（郁文堂）2,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	塩旗 伸一郎	全学科2・3・4年	2

科外国
目語

講義のねらい

とにかくピンインを声に出して読めるようになろう。
そして中国語の音声的魅力を体感するとともに、その構造的特徴や文化的表現、ひいては中国人のものの考え方や世界観を理解し、私たち自身の言葉や習慣、社会について異なる視点から捉えなおすことが目的。

講義の内容・
授業スケジュール

音を離れて言葉は存在し得ない。漢字だけ睨んで当て推量する暗号解読作業に陥らぬため、定期試験の約半分は音声により出題する。また年間を通じて聞き取り・発音等の小テストを行う。

履修上の留意点

携帯電話&メールの電源を切らぬ者は、そこにいないのと同じ。退席を命じ、欠席扱いとする。

成績評価の方法

定期試験+小テスト+平常点-欠席点。
欠席は前期・後期それぞれ3回目から10点づつ減点。遅刻は2回で欠席1回に相当。

教科書

戸沼市子他『縁日はとてにぎやか』（郁文堂）2,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	根岸 政子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

中国語の発音と基本文法を習得する。

履修上の留意点

最初の3、4回は中国語の発音を中心に進めるので、必ず出席すること。やさしい教科書なので、3回に2課のペースで進む。学習したことが力になっているかを確認するために随時小テストを行う。
第1時限の授業であるが、遅刻をせずに、きちんと4分の3以上出席すること。

成績評価の方法

前期後期のテスト、小テスト、出席状況などで評価する。

教科書

徐祖璿著『はじめて習う中国語』（白水社）2,100円（CD付）

科外
国
語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	さくらばかずのり 櫻庭和典	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

日常生活でよく使う表現を選び、実生活に役立つ基礎的な中国語会話の習得を目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

始めは、発音（四声）・ピンイン表記（中国式ローマ字）の習得に重きをおき、初歩的な語法にはいり、平易な文型を通して表現力を高める。中国語文の反復・応用練習・暗誦により基礎語学の向上を計る。

履修上の留意点

授業の開始までに、教科書を必ず購入すること。

成績評価の方法

平常評価（授業態度・出席日数）、小テスト、学期末テスト（前期、後期各一回）出席日数の足りない場合受験資格を失うため注意すること。欠席・遅刻は日数により減点する。

教科書

小川郁夫著『中国語初級対話64』（白帝社）1,550円

参考書等

辞書は当然必要ないが、必要になったら授業のなかで紹介する。

その他

授業中の私語は厳禁とする。携帯電話の電源は必ず切っておくこと。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	そうたいわ 曹泰和	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

バラエティに富む楽しいテキストで、実際に役立つような会話文を習う。基礎的な発音、基本文法をゼロから学ぶ。

履修上の留意点

元気よく、積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法

テスト、宿題、出席、学習態度で総合評価する。

教科書

相原茂・陳淑梅・飯田敦子『恋する莎莎』（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	むらまつてつあみ 村松哲文	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

中国語で簡単な日常会話ができ、平易な文章が読めるようになることを目標に、基本的な短文の暗記と徹底した発音訓練をする。

講義の内容・
授業スケジュール

はじめは発音をマスターするために、中国語の発音表記（ピンイン）を反復練習し、その後、文法事項を確認しながら多くの文章を読みこなしてゆく。

履修上の留意点

授業は真剣勝負の時間である。特に語学は積み重ねが大切なので、真摯な態度で授業に臨むこと。

成績評価の方法

前期・後期の試験、授業中の小テスト、出席率などを総合評価する。

教科書

陳洲挙・劉光赤・水野麗子編著『耳留学中国語』（陸美出版）2,400円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	三田村 圭子 <small>みたむら けいこ</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

中国語の発音と文法の基礎を短い文例を学びながら、習得する。

講義の内容・授業スケジュール

最初の2ヵ月は、「ピンイン」の表記と、発音を中心に進める。その後は、配布するプリントと練習問題で文法の基礎を固める。

履修上の留意点

前回の失敗を繰り返さないこと。宿題は毎回提出すること。

成績評価の方法

前期・後期テストと2回の中間テストを行う。また、5題ほどの小テストを6回行い、出席等と合わせて評価する。

教科書

讚井唯允『着実にまなぶ中国語 入門編』（朝日出版社）2,300円

参考書等

第1回の授業時に。

科外
国
目
語

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	小川 隆 <small>おがわ たかし</small>	全学科2・3・4年	2

履修上の留意点

発音と文法の基礎をゼロから学び直す。1年生のとき、なぜ失敗したか、自分でその原因をしっかりと反省して授業にのぞむこと。やり直しだからといってしょげる必要はないが、同じ失敗はくり返さないでほしい。授業ではまったくの基礎からていねいに学び直すので、やり直しの良い機会だと考えて、前向きに取り組みたい。

成績評価の方法

年間4～5回のテストと平常点。出席は最重視。必ず第1回の授業から出席すること。当たり前だが、遅刻・私語は厳禁。とくに卒業年次生は必ず初回に指示を受けること。

教科書

楊凱榮・張麗群『中国語への船出』（朝日出版社）2,200円（CD付）

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A・I B 〔再クラス〕	胡 玉華 <small>こ ぎょく か</small>	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

- (a) 中国語の発音の方法、中国式ローマ字の発音表記（ピンイン）を理解しながら、繰り返し聞き発音し、中国語の発音の仕方を修得する。
- (b) 音声を通して、基礎的な単語や単語の結び付き方、配列順序、基本的な文句や表記を学ぶ。
- (c) 簡単な文章や会話を「聞き」・「話す」基礎力を養成する。
- (d) コトバだけではなく、コトバの勉強を通して中国或いは中国文化への理解を高める。

講義の内容・授業スケジュール

前期の前半は、発音の修得が中心となり、ピンイン表記の通りに正確な発音ができるようにする。後半は、発音を復習しながら、本文を通して簡単な日常会話をできるようにする。後期は、本文の学習によって、初級レベルに相当する語彙、文法を修得し、聞き、話し、読み、書く能力を総合的に身につけることを目標とする。

成績評価の方法

平常の学習態度、成果を重視し、各期末のテストとあわせて評価する。より楽しい授業を目指すため、授業の出席率と授業中の積極性を高く評価したい。

教科書

渡辺晴夫・徐祖瓊著『はじめて習う中国語』（白水社）2,100円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	ひろかね 弘兼 かなこ 加奈子	全学科2・3・4年	2

講義の内容・
授業スケジュール

当初は、発音や基本的な文法の内容の確認を行なう。学生の理解度をみながら、ゆっくりと進めていく予定である。

履修上の留意点

中国語が苦手な学生も、とにかく欠席せず積極的に授業に参加してほしい。

成績評価の方法

成績は年間約4回のテストと教場での平常評価によって総合的に判断する。

教科書

八木章好・鄭麗媚『はじめての中国語 ふうとんほあ』（朝日出版社）2,200円

科外
国
目語

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	らん 蘭 めい 明	全学科2・3・4年	2

講義の内容・
授業スケジュール

前期は最初の一ヵ月において、ピンインを読めるように集中的練習をする。その後、簡単な会話の練習に進む。後期は、やさしい日常会話を中心におき、授業を展開する。

成績評価の方法

出席など授業姿勢に評価の重きを置く。前後期二回に分け試験を行う。

教科書

董燕・遠藤光暁『話す中国語 北京篇1』（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA 〔再クラス〕	ひら いし よし こ 平石淑子	国・数文・理・史・4年	2

講義のねらい

中国語の基礎を確認しながら、やや長い文章に慣れると同時に、それを通して現代の中国に対する知識を深める。

講義の内容・
授業スケジュール

現代の中国事情に関する知識を深められるようなテキストを選び、発表形式で講読を進める。

履修上の留意点

①四分の三以上の出席を求める。②必ず予習・復習をすること。③授業には辞書を携帯すること。

成績評価の方法

小テスト、レポートなどを含む平常点、及び期末試験による。

教科書

磯部祐子・郭明輝著『中国語で中国を読む』（白帝社）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA 〔再クラス〕	岩崎 皇 <small>いわさき ひろし</small>	国文・英文・地理・歴史・4年	2

講義のねらい

中国語の文章を読むための文法知識の獲得及び語彙量を増やすことが目標です。

講義の内容・
授業スケジュール

授業は、始めに本文を各自訳してもらった後、解説をするという形になります。単語のプリントを配布しますが、まず自分で訳さなければなりません。その際、疑問点は自由に質問して構いません。

履修上の留意点

授業にはすべて出席することが前提です。やむを得ない理由(急病、急用、忌引、クラブ活動等)により欠席する場合でも、6回を越えた場合は成績評価をしませんから注意してください。

成績評価の方法

試験の成績により評価します。試験は前期2回、後期2回行う予定です。

教科書

原田松三郎『エベンディのとんち話』(金星堂) 1,850円

科外国
言語

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA 〔再クラス〕	大久保 明 男 <small>おおくぼ あき お</small>	国文・英文・地理・歴史・4年	2

講義のねらい

中国語の「聴く」「話す」「読む」「書く」、各方面のバランスのとれた表現力を身につけることを目指す。

履修上の留意点

積極的に授業に参加すること。毎回予習、復習すること。

成績評価の方法

出席率、定期試験の成績、平常点の三項目で総合評価する。

教科書

尹景春・竹島毅『中国語さらなる一歩』(白水社) 2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB 〔再クラス〕	李 雲 <small>り うん</small>	国文・歴史3・4年	2

講義のねらい

基本文型と表現が織り込まれた会話を中心に授業を進める。日常生活に必要な会話力、文章力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

基本文型、会話文、練習問題の順で練習し、各課ごとに、書き取りの練習もする。

履修上の留意点

平常の練習が大切なので必ず出席すること。

成績評価の方法

筆記試験、書き取り・会話のでき具合と出席率などによって総合的に評価する。

教科書

本門史『中国語ポイント42』(白水社) 2,100円

その他

内容的に結構量があるので、きちんと予習、復習のできる学生に受講してもらいたい。
水曜日・4時限

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語Ⅱ B 〔再クラス〕	李 雲	国文・歴史3・4年	2

講義のねらい

基本文型と表現が織り込まれた会話を中心に授業を進める。日常生活に必要な会話力、文章力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

基本文型、会話文、練習問題の順で練習し、各課ごとに、書き取りの練習もする。

履修上の留意点

平常の練習が大切なので必ず出席すること。

成績評価の方法

筆記試験、書き取り・会話のでき具合と出席率などによって総合的に評価する。

教科書

渡辺晴夫『はじめて習う中国語』（白水社）2,100円

そ の 他

内容的に結構量があるので、きちんと予習、復習のできる学生に受講してもらいたい。
水曜日・5時限

科外
国
語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語Ⅱ B 〔再クラス〕	蘭 明	国文・歴史3・4年	2

講義のねらい

基礎文型を復習し、日常生活でよく使う表現を習得する。

講義の内容・
授業スケジュール

発音の練習・基礎文法の確認・会話文の暗誦という三つの内容を中心に進めていく。

履修上の留意点

授業時には大きな声で読むこと。欠席しないこと。

成績評価の方法

出席を重視する。宿題など提出物も評価に加味する。

教科書

董燕・遠藤光暁『話す中国語 北京篇2』（朝日出版社）2,500円

[スペイン語]

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I A・I B 〔再クラス〕	ま し も ゆ う い ち 真 下 祐 一	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

世界中で用いられているスペイン語の初歩を学びます。読み書きの練習を通し文法や語彙に関する知識を少しずつ蓄えていながら、正確な発音で生き生きとした表現ができるよう、また話し相手の言うことが確実に理解できるよう、総合的なスペイン語能力の開発を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

前期 (1) アルファベット・文字と発音 (2) 人称代名詞 動詞 SER (3) 冠詞 形容詞 (4) 動詞 ESTAR・1 (5) 動詞 ESTAR・2 (6) 時間・曜日・日付 (7) 規則動詞 (8) 動詞 IR (9) Yoの活用が不規則な動詞 (10) 天候の表現 (11) 目的語人称代名詞 (12) 現在分詞 時の経過の表現 (13) 試験
後期 (14) 語根母音変化動詞 (15) その他の不規則動詞 (16) 動詞 GUSTAR (17) 比較 (18) 再帰動詞 (19) 不定主語文 (20) 命令1 (21) 命令2 (22) 過去未来形 (23) 現在完了 (24) 感嘆文 (25) 試験

履修上の留意点

初級の授業ゆえ根気よく勉強を続ける必要があります。学習の動機を保てるよう常日頃スペイン語圏のニュースに注意していきましょう。また、大きな声ではっきりと話す習慣が身につくよう積極的な姿勢で授業にのぞんでください。毎回かならずあたります。練習用プリントも随時配布するのでファイルを用意しておくこと。

成績評価の方法

100点満点中、40点は出席、課題の提出など授業参加、残り60点は2回の期末試験と小テストの結果で評価します。

教科書

上野勝広 『新世紀のスペイン語』(同学社)

参考書等

西和辞典を一冊。『改訂版現代スペイン語辞典』(白水社) など。

科外国目語

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I A・I B 〔再クラス〕	お お い わ い さ お 大 岩 功	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

初級文法の基礎を概観し、スペイン語とその世界に対する理解を深めることをねらいとします。

講義の内容・授業スケジュール

文法事項の解説を演習をベースに、折りに触れて会話の練習なども行います。ビギナーが特につまづきやすいポイントを押さえながら授業を進めます。

履修上の留意点

予習するかしないかは一義的に学習者の自主性の問題ですが、かならず予習をして授業に臨むよう心がけてください。予習して損をすることは絶対にありません。なお、授業には辞書を必ず持参してください。

成績評価の方法

数回のテストと日頃の出席状況、受講態度を総合して評価します。

教科書

寿里順平他著『スペイン語－基礎と演習－』(教材マルコ社)
長文読解用の教材についてはプリントを適宜用意します。

参考書等

辞書
有本紀明編『西和辞典』(白水社) 4,500円
宮城昇編『現代スペイン語辞典』(白水社) 4,000円
カルロス・ルビオ、上田博人編『研究社新スペイン語辞典』(研究社) 4,860円
桑名一博編『西和中辞典』(小学館) 6,120円
これらのうちどれか一冊を入手することが望ましい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語 I A・I B 〔再クラス〕	うま の かつ ひろ 上 野 勝 広	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

スペイン語の基礎（発音、文法、語彙）を身につけ、その背景文化への理解と関心を深めてゆきます。

講義の内容・
授業スケジュール

下記のテキストを用いて、前期は1課～6課まで、後期は7課～12課を解説します。同時に口頭および筆記の練習も行ないます。

履修上の留意点

少しでもスペイン語を身につけるには、ただ授業に出席するだけでは達成できません。集中して教師や録音CDのスペイン語を聴き、疲れるくらい口や手を動かしてレッスンに励みましょう。
また最低限の復習も欠かせません。

成績評価の方法

年間4回のテストの結果（70％）に平常点（30％）を合わせて評価します。

教 科 書

小池和良・上野勝広『太郎と学ぶスペイン語』（朝日出版社）2,100円

参 考 書 等

初回の授業で紹介します。

科外
国
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語 I A・I B 〔再クラス〕	かめ やま こう いち 亀 山 晃 一	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を確実に習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習継続の為の動機付けとしたい。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教 科 書

開講時、指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I A・I B 〔再クラス〕	みやち たつ ろう 宮 地 達 郎	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

スペイン、中南米の国語スペイン語は国連の公用語6ヶ国語の一つでもあり、米国ではヒスパニックの人口比率が黒人を抜き最大となっている。米国におけるスペイン語の必要性は現在でも大きく、さらに増大することは必至である。従って、国際社会におけるスペイン語の重要性を認識させ興味を持続させることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

基礎文法の徹底が目的。前期は英語との違い、特に性数一致、動詞の変化（現在形）に重点を置く。後期は過去形、未来形、できれば接続法まで入ることが目的。

履修上の留意点

欠席が多い場合、前回の授業内容が分からなければ、その回の授業についていけなくなる。スペイン語は他の外国語より易しいという先入観を持ったり、英語が苦手だからという簡単な理由で受講しても単位取得は簡単ではないことを認識して受講してほしい。

成績評価の方法

出席率、授業中の態度、テストの3点を総合して評価する。

教科書

宮本博司著『ようこそスペイン語の世界へ』（大学書林）

参考書等

推薦辞書：『現代スペイン語辞典（西和および和西）』（白水社）
『スペイン語ミニ辞典』

科外
国
目
語

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I A・I B 〔再クラス〕	おぎの めぐみ 荻 野 恵	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

スペイン語文法の基礎を固めると同時に、イベリア半島の文化に関する平易な文章を通じて講読力を培う。

成績評価の方法

成績は出席、課題、年2回のテストを総合して評価する。

教科書

荻野・浜岡『イベリア文化への誘い』（大学書林）

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I A・I B 〔再クラス〕	ナバロ, ホワンJ.	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

よく用いられる規則動詞、不規則動詞の活用、定冠詞、不定冠詞、主格および目的格人称代名詞といったスペイン語の基礎を学びます。授業中にプリントを配布します。各課短い読解が最初にあり、次に文法のまとめと練習、最後に会話の練習です。

成績評価の方法

各回におわりに小テストを行います。その結果の集計により評価します。特別試験も実施します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	まきとう まりの 佐藤 麻里乃	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

文法の初歩を習得し、スペイン語の基本的な構造を理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書にそって解説を行い、関連する練習問題を解いて提出後、答え合せをする。性数変化、動詞の変化（現在形・過去形）、再帰動詞、人称代名詞、分詞などを主に扱う。

履修上の留意点

教科書と辞書を毎回必ず持参すること。授業中は先生の話をよく聞き、きちんとノートをとること。授業時の提出物により評価するので、欠席をしないこと。

成績評価の方法

提出物の出来具合により評価する。

教 科 書

未定
辞書『プログレッシブスペイン語辞典』（小学館）

参 考 書 等

宮本博司『超入門スペイン語』（大学書林）

科外
国
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	ふくもと くみこ 福本 久美子	国文・英作文・地理・歴史3・4年	2
スペイン語ⅡB〔再クラス〕		国文・歴史3・4年	

講義のねらい

基礎文法を一通り終えることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

始業時に、「授業方針」のプリントを配布する。

履修上の留意点

初心に戻り、やる気を持って授業を受けていただきたい。始業時は必ず出席して欲しい。

成績評価の方法

前・後期テストと、授業時の小テストの合計に拠る。

教 科 書

西川喬著『やさしく くわしいスペイン語の基礎』（第三書房）2,400円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	おお いわ いさお 大 岩 功	国文・英数・地理・歴史1・4年	2
スペイン語ⅡB〔再クラス〕		国文・歴史3・4年	

講義のねらい

スペイン語Ⅰで学習した内容を踏まえ、文法の理解をさらに深めるとともに、スペイン語で書かれた文章に親しむことをめざします。

講義の内容・授業スケジュール

初めはスペイン語Ⅰで学習した文法項目を復習し、その後、さらに新しい項目を学習していきます。まとまった長さの文章を読むための教材も適宜使用します。

履修上の留意点

予習することによって授業の学習効果は何倍にも増幅されます。学生諸君はぜひ予習をしっかりやって授業に参加してください。なお、授業には必ず辞書を持参すること。

成績評価の方法

出席状況と年数回のテストの得点、および授業に臨む姿勢などを考慮して総合的に評価します。

教 科 書

寿里順平他著『スペイン語－基礎と演習－』（教材マルコ社）
長文読解用の教材についてはプリントを適宜用意します。

参 考 書 等

辞書
有本紀明編『西和辞典』（白水社）4,500円
宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）4,000円
カルロス・ルビオ、上田博人編『研究社新スペイン語辞典』（研究社）4,860円
桑名一博編『西和中辞典』（小学館）6,120円
これらのうちどれか一冊を入手することが望ましい。

科外
国
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語ⅡA〔再クラス〕	かめ やま こう いち 亀 山 晃 一	国文・英数・地理・歴史1・4年	2
スペイン語ⅡB〔再クラス〕		国文・歴史3・4年	

講義のねらい

基礎的な文法知識と日常会話によく出て来る表現を確実に身に付け、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って困らない為のコミュニケーション能力を養成する。演習の機会を多くすることにより習得した知識を定着させる。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教 科 書

開講時、指示します。

[ロシア語]

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 I A・I B 〔再クラス〕	ひろ た ひで やす 廣 田 英 靖	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つ型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボディークン・ランゲージを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしくないことが大切です。

科外 国 語

講義の内容・ 授業スケジュール

前期は発音、イントネーションに力点をおき、後期はやさしい短文の聞きとり、初級文法を学びます。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

教科書

杉山秀子他著『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円

参考書等

『露和辞典』

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 I A・I B 〔再クラス〕	さ の あさ こ 佐 野 朝 子	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

発音、イントネーション、会話を学び、同時にやさしいテキストを読んでいます。会話クラスにありがちな簡単な日常会話以外のことはいっさいわからない、という結果にならないよう努力するつもりです。

履修上の留意点

予習はまずいらないと思いますが、ロシア語の発音、イントネーションを少しでも多く耳にするよう、できるだけ授業には出席して下さい。

成績評価の方法

平常点を重視します。

教科書

絵や図がたくさん入っているロシアで出版された教科書を使って授業をすすめますが、手に入りにくい教科書ですので、コピーを用意します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	木村英明	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

発音、イントネーション、会話を学び、同時にやさしいテキストを読んでいます。
会話クラスにありがちな簡単な日常会話以外のことはいっさいわからない、という結果にならぬよう努力するつもりです。

履修上の留意点

予習はまずいらないと思いますが、ロシア語の発音、イントネーションを少しでも多く耳にするよう、できるだけ授業には出席して下さい。

成績評価の方法

平常点を重視します。

教科書

絵や図がたくさん入っているロシアで出版された教科書を使って授業をすすめますが、手に入りやすい教科書ですので、コピーを用意します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	安徳ニーナ	全学科2・3・4年	2

科外国語

講義のねらい

基本的な文法、発音、読み、書き、が出来る事を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

教科書に基づいて講義を進める。

履修上の留意点

要点の復習は必ずしてほしい。

成績評価の方法

講義の中で時々行う練習問題を主として学習態度を参考にする。

教科書

桑野隆『はじめてのロシア語』（白水社）

参考書等

必要に応じてその都度資料を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅡA〔再クラス〕	高木美菜子	欧・英・経・政3・4年	2
ロシア語ⅡB〔再クラス〕		国文・歴史3・4年	

講義のねらい

以前に学習した発音、文法、会話の復習。
講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。
ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

成績評価の方法

平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。

教科書

プリント配布。

参考書等

ビデオ、オーディオ等を使用します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語ⅡA〔再クラス〕	クロチコフ, Y.	国文・英米文・地理・歴史3・4年	2
ロシア語ⅡB〔再クラス〕		国文・歴史3・4年	

講義のねらい

以前に学習した発音、文法、会話の復習。
 講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習します。
 ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

成績評価の方法

平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。

教 科 書

プリント配布。学生の学力に応じて教科書を選びます。

参 考 書 等

ビデオ、オーディオ等を使用します。

科外
国
目語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語ⅡA〔再クラス〕	あん たく 安 徳 ニーナ	国文・英米文・地理・歴史3・4年	2
ロシア語ⅡB〔再クラス〕		国文・歴史3・4年	

講義のねらい

一般的な文法、発音、読み、書き、ができる事を目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書に基づいて講義を進める。

履修上の留意点

要点の復習は必ずしてほしい。

成績評価の方法

講義の中で時々行う練習問題を主として学習態度を参考にする。

教 科 書

桑野隆『はじめてのロシア語』（白水社）

参 考 書 等

必要に応じてその都度資料を配布する。

〔選択科目〕

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 文 講 読	はやし あきと 林 明 人	文学部 (英米文学科除く) 選	4

講義の内容・ 授業スケジュール

現代アメリカ文学の短編をなるべくたくさん読みます。単に英語を読むことから鑑賞できるようにできれば幸いです。

成績評価の方法

試験、発表、レポート、出席の総合評価。

教 科 書

教員が作成したものを用います。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 文 講 読	や じま なお こ 矢 島 直 子	文学部 (英米文学科除く) 選	4

講義のねらい

イギリス現代戯曲を読んで、現代の英語に慣れるとともに、想像力を働かせて読むことを学びます。

講義の内容・ 授業スケジュール

テキストとして使う戯曲を、きちんと読んでいきます。

履修上の留意点

ほぼ毎回あたりますから、必ず辞書をよく引いて予習をしてくる。教科書の手配は、出席する学生数を確認してからなので、初回の授業から出席してください。教科書が書店に入るまで、プリントで授業を行ないます。

成績評価の方法

平常点を考慮に入れ、前期末・後期末試験とともに総合的に評価します。

教 科 書

Anthony Neilson, *The Lying Kind*, Methuen, £7-99, ISBN0-413-77314-0

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英 文 講 読	まきの てるよし 牧 野 輝 良	文学部 (英米文学科除く) 選	4

講義のねらい

英語の長文の内容理解に努める。

講義の内容・ 授業スケジュール

英文の構造をしっかりと学習し、毎時間3頁読み進めることを目安とする。

履修上の留意点

テキストの文章がかなり長いから、履修者は指名されたら内容の発表、和訳が出来るようによく自習しておくこと。

成績評価の方法

授業中の発表、和訳、期末テストを総合的に評価するが、英語の理解力に力点をおく。

教 科 書

『真の国際化とは』(成美堂) 980円 ISBN4-7919-1236-5C1382

科 外
国 語
目 語

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語研究	竹村 恵都子	文学部 (英米文学科除) 選	4

講義のねらい

今後の情報化時代に伴い、世界の動きに目を向け、国際社会の実状を的確に把握する必要があります。本授業では、基礎的な英語力を上台に、英文ニュースを学びます。新聞に使用される英語表現は、斬新な語句やイディオム、字句の省略など様々な特徴があります。日頃から内外の英字新聞を読むよう心掛けて下さい。十全な予習を望みます。

成績評価の方法

評価は前期・後期の試験を主とし、平常点 (授業態度・発表も含む)、出席率及びレポートなどを総合的に判断し評価します。

教科書

未定

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語研究	林 明人	文学部 (英米文学科除) 選	4

講義のねらい

CNN, Herald Tribune 紙などから集めたニュース英語によく使用される語をキーとした短文をたくさん読むことにより、そのキーワードの意味、および使い方をおぼえることを目的とします。そのほかに実際に英字新聞を読みます。尚、履修希望者が70名を越えた場合は、4月の第1回目の授業で抽選となります。

成績評価の方法

試験、レポート、出席の総合評価です。

教科書

教員が作成したものを用います。

参考書等

Sanseido's Dictionary of News English (三省堂)

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語研究	岸本 茂和	文学部 (英米文学科除) 選	4

講義のねらい

racism (人種差別主義)、sexism (性差別主義)、ethnicity (少数民族)などを鍵のことばとして、現代アメリカを読みとぎつつ、"September 11, 2001" —— 2001年9月11日の、あの悲劇の日までいたる。

講義の内容・授業スケジュール

「研究」と銘打っているが、いわゆる講義ではなくふつうの英語の授業だ。

履修上の留意点

授業にはかならず英和辞書をもって来ること。テキストの英語はそうとう密度が高いのでその点を留意しておくこと。

成績評価の方法

試験は、前期・後期の2回。出席はとる。欠席が授業日数の3分の1をこえればあいはい「不可」とする。

教科書

『現代アメリカの〈美德〉』(朝日出版社) 1,400円

その他

受講者は70人を上限とする。

科外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
時 事 英 語 研 究	たん じ ひろ まさ 丹 治 弘 昌	文学部 (英米文学科除く) 選	4

講義のねらい

時事英語の講義を担当してまず痛切に感ずるのは、学生の修得している語彙と実際に新聞、雑誌あるいは放送においてニュースに使われる英単語の間にはかなりの差があることである。これは習得語彙の量的な不足もさることながら、質的な面での個々の単語の意味を包括的にとらえていないことからきていることと思われる。一つの単語について一つの語義をもって事足りると思ひ込んでいたり、また頻度数の低い意味にこだわって、ニュース全体の意味を取り違えたりすることが良く見受けられる。そこで時事英語の単語を段階的に、同時にジャンル（分野）ごとに分けて、かなり整理してみることにした。時事英語という、むやみに英単語を暗記し、語彙数をふやさなければならないと思われがちだが、むしろ基礎的な語彙の活用や応用に習熟し、簡単なコメントを表現できることから始めて、段階的に語彙修得を重ねていって、質と量の両面から時事英語の学習をすすめることが望ましい。

成績評価の方法

成績評価は、3分の2以上の出席とそれぞれの期末テストによって行います。

教 科 書

『よくわかるニュース英語』（朝日出版社）1,800円

科外
国
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
時 事 英 語 研 究	や しま なお こ 矢 島 直 子	文学部 (英米文学科除く) 選	4

講義のねらい

時事英語の読み方を学び、慣れることを目標にします。

講義の内容・授業スケジュール

教科書で時事英語を読み、記事の内容・構成を学びます。慣れてきたら、時に、英字新聞の記事も使います。

履修上の留意点

学生にどんどんあててやってもらいますから、必ず予習をしてくること。学生にあててやってもらいために、一クラスの人数を60名までとしますから、初回の授業に必ず出席してください。できれば初回から教科書を持ってくること。

成績評価の方法

平常点を考慮に入れ、前期末・後期末試験とともに総合的に評価します。

教 科 書

馬場彰、佐藤和哉『Current English (『時事英語2004/2005年版』)』（成美堂）1,800円 ISBN 4-7919-4826-2

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マルチ・メディア	おお ぼ なお き 大 庭 直 樹	全学科選	2

講義のねらい

このクラスは、マルチメディアを使って英語を学ぶクラスである。
 第一の課題は、インターネットを使って、世界の最新のニュースがどのように報道されているかを比較しながら読んでいく、ことである。インターネットという広大な情報空間から、必要な情報を探索し、その内容を理解するという訓練を積む。
 第二の課題は、研究、文献・資料整理等、カード型のデータベースの作り方を学び、またその有効的な使い方を身につける。具体的には、データベース・ソフト「ファイルメーカー」を使い、自分用の英語彙データベースをつくる。
 第三の課題として、Wordと電子辞書を使いながら、英語による論文、公式文書、ビジネス文、手紙等の書き方を訓練する。
 第四の課題は、英語の映画を一本観ながら、英語の表現の意味内容を徹底的に研究していく。

履修上の留意点

受講生は、一年間の課題をこなせば、コンピュータを活用した知的な活動において、相当なレベルに達するはずである。従って、このクラスを受講するには、年間を通じて毎週クラスに出席することが条件である。

成績評価の方法

試験、定期試験なるものは行わない。受講生には、サーバーの自分のフォルダに、一年間に20程度のファイルを提出してもらおう。インターネットで各自が検索する情報もすべて、サーバーの自分のフォルダに入れてもらう。成績は、各学生が一年間にフォルダにセーブされたファイルの成果をもって評価する。

科外
国
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マルチ・メディア	おち あい かず あき 落 合 和 昭	全学科選	2

講義のねらい

このクラスにタイトルを付けるとすると、「日常会話から映画の英語へ」とでもなるだろう。このクラスのレベルは英語の中級（二級、準一級）程度とする。自然な日常会話文や映画の台詞を通して、英語圏の日常生活で、頻繁に、使用される現代口語英語表現を学びながら、英語の運用能力を高めることを第一目標とする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC[®]、TOEFL[®]、国連英語等）の受験準備にも役立つようにする。さらに、時間が許す限り、アメリカやカナダの作家、都市、国立公園等に関するビデオを鑑賞し、ヒヤリングの向上、文化や自然の多様性を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

一回の講義は、主として、三段階からなる。第一段階として、日常会話文や映画を通して、英語の自然なスピードに慣れ、ヒヤリングを向上させる。第二段階は、その会話文や映画の中で、使用されている表現の意味や用法を、文字を通して、確認する。第三段階は、学生に登場人物になってもらって、会話文や台詞（せりふ）を再現しながら、会話練習をする。授業は徹底した演習形式を取り、学生の予習を前提にして、進める。

履修上の留意点

このクラスの受講生はすでに口語英語を一年以上学んでいることが望ましい。始めて口語英語を学ぶ学生には、かなりつらい授業になるかもしれない。課題、小テスト、授業中の発表等で、かなりのことを要求するので、そのつもりで受講するように心がけてもらいたい。また、受講を希望する学生は、最初の授業の時に、必ず、担当者の許可を得なければならない。教場は40名しか入れないLL教場を使用するので、40名以上の履修希望者がいた場合は、最初の授業の時に、抽選をする。そのため、最初の授業に出席しない学生はこのクラスを受講できない可能性がある。

成績評価の方法

定期試験が全評価の40%とする。その内訳は前期試験が10%（現代口語英語の和訳と会話英作文）、後期試験は30%（ヒヤリングが10%、会話英作文が20%）である。課題、小テスト、授業中の発表は60%とする。課題は、一回の量はそれほど多くはないが、年に20回程度（ちなみに、去年の場合は、約15回だった）、小テストは5～10分程度のものを10回程度（去年は8回）、授業中の発表、一回の授業に、全員が最低一回は当てるように努める（去年の場合は、一人約20回）。出席率が3分の2を超えなければ、成績は「不可」とする。

教 科 書

- 1) 『句動詞の実用総合演習』（マクミラン）
- 2) 『スモーク』（松柏社）1,750円 ISBN4-88198-457-8C3082
- 3) 『Oxford Phrasal Verbs Dictionary for Learners of English』（オックスフォード大学出版局）2,200円 ISBN0-19-431543-6

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マルチ・メディア	にし むら ゆう こ 西 村 祐 子	全学科選	2

講義のねらい

インターネットやオーディオ・ビデオ機器を使用して、英語とコンピュータ操作の初歩を身につけるクラス。

講義の内容・授業スケジュール

- 4-7月：インターネットによる英語サイトを利用した読解・作文。
9-12月：英語によるプレゼンテーションをまとめたビデオをコンピュータで製作。

履修上の留意点

あくまでも英語のクラスなので、コンピュータソフトについて詳しく学ぶよりも英語習得をめざす学生の履修を進める。

成績評価の方法

平常点（出席点、提出物など）で評価。定期試験は行わない。

教 科 書

教場にて指定。

参 考 書 等

特になし。

科外
国
語

英 会 話 Ⅱ

〈英会話Ⅱの授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅰのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。関心のあるトピックを話したり、議論できることを目指した大学中級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検準1級合格、TOEFL®のスコア480点、TOEIC®のスコア700点程度。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

科外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 Ⅱ	ジトウィッツ, P. D.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい	To build upon the skills mastered in English 1 by giving students intensive practice in listening, reading, writing and speaking. To help students learn techniques for increasing their vocabulary and their reading skills. To help prepare students who are interested in advanced English study for my advanced or study abroad.
講義の内容・授業スケジュール	Students will participate in debates, prepare speeches and practice scenes from plays and films.
成績評価の方法	Students are expected to attend at least 80% of all classes and to positively participate in class.
教 科 書	<i>The Spirit of Broadway, The Spirit of America—An Introduction to the Broadway Musical</i> by Philip Zitowitz, Eihosha, 2000.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 Ⅱ	プラスキー, J. C.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい	The goal of this course is for students to begin to express themselves beyond the basic level of proficiency about themselves and other topics about which they are familiar.
講義の内容・授業スケジュール	This class will primarily consist of student discussions about themselves, school, family and friends. Emphasis will be placed on the exchange of information and the negotiation of meaning. These activities will be supplemented with grammar, pronunciation, intonation, stress and rhythm exercises as well as listening practice.
履修上の留意点	Students will be required to complete homework assignments before each class.
成績評価の方法	Students will be evaluated on the basis of class participation (50%), homework (30%) and a final oral test (20%) given during the last class meeting.
教 科 書	None.

科目名	担当者名	配当学科	単位
英会話Ⅱ (夏季集中)	ピアス, D.M.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

This is a special intensive class for English conversation that advances students to a high level of speaking ability within a short period of time. It provides continuous conversational practice in quotidian conversational situations. It supplies special vocabulary and speech patterns for every sort of circumstance such as travel, banking, telephone, business exchange, etc. To the purpose of high scores in the important examinations intensive weekly review will be made of the major language aspects tested in TOEFL®, EIKEN, and TOEIC®. English composition and listening comprehension will be practiced by means of having students correct and improve materials they themselves have produced. The core of class activity will consist in accelerated practice in conversation. The method of the course is to render students active throughout the ninety minute period. Students will have opportunity to carry on intelligent dialogues about interesting topics at a level above ordinary conversation. The advanced conversation practice is especially good for students who need to show their English speaking ability when searching for employment. Short lectures will be given on sociological contrasts between Japan and America, following which students will develop personal reactions to the ideas conveyed in those topics.

外国
言語

履修上の留意点

ATTENDANCE: Attendance and active participation are most important, because improvement in English speaking depends on the amount of practice. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter - grade less than what the student would otherwise have received.
EXAMINATIONS: Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

成績評価の方法

GRADING: Your final grade is the quality of the employment that you can final after university graduation. Never forget that English ability is extremely important when you are looking for a job; you will be able to get better employment if you improve your English this year. This is an extremely important point; you are taking a high-quality English course to get better employment in the future, not just to get a university grade!

Your academic grade depends 70% on your class performance, in every class. I will keep a record of your participation in every single class meeting. This is a course for English conversation; one can improve speaking ability, similarly to playing piano, only by constant practice. This is true no matter how advanced the student may be. Therefore, attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Finally! Everyone in the class is equally able to get an "A" in the class, because the final grade does not depend on the final examination. Even if a student cannot speak English at all, he/she has as much a chance as the other students to get an "A," because his final grade depends on his effort and his improvement in comparison to his initial ability.

教科書

We will probably use *Social Practices*, publisher Themis Research Group, by Adam Pelagius, 2003, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or an electronic dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

授業日程

前半						後半					
	1	2	3	4	5		1	2	3	4	5
8月2日	月	○	○	○	○	8月20日	金				
8月3日	火	○	○	○	○	8月23日	月				
8月4日	水	○	○	○	○	8月24日	火				
8月5日	木	○	○	○	○	8月25日	水				
8月6日	金	○	○	○	○	8月26日	木				
8月9日	月	○	○	○	○	8月27日	金				

英 会 話 Ⅲ

〈英会話Ⅲの授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅱのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。自分の専門分野のトピックを発表し、論じられる表現力を目指した大学上級レベルの英語会話の授業です。達成目標は英検1級合格、TOEFL®のスコア500点以上、TOEIC®のスコア900点程度。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 Ⅲ	ウェルズ, J. K.	全学科2・3・4選	2

科外国語

講義のねらい

Welcome to my class! This is not a class to be shy. It is a chance to speak openly.
Students must have taken English conv. II to be a member of the class. A short interview will be given the first day of class. If you speak well already, please join the class and get better attendance is important!

I'm waiting to meet you and to improve your English. . .

成績評価の方法

However, attendance is very important! Small tests and quizzes will also be given.
LET'S HAVE FUN

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 会 話 Ⅲ	ラーズ, R.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

The goal of this class is to give students fluency and confidence in English conversation by developing listening skills, and by discussing simple to moderately abstract / complex subjects. Students read stories and articles and extrapolate content verbally through questions and answers. Special attention is given to improvement in pronunciation and grammar.

講義の内容・授業スケジュール

Conversations using present, past and future tense: talking about oneself, other people, families, one's likes and dislikes, professions and neighbors; forms of communication and communities around the world, cultural patterns and traits, travel; human interests and hobbies, habits, possessions; going shopping, shopping districts and specialties, currencies and numbers; crime; asking and giving directions; feelings and needs, etc. Some introductory explanation of word roots, English slang and commonly used phrases.

The class meets once a week for 90 minutes. After roll call, students follow the text that has a number of stories or essays with questions and answers and grammar exercises. Additional vocabulary is introduced and explained. After modeling a few examples, the text is discussed through pair-work and group-work. To enhance listening skills 'conversations on tape' are played. Students listen and answer relevant questions. Homework consists of revising, memorizing new vocabulary, written assignments and completing exercises in the Workbook. Extra materials including vocabulary and conversation games, and grammar exercises are used in addition to the text.

科外
国
語

履修上の留意点

Students must be punctual. They must bring their Textbooks and Workbooks for every class. They should be ready for unannounced quizzes and tests.

成績評価の方法

There is no final exam. Students will be marked for (i) Speeches (on predetermined topics) and answering questions on the speech (ii) written tests and papers (iii) effort and class participation (hard work and improvement over the year). Students absent for more than 2/3 of the year will fail the course.

教 科 書

I) *New Headway English Course Pre-Intermediate Student's Book* by John and Liz Soars. Published by Oxford University Press. ISBN#0-19-436670-7

II) *New Headway English Course Pre-Intermediate Workbook* by John and Liz Soars. Published by Oxford University Press. ISBN#0-19-436672-3

科目名	担当者名	配当学科	単位
英会話Ⅲ (夏季集中)	レーン, C. M.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

The main aim of this class is to help students take control of their own learning and to help them gain confidence speaking English in front of groups of people. This will be achieved through presentations and small group discussions. The course will also concentrate on cultural and/or controversial issues and will teach the students to view value systems, which are different from their own.

講義の内容・
授業スケジュール

Each week one student will be in charge of the content of the class. This means that they will at the beginning of the class they will give a presentation on their chosen subject. Then they will provide a discussion sheet related to their topic, which will be discussed either as a class activity or else in small groups. Students will be required to give two such presentations during the academic year.

The teacher will prepare some discussion subjects as well. How many will depend on how many students decide to enrol in the class. Also, the teacher will choose the material to be discussed only after consultation with the students as a whole. This is because it is felt that students tend to contribute much more when they are actually interested in the topic up for discussion.

科外
国
語

履修上の留意点

1. The presentations and discussion sheets must be shown to the teacher at least one week before the student's presentation, so that the teacher can help the student with corrections and ideas.
2. Students must be able to communicate, or at least be willing to try to participate, within group discussions. Failure to do so will result in the student failing the course.

成績評価の方法

There is no exam for this course. However, students will be graded by the quality of their presentations and by the amount of their week-to-week participation.

20% two take home essays (10% each essay)

40% two presentations, with discussion sheet (20% each presentation)

40% participation within the class (20% each semester)

教科書

There is no required textbook for this course. However students will be required to have a good dictionary and to buy a binder to keep the handouts and presentation copies in.

授業日程

前半						後半					
	1	2	3	4	5		1	2	3	4	5
8月2日	月	○	○	○	○	8月20日	金				
8月3日	火	○	○	○	○	8月23日	月				
8月4日	水	○	○	○	○	8月24日	火				
8月5日	木	○	○	○	○	8月25日	水				
8月6日	金	○	○	○	○	8月26日	木				
8月9日	月	○	○	○	○	8月27日	金				

英 語 L L II

〈英語 LL II の授業内容と履修上の留意点〉

中級：LL I 程度の基礎訓練を修得していることを前提とします。テープ教材またはビデオ教材を用いて、ニュース等の時事問題、やや専門的なテーマの英語スピーチ等の聴解力を集中的に訓練します。また、英語で要約・説明できる表現力を修得します。英検準1級合格、TOEFL®のスコア480点、TOEIC®のスコア700点程度をめざします。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L II	おお た まさ こ 太 田 雅 子	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

90分の授業の前半は、テキストを用いて英語の難しい音のききとりを徹底的に学習する。そして後半は、映画の中の英語をききとれるように練習を重ねる。又、その中の表現を応用して、英語での自己表現力を養成する。

履修上の留意点

全授業回数の3分の1以上欠席した者には単位を認定しない。その他履修上の注意点は、第一回目の授業で指示するので、必ず出席すること。

成績評価の方法

毎回小テスト、年に2回ほど総テストを実施。

教 科 書

Listening Theory and Practice（開文社）

科外国語
目録

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L II	との いけ かず こ 外 池 一 子	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

最初はVOA、その後CNN・BBCなどの最新のニュースを教材にリスニング力の向上を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

前期はテキストに沿って進み、授業の進度に合わせて最新のニュースを取り入れて行きます。

履修上の留意点

英語ニュースの聞き取りにはニュースに関する背景知識が欠かせません。毎日新聞を読むこと。予習は当然ですが、復習をきちんとすること。カセットテープを必ず持参すること。

成績評価の方法

平常点30%、授業の進度にあわせて行う試験（目安は前期・後期各2回）70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。

教 科 書

開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L II	にしむら ゆうこ 西村 祐子	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

基本的な会話と英語表現を学んだレベルIを終了した学生もしくはそれと同程度の英語力がある学生のためのクラス。レベルIIではナチュラルスピードで話されるさまざまなストーリーのビデオを見ながら、さらに込み入った日常表現を修得していく。授業はすべて英語でおこない、質問もすべて英語でおこなう。学生同士の英語での話し合いなどもとりいれ、インターアクティブに授業をすすめる。到達目標は TOEIC®700-750程度。LLIにくらべ、難易度が高いので学生によっては受講を制限することがある。

講義の内容・授業スケジュール

4-7月：基本的な会話表現の復習と聞き取り、プレゼンテーション。
9-12月：LLIIIへの橋渡しとして、書き方とプレゼンテーションに力点をのいた授業となる。

履修上の留意点

学生への要望：学生は全員電子メールアドレスを取得しておいてほしい。
テープ録音をするので、カセットテープ（90分程度）をもってくること。

成績評価の方法

定期試験はおこなわない。平常点重視（出席率、発表内容など）

教科書

テキスト：*Headway pre-intermediate* (Oxford Univ. Press.)
使用ビデオ：Headway elementary、および pre-intermediate、その他。（いずれも本学 LL 事務室に備え付けのものなので、予習、復習用に借り出して活用してほしい。）

参考書等

使用ビデオ：Headway (elementary)、および (pre-intermediate)、その他。（いずれも本学 LL 事務室に備え付けのものなので、予習、復習用に借り出して活用してほしい。）

その他

学生への要望：学生は全員電子メールアドレスを取得しておいてほしい。
電子メールアドレスは商業プロヴァイダーのものを持ちてさしつかえないが、大学の電子メールアドレスの取得はコンピュータ教場の使用の際にも必要なので、かならず事前におこなっておくことがのぞましい。なお、携帯電話の電子メールは長文英語の課題提出が不可能であり、返信に困難をきたすこともあるため、原則として本授業用には使用しないこと。はじめの授業からききとり力をつけるためにテープ録音をするので、カセットテープ（90分程度）をもってくること。

科外
国
語

英 語 L L III

〈英語 LL IIIの授業内容と履修上の留意点〉

上級：LL IIを修得、またはそれと同等以上のレベルであることを前提とします。英語圏の大学の教養／専門科目等の授業が聞き取れ、演習で議論できる程度の英語の表現力を養成します。英検1級、TOEFL®のスコア500点以上、TOEIC®のスコア900点程度を目指した訓練コースです。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L III	久 保 ひ さ 子	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

英文のレクチュアが、聞き取れ、ディベートできる程度をめざしたい。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを、聞き取り、書き取り、反復練習、録音、再生する。ビデオやスピーチや、ディスカッションを含む。

履修上の留意点

LL III授業は、ラボによる実習の、授業のため、欠席しないようにお願いします。

成績評価の方法

試験と授業実習点

教 科 書

World Times of Japan, "Michigan Action English Step 6"

科外
国
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 L L III	西 村 祐 子	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

基本的な表現をつかっても「話すこと」からはじめたLLIのレベルに対して、レベルIIでは日常的なテーマを掘り下げ、より高度な表現をききとることをめざした。このレベルIIIはそれより一層高度な会話表現力を習得することをめざす。LLII同様、授業はすべて英語でおこなわれ、質問も英語でのみ受けつける。毎回英語でのプレゼンテーションが要求され、教員との応答によって授業がすすめられる。LLレベルIIを終了し、英検一級程度（TOEIC®800以上の学生を対象とする。このレベルに達していない学生はレベルIIを受講することをすすめる。

講義の内容・授業スケジュール

4-7月：アメリカの大学教養レベルの社会科学系ビデオを素材として用いて英語でのサマリーの仕方を中心とする授業。
9-12月：英語での発表とエッセイ・ライティングを中心とした授業。

履修上の留意点

学生への要望：学生は課題提出用に全員電子メールアドレスを取得しておいてほしい。レベルIIIは例年高度なクラスなので途中で落伍しないためにも履修を決める場合にLLIIの内容とよく比較して決定してほしい。

成績評価の方法

平常点重視（出席率、プレゼンテーションなど）。定期試験はおこなわない。

教 科 書

教場で指示（主にプリントを使用）。

参 考 書 等

使用カセットテープ：Open University Program シリーズ（LL事務室備え付け）。
使用ビデオ：Mapping the Landscape（ジェムコ出版、LL事務室備え付け）その他社会科学系教育ビデオを適宜使用。

そ の 他

学生への要望：聞き取り練習用にテープ録音をするので、カセットテープ（90分程度）をもつてくること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L III	レーン, C. M.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

The main aim of this class is to help students gain confidence in speaking and listening to English. This will be achieved using a special interactive listening video course. The course will concentrate on cultural and news items. It will teach students to be able to understand and view American Television without subtitles.

The problem with most listening courses is that many English as a second language tapes or videos slow down the speech to help students understand every word.

However, when the students go out into the 'real world' they suddenly find that they are consequently unable to understand anything. This course, therefore, teaches students, not only to listen, but also to watch and guess from context. This is because about 40% of what people generally say is actually conveyed through body language, gestures or can be guessed due to the context of the situation.

This course will also teach basic conversational structures helping students to gain confidence speaking and having fun expressing their ideas.

講義の内容・授業スケジュール

Each week students will watch one ABC news story and through the use of specially designed vocabulary and listening exercises will by the end of the lesson be able to completely understand the related news story.

The teacher will also sometimes prepare other listening exercises, using real material, such as, music or popular TV dramas.

Students will also have time to practice speaking and to try to express their ideas using all the facilities of the new language laboratory.

履修上の留意点

1. To really improve their listening students must be prepared to attend every class and actively participate within the classroom setting.
2. Since the lesson is only once a week, students must also 'take control' of their own learning and must be prepared to study other listening activities outside of the classroom. They should ideally get into the habit of listening to some form of English everyday. Only then will students see a marked improvement in their listening skills.

成績評価の方法

20% attendance
40% exams
40% participation within the class

教科書

There is no textbook as photocopies will be provided. However, students need to buy a folder to keep all the copies together.

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語外国書講読	しばのひろこ 柴野博子	全学科3・4選	4

講義のねらい

異文化を理解し、またそれを介して自国の文化を反省することは、国際化の進展する今日、非常に大切なことです。そこでこの授業では、日本とドイツの間の異文化理解の問題を扱ったいくつかの文章を読んで行きます。それによって、ドイツ語の文章に慣れると同時に、日独の文化の相違についても、理解を深めることができればと思っています。

成績評価の方法

年2回の試験と平常点で行います。

教科書

教科書は使用しません。教材はコピーしてお渡しします。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
時 事 ド イ ツ 語	野 島 利 彰 <small>の じま とし あき</small>	全学科3・4選	4

講義のねらい

今年度はドイツやオーストリアが抱えている様々な社会問題を取り上げます。失業、世代間の紛争、麻薬などあまり明るい話題はありませんが、日本でも同じように問題となっている、あるいはこれから問題となるであろうことです。ドイツやオーストリアがそれらの問題をどのように解決しようとするのか、その努力を学びます。

講義の内容・授業スケジュール

フランクフルター・アルゲマイネ新聞を中心とし、ドイツ・オーストリアの有力紙からの記事を読みます。

履修上の留意点

予習しやすいよう、授業終了の少し前に次回分の時事用語および文法事項の説明をします。訳読は希望者に任せます。

成績評価の方法

成績評価は授業に対する貢献度によります。

教科書

教材には記事のコピーを配布します。

参考書等

初級用の辞書では載っていない単語が多いと思います。出来る限り前もって説明しますが、余裕のある人はより高度の辞書を持つことを望みます。

その他

テーマとは別に記事にはこれまで高校や大学で学んできたさまざまな事柄が登場します。いわば皆さんはこれまで得た知識全体で記事を読むことになります。新聞記事のみならずさまざまなテーマを日本語でよく読んでいることが、ドイツの記事を理解する早道です。

科外
国
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
上 級 ド イ ツ 語	栗 原 万 修 <small>くり はら かず のぶ</small>	全学科3・4選	2

講義のねらい

上級ドイツ語クラスは、3、4年生を対象にしたクラスです。1、2年次で習得した語学力をのばし、さらに内容を文法的にも正確に読みとり、より高度なドイツ語が身につくようにするのがねらいです。継続的に1年間つづければ、かなり力がつくはずですので、欠席しないでつづけてください。1年間が終わって、受講してよかったと思えるような内容にしたいと思います。

成績評価の方法

成績評価は、試験ではなく、平常の勉強経過を中心に総合的に判断します。

教科書

テキストは特定せず、受講者の語学力に合わせ、また受講者の希望も聞きながら、最適と思われるものをその都度、コピーして配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 L L I	小 林 ゲ ア リ ン デ <small>こばやし</small>	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

ドイツ語の基礎的な知識を履修するとともにドイツおよびドイツ語を国語とするオーストリア、スイスの国情について知識を身につけることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

日常的な状況でのドイツ語を話し、理解することに重点をおく。そのため発音練習やパートナー練習を数多く取り入れる。基本的な文法の習得と並んでドイツ語を読む楽しみにも触れたい。適宜宿題を課す。

成績評価の方法

定期試験は行わないが、毎時間、口答対話を行い、それを総合して年度末の成績として評価する。

教科書

テキストは教室で配布する。

その他

ビデオ、カセットを使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 L L II	^{こばやし} 小林ゲアリンデ	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

ドイツ語を1年(LLまたは他のドイツ語科目)で学んだ学生を対象とする。ドイツ語を話し、理解する能力をさらに伸ばし、ドイツ語圏諸国についての知識を広げることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

話す力、とくに正しい発音を習得する。ややこみ入った状況での会話、中級テキストを読む練習をする。

成績評価の方法

定期試験は行わないが、毎時間、口答対話を行い、それを総合して年度末の成績として評価する。

教 科 書

Themen 1 neu

そ の 他

ビデオを使用する。

科外
国
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 I A (選)	^{いがらし のぶ こ} 五十嵐 信子	全学科選	2

講義のねらい

1年間でドイツ語の基礎的な力をつけることを目指します。発音からはじまり、動詞、冠詞、名詞、形容詞、前置詞…とすすんで一通りの文法を学び、1年の最後には、辞書を引ながらやさしいドイツ語の文章を読むことができるようになるでしょう。ドイツ語を身につけることは、ドイツ語圏への鍵を手に入れることになるのです。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) ドイツ人の発音のテープを聞き、それを声に出して発音することで、ドイツ語を聞き取り、また正しく発音することを学びます。
- 2) ドイツ語の文法をしっかりと理解し、くりかえし練習して身につけます。
- 3) 同時に良いドイツ語の例文に多く触れて、楽しくそのルールを感得します。
- 4) やさしいドイツ語会話を学びます。

履修上の留意点

新しい言葉を学ぶことは、本来楽しいことです。それは新しい世界への発見の旅だからです。しかし言語はどの部分も不可欠な建造物のようなものです。それゆえこの時間は、休まず出席して下さい。

成績評価の方法

年2回の試験および時間内の小テストを行ない、これに出席、授業への参加態度などを加味して評価します。

教 科 書

橋本政義・橋本淑恵著『楽しく身につくドイツ文法』(白水社) 1,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 I B (選)	野 島 利 彰 <small>の じま とし おき</small>	全学科選	2

講義のねらい

CDつき教科書を使い、音からドイツ語を学びます。ドイツ語は発音と文字とが一致しており、また難しい音も少ないので、練習すればすぐ上手に発音できるようになります。

講義の内容・
授業スケジュール

教場ではCDを聞きません。授業でテキストの音読を指名します。自宅で十分CDを聞き、音読練習もしておいてください。

履修上の留意点

教科書には多数の練習問題があります。答えられるよう予習をしてください。

成績評価の方法

3課ごとに1回ヒアリングテストを行います。このテストと定期試験(筆記試験)の成績が評価の大きな基準になります。

教 科 書

三室・シュレヒト著『ドイチュ・プラクティッシュ<グリーン>』(三修社) 2,500円

参 考 書 等

ドイツ語の辞書は最初は引きにくいのですが、すぐに慣れます。二年度でもドイツ語を履修する人、将来大学院まで進む人は簡単な辞書を買わず、しっかりした辞書にしてください。

そ の 他

ラジオやテレビのドイツ語講座も役に立ちます。ぜひ視聴してください。

科外
国
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ド イ ツ 語 II (選)	松 岡 晋 <small>まつ おか すずむ</small>	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

初等文法の知識を基礎にして、より多くのドイツ語の文章を読んでみようというのがこの授業のねらいです。

講義の内容・
授業スケジュール

授業は下に掲げる教科書に即して行われます。各課は読章(1~2ページからなるドイツ語の文章)、文法説明および練習問題からなっています。文法説明は最小限度にとどめ、ドイツ文の読解に専念します。独和辞典を毎回、必ず持参してください。なお教科書が早く終わった場合には、他の教材(短い新聞記事など)をコピーで配布して読む予定でおります。

履修上の留意点

ドイツ語の文章に慣れてもらい、今後、新聞・雑誌等のより難しい文章を読むための基礎を築きたいと考えております。さほど難しくない教科書をゆっくり進めますので、定期的な出席と最低限度の予習をお願いします。

成績評価の方法

成績評価は、最低限二回以上行われる筆記試験および平常点(出席率、担当箇所の和訳をきちんと行ったかどうか等々)によって行います。

教 科 書

諏訪功ほか著『文法読本——ヨーロッパとは何か(新訂版)』(郁文堂) 2,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語外国書講読	こ だま なり お 夫 小 玉 齊 夫	全学科3・4選	4

講義のねらい

国際的な医療援助団体の活動をとおして、フランス語の読解力を高めるのが目的です。同時に、その前提となる国際協調・連帯の実相を知ること。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、文法の復習も含めて、ゆっくり読んでいきます。後期は、他の資料にも依拠しながら、速読の練習もしたいと思っています。

履修上の留意点

かならず、授業には出席して、フランス語の文の仕組みを把握する意欲を高めていくこと。

成績評価の方法

前期・後期の試験、ふだんの課題のこなしかた、等によって評価します。

教 科 書

ブローマン著、桜井編 『ボランティアとその体験から一国境なき医師団の挑戦』（朝日出版社）1,800円
ISBN4-255-35157-0 C1085

科外
国
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
時事フランス語	おお の ひで し 大 野 英 士	全学科3・4選	4

講義のねらい

『ル・モンド』『ル・ヌーヴェル・オブセルヴァトゥール』など、フランスを代表する新聞、雑誌から抜粋した記事を読むことで、文法力・語彙力をアップすると共に、フランスの現代社会の諸相を学びます。

講義の内容・
授業スケジュール

教室でプリントを配布し、ポイントや難解な表現についてあらかじめ説明しますので、出席者は十分予習してきてください。それをもとに出席者にあてて、順番に訳してもらいます。内容について互いに議論したり、適宜、関連した話題に関するテレビ・ニュースなども活用したいと思います。

履修上の留意点

分からないことは遠慮なく質問してください。何度でも丁寧に説明します。一方的に教師の説明を聞くのではなく、学生の主体的・積極的な授業への参加を期待します。

成績評価の方法

出席、平常点、前期末のテスト、定期試験の総合点で評価します。

教 科 書

教室でプリントを配布します。

参 考 書 等

『ロワイヤル仏和中辞典』（旺文社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
上 級 フ ラ ン ス 語	こ だ ま な り お 夫 小 玉 齊 夫	全学科3・4選	2

講義のねらい

「上級フランス語」クラスでは、フランス語検定試験に合格することをめざして、文法事項の再確認とともに、聞きとり、作文、ならびに会話についての実力を養うことを目指しています。さしあたっては4級および3級に受かるように、1、2年次の知識を復習し、視聴覚教材も用いて、可能なかぎり、総合的なフランス語能力を身につけるよう、勉強していく予定です。

講義の内容・授業スケジュール

下記の教科書を用いますが、他に、こちらで準備するプリント教材あるいはビデオ教材なども、使っていく予定です。前期は、主として、これまでの復習に、後期は、その展開という風に、段階を追って進んでいくつもりです。

履修上の留意点

出席するのが楽しい授業、でなくては、会話などに心を配る余裕が出てきません。つとめて、そのようにしたいと思いますので、「遊び心」も持って参加して下さい。フランス語の聞き取りは、「ある日、突然に」、それまで理解できなかった表現も、分かってくるものです。初めの「難しさ」にめげずに、突然訪れて来る「その日」をめざして、地道に練習を続けていく心構えがたいせつです。

成績評価の方法

随時提出する宿題や、年末の試験で評価しますが、仏検に合格することも目標なので、従って評価に含まれることにもなります。

教 科 書

石野、松山 等 著 『フランス語21』（白水社）2,400円
ISBN4-560-06026-6 C3085

参 考 書 等

『現代和仏小辞典』（白水社）。フランス語彙を増やすためにも、必要です。

科外
国
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 L L I	ラリア・三倉、M. みくら	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

フランス人講師や教材のフランス語を聞きながら、学生が簡単なフランス語で表現力を身につけることを学ぶ。

成績評価の方法

筆記試験はしない。授業の平常評価と簡単な口頭面接評価。

教 科 書

H. TAKAHASHI, S. GIUNTA 『P.P.P (ペーペーパー) Présenter Pratiquer Produire』（第三書房）2,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 L L II	ラリア・三倉、M. みくら	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

フランス語の基礎学習の経験のある学生のためのクラスです。生徒は小さなグループにわかれ、フランス語会話をたくさんすることで発音、表現力の向上をめざします。尚、ビデオで現在のフランスの若者の生活パターンが多く紹介されているので、それに触れながら楽しく学習できます。

成績評価の方法

筆記試験はしない。授業の平常評価と口頭面接評価。

教 科 書

MONNERIE 著 BIENVENUE EN FRANCE TOME 1 (Didier HATIER)
プリント資料を学生に与えますので、学生は、格別に教科書を買う必要がありません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語 I A (選)	井 田 清 子 <small>い だ きよ こ</small>	全学科選	2

講義のねらい

フランス語の初級文法を中心に基本的知識をマスターできるように学習します。文法事項のみにかたよらず、パリの生活情景を主題とした読本としても楽しめます。文章体と会話体とを同時に身につけましょう。

講義の内容・
授業スケジュール

パリを中心とした生活が身近に感じられるよう、文章と会話を生きたフランス語として習得します。

履修上の留意点

辞書をひく手間を惜しまず、自分で面白さを味わってください。

成績評価の方法

前期・後期の試験を中心に、通常点も加味します。

教 科 書

山崎庸一郎他『パリのどこかで』（第三書房）1,900円

科外
国
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語 I A (選)	伊 藤 な お <small>い とう なお</small>	全学科選	2

講義のねらい

一年間かけてフランス語文法の基礎を習得し、実際に運用できるようになるための基礎固めをします。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストは、簡単な対話文をもとに基本単語と平易な日常表現によってフランス語の基礎を習得するよう組み立てられています。テキストにそって各文法事項を理解したうえで、聞き取り問題も含めた練習問題に取り組みます。発音練習と音読には力を注ぎます。テキストに付属する現地ロケによるビデオも覗いてみましょう。

履修上の留意点

選択科目ではありますが、できるだけ毎回出席し、授業には積極的に参加してください。

成績評価の方法

平常点、前・後期試験によって判定します。

教 科 書

藤田祐二『彼女は食いしん坊!』（朝日出版社）2,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語 I B (選)	おおのひでし 大野英士	全学科選	2

講義のねらい

フランス語を全く知らない初心者を対象に、フランス語の基礎的な文法知識を学習しつつ、特に、話す、聞く、読む、書く能力を無理なく、バランスよくつけてもらうことを目標として授業を行います。

講義の内容・授業スケジュール

『新エスカルゴ』は、各課ごとにそれぞれ「挨拶する」「自己紹介する」「家族・年齢を言う」などと、日常生活のなかで遭遇する実践的な課題を設定し、それを言うために必要な文法事項や、関連表現を学ばせるというきわめて合理的な構成になっています。1年で1冊を終わらせます。習った知識を確認するため『練習問題ABC』を適宜併用します。

履修上の留意点

授業中は、恥ずかしがらないで、大きな声で積極的に授業に参加してください。その上で、教科書に出てくる会話は暗記するぐらい声を出して、何度も読んでください。「練習」はできれば予習の段階で、あらかじめ準備してきてください。

成績評価の方法

授業中の小テスト、前期末のテスト、定期試験の三つの総合点で評価します。

教科書

藤田裕二著『新・えすかるご1』（朝日出版社）2,500円
加賀山孝子他『フランス語練習問題ABC』（早美出版社）2,000円

参考書等

『フランス語動詞活用表』（駿河台出版社）800円

その他

辞書等は、授業の開始時に簡単なガイダンスを行います。

科外
国
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フランス語 I B (選)	すがわらたけし 菅原 猛	全学科選	2

講義のねらい

英語以外にも外国語の一つ位は知っておく必要があることは世界中の常識。

講義の内容・授業スケジュール

I A を補完するかたちで授業を進め、1年間の限られた時間枠の中でフランス語を読解する基礎知識を身につける。

履修上の留意点

教科書・辞典を持参し、可能なかぎり出席すること。

成績評価の方法

平常の授業、平常試験と学年末試験をプラスし、総合的な評価を出す。

教科書

澤田直之・黒川学他著『アミカルマン—フランス語・フランス文化への誘い—』（駿河台出版社）2,500円 ISBN4-411-01093-3 C1085

科外
国
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
フ ラ ン ス 語 Ⅱ (選)	くわ た のり あき 桑 田 禮 彰	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

フランス語中級。フランス語の基礎を既に習得した者を対象にします。

講義の内容・
授業スケジュール

比較的簡単で興味深い最新の時事フランス語の文章を読んでいます。発音の基本を確認しつつ、文法事項についても、できるかぎり分かりやすく説明するつもりです。フランス語の基礎を終えた人は、ぜひこの授業を取って、もう一步踏み込んだフランス語の魅力、フランスの魅力に触れてください。

履修上の留意点

最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教 科 書

長谷川公昭他著『時事フランス語 (2004年度版)』(朝日出版社)

参 考 書 等

そのつど授業で指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中 国 語 外 国 書 講 読	さ とう ふみこ 佐 藤 普 美 子	全学科3・4選	4

講義のねらい

《声に出して読みたい》中国語で書かれた文学作品（主として詩歌、エッセイ、短篇小说）を読んでいます。

講義の内容・
授業スケジュール

一つの作品を読み終えた後、必ずその文章（の一節）を暗誦してもらいます。

履修上の留意点

予習は不可欠です。

成績評価の方法

出席、予習の有無、暗誦テストによって総合的に評価します。

教 科 書

開講時、プリントを配布します。

参 考 書 等

辞書は必ず用意して下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事中国語	しお 塩 ばた 旗 しんいちろう 伸一郎	全学科3・4選	4

講義のねらい

インターネットで中国の各サイトを訪れ、速読と精読の2種のアプローチにより、様々な文体を読み解く力を養う。併せて中国語入力や検索の体験学習も行う。

講義の内容・授業スケジュール

見出しとリード中心の速読は、ピンインのルビを振るソフトの導入により、その場で声に出して読むことができる。精読は、じっくりと文の構造を捕える練習を積む。

履修上の留意点

精読教材は予習が不可欠。教材等、授業に関する情報は下記 URL に掲示するので常時チェックすること。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~siop/jiji.html>

成績評価の方法

平常点。

教科書

ネット上で採取し、上記 URL に掲示。

参考書等

辞書は『中日辞典』（小学館）、『中日大辞典』（大修館書店）、『講談社中日辞典』、『白水社中国語辞典』を推奨する。これらより薄いものや、中日・日中を一冊で兼ねる安あがりな辞書は、役に立たない。

その他

PC教場使用を要望しているが、教場変更の可能性もあるので、掲示に注意すること。

科外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
上級中国語	かま 釜 や 屋 おさむ 修	全学科3・4選	2

講義のねらい

比較的長い文章の解釈、実際の会話能力の向上をめざす。新聞文体、短篇小説、随筆等多様な文体に挑戦してもらう。

講義の内容・授業スケジュール

参加者が自らの関心の所在に沿って担当分野を選択し、朗読、翻訳を行う。教材を通して現代中国のさまざまな状況を理解し、討論する。

履修上の留意点

出席し、予習をきちんと行い、問題点の整理を行うこと。

成績評価の方法

平常点、授業態度を中心に判定。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

中辞典以上の辞典を必要とする。

科外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 L L I	佐藤 普美子	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

初級用のテープ教材を用い、会話と聴き取りの基礎訓練を行う。すでにIA-IBの単位を取得しているか、それと同程度の学習経験のある人を対象とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業では基礎的な文法・文型の徹底的な習得を旨とする。耳と口の反復練習を大量に行い、中国語の基礎を、文字でなく音で身につけてほしい。

履修上の留意点

予習は必要ないが、復習と自習は不可欠。また教科書付録のCDを活用して、毎日、中国語を口にし耳にしてほしい。

成績評価の方法

平常点（出席及び授業への参加意欲）を重視。

教科書

董燕・遠藤光暁『話す中国語 北京篇3』（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 L L II	小川 隆	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

最初に発音の復習を行い、その後テープを使って、中級でいどの会話と聴き取りの練習をする。週1回、年20数回の授業では、練習量が絶対的に不足なので、授業のほかに毎日の音読と暗誦を課す。それさえ怠らないなら、現在の基礎学力に自信がない人でも、充分について行けると思う。

履修上の留意点

短期・長期の留学をめざす人は、ぜひこの科目をとるようにして下さい（個別に学習の相談に応じます）。

成績評価の方法

出席および毎回の暗誦の成果をもとに平常点評価。

教科書

楊凱栄『表現する中国語』（白帝社）2,400円（CD付）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 I A (選)	釜屋 修	全学科選	2

講義のねらい

中国語発音の基礎、語法のしくみについての基本理解の獲得を中心とする。ピンインの習得と正確な発音の学習に重点をおく。

講義の内容・授業スケジュール

週一回の授業なので学習量の不足が心配となる。課題の消化、テキストについているCDを活用した家庭学習が望まれる。

履修上の留意点

I B (選) とあわせて受講できるが、この科目のみを履修する人は、学習機会が週一回となるので欠席は大敵である。

成績評価の方法

出席状況、平常の学習の積極性、平常点と期末テストの成績等を総合的に判定する。

教科書

守屋宏則『フォーアップ初級中国語』（同学社）2,500円

参考書等

開講後指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I A (選)	みやもと あつこ 宮本厚子	全学科選	2

講義の内容・
授業スケジュール

発音を学んだ後、会話文を通して、基本的な文法を学び、語彙を増やしてゆく。

履修上の留意点

毎回暗誦あるいは聞き取り（小テスト）を行うので十分に復習をして授業に臨むことが求められる。

成績評価の方法

年に4回の筆記試験（前後期末試験を含む）と平常点（暗誦・小テストを含む）で評価する。

教科書

『新版』中国語はじめの一步』（白水社）2,200円。

その他

詳細は開講時に説明する。

科外
国
目
語

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 I B (選)	らん めい 蘭 明	全学科選	2

講義の内容・
授業スケジュール

前期は最初の一カ月（4回に分け）において、ピンインを読めるように集中的練習をする。その後、簡単な会話の練習に進む。後期は、やさしい日常会話を中心におき、授業を展開する。

成績評価の方法

出席など授業姿勢に評価の重きを置く。前後期二回に分け試験を行う。

教科書

董燕・遠藤光暁『話す中国語 北京篇1』（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語 II (選)	まつもと あつとし 松本丁俊	全学科2・3・4選	2

講義の内容・
授業スケジュール

外国人である日本人が中国人に接したとき言うべき言葉、言うべき表現など実用面の中国語。中国語を学んでもまらない田中さん夫婦の北京旅行という設定で、挨拶から始まり、買物、食事といった日常生活に限られた会話を学ぶ。

成績評価の方法

前期と後期のテストを重点とし、普段授業中の発音、練習問題、さらに出席点も加味する。

教科書

王元武・鶴島俊一郎『北京旅行』（白帝社）1,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語外国書講読	ま しも ゆう いち 真 下 祐 一	全学科3・4選	4

講義のねらい

新聞記事から文学作品まで様々な分野のスペイン語テキストの読解力を養います。精密な読解力は個性ある表現力の基礎ともなります。思考力を鍛え、感覚を研ぎ澄まし、感情を豊かにするための場として講読を役立ててください。今年はイスパノアメリカ文化史をテーマにします。

講義の内容・授業スケジュール

前期 (1~3) 先住民文化 (4~6) アメリカの発見 (7~9) 植民地時代 (10~13) 独立期
後期 (14~16) 独立後 (17~19) 近代化時代1 (20~22) 近代化時代2 (23~26) 現代

履修上の留意点

現代のスペイン語文に親しんでもらうため、できるだけ多量のテキストを読んでもらいます。予習復習は欠かせません。また個々の受講者の興味、関心、専攻と結びつけてテキストに関してのコメントを求めます。動機を明確にしておきましょう。

成績評価の方法

毎回の積極的な授業参加と各回の達成度チェックによって評価します。

教科書

初回の授業でテキストと入手方法を伝えます。

科外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
時事スペイン語	ま しも ゆう いち 真 下 祐 一	全学科3・4選	4

講義のねらい

新聞記事や雑誌のコラムを読みながら、スペイン語の報道言語、論説文に親しみます。日本で発行されているスペイン語新聞やインターネットを通して、日本の出来事がどのように伝えられているかにも注意しましょう。予習してきた文書を読むほか、その場での速読も課します。

講義の内容・授業スケジュール

前期 1~3) 新聞記事のスペイン語 (スペイン) 4~6) 新聞記事のスペイン語 (メキシコ) 7~9) 新聞記事のスペイン語 (アルゼンチン) 10~13) 新聞記事のスペイン語 (その他の地域)
後期 14~16) 雑誌コラム (国際情勢) 17~19) 雑誌コラム (文化) 20~22) 雑誌コラム (その他) 23~26) スペイン語で見た日本

履修上の留意点

予習・復習は欠かせません。スペイン語圏に真面目に関心のある学生の受講を期待します。

成績評価の方法

毎回の授業参加と、各回の達成度チェックによります。

教科書

随時プリントを配布します。インターネットも活用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
上級スペイン語	うえの かつひろ 上野 勝 広	全学科3・4選	2

講義のねらい

このクラスでは、スペイン語検定試験（3級・4級）に合格することを目標にします。既習の文法事項を随時復習しながら、聴解・会話・読解・作文の各技能を伸ばし、総合的なスペイン語力を身につけられるようレッスンを進めます。

講義の内容・授業スケジュール

作文については年間を通じ下記のテキストを用いて、1回の授業で10ページくらい進めます。読解はインターネットのオンライン教材およびプリント、聴解・会話はビデオ・CD等の視聴覚教材を利用してゆきます。

履修上の留意点

「継続こそ力なり」です。休まずさぼらず目標に向かって頑張れる意欲に満ちた受講者を歓迎します。また授業の学習成果を最大限あげるために、何より集中力が大切です。

成績評価の方法

年間4回の試験の結果（60%）と平常点（40%）を総合して評価します。

教科書

小池和良『スペイン語作文の方法・構文編』（第三書房）2,500円

科外
国
語

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 L L I	ナバロ, ホワン J.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

スペイン語の基礎知識がある学生のための授業です。授業中に配布されるプリントの文章や会話について問題を出します。日常会話でよく用いられる表現を聞き取り、話すことができるよう練習します。

成績評価の方法

授業中の練習への参加と出席で評価します。特別試験も実施します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 L L II	ナバロ, ホワン J.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

スペイン語の基礎知識がある学生のための授業です。授業中に配布されるプリントの文章や会話について問題を出します。日常会話でよく用いられる表現を聞き取り、話すことができるよう練習します。

成績評価の方法

授業中の練習への参加と出席で評価します。特別試験も実施します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I A (選)	みやま たつろう 宮地達郎	全学科選	2

講義のねらい

スペイン、中南米の国語スペイン語は国連の公用語6ヶ国語の一つでもあり、米国ではヒスパニックの人口比率が黒人を抜き最大となっている。米国におけるスペイン語の必要性は現在でも大きく、さらに増大することは必至である。従って、国際社会におけるスペイン語の重要性を認識させ興味を持続させることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

基礎文法の徹底が目的。前期は英語との違い、特に性数一致、動詞の変化（現在形）に重点を置く。後期は過去形、未来形、できれば接続法まで入ることが目的。

履修上の留意点

欠席が多い場合、前回の授業内容が分からなければ、その回の授業についていけなくなる。スペイン語は他の外国語より易しいという先入観を持ったり、英語が苦手だからという簡単な理由で受講しても単位取得は簡単ではないことを認識して受講してほしい。

成績評価の方法

出席率、授業中の態度、テストの3点を総合して評価する。

教科書

宮本博司著『ようこそスペイン語の世界へ』（大学書林）

参考書等

推薦辞書：『現代スペイン語辞典（西和および和西）』（白水社）
『スペイン語ミニ辞典』

科外
国
語

科目名	担当者名	配当学科	単位
スペイン語 I B (選)	かめ やま こういち 亀山晃一	全学科選	2

講義のねらい

初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を確実に習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当って役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習継続の為の動機付けとしたい。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしない。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書

開講時、指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語Ⅱ(選)	おぎのまさし 萩野雅司	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

スペイン語Ⅰで学習したものをさらに広く深く学ぶことで実際に使えるスペイン語を習得し、3億人といわれるヒスパニック圏の人々を行う communication の術を身に付けることを狙いとしています。

講義の内容・授業スケジュール

上記の目的を達成するために、一方でスペイン語Ⅰで得た知識を今一度リフレッシュしながら、新しい領域に進んでいきます。この過程では教科書以外に、プリント、テープ、ビデオ等を通じて実際に使われている、生きたスペイン語にも接していきます。

履修上の留意点

言葉の学習には継続が肝要ですから、年間を通じて、コンスタントに出席できる学生の受講を期待します。

成績評価の方法

成績の評価に当たっては、テストの成績よりも、むしろ日頃の受講態度を重視します。

教科書

佐藤玖美子著『新・何を話しましょうか』(芸林書房)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語外国書講読	ひろたひでやす 廣田英靖	全学科3・4選	4

講義のねらい

1~2年で得たロシア語の基礎力のうえにさらに読解や表現力の応用を身につけることを目標とします。最新ロシア情勢をふまえた読みもの、クロコディール、ノーヴォエ・プレーミヤ等を取りあげて様々なスタイルのロシア語文に馴れるようにします。ロシア語の文章を眼で追うだけでなく、その中に書かれている内容を正しく伝達することも重要です。このためには正しいイントネーション、発音、表現が必要なことは言うまでもありません。

授業では簡単な読みものを読むだけでなく、普通に話しているロシア人の声もきき、発話の練習もしてもらいます。

成績評価の方法

出席を重視し、平常点で評価します。

教科書

プリント配布

参考書等

『露和辞典』

その他

状況に応じて、総合情報センターの教場新システムを利用し、インターネットによるロシアのメディアをリアルタイムに解説、紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事ロシア語	木村英明	全学科3・4選	4

講義のねらい

1991年のソ連邦崩壊以降、長く政治的、経済的に迷走を続けてきたロシア社会だが、この数年はプーチン政権下で一定の安定を取り戻しつつある。豊かな天然資源、人的資源に恵まれたロシアの国際政治に及ぼす影響力や、21世紀の文化創造に向けて秘めている潜在力は看過できない。この授業では、そんなロシアの動向にじかにロシア語で触れていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

ロシアの政治、経済、文化に関する平易な記事や論文を講読する予定だが、ビデオ等の映像教材も用いることにする。テキストは適宜プリントの形で配布する。

履修上の留意点

各自が、授業を通じて自分の問題意識と出会えるよう、アクティブな授業参加を望む。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価する。

科外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
上級ロシア語	クロチコフ, Y.	全学科3・4選	2

講義のねらい

会話練習。
簡単な新聞、雑誌の記事、文学書を辞書を用いて講読します。
講読した内容について自由会話を行う。
ロシア語を通して世界を広げていきましょう。

成績評価の方法

平常点で評価します。

教科書

教場にて指示します。プリント配布。
学生の要望も考慮してテキストを選びます。
ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 L L I	安徳ニーナ	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

ロシア語 I、II で学んだことを基に、日常会話からロシア文学への入門ができることを目標とします。
日常の話題等についても自由に会話が出来ようになることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

教科書にもとづいて会話形式に講義を進めます。

成績評価の方法

講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

教科書

S, KHAVRONINA 著 *RUSSIAN AS SPEAK IT* (ナウカ社)

参考書等

必要に応じてその都度資料を配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシ ア 語 L L II	あん とく 安 徳 ニーナ	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

日常会話からロシア文学への入門、新聞、雑誌を読みこなせることを目標とします。また自由に会話ができるようになることをめざします。

講義の内容・授業スケジュール

資料にもとづいて会話形式に講義を進めます。

成績評価の方法

講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

教 科 書

新聞、雑誌の記事など必要に応じてその都度資料を配布します。(学生の希望も考慮します。)

そ の 他

講義の状況に応じビデオ等を使用し「現在のロシアとロシア語について」説明と話もします。

科外
国
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシ ア 語 I A (選)	クロチコフ, Y.	全学科選	2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボディー・ランゲージを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
- 6) 教科書を使用して、コミュニケーションに欠かせない基本的な日常会話を習得していきます。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に慣れてきたらCDを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらうようにします。授業で各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員がやさしく指導してくれますので恥ずかしがらないことが大切です。

講義の内容・授業スケジュール

前期は発音やアクセントに重点をおき、後期は短文の読みや文法をくり返し学びます。

成績評価の方法

テストは行わず、平常点で評価。

教 科 書

『21世紀のロシア語』(大学書林) 1,800円、プリント配布。
ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 I B (選)	木村英明	全学科選	2

講義のねらい

日本の隣国ロシアはソ連崩壊後の長い混迷から抜け出し、21世紀の経済的、文化的飛躍の道をたどり始めています。ロシアの人々とじかにコミュニケーションできる機会、必要性は日本でも高まりつつあります。この授業では、言葉を通してロシアの習慣や文化にも触れていきたいと思ひます。

講義の内容・授業スケジュール

この授業では、簡単な日常会話表現をもとにして、初歩の文法を速習します。音声面を重視して、できるだけコミュニケーションに役立つロシア語を学習します。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

教科書

桑野隆『エクスプレス・ロシア語』(白水社)をもとに、必要に応じて適宜プリントを配布します。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語 II (選)	佐野朝子	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

ロシア語Iで学んだことを基に、ロシア文学を理解できることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

教科書にもとづいて会話を主体的に講義を進めます。

履修上の留意点

講義で時々行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

成績評価の方法

平常点で評価します。

教科書

S.KHAVRONINA 著 RUSSIAN AS WE SPEAK IT (ナウカ社)

参考書等

必要に応じてその都度資料を配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
朝 鮮 語 I A (選)	<small>そん</small> 宋 <small>みりょん</small> 美 玲	全学科選	2

講義のねらい

同一の教員が同一の教科書をもって週2回の授業を行う。Aクラスは会話中心、Bクラスは文法中心という方針である。朝鮮語の文字と発音、語彙と文法の基礎を獲得し、朝鮮語を学び朝鮮語に触れることの楽しさを堪能することを目指す。同時に韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いも試みる。

講義の内容・
授業スケジュール

文字と発音の基礎を学び、実用的な会話文を中心に基本的な文法および表現を学習する。基本的な学習の内容はA、Bクラス同様であるが、後期からはAクラスでは、口頭練習および聞き取りと書き取り、Bクラスでは、文法事項による作文や読解などに力を注いでいく。

履修上の留意点

最初の文字と発音に慣れていくまでがその後の進歩と楽しさを決定するので、4月、5月はとりわけ熱心に取り組んでほしい。

成績評価の方法

授業への参加度、学習態度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。

教 科 書

長谷川由紀子著『コミュニケーション韓国語（会話編1）』（白帝社）1,890円

参 考 書 等

野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』（ナツメ社）1,000円

科外
国
語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
朝 鮮 語 I B (選)	<small>そん</small> 宋 <small>みりょん</small> 美 玲	全学科選	2

講義のねらい

同一の教員が同一の教科書をもって週2回の授業を行う。Aクラスは会話中心、Bクラスは文法中心という方針である。朝鮮語の文字と発音、語彙と文法の基礎を獲得し、朝鮮語を学び朝鮮語に触れることの楽しさを堪能することを目指す。同時に韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いも試みる。

講義の内容・
授業スケジュール

文字と発音の基礎を学び、実用的な会話文を中心に基本的な文法および表現を学習する。基本的な学習の内容はA、Bクラス同様であるが、後期からはAクラスでは、口頭練習および聞き取りと書き取り、Bクラスでは、文法事項による作文や読解などに力を注いでいく。

履修上の留意点

最初の文字と発音に慣れていくまでがその後の進歩と楽しさを決定するので、4月、5月はとりわけ熱心に取り組んでほしい。

成績評価の方法

授業への参加度、学習態度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。

教 科 書

長谷川由紀子著『コミュニケーション韓国語（会話編1）』（白帝社）1,890円

参 考 書 等

野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』（ナツメ社）1,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
朝鮮語Ⅱ(選)	宋 ^{そん} 美 ^み 玲 ^{りょう}	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

初級における基本的な文法の内容をふまえ、日常生活での基礎会話が話せるようにする。また、韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いを試み、資料の読解及びビデオの鑑賞を通して、実践的な習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

初級のテキストをもって、基本的な文法及び表現に基づいた文型練習を行う。また、口頭練習を通して聞き取り及び書き取りの能力を、プリントの資料をもって読解の能力を強化していく。

履修上の留意点

テキストの復習・予習など、積極的な授業への参加が望ましい。

成績評価の方法

授業への参加度、学習態度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。

教科書

- 1) 野間秀樹著『至福の朝鮮語』（朝日出版社）2,900円
- 2) 野間秀樹著『暮らしの単語集 韓国語』（ナツメ社）1,000円

その他

書き取りと聞き取りの練習のため、ノートを必ず持参すること。
『暮らしの単語集 韓国語』で単語のテストを行う。

科外国語

4. 保 健 体 育 科 目

科
保
健
体
育
目

保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を通して展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを享受する能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティーを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

4. 保健体育科目

健康・スポーツ実習 (テニス)	〈江口 淳一〉	267
健康・スポーツ実習 (室内球技)	〈川村 正義〉	268
健康・スポーツ実習 (卓球)	〈佐藤 政之・村松 誠〉	269
健康・スポーツ実習 (ジョギング)	〈佐藤 政之・森本 葵〉	270
健康・スポーツ実習 (簡化太極拳)	〈末次 美樹〉	271
健康・スポーツ実習 (キックボクササイズ)	〈末次 美樹〉	271
健康・スポーツ実習 (ソフトボール)	〈鈴木 淳平〉	272
健康・スポーツ実習 (空手道)	〈高橋 俊介〉	273
健康・スポーツ実習 (体操・トランポリン)	〈竹田 幸夫〉	274
健康・スポーツ実習 (ゴルフ)	〈館岡 儀秋・森本 葵〉	275
健康・スポーツ実習 (トレーニング)	〈光 永 吉輝〉	276
健康・スポーツ実習 [再クラス] (室内球技)	〈田中 佳孝・長濱 友雄〉	277
健康・スポーツ実習 [再クラス] (室内球技)	〈鈴木 淳平〉	278
健康・スポーツ実習 [再クラス] (簡化太極拳)	〈大石 武士〉	278
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (サッカー)	〈秋田 浩一〉	279
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (卓球)	〈川村正義・山口 良博〉	280
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (バドミントン)	〈牧野 茂〉	281
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (ソフトボール)	〈高橋 俊介・村松 誠〉	282
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (室内球技)	〈鈴木 淳平〉	283
健康・スポーツ実習 [再クラス] 集中授業コース (トレーニング)	〈山口 良博〉	284
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期/基礎 (簡化太極拳)	〈大石 武士〉	285
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期/基礎 (バドミントン)	〈長濱 友雄〉	286
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期/基礎 (室内球技)	〈鈴木 淳平〉	287
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期/基礎 (卓球)	〈牧野 茂〉	287
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期/基礎 (バスケットボール)	〈牧野 茂〉	288
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期/応用 (簡化太極拳)	〈大石 武士〉	289
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期/応用 (ニュースポーツ)	〈大石 武士〉	290
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期/応用 (バドミントン)	〈長濱 友雄〉	291
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期/応用 (室内球技)	〈鈴木 淳平〉	291
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ前期・後期/応用 (バドミントン)	〈鈴木 淳平〉	292

生涯スポーツ実習 I～IV前期・後期／応用（卓球）	〈牧野 茂〉	293
生涯スポーツ実習 I～IV前期・後期／応用（バスケットボール）	〈牧野 茂〉	294
生涯スポーツ実習（集中前期）（テニス集中）	〈江口 淳一〉	295
生涯スポーツ実習（集中後期）（テニス集中）	〈江口 淳一〉	296
生涯スポーツ実習（集中後期）（ゴルフ集中）	〈三幣 晴三〉	297
生涯スポーツ演習（シーズン前期）（ゴルフ）	〈森本 葵 他〉	298
生涯スポーツ演習（シーズン後期）（スキー・スノーボード）	〈鈴木 淳平 他〉	299
健康・スポーツ論 1	〈佐藤 政之〉	300
健康・スポーツ論 1	〈森本 葵〉	301
健康・スポーツ論 2	〈大石 武士〉	302
健康・スポーツ論 2	〈村松 誠〉	303
健康・スポーツ論 2	〈牧野 茂〉	304

「健康・スポーツ実習」開講種目一覧

(於：玉川校舎)

月曜日	1時限 (国文)		2時限 (英米文・地理)		3時限 (歴史・社会・心理)	
	※竹田	体操・トランポリン	※江口	テニス	※館岡	ゴルフ
	高橋	空手道	竹田	体操・トランポリン	高橋	空手道
	館岡	ゴルフ	光永	トレーニング	竹田	体操・トランポリン
	光永	トレーニング	森本	ゴルフ	光永	トレーニング
	川村	室内球技	川村	室内球技	森本	ジョギング
	佐藤	ジョギング	佐藤	卓球	江口	テニス
	鈴木	ソフトボール	高橋	空手道	鈴木	ソフトボール
	村松	卓球	鈴木	ソフトボール	村松	卓球
末次	簡化太極拳	末次	キックボクササイズ	末次	簡化太極拳	

※は、科目の主担当者

保健
体育
科目

「生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ」開講種目一覧

(於：本校体育館)

月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日		
1時限										
2時限	長	前期・基礎	大	前期・応用	鈴	前期・応用	牧	前期・応用	牧	前期・応用
		バドミントン		ニューススポーツ※				卓球		バドミントン
	後期・基礎	後期・応用	野	後期・応用		卓球	野	後期・応用	バドミントン	バドミントン
	バドミントン	ニューススポーツ※		卓球		卓球	野	バドミントン	バドミントン	
3時限	長	前期・応用	大	前期・基礎	鈴	前期・応用	牧	前期・基礎	牧	前期・基礎
		バドミントン		簡化太極拳※				室内球技		卓球
	後期・応用	後期・基礎	木	後期・応用	後期・基礎	野	後期・基礎	野	後期・基礎	
	バドミントン	簡化太極拳※		室内球技	卓球		野		バドミントン	バドミントン
4時限	大	前期・応用	石	前期・基礎	鈴	前期・基礎	鈴	前期・応用	木	前期・応用
		簡化太極拳※						室内球技		バドミントン
	後期・応用	後期・基礎		後期・基礎		後期・応用	後期・応用	後期・応用		後期・応用
	簡化太極拳※	室内球技		室内球技		バドミントン	バドミントン	バドミントン		バドミントン

※印の科目は、本校修道館（第2体育館）にて実施し、それ以外は、本校第1体育館で実施します。

科
保
健
体
育
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (テニス)	えぐちじゅんいち 江口 淳一	文学部全学科(国文除く)1必	2

講義のねらい

テニスは、華やかなプロスポーツから、ファミリーテニスまで色々な技術レベルによって楽しむことができ、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習においては、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サーブ、スマッシュなど基本的なテニスの技術の習得と、ゲームに関するルール、マナーを学ぶことによって生涯を通じて楽しくテニスが行なえる能力と、態度を養うことを目標としている。

また、テニスを教材にスポーツを楽しむという活動や経験を通してスポーツのもつ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、自律的にスポーツのもつ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、自律的にスポーツを生活化する態度を養うことを目指す。さらに、テニスという共通の体験を通して大学時代でなければ得られない人間関係を作り社会性を養うと共に、総合的な人間形成を目指す。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業の日標の説明
- 2 時限目：ラケットイング、ミニラリー
- 3 時限目：フォアハンドグラウンドストロークの基本記述
- 4 時限目：バックハンドグラウンドストロークの基本記述
- 5 時限目：フォアハンドボレー、バックハンドボレー
- 6 時限目：スマッシュ、サーブ、ストロークの応用
- 7 時限目：ストロークの応用とミニゲーム
- 8 時限目：半面でのシングルスゲーム（ゲームを楽しむ）
- 9 時限目：半面でのシングルスゲーム（戦術と応用）
- 10 時限目：半面でのシングルスゲーム（戦術と応用）
- 11 時限目：ダブルスのルールとポジショニング
- 12 時限目：ダブルスゲームを楽しむ
- 13 時限目：より高度なダブルスのゲームへ
- 14 時限目：トーナメント形式の試合の進め方
- 15 時限目：まとめ

科保健
目体育

履修上の留意点

1. 服装は一般的な運動服装とする。
2. テニスシューズを必ず用意すること。
3. ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況、授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうか、または、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (室内球技)	がわむらまさよし 川村正義	国文・英文・地理1必	2

講義のねらい

バスケットボール、バレーボール、バトミントンを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
(バスケットボール)
- 2 時限目：ボールハンドリング、ドリブルシュート、グループ分け
- 3 時限目：ハーフコート2対1、ゲーム (1次リーグ)
- 4 時限目：ハーフコート3対2、ゲーム (1次リーグ)
- 5 時限目：ハーフコート4対3、ゲーム (1・2次リーグ)
- 6 時限目：ハーフコート3対3、ゲーム (2次リーグ)
- 7 時限目：ゲーム (2次リーグ)
(バレーボール)
- 8 時限目：オーバー・アンダーパス、ゲーム (リーグ戦)
- 9 時限目：レシーブ・スパイクの基本、ゲーム (リーグ戦)
- 10 時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの応用、ゲーム (リーグ戦)
- 11 時限目：ゲーム (トーナメント)
(バトミントン)
- 12 時限目：ラケットティング、ミニラリー、スマッシュ、ドロップショット
- 13 時限目：クリアー、ネット・ショット、ダブルスのルール
- 14 時限目：サービス、ストロークの応用、ダブルスのゲーム
- 15 時限目：ダブルスのゲーム

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点 (70点)、実技点 (20点)、態度点 (10点)、60点以上を合格とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (卓球)	佐藤 政之・村松 誠	文学部全学科1必	2

講義のねらい

卓球の様々な技術の向上を図る事により、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルール（シングルス、ダブルス）を理解し、将来、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2 時限目：ラケットイング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 3 時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4 時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
- 5 時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム
- 6 時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
- 7 時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8 時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム
- 9 時限目：シングルスゲーム
- 10時限目：ダブルスゲームのやり方。ダブルスゲームの練習
- 11時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 12時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 13時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 14時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良いが、必ず体育館シューズを用意すること（上履厳禁）。土足の場合は授業を受けることはできない。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

そ の 他

30分以上の遅刻は認めない。とくにゲームの班分けをした後の授業参加は認めない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (ジョギング)	さとう まさゆき もりもと まもる 佐藤 政之・森本 葵	医・薬・生・社・理・必	2

講義のねらい

健康、体力の維持増進を目的として行なわれる走運動、それがジョギングである。普及し始めて約25年位になる比較的新しい種目でもある。健康作りの運動はひとりひとりの体力に応じた運動処方が必要であり、指導者任せのトレーニングにすることなく、その処方を自分自身の手によって立案し、安全に実施することのできる能力を高めることを学習目標とする。実際の内容については、エクササイズ・ウォーキング（速歩）によってジョギングに必要な技術と体力を高めながら、30～60分程度のジョギングを実施することとする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：心拍数測定・諸注意・体重測定
- 2 時限目：エクササイズ・ウォーキング（速歩）
- 3 時限目：〃
- 4 時限目：〃
- 5 時限目：ジョギング（時間走、距離走、初歩のインターバルランニング）
- 6 時限目：〃
- 7 時限目：〃
- 8 時限目：12分間走
- 9 時限目：ジョギング（前半より幾分高度な時間走、距離走、初歩のインターバルランニング、野外走、クロスカントリー）
- 10 時限目：〃
- 11 時限目：〃
- 12 時限目：〃
- 13 時限目：〃
- 14 時限目：12分間走
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

事前にメディカルチェック（心電図、負荷心電図、その他）を受けることが望ましいが、体調を整えて受講とする。（食事をとること、睡眠時間の充分なこと）ジョギングによって相当量の発汗を伴うため着替えの用意が必要である。

成績評価の方法

出席を最重視するが、12分間走に於ける走行距離を得点に加えて評価する。

そ の 他

雨天時は走のための補強トレーニング

保 科
健 体
育 目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (簡化太極拳)	すえ つく み き 末 次 美 樹	国・融・社・融・心理必	2

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとって、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3 時限目：第一組 起勢・左右野馬分鬃・白鶴亮翅
- 4 時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5 時限目：第三組 左攏雀尾・右攏雀尾
- 6 時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7 時限目：第五組 高探馬・右擲脚・双峰貫耳・轉身左擲脚
- 8 時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9 時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10 時限目：第八組 轉身搬蓄捶・如封似閉・十字手・収勢
- 11 時限目：総合
- 12 時限目：総合
- 13 時限目：総合
- 14 時限目：総合
- 15 時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 2) 教場：101教場

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科 保
健 健
目 体
育

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (キックボクササイズ)	すえ つく み き 末 次 美 樹	英米文・地理1必	2

講義のねらい

キックボクササイズとは、キックボクシング・空手道・ボクシング・ムエタイ・マーシャルアーツなどの動きを取り入れ、アップビートな曲と動きを一体化する運動である。持久力強化・腹筋強化・シェイプアップ・バランスアップなどの効果があり、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 次限目：オリエンテーション
- 2 時限目：拳の握り方、基本姿勢の説明
- 3 時限目：ストレート、フック、アッパーの練習
- 4 時限目：キックの練習
- 5 時限目：コンビネーション
- 6 時限目：フットワークの練習
- 7 時限目：コンビネーション (音楽に合わせる)
- 8 時限目：総合
- 9 時限目：総合
- 10 時限目：総合
- 11 時限目：総合
- 12 時限目：総合
- 13 時限目：総合
- 14 時限目：総合
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

- 1) 服装：一般的服装で動きやすいものが良い。その他のものは不用。
- 2) 教場：101教場

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (ソフトボール)	すずき じゅん べい 鈴木 淳 平	文学部全学科1必	2

講義のねらい

ソフトボールは野球と同様1チーム9名で2組が得点を争うゲームである。野球が体育実技で取り上げづらいのは、ある種の経験を要するからであり、ソフトボールは、チームの中で1~2名の未経験者がいてもゲームはある程度成立する。野球は、9回の攻守に対してソフトボールは7回と、時間の区切られた実技に適している。

講義の内容・
授業スケジュール

1時限目：基本練習(キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、打撃練習：トス・ハーフ・フリーバッティング、走塁練習、その他)
2時限目： 〃
3時限目：試合(勝ち点制)
4時限目： 〃
5時限目： 〃
6時限目： 〃
7時限目： 〃
8時限目：審判の仕方(球審、1・3塁審)
9時限目： 〃
10時限目：試合(勝ち点制)
11時限目： 〃
12時限目： 〃
13時限目： 〃
14時限目： 〃
15時限目：まとめ

保 科
健 体
育 目

履修上の留意点

用具：貸与
服装：ユニフォームの着用が必要はないが、実技のできる服装とする。
シューズ：ランニングシューズ、アップシューズは可。野球のスパイクシューズは不可とする。

成績評価の方法

出席を重視し、試合毎の勝ち点も加えて評価する。

そ の 他

雨天時は、視聴覚室において、ルールの解説とビデオ観戦とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (空手道)	たかほし しゅんすけ 高橋俊介	文学部全学科1必	2

講義のねらい

空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内臓諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：空手道の歴史と技の説明
- 2 時限目：自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受
- 3 時限目：閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い
- 4 時限目：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り
- 5 時限目：前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受
- 6 時限目：自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してからの猿臂打
- 7 時限目：総合的に反復して練習
- 8 時限目：総合的に反復して練習
- 9 時限目：2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。
- 10時限目：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。
- 11時限目：総合的に反復して練習
- 12時限目：総合的に反復して練習
- 13時限目：総合的に反復して練習
- 14時限目：総合的に反復して練習
- 15時限目：実技試験

履修上の留意点

服装は、全員が授業用の空手衣を着用する。

成績評価の方法

授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

科保健
体育

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (体操・トランポリン)	たけだ ゆきお 竹 田 幸 夫	文学部全学科1必	2

講義のねらい

「体操」という種目を広義に捉え、健康体操やストレッチ体操、ならびに器械運動を含めた体操の実技を行なう。健康体操については、体のバランスをチェックし矯正するための体操とマッサージ法を紹介する。器械運動では、マットや鉄棒、さらにトランポリンという種目を中心にして、初心者を対象としたやさしい技から難しい技へと段階的に技を修得する。受講者の希望があれば、能力に応じてマット上での後転とび（バック転）まで発展させる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
- 2 時限目：健康体操とストレッチ体操
- 3 時限目：ク
- 4 時限目：マッサージ法
- 5 時限目：ストレッチ体操・マット・トランポリン
- 6 時限目：ストレッチ体操・マット・トランポリン
- 7 時限目：ストレッチ体操・男子：あん馬／女子：平均台
- 8 時限目：ストレッチ体操・男子：つり輪／女子：トランポリン
- 9 時限目：ストレッチ体操・男子：トランポリン／女子：鉄棒
- 10 時限目：ストレッチ体操・男子：平行棒／女子：トランポリン
- 11 時限目：ストレッチ体操・男女とも鉄棒
- 12 時限目：発展技の練習
- 13 時限目：自主練習
- 14 時限目：自主練習
- 15 時限目：まとめと評価

保科 健 体 育 目

履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウェアを用意する。底の薄い体操シューズを用意するのが望ましいが、ソックスでも良い。実技は、玉川体育館1階アリーナの体操場で行なう。なお、体操場にセットされている鉄棒やトランポリンなどの器械は、扱い方を誤ると怪我や事故につながるので、授業時間内の指示を守ること。

成績評価の方法

健康体操および器械運動ともに、毎回授業に出席して実践することに大きな意味がある。とくに器械運動は、技を習得していく過程にも魅力を見出すことのできるスポーツ種目である。したがって、成績は出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、男女それぞれに課題の達成度によって評価していく。易しい技から難しい技まで約40～50の課題を設定しているので、受講生はその中から自分で習得したい技、能力に応じた技を選択する。技の達成度の評価は、受講生同士で行なう。

そ の 他

授業の進行状況に応じて、課題となっている技のビデオ、ならびに体操競技の競技会のビデオを観る。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (ゴルフ)	<small>たておか</small> 舘岡 <small>よしあき</small> 儀秋・ <small>もりもと</small> 森本 <small>まもる</small> 葵	文学部全学科1必	2

講義のねらい

ゴルフゲームは、現在将来ともにより豊かな余暇時間体験を持つことのできる活動として最良の生涯スポーツである。

生涯スポーツとして、ゴルフのラウンドを楽しくプレーすることのできる基礎的知識、技術、及び態度を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：グリップ、アドレス、スイング
- 3 時限目：打撃練習（7・9アイアン）
- 4 時限目：打撃練習（7・9アイアン）・ビデオによるスイング理論の解説
- 5 時限目：打撃練習（5アイアン）
- 6 時限目：打撃練習（5アイアン）
- 7 時限目：打撃練習（W1・W3）
- 8 時限目：打撃練習（W1・W3）
- 9 時限目：打撃練習（アプローチ）
- 10 時限目：打撃練習（アプローチ）
- 11 時限目：打撃練習（パッティング）・ルールの解説
- 12 時限目：打撃練習（パッティング）・ラウンドにおけるマナー、エチケットの解説
- 13 時限目：ラウンド（模擬コース）
- 14 時限目：ラウンド（模擬コース）
- 15 時限目：実技テスト

履修上の留意点

1. 服装は、一般的な運動服装とする。
2. シューズは、運動靴とする。
3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。

成績評価の方法

授業に出席して実習することが重要である。したがって成績は、出席点70%・実技点（実技テストを含む）30%の割合で評価する。

そ の 他

雨天時及び強風などの場合は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。

科保健
目育

科目名	担当者名	配当学科	単位
健康・スポーツ実習 (トレーニング)	みつなが よし てる 光 永 吉 輝	文学部全学科1必	2

講義のねらい

トレーニングとは、運動刺激に対する、人体の適応性を利用して、人体の作業能力をできるだけ発達させる過程であると定義されている。骨、筋肉、靭帯、腱、心臓、肺臓など身体の形態や機能を強化発達させる過程をいい、社会生活をするうえで必要な心身の力を向上させるために行なう練習、訓練である。

近年、科学の著しい発展に伴う様々な社会的環境の変化などから、日常の筋肉運動量が少なくなり、かつまた知育偏重の傾向が一段と高まり、進学競争を低年齢化させ、加えて、栄養の過剰によって肥満傾向となるなど、日常生活における身体運動の必要性が盛んに論じられてきている。一般に日常生活以外に運動を行なわないでいると成長発育期では、体格の発達に体力が伴わない、いわゆる体力低下が見られ若年者でありながら成人病に罹り易い。したがって、これらに対する対抗策の一つとしてトレーニングが必要とされるのである。

講義の内容・
授業スケジュール

初めに体力測定を行ない、各自の体力に応じたトレーニングメニューを作成し、毎時間、ストレッチ体操・エアロビクス（有酸素運動）・ウエイトトレーニングなどを行なう。

ウエイトトレーニングは、米航空宇宙局（NASA）で宇宙飛行上のトレーニングマシンとして開発されたカイザーカムⅡという空気抵抗を利用したマシンを用いて行なう。このマシンは、ダイヤル調整だけで負荷の調節が可能であり簡単でかつ安全なトレーニングマシンである。

授業計画

- 1 時限目：オリエンテーション、体力測定
- 2 時限目：カイザーカムⅡ最大筋力測定
- 3 時限目：〃
- 4 時限目：トレーニング開始 毎時間、最大筋力の1/3～2/3の負荷を各自で選び5～8種類のマシンを、2～3セット行なう
- 5 時限目：トレーニング
- 6 時限目：トレーニング
- 7 時限目：トレーニング
- 8 時限目：負荷を男子は2kg up、女子は1kg up
- 9 時限目：トレーニング
- 10 時限目：トレーニング
- 11 時限目：トレーニング
- 12 時限目：負荷を男子は2kg up、女子は1kg up
- 13 時限目：トレーニング
- 14 時限目：トレーニング
- 15 時限目：体力測定、まとめ

履修上の留意点

服装、トレーニングウェア、体育館シューズ（室内専用）を用意すること。

成績評価の方法

出席、トレーニング内容（毎時間記録をする）、授業への参加意欲、態度を総合的に判断して成績評価とする。

そ の 他

ストレッチ体操の各種、器具のいないトレーニング方法（単独法、対人法）などを各時間に詳しく講義する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(室内球技)	<small>たなか よしたか ながはま ともお</small> 田中 佳孝・長濱 友雄	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

室内で行なう球技（卓球、バドミントン、バレーボール、バスケットボール）の基本技能の習得をベースにして、各種目ともゲーム中心の授業を展開する。いずれの種目とも、将来さまざまな場で「生涯スポーツ」として楽しむことができる種目である。したがって、それぞれの種目の基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについての理解も深めたい。

講義の内容・授業スケジュール

【前期】

- 1 時限目：オリエンテーション、前期授業内容の説明
- 2 時限目：卓 球（ラケットの握り方、フットワーク、ミニゲーム）
- 3 時限目：〃（サービスとリターン、ルールの解説、シングルスゲーム）
- 4 時限目：〃（シングルスゲーム）
- 5 時限目：〃（シングルスゲーム）
- 6 時限目：〃（ダブルスゲームの進め方、ゲーム）
- 7 時限目：〃（ダブルスゲーム）
- 8 時限目：〃（まとめと評価）
- 9 時限目：バドミントン（ラケットの握り方、フットワーク、半面コートでのミニゲーム）
- 10 時限目：〃（ストローク、ドロップショット、スマッシュの練習、シングルス）
- 11 時限目：〃（ルール解説、シングルスゲーム）
- 12 時限目：〃（ダブルスゲームの進め方、ダブルスゲーム）
- 13 時限目：〃（ダブルスゲーム）
- 14 時限目：〃（ダブルスゲーム）
- 15 時限目：〃（まとめと評価）

【後期】

- 1 時限目：オリエンテーション、後期授業内容の説明
- 2 時限目：バレーボール（パスとサーブの技術、ミニゲーム）
- 3 時限目：〃（アタックとブロッキングの技術、ルール解説）
- 4 時限目：〃（フォーメーション、ゲーム）
- 5 時限目：〃（ゲーム）
- 6 時限目：〃（ゲーム）
- 7 時限目：〃（ゲーム）
- 8 時限目：〃（まとめと評価）
- 9 時限目：バスケットボール（パス、ドリブル、ショットの基本技術）
- 10 時限目：〃（レイアップショット、ジャンプショットの技術、ルール解説）
- 11 時限目：〃（ファウルの種類と罰則の解説、ゲーム）
- 12 時限目：〃（ゲーム）
- 13 時限目：〃（ゲーム）
- 14 時限目：〃（ゲーム）
- 15 時限目：〃（まとめと評価）

履修上の留意点

遅刻は認めない。実技は、本校第1体育館で行なう。一般的なスポーツウェア、ならびに室内球技に適した体育館シューズを用意する。なお、卓球、バドミントンで使うラケットは、貸与する。

成績評価の方法

基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を实践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、各種目における個人別の技能、およびゲームの結果を加味して評価する。

そ の 他

曜日・時限によって定員がちがうので注意、『履修要項』を確認の上履修すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(室内球技)	すずき じゅん べい 鈴 木 淳 平	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

室内で行なわれる球技を教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。

講義の内容・
授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・フットサルといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。

スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

○スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(簡化太極拳)	おおいし たけし 大 石 武 士	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとって、一定の早さを保ち、ゆっくりした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

1 時限目：オリエンテーション	16 時限目：太極拳動作について説明
2 時限目：重心の移動・腹式呼吸運動	17 時限目：総合
3 時限目：第一組 起勢・左右野馬分鬃・白鶴亮翅	18 時限目：総合
4 時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱	19 時限目：総合
5 時限目：第三組 左攢雀尾・右攢雀尾	20 時限目：総合
6 時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭	21 時限目：総合
7 時限目：第五組 高探馬・右擺脚・双峰貫耳・轉身左擺脚	22 時限目：総合
8 時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立	23 時限目：総合
9 時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂	24 時限目：総合
10 時限目：第八組 轉身搬蓄捶・如封似閉・十字手・收勢	25 時限目：総合
11 時限目：総合	26 時限目：総合
12 時限目：総合	27 時限目：総合
13 時限目：総合	28 時限目：総合
14 時限目：総合	29 時限目：総合
15 時限目：テスト	30 時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：40名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習〔再クラス〕 集中授業コース(サッカー)	あき た こう いち 秋 田 浩 一	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

サッカーのゲームは、ボールを蹴ること(キック)、止めること(トラッピング)、運ぶこと(ドリブル)から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ることによって数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間基本技術とゲームを行ない、サッカーの楽しさを実感する。また、正しいルールを学び、ゲームに生かすことへの理解度を高める。

講義の内容・ 授業スケジュール

1日目午前：基本技術練習(キック、トラップ、ヘディング、ドリブル) チーム分け
1日目午後：
2日目午前：パス練習、ゲーム
2日目午後：ロングキック、ゲーム
3日目午前：ドリブル、ゲーム
3日目午後：シュート、ゲーム
4日目午前：ルールの解説、ゲーム
4日目午後：ゲーム(リーグ戦)
5日目午前：
5日目午後：

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良いが必ずアップシューズもしくはゴム底のスパイクシューズを用意すること(6本ポイントのスパイクは不可)。靴下は厚手ものがよい。

成績評価の方法

出欠は午前午後の二回確認する。成績は授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

雨天の場合は、室内において補強トレーニングまたは視聴覚機材を用いて、ルールや競技の理解を深める。

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期) 7月18日(日)～22日(木)
(後期) 12月21日(火)～25日(土)
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：午前10：00～12：00
午後13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川グラウンド
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科保健
目体育

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習(再クラス) 集中授業コース(卓球)	かわむら まさよし やまぐち よしひろ 川村 正義・山口 良博	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

卓球の様々な技術の向上を図る事により、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルール(シングルス、ダブルス)を理解し、将来、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1日目午前：オリエンテーション、ラケットティング、フォアハンドの基本形。
- 1日目午後：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 2日目午前：バックハンドショットの打ち方、バックハンドゲーム
- 2日目午後：カットの打ち方と返球の方法、シングルスゲーム
- 3日目午前：シングルスゲーム、ダブルスゲームのやり方
- 3日目午後：ダブルスゲームの練習
- 4日目午前：ダブルスゲーム
- 4日目午後：ダブルスゲーム
- 5日目午前：トーナメント形式の試合
- 5日目午後：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良いが、必ず体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

そ の 他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期) 7月18日(日)～22日(木)
(後期) 12月21日(火)～25日(土)
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10:00～12:00
13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習(再クラス) 集中授業コース(バドミントン)	まきの 牧 野 茂	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

ゲームを楽しむための基本的な技術やルールを習得し、仲間づくりを通して社会的態度を養うとともに、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につけることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1日目午前：オリエンテーション、ラケットティング、ストロークの基本技術（回内、回外）
1日目午後：オーバー・ヘッド・ストローク
①（スマッシュ、ドロップ）、コート反面のシングルス・ゲーム
2日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク
②（スマッシュ、クリアー、ドライブ）、サービス
2日目午後：アンダー・ハンド・ストローク
①（クリアー、ヘアピン・ショット）、サービス、コート反面のシングルス・ゲーム
3日目午前：アンダー・ハンド・ストローク
②（ロブ、クロス、ネットショット）、シングルス・ゲーム
3日目午後：サイド・ハンド・ストローク（ドライブ、クリアー）、サービス、シングルス・ゲーム
4日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク
③（カット、プッシュ）、総合練習、ダブルス・ゲーム
4日目午後：総合練習、ダブルス・ゲーム
5日目午前：総合練習、ダブルス・ゲーム
5日目午後：総合練習、トーナメント形式のゲーム

科 保
健 体
目 育

履修上の留意点

- (1) 服装は、一般的な運動服とする。
- (2) 体育館シューズを用意すること。
- (3) ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出欠は午前午後の二回確認する。成績は授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：(前期) 7月18日(日)～22日(木)
(後期) 12月21日(火)～25日(土)
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
 - (2) 実施時間：10:00～12:00
13:00～15:30
 - (3) 実施場所：玉川体育館
 - (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
 - (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習(再クラス) 集中授業コース(ソフトボール)	たかはし しゅんすけ もらまつ まこと 高橋 俊介・村松 誠	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

補強運動、練習及びゲームなどを積極的に行い、体力や運動能力を高める。技術やルールを習得し、ソフトボールのゲームを行う基本的能力を身につける。また、ソフトボールの楽しさをゲームや技術の習得を通して体験する。さらに、クラスの仲間と協力して練習やゲームを行う中で社会的態度を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

第1日目 午前：チーム分け、基本練習（キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、トスバッティング、走塁練習、その他）
午後：同上
第2日目 午前：ゲーム
午後：〃
第3日目 午前：〃
午後：審判法・ゲーム
第4日目 午前：〃
午後：〃
第5日目 午前：〃
午後：〃

保 科
健 体
育 目

履修上の留意点

一般的の体育服装を用意すること。野球用ユニフォームでも良い。運動靴は必ず用意すること。スパイクシューズは認めない。用具は貸与する。

成績評価の方法

出席を重視し、総合的に評価する。

そ の 他

雨天の場合は、室内において補強トレーニングまたは視聴覚機材を用いて、ルールや競技の理解を深める。

再クラス 集中授業コース実施について

(1) 実施期間：(前期) 7月18日(日)～22日(木)

(後期) 12月21日(火)～25日(土)

7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合

(2) 実施時間：10：00～12：00

13：00～15：30

(3) 実施場所：玉川グラウンド

(4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。

(5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習〔再クラス〕 集中授業コース(室内球技)	すずき じゅん べい 鈴 木 淳 平	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

室内で行なわれる球技を教材とし、そこで用いられる基礎的な技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。

講義の内容・
授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・バドミントンを行なう。チームスポーツ、個人スポーツに必要とされる要素(体力的・技術的)を意識してゲームを多く消化していく。
スケジュール(どの種目をどの程度やるか等)は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

○スポーツウェア(上下)、スポーツシューズ(室内用として履き分ける)の着用を厳守すること。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

そ の 他

雨天の場合は、室内において補強トレーニングまたは視聴覚機材を用いて、ルールや競技の理解を深める。

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期) 7月18日(日)～22日(木)
(後期) 12月21日(火)～25日(土)
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10:00～12:00
13:00～15:30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科保健
目体育

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習〔再クラス〕 集中授業コース(トレーニング)	やま ぐち よし ひろ 山 口 良 博	全学科2・3・4年	2

講義のねらい

基礎的な体力要素である筋力、持久力、柔軟性、敏捷性を高めることを目的にして、さまざまなトレーニングを実践する。また、自分の体力の特徴を知ることによって、それに応じたトレーニングの方法を学ぶことを主なねらいとする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1日目 午前：オリエンテーション、体力測定
 1日目 午後：カイザーカムⅡの使用法の説明、最大筋力の測定
 2日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
 2日目 午後：トレーニング
 3日目 午前：ストレッチ体操、マッサージ法
 3日目 午後：トレーニング
 4日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
 4日目 午後：12分間走
 5日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
 5日目 午後：体力測定、まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウェアを用意すること。実技は、おもに体育館地下のトレーニング場で行なうので、体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席状況、トレーニング内容、授業態度を総合的に判断して評価する。

そ の 他

- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：(前期) 7月18日(日)～22日(木)
(後期) 12月21日(火)～25日(土)
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
 - (2) 実施時間：午前 10:00～12:00
午後 13:00～15:30
 - (3) 実施場所：玉川体育館
 - (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された特・4時限で提出すること。
 - (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ実習Ⅰ	おおいし たけし 大石 武士	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ		全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ		全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ		全学科4選	

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとり、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3 時限目：第一組 起勢・左右野馬分鬃・白鶴亮翅
- 4 時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5 時限目：第三組 左攬雀尾・右攬雀尾
- 6 時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7 時限目：第五組 高探馬・右擲脚・双峰貫耳・轉身左擲脚
- 8 時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9 時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10 時限目：第八組 轉身搬蓄捶・如封似閉・十字手・収勢
- 11 時限目：総合
- 12 時限目：総合
- 13 時限目：総合
- 14 時限目：総合
- 15 時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：45名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎) (後期・基礎) (バドミントン)	なが はま とも お 長 濱 友 雄	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの楽しさをゲームや技術の習得など通して体験することから、これからの活動欲求を高める。
また、技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
(1) フォアハンド、バックハンドとも使うことが出来る。
(2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時 限 目：オリエンテーション
- 2 時 限 目：ルールの説明、サーブ、ハイクリヤー
- 3 時 限 目：サーブ、ハイクリヤー、ドロップショット
- 4 時 限 目：反面での簡易ゲーム
- 5 時 限 目：〃
- 6 時 限 目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 7 時 限 目：サーブ、ドライブ、スマッシュ
- 8 時 限 目： } 総合練習・ゲーム（シングルス）
- 10 時 限 目： }
- 11 時 限 目： } 総合練習・ゲーム（ダブルス）
- 15 時 限 目： }

履修上の留意点

1. 定員は40名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	すずき じゅん べい 鈴 木 淳 平	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・基礎)		全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・基礎)		全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ (室内球技)		全学科4選	

講義のねらい

室内で行なわれる球技を教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。

講義の内容・授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・フットサルといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。

スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

○スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。

成績評価の方法

出欠席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	まさきの しげる 牧 野 茂	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・基礎)		全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・基礎)		全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ (卓球)		全学科4選	

保健
体育
目

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. 卓球の技術やルールを習得し、生涯スポーツとして取り込むことが出来る基本的技能を身につける。
3. クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。
技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
 - (1) フォアバンド、バックハンドとも使うことが出来る。
 - (2) スマッシュを打つことが出来る。
 - (3) ゲームの中で各種技術を使うことが出来る。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
 - 2時限目：ラケットの持ち方、サーブ
 - 3時限目：サーブ、サーブレシーブ、ラリー
 - 4時限目：サーブ、フォアハンドドライブ
 - 5時限目：サーブ、バックハンドの使い方、ラリー
 - 6時限目：サーブ、フォアハンド、バックハンド
 - 7時限目：シングルスゲームの練習
 - 8時限目：
 - 9時限目：
 - 10時限目：
 - 11時限目：
 - 12時限目：
 - 13時限目：
 - 14時限目：
 - 15時限目：
- 総合練習、シングルスゲーム練習
- 総合練習、ダブルスゲーム

履修上の留意点

1. 定員は50名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽で動きやすいものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	まきの野 しょう 茂	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ		全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ		全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ		全学科4選	

講義のねらい

バスケットボールを教材とし、基本的な技術やルールを学びながらゲームの楽しみ方を身につけるとともに、体力や運動能力の向上をはかる。また、仲間づくりを通して社会的態度を養うとともにスポーツを生涯にわたって、生活の中に取り入れ実践していく基礎的能力をも養うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ボール・ハンドリング、ドリブル・シュート、ハーフコート2マン・パス
- 3 時限目：フルコート2マン・パス①、ハーフコート2対1、ミニゲーム
- 4 時限目：フルコート2マン・パス②、ハーフコート3対2、ミニゲーム
- 5 時限目：フルコート3マン・パス、シューティング・ドリル、ゲーム（リーグ戦）
- 6 時限目：2マン・ファースト・ブレイク①、フルコート2対1、ゲーム（リーグ戦）
- 7 時限目：2マン・ファースト・ブレイク②、フルコート2対1、ゲーム（リーグ戦）
- 8 時限目：3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム（リーグ戦）
- 9 時限目：4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム（リーグ戦）
- 10時限目：初歩的なマンツーマン・オフense①ハーフ・コート2対2、ゲーム（リーグ戦）
- 11時限目：初歩的なマンツーマン・オフense②ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 12時限目：初歩的なマンツーマン・オフense③ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 13時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 14時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 15時限目：実技テスト、ゲーム（リーグ戦）

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館にて行う。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点（70点）、実技テスト（20点）、態度点（10点）

保 科
健 体
体 育
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	おお いし たけ し 大 石 武 士	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・応用)		全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・応用)		全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ (簡化太極拳)		全学科4選	

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとって、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3 時限目：第一組 起勢・左右野馬分鬃・白鶴亮翅
- 4 時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5 時限目：第三組 左攏雀尾・右攏雀尾
- 6 時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7 時限目：第五組 高探馬・右攏脚・双峰貫耳・轉身左攏脚
- 8 時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9 時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10 時限目：第八組 轉身搬蓄捶・如封似閉・十字手・収勢
- 11 時限目：総合
- 12 時限目：総合
- 13 時限目：総合
- 14 時限目：総合
- 15 時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：45名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科 保
健 体
目 育

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (ニュースポーツ)	おお いし たけ し 大 石 武 士	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

現在、ニュースポーツとして注目されている簡単で安全、手軽にできるスポーツチャンバラやミニサッカー・バウンドテニスなど、それぞれのスポーツを余暇ゲーム感覚で楽しみながら、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして、生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：スポーツチャンバラ：基本姿勢
- 3 時限目：スポーツチャンバラ：受け、体捌きの基本動作
- 4 時限目：スポーツチャンバラ：足捌き、打の基本動作
- 5 時限目：スポーツチャンバラ：応用打法
- 6 時限目：スポーツチャンバラ：受打の基本動作
- 7 時限目：スポーツチャンバラ：バウンドテニス・ミニサッカー
- 8 時限目：スポーツチャンバラ：〃
- 9 時限目：スポーツチャンバラ：〃
- 10時限目：スポーツチャンバラ：〃
- 11時限目：スポーツチャンバラ：〃
- 12時限目：スポーツチャンバラ：〃
- 13時限目：総合
- 14時限目：総合
- 15時限目：テスト

保 科
健
体
育 目

履修上の留意点

- 1) 定員：40名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不要。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	なが はま とも お 雄 長 濱 友 雄	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・応用)		全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・応用)		全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ (バドミントン)		全学科4選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの楽しさをゲームや技術の習得など通して体験することから、これからの活動欲求を高める。
3. クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度をを養う。
また技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
(1) スマッシュ、ドロップショットを打つことが出来る。
(2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
 2 時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドライブ
 3 時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
 4 時限目：総合練習
 5 時限目：総合練習
 6 時限目： }
 総合練習・ゲーム（シングルス）
 10時限目： }
 11時限目： }
 総合練習・ゲーム（ダブルス）
 15時限目： }

科 保
健 体
育

履修上の留意点

1. 定員は40名とする
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	すず き しゅん へい 鈴 木 淳 平	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・応用)		全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・応用)		全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ (室内球技)		全学科4選	

講義のねらい

室内で行なわれる球技を教材とし、そこで用いられる技術・戦術を体得し、同時に体力の増強を図る。

講義の内容・授業スケジュール

バレーボール・バスケットボール・フットサルといった、室内でのボールゲーム（主にチームスポーツ）を行う。技術・戦術の基礎を学んだ後は主にゲームを通じて技術の習熟、体力の向上を図る。
スケジュール（どの種目をどの程度やるか等）は受講学生と相談して決定する。

履修上の留意点

○スポーツウェア（上下）、スポーツシューズ（室内用として履き分ける）の着用を厳守すること。

成績評価の方法

出席席の状況、運動への積極性、授業態度、技術・体力などから総合的に評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	すずき じゅん べい 鈴 木 淳 平	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・応用)		全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・応用)		全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ (バドミントン)		全学科4選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの技術やルールを習得し、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につける。
また、技術課題として、以下の点に留意して行なう。
(1) フォアハンド、バックハンドとも使うことが出来る。
(2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ルールの説明、サーブ、ハイクリヤー
- 3 時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドロップショット
- 4 時限目：反面での簡易ゲーム
- 5 時限目： }
- 6 時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 7 時限目：サーブ、ドライブ、スマッシュ
- 8 時限目： }
 } 総合練習・シングルスゲーム
- 11時間目： }
- 12時間目： }
 } 総合練習・ダブルスゲーム
- 15時間目： }

履修上の留意点

1. 定員は40名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	まきの野 牧 しげる 茂	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・応用)		全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・応用)		全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ (卓球)		全学科4選	

講義のねらい

- (1) 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
- (2) 卓球の楽しさやゲームを通して、これからの活動欲求を高める。
- (3) クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時 限 目：オリエンテーション
2 時 限 目：サーブ、サーブレシーブ
3 時 限 目：サーブ、ラリー
4 時 限 目： } 総合練習・シングルスゲーム
8 時 限 目： }
9 時 限 目：総合練習、ダブルスゲーム練習
10 時 限 目： } 総合練習・ダブルスゲーム
13 時 限 目： }
14 時 限 目：総合練習、シングルス勝ち抜き戦
15 時 限 目：総合練習、ダブルス勝ち抜き戦

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館で行なう。
- (3) 服装は身軽で動きやすいものがよい。
- (4) シューズは体育館専用のものを用意する。
- (5) その他のものは用意しなくてよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科保健
目体育

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (バスケットボール)	まさの 牧野 しげる 茂	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

バスケットボールを教材とし、体力や運動能力の向上をはかりながら、基本的な技術を復習し、より高度な技術の習得を目指す。また、審判法やゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことにより、生涯を通じてより次元の高いゲームを実施できる能力を養うことを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：ボール・ハンドリング、レイアップ・シュート、ハーフコート2対1
- 3 時限目：2ボール・ドリブル、シューティング・ドリル、3対3ゲーム
- 4 時限目：2マン・ファースト・ブレイク、フルコート2対1、3対3ゲーム
- 5 時限目：3マン・ファースト・ブレイク、フルコート3対2、ゲーム（リーグ戦）
- 6 時限目：4マン・ファースト・ブレイク、フルコート4対3、ゲーム（リーグ戦）
- 7 時限目：著名なマンツーマン・オフENSE①ハーフ・コート2対2、ゲーム（リーグ戦）
- 8 時限目：著名なマンツーマン・オフENSE②ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 9 時限目：著名なマンツーマン・オフENSE③ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 10 時限目：モーション・オフENSE①ハーフ・コート2対2、ゲーム（リーグ戦）
- 11 時限目：モーション・オフENSE②ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 12 時限目：モーション・オフENSE③ハーフ・コート4対4、ゲーム（リーグ戦）
- 13 時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 14 時限目：総合練習、ゲーム（リーグ戦）
- 15 時限目：実技テスト、ゲーム（リーグ戦）

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館にて行う。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点（70点）、実技テスト（20点）、態度点（10点）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎/応用) テニス集中	え ぐち じゅん いち 江 口 淳 一	全学科選	1

講義のねらい

テニスは、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習では、フォアハンド・バックハンド グラウンドストローク、ボレー、サーブ、スマッシュなど打球技術の習得と、ゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより高度な次元でテニスに関わる能力と、態度を養うことを目標にしている。

また、テニス業打球技術の習得ばかりでなく《あがり》や《プレッシャー》といったメンタル面を克服することが重要視される心理ゲームで、それゆえに奥が深く、勝敗の行方が読めないスポーツとなっている。本実習においては、このテニスにおけるメンタルトレーニングの重要性を実技と解説を交えながら理解し、さらなるステップアップを目指す。

さらに、5日間集中的に行なうことでテニスを通じた人間関係を広げ深めることの楽しさを知ることを目標とする。

(基礎) …初心者を対象とする。「テニスを楽しむ」という観点から段階的に技術を習得し、ゲームを楽しむことを目標とする。

(応用) …エキスパートを対象とし、「ゲームに勝つ」ことや指導法などを学びながら High で Full にテニスと関わる能力を養う。

保健体育目

講義の内容・授業スケジュール

- 1日目午前：フォアハンド・バックハンド グラウンドストロークの基本技術の確認
1日目午後：ラリーの応用練習
2日目午前：より高度なフォア・バックハンドボレー、スマッシュ、サーブ
2日目午後：より正確でスピーディーなテニスを目指す。
3日目午前：ダブルスのルールとポジショニング
3日目午後：ダブルス（平行陣への移行）
4日目午前：ダブルス・ゲーム（メンタル面を考慮した）
4日目午後：シングルス・ゲーム（メンタル面を考慮した）
5日目午前：団体戦形式の試合
5日目午後：まとめ

履修上の留意点

- (1) 履修者の技術レベルは問わない。
- (2) 服装は一般的な運動服装とする。
- (3) テニスシューズを必ず用意すること。
- (4) ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況（出欠は午前午後の二回確認する。）、授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。

集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：12月21日（火）～25日（土）
12月21日更衣の上、午前10時に玉川テニスコート集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川グラウンドのテニスコート
- (4) 定 員：40名とする。
- (5) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
特・4時限（後期）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎/応用) ゴルフ集中	みぬぎはるみ 三 幣 晴 三	全学科選	1

講義のねらい

ゴルフは、今や国民的スポーツになりつつある。初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象として実施する。

本講義は、ゴルフの技術的な上達を主たるねらいとするが、プレイヤーとしてのマナーやエチケット、さらに受講者同士とのコミュニケーションも重要なねらいである。

生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良き人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1日目 実技：打撃練習（グリップ・アドレス・スイングの基本練習）
講義：スイングの基本
- 2日目 実技：打撃練習（9I、7I・アプローチ練習）
講義：マナーとエチケット
- 3日目 実技：打撃練習（7I、5I、1W・パッティング練習）
講義：ゴルフルール
- 4日目 実技：打撃練習（PW、7I・アプローチ練習・パッティング練習）
講義：ゴルフコースとラウンドについて
- 5日目 実技：打撃練習（総合的打撃練習）

履修上の留意点

- (1) 服装・用具
 - ① 一般的な運動服装（セーター・ウインドブレーカーも天候によっては必要）
 - ② グローブ（ゴルフ用グローブに限る）は、必ず各自で用意すること。

そ の 他

- (1) 実施期間：12月21日（火）～25日（土）
12月21日更衣の上、午前10時に玉川校舎グラウンド集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川校舎グラウンド
- (4) 費 用：受講者の上達度によっては、民間の練習場を利用する予定である。この場合ボール代として、2,000円程度必要である。
- (5) 定 員：40名
- (6) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
特・4時限（後期）

科保健
目 育

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ演習 (シーズン前期・基礎/応用) ゴルフ	もりもと まもる 森 本 葵 他	全学科選	2

講義のねらい

「健康スポーツ実習」で行われているゴルフ授業を一步進めて、ゴルフコースを使用してゴルフを基本からラウンドプレーまでを体験することをねらいとする。したがって、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象とするカリキュラムが組まれている。ゴルフの技術的向上を主たるねらいとするが、プレーヤーとしてのマナーやエチケット、更に同伴競技者とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいとなる。
生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良き人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

- オリエンテーション 1回目 4月10日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
2回目 4月17日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
※ 本オリエンテーションにて、受講許可書を発行いたします。
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
- 事前授業 7月23日(金) 13:00~16:00 2研-102教場「ゴルフの基礎知識」
- 実習内容および現地講義
 - 1日目 9月6日(月) 実技:12:50~17:20 打撃練習
講義:10:40~12:10 17:30~18:00 《ゴルフスイングの基本》
※注意:1日目は、玉川校舎で実施する。
 - 2日目 9月7日(火) 実技:13:30~16:30 打撃練習
講義:19:00~21:00 《ゴルフのマナーやエチケット》
 - 3日目 9月8日(水) 実技:9:00~16:30 打撃練習・ラウンド
講義:19:00~21:00 《ゴルフのルール・ラウンドについて》
 - 4日目 9月9日(木) 実技:9:00~16:30 打撃練習・ラウンド
講義:19:00~21:00 《ラウンドの反省と総括》
 - 5日目 9月10日(金) 実技:9:00~12:00 ラウンド

保 健 体 育 目 録

履修上の留意点

- 生涯スポーツ演習 シーズン前期・基礎/応用 ゴルフを履修する場合は、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可を受けなければなりません。
- 実習日程:9月6日(月)~9月10日(金)の3泊5日(現地集合解散)
 - 場 所:①宿 泊 ホテル安比グラント 電話0195-73-6400 FAX0195-73-5025
岩手県岩手郡松尾村安比高原
②練習場 玉山ゴルフクラブ 電話019-683-3100 FAX019-683-3100
③コース 安比高原ゴルフクラブ 電話0195-73-5311 FAX0195-73-5044
 - 定 員:40名
 - 集合解散:現地(ホテル安比グラント)
※希望者多数であれば、格安なバスの利用も可能です。詳細については、オリエンテーションにおいて説明します。
 - 受講料:39,500円(左記金額には、交通費は含まれない。
証明書自動発行機(教務部ロビー設置)で受講料を納入後、納入書を保健体育部(第2研究館9階資料室)に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。
納入期間:5月24日(月)~6月5日(土)
 - 服装・用具
 - ① 一般的なゴルフ服装(セーター・ウインドブレーカーも天候によって必要)
 - ② ゴルフシューズ(ソフトスパイクに限る)は、必ず用意すること。ただし、練習場においては運動靴でも可。
 - ③ グローブは、必ず各自で用意すること。
※ゴルフクラブ・キャディーバッグは大学で用意するが、自分の物を持参してもよい。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)によって2単位が認められる。成績は、講義・実技の出席状況、講義・実技テスト、実習参加態度等、総合的に評価される。

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部(第2研究館9階資料室)に連絡すること。なお、受講料の一部は、返却されないことがあります。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ演習 (シーズン後期・基礎/応用) スキー・スノーボード	すずき じゅん べい 他 鈴木 淳平 他	全学科選	2

講義のねらい

現在わが国において、スキーやスノーボードに代表されるスノースポーツは、国民に広く普及し「生涯スポーツ」として定着している。これらを楽しむ為に、実習および講義によって基礎技術や練習方法、ならびにゲレンデにおけるマナーなどについて理解を深めていきたい。

実習はそれぞれの技術レベルに応じて班分けして実施する。コースの内容は以下の通りである。

○スキー・スノーボード基礎コース：雪面に慣れることから始まり、基礎的な滑走技術の習得を目指す。

○スキー・スノーボード応用コース：基礎コースを更に発展させ、安全で楽しくゲレンデを滑る技術の習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション 1回目 4月10日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
2回目 4月17日(土) 12:20~12:40 2研-102教場
※ 本オリエンテーションにて、種目決定と受講許可書発行を行います。
1回目のオリエンテーションで定員に達しない場合、2回目を実施します。
2. 事前授業 12月20日(月) 13:00~16:00 2研-102教場「スノースポーツの基礎知識」
3. 実習内容および現地講義
 - 1日目 2月14日(月)
午後、現地ホテルロビー集合
午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの基礎技術解説および安全・マナー」
 - 2日目 2月15日(火)
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツの応用技術解説」
 - 3日目 2月16日(水)
午前・午後：班別実習および全体講義「スノースポーツと環境」
 - 4日目 2月17日(木)
午前・午後：班別実習および全体講義「本実習の反省とまとめ」
 - 5日目 2月18日(金)
午前・午後：班別実習 午後、現地解散の予定

保健体育 目

履修上の留意点

本講座は、生涯スポーツ演習 シーズン後期・基礎/応用ですが、履修する場合は、スキーまたはスノーボードのどちらかの種目とします。また、上記オリエンテーションに出席し、担当者の受講許可書を受けなければなりません。受講要項および本講義内容をよく確認して下さい。

- 1) 実習日程：平成17年2月14日(月)~2月18日(金)の4泊5日(現地集合解散)
- 2) 場 所：実習 安比高原スキー場
宿泊・現地講義 安比グラント 電話 (0195) 73-5019
- 3) 定 員：スキー 30名
スノーボード 20名(但し、初心者に限る)
- 4) 受講料：50,000円 ※なお左記金額には、交通費は含まれない。
証明書自動発行機(教務部ロビー設置)で受講料を納入後、納入書を保健体育部(第2研究館9階資料室)に提出すること。期間内に納入しない場合は、受講することができないので注意して下さい。
納入期間：平成16年5月24日(月)~6月5日(土)
- 5) 用 具：用具は現地レンタル可能(有料)。
- 6) 特記事項：卒業年次生の追再試、1~3年生の追試験と重なっているので特に注意すること。

成績評価の方法

オリエンテーション・事前授業および実習(5日間)に参加終了し、2単位が認められる。成績評価の方法は、事前授業参加状況、各班において実施する実技テストと実習参加態度、並びに技術や理解度も含めて総合的に成績評価がなされる。

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部(第2研究館9階保健体育部資料室)に連絡すること。なお、参加費は返却されないことがある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論1(前期)	さとう まさゆき 佐藤 政之	国文・英文・地理1選	2

講義のねらい

現代社会は早いテンポで激しく移り変わり、新しい健康問題が次つぎと生じてきている。若年者を含む人々の中に成人病が増えてきている。もはや最先端の医療技術だけでは抑え込めぬ時期にきている。このような時代の中で、健康とは何か、なぜ大切であるのかという、しっかりした健康観を持ち、「自からの健康は自からで守る」という自覚が必要である。本講義は日常の学生生活内容を豊かにするため、正しい食生活を中心に運動・スポーツの基礎的な知識を正しく理解し、心身をリフレッシュし、体力、健康の維持、増進につとめるための手助けとなる事を目的にする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：講義の概要説明
- 2 ♪：現代生活と健康（食生活と健康）
- 3 ♪： ♪（食生活と栄養）
- 4 ♪： ♪（運動不足と成人病）
- 5 ♪： ♪（平均余命と寿命の伸び）
- 6 ♪： ♪（健康のための生活習慣）
- 7 ♪： ♪（喫煙・飲酒）
- 8 ♪： ♪（ストレス社会と健康障害）
- 9 ♪： ♪（ストレスと健康測定）
- 10 ♪：現代生活と運動（健康づくり運動）
- 11 ♪： ♪（スポーツマンのトレーニング）
- 12 ♪： ♪（スポーツマンの運動処方）
- 13 ♪： ♪（スポーツ医学の一般知識）
- 14 ♪： ♪（スポーツと環境・条件）
- 15 ♪：まとめ

保科
健
体
育
目

成績評価の方法

「レポート」の提出3回

教 科 書

教科書は使用しない。配布プリントにて授業を進める。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論1(前期)	もりもと まもろ 森 本 葵	歴史・社会・福祉・心理1選	2

講義のねらい

人生に於て『体力』は生涯ついてまわる財産である。その『体力』は20才前からのトレーニングに負う所が大きい。その方法を『体力づくり』として講座を進めてゆきたい。
また、タイムリーな話題として『近代オリンピック』を取り上げてみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- 〈体力づくり〉
- 1 時限目：体力のメカニズム
 - 2 時限目：若年時に於ける体力づくりの必要性
 - 3 時限目：

}	筋力
	持久力
 - 7 時限目：

}	体力づくりの方法	調整力
---	----------	-----
 - 8 時限目：体力と疲労
 - 9 時限目：〃
 - 10 時限目：疲労の判定法
 - 11 時限目：〃
 - 〈近代オリンピック〉
 - 12 時限目：近代オリンピックの歴史
 - 13 時限目：〃 の問題点
 - 14 時限目：〃 の将来展望
 - 15 時限目：テスト

成績評価の方法

出席を重視する。

教 科 書

- 『保健体育理論』（科学書院）
- 『スポーツトレーナー教本』（日本体育協会）
- 『スポーツとからだ』（岩波書店）
- 『オリンピックの回想』（B・B マガジン社）

そ の 他

レポート提出・ビデオによる講義

科保健
目体育

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論2(前期)	おお いし たけ し 大 石 武 士	全学科選	2

講義のねらい

生涯を通じての健康や体力・身体運動の効果、体育・スポーツの概念やエイズ問題にふれていき、スポーツ・レクリエーション時や日常生活において、我々はいつどこで、どのような急病や傷害に出会うかもしれない。このような時、救急車が来るまでにしなければならない処置、とっさの処置が生命の別れ目になる。また、小さい怪我でも最初の手当が悪ければ経過が長引く。救命救急のための知識や技術を身につける事によって、病人や怪我人の生命、病気や怪我の経過に大きな差が生じてくる。このことをよく理解し、主な病気・傷害に対する救急処置法について講義を行う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：講義内容の説明
- 2 時限目：体育の概念
- 3 時限目：身体運動と体育運動
- 4 時限目：健康の概念、身体運動の効果
- 5 時限目：人体構造の概略、エイズ問題
- 6 時限目：救急処置の目的、一次救命処置
- 7 時限目：一次救命処置
- 8 時限目：一次救命処置実習
- 9 時限目：出血多量、ショック
- 10 時限目：熱中症、やけど（熱傷）、凍傷
- 11 時限目：R・I・C・E 処置、創傷、創傷のない障害
- 12 時限目：挫滅傷、打撲、刺し傷
- 13 時限目：中毒、鼻出血、咬傷、虫や毒魚
- 14 時限目：体力について
- 15 時限目：テスト

保健体育目

成績評価の方法

出席・実習および学期末試験で評価する。

参考書等

- 1 駒澤大学保健体育部編『保健体育概論』（カヅサ出版）1,700円
- 2 『最新図解救命救急－応急手当の手引き－』（小学館）700円

その他

救急処置法については、心肺蘇生訓練用マネキンを使った実習や、ビデオを交えながら講義を展開していく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論2(前期)	むら まつ まこと 村 松 誠	全学科選	2

講義のねらい

現代は健康の時代の不健康な時代と言われる。健康に関する情報は、テレビに、雑誌にと、世に溢れている。健康情報が商品になる時代である。また、民間療法による健康法も数多く存在している。このような状況の中で、健康とは何であるかという、しっかりした健康観をもつことは、間違った選択をしないためにも大切なこととなる。そして、学生時代は人生の中でもっとも健康な時期と言われるが、現代の健康問題とされる生活習慣病は、この学生時代より多くは始まると言われている。このような認識のもとに、現代における健康問題も話題に取り上げながら、生涯に渡っての健康を考えて行く。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：健康観の変遷
- 3 時限目：現代の健康観
- 4 時限目：健康の成立要因
- 5 時限目：健康の成立条件
- 6 時限目：病気の原因
- 7 時限目：疾病構造の変遷と病気の予防
- 8 時限目：現代の感染症
- 9 時限目：喫煙と健康
- 10時限目：飲酒と健康
- 11時限目：ストレスと健康
- 12時限目：食べ物と健康
- 13時限目：運動と健康
- 14時限目：環境と健康
- 15時限目：まとめ

科保健
目体育

履修上の留意点

数回の小テストを行なう予定。

成績評価の方法

定期試験とその他を加味して評価する。

教 科 書

教科書は特に指定しないが、保健体育部編『保健体育概論』を参考図書とする。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
健康・スポーツ論2(前期)	まさの 牧野 しのぶ 茂	全学科選	2

講義のねらい

現代社会における健康の意義と認識を深めるとともに、ますます高齢化していく社会において、学生生活を含め生涯にわたって健康な生活を送るための基礎的な知識と、自己の健康管理能力を高めることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：目的と課題の把握 全体ガイダンス、アンケートとその解説
- 2 時限目：健康とは何か① 語源・定義・性格
- 3 時限目：健康とは何か②
- 4 時限目：健康とは何か③
- 5 時限目：恒常性と適応 ストレス学説
- 6 時限目：健康の成立条件 健康を規定する条件
- 7 時限目：健康の保持増進① 科学的研究、健康教育
- 8 時限目：健康の保持増進② 保健衛生サービス、健康の獲得
- 9 時限目：健康指標 WHOの総合健康指標
- 10 時限目：日常生活と健康① 運動・栄養・休養①
- 11 時限目：日常生活と健康② 〃・〃・〃 ②
- 12 時限目：日常生活と健康③ 嗜好品と健康
- 13 時限目：感染症について① インフルエンザ、結核
- 14 時限目：感染症について② 性行為感染症
- 15 時限目：筆記試験

成績評価の方法

筆記試験において、60点以上を合格とする。

教科書

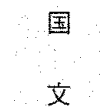
教科書は使用しない。必要に応じてプリントを配布するが、主として黒板を用いるので、出席し、ノートを整理しておくこと。

参考書等

『保健体育概論』（カヅサ出版部）1,700円
他は、講義のなかで紹介する。

Ⅱ 專 門 教 育 科 目

1 国 文 学 科



国

文

II. 専門教育科目

(1) 国文学科

基礎国語学	〈三澤成博〉	311
基礎国文学 I	〈近衛典子〉	311
基礎国文学 I	〈松井健児〉	312
基礎国文学 I	〈中嶋真也〉	312
基礎国文学 II	〈岡田豊〉	313
基礎国文学 II	〈高田知波〉	313
基礎国文学 II	〈勝原晴希〉	314
漢文学	〈堀川貴司〉	314
国語学概論	〈木村晟〉	315
国文学概論	〈高橋文二〉	315
国文学史 I (古典)	〈櫻井陽子〉	316
国文学史 I (古典)	〈林達也〉	317
国文学史 II (近現代)	〈岡田豊〉	317
国文学史 II (近現代)	〈勝原晴希〉	318
国語史	〈休講〉	
国語学史	〈土井光祐〉	318
国語学研究 I	〈木村晟〉	319
国語学研究 II	〈休講〉	
上代文学研究 I	〈中嶋真也〉	319
上代文学研究 II	〈神野志隆光〉	320
中古文学研究 I	〈松岡智之〉	320
中古文学研究 II	〈松井健児〉	321
中世文学研究 I	〈櫻井陽子〉	321
中世文学研究 II	〈田中幸江〉	322
近世文学研究 I	〈近衛典子〉	322
近世文学研究 II	〈休講〉	
近代文学研究 I	〈榎本正樹〉	323
近代文学研究 II	〈高田知波〉	323
国語学特講 I	〈土井光祐〉	324
国語学特講 II	〈豊澤弘伸〉	324
国文学特講 I	〈遠藤宏〉	325
国文学特講 II	〈中村文〉	325
国文学特講 III	〈今村修〉	326
国文学特講 IV	〈田口和夫〉	326
国文学特講 V	〈渡辺千明〉	327
国文学特講 VI	〈立石和弘〉	327
国文学特講 VII	〈植田恭代〉	328
国文学特講 VIII	〈篠原進〉	328
国文学特講 IX	〈中村三代司〉	329
国文学特講 X	〈国松俊英〉	329
国文学特講 XI	〈榎本正樹〉	330
国語国文学演習 I	〔平成13年度以前入学生：国語学演習 I〕 〈木村晟〉	330
国語国文学演習 I	〔平成13年度以前入学生：国文学演習 I〕 〈中嶋真也〉	331
国語国文学演習 I	〔平成13年度以前入学生：国文学演習 I〕 〈高橋文二〉	331

国語国文学演習Ⅰ〔平成13年度以前入学生：国文学演習Ⅰ〕	〈松井健児〉	… 332
国語国文学演習Ⅰ〔平成13年度以前入学生：国文学演習Ⅰ〕	〈立石和弘〉	… 332
国語国文学演習Ⅰ〔平成13年度以前入学生：国文学演習Ⅰ〕	〈櫻井陽子〉	… 333
国語国文学演習Ⅰ〔平成13年度以前入学生：国文学演習Ⅰ〕	〈武田昌憲〉	… 334
国語国文学演習Ⅰ〔平成13年度以前入学生：国文学演習Ⅰ〕	〈林達也〉	… 335
国語国文学演習Ⅰ〔平成13年度以前入学生：国文学演習Ⅰ〕	〈近衛典子〉	… 335
国語国文学演習Ⅰ〔平成13年度以前入学生：国文学演習Ⅰ〕	〈岡田豊〉	… 336
国語国文学演習Ⅰ〔平成13年度以前入学生：国文学演習Ⅰ〕	〈勝原晴希〉	… 336
国語国文学演習Ⅰ〔平成13年度以前入学生：国文学演習Ⅰ〕	〈高田知波〉	… 337
国語国文学演習Ⅱ〔平成13年度以前入学生：国語学演習Ⅱ〕	〈木村晟〉	… 337
国語国文学演習Ⅱ〔平成13年度以前入学生：国文学演習Ⅱ〕	〈中嶋真也〉	… 338
国語国文学演習Ⅱ〔平成13年度以前入学生：国文学演習Ⅱ〕	〈高橋文二〉	… 338
国語国文学演習Ⅱ〔平成13年度以前入学生：国文学演習Ⅱ〕	〈松井健児〉	… 339
国語国文学演習Ⅱ〔平成13年度以前入学生：国文学演習Ⅱ〕	〈植田恭代〉	… 339
国語国文学演習Ⅱ〔平成13年度以前入学生：国文学演習Ⅱ〕	〈櫻井陽子〉	… 340
国語国文学演習Ⅱ〔平成13年度以前入学生：国文学演習Ⅱ〕	〈中村文〉	… 340
国語国文学演習Ⅱ〔平成13年度以前入学生：国文学演習Ⅱ〕	〈林達也〉	… 341
国語国文学演習Ⅱ〔平成13年度以前入学生：国文学演習Ⅱ〕	〈近衛典子〉	… 341
国語国文学演習Ⅱ〔平成13年度以前入学生：国文学演習Ⅱ〕	〈岡田豊〉	… 342
国語国文学演習Ⅱ〔平成13年度以前入学生：国文学演習Ⅱ〕	〈勝原晴希〉	… 342
国語国文学演習Ⅱ〔平成13年度以前入学生：国文学演習Ⅱ〕	〈高田知波〉	… 343
国語国文学演習Ⅱ〔平成13年度以前入学生：国文学演習Ⅱ〕	〈中村三代司〉	… 343
国語学演習Ⅲ	〈木村晟〉	… 344
国文学演習Ⅲ	〈中嶋真也〉	… 344
国文学演習Ⅲ	〈高橋文二〉	… 344
国文学演習Ⅲ	〈松井健児〉	… 345
国文学演習Ⅲ	〈櫻井陽子〉	… 345
国文学演習Ⅲ	〈田口和夫〉	… 345
国文学演習Ⅲ	〈近衛典子〉	… 346
国文学演習Ⅲ	〈林達也〉	… 346
国文学演習Ⅲ	〈岡田豊〉	… 347
国文学演習Ⅲ	〈高田知波〉	… 347
国文学演習Ⅲ	〈勝原晴希〉	… 348
国語学演習Ⅳ	〈木村晟〉	… 348
国文学演習Ⅳ	〈中嶋真也〉	… 348
国文学演習Ⅳ	〈高橋文二〉	… 349
国文学演習Ⅳ	〈松井健児〉	… 349
国文学演習Ⅳ	〈櫻井陽子〉	… 349
国文学演習Ⅳ	〈田口和夫〉	… 350
国文学演習Ⅳ	〈林達也〉	… 350
国文学演習Ⅳ	〈近衛典子〉	… 350
国文学演習Ⅳ	〈岡田豊〉	… 351
国文学演習Ⅳ	〈高田知波〉	… 351
国文学演習Ⅳ	〈勝原晴希〉	… 351
中国文学	〈田熊信之〉	… 352
比較文学	〈満谷マーガレット〉	… 352
児童文学	〈国松俊英〉	… 353
有職故実	〈近藤好和〉	… 353
日本民俗学	〈谷口貢〉	… 354

民	間	信	仰	論	〈谷	口	貢	354
日	本	史	概	說	松	本	信	355
日	本	文	化	史	吉	田	政	355
仏	教	概	概	論	池	田	練	356
東	洋	思	想	史	末	木	恭	356
西	洋	思	想	史	柴	野	博	357
美	術	史	概	說	北	野	良	357
演	劇	概	概	論	阿	部	由	358
書	道	道	道	論	金	子	大	359
書	道	實	習	史	那	須	隆	359
書	道	實	習	I	金	子	大	360
書	道	實	習	II	那	須	隆	360
編	集	實	實	III	那	須	隆	361
		務	務	長	谷	川	孝	361

国

文

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎国語学	三澤成博 <small>み さわ しげ ひろ</small>	国文1必	4

講義のねらい

文法を中心に音韻、文字など国語に関する基礎的な知識を身につけることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 動詞の分類・形容詞、形容動詞
- 2 仮名遣い・音韻・アクセント
- 3 文の構造
- 4 言語生活

履修上の留意点

ノートを作成し、各時間の講義内容をまとめておく。

成績評価の方法

定期試験を基本とし、レポート・出席等を参考資料とする。

教科書

必要に応じてプリントを配布する。

参考書等

『国語学研究法』（武蔵野書院） 築島裕『国語学』（東京大学出版会） 『国語学研究事典』（明治書院） 『日本語文法大辞典』（明治書院）

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎国文学 I	近衛典子 <small>この え のり こ</small>	国文1必	4

講義のねらい

大きく眺め渡せば古典文学の爛熟期でもあり、近代文学の萌芽期でもある江戸時代の文学作品に親しみ、併せて古典文学を学ぶ上での基本的な方法を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

近世小説を中心に、幅広く近世文芸の展開の様を概観する。

履修上の留意点

出席を重視する。

成績評価の方法

出席状況、受講態度、レポート等を総合的に見て評価する。

教科書

櫻井武次郎編『近世小説選』（双文社出版）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
基礎国文学 I	まつ い けん し 松 井 健 児	国文1必	4

講義のねらい

古典文学読解のための基礎的な知識と方法を学ぶ。古語による言語表現の持つ広がりや深さを実感する。成立や時代背景の違いによる表現の多様性を受容し、積極的な理解へといたる教養を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

韻文・散文における、代表的な古典文学作品の具体的な読解を示す。歴史的・表現史的な背景に触れ、あわせて研究への指針となるような術語についても解説する。

履修上の留意点

自主性と積極性。欠席の多い場合は評価の対象としない。

成績評価の方法

①筆記試験 ②レポート ③出席状況 ④その他を総合しておこなう。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

授業時に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
基礎国文学 I	なか じま しん や 中 嶋 真 也	国文1必	4

講義のねらい

大学に入る前に、いくつかの古文を学んできたものと思う。その経験を踏まえつつ、古典文学作品が使われたことばに即して丁寧に読解し、文学研究への視点の置き方を学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

上代・中古の作品を中心に取り上げる。前期は『万葉集』『古今集』など韻文を主対象として、後期は日記・物語など散文を交えながら講義を展開する。

履修上の留意点

出席を当然のこととし、受身にならず取り組むこと。

成績評価の方法

出席、授業態度、提出物、学期末の試験によって総合的に評価する。

教科書

その都度、プリントを配布する。

参考書等

授業中に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎国文学Ⅱ	岡田豊 <small>おかだ ゆたか</small>	国文1必	4

講義のねらい

作品を具体的に読み進めながら、日本の近現代小説の研究方法について学ぶ。古典文学に比して、言語上の障害が少ない近現代の小説を、研究の対象として取り上げることの意義および研究の方法について学ぶ一年である。参考文献はどうやって調べるのか、どのようなアプローチがあるのか、どのように論じるのか、等々の問題に向かって進み、近代文学研究の基礎を固め、次年度以降の演習科目（自主的な研究発表の授業）へのスムーズな接続ができるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

扱う作家としては、芥川龍之介・川端康成・吉本ばななである。作品評価の見直しや作家のあまり注目されなかった側面への論及といった近年の研究動向を紹介し、これまで何が問われてきたのかを確認しながら、新たな研究の課題や読みの可能性について探っていく。

履修上の留意点

テキストを各自で準備し、読んで授業に参加すること。「この人物はどうしてこんなことを口にするのか?」「なぜこんな行動に出るのか?」「作品はなぜこんな終わり方をするのか?」等、素朴な疑問を持って授業に参加してほしい。そして、こんな考え方ができるのか、ではこんな読みは出来ないだろうかと問題を掘り下げ、考えを深めていってほしい。出席を重要視する。初回の授業時に示す回数を超過した者は、定期試験の受験資格を失う。

成績評価の方法

授業中に提出を求める感想文等も考慮に入れる。筆記試験は、前期と後期の二回に分けて行い、成績は両方の試験の点数を合算して出すので注意してほしい。

教科書

芥川龍之介『杜子春・南京の基督』、吉本ばなな『キッチン』、川端康成『伊豆の踊子・禽獣』（すべて角川文庫）

参考書等

その都度教場で紹介する。

国
文

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎国文学Ⅱ	高田知波 <small>たかだち なみ</small>	国文1必	4

講義のねらい

近代の小説作品の読みを通じて、大学における国文学研究の基礎について学習する。

講義の内容・授業スケジュール

1年間を3期に分け、第1期は夏目漱石の『坊っちゃん』、第2期は川端康成の『伊豆の踊子』、第3期は森鷗外『舞姫』をそれぞれ精読することによって、制度的な読みの定式を問い直す作業を臨床的に試みる。

履修上の留意点

小説の読みに、唯一絶対の「正解」というものは存在しない。作品解釈についての固定観念を根底から疑い、論拠に基づいた自分自身の《読み》を追求することが近代文学研究の基本なのだということを、この授業を通して理解してほしいと思う。

成績評価の方法

原則として、年度末の筆記試験の結果によって評価を出す。欠席時数が多いと年度末試験の受験資格を失うことがある。

教科書

夏目漱石『坊っちゃん』（新潮文庫） 森鷗外『阿部一族・舞姫』（新潮文庫） 川端康成『伊豆の踊子』（新潮文庫）

参考書等

教場で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
基礎国文学Ⅱ	かつ ほん はる き 勝原晴希	国文1必	4

講義のねらい

近現代の文学研究へのオリエンテーションと、具体的な作品を使ってのアプローチの方法を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

近現代文学についての概略的な講義を行なった後、近現代の代表的な短篇小说・評論・詩歌について作品の分析読解を進めて行く。それぞれの作品について、授業時間内に簡単なレポートを課し、その内容をふまえながら講義を進める。また基本的な研究の手づきについて講義する。

履修上の留意点

文学研究には基礎的な知識・技術の習得と主体的独創的な個別アプローチの両方が必要である。どちらか一方に偏らないよう、バランスを取りながら身につけて行って欲しい。

成績評価の方法

前後二回の試験、出席状況、時間内レポートによる。

教科書

プリント配布。

参考書等

授業中に随時指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
漢文学	ほり がわ たか し 堀川責司	国文1必	4

国
文

講義のねらい

日本文学は上代から明治にいたるまで、中国および朝鮮の文学の影響を受けてきた。日本人が親しんできた漢文学、それを手本としながら独自の発展を遂げた日本人による漢文学（日本漢文学）について、基礎的な知識を得るとともに、作品読解を通じて漢文を読むことに慣れるのがねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

（前期）全体の概説と古代・中世の日本漢文学
（後期）中世（つづき）・近世の日本漢文学とまとめ

履修上の留意点

特に予習・復習は必要としないので、授業時間中は集中してほしい。

成績評価の方法

随時行う小テストおよび学年末試験による。

教科書

プリント配布

参考書等

授業中に必要に応じて提示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語学概論	木村 巖	国文1・2必	4

講義のねらい

国語学が特殊言語学の一つであって、一般言語学の学問研究の方法が国語学にも応用される面も多くある。しかし、日本語独自の特徴があるゆえに、国語学特有の研究法もあることを理解する必要がある。そのために音韻・文字・語法・語彙・文体の各分野に関して概説をするとともに、それらの研究方法についても講ずることとする。問題意識を深める。

講義の内容・授業スケジュール

前期（4月～7月）には国語学の総論と音韻論・文字論・語法論について、実際の研究論文なども紹介しながら、その研究方法を講義する。特に音韻研究には重点をおく。

後期（9月～12月）には語彙論・文体論と方言研究について、やはり実際の研究論文を紹介しながら、研究方法を講ずる。特に文体研究に重点をおく。

履修上の留意点

授業中に必要な参考文献（書籍・雑誌論文など）を紹介するので、各自図書館でよく調べ自習しておくことが肝要である。授業にはよく出席をして、欠席しないように努めること。

成績評価の方法

期末試験とレポートを課し、総合評価する。

教科書

福島邦道著『国語学要論』（笠間書院）1,200円

参考書等

橋本進吉著『国語学概論』（岩波書店）
 時枝誠記著『国語学原論』（岩波書店）
 山田忠雄著『国語学概論』（日大通信教育部）

その他

その他各項目毎に参考書等を授業中に紹介する。

国
文

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学概論	高橋 文二	国文1・2必	4

講義のねらい

江戸時代の国学者本居宣長もとむりのりなが（1730～1801）は国文学史上の大作——思想傾向も表現のありようも大きく異なる『古事記』と『源氏物語』を対象にかつてない綿密で鋭い註釈を為し遂げ、この国の「ことば」の豊かさを浮かび上がらせた。宣長の業績の意義を考え、国文学の可能性へと想念を飛翔させたい。

講義の内容・授業スケジュール

テキストに沿って学び、考えていくが、折々プリントなどで原文を紹介し、古典を読むことの意義を考えたい。

履修上の留意点

古文に慣れるよう予習・復習をきちんとしてほしい。

成績評価の方法

夏期休暇中の課題のレポート提出と期末試験の成績によって評価する。

教科書

子安宣邦著『本居宣長』（岩波現代文庫）900円

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学史 I (古典)	さくら い よう こ 櫻井陽子	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

日本古典文学の流れを、中世を基軸としながら概観する。
時代や社会の変化と文学の足跡とは切り離すことはできない。中世文学が社会の変遷の中で、平安文学をどのように継承し、新たな文学世界を創造してゆくのか、また、中世文学の享受と創造の場の実態はどのようなものか、等を考える。

講義の内容・
授業スケジュール

具体的に代表的な作品を掲げて作品の特徴を示し、内容に触れながら進める。

- 1) 中世はいつから始まるのか。
 - 1 中世という時代の特徴と文学との関係
- 2) 平安文学の継承と完成、そして、新たな展開 (和歌・日記・随筆)
 - 2・3 『千載和歌集』から、『新古今和歌集』まで
 - 4～6 『新古今和歌集』
 - 7 『新勅撰和歌集』とそれ以降
 - 8 俊成・定家・為家の系譜
 - 9 歌道家と物語作成・受容
 - 10 漢文日記と仮名日記
- 3) 花開くジャンル (説話・軍記)
 - 11～13 説話と説話集
 - 14 注釈の世界
 - 15～18 軍記物語の発生と展開
- 4) 芸能・美術との交響
 - 19・20 能・狂言
 - 21・22 御伽草子
- 5) 中世の終焉
 - 23・24 合戦の時代の終焉と江戸時代の足音
 - 25・26 まとめ

成績評価の方法

出席、授業態度、提出物、定期試験 (前期・後期) によって総合的に評価する。

教科書

岩佐美代子他編『新選 中世の文学』(和泉書院) 1,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学史Ⅰ(古典)	はやし 林 達也	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

万葉から近世に至る、韻文を中心とした文学史。

講義の内容・授業スケジュール

古代前期(奈良時代まで)
 記紀歌謡・万葉集・漢詩文集
 古代後期(平安時代)
 勅撰集(三代集・三代集以後)の歴史/歌合せ/物語と和歌/歌論・歌学
 中世(鎌倉・南北朝・室町時代)
 新古今集と新勅撰集/新古今時代の歌人/その後の勅撰集(玉葉集・風雅集)
 頼阿・正徹/歌道師範家(二条・冷泉)/宗祇・三条西実隆/連歌・俳諧
 近世(江戸時代)
 堂上歌人とその周辺/徳川光圀の周辺/江戸派の人々/香川景樹と桂園派
 良寛を中心に/貞門・談林/芭蕉・蕪村・一茶

履修上の留意点

文学史の授業ではあるが、詩歌、ことに和歌に触れる機会をなるべく多く作り、和歌理解の方法についても学習したい。和歌に興味をもつ学生が一人でも増えればと思っている。

成績評価の方法

原則として、前期末と学年末の試験により評価する。

教科書

講義資料を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学史Ⅱ(近現代)	おか だ 岡田 豊	国文2・3・4選必	4

国
文

講義のねらい

- (1)同時代資料の読解トレーニングと読解力の向上
 - (2)「～派・主義」の分類に終始せず、時代と表現を相関的にとらえて文学史を描くという作業の実践
 - (3)さまざまな作家や興味深い文学作品の紹介
- 以上3点を講義のねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

明治以降の日本の文学の流れを、特に小説を中心にし、かつ同時代資料を通して概観する。学生自らが当時の資料を実際に確認しながら、時代の雰囲気を感じ取ることができるよう、授業担当者はなるべく工夫していく。一般の参考書に出てこない事項、あるいは従来の文学史が描こうとしなかった事柄が出てくるときもあるので、積極的に授業に参加してほしい。

履修上の留意点

読みにくい資料が数多く出てくる。したがって、復習に重点をおき、辞書や事典類で調べる習慣をつけると力がつく。何年、いつ頃の話なのかを見失わないようにすると混乱が避けられる。ある時点、その前後にどんなことが起こっているのかを頭の中で整理していくのもよい。配布プリントを試験に出題するので、ファイルなどに綴じて保管しておく必要がある。

成績評価の方法

年2回(前期・学年末)の試験で評価する。試験は資料読解と、論述の2題構成の予定。配布プリントと自筆のノート持ち込み可とする。

教科書

配布プリント

参考書等

その都度教場で紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 史 II (近現代)	かつ ほん ほん き 勝 原 晴 希	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

『新体詩抄』に始まる日本の近現代詩の流れを通観し、把握する。あわせて詩作品を読み味わう力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 下記の項目に従って進める。
- 1) 近代詩の源流
 - 2) 讚美歌・唱歌
 - 3) 『新体詩抄』
 - 4) 『於母影』
 - 5) 浪漫主義
 - 6) 『海潮音』
 - 7) 象徴主義
 - 8) 口語自由詩へ
 - 9) 象徴詩の展開
 - 10) ヒューマニズムの詩
 - 11) 民衆詩派
 - 12) 感情詩派
 - 13) アヴァンギャルド
 - 14) モダニズム
 - 15) 『四季』の詩人たち

履修上の留意点

自分自身で詩作品を読み、作品の「ことば」を味わい、作品の「こころ」に触れる、柔軟で意欲的な姿勢を望む。

成績評価の方法

前後二回の試験による。成績評価は厳しくするので、そのつもりで受講すること。

教 科 書

適宜プリントを配布。

参 考 書 等

和田博文編『近現代詩を学ぶ人のために』（世界思想社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 語 学 史	と い こう ゆう 土 井 光 祐	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

「国語学史」とは、狭い意味での「国語学（日本語学）」の研究史を意味するものではなく、日本人（日本語使用者）の日本語に対する意識の展開の中に歴史を見出し、体系化したものである。当然ながら「国語学史」の資料として本来的に成立した資料というのは存在せず、個別の資料が個別に本来的な成立意義を持っている。その中に垣間見える何らかの日本語に対する意識をすくい取ることで、日本語に対する日本人の意識を確認していく。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期は、古代、中世を中心とし、主に次のトピックを扱う。
- 日本語と文字
 - 漢字・漢文の流入と日本語（漢字音とは何か。呉音、漢音とその資料。漢字と日本語（和語）。漢文訓読と日本語。注釈学の進展と古辞書の成立。声調表示の機能。）
 - 仮名遣いについて（仮名遣いと音韻。上代特殊仮名遣い。平安時代の仮名遣いの実態。定家仮名遣い。契沖仮名遣い。）
- 後期は、近世、近代を中心とし、主に次のトピックを扱う。
- 文法研究の深化（中世以来の歌学と文法意識。国学者達の文法研究。西洋文法学の渡来。明治以降の文法研究への発展。）
 - 「言葉を集める」ということ（様々な古辞書の成立。近代国語辞典への流れ。現代の国語辞典の意義と問題点。）

履修上の留意点

多くの参考文献を紹介するので、図書館で積極的にコピーしてもらいたい。

成績評価の方法

学年末の試験を中心とする。

教 科 書

馬淵和夫、出雲朝子著『国語学史』（笠間書院）1,800円（税別）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国語学研究 I	木村 巖	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

室町時代の聯句連歌の表現と古辞書について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

聯句連歌10件を採り挙げて、その表現と語彙の性格について考察する。和句については和歌・連歌の用語と対比することにより、和漢聯句の和句の用語の特徴を考える。漢句については日本の古辞書、特に『下学集』『節用集』『温故知新書』『運歩色葉集』等を検索して、漢句の用語が古辞書とどう関わっているかを考察する。

前期(4月～7月)は漢和百句を5件採り挙げ、解説する。

後期(9月～12月)は和漢百句を5件採り挙げ、順序を決めて学生に発表させ、討議しながら進める。

履修上の留意点

『新編国歌大観』(角川書店)や『類聚名義抄』『色葉字類抄』『下学集』『節用集』『口葡辞書』等の古辞書は常に参照する。

毎時間、学生は図書館で十分予習しておくこと。

成績評価の方法

期末テスト、平常点、出席状況などにより評価する。

教科書

プリントを用意する。

参考書等

授業中に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
上代文学研究 I	中嶋 眞也	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

現存最古の歌集『万葉集』に収められた歌には、用いられた表現に基づき、類歌・類想と処理されるものが少なくない。しかし、同様な表現でありながら、すべてが同じなのではない。多様な表現性が見届けられ、また『万葉集』の中での歌の享受をも想定させるのである。表現を共有する歌を取り上げ、古代の歌のありようの一端を把握することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

『万葉集』の概説から始め、類歌・類想と説明される歌々を取り上げ、丁寧に読み解く。原文・訓みの確定と内容面の把握の関わりを提示していく。

履修上の留意点

出席を重視し、集中して講義内容を理解しようと努めること。

成績評価の方法

出席、授業態度、前期末のレポートと年度末の試験によって総合的に評価する。

教科書

鶴久・森山隆『万葉集』(おうふう)

参考書等

授業中に適宜指示する。

その他

テキスト以外の資料は、必要に応じてプリントで配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
上代文学研究Ⅱ	こうのし 神野志 <small>たかみつ</small> 隆光	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

聖徳太子（その名の成立は新しい）に焦点をあわせて八世紀の「古代」構築を考えたい。聖徳太子は、推古天皇の時代の政治を主導した人として、よく知られている。しかし、そのことは『日本書紀』によって知られるものである。『古事記』には「上宮之厩戸豊聡耳命」という名が載るにすぎない。『日本書紀』のつくる「歴史」が、そのような太子を成り立たせると見るべきである。テキストがつくる「古代」——「古代」の構築というのがふさわしい——といえる。複線的な「古代」という視点から、この問題にせまりたい。

講義の内容・授業スケジュール

全体は以下のように三部で構成する。前期は一を中心とし、後期は二、三を中心とする。
 一、『古事記』『日本書紀』をめぐって。(1、2)『古事記』『日本書紀』の成立。(3、4)『古事記』の構成と下巻末。(5～8)『日本書紀』における厩戸皇子の物語。(9～13)異なる「古代」をつくる『古事記』『日本書紀』。
 二、皇代記への視点。(14、15)『法王帝説』から。(15)『日本書紀』講書にあらわれたテキスト。(17～20)皇代記テキストの個別検討。(21、22)平安時代の歴史認識の現場としての皇代記。
 三、八世紀における「古代」構築。(23、24)複線的に構築された「古代」という視点。(25、26)『古事記』『日本書紀』と八世紀の「古代」構築。

履修上の留意点

授業は出席して意味がある。

成績評価の方法

出席を重視する。出席点と、授業中の小テストにより、評価する。

教科書

『古事記』（岩波文庫）

科目名	担当者名	配当学科	単位
中古文学研究Ⅰ	まつ おか とも ゆき 松岡智之	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

平安時代の仮名文学作品では、人生のいかなる局面でいかなる詩（和歌）が生まれるのかという関心が、作品生成の基盤となっているものが多い。本講義は、こうした作品形成のあり方をさまざまな作品の分析的読解を通して考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

①『伊勢物語』を出発点に、和歌と歌物語的ないし歌日記的なものに関する問題提起をする。
 ②平安時代の和歌の特色を、前代とのつながりを考慮しながら把握する。③『伊勢集』冒頭部および『平中物語』を解説する。④『蜻蛉日記』『和泉式部』等、日記文学における和歌のあり方を考える。⑤①～④の検討を踏まえ、『源氏物語』を読解する。

成績評価の方法

レポート、筆記試験、出席状況を総合して評価する。

教科書

プリント配布。

参考書等

授業時に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中古文学研究Ⅱ	まついけんし 松井健児	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

『源氏物語』の自然叙述を、その歴史的・表現史的な背景を踏まえつつ読み解いてゆく。ことに自然叙述の種々相における、認識方法や類型化の問題を、表現それ自体に内在する歴史性
の問題として扱うことによって王朝文化論としての展開を試みる。

講義の内容・
授業スケジュール

『源氏物語』より、訪問・哀傷・儀礼など、固有の意味を持ついくつかの場面を取り上げつ
つ講読する。具体的には、物語叙述と詩歌表現とを相互に関連付ける、歴史的心性および言語
表現史への言及ということになる。折に触れ、他の平安文学作品との比較検討を行う。

履修上の留意点

毎回、長文の本文を講読する。『源氏物語』の文章は難解で知られる。また、和歌・漢詩を
数多く読むこととなる。古語辞典等を活用しつつ、自宅での予習・復習の時間にじっくりと本
文と向き合い味読してほしい。

成績評価の方法

①本文解釈を中心とした筆記試験 ②出席状況 ③その他を総合して行う。

教科書

授業時にプリントを随時配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中世文学研究Ⅰ	さくらいようこ 櫻井陽子	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

軍記物語において、人物、特に英雄的な人物がどのように描きだされているのかを考える。
人物の造型を鑑賞し、その面白さを味わうことも目的であるが、それ以上に、軍記物語にとっ
て、登場人物に何が必要とされているのか、ひいては、軍記物語が何を描こうとしているのか
を考えたい。

講義の内容・
授業スケジュール

具体的に多くの作品に触れながら進める。
1～3 軍記物語にどのような特徴があるか。
4～6 為朝を読む(『保元物語』)
7～9 義平と義朝(『平治物語』)
10～13 清盛・義仲・義経(『平家物語』)
14・15 『承久記』
16～18 楠正成・足利尊氏(『太平記』)
19～21 義経・弁慶(『義経記』)
22～24 曾我兄弟(『曾我物語』)
25～30 まとめ

成績評価の方法

出席・授業態度・レポート・定期試験によって総合的に評価する。

教科書

授業時に適宜プリントを用意する。

参考書等

授業時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中世文学研究Ⅱ	たなかゆきえ 田中幸江	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

『今昔物語集』『古本説話集』『宇治拾遺物語』などの説話集、及び説話文学作品の周辺資料（『百座法談聞書抄』『言泉集』などの唱導文献）を対象として、説話の面白さ、さらには説話を研究することの楽しさを理解してもらうことを目的とします。

前期は、説話に登場するさまざまな階層の人々、および「鬼」「天狗」といった異形のものに着目し、それらが説話の中でどのように描き出されているのか考察することで、当時の人々の意識を探っていきます。

後期は、寺院などで行なわれた「説法」に着目し、実際に説話がどのように語られていたのか捉えたいと思います。寺院におけるこうした「説法」は、文芸生成の場として注目されており、『平家物語』との関わりも指摘されています。

講義の内容・授業スケジュール

（前期）（1・2）「説話」とは （3・4）上代から中世に至る説話文学史概観 （5～7）『今昔物語集』を読む （8・9）『宇治拾遺物語』を読む （10・11）『古本説話集』を読む （12・13）その他の説話集を読む

（後期）（14・15）説話の周辺資料について （16～18）「説法」について （18～25）「唱導文献」を読み、「語り」の実像に迫る （26）まとめ

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

レポート（課題は授業中に指示）。出席状況も成績に加味します。

教科書

その都度、プリントを配布します。

参考書等

授業中に随時指示します。

国
文

科目名	担当者名	配当学科	単位
近世文学研究Ⅰ	このえのりこ 近衛典子	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

上田秋成の読本『雨月物語』を読む。

講義の内容・授業スケジュール

単に小説のストーリーを追うだけでなく、典拠となった中国白話小説、日本の古典作品の精読、本文との比較検討を通して、浮かび上がってくる作品の主題を考える。

履修上の留意点

出席重視。

成績評価の方法

出席状況、受講態度、レポート等を総合し評価する。

教科書

鷺山樹心編『講読雨月物語』（和泉書院）

その他

講義

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
近代文学研究Ⅰ	えの もと まさ き 榎 本 正 樹	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

村上龍と村上春樹、いわゆるW村上の登場以後、八〇年代にデビューした作家たち（笹野 頼子、島田雅彦、高橋源一郎、辻仁成、松浦理英子、山田詠美、吉本ばなな）の後を受けて、九〇年代以降にデビューした新しい作家・作品について網羅的にとりあげ、その作家固有のテーマやモチーフを検証し、さらには同時代的な意義やジャンルの可能性を探っていきます。

講義の内容・授業スケジュール

講義では、現代日本文学のフィールドで重要だと思われる作家・作品を網羅的に解説・分析し、作品に内在するテーマ、モチーフ、表現や語りの方法、人物の関係性、周辺メディアとの関連性などを抽出していきます。扱う作品は主流系文学に限定せず、SF&ファンタジー、ミステリ、少女小説など、現代文学のあらゆるジャンルを対象とします。

参考までに授業で取りあげる可能性の高い作家を以下にあげておきます。阿部和重、赤坂真理、江國香織、角田光代、川上弘美、重松清、平野啓一郎、藤沢周、町田康、柳美里、長野まゆみ、多和田葉子、保坂和志、いしいしんじ、金城一紀、佐藤哲也、大道珠貴、嶽本野ばら、長嶋有、吉田修一、綿矢りさ、舞城王太郎、D[di:]など。また2004年にデビューした新人作品や文学界のトピックスについても、スポット的に言及していく予定です。

榎本は研究活動の一環として作家へのインタビューを積極的に行っていますので、授業では作家の生の情報なども盛り込みたいと思います。

履修上の留意点

現代日本文学、同時代のメディア全般に興味をもつ学生の履修を歓迎します。

成績評価の方法

出席点と授業の参加度をメインに、学期末に提出してもらったレポートの内容を加味し、総合的に評価します。

教科書

特に使用しません。

参考書等

必要な資料はプリントで配付します。参考文献等は、教室で指示します。

その他

履修に際しては、榎本のサイト（www.asahi-net.or.jp/~fy5m-enmt/）も参考にしてください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
近代文学研究Ⅱ	たか だ ち なみ 高 田 知 波	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

年間テーマは「漱石を読む」である。国民的作家と呼ばれる漱石は、著名な作家であるぶん、その作品の読みにはさまざまなバイアス（先入観）が付着している。そうしたバイアスから作品を解き放つ《読み》というものを追求したい。

講義の内容・授業スケジュール

漱石の代表作の中から、『ころ』『三四郎』『それから』の3作を選びこの順番で読んでいく。

履修上の留意点

講義形式ではあるが、受講生参加型の授業である。毎時間、授業の中で、多数の学生を指名して、意見や想像を含むさまざまな発問を行い、時には小討論も取り入れる予定であるので、それに対応できる心積もりをもって受講してほしい。

成績評価の方法

年度末の筆記試験によって評価を出す。欠席多数者は受験資格を失うことがある。

教科書

夏目漱石『ころ』『三四郎』『それから』（いずれも新潮文庫）

参考書等

教場で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語学特講Ⅰ	と い こう ゆう 土井光祐	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

日本語の歴史を明らかにするために取られてきた様々な方法を具体的に検証し、日本語の歴史的研究のこれまでの展開と今後のあり方を考えていく。平安時代末期から室町時代に至る、いわゆる“言文不一致”が深化する時期の口語の捉え方、及び文語史研究の意義等について、具体的な言語資料に基づきながら解説する。言語資料としては、特に聞書類、抄物類を中心に据えるが、他の種類の資料についても随時解説を加える。

講義の内容・授業スケジュール

当初の数週間は、日本語の歴史的研究の中で特に重要と思われる論文数本を読んで、その意義と問題点とについて解説する。その後、「国語年表」（『国語学大辞典』所載）に基づき、一応、西暦794年～1600年の間に挙げられている言語資料と、そこに見られる国語史上の言語事象について概説を行う。次に、具体的な言語資料をプリントとして配布し、その資料についての主な論文を検証しながら輪読していく。日本語の歴史的研究のための言語資料の広がり、音韻史、文字史、表記史、文法史、文体史等の視点から、個々の資料に見られる具体的な言語事象が何を意味するか、どのように解釈するべきか、他にどのような研究の視点があり得るか、について考えていきたい。

履修上の留意点

予備知識は不要であるが、受講者の国語学、特に国語史の基礎知識を確認しながら進めることになるので、国語学概論或いは国語史等で使用中、或いは使用したテキストがあれば、常に授業に持参して参照してもらいたい。

成績評価の方法

レポート

教科書

プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語学特講Ⅱ	とよ さわ ひろ のぶ 豊澤弘伸	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

国語学研究における、コンピュータを利用した言語情報処理能力の育成をはかります。
 ・これまでのコンピュータ利用による国語学の研究成果を概観します。
 ・国語学において利用の可能な言語情報処理の方法を理解します。
 ・コンピュータを利用した日本語研究の方法を獲得します。

講義の内容・授業スケジュール

前期1. (1-4) 先行研究についての方法的検討
 2. (5-8) 国語学研究におけるコンピュータ利用の状況
 3. (9-13) テキストデータの作成の方法
 後期4. (14-17) データベース・索引の作成と利用
 5. (18-26) 漢字処理の問題

履修上の留意点

授業では総合情報センターのパソコンを使用しますが、初心者でも受講可能です。

成績評価の方法

受講の状況（出席等）や提出物、期末試験などによって総合的に判断します。

教科書

テキストは使用しないが、必要に応じてプリントを配布します。

参考書等

『パソコンを使う日本語研究』（『日本語学』14巻7月臨時増刊号、明治書院）

その他

授業は、講義のほか、パソコンを利用した実習を予定（総合情報センターを使用）。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学特講Ⅰ	えん どう 藤 宏	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

万葉集を対象とする。万葉集の中でも傑出した歌人を輩出した第三期に主眼を置き、特に山上憶良と大伴旅人の作品上の交流がどのようになされ、どのような文学的結実を果たしたかという点に焦点を置く。

講義の内容・授業スケジュール

前期

(a)万葉集概説 (b)山上憶良・大伴旅人の閲歴と作品の概観 (c)山上憶良「嘉摩郡三部作」に至る過程 (d)山上憶良「嘉摩郡三部作」の検討

後期

(a)「嘉摩郡三部作」(続き)の検討
 (b)大伴旅人「亡妻悲傷歌」の検討
 (c)「梅花の宴」における憶良と旅人
 (d)まとめ

履修上の留意点

受講に際しては、講義ノートを十分にとることを心掛けてほしい。そのためには出席を欠かさないことが必須になる。

成績評価の方法

出席状況及び試験の結果による。なお、前期終了時には中間試験を行う。

教科書

教科書は、「万葉集」全歌を取めたものならばよく、特定の出版社に限定はしない。

参考書等

適宜、教場で指示する。

その他

授業方法は講義による。適宜、質問を行う。

国
文

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学特講Ⅱ	なか むら 中 村 文	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

鎌倉時代初頭に成立した7番目の勅撰集千載集を読む。大きな戦乱を経験した直後の撰集であることによる時代背景との深い関わりや政治性にも留意しつつ、この時代の和歌の特質について考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は四季部を、後期は恋部・雑部の歌を中心に読み進める。本文の取り扱い方や作者の伝記、配列構成などにも注意し、また和歌行事の再構築の方法や一首の文学史的意義などについても触れる予定なので、1時間に2～4首ずつの講読になるだろう。

履修上の留意点

古典文学、特に和歌は苦手だ、という学生は多いと思う。確かに、和歌では素材の取り扱い方や言葉の意味内容に、長い伝統を通して形成された一定のルールが存在する。それは学んで身につけなければならないものだけけれど、しかし和歌を読む上でもっとも重要なことは、〈想像する〉ことなのだ。〈詩〉とは、言葉と言葉、イメージとイメージの繋がりやぶつかり合いによって生まれる、気分や映像を味わうものだからだ。そのことを忘れず、どうか授業では大いに想像してもらいたい。

成績評価の方法

各期末に記述式の試験を行う。授業中の姿勢と合わせて判定する。

教科書

久保田淳校注『千載和歌集』(岩波文庫)

参考書等

授業開始時にプリントを配布して説明する。

その他

基本的に講義形式で進める。作品の読み解きに必要事項は、すべて担当者が説明するが、履修上の留意点に示したように、和歌は読者が想像する行為によって参加することで初めて完成するものなので、授業でもしばしば学生諸君の意見を聞くつもりである。恐れず恥ずかしがらず、自分の感じ取ったことを述べてもらいたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 特 講 Ⅲ	いまむら おさむ 今 村 修	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

日本現代演劇の流れ、現状を舞台成果の面からたどり、その特性を考える。

講義の内容・
授業スケジュール

日本現代演劇の概論。新劇以降の上演史をベースに、劇場論、観客論、海外との共同制作など、特徴的なトピックスを随時取り上げる。

履修上の留意点

演劇の公演を実際に見て欲しい。

成績評価の方法

レポート

教 科 書

特になし。

参 考 書 等

特になし。

そ の 他

講義と合わせ、公演ビデオなどの映像資料をできるだけ多用し、総合芸術としての演劇を具体的イメージを通して考える。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 特 講 Ⅳ	たぐち かず お 田 口 和 夫	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

日本の古典芸能の一つである能楽(能・狂言)は平成13年に世界無形遺産に指定されました。能と狂言は最近なにかと話題になることが多く、紹介・入門の書も面白いものがでています。能役者・狂言役者による新しい試みも数多くあり、現在の舞台も賑わいを見せています。また、能楽学会も発足の運びとなり、研究面でも新しい局面が開かれようとしています。このような現況を理解するとともに、能・狂言の形成の問題をその背景・素材となる説話との関わりの中で考究します。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①散楽・猿楽・能楽と展開する道筋を資料の読解によって確認します。
- ②能・狂言の作品研究の形式で、説話に関わりのあるものを取り上げ、その形成・展開の諸相を解明します。
- ③復曲・新作等の作品について鑑賞・分析します。

履修上の留意点

ビデオを使用して、現在の舞台を分析しますが、それにとどまらず、できるだけ実際の舞台を鑑賞することを期待します。

成績評価の方法

随時課するレポートと出席によります。

教 科 書

プリントの予定。

参 考 書 等

図書館で見るともべきもの一岩波講座「能・狂言」・能勢朝次著『能楽源流考』(岩波書店)・田口和夫著『能・狂言研究—中世文芸論考』(三弥井書店)

そ の 他

受講人数によりますが、基本は講義。

国
文

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学特講 V	わた なべ ち あき 渡 辺 千 明	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

TVやパソコンはいうに及ばず、携帯電話にまで「映像」があふれる現代、しかし高校までの課程で映像についての学習はほとんど用意されていないのが現状です。これからは、いよいよ本格的なメディアリテラシー(メディアを読み解く能力)が求められる時代がやってきます。そこで映像について考えてきた本講座は、今年度は映像の「読解力」を養成することをめざします。

講義の内容・授業スケジュール

具体的には、前期は1～2回の概論ののち「古典的名作」の鑑賞と解説を行ないます。従来、90分という授業時間を超える「名作」も多いことから、担当講師はこの形式の講義をためらってきましたが、今年度からは、たとえ一本の作品を二回の授業に分けて上映してでも、これを実行しようと考えました。映像に関心をもつ学生諸君が、あまりにも「古典的名作」を観ていないこともこの講義に踏み切る理由です。受講生諸君は、例えば世界の映画大学が必ずその第一講に上映するといわれる『戦艦ポチョムキン』や、日本が世界に誇る黒澤明や小津安二郎の名作と接するはずです。

後期は、映像の「読解力」を更に高めるために、シナリオ創作のワークショップを行なう予定です。「言葉による映像の表現」であるシナリオづくりに取り組むことによって、映像の正体を更に「内側」からつかめるようになるはず。

履修上の留意点

日常的に映像とりわけ「良い映像」に接することを心掛け、「映像感覚」を磨くこと。

成績評価の方法

後期末提出のレポート、もしくはシナリオ作品によって評価する。

教科書

〔後期用〕日本シナリオ作家協会編『笠原和夫・人とシナリオ』3,568円

その他

後期のワークショップでは「意見発表能力」が求められる。

国
文

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学特講 VI	たて いし かず ひろ 立 石 和 弘	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

平安朝の物語文学『源氏物語』における、「現代における流通・加工・消費」の様態について考察する。現代語訳、梗概書、演劇、映画、漫画へと加工されることで、『源氏物語』はどのような言説・表象として編成されているのか。『源氏物語』という文化が消費されていくなかに形成される権力構造の問題も見えながら、具体的な表現を通して考える。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに『源氏物語』の概説をおこなう。その後、受容態分析の研究史をふまえながら、加工媒体のメディア特性に留意しつつ具体的な表象分析に移る。与謝野・谷崎・円地・田辺・橋本詠の個性、造本・装画・宣伝などにより形成される美的王朝幻想、戦時下と戦後の源氏物語、不敬とジェンダーをめぐる表象、映画・アニメ・宝塚への再生など、複数の視点から源氏文化を対象化する。

成績評価の方法

出席と試験による。

教科書

毎回プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学特講Ⅶ	うえ 植 田 やす よ 代	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

平安時代初期の物語である『竹取物語』をとりあげ、作品の精読を通して、その特質をさぐる。さらに『源氏物語』等との影響関係を考え、物語文学史にふれる。

講義の内容・授業スケジュール

前期は『竹取物語』を丁寧に読むことを中心とし、後期は『源氏物語』とその前後の作品を比較しつつ検討していく。

(前期) (1～3) 平安時代初期の文学 (4) 『竹取物語』の概説 (5～12) 物語を読む (13) まとめ

(後期) (14～16) 物語を読む (17) 前期物語との関係を考える (18～23) 『源氏物語』との関係を考える (24) 後期物語との関係を考える (25) 物語文学史 (26) まとめ

履修上の留意点

私たちの親しんできた「かぐや姫」の話と原典との相違から、興味を深めてほしい。

成績評価の方法

平常の参加態度、冬期末のテストに依拠して行なう。出席は重視する。

教科書

関根賢司・高橋亨編『新編 竹取物語』(おうふう)

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学特講Ⅷ	しの 篠 原 すずむ 進	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

「鼠はおそろしく本を読まない。彼がスポーツ新聞とダイレクトメール以外の活字を読んでいるところにお目にかかったことはない」(『風の歌を聴け』)。今から二十年以上も前に、村上春樹が提示した未来図。それが今、現実のものとなりつつあります。

映画、テレビ、漫画、アニメ、テレビゲームといった「熱いメディア」(M. マクルーハン)の挟撃で瀕死の文学。何にでも驚き、感動していた幼い日に重要な発信源だった文学も近年は挑発力を失い、本の前で思わず絶句するという経験も少なくなった気がします。そんな中、唯一健闘しているのがミステリーです。ミステリーはなぜ、私たちの心をときめかせるのでしょうか。

そうした問題意識から、現代の文学との往復運動を繰り返しながら、西鶴小説の魅力をミステリーという視点で考えてみたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

西鶴についての予備知識は、必要ありません。講義はできるだけ分かりやすく、一回で完結するよう心がけ、資料はコピーで提供する予定。条件が許せば、教材提示装置や、ビデオも活用するつもりです。

履修上の留意点

就職試験などで止むを得ず欠席する受講生は、事前に連絡してください。

成績評価の方法

出席状況や、試験などで総合的に評価します。

教科書

テキストは、私たち西鶴研究会が編集した、次のものを使用します。
西鶴研究会編『西鶴が語る 江戸のミステリー』(ベリカン社) 価格未定。
他にコピーを適宜配布する予定です。

参考書等

参考文献などは、講義の中で紹介します。

その他

基本的には講義形式ですが、一方通行にならないよう、受講者の意見や感想を聞き、討論する時間も持ちたいと考えています。

国
文

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学特講Ⅹ	なかむらみよし 中村三代司	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

戦後文学の旗手として、坂口安吾等とともにジャーナリズムに迎えられた太宰治の昭和20年代の小説や戯曲を取り上げます。太宰の文学活動は、昭和8年から23年までの約15年間に及びますが、この時期は、いわゆる転向、文芸復興から戦中・戦後の混乱期という波瀾万丈の時代でした。本年度は、敗戦直後という混沌とした時代状況の中で、彼の文学が我々読者にどのようなメッセージを送ったのかを、同時代の作家の動向も視野に入れながら考察します。併せて、太宰作品の分析を通じて、近代文学の研究方法を学習します。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) (1) 導入 (太宰治の文学の概要)
 (2～13) 「パンドラの匣」「薄明」「十五年間」「未帰還の友に」等
 (後期) (14～25) 「男女同権」「ヴィヨンの妻」「冬の花火」「春の枯葉」等
 (26) まとめ

履修上の留意点

前・後期ごとに取り上げる作品を指示しますので、必ず読んだうえで受講して下さい。

成績評価の方法

前・後期各1回のレポートを中心に、出席状況を勘案して評価します。

教科書

『太宰治全集』第8巻(ちくま文庫) 880円
 その他、参考資料のプリントを随時配付します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学特講Ⅹ	くにまつとしひで 国松俊英	国文2・3・4選必	4

国
文

講義のねらい

この時間では、童話や児童文学の創作を書く。もともと創作は個人の作業である。何を、どのように書いていくかは、ひとりひとりが書きながら考え、苦しみながらその方法を見つけていくものだ。

とはいうものの、創作するための手がかりがあれば、より早くより確実にその方法を見つけることができる。道すがすが判れば、迷ったり悩んだりしなくてもすむだろう。この時間では、書いていく手がかりを提示し、それをもとにいろんな作品に挑戦する。童話、児童文学を書くことの楽しさとすばらしさをみんなが獲得できるようにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ①原稿用紙の使い方 ②個性ある文章を書くために ③物語作りのはじめ——どんな方法で書くか ④題材はどこで見つけてくるか ⑤ストーリーを組み立てる ⑥魅力あるキャラクターを作る ⑦説明文と描写文 ⑧生きた会話を書くには ⑨長篇と短編 ⑩表現技術を高める

履修上の留意点

これまで一度も童話や創作を書いた経験がない人もかまわない。この時間では、文章の書き方のABCから始めるつもりである。

成績評価の方法

提出作品と出席状況で評価する。

その他

講義・実技・合評を組み合わせる授業を行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学特講Ⅱ	えの もと まさ き 榎 本 正 樹	国文2・3・4選必	4

講義のねらい

世界的に見ても類を見ない表現ジャンルとして進化を遂げた、日本のマンガとアニメについて考察します。

講義の内容・授業スケジュール

前期はマンガ、後期はアニメについて講じる予定です。マンガへは、表現論、物語論、ジャンル論、流通論、メディア論、ジェンダー論、記号論、身体論、作家論、読者論など多様なアプローチが可能です。本講義では、主として「マンガを読むための方法論」について考えていきたいと思っています。そうした原論的な部分を確認した上で、具体的に作品を一作選び、作品論を展開することを前期の目標にします。

後期は、宮崎駿監督とスタジオジブリのアニメについて考えていきます。『未来少年コナン』『風の谷のナウシカ』『天空の城ラピュタ』『となりのトトロ』『魔女の宅急便』『紅の豚』『耳をすませば』『もののけ姫』『千と千尋の神隠し』といった宮崎作品や、今年の夏公開予定の新作『ハウルの動く城』について、個別に作品論を展開します。そうした作業を通して、宮崎駿の表現世界の全貌に批評的に迫っていききたいと思っています。

履修上の留意点

マンガ、アニメだけでなく、文学の周辺ジャンルやサブカルチャーに興味をもつ学生の履修を歓迎します。学生からの質問や問題提起にも積極的に応じたいと思っています。

授業は基本的に講義形式ですが、視聴覚系資料のプレゼンテーションを併用した形になります。

成績評価の方法

出席点と授業の参加度をメインに、学期末に提出してもらったレポートの内容を加味し、総合的に評価します。

教科書

特に使用しません。

参考書等

必要な資料はプリントで配付します。参考文献や関連サイトについての情報は、教室で教示します。

その他

履修に際しては、榎本のサイト (www.asahi-net.or.jp/~fy5m-enmt/) も参考にしてください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語国文学演習Ⅰ	き むら あきら 木 村 巖	14以降入学生/国文2必	4
国語学演習Ⅰ		13以前入学生/国文2必	

講義のねらい

中世語の語彙・語法・音韻・仮名遣い等について国語史的に学び、近代語の成立について考える。

講義の内容・授業スケジュール

『仮名書き大学・中庸』を「抄物」、「キリシタン資料」などと対照させ、それぞれの語彙・語法・音韻・仮名遣いなどの特徴を考察する。特に国語史の基礎を十分学ぶようにする。

履修上の留意点

前期（4月～7月）は『仮名書き大学』を解読し討議する。研究分担をして発表させる。後期（9月～12月）は『仮名書き中庸』を解読する。前期同様に学生に研究分担させる。『類聚名義抄』『色葉字類抄』『下学集』『節用集』『日葡辞書』等の古辞書の類は常に参照する。図書館で十分な予習をしておくこと。

成績評価の方法

レポートを課し、平常点で評価する。研究発表（分担）とその資料、出席状況などを見て、総合的に評価する。

教科書

プリントを用意する。

参考書等

授業中に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語国文学演習Ⅰ	なかじま しんや 中嶋 真也	14以降入学生/国文2必	4
国文学演習Ⅰ		13以前入学生/国文2必	

講義のねらい

『万葉集』をよむことを通じて、古典文学研究の実際を体得し、また自身の理解したことを他の人に正確に伝えるための発表技術（資料作成ならびに口頭発表）を習得することを目的とする。

具体的には『万葉集』巻八を取り上げる。この巻に収められる歌はおおむね短歌体で、春雑歌から冬相聞に至るまで、春夏秋冬の季節分類の上、雑歌・相聞の部立てに収められている。歌人も基本的に明記される。季節分類されていることで、景物と関わらせた当時の季節観が探れ、また歌人研究の礎ともなる。

講義の内容・授業スケジュール

初回の授業で、『万葉集』に関しての概説と演習において求める調査方法などの解説を行う。発表者は、巻八の歌々から1首以上を取り上げ、原文・訓みの確定、歌人に関する情報、歌の内容理解を宗とした発表を行い、その上で受講者全員での討議へとうつる。

履修上の留意点

演習の主体は、学生の側にある。自分が発表ではない回も欠席は慎むこと。また、討議にも積極的に参加すること。

成績評価の方法

発表、質疑に対する応答、討議への参加、年度末に提出するレポート、出席状況によって総合的に評価する。

教科書

鶴久・森山隆『万葉集』（おうふう）

参考書等

授業中に適宜指示する。

国
文

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語国文学演習Ⅰ	たかほし ぶんじ 高橋 文二	14以降入学生/国文2必	4
国文学演習Ⅰ		13以前入学生/国文2必	

講義のねらい

『伊勢物語』を読み、そこに表れている人間観、自然観の意味するところを探り、平安時代の歌物語の特質を考える。

講義の内容・授業スケジュール

はじめの3~4回は問題点につき、概論風の講義をするが、あとは各自担当箇所を決めて、研究発表をする。

履修上の留意点

研究発表にあたっては担当箇所の語彙の用例調査、諸注釈の検討、時代状況の確認などをあらかじめ為して授業に臨むこと。

成績評価の方法

年二回のレポートの提出、研究発表の内容、出席の状況によって評価する。

教科書

『異本対照 伊勢物語』（和泉書院）1,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語国文学演習Ⅰ	まつ い けん じ 児 松 井 健 児	14以降入学生/国文2必	4
国文学演習Ⅰ		13以前入学生/国文2必	

講義のねらい

平安時代物語の研究を自律的に展開できる基礎的な方法および意識を養う。具体的には、『源氏物語』を対象とし、その物語内容を理解するのみではなく、その内容を導き出す、古代物語の方法や構造をとらえることに主眼を置く。

講義の内容・授業スケジュール

受講者による研究報告形式をとる。『源氏物語』『末摘花』の巻を直接の対象として、巻の後へと派生し展開していく諸問題を考察する。本文を読み込み、合わせてさまざまな注解や論文を読むことによって、たんなる感情移入や印象批評におわることなく、『源氏物語』の全体像を視野に入れたうえで分析的な研究を展開できる技術を養う。

履修上の留意点

演習科目は学生相互の協力によって成り立つ。おのおのの発表にさいして提供しあう情報量と質が、この科目の成否を決定する。

成績評価の方法

受講者による ①演習発表資料 ②発表内容 ③レポート ④出席状況 ⑤その他を総合して行なう。

教科書

石田穰二・清水好子・校注、新潮日本古典集成『源氏物語 一』（新潮社）

参考書等

参考書は授業時に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語国文学演習Ⅰ	なて いし かず ひろ 立 石 和 弘	14以降入学生/国文2必	4
国文学演習Ⅰ		13以前入学生/国文2必	

講義のねらい

平安朝物語文学の基礎的な演習。『源氏物語』を対象として、発表者の問題意識を展開し論として構成する方法と技術を養う。

講義の内容・授業スケジュール

「若紫」巻を読む。諸注釈を対照させながら、表現を丹念に読み込む。担当場面から、自己の関心に即して研究テーマを設定し、調査、報告する。古代的な想像力の枠組みや、ジェンダー構成、生活世界を構成する事物や身体の配置、あるいは話型など、多様な補助線を引きながらアプローチしてもらいたい。はじめに概略的な説明を行い、以降は報告者の発表と質疑応答によって進めていく。

履修上の留意点

参加者は、自己の発表だけでなく、他の発表者と問題意識を共有しながら、互いに情報を提供し合い、積極的に議論を深めていくこと。

成績評価の方法

演習発表資料・内容、出席状況、授業への参加、レポートによって総合的に評価する。

教科書

阿部秋生・秋山虔・今井源衛・鈴木日出男校注『古典セレクション 源氏物語2』（小学館）1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語国文学演習Ⅰ	さくら い よう こ 櫻 井 陽 子	14以降入学生/国文2必	4
国文学演習Ⅰ		13以前入学生/国文2必	

講義のねらい

古典文学の調査・研究の方法の基礎を学びつつ、中世文学を代表する軍記物語に親しむ。

講義の内容・
授業スケジュール

『平家物語』巻11を読む。一回の発表で、一人一章段を採り上げる。章段を選び、自分でテーマを設定して調査し、報告する。必要に応じ、諸本の比較、周辺作品との比較を行う。発表後の討議の中で自分の問題意識を掘り下げる。後日、レポートにまとめて提出する。

1～3 『平家物語』と巻11の説明

4 担当章段の決定

5～ 発表と討議

履修上の留意点

学生自身が、些細であっても自分なりの問題点や関心を持つこと。また、自身の発表時以外には積極的に質疑・討論に参加すること。

成績評価の方法

口頭発表、レポート、出席、質疑への参加の様子を踏まえて総合的に判断する。

教科書

『平家物語』三(岩波文庫)

参考書等

授業中に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語国文学演習Ⅰ	たけだまさのり 武田昌憲	14以降入学生/国文2必	4
国文学演習Ⅰ		13以前入学生/国文2必	

講義のねらい

随筆『徒然草』を読み解く。今年度のテーマは「自然と人間」である。作者兼好法師は、人間観察にかけては本邦第一の定評ある人物である。そのゆえんが本書である。本書は日本人に最もよく読まれ、また親しまれてきた古典作品である。そこには限りある人生を有効に使う方法が多く書かれていて、これから社会に巣立つ者には好適の作品といえる。

前期には中世文学を支えた思想。特に兼好法師に影響を与えた思想について解説。次に『徒然草』の概要に触れた後、指定した章段を中心に、演習形式で担当者（複数）が発表してもらう。これについての討論も行う。

後期は前期の発表の続きに次いで、各自（個人）が選んだ章段を発表してもらう。発表内容について討論もしてもらう。また発表過程で中世語・故実・人物等について、基本的かつ具体的な研究・調査方法を身に付けてもらう。

講義の内容・授業スケジュール

〈前期〉

中世文学の思想について(1)

- 仏教。詠嘆的無常観と自覚的無常観。無常「感」の文学か、無常「観」の文学か。往生。念仏。出家。禅。

中世文学の思想について(2)

- 神道。中世の常識事項、神仏習合思想。本地垂迹思想。反本地垂迹思想。神国思想。蒙古襲来の影響。伊勢神道。

中世文学の思想について(3)

- 儒教。孟子、孔子。道教。老荘思想。遁世。その他の思想。わが国在地の神々。祖先崇拜と故実・格式。

徒然草の特質と発表（前期演習）の手順および分担。演習発表の章段については下記の授業内容を参照のこと。

基本文献・資料の紹介と解説。系図関係。故実関係。地名関係。人物関係。作品関係。図書館での所蔵場所確認。

鴨長明と兼好法師

両者の共通項と独自の路線。方丈記と徒然草。歌人としての人生。兼好の事歴について

序段についての実演・発表

プリント（資料）を配布しての発表の一見本。序段の考え方を理解。

指定された章段の発表。

〈後期〉

各自選択した章段の発表。

成績評価の方法

前期・後期のレポート。演習発表。小レポート。討論内容。出席状況等を加味して総合的に評価する。特に本人発表時における無断欠席は単位を与えないことがあるので注意すること。

教科書

木藤才蔵校注『徒然草』（新潮社）3,000円 ISBN4-10-620310-3

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語国文学演習Ⅰ	はやし 林 たつ 達 や	14以降入学生/国文2必	4
国文学演習Ⅰ		13以前入学生/国文2必	

講義のねらい

- ・芭蕉の『奥の細道』を読む。
- ・本講義は基礎演習的な要素をもつ。テキストを理解するとはどういうことか、理解のためにはどのような手続きが必要か、などのことについて、身をもって修得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- ・『奥の細道』を旅立ちから読み進める。
- ・『奥の細道』の通釈書は多数ある。その中から必読文献を指定し、解釈の比較を行い、その過程を通して自分の読みを定めてゆく。一字一句にこだわって、丁寧に読む。
- ・適切な辞書の使い方を覚える。
- ・参考文献の探し方・利用方法を身につける。
- ・効果的な発表方法を考え、実行する。

履修上の留意点

- ・演習であるので、出席を義務とする。
- ・授業には積極的に参加しなければならない。
- ・発表者は、参考資料（レジュメ）を作成する。

成績評価の方法

- ・発表時の方法・成果・資料の作成の仕方・学年末提出のレポート
- ・授業への参加姿勢の三点によって評価する。

教科書

『奥の細道』（岩波文庫）

参考書等

開講時に示す。

その他

- ・授業はレポーターの発表を中心に進める。
- ・発表資料作成にあたっては、広く資料を探し、具体的にわかる方法（例えば、図録・絵画活用等）をとること。

国
文

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語国文学演習Ⅰ	この 近 え のり 衛 衛 典 こ 子	14以降入学生/国文2必	4
国文学演習Ⅰ		13以前入学生/国文2必	

講義のねらい

古典文学読解のための基本的な力を養うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

上田秋成の『藤篋冊子』（つづらぶみ）を読む。短文の中に織り込まれた和歌、物語、漢詩などを的確に把握し、秋成の和文の妙味をじっくりと味わいたい。授業は受講者による発表形式をとり、質疑応答によって読みを深めていく。

履修上の留意点

発表者は担当部分の語彙の用例調査、典故の検討、登場人物の伝記的調査等の結果を踏まえて、正確な読みを提示すべく試みる。受講者は積極的に質疑応答に参加すること。

成績評価の方法

演習発表資料、演習内容、出席状況、レポート、その他を総合して評価する。

教科書

プリント配布。

参考書等

授業時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語国文学演習Ⅰ	おか だ ゆたが 岡 田 豊	14以降入学生/国文2必	4
国文学演習Ⅰ		13以前入学生/国文2必	

講義のねらい

演習という授業の初学者に対し、作品を丹念に読み、みずからの言葉で論じるということの基礎的トレーニングを行う。特に発表技術の習得、レジュメの作成方法、ディスカッションの方法についての指導に重点をおく。

講義の内容・授業スケジュール

芥川龍之介の小説を読む 扱う作品は、『羅生門』『戯作三昧』『袈裟と盛遠』『地獄変』『奉教人の死』『秋』『杜子春』『南京の基督』等を予定している。司会も学生が行い、演習生が一丸となって討論する。表現を丁寧に読み込んでいく作業を通して、芥川文学に秘められた可能性を発見してもらいたい。

履修上の留意点

発表を体験するだけでも大きな発見がある。皆の意見を誘うような見解を考え、自分たちの読みが伝わりやすい説明の仕方が何か、作戦を立てる。周到に準備したにもかかわらず、皆からの総攻撃を受けたとか、発表者が用意してきたテーマとかけ離れた発言がみんなの興味を誘い、議論が白熱したとか、発表者の面白い報告に引きつけられて、自分も考えていくうちに、嫌いだった作品が好きになっていたとか、演習は予想外の展開に満ちている。その醍醐味を味わうには、ディスカッションの流れをつかみ、勇気を出して発言することが肝要である。

成績評価の方法

演習は教員の説明を聞いてノートをとる形式とは異なり、学生自身が実際に調査・報告・討論を行う。よって欠席回数が多いと多く続くと履修不可能となる場合がある。定期試験は行わないが、レポートを提出してもらおう。報告内容、討論参加の態度、レポートを総合的にながめたいうで評価する予定。

教科書

文庫テキストを各自で用意する。

参考書等

その都度教場で紹介する。

国
文

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語国文学演習Ⅰ	かつ はら はる き 勝 原 晴 希	14以降入学生/国文2必	4
国文学演習Ⅰ		13以前入学生/国文2必	

講義のねらい

近現代の詩歌について学ぶとともに、研究報告と討論を通して、作品についての自分の考えをまとめ、発表する力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

近現代(明治～平成)の詩歌を読む。対象とする詩人・歌人・俳人は各参加者の希望によるが、場合によっては振りあてることもある。担当者の報告と参加者全員による討論によって進めていく。

14年度に採りあげた詩人は以下の通り。

高村光太郎・金子みすゞ・室生犀星・三好達治・立原道造・中原中也・辻征夫・荒川洋治・宮沢賢治・吉野弘・寺山修司・萩原朔太郎・新川和江・谷川俊太郎・吉原幸子・山村暮鳥・丸山薫。

15年度に採りあげた詩人は以下の通り。

寺山修司・草野心平・金井美恵子・島崎藤村・谷川俊太郎・飯島耕一・吉岡実・萩原朔太郎・北原白秋・富岡多恵子・中原中也・石川啄木・高村光太郎・室生犀星・佐藤春夫・萩原恭次郎・金子光晴。

履修上の留意点

近現代の詩歌についての基礎知識を学んでいることが望ましい。また各人の積極的な参加を求める。

成績評価の方法

発表報告の内容、討論への参加状況、出席、レポートを総合して評価する。

教科書

プリント配布。

参考書等

授業時に随時指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語国文学演習Ⅰ	たか だ ち なみ 高 田 知 波	14以降入学生/国文2必	4
国文学演習Ⅰ		13以前入学生/国文2必	

講義のねらい

年間テーマは「太宰治を読む」。太宰治は青年層の間で人気の高い作家であるが、「太宰治」という神話が作品の読みを著しく束縛してきたことも確かである。作中人物の言葉をただちに「太宰」の肉声だと決め込んでしまうようなバイアス（先入観、偏見）からいかにして作品を解き放ち、自由に豊かな《読み》を生産していくか。学生相互による壮大な共同作業を追求する演習を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

『魚服記』『駆け込み訴え』『お伽草紙』『斜陽』『ヴィヨンの妻』『人間失格』の6作品を学生グループが分担し、年間スケジュールを立てる。グループによる発表と学生全員によるディスカッションを軸にして、原則として1作品4週間のペースで読んでいく。

履修上の留意点

毎時間テキストを読んで出席することは最低限のルール。そして「演習の主役は学生である」という原則に則って、活発な発言を行うという姿勢で演習に臨んでほしい。

成績評価の方法

平常点と、期末のレポートの採点結果とを総合的に評価する。

教科書

『晩年』、『走れメロス』、『お伽草紙』、『斜陽』、『ヴィヨンの妻』、『人間失格』（いずれも新潮文庫）

参考書等

教場で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語国文学演習Ⅱ	き むら あきら 木 村 巖	14以降入学生/国文3必	4
国語学演習Ⅱ		13以前入学生/国文3必	

国
文

講義のねらい

中世辞書の漢語を研究する。特に説話・軍記に使用される漢語と、記録体の文章に頻出する漢語との異同について考える。

講義の内容・授業スケジュール

説話・軍記の漢語の用例は主に『太平記音義』から採り挙げる。また記録体の漢語は主に『実隆公記』から採集して、それぞれ『色葉字類抄』『下学集』『節用集』『温故知新書』『運歩色葉集』等の古辞書によって検証する。

前期（4月～7月）『太平記音義』に見られる漢語を辞書で検索し、その特徴を学ぶ。
後期（9月～12月）『実隆公記』の用語を中心に記録体の漢語の特徴を学ぶ。

履修上の留意点

『類聚名義抄』『色葉字類抄』や『倭玉篇』『下学集』『節用集』『日葡辞書』等の古辞書類は常に参照する。予習を怠らないこと。

成績評価の方法

レポートを課し、平常点で評価する。ただし研究発表（分担）とその資料、出席状況などを見て、総合的に評価する。

教科書

プリントを用意する。

参考書等

授業中に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語国文学演習Ⅱ	なかじま しんや 中嶋 真也	14以降入学生/国文3必	4
国文学演習Ⅱ		13以前入学生/国文3必	

講義のねらい

『万葉集』の中には、雑歌・相聞・挽歌の三大部立ての他に、「譬喩歌」として分類される歌がある。基本的には、何らかの物象に寄せて思いを陳べる恋の歌と判断されるが、その「譬喩歌」はどのような表現で、何をいおうとしているのか。丁寧に読み解くことで、古代の歌のありようの一端を把握することを目的とする。また、それぞれの歌は、後代どのような解釈がなされたのかもあわせて検討することにする。

講義の内容・授業スケジュール

『万葉集』中「譬喩歌」は、巻三に25首、巻七に108首、巻十一に13首、巻十三に1首、巻十四に14首収められている。今年度は、「譬喩歌」を比較的多く収める巻三と巻七を取り上げる。巻三は歌人の名を記し、巻七は作者未詳の歌を収める。

初回の授業で、『万葉集』に関しての概説と演習において求める調査方法などの解説を行う。発表者は、巻三もしくは巻七の「譬喩歌」から1首以上を取り上げ、原文・訓みの確定、歌の内容理解を宗とした発表を行い、その上で受講者全員での討議へとうつる。

履修上の留意点

演習の主体は、学生の側にある。自分が発表ではない回も欠席は慎むこと。また、討議にも積極的に参加すること。

成績評価の方法

発表、質疑に対する応答、討議への参加、年度末に提出するレポート、出席状況によって総合的に評価する。

教科書

鶴久・森山隆『万葉集』（おうふう）

参考書等

授業中に適宜指示する。

国
文

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語国文学演習Ⅱ	たか はし ゐん じ 高橋 文二	14以降入学生/国文3必	4
国文学演習Ⅱ		13以前入学生/国文3必	

講義のねらい

昨年度に引き続いて『源氏物語』の「夕霧」巻を読み、光源氏の晩年の人間関係と文学世界の意味あいを考える。

講義の内容・授業スケジュール

はじめの4~5回は概論風の講義をし、「夕霧」巻の問題点について触れる。昨年度に問題となった「ことば」や表現については特に時間をかけて解説をし、古語を読みとることの大切さを考えたい。あとは出席者各自の研究発表の形をとる。

履修上の留意点

語彙索引の類を十分に活用して、担当箇所に出てくる言葉の用例などを綿密に調べ、古注釈なども検討する。細かい方法等については授業時間内に指示する。

成績評価の方法

研究発表の内容、年二回のレポート、出席の状況などを勘案して評価する。

教科書

影印本『ゆふぎり』（新典社）
『字典かな』（笠間書院）

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語国文学演習Ⅱ	まつ い けん じ 松 井 健 児	14以降入学生/国文3必	4
国文学演習Ⅱ		13以前入学生/国文3必	

講義のねらい

『源氏物語』にあらわれる、王朝貴族の美意識や生活様式を探り、その作品世界への文芸化の方法を考察する。古代物語を形成するうえでの基礎的な構造の把握と、その制度的な構造から逸脱する、一回的な感覚世界との緊張関係を読み解くことによって、作品自体が常に新たなものとして生成していく、動態としての『源氏物語』観を獲得する。

講義の内容・授業スケジュール

受講者による研究報告形式をとる。『源氏物語』の「蓬生」「関屋」の巻を直接の対象として、巻の前後へと派生し展開していく諸問題を考察する。本文を読み込み、合わせてさまざまな注解や論文を読むことによって、『源氏物語』の全体像を視野に入れたうえでの分析的な研究を行ない、それらによって得られた知見を論理的に構成し、批評できる力を養う。

履修上の留意点

演習科目は学生相互の協力によって成り立つ。おのおのの発表にさいして提供しあう情報量と質が、この科目の成否を決定する。

成績評価の方法

受講者による ①演習発表資料 ②発表内容 ③レポート ④出席状況 ⑤その他を総合して行なう。

教科書

石田穠二・清水好子・校注、新潮日本古典集成『源氏物語 三』（新潮社）

参考書等

授業時に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語国文学演習Ⅱ	う え た や す よ 植 田 恭 代	14以降入学生/国文3必	4
国文学演習Ⅱ		13以前入学生/国文3必	

講義のねらい

『源氏物語』をとりあげ、内容の理解を通して、作品をめぐる状況や平安時代の宮廷社会に生きる人々の感じ方・考え方をさぐる。

講義の内容・授業スケジュール

『源氏物語』の「梅枝」「藤裏葉」両巻を対象とする。毎回担当者を決め、担当範囲を割りふり、担当者の作成する資料にもとづいて、受講者全員による討論を行なう。

(前期) (1・2) 資料作成の方法など (3・4) 作品の概説 (5～12) 発表 (13) まとめ

(後期) (14～25) 発表 (26) まとめ

履修上の留意点

作品全体のストーリーを各自で把握するよう心がけてほしい。

成績評価の方法

平常の参加態度・発表・期末レポートに依拠して行なう。積極的に参加した人への配慮をする。出席は重視する。

教科書

新潮日本古典集成『源氏物語 四』（新潮社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語国文学演習Ⅱ	さくら 櫻井 陽子	14以降入学生/国文3必	4
国文学演習Ⅱ		13以前入学生/国文3必	

講義のねらい

平家物語は鎌倉時代に成立したと考えられているが、作者・成立年代のみならず原態もすべて不明であり、その解明に向けて研究が進んできたと言っても過言ではない。

平家物語の作品世界を知り、内容を精読し味わうことと、研究上の問題がどのように関わるのか、具体的な問題に触れつつ考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

巻八を扱う。延慶本を少しずつ読み解く。影印本を参考としながら活字本の誤りを訂正する。現代語訳をした上で、各自の問題意識に沿った調査と考察を発表し、質疑応答を行う。

1～3『平家物語』と巻八の説明

4～ 発表

履修上の留意点

問題点は書誌学・国語学・芸能・和歌・説話・音楽他、多方面にわたり、また、歴史との関わりにも注意を向ける必要がある。学生自身が自分なりの関心と問題意識を掘り下げる機会となることを願う。

成績評価の方法

口頭発表、レポート、出席、質疑への参加の様子を踏まえて総合的に判断する。

教科書

授業中に適宜指示する。

参考書等

授業中に適宜指示する。

国
文

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語国文学演習Ⅱ	なか 中村 文	14以降入学生/国文3必	4
国文学演習Ⅱ		13以前入学生/国文3必	

講義のねらい

鴨長明が鎌倉初期に著した『無名抄』を読む。「歌学書」と分類される『無名抄』だが、歌人のエピソードが多く収載されており、「説話集」の一面も持っている。平安から鎌倉にかけての歌人たちの言動を読み取りながら、時代が大きく移り変わる中で、歌人や和歌のあり方がどう変化していったかを考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

冒頭から順次読み進める。1時間に1話ずつ取り上げる予定である。授業開始時には、作品と作者の概略を説明し、参考文献の紹介を行う。また、報告の具体的な方法(調査すべき項目、レジュメの作り方)を、担当者が実際にやってみせるので、受講者は必ず出席すること。

履修上の留意点

調査の方法やレジュメの作り方、あるいは問題点の探し方など、わからないことはそのままにしないで、必ず聞きに来てほしい。本年度は担当者も KOMSY に習熟して、これを通した質問にも答えられるよう努力するつもりである。

成績評価の方法

報告の内容と授業中の姿勢を総合して判定する。

教科書

川村晃生・小林一彦校注『無名抄』(三弥井書店)1,000円

参考書等

プリントを配布して説明する。

その他

演習であるから、授業は学生諸君の報告を軸に展開する。聞く側に居る場合も、自分の意見を述べる姿勢を忘れないでほしい。成績評価の方法に記した「授業中の姿勢」とは、他人の報告を聞き、自分の問題としてしっかりと考えているかどうかを判断するものである。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語国文学演習Ⅱ	はやし 林 たつ 達 や 也	14以降入学生/国文3必	4
国文学演習Ⅱ		13以前入学生/国文3必	

講義のねらい

・近世（江戸時代）女流の日記・紀行を読み、近世女流文人の様相、文事をめぐる環境・状況等について考察する。
・近世の文書・記述に慣れることもねらいの一つである。

講義の内容・授業スケジュール

・近世の女性が書いた日記・紀行は意外なほど多く残っている。その中から、適宜幾つかの作品を選んで、丁寧に読みたい。近世の女性がどのような旅をしたのか、近世以前の女性の紀行などどのように違うのか、近世女性の文学にはどのような背景があるのか、和歌・俳諧・漢詩文との関わりはどのようなのか、考えることは様々にある。担当者の発表を中心として読み、考える。
・テキストを一字一句にこだわって、丁寧に読む。
・適切な参考書・文献を使いこなし、読解へ結び付けてゆく方法を身につける。
・効果的な発表方法を考え、実行する。

履修上の留意点

・演習であるので、出席を義務とする。
・授業には積極的に参加しなければならない。
・発表者は参考資料（レジュメ）を作成する。
・地誌類など多様な資料にも広くあたり、観念的ではなく、具体的に読み解く。
・聞き手の反応を出来るだけ引き出すように工夫をこらされたい。

成績評価の方法

・発表時の方法・成果・資料の作成の仕方・学年末提出のレポート
・授業参加の積極性
の三点によって評価する。

教科書

プリントでテキストを作成して配布する。時には、版本も使いたい。

参考書等

開講時に示す。

その他

・授業はレポーターの発表を中心に進める。
・発表資料作成にあたっては、広く資料を探し、具体的にわかる方法（たとえば、図録・絵画活用等）をとること。

国
文

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語国文学演習Ⅱ	このえのり 近衛典子	14以降入学生/国文3必	4
国文学演習Ⅱ		13以前入学生/国文3必	

講義のねらい

近世文学読解のための基本的な方法を身につけ、本文の正確な読解の力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

井原西鶴の『西鶴名残の友』を読む。授業は受講者による発表形式で進める。

履修上の留意点

出席を重視する。受講者は常に問題意識を持って臨み、積極的に質疑応答に参加すること。

成績評価の方法

演習発表資料、演習内容、出席状況、レポート、その他を総合して評価する。

教科書

プリント配布。

参考書等

授業時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語国文学演習Ⅱ	おかだ ゆたか 岡田 豊	14以降入学生/国文3必	4
国文学演習Ⅱ		13以前入学生/国文3必	

講義のねらい

昭和30年から平成までに発表された小説をいくつかとりあげて読む。
昭和31年の『経済白書 日本経済の成長と近代化』に「もはや「戦後」ではない」と書かれているのはよく知られている。近代化が進み、生活が急変し始めるこの時期から現代までに発表された作品をいくつか取り上げることになる。佐藤秀峰のマンガ『ブラックジャックによるしく3』は、祖父と孫（ともに医師）を通して、昭和30年代から現代までの流れの中で、医療制度が抱える矛盾を照らし出している。開業医として地域医療に尽くしている道場医師と、最新の高度医療を目指す大学病院の研修医として働く孫の道場君を通して、である。同じように、この演習で扱うテキストからも、現代にまで続く実にさまざまな問題を掘り起こすことができるだろう。

授業はディスカッション形式をとる。そして、演習Ⅰに比して、教員が関与する度合いが低くなる。学生ひとりひとりが積極的にディスカッションに参加し意見をぶつけ合う。学生の自主性を高めることに重点をおく。

講義の内容・授業スケジュール

2人ないしは3人でチームを組んで報告する。そして、演習生全員で報告者が提起する問題をめぐって討論する。司会進行係も学生からその都度選出する。扱う作家は、石原慎太郎・松本清張・森茉莉・古井由吉・中上健次・村上春樹・村上龍・田中康夫・原田宗典・山田詠美・吉本ばなな・辻仁成・町田康・柳美里・江國香織等を予定している。

履修上の留意点

現代小説の研究は、まずテーマを設定するのが困難であり、また参考文献も少ない。読みやすさのなかに何らかの問題を探し、読みを展開できるようにしなければならない。現代小説の研究にはそのような難しさがある。しかし、われわれが生きている現代が抱えるホットな問題を扱うという意味で、魅力的な研究領域でもあるのだ。援助交際、ドラッグ、ひきこもり、性の問題、家族の崩壊など。ふだん身近にあって考えることのない問題を、改めて皆で深く掘り下げて考えていく絶好の機会なのだ。何について、いまどう問い、そしてどう考えるのか、それを各自が持ち寄って欲しい。

成績評価の方法

出席状況、報告内容はもちろんのこと、発言回数やその内容等の演習参加の態度、レポート（7枚以上）を総合的にながめた上で判定する。発表点と発言点が占める割合が大きい。

教科書

文庫本をテキストにする。

参考書等

その都度教場で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語国文学演習Ⅱ	かつはら ほんき 勝原 晴希	14以降入学生/国文3必	4
国文学演習Ⅱ		13以前入学生/国文3必	

講義のねらい

近現代の詩歌について学ぶとともに、研究報告と討論を通して、作品についての自分の考えをまとめ、発表する力を深める。

講義の内容・授業スケジュール

近現代(明治～平成)の詩歌を読む。対象とする詩人・歌人・俳人は参加者の希望によるが、場合によっては振りあてることもある。担当者の報告と参加者全員による討論によって進めていく。

履修上の留意点

各人の積極的な参加を求める。

成績評価の方法

発表報告の内容、討論への参加状況、出席、レポートを総合して評価する。

教科書

プリント配布。

参考書等

授業時に指示する。

その他

人数が多い場合は原則として演習Ⅰ（詩歌）・国文学史Ⅱ（詩歌）の既修得者を優先する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語国文学演習Ⅱ	たか だ ち なみ 高 田 知 波	14以降入学生/国文3必	4
国文学演習Ⅱ		13以前入学生/国文3必	

講義のねらい

年間テーマは、「近代100年の小説を読む」。今年度は近代の時間的下限を広げ、明治前期から「明治100年」、つまり1968年頃までを対象範囲とする。森鷗外、樋口一葉、泉鏡花、島崎藤村、夏目漱石、志賀直哉、芥川龍之介、谷崎潤一郎、川端康成、太宰治、宮本百合子、三島由紀夫、遠藤周作、大江健三郎等々、近代100年間の代表的作家たちの代表的作品(小説に限定)を読んでいく。各作品を表現と構造に即して精読することと、100年の文学的流れを体感することを目指す演習である。

講義の内容・授業スケジュール

年度始めに教員側が提示する作品リストの中から、学生の希望にもとづいて11作品を選んで発表分担チームを編成し、年間スケジュールを決定する。1作品2週を標準ペースとし、1週目を発表と質疑、2週目を演習生全員によるディスカッションにあてる。

履修上の留意点

毎時間、必ずテキストを読んで出席することが最低限のルールである。自分が発表を分担しない作品についても、積極的に発言する姿勢を全員に強く求めたい。

成績評価の方法

平常点と年度末レポートの採点結果とを総合して成績評価を出す。

教科書

取り上げる作品ごとに発表チームがテキストを指定するが、入手の容易な文庫本を原則とする。

参考書等

教場で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語国文学演習Ⅱ	なか むら みよし 中 村 三代司	14以降入学生/国文3必	4
国文学演習Ⅱ		13以前入学生/国文3必	

講義のねらい

近現代の文学作品を丹念に読み解きながら、その主題を考察するとともに、作品研究の方法を学習します。また、参考文献の調べ方、レジユメの作成法、分かりやすい口頭発表の技術等も習得します。前期は、「〈私〉とは何か」という問題をテーマ化した戦後の短編小説を取り上げます。また、後期は、履修者各自の問題意識によって選んだ明治から平成までの作品を取り上げます。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) (1) 導入(前期担当作品の割り当て・発表方法等)
(2~13) 梅崎春生・遠藤周作・高橋たか子・安部公房・小川国夫等の作品
(後期) (14~26) 履修者の希望する作品
なお、前期に取り上げる作品は、開講時に指示します。

履修上の留意点

取り上げる作品を熟読したうえで演習に臨むのは言うまでもありませんが、常に作品の主題は何かを考えながら読んでほしいものです。

成績評価の方法

前・後期各1回のレポート、出席状況、発言内容を重視して評価します。

教科書

前期は、『戦後短篇小説再発見16-「私」という迷宮-』(講談社文芸文庫)950円。後期は、各社文庫本。作品毎に指定します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語学演習Ⅲ	木村 晟 <small>きむら あきら</small>	国文4必	4

講義のねらい

国語学を専攻する学生の卒業論文を指導する。

講義の内容・
授業スケジュール

国語学の各領域のうち、方言研究・文字論・語彙論・文体論などの専門的な論文を読み、検討をし、解説を加える。これを重ねることによって、学生が論文の書き方が学べるようにする。授業はグループ毎に読んだ論文を報告し、質疑応答をする。また後期には各自の論文の中間報告もさせる。

履修上の留意点

卒業論文は力いっぱい努力をして、骨惜しみをしないこと。質問は遠慮せずたびたびすること。
前期（4月～7月）模範的な論文を採り挙げ、解説し、討議する。夏休み中に行なうべき卒業論文の作業の仕方についても指導する。
後期（9月～12月）各自の卒業指導を個別に毎週行なう。

成績評価の方法

平常点により評価する。出席状況を特に重視する。

教科書

特に使用しないが、プリントは用意する。

参考書等

授業中に紹介する。

国
文

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学演習Ⅲ	中嶋 真也 <small>なかじま しんや</small>	国文4必	4

講義のねらい

上代文学で卒業論文を作成する学生を対象に指導を行う。

講義の内容・
授業スケジュール

卒業論文作成に向け、求められる調査方法や具体的な作業について、指導・助言を行なう。個別の指導が中心とはなるが、中間発表の機会を設け、全員による討議を行なう。

履修上の留意点

自主的かつ積極的な取り組みを求める。

成績評価の方法

出席、提出物、討議への参加などを総合的に評価する。

参考書等

その都度、授業時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学演習Ⅲ	高橋 文二 <small>たか ぼし ぶんじ</small>	国文4必	4

講義のねらい

卒業論文作成のための授業であるが、演習Ⅳとは違って、卒業論文対象の作品や人物について、より具体的に検討、調査を試み、卒業論文の内実をしっかりとしたものにする時間としたい。成果の確認のため、卒業論文提出に至るまでに5月以降、6回レポートを提出する。

成績評価の方法

研究発表とレポート提出と出席等の状況によって評価する。

参考書等

それぞれの問題に即して授業内で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国文学演習Ⅲ	まついけんじ 松井健児	国文4必	4

講義のねらい

平安時代文学を対象とした、卒業論文作成の指導、助言。

講義の内容・
授業スケジュール

卒業論文は学生生活の総決算ともいえる重要な課題である。対象の決定－問題設定－問題への効果的な取り組み方－参考文献の検索の方法－論文目録の作成－現時点における研究史および研究状況の把握－具体的な論述にいたるための資料作成－口頭による中間的な研究報告－具体的な論述の方法－など、いくつかの段階を設定して、文学研究としての要件を備えた論文の作成を自律的におこなえるよう指導、助言する。

履修上の留意点

自主性と積極性。

成績評価の方法

受講者による ①演習発表資料 ②発表内容 ③レポート ④出席状況 ⑤その他を総合して行なう。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国文学演習Ⅲ	まくらいようこ 櫻井陽子	国文4必	4

講義のねらい

卒業論文作成の指導を行う。

講義の内容・
授業スケジュール

学生自身の問題意識の先鋭化と具体化を助け、研究方法と実際の論文作成にあたっての助言を行う。

1～3 卒業論文の書き方・諸注意
4～ 学生自身の発表と討議

履修上の留意点

学生自身の自主的な活動に負う。

成績評価の方法

卒業論文の内容と完成に至る過程。

参 考 書 等

授業時に適宜指示する。

国
文

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国文学演習Ⅲ	たぐちかずお 田口和夫	国文4必	4

講義のねらい

卒業論文作成のための指導を行いません。

講義の内容・
授業スケジュール

卒業論文作成に必要な調査研究の方法や諸手続きについての指導を行います。また、各自が選んだ卒業論文のテーマについての各レベルの研究を報告し、これを共同で検討することによって、一段の飛躍を期待します。これは同時に個別指導ともなります。

履修上の留意点

その時間に報告するテーマに沿った原資料（作品ならばその部分、論文ならばそれ全体）を用意し、プリントしておくことが必要です。

成績評価の方法

研究の報告と、それをとりまとめたレポートによります。

参 考 書 等

授業中に適宜指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学演習Ⅲ	このえのりこ 近衛典子	国文4必	4

講義のねらい

近世文学で卒業論文を作成する学生を対象に、実践的な指導を行なう。卒業論文は各自がそれぞれの問題意識を持って主体的に取り組むべきものであり、本演習はそれを援助するものである。

講義の内容・
授業スケジュール

各自の研究テーマに応じて個別指導・助言を行なう。また、夏休み終了後に、中間報告としてレポートを提出してもらう。

履修上の留意点

積極的な取り組みを望む。

成績評価の方法

口頭発表、レポート、及び卒業論文の内容により評価する。

その他

ゼミ形式。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学演習Ⅲ	はやし たつや 林 達也	国文4必	4

講義のねらい

近世文学（十八世紀中頃まで）・中世文学の和歌で卒業論文を書く学生を対象とする。授業は、個別指導を中心とする。本年度は松尾芭蕉についての研究を中心とする。

成績評価の方法

卒業論文執筆へ向けての調査・思考等の姿勢によって評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学演習Ⅲ	岡田 豊 <small>おがだ ゆたか</small>	国文4必	4

講義のねらい

学生各自が興味を持っているテーマに沿って、自主的に研究を進め、論文として記述していく力を養っていくことをねらいとする。あわせて、日本の近現代文学を対象とした卒業論文の作成指導も行う。参考文献の蒐集の仕方、それらを整理してどう踏まえるのか、作品や作家の論じ方などについて指導する。(卒業論文は、演習に参加し面談を受けて作成するものである。)

講義の内容・授業スケジュール

卒業論文の論題提出までに研究対象とする作品や作家を絞り込む。研究対象を考慮して、一年間をともにするチームを組んでもらう(例えば〈吉本ばなな〉チーム 〈芥川〉チーム など)。さらにチームをいくつか合体させたグループを作り、ここでできたグループ単位で演習を行う。扱う作品は、卒業論文に関連するものを学生が選定して発表を行うという方式をとる予定である。つまり、グループのメンバーが発表スケジュールや作品を自分たちで決める。

前期、論題提出前に必ず個人面談を行う。ここで対象作家や作品についての相談をする。後期に2回は必ず面談しなければならない。

卒論作成計画書、レポートの提出を義務付ける(レポートは添削して返却する)。詳細は授業時に説明する。

履修上の留意点

卒業論文関連の重要な情報を発信したり、助言指導をする授業でもある。トラブルや事故を未然に回避するためにも、積極的、意欲的な授業への参加が望まれる。

あれもこれもと欲張ってしまい、論じる範囲を拡大しすぎると失敗する場合がある。捨てる勇気も大切だ。絞り込んで、どのような構成で論じていくのかまで、後期の面談の中でつめていく。つまり、面談も大切な授業のうちであることを忘れないで欲しい。

成績評価の方法

出席状況、発表内容、研究計画の立て方やレポートの出来具合等を見、さらに卒業論文の完成度をも参考にする。

なお、卒業論文の評価には、口頭試問での返答も大きく関わってくることを付記しておく。

教科書

その都度教場で指示する。

参考書等

その都度教場で紹介する。

国
文

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学演習Ⅲ	高田 知波 <small>たかだ ちなみ</small>	国文4必	4

講義のねらい

各自の小説の読みを深めることと、卒業論文制作のために生きる相互学習を行うことを2本柱にした演習である。両者が有機的に結びつくことによって成果のあがることを目指したい。

講義の内容・授業スケジュール

年間を前半と後半に分ける。前半は学説の違いの大きな近代小説を共同で読み、後半は学生の選んだ作品を読む。発表は1人、年1回。くわしくは教場で指示する。

成績評価の方法

平常点と年度末レポートの採点結果とを総合して成績評価を出す。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 Ⅲ	かつ 勝 はら 原 はる 晴 き 希	国文4必	4

講義のねらい

近現代の児童文学・詩歌を読むことを通じて、作品を読み味わう力を養い、また研究の方法を学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

近現代の児童文学・詩歌を読む。対象とする作家・詩人・作品は学生の希望（原則として卒業論文に関連するもの）を尊重するが、場合によっては振りあてることもある。担当者の報告と参加者全員による討論によって進めていく。

履修上の留意点

各人の積極的な参加を求める。

成績評価の方法

発表報告の内容、討論への参加状況、出席、レポートを総合して評価する。

教 科 書

授業時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 語 学 演 習 Ⅳ	き 木 むら 村 あきら 晟	国文4必	4

講義のねらい

専ら卒業論文指導を行なう。

講義の内容・
授業スケジュール

各個人別の質疑応答による指導。

履修上の留意点

積極的に質問・相談に来ること。

成績評価の方法

平常点。出席状況を重視する。

国
文

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国 文 学 演 習 Ⅳ	なか 中 しま 嶋 しん や 真 也	国文4必	4

講義のねらい

上代文学で卒業論文を作成する学生を対象に指導を行う。

講義の内容・
授業スケジュール

卒業論文作成に向け、求められる調査方法や具体的な作業について、指導・助言を行なう。個別の指導が中心とはなるが、中間発表の機会を設け、全員による討議を行なう。

履修上の留意点

自主的かつ積極的な取り組みを求める。

成績評価の方法

出席、提出物、討議への参加などを総合的に評価する。

参 考 書 等

その都度、授業時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学演習Ⅳ	高橋文二 <small>たが はし ぶん じ</small>	国文4必	4

講義のねらい 卒業論文作成のための個別指導、助言を中心とする。

講義の内容・授業スケジュール 研究対象や問題点に応じて個別的、具体的な指導と助言を行なう。

成績評価の方法 レポートと出席の状況によって評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学演習Ⅳ	松井健児 <small>まつ い けん じ</small>	国文4必	4

講義のねらい 平安時代文学を対象とした、卒業論文作成の個別指導、助言。

講義の内容・授業スケジュール 受講者の研究対象に応じた実践的、具体的な個別指導と助言を行なう。

履修上の留意点 自主性と積極性。

成績評価の方法 受講者による①報告内容 ②出席状況 ③その他を総合して行なう。

国
文

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学演習Ⅳ	櫻井陽子 <small>さくら い よう こ</small>	国文4必	4

講義のねらい 卒業論文作成の指導を行う。

講義の内容・授業スケジュール 学生自身の問題意識の先鋭化と具体化を助け、研究方法と実際の論文作成にあたっての助言を行う。
1～3 卒業論文の書き方・諸注意
4～ 学生自身の発表と討議

履修上の留意点 学生自身の自主的な活動に負う。

成績評価の方法 卒業論文の内容と完成に至る過程。

参考書等 授業時に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学演習Ⅳ	田口和夫	国文4必	4

講義のねらい

卒業論文作成のための演習です。

講義の内容・授業スケジュール

各自の卒業論文のテーマに応じて、個別に指導・助言を行ないます。

履修上の留意点

卒業論文への積極的な取り組みと、主体的に問題を考えていく姿勢を望みます。

成績評価の方法

平常における卒業論文に取り組む姿勢と卒業論文によって評価を行います。

その他

可能な限り連絡を密にしてください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学演習Ⅳ	林達也	国文4必	4

講義のねらい

近世文学（十八世紀中頃まで）・中世文学の和歌で卒業論文を書く学生を対象とする。授業は、個別指導を中心とする。

成績評価の方法

卒業論文執筆へ向けての調査・思考等の姿勢によって評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学演習Ⅳ	近衛典子	国文4必	4

講義のねらい

卒業論文作成のための個別指導。

講義の内容・授業スケジュール

面談を中心に、卒業論文のテーマの絞り方、調査方法、論の展開等について指導する。

履修上の留意点

予め相談内容をメモにまとめておくこと。時間厳守。

成績評価の方法

出席状況及び卒業論文により評価する。

その他

個別指導。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学演習Ⅳ	岡田 豊 <small>おかだ ゆたか</small>	国文4必	4

講義のねらい

卒業論文作成のための研究指導。(卒業論文は、演習に参加し面談を受けて作成するものである。)

講義の内容・授業スケジュール

卒論作成計画にそって、文学研究としての要件を備えた論文の作成ができるように指導する。学生の研究発表を主とした授業である。

履修上の留意点

作品の選定や発表の順序などは学生が作成する。チームリーダーの指揮のもと、自分たちのために年間スケジュールを作成するので、初回の授業はできるだけ参加してほしい。

成績評価の方法

授業態度、提出物の内容、卒業論文の出来具合をみて判定する。

教科書

その都度、発表者がテキストを指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学演習Ⅳ	高田 知波 <small>たかだち なみ</small>	国文4必	4

講義のねらい

卒業論文作成のための演習である。

履修上の留意点

卒業論文の成否にかかわる演習だということを十分に理解してほしい。

成績評価の方法

平常点と卒業論文によって評価を出す。

国
文

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学演習Ⅳ	勝原 晴希 <small>かつはら はるき</small>	国文4必	4

講義のねらい

卒業論文作成のための研究指導を行なう。

講義の内容・授業スケジュール

卒業論文作成のスケジュール作りから始まり、テーマの絞り方、文献調査の方法、論文の構成・執筆の方法など、具体的な指導を行なう。

履修上の留意点

自主的・積極的な取り組みを要望する。

成績評価の方法

平常点と卒論ノート、卒業論文によって評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国文学	田熊の信之	国文2・3・4選	4

講義のねらい

広大な中国の大地に生きた人々、殊にその主体となった漢民族によって築きあげられた重厚な文化は、音、義、形を具備する特異な書写言語である“漢字”を生み育て、これを駆使する独特な表現世界を多岐にわたって発展させた。本講座は、中国の大地とそこに生きた人々によって育まれた表現世界の実態を把握し、理解するため、伝存する作品や再発見された遺文等を選出して、読み解いていこうとするものである。

講義の内容・授業スケジュール

前期、後期にわたり、適宜中国文学史上の個々の作品を選読する。中国文学の世界には、例えば、歌謡や巫歌に由来する韻文の流れや、卜辞、告誓、記事などに始まる散文の流れがあり、このもとには、社会生活を営む個々人の離合集散する哀歓こもごもの人間模様が、各々の時代の思潮や思想、信仰に彩られながら、さまざまな形で綴り残されている。本年度は、漢字、漢語を通して綴られる中国文学のあやどりの世界の一面を具体的に理解して行くために、歌謡、詩偈等をも含めた韻文や、人伝、僧録などをも含めた史伝、碑文、墓誌等の散文を読み進めて行きたい。

履修上の留意点

中国の地理、風土、歴史等については、各自概説書や関連著作などを参看して、基礎的知識を得ていて欲しい。

成績評価の方法

受講の状況を重視しながら、課題等への対応のさま、レポート或いは試験等の結果を併せて、総合的に行なう。

教科書

テキストについては、プリントを配布してこれを使用する予定。参考書、資料等については、授業時に説明、紹介する。

その他

授業は、講義及び演習の両方式を混じえて行なう。

国
文

科目名	担当者名	配当学科	単位
比較文学	満谷マーガレット	国文2・3・4選	4

講義のねらい

文化交流のもっとも重要な手段である翻訳の問題について考えてみたい。まず、最近話題となっているジェンダー翻訳論やポスト・コロニアル翻訳論を含めて、さまざまな翻訳論を紹介しながら、言語と文化の問題を幅広く扱う。比較文学の伝統的な主題である「影響関係」の枠を超えて、翻訳が創作活動をどう刺激したかが見えてくるはずだ。また、翻訳は「読む」ことから始まるとすれば、それは当然「誤読」を伴う。日本の近代は西洋を「誤読」することから出発したといえるだろうし、西洋も日本を「誤読」し続けているといえるだろう。小説、詩、児童文学など、具体的なテキストを読みながら、明治の翻訳者が西洋から何を、どのように取り入れようとしたのかを見るとともに、十九世紀のジャポニズム（日本趣味）から戦後のハイク・ブームにいたるまで、西洋が日本をどのように読んできたのかを見ていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

授業は講義を中心に進めるが、テキストを読むこともある。教科書はないが、必要に応じてプリントを配る。外国語のテキストには必ず日本語訳か解説がつく。横文字アレルギーの人は困るだろうが、英語に堪能である必要はない。

成績評価の方法

前期、後期と試験を行う。

教科書

プリント

参考書等

秋山勇造『翻訳の地平』（翰林書房）1995年
日本近代思想体系15『翻訳の思想』（岩波書店）1991年
西田直敏『「新体詩抄」研究と資料』（翰林書房）1994年など

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
児 童 文 学	くにまつとしひで 国 松 俊 英	国文2・3・4選	4

講義のねらい

童話や児童文学といえば、かつては「子どものためになる文学」という考えが中心だった。大人が子どもに与えるもので、子どもを健全な社会的人間に育て導いていくためにあるとされた。子どもが感動したり楽しむよりも、その教育性が特に大切にされた。しかしその考えは時代とともに変わってきた。現代では、児童文学は「大人も子どもも共有できる文学」だと考える人がふえてきた。ミヒヤル・エンデの作品、ハリー・ポッターのシリーズなどファンタジーのいくつかの作品、絵本などには大人たちの熱心な愛読者がついている。大人の文学との境界がなくなってきたともいえる。

この時間では、児童文学とはどんなものか、どんなジャンルがあって、どんな作品が書かれてきたのか、などを探っていく。

講義の内容・授業スケジュール

前期(1)児童文学とは何か (2)児童文学のジャンル (3)絵本 (4)ファンタジー (5)ノンフィクション (6)少年詩 (7)昔話

後期(8)日本児童文学の流れ (9)赤い鳥の時代 (10)宮沢賢治 (11)新美南吉

履修上の留意点

講義を聞くだけでは、児童文学の世界は理解できない。授業で紹介する文学作品をできるだけ読んでほしい。

成績評価の方法

出席状況と年4回のレポート、期末試験によって評価する。

教 科 書

なし

参 考 書 等

なし

国
文

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
有 職 故 実	こんどうよしかず 近 藤 好 和	国文2・3・4選	4

講義のねらい

10世紀後半以降の平安貴族社会で、和様化した公事(朝廷の儀式・政務)のマニュアルとして、令・格・式・儀式などを基礎に成立したのが有職故実である。従って、その扱う範囲は本来多岐にわたり、前近代では、有職故実研究はそのまま歴史研究でもあった。ところが、明治以降、有職故実が扱う範囲は、服飾・武器・調度・乗用具などの限定されたものになってしまった。しかし、これらが有職故実が扱う重要な分野であることは確かである。特にかかる「モノ」を実用の道具として即物的に扱うのが有職故実の特徴であり、「モノ」を現在の歴史学に取り込むためには、有職故実的な手法が不可欠と考える。また、それらの「モノ」を正しく理解することで、古典文学の理解もより深まる。そうしたなかで、本講義では、公家男女・武家男子の装束を中心に講義する。特に公家男子の装束は、ファッションではなく、厳しい規制や慣習のもとでの身分や職掌の象徴でもあることを理解してほしい。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、有職故実の歴史を概観したうえで、装束の基本である束帯について、肌着から上着・装身具個々についての概説をする。後期では、前期で理解したことを基礎に、束帯以外の公家男子装束と武家男子装束について、同様に概説する。さらに女子の装束として宮中の女房装束を概説する。

成績評価の方法

後期一回のレポートを予定。

教 科 書

特になし。授業ごとにプリントを配布する。

参 考 書 等

特になし。授業ごとにプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本民俗学	谷口貢	国文2・3・4選	4

講義のねらい

日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の考察を通して、日本社会に展開する生活文化を究明する学問である。民俗はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的知識を把握できるようにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は「日本人の一生」をめぐる民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していくことにしたい。年間の講義予定は以下に掲げるとおりで、各々2回に分けて行う。

- 第1講 家族と社会
- 第2講 産育儀礼
- 第3講 子どもと遊び
- 第4講 若者の民俗文化
- 第5講 成人儀礼
- 第6講 婚姻儀礼
- 第7講 女性の民俗文化
- 第8講 交際と贈答
- 第9講 老人の民俗文化
- 第10講 日本人の靈魂観
- 第11講 葬送儀礼
- 第12講 墓と先祖祭祀

成績評価の方法

夏期レポート及び小レポートを実施する予定。受講者の成績評価は、夏期レポートと小レポート、そして学年末の筆記試験の合計をもって行うものとする。出席を重視する。

教科書

使用しない。

参考書等

谷口貢・他編『現代民俗学入門』（吉川弘文館）

科目名	担当者名	配当学科	単位
民間信仰論	谷口貢	国文2・3・4選	4

講義のねらい

日本社会の各地に展開している神祭りや信仰行事の具体的な調査事例を紹介しながら、神と人が織り成すさまざまな世界には、どのような意味があるのかを探っていくことにしたい。そして、民間信仰の性格や機能、あるいは現代的意義といった問題に考察を加えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は、「人と神との交流」をテーマとしてとりあげ、東京都青ヶ島の神祭り、福島県会津地方の神社参拝を中心とした講集団、東北地方の巫俗文化、死霊結婚の習俗、山岳信仰と修験道、憑霊信仰などを題材にしながら、民間信仰の構造と機能を明らかにしていきたい。そして、民間信仰と成立宗教との関係や、成立宗教が地域社会に受容されて土着化していく過程で民間信仰がどのような機能を果たすのかについても分析の日を注いでいくことにしたい。

成績評価の方法

学年末に課題に基づくレポートの提出を求めて成績評価を行う予定。

教科書

使用しない。

参考書等

参考書として、桜井徳太郎著『日本民俗宗教論』（春秋社）、宮田登『日本人と宗教』（岩波書店）の2冊を紹介しておきたい。

その他

授業は講義形式で行う。講義に必要な資料等については、そのつどコピーで配付する。また、講義に関連したビデオを見る予定にしている。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 史 概 説	まつもと のぶ みち 松 本 信 道	国文2・3・4選	4

講義のねらい	日本の古代・中世史の歴史的展開の過程を講述することを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	本講座では、飛鳥・奈良・平安・鎌倉・室町・戦国時代の政治・経済・文化などの諸様相について、関連史料の具体的な解釈を通じて概観したい。
履修上の留意点	受動的でなく、主体的に学習してほしい。
成績評価の方法	前期・後期の2回の試験の総合点で成績を評価する。
参考書等	『史料による日本の歩み 古代編』（吉川弘文館） 青木和夫『日本古代史』（日本放送出版会） 笹山晴生『日本古代史講義』（東京大学出版会） 佐々木潤之介『概論 日本歴史』（吉川弘文館）
そ の 他	授業の方法は講義形式で進める。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 文 化 史	よしだ まさひろ 吉 田 政 博	国文2・3・4選	4

講義のねらい	日本の文化の歴史が、社会の生産や生産組織の問題と深くかかわっていたことに留意し、朝廷・公家・武家ばかりでなく、民衆も文化の創造にかかわっていったことを、明らかにする。
講義の内容・授業スケジュール	日本文化の流れを概観し、鎌倉期から江戸期にかけての文化について講述する。つぎのような順序で授業を進めていく。 ① 中世文化史研究の動向 ② 中世文化の成立 ③ 鎌倉新仏教と文化 ④ 五山文学 ⑤ 南北朝～室町文化 ⑥ 北山文化の形成 ⑦ 東山文化の展開 ⑧ 中世の職能民 ⑨ 禅宗と文化 ⑩ 知識人の思想 ⑪ 連歌師の旅 ⑫ 京都と大名領国の文化 ⑬ 桃山文化 ⑭ 近世文化史研究の動向
履修上の留意点	復習が必要であることはもちろんであるが、例えば中世・近世の文化をテーマとした博物館・美術館での展示会を展覧する機会を積極的に持ってほしい。受講する上では図書館所蔵の文化史・美術史に関する資料・ビデオ等を大いに活用していただきたい。また禅文化歴史博物館への見学・説明会を実施することとする。
成績評価の方法	定期試験の結果による。これに授業の出欠状況を加味する。
教科書	特に指定しない。必要な資料は随時コピーを配布する。
参考書等	授業中に随時示していく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教概論	いけだ れんたろう 池田 練太郎	国文2・3・4選	4

講義のねらい

本講義は「概論」という性格上、仏教に関する細かい問題を掘り下げるのではなく、常に「仏教とは何か」という基本的な問題を意識しながら、大きな視点で仏教の輪郭を捉えることを目指したい。

講義の内容・授業スケジュール

教科書として用いる『仏教入門』の次第に準じて、おおむね以下のように講義を進める。a, 仏教とは何か b, ブッタの生涯 c, 仏について d, 法について e, 輪廻と業・煩惱 f, 心について g, 修行について h, 戒律と教団 i, 仏教の歴史

履修上の留意点

講義を一つの材料として、自分自身で「仏教」について考える姿勢を持ってほしい。

成績評価の方法

基本的には年度末におこなう筆記試験によって評価する。

教科書

高崎直道著『仏教入門』（東京大学出版会）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
東洋思想史	すえき やすひこ 末木 恭彦	国文2・3・4選	4

講義のねらい

初めに、二つのことを断っておく。第一に「東洋思想」と題しているが、私は漢文による思想言説に限って問題とする。特に、中国と日本に限られるであろう。第二に、「思想史」と題しているが、通史や他の歴史現象との関連付けは主要な関心ではない。長い時間をかけて蓄積された、漢文文化の思想言説、その思想言説に光を当て、その一斑なりとも理解しよう——これが本講義の目指すところである。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は、『経史博論』を手掛りにして上記の試みを行う。但し、『経史博論』そのものの理解を目指すのではない。この書は、中国思想（儒教的教養）の概説書である。近代の眼差しが入る以前の儒教の基礎的教養を、この書を通じて確かめることができる。授業では、この書を講読する。講読を通じて、その背景にある中国の思想言説の伝統の一端に觸れてゆきたいと考えている。

履修上の留意点

書き下し文が理解できる程度の基礎的教養が必要である。

成績評価の方法

成績判定は下記の材料を勘案して行う。1. 試験又はレポート（年1回以上）2. 平素の受講態度（年数回内容理解の調査を行う。なお、この調査は予告せずに行う。）3. 受講の積極性（質問、任意のレポートなどによって判断する。質問は書面で必ず質問者名を明記して提出して欲しい。）

教科書

授業は、講師が用意したプリントを用いる。参考書は適宜授業中に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
西洋思想史	しばのひろこ 柴野博子	国文2・3・4選	4

講義のねらい

西洋思想の流れをたどりながら、より良く生きるための話題を提供したい。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、まず、古代(ギリシア、ローマ)と中世(キリスト教)の思想を概観し(4・5月)、その後、カントとショーペンハウアーをとりあげる(6・7月)。
後期は、現代哲学の一つである生(レーベン)の哲学を中心に、ニーチェ(9・10月)、ベルクソン、デールタイ(11・12月)の思想を見てゆきたい。

成績評価の方法

年2回の筆記試験またはレポートによって評価します。

教科書

久保陽一・河谷淳『原典による哲学の歴史』(公論社)3,200円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
美術史概説	きたのよしえ 北野良枝	国文2・3・4選	4

講義のねらい

奈良時代から江戸時代に至る日本絵画の流れを、中国およびヨーロッパとの関係に留意しつつ概説する。美術の歴史を解説するにあたっては、常に作品を参照する必要があるため、授業では毎回スライドを使用する。

講義の内容・
授業スケジュール

前期 奈良時代から室町時代の絵画
 (1) ガイダンス (2) 絵画に関する基礎知識、法隆寺金堂壁画
 (3)～(4) 仏教絵画 (5)～(6) 絵巻物
 (7)～(8) 肖像画 (9)～(12) 室町時代の水墨画
 後期 室町時代から江戸時代の絵画
 (13)～(14) 土佐派、狩野派 (15)～(16) 狩野永徳と桃山画壇
 (17) 江戸時代の狩野派 (18)～(19) 琳派
 (20)～(21) 浮世絵 (22) 南蘋派
 (23) 文人画 (24) 秋田蘭画と司馬江漢
 (25) 江戸から明治へ

履修上の留意点

ペンライトなどを持参し、スライドで映写する内容についてもノートをとることが望ましい。

成績評価の方法

学年末に筆記試験を実施し、その得点によって評価する。

その他

毎回スライドを使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 劇 概 論	あ べ ゆ か こ 阿 部 由 香 子	国文2・3・4選	4

講義のねらい

近代以降の日本演劇はいくつもの屈折を重ねて現代に至っている。「演劇」に対するイメージが多種多様であるのはなぜか？演劇と文学はどのような関係にあったのか？日本演劇をとりまく状況の変遷をたどりつつ、作品を読み、鑑賞していくこととする。受講者には実際に劇場へ足を運んでもらい、観劇してもらう。

講義の内容・
授業スケジュール

- [前期] (1, 2) 演劇の近代化
(3, 4) 堤春恵「仮名手本ハムレット」
(5, 6) 文学と演劇
(7, 8) 菊池寛「父帰る」
(9, 10) 女優の登場
(11, 12) 政治と演劇
(13) まとめ
- [後期] (1, 2) 青年と演劇
(3, 4) 演劇の中の「夢」
(5, 6) 演劇を描いた演劇
(7, 8) 三谷幸喜「ショーマストゴーオン」
(9～12) 現代演劇の上演状況について
(13) まとめ

履修上の留意点

授業で扱う作品をあらかじめ読んできてもらったり、実際に劇場へ行って観劇してもらうので、演劇に対して積極的な興味関心がある者の受講が望ましい。

成績評価の方法

前期末の試験、観劇レポート、出席点、平常点から評価する。

教 科 書

特定のものなし。

参 考 書 等

授業時に指示する。

そ の 他

講義が中心ですが、レポートを発表してもらうこともあります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
書道概論	かねこ だいぞう 金子 大蔵	国文2・3・4選	4

講義のねらい

中国・日本の書道史を学び、また現代書の誕生と歴史、現況を研究し、書の意義や芸術性に対する知識と理解を高める。

講義内容は主に書道理論と、ビデオや拓本、複製品などを使っての名品や現代書の鑑賞である。

前期では主に、中国書道史の概要を学ぶ。最古の文字「甲骨文」から「金文」、「木簡」へと移行する古代文字の変遷と、書の芸術性を高めたといわれる書聖王羲之の書と人の研究。

後期では主に、日本書道史と現代書の概要を学ぶ。書が中国から日本へと伝来してきた背景と経緯、そして“現代書の父”といわれる比田井天来から現在の現代書7部門までを理解し、実際に数回書の展覧会を見てレポートを提出する。

講義の内容・授業スケジュール

前期 (1) 書とは? (2・3) 甲骨文について (4・5) 金文について (6・7) 簡牘について (8・9) 漢代の隷書について (10・11) 王羲之の書と人について (12・13) 北魏の楷書について

後期 (14・15) 初唐の三大家について (16・17) 顔真卿の書と人について (18~20) 日本書道史について (21・22) 現代書の父比田井天来について (23・24) 上田桑鳩、金子鴻亭など現代書を広めた書家について (25・26) 現代書7部門と今後の書の展開

履修上の留意点

講義では主に頭から入る知識を学ぶが、常日頃から展覧会や博物館等に足を運び、目で親しむ時間をつくることが望まれる。

成績評価の方法

年数回行う展覧会等のレポート提出の内容と、講義中に行う小テストの結果に依拠して行う。

教科書

『書Ⅱ』高等学校芸術科(書道) 文部科学省検定済教科書(光村図書出版)

国
文

科目名	担当者名	配当学科	単位
書道史	なす たが よし 那 須 隆 吉	国文2・3・4選	4

講義のねらい

東洋文化は今、世界の注目を集めている。中でも書道は文字を芸術にまで高めた特異な文化である。本講では、書道が古代よりいかなる変遷をたどってきたかを通覧し、東洋独自の文化への理解が深まるよう、出来るだけ分かりやすく講じたい。

講義の内容・授業スケジュール

殷代の亀甲獣骨文字を始めとし、時代と共に著しく変遷していく、書体、書風、書法をテキストによる書の古典、及びコピー資料により中日両国の書道史を講ずる。全授業数の約3分の2を中国書道史、残りを日本書道史にあてたい。

履修上の留意点

遅刻をしないように、又教場での私語を慎むように。

成績評価の方法

出席及び随時レポートの提出、年度末に行なう筆記試験等を総合して評価する。

教科書

伏見冲敬著『書の歴史』(二玄社) 日本書道史のテキストは後期に指示する。

参考書等

随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
書道実習 I	かおこ だいぞう 金子大蔵	国文2・3・4選	4

講義のねらい

書道とはただ文字をきれいに書き写すというだけではない。中国、日本における古代からの名品といわれる古典の臨書を重ねることにより、パソコンやワープロでは表現することができない書き手の心や顔が見ることが出来る書表現を身につける。

本講座では主に書の基本ともいえる楷書と行書の古典を中心に半紙を使って学び、それにより多彩な線表現を会得し、独自の臨書感を持って書に取り組みできるようにする。また最後に漢字仮名交じりの書を学ぶことにより、我々が今現在使用している言葉を用いた書表現にも挑戦する。

前期では主に楷書の臨書を行う。「高貞碑」等の北魏の楷書から、「九成宮醴泉銘」等の唐の楷書まで幅広く学ぶ。後期では書聖王羲之の最高傑作「蘭亭序」や唐代能書家の名品、日本の空海書「風信帖」まで古今東西の古典を学ぶ。最後3回の講義にて漢字仮名交じり書の作品を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

前期・楷書の研究 (1) 用具・用材の説明と臨書について (2・3) 高貞碑の臨書 (4・5) 牛橛造像記の臨書 (6・7) 孔子廟堂碑の臨書 (8・9) 九成宮醴泉銘の臨書 (10・11) 雁塔聖教序の臨書 (12・13) 顔氏家廟碑の臨書
後期・行書の研究と漢字仮名交じりの書 (14~16) 蘭亭序の臨書 (17) 集王聖教序の臨書 (18・19) 枯樹賦の臨書 (20・21) 祭姪文稿の臨書 (22・23) 風信帖の臨書 (24~26) 漢字仮名交じりの書

履修上の留意点

書道の上達は筆を持つ時間の長さにも拠るところが大きいです。予習復習以外にも口頃から筆を持つ機会を多くすることが大切です。

成績評価の方法

毎講座後に提出する作品の内容の評価と夏休みの宿題の内容の評価を総合判断して行う。

教科書

『書 I』高等学校芸術科(書道) 文部科学省検定済教科書(光村図書出版)

科目名	担当者名	配当学科	単位
書道実習 II	なす たかよし 那須隆吉	国文2・3・4選	4

講義のねらい

世界で唯一、古代から一貫して同じ文字を使用し、それを鑑賞に耐えうる芸術にまで高めた「書」の美しさを味わい、そのよってきたところを理解し、更に応用力を身につけたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 漢字仮名の書の古典名跡により、書の基本的技法を習得する。
- 書の基本的知識(書式、文房四宝、篆刻、拓本、表装、書論、写経等)について理解を深める。
- 中国日本の書道史(文字の歴史)を概観する。

履修上の留意点

テキスト、用具は常に整備しておく。(墨汁は使用しない。硯、筆は常に洗っておく。)

成績評価の方法

出席点、平常点(遅刻等)、清書、レポート等による。

教科書

『書の世界』(中教出版) 約1,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
書道実習Ⅲ	那須隆吉	国文2・3・4・選	4

講義のねらい

一口に書道といっても多様なジャンルがある。本講では、隷書法、篆書法、篆刻法を実習する。

講義の内容・授業スケジュール

隷書、篆書の学習は、古典の臨書を中心に行ない、基礎的知識と技法を習得し、鑑賞力を養いたい。篆刻は基礎的技法を習得することと、併せてその歴史も概観し、東洋文化の粋ともいわれる、この「方寸の世界」の奥深い楽しみをさぐりたい。

履修上の留意点

文房具を愛することは、古來文人のたしなみであるので、用具を忘れて人に借りるなどということのないよう注意されたい。

成績評価の方法

出席及び清書提出、随時レポートの提出等を総合して評価する。

教科書

コピーによる。

参考書等

随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
編集実務	長谷川孝	国文2・3・4選	4

講義のねらい

編集とは、<誰かに——何かを——伝える>過程、つまり「何か」に気づき、その意味をつかみとり、表現の形を整えて、受け手に引き渡していく一連の過程に携わる仕事です。その過程で「どう」伝えるのかに必要な知識・技能とともに、そのための知的基礎体力・感覚的な力をきたえ、「何を・なぜ」伝えるのかを考えて、自分なりの「目のつけどころ」(視点・視野・視角)をつくることを目指します。また、編集のはたらきは日常生活の中でだれもが行っていることなので、それを意識的に適用し、情報化社会で多様な情報を主体的に選択し活用できる「よき受信人」であるだけでなく、「よき発信人」になるために役立つことを願っています。

講義の内容・授業スケジュール

新聞・雑誌・書籍など印刷媒体の編集を中心に、企画・取材・原稿の執筆・原稿の整理やレイアウトなど、実際の常識・技能を取り上げ、その中で「目のつけどころ」や、編集をする上での意思や責任を考えます。とくに、ものごと・できごと、文章やデータから「何か」とその意味を読み取り、感じ取り、問う力、自分の表現をつくり出す力を養うよう考えています。

履修上の留意点

授業を「取材」する（「教わる」ではなく）という構えで参加してください。また授業で「取材」した「自分なりに感じ気づき考えた」ことを、毎時、短い文章で書いてもらいます。

成績評価の方法

自己評価点および、課題作品（B4判2つ折4ページの個人紙・誌を制作）と授業で書く短文（イケン文）など平常の提出物によります。

教科書

プリントを使用します。

国
文

Ⅱ 專 門 教 育 科 目

2 英 米 文 學 科

英
米
文

英
米
文

II. 専門教育科目

(2) 英米文学科

作品講読	I	〈東 雄一郎〉	367
作品講読	I	〈高野正夫〉	367
作品講読	I	〈佐藤真二〉	367
作品講読	I	〈河崎征俊〉	368
スピーチ・アンド・コミュニケーション	I	〈サンダース, L. P.〉	368
スピーチ・アンド・コミュニケーション	I	〈レイン, R. V.〉	369
スピーチ・アンド・コミュニケーション	I	〈マーティン, S. F.〉	369
作品講読	II	〈河崎征俊〉	370
作品講読	II	〈佐藤千春〉	370
作品講読	II	〈逢見明久〉	371
作品講読	II	〈東 雄一郎〉	371
スピーチ・アンド・コミュニケーション	II	〈ブランケン, D. L.〉	372
スピーチ・アンド・コミュニケーション	II	〈サンダース, L. P.〉	373
スピーチ・アンド・コミュニケーション	II	〈ハーバード, W. D.〉	373
英語学概論		〈佐藤真二〉	374
英語表現法		〈高野正夫〉	374
英語表現法		〈河崎征俊〉	375
英語表現法		〈佐藤千春〉	375
英語表現法		〈荒井良雄〉	376
アメリカ文学史		〈佐藤千春〉	376
イギリス文学史	I	〈河崎征俊〉	377
イギリス文学史	II	〈富士川義之〉	378
英語史		〈久保内端郎〉	379
イギリス文学特講	I	〈石原孝哉〉	379
イギリス文学特講	II	〈高野正夫〉	380
イギリス文学特講	III	〈岡崎寿一郎〉	380
イギリス文学特講	IV	〈荒井良雄〉	381
イギリス文学特講	V	〈富士川義之〉	381
イギリス文学特講	VI	〈丸小哲雄〉	382
演劇特講 (イギリス・アメリカ)		〈落合和昭〉	383
演劇演習 (イギリス・アメリカ)		〈逢見明久〉	383
アメリカ文学特講	I	〈東 雄一郎〉	384
アメリカ文学特講	II	〈サンダース, L. P.〉	384
アメリカ文学特講	III	〈足田和人〉	384
アメリカ文学特講	IV	〈逢見明久〉	385
アメリカ文学特講	V	〈佐藤千春〉	385
イギリス文学演習	I	〈荒井良雄〉	386
イギリス文学演習	II	〈高野正夫〉	386
イギリス文学演習	III	〈芦澤久江〉	387
イギリス文学演習	IV	〈増田恵子〉	387
イギリス文学演習	V	〈富士川義之〉	388
アメリカ文学演習	I	〈川崎浩太郎〉	388
アメリカ文学演習	II	〈サンダース, L. P.〉	388
アメリカ文学演習	III	〈川崎笑佳〉	389

アメリカ文学演習Ⅳ	〈古 富 猛〉	389
アメリカ文学演習Ⅴ	〈 休 講 〉	
時事英語	〈サンダース, L. P.〉	389
商業英語	〈町 井 靖〉	390
ラテン語	〈上 野 勝 広〉	390
ギリシヤ語	〈長谷川 岳 男〉	391
英米文化	〈広 川 治〉	391
外国文学	〈真 下 祐 一〉	392
英米思想史	〈麻 生 享 志〉	392
現代美術	〈矢 野 陽 子〉	393
日本文化史	〈吉 田 政 博〉	394
放送英語	〈大 庭 直 樹〉	395
英作文演習	〈東 雄一郎〉	395
英作文演習	〈久保内 端 郎〉	396
英語学演習Ⅰ	〈菅 原 勉〉	396
英語学演習Ⅰ	〈ピアス, D. M.〉	397
英語学演習Ⅱ	〈久保内 端 郎〉	398
英語学演習Ⅲ	〈佐 藤 真 二〉	398
英語学演習Ⅳ	〈桧 山 晋〉	399
英語学演習Ⅴ	〈ブランケン, D. L.〉	400
オーラル・イングリッシュ	〈ナトウシュ, B. A.〉	401
オーラル・イングリッシュ	〈ハバード, W. D.〉	401
オーラル・イングリッシュ	〈リアーディ, N.〉	402
オーラル・イングリッシュ	〈レイン, R. V.〉	403
3 年 次 ゼ ミ	〈東 雄一郎〉	403
3 年 次 ゼ ミ	〈荒 井 良 雄〉	404
3 年 次 ゼ ミ	〈逢 見 明 久〉	404
3 年 次 ゼ ミ	〈河 崎 征 俊〉	405
3 年 次 ゼ ミ	〈久保内 端 郎〉	405
3 年 次 ゼ ミ	〈佐 藤 真 二〉	406
3 年 次 ゼ ミ	〈佐 藤 千 春〉	406
3 年 次 ゼ ミ	〈サンダース, L. P.〉	407
3 年 次 ゼ ミ	〈高 野 正 夫〉	407
3 年 次 ゼ ミ	〈富士川 義 之〉	407
4 年 次 ゼ ミ	〈東 雄一郎〉	408
4 年 次 ゼ ミ	〈荒 井 良 雄〉	408
4 年 次 ゼ ミ	〈逢 見 明 久〉	409
4 年 次 ゼ ミ	〈河 崎 征 俊〉	409
4 年 次 ゼ ミ	〈久保内 端 郎〉	410
4 年 次 ゼ ミ	〈佐 藤 真 二〉	410
4 年 次 ゼ ミ	〈佐 藤 千 春〉	411
4 年 次 ゼ ミ	〈サンダース, L. P.〉	411
4 年 次 ゼ ミ	〈高 野 正 夫〉	412
4 年 次 ゼ ミ	〈富士川 義 之〉	412

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
作 品 講 読 I	<small>あずま</small> 東 <small>ゆういちろう</small> 雄一郎	英米文1必	2

講義のねらい

英文の速読力を含め、読解力の養成、向上をはかる。

講義の内容・
授業スケジュール

毎回、3~4人の発表者に発表してもらう。取り扱う作品はアメリカ文学の短篇小説、例えば Nathaniel Hawthorne, Edgar Allan Poe, O. Henry, F. Scott Fitzgerald, W. Faulkner, Ernest Hemingway, Bernard Malamud 等の作品。前期、後期、数篇ずつ、通年で約100頁程の英文を読む。

履修上の留意点

必ず予習をして授業に参加すること。

成績評価の方法

前期、後期、各1回の試験結果、小レポート数回、発表内容をもって評価する。

教 科 書

The Penguin Book of American Short Stories (英宝社ペンギン・ブックス)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
作 品 講 読 I	<small>たか</small> 高 <small>の</small> 野 <small>まさ</small> 正 <small>お</small> 夫	英米文1必	2

講義のねらい

イギリス20世紀の短篇小説を精読しながら、現代のイギリス国民の諸相を考察していく。

履修上の留意点

発表の時以外にもできる限り予習をして、授業に出ること。

成績評価の方法

前期、後期の試験だけでなく、授業における発表や出席状況を考慮しながら評価する。

教 科 書

教場にて指示します。

そ の 他

授業は演習形式で行います。

英
米
文

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
作 品 講 読 I	<small>さ</small> 佐 <small>とう</small> 藤 <small>しん</small> 真 <small>じ</small> 二	英米文1必	2

講義のねらい

英米文学の様々な作品を読む事によって、作品を味わい、解釈する力を養うとともに、作品を一人で読んでいくことのできる英語力の向上を目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は英米の短篇小説を読む。後期では、劇を一本通読する予定。また、夏休みに、原書を一冊以上読む課題を出す。

履修上の留意点

英語力の向上には予習・復習が不可欠である。必ず予習をして授業に臨むこと。欠席は慎むこと。

成績評価の方法

前期末・後期末の試験のほか、授業内の発表およびレポートで評価する。

教 科 書

テキストは開講時に指示する。

そ の 他

授業は演習形式で行う。実際の進め方については教場において指示をする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
作品講読 I	かわきまさとし 河崎征俊	英米文1必	2

講義のねらい

P. J. ジェニングズの『中世ヨーロッパ物語集』を読みながら、中世ヨーロッパの文学的伝統を考察する。

講義の内容・授業スケジュール

Amleth's Revenge, Guigemar, Erec and Enide, The Story Merlin 等の順で読む予定。

履修上の留意点

演習形式をとるため、出席を重視する。遅刻は認めない。予習に専念していただきたい。

成績評価の方法

年2回の試験、演習態度、及び出席等を中心に総合的に評価する。

教科書

英文ジェニングズ『中世ヨーロッパ物語集』（英宝社）1,311円

参考書等

授業時に指示する。

その他

参考資料のプリントを時々配布する予定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スピーチ・アンド・コミュニケーション I	サンダース, L. P.	英米文1必	2

講義のねらい

This course is designed to give students basic listening and speaking skills needed for effective communication in English.

講義の内容・授業スケジュール

Each class will consist of practical listening exercises, and/or short videos on related topics. Follow-up activities for speaking practice will include screen English dialogs for pair work, role plays, short speeches and recitations.

成績評価の方法

Attendance, participation in class activities, speech and/or recitation, two tests (one at the end each semester).

教科書

教材は教室にて配布する。

その他

ビデオを使用する。

英米文

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スピーチ・アンド・コミュニケーション I	レイン, R. V.	英米文 1 必	2

講義のねらい

This course will help students to : 1]use conversational English language patterns and idioms with increased confidence, and 2]improve their presentation-giving skills.

講義の内容・授業スケジュール

The first half of the class is devoted to textbook speaking activities[done in pairs]to provide the student with opportunities to use a variety of language patterns and verb tenses. The second half of the class is devoted to students giving presentations in both small groups and in front of the class. Students are expected to participate actively in class and practice the activities at home.

履修上の留意点

Students should be aware that attendance is important. If the student is absent for 1/3 of the scheduled classes[approximately eight times], the student will fail the class.

成績評価の方法

Students will be tested orally on the textbook activities twice a month and will be given a grade for both group and class presentations.

教 科 書

author : Steven Molinsky and Bill Bliss
title : Side by Side. 3rd Edition, LEVEL4
publisher : Pearson Education
data : 2001

APPROX. 55 COPIES OF TEXTBOOK ARE NEEDED FOR THIS CLASS

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スピーチ・アンド・コミュニケーション I	マーティン, S. F.	英米文 1 必	2

講義のねらい

There are two purposes for this class. First, I would like to give students an opportunity to practice English that might be useful in their near future, either as as student, in social situations, or in the work place. Second, I would like to expose students to English input which is designed to be more thought provoking(literature, songs, movies, or newspaper articles)and which depends on and develops their own personal experiences and attitudes about themselves and the world around them.

講義の内容・授業スケジュール

The course material will be a combination of student text and CD, as well as material developed by the instructor. The first semester (zenhan)will focus more on the book and practical English, while the second semester will focus more on thought provoking materials.

履修上の留意点

This is a low - pressuve class. Please enjoy playing with ideas in English.

成績評価の方法

Students will be evaluated according to attendance, in class Participation, occasional written tests, and occasional written homework assignments.

教 科 書

Students are required to buy 'Get Real - Student Book2', written by Angela Buckingham and Miles Craven, published my Macmillan Language House, ISBN4 - 89585 - 393 - 4C3082

参 考 書 等

Students should try to other English source material as much as possible. Any source is acceptable-newspapers, novels, magazines.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
作 品 講 読 II	かわ 崎 征 俊 か かわ き まさ とし	英米文2必	2

講義のねらい

Jane Austen の *Pride and Prejudice* を読みながら、19世紀英語文学の本質を考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

19世紀の小説の手法（特に女性文学者）はどのような特質をもっているのか、また、それは所謂「偉大な伝統」の流れの中でどのような位置を占めているのか、この授業ではこのような問題を中心に考えながら19世紀英文学の読み方を習得していく予定。

履修上の留意点

演習形式をとるため、出席を重視する。遅刻は認めない。予習に専念していただきたい。

成績評価の方法

年2回の試験、演習態度、及び出席等を中心に総合的に評価する。

教 科 書

Penguin 版等をコピーにて配布する予定。

参 考 書 等

授業時に時々指示する。

そ の 他

参考資料をプリントを数回配布する予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
作 品 講 読 II	き とう ち はる さ 藤 千 春	英米文2必	2

講義のねらい

アメリカ文学史で扱われている作家の作品を講読するが、作家および作品はその年度により異なるし、また扱う作家も複数の時もある。

講義の内容・
授業スケジュール

作品の精読、内容の分析、解釈、他の作家の作品との比較なども織りまぜる。

履修上の留意点

あらかじめ発表部分をあてておくので、十分な予習をもって授業に臨むこと。授業時内における発表内容、授業に臨む姿勢、遅刻・欠席はマイナスの評価として扱うので注意すること。

成績評価の方法

「履修上の留意点」での注意点を考慮し、前期・後期のテストの結果で決定する。尚、遅刻・欠席が多い場合には、受験資格を失うので留意しておくこと。

教 科 書

授業開講時に連絡する。

参 考 書 等

授業内で指示する。

英
米
文

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
作 品 講 読 II	おう み あき ひさ 逢 見 明 久	英米文2必	2

講義のねらい

文学を愉しみながら読解力を養うことを主な目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

英語で書かれた短編小説・随筆・戯曲を扱う予定。

履修上の留意点

毎回、演習形式で原文朗読担当者^と和訳担当者^とがペアを組み発表することになるので、欠席や遅刻は禁物。原文朗読担当者は発表前に指導を受け、和訳担当者が特に難しいと感じた部分について、皆で考える。作品毎に心に残る表現と鍵言葉を選び小レポートにまとめる。

成績評価の方法

毎回の受講態度と発表内容、小レポート、2回の期末テストで総合的に評価する。

教 科 書

くずみかずし
九頭見一士編注『Short Fiction 30』（マクミラン）1,300円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
作 品 講 読 II	あづま 東 雄一郎	英米文2必	2

講義のねらい

アメリカの短編小説を教材に、英語の速読と精読の力を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

毎回、数名の学生が発表する演習形式で授業を進め、その日の内容に関する簡単な小テストを行う。扱う作家は、Asimov, Haycox, Wright Morris, Carol Oates, W. P. Kisella, Ann Mason 等、15名程です。現代のアメリカの current English を身につけます。小レポートも月に何回か提出してもらいます。

履修上の留意点

必ず予習して授業に参加すること。辞書を常に引き、音読の回数を増やすこと。

成績評価の方法

前期、後期、各1回の試験結果、小テスト、小レポート、発表内容によって総合的に評価する。欠席の多い学生は評価対象外とする。

教 科 書

『現代アメリカ短編小説コレクション』（南雲書店）2,000円程

参 考 書 等

教場にて指示する。

英
米
文

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スピーチ・アンド・コミュニケーションⅡ	ブランケン, D. L.	英米文2必	2

講義のねらい

To (a) increase student aural-oral proficiency, (b) abet vocabulary mastery, and (c) promote willingness to speak English. Students will produce spoken English through memorized passages, dialogs and readings—they will record themselves in various speaking situations—and conversation with the instructor.

講義の内容・授業スケジュール

The schedule will be as follows.:

Spring Semester	Fall Semester
Week1 : Vetting of student oral proficiency	Fall Semester overview
Wks2&3 : English on the Move (EOM), Unit1	EOM, Unit5
Wks4&5 : EOM, Unit2	EOM, Unit6
Wks6&7 : Outside material & activities (1)	EOM, Unit7
Wks8&9 : EOM, Unit3	Outside material & activities (3)
Wks10&11 : EOM, Unit4	EOM, Unit8
Wks11&12 : Outside material & activities (2)	EOM, Unit9
Week13 : Book check : makeup work	Book Check : makeup work
Week14 : Final Examination	Final Examination

履修上の留意点

Two class periods will be allocated for each of the nine units in the textbook, English on the Move. Four such units will be covered in the first semester, and the remaining five in the second. The goal is to cover some five pages of the text per class period. Four weeks are reserved for both supplementary material and taping activities. This material will augment the contents of the text: it will take the form of puzzles, games, music and simple reading-and-speaking activities.

The presentation of English on the move will proceed sequentially from unit to unit, with pauses for supplemental material as indicated above in the schedule for the semester. Within any given unit, however, the teaching may be entirely non-sequential.

The text provides for weekly listening and speaking activities (role playing) as a matter of course: students are obliged to prepare and perform the latter.

成績評価の方法

Students will be evaluated and graded according to these criteria: (1) classwork, using English on the Move: 30%; (2) classwork, using supplemental materials: 20%; (3) attendance and weekly speaking performance: 30%; and final Examination: 20%

教科書

Name: English on the Move
 Authors: Baxter and Pustulka
 Publisher: Metropolitan English Publications, 1999
 Price: 2,200円

参考書等

A suitable English-English dictionary is strongly recommended, but not required: the instructor will address this issue during the first class meeting, when course goals and contents will be outlined.

科目名	担当者名	配当学科	単位
スピーチ・アンド・コミュニケーションⅡ	サンダース, L. P.	英米文2必	2

講義のねらい

This course will be based on developing practical speaking skills and listening comprehension for the intermediate level student.

講義の内容・授業スケジュール

Each class will consist of listening exercises and videos on related topics, followed by conversation practice and discussions related to cultural studies topics.

成績評価の方法

Class participation, attendance, punctuality, and two tests

教科書

教材は教室にて配布する。

その他

ビデオを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
スピーチ・アンド・コミュニケーションⅡ	ハバード, W. D.	英米文2必	2

講義のねらい

This course is designed to help university students improve their speech and communication abilities. Various dialogues, topics, sentence patterns, and rhythm practices are used to introduce the student to new ideas and vocabulary and to improve the student's speech and communication abilities. This course can be used for vocabulary enhancement, preparation for STEP (EIKEN) level2or3tests, as well as an introduction to basic speech and communications skills in English.

講義の内容・授業スケジュール

In the first semester (class periods1-12), dialogues with new sentence patterns and vocabulary will be introduced and practiced. Then, general questions will be provided to help the students judge their comprehension of the material and familiarity with any new vocabulary and situations introduced through the dialogues. After this, general exercises will be introduced. These exercises are designed to help the students improve their intonation, stress, rhythm, and pronunciation, ability to express themselves, and comprehension in general. During the next class period, students will be asked to show their competence in using this material.

In the second semester(class periods13-24), a more concentrated effort will be placed on improving stress, intonation, rhythm, pronunciation, and speaking ability in general. Students will give a short presentation on the material provided. Useful hints will then be given to help the students improve their ability to express themselves in an understandable way. This material is S. T. E. P(EIKEN)oriented and will help the student prepare for such tests as the EIKEN level 2 or 3.

履修上の留意点

Students will be evaluated (graded) according to their attendance, homework, class work, other assigned work, and tests (2)

教科書

No textbook. New text material will be handed out during each class session.

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語学概論	佐藤真二	英米文2必	4

講義のねらい

英語学の諸項目に関する基礎的な知識を身につける事を目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

主な講義内容は以下の通り。
(前期)

- 1) What is linguistics? (言語学とは何か)
- 2) Phonetics (音声学)
- 3) Phonology (音韻論)

(後期)

- 4) Morphology (形態論)
- 5) Lexicology (語彙論)
- 6) Syntax (統語論)
- 7) Semantics (意味論)
- 8) Linguistic schools in the twentieth century (20世紀の諸言語学派)
- 9) Branches of linguistics (言語学の諸分野)

成績評価の方法

前期末及び学年末の試験によって評価する。

教科書

J. D. O'Connor, *Better English PRonunciation*, (Cambridge University Press) 1980, (PaperBack)

参考書等

参考文献は教場にて紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語表現法	高野正夫	英米文2必	4

講義のねらい

いわゆる英作文の学習において基本となるのは、英語の文法的な知識である。どのような易しい英文を書く場合にも、この文法的な知識なくしては、それが不可能なことは言うまでもありません。このような自然な英作文を書くのに必要な文法は、「生きた英文法」と言われるものであり、単なる書かれた知識としての文法ではなく、現実の生活の様々な場面で使われる言語表現に不可欠な文法的な知識である。それ故、基本的な英文法の知識を再確認しながら授業を進めていく予定です。

履修上の留意点

授業は、毎回演習形式で行うので、あつた時には十分準備をすること。

成績評価の方法

前期、後期の試験だけでなく出席を重視する。また、あつた時の発表など、総合的に判断しながら評価する。

教科書

教場にて指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語表現法	河崎征俊 <small>かわさきまさとし</small>	英米文2必	4

講義のねらい

平易な英語表現の整理と確認を行いながら、より高度な英文作成を目指した授業を行う。英語表現の熟達を望む人は、一般に、ややもすると日本語から英語へといった機械的かつ単純な方式を踏む傾向があるが、一方において、より優れた模範的英文に触れることも必要である。また、使用する辞書も英和辞典や和英辞典を用いるだけではなく、英英辞典を多用することも大切である。日本語から英語へと文章を変換すること自体、困難な作業であるので、できるかぎりわれわれの頭の中でイメージの拡散を起こさないようにすべきであろう。英語で英文のイメージをまとめ、英語で直接思考し、発音し、そしてライティングへと向かうべきである。そのような問題意識をもって着実な努力を重ね、多くの英文に触れながら、さまざまな場面や角度から英文の表現法を習得してほしい。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、日常的レベルの内容の英文作成から、一歩すすんだ内容の英文作成を目標とし、テキストとプリント類を使用しながら大体1年間で終了できるような形をとっていく。

履修上の留意点

すべて演習形式をとるので、予習・復習を必須とする。従って、出席を重視し、積極的に意欲的な授業への参加が求められる。

成績評価の方法

年2回の筆記試験および平常時の授業態度・出席状況などをもとにして、総合的な角度から評価する。

教科書

緒方勲『英語表現への道』(成美堂) 1,545円

参考書等

授業の進行に合わせて紹介する予定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語表現法	佐藤千春 <small>さとうちる</small>	英米文2必	4

講義のねらい

日常生活の中に見られる場面を想定し、そこで使われる簡単で的確な表現に注目、これを英語で表現できるようになることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

単なる作文ではなく、モデルとなる英文の訳読、文法、その他最終的には英語表現法に必要な内容が含まれた授業となる。

履修上の留意点

授業に臨むにあたっての注意事項は授業開講時に説明をする。毎回出欠をとることは言うまでもない。

成績評価の方法

毎回あてる Quiz、出欠の結果、各学期末に行うテスト等、総合的に判断し評価を行う。遅刻・欠席はマイナス評価となり、試験の点数が良くても、最終評価は必ずしもこれに一致することはないので注意すること。

教科書

Writing about Cross-Cultural Topics『日米文化を英語で表現』(成美堂) ¥1,600

参考書等

授業内にて紹介して行く。

英米文

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語表現法	荒井良雄	英米文2必	4

講義のねらい

いわゆる和文英訳中心の英作文ではなくて、真の英語表現法を目指す演習。1分間スピーチによる自己表現と、「天声人語」の長さの英文の原稿作成から、その音声表現に至るまでを指導する。

講義の内容・授業スケジュール

毎時間、自分の書いた英文を音声表現する練習を行う“Speech in Action”の時間である。前期は短文の英訳、後期は自分が書いたスピーチやエッセーの英訳発表を行う。

履修上の留意点

出席を重視する。欠席すると付いて行けなくなる。

成績評価の方法

毎時間の発表と前期および後期のテストで評価する。

教科書

荒井良雄・早坂信編『Speech in Action』（英潮社） 定価未定

参考書等

江川泰一著『英文法解説』（金子書房）1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
アメリカ文学史	佐藤千春	英米文2・3選必	4

講義のねらい

一般にアメリカの歴史は17Cから始まると言えるが、この地への植民がどのような夢を抱いてなされたものかという序論から論じ、ある意味ではその夢が各作家の様々な作品の中に具現されていると考えて行くのがこの講義のねらいである。一口で言えば、アメリカの夢なるものが、どのような作家の、どのような作品の中に見られるか、またはその夢の挫折の表われは何か、等を探って行きたい。

講義の内容・授業スケジュール

アメリカへの移民の動機、すでにその中にアメリカの夢の原型はあったとするのが出発点である。この植民地時代の思想にふれ、次に18C合理主義の時代、これはアメリカ独立革命の時代であるが、これを経てアメリカ・ルネッサンスと呼ばれる文学史上の時期に入る。講義はできるだけ作家、作品の羅列を避け、作家の主要作品に込められた中心思想、テーマなどに焦点をしばり、分析と解説を行ってみる。もちろん時代の動向や文芸思潮をからませ講義を進めて行く。

履修上の留意点

講義は必ずしもテキスト通りに進むとは限らないし、内容も異なることもある。したがって講義内容を適宜ノートにとり、内容をまとめておくこと。

成績評価の方法

期末に筆記試験を行うが、ノート、参考書等、持ち込みは許可していない。筆記試験に関しては、毎時間必要と思われる箇所を説明するので注意しておくこと。年度の終り近くになって特別に試験にあたっての注意をするわけではない。

教科書

西田実『アメリカ文学史』（成美堂）¥2,100

参考書等

講義を進めて行く間、適宜紹介して行く。

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学史Ⅰ	かわさき まさと 河崎 征俊	英米文2・3選必	4

講義のねらい

18世紀までのイギリス文学の流れを概観し、時代思潮および主要作家・作品等に触れながらイギリス文学の特質について考察する。

講義の内容・授業スケジュール

講義は次のような順序で行う。

- (1) アングロ・サクソン文学以前のイギリス
- (2) アングロ・サクソン文学の内容と特質
- (3) 中世後期の文学の内容と特質
- (4) チョーサー文学
- (5) ルネッサンス前期の文学の内容と特質
- (6) ルネッサンス後期の文学の内容と特質
- (7) シェイクスピア文学
- (8) 17世紀前半の文学の内容と特質
- (9) ジョン・ダン文学
- (10) 清教徒革命期の文学の内容と特質
- (11) ジョン・ミルトン文学
- (12) 17世紀後半の文学の内容と特質
- (13) 新古典主義文学
- (14) 18世紀前半の文学の内容と特質
- (15) アレキサンダー・ポープ文学
- (19) 市民社会と小説の隆盛
- (20) 18世紀後半の文学の内容と特質
- (21) ロマン主義文学への曙光

履修上の留意点

最近遅刻が増えているので、遅刻しないよう努めること。出席を取る予定であるが、ただ授業に出席するだけではなく、授業内容をしっかりとノートにとり、テキストや他の参考書を正確に読んでいただきたい。

成績評価の方法

レポート（夏期）、1月の定期試験、および出席状況等を中心に総合的に評価する。

教科書

福田昇八『イギリス・アメリカ文学史：作家のこころ』（南雲堂）2,600円

参考書等

授業の進行に合わせてながら随時教場にて指示する予定。

その他

参考資料を時々配布する予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学史Ⅱ	ふじかわ よしゆき 富士川 義之	英米文2・3選必	4

講義のねらい

19世紀から20世紀にいたるイギリス文学の流れを、主として小説と詩の代表作に即して説明する。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は次のような順序で行う予定。

- (1) ロマン主義とは何か
- (2) ロマン主義の詩——ワーズワス
- (3) ロマン主義の詩——コールリッジ
- (4) ロマン主義の詩——キーツとシェリー
- (5) ロマン主義の詩——バイロン
- (6) ゴシック小説の内容と特質
- (7) ジェイン・オースティンの小説
- (8) エミリー・ブロンテの小説
- (9) チャールズ・ディケンズの世界
- (10) ジョージ・エリオットからトマス・ハーデイへ
- (11) ラスキン、ペイター、ワイルドの文学
- (12) モダニズムとは何か
- (13) モダニズムの詩——パウンドとエリオット
- (14) モダニズムの小説——ジェイムズ・ジョイス
- (15) モダニズムの小説——D. H. ロレンス
- (16) 1930年代の文学と思想
- (17) 1940年代の文学と思想
- (18) 1950年代の文学と思想
- (19) 1950年代以後の文学と思想

履修上の留意点

出席は必ずとるので留意すること。授業内容をしっかりノートにとり、テキストや他の参考書や教材コピーなどをきちんと勉強してほしい。

成績評価の方法

試験（夏期）、レポート（冬期）、および出席状況等を中心に総合的に評価する。

教 科 書

改訂版『イギリス文学』（放送大学教育振興会）

参 考 書 等

上田和夫編『イギリス文学辞典』（研究社）

そ の 他

教材コピーを随時配布する予定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語史	久保内 端 郎 <small>くぼうち ただ お</small>	英米文3必	4

講義のねらい

英語は今でこそ「世界語」と呼ばれるほどになっていますが、5世紀頃のその成立時はゲルマン語に属する一つの地方言語にすぎず、またその初期の段階ではその存続自体危うくなったことが一度ならずありました。英語の過去の姿、そしてその後の変化の過程を見ることによって、英語の何が変わり、何が変わらなかったのかを知ることは、現在の英語の特質を理解する上で重要です。講義では『年代記』、『ベーオウルフ』、各期の聖書翻訳など実際の文章例の読解に重点をおきます。前期は古英語（700-1100年頃の英語）を中心に、中英語期（1100-1500年頃）の半ばまで、後期は中英語期の後期から活版印刷術導入期を経て北米大陸などへの拡張期までが中心になります。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) (1~2) 英語の始源と特徴 (3~7) 古英語の綴り字、音韻の推定、語尾変化と語順 (8~10) 英語の語彙 外国語の影響 (11~13) 中英語期への移行期の文献読解
(後期) (14~15) 『カンタベリー物語』 (16~17) 「英語散文の連続性」と外来語の影響 (18~19) 近代英語への移行期 活版印刷術 (20) 標準英語の形成と英語の方言 (21~22) 『欽定訳聖書』とシェイクスピア (23) アメリカ大陸などへの拡大

履修上の留意点

授業への積極的な参加と予習を強く要望します。

成績評価の方法

成績評価は平常点とレポート、試験の成績による。

教科書

テキストは David Crystal, *The History of English* (金星堂)。参考書は講義の中で随時指示。

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講 I	石原 孝 哉 <small>いし はら こう さい</small>	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

イギリスルネッサンス期の文学について、講義します。ヨーロッパ文学と古典、イギリスのルネッサンス、シェイクスピアの劇場、シェイクスピアの生涯、シェイクスピアの作品論、シェイクスピアの歴史劇、歴史劇と歴史などが中心的な課題です。このほかに Thomas More, Edmund Spenser, Christopher Marlowe, Ben Jonson, John Bunyan, John Milton なども取り上げます。

成績評価の方法

この時代に関心がある意欲的な学生の受講を望みます。
成績評価は、レポートと筆記試験によります。

教科書

『シェイクスピア喜劇の世界』(三修社) 2,800円、配布プリント

その他

ビデオ、スライドなど補助教材を利用します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講Ⅱ	たかのまさお 高野正夫	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

18世紀後半までの英詩の世界では、秩序のある洗練された詩が好まれ、自然に対してはそれほど強い関心が持たれなかった。「理性の時代」と呼ばれた18世紀であったからこそ、詩人は秩序を尊び、粗野で洗練されていないものを拒絶したのであろう。その結果として、ある意味では快適で居心地のよい都会が、人の近づき難い荒々しい自然よりも好まれたのである。

もちろん、DrydenやPopeなどに代表される古典主義的な詩の特徴である洗練された秩序に逆らった詩人もいた。James Thomsonのように、人間を研究することなく、自然そのものの素朴な美しさを描いた詩人もいれば、また、Edward YoungやRobert BlairそしてThomas Grayなどのように、主に「死」を主題として陰うつな詩を書いた墓地派の詩人たちもいた。しかしながら、彼らのほとんどは18世紀の詩の特徴である、不自然で形式的な言葉遣いや技巧から抜け出すことはできなかった。

そして、1798年にWilliam WordsworthとSamuel Taylor Coleridgeによって出版された*Lyrical Ballads*という、1冊の詩集によってこのような古典主義的で因襲的な詩の流れが大きく変わってしまったのである。いわゆるロマン主義の時代の到来を告げるこの詩集に表現された素朴な言葉や主題は、保守的な批評家たちにとってはまったく受入れ難い、あまりにも革新的なものであったが、この小さな流れは、その後19世紀の前半まで英詩の主流となっていった。

イギリスの北西部に位置する湖水地方を愛し、そこに住んだこの2人の詩人の中でも、特に自然を愛したのがワーズワスであった。ワーズワスの詩に描かれた美しい、しかし時には厳しい姿を露にする自然をうたった詩や、彼が得意とした、普通の人々の様々な人生の絵模様をうたった物語詩などを中心に読みながら、ワーズワスの詩の世界を見ていくことにする。

成績評価の方法

前期のレポートと期末試験によって評価する。

教科書

教場にて指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講Ⅲ	あかのざきとしちろう 岡崎寿一郎	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

おそらく、過去のいかなる瞬間もまた現在であったことの認識をもつことなく「現代性」modernityという言葉の感覚を理解することは、むづかしいとおもいます。この認識の方法によって、19・20世紀の英詩について、その現代的な意味を確認します。

講義の内容・授業スケジュール

講義の進行については、前期では、ワーズワス、コールリッジ、バイロン、シェリー、そしてキーツのロマン派詩人たちの詩について、フランス革命・イギリスの産業革命という時代的背景を捨象することなく論究してみたい。後期では、ヴィクトリア朝の時代と詩人たちについて、テニスン、ブラウニング、スウィンバーン、そしてマシュー・アーノルドの詩を検証した後、イギリスの近代文学を拓いたオスカー・ワイルドの詩と批評を出発として、近代詩人アイエツ、エズラ・パウンド、T.S. エリオットの現代詩（モダニズム）、さらにD.H. ロレンスの詩の論究を経て、現代イギリスの詩人たちの詩にと到達したいとおもいます。

成績評価の方法

成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

教科書

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、対象とした詩人と詩について必要なプリントを配布します。

参考書等

参考書・文献については講義中に適宜言及します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講Ⅳ	あら い よし お 荒 井 良 雄	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

オースティンからモームまで、イギリス小説の代表的作家と作品に内在する「ブライス禅」を講義する。イギリス小説の映画化作品に関しても「ブライス禅」を探ってみたい。

講義の内容・授業スケジュール

R. H. Blyth の *Zen in English Literature* や *Twenty-Five*、*ZEN Essays* などを参照しながら、作品の言葉（名句）を引用しつつ講義を進める。

成績評価の方法

夏期休暇中に作成するレポートと、12月の最終講義の時間におこなうテストで評価する。

教科書

教科書は使用せず、プリントを用意する。

参考書等

北星堂書店から出版されているブライスの全著作と、岩波書店発行の『鈴木大拙全集』40巻ほか。

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講Ⅴ	ふじかわ よし ゆき 富士川 義 之	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

英国文化史についての講義。イングランド、ウェールズ、スコットランド、アイルランドの特質と歴史、王室と宗教、カントリー・ハウスと風景式庭園、鉄道と旅、ジャーナリズムの誕生、子供の文化史などの話題について述べる予定。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 4つの文化圏
- 2 王室と宗教
- 3 貴族の城館とカントリー・ハウス
- 4 シェイクスピアと劇場
- 5 産業革命の影響
- 6 ジャーナリズムと出版の進展
- 7 子供の文化史
- 8 騎士道からジェントルマン教育へ
- 9 女性と文学
- 10 大英帝国の光と影
- 11 パラダイム・シフト

履修上の留意点

授業に積極的に取り組んでもらいたい。毎回出席をとる。

成績評価の方法

レポートと試験。

教科書

『概説イギリス文化史』（ミネルヴァ書房）

参考書等

適宜指定する。

その他

教材コピーを随時配布する予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講Ⅵ	丸 小 哲 雄 <small>まる こ てつ お</small>	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

文学はそもそも主観性が強いゆえに、その分だけ読み込みと思考が要求されます。批評行為は、テキストの読み・解釈・批評の過程にあって、テキストの構造の織り目をゆるめて、テキストの持つ価値や態度に対して対立し、そのイデオロギーと対決する最後の機会であり、読み手がテキストに対してどのようにして責任をとるかを発見することです。

だが、外国文学を研究するにあつては以下の4つの前提があります。一つ目の前提は英米文学を学ぶ受講生にとっては生得でない英語に依存しなければならない宿命的なハンディキャップがあること、二つ目の前提は近代においては日本・日本人・日本語・日本文化（文学）はあたかも一体であると考えることには錯覚があること、三つ目の前提は世界に共通する美的で倫理的な文学の一致はありえないこと、そして最後の前提は文学テキストの読みについての論議のためにはテキストの読み・解釈・批評のについてのさまざまな方法論があることを講義します。従って、本講義は、文学批評のさまざまな方法に親しみつつ、文学テキストの演習を行い、テキストの印象や感想に価値を見出せる方法について講義してゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 自然言語と虚構言語の相違について
2. 英米文学の制度の成立と文学研究の意義について
3. 文学テキストの機能と力について
4. さまざまな批評方法について

・伝統批評・伝記批評、ロシア・フォルマリズム・ニュー・クリティシズム、受容理論、精神分析批評、構造主義・記号論批評、ポスト構造主義批評、ニュー・ヒストリシズム批評、ポストコロニアル批評などを講義し、批評方法を修得するためにテキスト演習も行います。

成績評価の方法

出席、前期・後期のターム・ペーパー（レポート作成）などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価。

教科書

Elements of fiction by R. Scholes（英宝社）

プリント使用：プリントのファイルを用意すること：読書リストのプリント配布

参考書等

『楽しく読めるアメリカ文学』（ミネルヴァ書房）

『楽しく読めるイギリス文学』（ミネルヴァ書房）

科目名	担当者名	配当学科	単位
演劇特講 (イギリス・アメリカ)	おちあいかずあき 落合和昭	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

主として、20世紀のアメリカの著名な劇作家、および、現在、活躍中の劇作家を取り上げ、彼等の劇の特徴を、劇の構成要素(「筋」、「登場人物」、「テーマ」、「台詞」、「視覚効果(背景、照明等)」、「効果音(音楽も含む)」等を通して、できるだけ多角的に考察する。その際、演劇史における思潮も考慮に入れるつもりであるが、講義が抽象的にならないように、必ず、劇作品を通して、具体的に、劇の構成要素等を考察する。

アメリカの劇作家以外にも、数人ではあるが、20世紀の 아일랜드 やイギリスの劇作家も取り上げる予定である。さらに、一般には、あまり知られていない劇作家、特に、一幕劇(短い劇、小説で言うなら、短編小説、通常、「場所」が一つだけの劇)を書いた劇作家も取り上げ、劇の持つ多様性をも考察する。また、講義のなかで、折に触れ、重要な演劇用語や劇場の種類等も学ぶ。さらに、時間があれば、ビデオを通して、劇作家の生い立ちや背景についても学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

講義のなかで取り上げる主なる劇作家は、アメリカでは、Susan Glaspell(1882-1948)、Alice Gerstenberg(1885-1972)、Eugene O'Neill(1888-1953)、Thornton Wilder(1897-1975)、Tennessee Williams(1911-83)、Arthur Miller(1915-)、Shirley Jackson(1919-65)、Edward Albee(1928-)、Sam Shepard(1943-)、David Mamet(1947-)、アイルランドでは、John Millington Synge(1871-1909)、Samuel Beckett(1906-89)、イギリスでは、John Boynton Priestley(1894-1984)、Peter Shaffer(1926-)、Harold Pinter(1930-)、等である。

履修上の留意点

講義の内容をふまえて、劇作品を分析してもらうので、積極的な参加が望ましい。

成績評価の方法

期末試験が全評価の40%、前期の課題が30%、後期の課題が30%とする。一回の課題は原稿用紙400字詰め5枚から10枚(ワープロの場合は、2000字から4000字)とする。出席率が3分の2以上を越えなければ、成績は「不可」とする。

教科書

- 1) 『楽しく読める英米演劇』 ミネルヴァ書房
- 2) プリント

英米文

科目名	担当者名	配当学科	単位
演劇演習 (イギリス・アメリカ)	おうちみあきひさ 逢見明久	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

映画化された英米の現代演劇の秀作を扱う。原作から立ち上がる演劇空間を模索して、映画化の視点を探る。

講義の内容・授業スケジュール

前期に米劇作家ユージン・オニール作『アンナ・クリスティ』を、後期に英劇作家ピーター・シェンファー作『エクウス』を扱う予定。

履修上の留意点

原作の疑問点や、原作を踏まえた映像分析を、毎回全員で発表し、討論することになるので、テキストの予習が前提となる。また、扱う事柄の性質上、遅刻や欠席は禁物。

成績評価の方法

毎回の発言内容と姿勢、及び作品ごとのレポート(各2000字程度)で総合的に評価。

教科書

『アンナ・クリスティ』プリント配布 (<http://www.eoneill.com/>より入手可能)
『エクウス』プリント配布

参考書等

荒井良雄著『英米文学映画化作品論』(新樹社、1996年)2,500円
ベラ・バラージュ著 佐々木基一訳『映画の理論』(学藝書林、1995年)2,680円
<http://www.eoneill.com/> (オニールに関する様々な情報が入手できるリンク。舞台記録はもちろんのこと、映画・テレビ・ラジオ版の記録も閲覧できる。)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ文学特講Ⅰ	あすま 東 ゆういちろう 雄一郎	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

アメリカ詩の概観、アメリカン・ルネッサンス、モダニズム、ポストモダニズムの流れにそって、Walt Whitman, Emily Dickinson, Robert Frost, Wallace Stevens, W. C. Williams, Ezra Pound, T. S. Eliot, John Crowe Ransom, E. E. Cummings, Hart Crane, Langston Hughes, Elizabeth Bishop, John Berryman, Robert Lowell, Robert Bly, Allen Ginsberg, Gary Snyder, Sylvia Plath, Mark Strand等の詩人の作品を読んでゆきます。それぞれの詩人の作品を通して、アメリカの歴史、文化、人種差別、ジェンダー、宗教、自然、自我のヴィジョン、絵画、音楽等の問題を探り上げ、論じてゆきます。アメリカの自由詩をおおいに楽しんで下さい。新しい詩のスタイルは、一個人の技巧的な変革ではなく、新しい思想から生まれます。

成績評価の方法

欠席率が3分の1を超えた場合は評価対象外とし、授業内の小テスト、小レポート、前期・後期のレポートによって総合的に評価する。

教 科 書

新倉俊一『アメリカ詩入門』（研究社）2,200円

参 考 書 等

新倉俊一『アメリカ詩の世界』（大修館）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ文学特講Ⅱ	サンダース, L.P.	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

このコースはアメリカンゴシックフィクションを学習する。アーバン・テクノ・サイバーゴシックの3つのエリアにねらいを定める。まずは最近出版されたジョイス・キャロル・オーツの作品から取り組んでいく。

成績評価の方法

前期にテストを行い、後期はレポート提出とする。

教 科 書

教材は教室にて配布する。

そ の 他

ビデオを使用する。英語で授業を行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ文学特講Ⅲ	あし だ かず ひと 足 田 和 人	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

ロスト・ジェネレーションといわれる作家の特徴を探る。また、歴史的、文学史的背景を考慮に入れながら、彼らの短編小説の技法を学んでゆく。

講義の内容・
授業スケジュール

それぞれの作家の代表的な短編小説を読みながら講義を行う。

履修上の留意点

あらかじめ指定されたテキストを読んでいることを前提に講義を進める。授業中に発言を求めることも少なからずあるので、積極的な参加を希望する。

成績評価の方法

毎時間の小レポート、及び前後期2回の期末レポートで評価する。

教 科 書

プリントを配布する。

参 考 書 等

必要に応じて配布・紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ文学特講Ⅳ	おう み あき ひさ 逢 見 明 久	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

映画で読む20世紀現代アメリカ小説。

講義の内容・授業スケジュール

フィッツジェラルド作『偉大なギャツビー』を扱う予定。原作を踏まえたいので、映画版の視点を探る。

履修上の留意点

扱う事柄の性質上、遅刻や欠席は禁物。原作と映画版について気づいたことをまとめた小レポートを毎回提出することになる。

成績評価の方法

毎回の小レポートと、前期と後期の期末課題レポート（各2000字程度）で評価。

教 科 書

プリントを随時配布。（<http://netlibrary.net/>より入手可能）

参 考 書 等

荒井良雄著『英米文学映画化作品論』（新樹社、1996年）2,500円
ベラ・バラージュ著 佐々木基一訳『映画の理論』（学藝書林、1995年）2,680円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ文学特講Ⅴ	さ とう ち はる 佐 藤 千 春	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

アメリカ文学作品を通して眺めるアメリカ思想、とくに個人主義思想の発展について探ってみる。

講義の内容・授業スケジュール

一個人としての人間が社会の中でどのような位置づけにあるかを、作品あるいは作家を通して眺めて行き、とくに個人主義思想がどのように変化して行くかを見てみたい。

履修上の留意点

授業は講義形式で行い、適宜プリントを使用するがノートをとってもらうことになる。

成績評価の方法

学年末にテストを行う。

教 科 書

テキストは使用せず、必要な場合はプリントを配布する。

参 考 書 等

参考文献はきわめて多いので、講義を進める中でその都度指示して行く。

英
米
文

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学演習Ⅰ	あら い よし お 荒 井 良 雄	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

William Shakespeareの全作品、中でも特に*Hamlet*, *King Lear*, *The Winter's Tale*の中に見られる「ブライス禪」を、台詞を具体的に精読しながら探求したい。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は*Hamlet*、後期は*King Lear*と*The Winter's Tale*を取り上げ、翻訳や対訳を参照しながら授業を進める。

成績評価の方法

毎時間の発表、夏休みのレポート、12月の最後の時間のテストを総合して評価する。

教 科 書

特定の教科書は使用しない。プリントを用意する。

参 考 書 等

The Complete Works of Shakespeare (Collins 版)
小田島雄志訳『シェイクスピア全集』(白水社版)
Zen in English Literature (北星堂書店)
その他

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学演習Ⅱ	たか の まさ お 高 野 正 夫	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

18世紀の英詩においては主に二つの流れがあった。ひとつはポーブやジョンソンなどの古典主義の伝統を受け継いだ Augustan Age の詩人たちであり、もうひとつは、このような古典主義から脱して、人間的感情を回復しようとした、いわば Romanticism への移行期の詩人とも言える、グレイ、クーパー、コリンズなどの非伝統的詩人たちである。このまったく対照的な詩を生み出した18世紀の詩人の作品を中心に読む予定です。

講義の内容・
授業スケジュール

演習形式で作品の精読解釈を行なっていきます。

履修上の留意点

出席は毎回とりますが、できるだけ予習をして授業に出るようにして下さい。

成績評価の方法

前期のレポートや後期の試験だけでなく、授業中の発表や出席状況により評価する。

教 科 書

教場にて指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
イギリス文学演習Ⅲ	あし ざわ ひさ え 芦 澤 久 江	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

イギリス・ロマン派の詩歌を鑑賞しながら、人間の普遍的な理解を深めるとともに高い教養を身につけることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

ロマン派詩人の作品を以下の順番で読む。

1. ロバート・バーンス
2. ウィリアム・ブレイク
3. ウィリアム・ワーズワス
4. サミュエル・テイラー・コウルリッジ
5. ジョージ・ゴードン・バイロン

履修上の留意点

予習は必ずしておくこと。文学以外の芸術にも目を向け、日頃から感性を磨いておいてほしい。

成績評価の方法

前期は英詩の朗読をしてもらい、後期はレポートを行う。これらの評価に加え、出席状況、授業への取り組み方などを総合的に判断して評価を行う。

教科書

『イギリス名詩選』（開文社）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
イギリス文学演習Ⅳ	ます た けい こ 増 田 恵 子	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

19世紀イギリスの散文作品を読みながら、当時の文体や表現方法に親しみ、時代の精神性や風潮を体感する。さらに精読を通して、学生が自主的に作品の分析的研究をおこない、その特徴などを議論し合い、独自の「読み」に到達することをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

単語をきちんと調べたうえで、音読と独自の訳をしてもらう。また作家や作品、時代背景についても予習し、自分の意見を発表できるようにしておくことが望ましい。

履修上の留意点

授業は徹底した「演習形式」をとるので、発表者以外の者も綿密なテキストの予習と積極的な参加姿勢が必要である。

成績評価の方法

出席回数、発表や提出物、前期後期レポートを総合的に判断して評価する。

教科書

Elizabeth Gaskell, *The Life of Charlotte Bronte* (Penguin Classics)

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学演習 V	富士川 義之	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

イギリスの20世紀作家の短篇小説を読みながら文章を正確に読みとる訓練をしたい。いずれも粒よりの短篇ばかりで、内容面でも読みごたえがあり、おそらく語学的にも相当骨の折れることがあるかもしれない。だが、たとえ少々歯ごたえがあっても投げ出さないで、辞書と知性と想像力を十分に活用して積極的に読解に挑んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

精読が中心になるが、作家と作品などについて折にふれて説明する。

履修上の留意点

辞書をよく引いて授業に出てほしい。毎回出席をとる。

成績評価の方法

レポートと試験と出席回数を総合的に判断して評価する。

教科書

Modern British Short Stories (成美堂)

科目名	担当者名	配当学科	単位
アメリカ文学演習 I	川崎 浩太郎	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

アメリカ詩の精読を通して、特定の作家、作品について論じる能力の向上を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

アメリカ詩を毎時間ごとに二編ほど選んで、こちらで簡単な解説をする。その後、2~3人のグループで発表してもらおう。発表者にはまず、作家についての説明、その作品が書かれた時代背景等を説明してもらった上で、作品の音読と自分なりの訳をし、いくつかの問題点をあげてもらおう。その問題についてクラスで話し合っていく。作品は、ピューリタンの詩から、ポストモダンの詩まで、時代順に扱って行くつもりである。

成績評価の方法

毎時間提出する小鑑賞文と、レポート及び授業中の発表をもとに評価する。

教科書

こちらでプリントを用意する。

参考書等

新倉俊一著『アメリカ詩入門』(研究社出版) 2,200円
『アメリカ名詩選』(岩波文庫) 670円

その他

授業中の活発な発言を期待している。

英米文

科目名	担当者名	配当学科	単位
アメリカ文学演習 II	サンダース, L.P.	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

1980年代のコンテンポラリー文学と映画や文化、言語との関係を最近のポストモダン作家の作品を通して学ぶ。本年度は下記の作品も学習する。William Gibson.
また、最近のアメリカンフィクションとニューハリウッドをジャンル別に学ぶ。

成績評価の方法

前期にテストを行い、後期はレポート提出とする。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

ビデオを使用する。授業は英語で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
アメリカ文学演習Ⅲ	かわ 川崎 えみ 佳	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

J.D. Salinger の作品をいくつか講読し、それぞれの作品を通して作家の思想や作風、時代精神等を考察する。

講義の内容・授業スケジュール

毎回数名の学生に作品を音読、和訳してもらおう。その際、重要と思われる箇所や疑問点があればそれらについて全員で考えていく。又、毎回数名の学生に発表してもらおう。

履修上の留意点

単語の意味等を辞書で確認するのは勿論、内容を吟味して授業に臨むこと。

成績評価の方法

積極的な授業態度が必須である。出席と授業中の発言、小レポートをもとに評価する。

参考書等

必要に応じて紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
アメリカ文学演習Ⅳ	こ 古 ともみ 富 たけし 猛	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

アメリカ社会の特殊性＝文学の独自性を基本とし、主に資本主義導入による産業革命によって病んでゆくアメリカ社会を、テーマとしている19Cのソローと20Cのフォークナーを主体として、その作品を扱いたい。

講義の内容・授業スケジュール

講座の性質上、学生諸君に予習発表してもらい、作品上も重要である、アメリカ・インディアンや黒人奴隷問題にも触れ、さらにアメリカ文化の主流であるクレオール主義についてや、それから派生したブルースからジャズへの進展、また文学への影響性は何なのかを述べてみたい。

履修上の留意点

最近の学生諸君の語学力低下を教壇から、痛感しているのので、もう一度けんきょになって、高校からの文法事項を復習してもらいたい。

成績評価の方法

成績はあくまでもテキストによる予習発表を平常点とし、前後期のペーパー・テストによって判断する。

教科書

テキストは教場にて指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語	サンダース, L.P.	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

このクラスでは、様々なマスメディア（ドキュメンタリーフィルム、TVニュース、雑誌、タブロイドなど）で使われている英語を通じて、表現や文化を学んでいく。
media studies のメソッドで行う。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを読み内容を把握し、ビデオを見てエクササイズを行う。後半はディスカッションを行う。

成績評価の方法

年に2回テストを行う。

教科書

教科書は使用せずプリントを配布する。

その他

ビデオを使用する。授業は英語で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 業 英 語	まち い やすし 町 井 靖	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

「商品の輸出入に関する英文の手紙」を学習する。テキスト『ビジネス英語』に従って、取引先の発見からカタログの送付、オフア、見積り、交渉、注文、船積み、クレームなど、貿易取引の各段階で良く使用される表現を学ぶ。実際の輸出入業務では英文の手紙を書く必要があるので、英作文演習には力を入れたい。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは貿易取引の各段階で良く使用される表現を英文解釈で学び、それらの重要表現を使用して英作文をするようになっている。英作文は授業中に1題やり、数題が宿題となるが英文解釈、[研究]、[注]を良く読み返して英作文を考え、それらの表現をしっかりと修得していただきたい。

貿易の専門的用語の理解も必要なので、テキストの付録「貿易用語集」により、定型取引条件、為替相場、複合運送、信用状、手形買取り、海上保険などを講義する。

履修上の留意点

全員授業に参加していただくので予習（英文解釈）、復習（英作文）が必要である。英作文は間違いを恐れず挑戦していただきたい。個人的に添削指導する。

成績評価の方法

前期、後期の試験成績と出席による。

教 科 書

町井靖著『ビジネス英語』（創成社）1,600円（本体価格）

参 考 書 等

教室で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ラ テ ン 語	うえ の かつ ひろ 上 野 勝 広	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

ラテン語の基礎文法を概説し、理解できるようにします。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを用いて基礎文法の要点を順次説明し、必要に応じてテキストにない文例も補充してゆきます。その後、各課末にあるラ文和訳の練習問題に取り組みます。

前期は序論から第10課まで、後期は第11課から第24課までを学習します。

履修上の留意点

練習問題については、毎回出席者に指名し和訳例を発表してもらいます。受身でなく、自ら学び取る姿勢をもって授業に臨みましょう。

1回でも欠席してしまうと追いつくのが容易ではありません。授業そのものに加え、自習の負担も大きな科目です。

成績評価の方法

年間2回（前期末・後期末）のテストの結果（60％）に平常点（40％）を合わせて評価します。

教 科 書

松本悦治『ラテン語入門』（駿河台出版社）1,500円

参 考 書 等

初回の授業で紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ギリシャ語	はせがわ たけお 長谷川 岳 男	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

本講義の対象となる古代ギリシア語はラテン語とともに現在の世界では使用されていない死語であるが、欧米をはじめとする全世界で学ばれている。なぜならば、まず第一に今日の欧米文化に多大な影響を与えた古代ギリシア文明を理解するために必要であり、第二に現在使用されている様々なヨーロッパの言語のルーツにあたり、文字こそ違うが、語彙や文法の基本となっているからである。この点をふまえて本講義は古代ギリシア語の基礎を習得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

上記の目的を達成するために、まず我々にはなじみの薄い古代ギリシア語に慣れることから始め、最終的には基本的な語形変化を理解し、辞書のある程度使用できるようになることをめざしたい。学習意欲を高めるために、随時ギリシア文化の諸相や後世への（特に近代以降の欧米文化）影響も紹介する予定である。

履修上の留意点

ヨーロッパの古典文学（例えばヘッセの『車輪の下』）でもおなじみのように、ギリシア語習得は多大な困難をともなうと見なされている。本講義では受講生諸君に基本的なギリシア語の習得を達成してもらいたいので、その困難に臆することなく立ち向かえる姿勢を望みたい。

成績評価の方法

どの程度ギリシア語を理解しているかを問うテストを何度かに分けて実施し、それ以外にも授業中に練習問題を答えてもらったり、課題を提出してもらい、その結果を勘案して成績評価する予定である。

教科書

田中利光著『新ギリシア語入門』（大修館書店）1994

参考書等

参考となる資料は随時、配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英米文化	ひろかわ おさむ 広 川 治	英米文2・3・4選	4

英米文

講義のねらい

「映画・演劇に見る英米文化」を中心テーマとして講義を進める。今年度4月から12月の公開映画、上演の舞台のうち何本かをレポート対象作品に指定し、テーマ別に数作品を組み合わせさせて比較し、レポートにまとめる課題を数多く設定するので、受講者は可能な限り多くの作品を演劇・映画・ビデオ（DVD）などのジャンルから選び、レポートにまとめて随時提出することになる。

講義の内容・授業スケジュール

(4月) レポートの書き方、対象作品についての説明
 (5月) 米アカデミー賞授賞式について～賞の制度・歴史と今年度のノミネート・受賞作品
 (6・7月) 英米の映画・演劇あるいは美術・音楽からテーマを設定し、講義予定
 (9・10月) イギリス現地で撮影してきたビデオ（街の表情、劇場、観光地、映画のロケ地などを収録）を見ながらイギリス文化の諸相について学ぶ。
 (11・12月) 様々なテーマ（歴史・言語・芸術・生活・政治・経済）を映画・演劇等にさらに探っていく。

履修上の留意点

出席は取らないが、授業中に見たビデオなどの感想を書いて提出してもらうことがある。12月に成績の申請日を設けるので必ず出席すること。この申請がない者はレポート提出が無効になることがある。

成績評価の方法

提出したレポートの数で基本的に成績が決まる。点数の詳細は初回の授業で説明するが、最低でも演劇1公演、映画館の映画1作品、ビデオ（DVD）4作品程度は見てレポートをまとめることになる。（配布する試験用紙に書いて提出すること。）

教科書

プリント配布の予定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
外国文学	真下祐一	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

20世紀のイスパノアメリカ文学を代表するふたりの詩人、アルゼンチンのホルヘ・ルイス・ボルヘスとメキシコのオクタビオ・パスの詩論、文学論、文化・文明論を中心に現代スペイン語圏の文学を紹介します

講義の内容・授業スケジュール

前期 (1~3) ラテンアメリカ文学について コンテクストとしての文化史 (4~6) ボルヘスのメタファー論 (7~9) ボルヘスの詩論・文芸論 (10~13) その他の文学者(前衛文学世代を中心に)
後期 (14~18) パスの詩論 (19~23) パスの文明論 (24~26) その他の文学者(20世紀後半)

履修上の留意点

講義だけでなくグループ発表も行う予定です。

成績評価の方法

毎回の出席とレポートによって評価します。

教科書

随時プリントを配布しますが次の二点には目を通しておくことが好ましい。
ホルヘ・ルイス・ボルヘス 鼓直訳 『ボルヘス、文学を語る』(岩波書店)
オクタビオ・パス 牛島信明訳 『弓と豎琴』(ちくま学芸文庫)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英米思想史	あま 麻生 たく し 享 志	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

英米の思想家について、幅広く思想と生涯を紹介し、より深い専門的な読書に向かうために、きっかけや興味を持ち、基本的な能力を得ることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

哲学史の議論を骨格にしますが、隣接諸学問から思想にかかわる著述家を広く選び、「哲学」だけに偏らないようにする方針です。例えばエマーソンやアダム・スミスやカーライルなどを考えています。また時代的には、中世から19世紀までを予定します。

履修上の留意点

聴講者全員に、2週目の講義(初回、ガイダンスの次の回)において、英米(広く英語圏で可)の思想関係の著述家の内から、関心のある人を一名(ないしそれ以上)あげ、その思想内容について論じてもらいますので、そのための準備を(出来るだけ早期から)しておいて下さい。

後半に演習形式を採った場合に、積極的に取り組む意欲のある学生を希望します。

成績評価の方法

成績は、出席による平常点、4月に授業時間内に書いた論述、前期及び後期のレポート(レポート試験)、夏休み明けに提出するレポートによって評価します。9月以降、演習発表形式になった場合には、基本的には、その発表内容によって後期のレポートを免除します。(例外あり。)

教科書

『原典による哲学の歴史』(公論社)

参考書等

参考書は、講義中に指示した図書を、各自が自発的に選択して下さい。講義で必要なものについては、基本的に、コピーを使用します。

その他

前半は、英米の哲学史に思想史の方法論を加えた講義を行います。後半では、希望者による発表を中心とした演習形式を採りますが、希望人数が少なければその分は講義とします。(発表者予定は、レポート試験時、試験後打合せにおいて決定します。)

初日はガイダンスとし、定時から五分間、または正規の終了時刻前五分間に資料を配布して質問を受け付けます。(その間は、雑談的内容にあてる予定で、退出自由。)この時配布する資料は、履修に必要ですので、何らかの方法で必ず入手するようにして下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代美術	矢野陽子	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

この授業では20世紀の美術を「現代美術」として取り上げます。20世紀初頭から次々と展開された大胆で革新的な試みは、従来の美術、すなわち外界の再現を目的とした絵画や人体を主たる題材とした彫刻とは大きく異なる作品を生みだしてきました。20世紀の主要な美術運動、芸術家とその作品を見て理解しながら、美術が技術革新やマスメディアの発達、大量消費型の生活といった同時代の様相とどのように関わっているかも考察していきます。

講義の内容・授業スケジュール

現代美術を理解するにあたって、まず19世紀後半の美術を簡潔に概観します。前期は20世紀初頭の二大運動であるフォーヴィスムとキュビスムを中心に話を進めます。色彩の使い方を大きく変えたフォーヴィスムと形態を問題にしたキュビスムとがその後の美術運動に与えた多大な影響を追っていきます。後期はシュルレアリスムから抽象美術、ポップアート、近年の動向を紹介します。

履修上の留意点

美術館や展覧会に行ったり、画集など見るなどして、現代美術に積極的に触れるように心がけてください。

成績評価の方法

夏休みの課題としてのレポートと学年末の試験と出席状況とを合わせて評価する予定。

教科書

講義時にプリントを配布します。

参考書等

美術出版社編『現代美術入門』（美術出版社）2,000円
そのほか授業中適宜紹介します。

その他

授業では毎回スライドを使用します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 文 化 史	よし た ま さ ひろ 吉 田 政 博	英米文2・3・4選	4

講義のねらい

日本の文化の歴史が、社会の生産や生産組織の問題と深くかかわっていたことに留意し、朝廷・公家・武家ばかりでなく、民衆も文化の創造にかかわっていったことを、明らかにする。

講義の内容・
授業スケジュール

日本文化の流れを概観し、鎌倉期から江戸期にかけての文化について講述する。つぎのような順序で授業を進めていく。

- ① 中世文化史研究の動向
- ② 中世文化の成立
- ③ 鎌倉新仏教と文化
- ④ 五山文学
- ⑤ 南北朝～室町文化
- ⑥ 北山文化の形成
- ⑦ 東山文化の展開
- ⑧ 中世の職能民
- ⑨ 禅宗と文化
- ⑩ 知識人の思想
- ⑪ 連歌師の旅
- ⑫ 京都と大名領国の文化
- ⑬ 桃山文化
- ⑭ 近世文化史研究の動向

履修上の留意点

復習が必要であることはもちろんであるが、例えば中世・近世の文化をテーマとした博物館・美術館での展示会を展覧する機会を積極的に持ってもらいたい。受講する上では図書館所蔵の文化史・美術史に関する資料・ビデオ等を大いに活用していただきたい。また禅文化歴史博物館への見学・説明会を実施することとする。

成績評価の方法

定期試験の結果による。これに授業の出欠状況を加味する。

教 科 書

特に指定しない。必要な資料は随時コピーを配布する。

参 考 書 等

授業中に随時示していく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
放送英語	おほば なおま 大庭直樹	英米文3・4選	4

講義のねらい

このクラスでは、コンピューターを使って、マルチメディアによる英語を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

前半における第一の課題は、インターネットから流れてくる最新の報道から、「放送英語」を学ぶことである。世界中の最新の報道 (CNN, New York Times) をコンピューターでアクセスする。インターネットという広大な情報空間を探検し、各分野ごとに有用なサイトを紹介していく (例えば、ニュース・サイト Patherfinder (<http://pathfinder.com/>) にある Time 誌、アメリカの日刊紙 USA Today, New York Times、あるいはエンターテインメント・サイト (<http://www.imdb.com/>) にある映画のデータベース、そして CNN ニュースなど)。受講生は、欲しい情報をリアルタイムで直接手に入れ、それをサーバーの自分のフォルダに入れて、情報内容を要約する訓練をする。

後半の課題は、Word と電子辞書を使いながら、英語による論文、公式文書、ビジネス文、手紙等の書き方を訓練する。そして、このソフトが持つ機能、アウトライン・プロセッサ、テンプレートを「思考の道具」として利用するノウハウを体得する。コンピューターによる自動翻訳を利用して、自動翻訳の問題点、なども考えていきたい。また、英語の映画を一本観ながら、英語の表現の意味内容を徹底的に研究していく。

受講生は、一年間の課題をこなせば、コンピューターを活用した知的な活動において、相当なレベルに達するはずである。従って、このクラスを受講するには、年間を通じて毎週クラスに出席することが第一条件である。

履修上の留意点

受講生は、インターネットの語学学習のホームページを使って、英会話、英文読解、英文作成、TOEFL[®]、TOEIC[®]の問題に挑むことができる。教室では、コンピューターを使った語学教材を紹介していくので、受講生は、それらを自主的に利用する。

成績評価の方法

試験、定期試験なるものは行わない。受講生には、サーバーの自分のフォルダに、一年間に20程度のドキュメントを提出してもらう。インターネットで各自が検索する情報もすべて、サーバーの自分のフォルダに入れてもらう。成績は、各学生が一年間にフォルダにセーブされたファイルの成果をもって評価する。

英米文

科目名	担当者名	配当学科	単位
英作文演習	あずま ゆういちろう 東 雄一郎	英米文3・4選	4

講義のねらい

英作文の力をリスニングを通して養成する。基本的な英文のリスニングとライティングを中心に授業を進める。

講義の内容・授業スケジュール

毎回、30から40の基本的な英文を作り、それらを暗記し、応用する。英字新聞や英語雑誌からのプリントを配布し、生きた英語を学びます。授業内で小テストを毎回行う。毎月、数回の小レポートの提出も課する。英作文の力を高めるには、多くの英文を書くと同時に、多様な英文を聞き、耳で覚えることが大切です。

履修上の留意点

必ず予習をして授業に参加すること。

成績評価の方法

前期、後期、各1回の試験結果、授業内の小テスト、小レポート、発表内容によって総合的に評価する。欠席の多い学生は評価対象外とする。

教科書

『英語のリスニング理解—大学教材シリーズ I』(南雲書店) 1,600円

参考書等

教場にて指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英作文演習	久保内 端 郎 <small>くぼうち なた お</small>	英米文3・4選	4

講義のねらい

英文らしい英文を書くという意気込みが大事ですが、作文の場合とくに意気込みが必要であるといえます。コンスタントな努力が必要です。同時によい英語の文章をたくさん読むということも努力して頂きたいと思えます。お互いに汗をかきましょう。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) (1~2) 英語の構造と情報の焦点、「文と文がつながる」とはどういう意味か、など
 (3~6) テクストの第1-4課 (7) これまでの語句、語彙の小テスト、小発表
 (8~10) 第5-7課 (11) 発表
 (12・13) 第8-9課
 (後期) (14~16) 第10-12課 (17) 「郷土紹介」小発表。
 (18~19) 第10-12課 (20~21) 第13・14課
 (22~23) 第15課と発表

履修上の留意点

授業への積極的な参加と宿題提出の励行を強く要望します。

成績評価の方法

成績評価は平常点とレポートによる。

教科書

テキストは岩崎春雄編『大学教養英作文』(研究社)。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語学演習 I	菅 原 勉 <small>すが わら つとも</small>	英米文3・4選	4

講義のねらい

全ての言語は音声、意味、文法から成り立つ。当授業では音声学 (phonetics) と音韻論 (phonology) の立場から英語の音声について分析解明し、言語研究の基礎知識の習得とその活用に努める。頭の中にある音声と現実に口から出てくる音声と異なることを実感するためにテキストの音読を多用する。英米文学科生として最低限の英語音の操作ができるように発音訓練も適宜併用する。

講義の内容・授業スケジュール

①授業内容及び使用テキスト紹介と各履修者担当部分決定
 ②1回の授業につき1章の割合で進める
 ③主たる内容は以下の通り
 1. English Phonetics: Consonants and Vowels
 2. Phonemic Principle and English Phonemes
 3. Syllable Structure, Word Stress, Rhythm, and Intonation of English
 4. Variation in English Accents

履修上の留意点

授業に積極的に参加し、自分の責任を確実に果たす

成績評価の方法

次の①~③を目安とする
 ①学期末試験 (60点)
 ②平常時における発表状況 (発表要旨作成を含む) (20点)
 ③レポートの提出とその内容評価 (20点)

教科書

未定

参考書等

授業の中で紹介する

その他

①ゼミ方式を採る。
 ②発表者は責任を持って割り当てられた部分の発表要旨 (レジюме summary) を作成し、他の出席者全員に配布し、それに基づいて担当部分の解説を行なう。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語学演習 I	ピアス, D. M.	英米文3・4選	4

講義のねらい

The members of this class are very special students. Since you are majoring in English-American Literature, I expect that you want to use English your whole lives as English teachers, Professors, interpreters, translators, travel agents, and international businessmen. The course is therefore *career-oriented* for students who seek careers as specialists in English. Over the years my overwhelming impression has been that you have not learned how to speak English fluently; it is a deeply worrisome pitfall that threatens to ruin the benefit of all four years of your other study of English. Without the ability to *speak* English, you cannot be successful as an English specialist. Therefore, the course takes drastic efforts to teach you to learn to speak English effectively. You will be speaking English for the full ninety minutes of every period. There is *no* passive participation in this class; at every moment you will be producing and improving yourself. Choose this class only if you sincerely want to improve your ability to speak English; great effort is required, and the instructor will not tolerate laziness. To the purpose of scoring well in TOEFL, TOEIC, EIKEN, etc., there will also be intensive practice in lecture comprehension and composition. The course furthermore prepares you to extend your English proficiency with intensive English study programs overseas and foreign exchange programs.

履修上の留意点

Attendance and active participation are most important, because improvement in English speaking depends on the amount of practice. Please attend all of the classes. The student may miss six classes in the year and still pass; if the student misses five classes, the final grade will be one letter-grade less than what the student would otherwise have received.

Apart from the two final-semester examinations, there will be frequent small exams. Such exams are not intended to apply pressure; an examination is an excellent method of learning. All exam questions will be questions that we have done together in class, which are printed in the textbook.

成績評価の方法

Your final grade is the quality of the employment that you can find after university graduation. Never forget that English ability is extremely important when you are looking for a job; you will be able to get better employment if you improve your English this year. This is an extremely important point; you are taking a high-quality English course to get better employment in the future, not just to get a university grade!

Your final grade depends 70% on your class performance, in every class. I will keep a record of your participation in every single class meeting. This is a course for English conversation; one can improve speaking ability, similarly to playing piano, only by constant practice. This is true no matter how advanced the student may be. Therefore, attendance is extremely important, and the examinations have minor effect on the final grade. Finally! Everyone in the class is equally able to get an "A" in the class, because the final grade does not depend on the final examination. Even if a student cannot speak English at all, he/she has as much a chance as the other students to get an "A", because his final grade depends on his effort and his improvement in comparison to his initial ability.

教科書

We will probably *use Social Practices*, Adam Pelagius, Themis Research Group as our textbook. In the first class meeting we will have a diagnostic test to determine the appropriate level of the class; do not buy the text until after the first class. Also recommended is an English-Japanese dictionary or a battery-powered dictionary. There will be some effort to absorb the vocabulary of written English that you probably do not know.

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語学演習Ⅱ	久保内 端 郎 <small>くぼうち なた お郎</small>	英米文3・4選	4

講義のねらい

英語学とりわけ英語史に関心をもつ諸君の歴史的・通時的研究への関心をさらに深めていただくための演習を考えています。ただ、歴史ばかりに話が終わるのではなく、共時的な問題にも踏み込んでみたいと考えています。テキストとしては市河・松浪編『古英語・中英語初歩』（研究社）を読みます。英語の「原点」を知ることになります。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) (1~4) 「綴りと発音」「語彙」 (5~8) 「語形」とテキスト
(9~13) テキスト読解——古英語訳聖書
(後期) (14~17) テキスト読解続き (18~22) 「文法の諸問題」
(23) まとめ

履修上の留意点

授業への積極的な参加と予習を強く要望します。

成績評価の方法

成績評価は平常点とレポートの成績による。

教科書

市河・松浪編『古英語・中英語初歩』（研究社）。参考書は講義の中で随時指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語学演習Ⅲ	佐藤 真 二 <small>さとう しん じ</small>	英米文3・4選	4

講義のねらい

古英語から現代英語に至る、音声および音韻体系の変化を概観し、どのような変化が、なぜ起こったのかを考察したい。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) 古英語 (Old English)、中英語 (Middle English)、初期近代英語 (Early Modern English)、近代英語 (Modern English) の音声。British innovations, American innovations
(後期) 学生による研究発表の予定。

履修上の留意点

音声学の基礎知識が要求される。テキストや参考書はすべて原語(英語)のものを使用する。後期には、学生各自に、自分の関心のあるテーマで発表してもらう予定である。後期の発表のためには、前期の授業に毎回出席し、テキストの要約発表などの基礎学習をすることが必要となる。

成績評価の方法

授業内の発表およびレポートによって評価する。

教科書

教場にて指示する。

参考書等

教場にて指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語学演習Ⅳ	ひやま 椛山 晋	英米文3・4選	4

講義のねらい

基本文法を学びながら、初歩的な古英語文献を読む。

講義の内容・
授業スケジュール

基本文法を最初の約1ヶ月で終え、古英語文献の読解に入る。細かい文法等の解説は読解と並行して扱う。最初の1ヶ月でどれだけ基本文法を習得できるかが鍵になる。

履修上の留意点

中途半端な現代英語の知識は全く役に立たない。新たに外国語を学ぶ覚悟で受講して欲しい。必ず予習をして出席すること。この授業は出席するだけでは意味がない。

成績評価の方法

全授業日数の3分の1以上を欠席した者は「不可」。遅刻は減点。積極的な授業参加が強く望まれる。

教科書

森田貞雄・三川基好・小島謙一『古英語文法』（大学書林）4200円 ISBN4-475-01543-X。
別途古英語のテキストを利用する可能性もあるが、これについては適宜教場で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英 語 学 演 習 V	ブランケン, D. L.	英米文3・4選	4

講義のねらい

To develop listening and reading skills for English proficiency tests like TOEFL, TOEIC and the STEP (EIKEN) series. The specific goals are to (1) develop student aural-oral ability : (2) abet vocabulary mastery necessary for reading ability : and (3) underpin these skills with relevant grammatical knowledge.

講義の内容・
授業スケジュール

Spring Semester	Fall Semester
Week 1 : TOEIC materials & methods	TOEIC materials & methods
Week 2-6 : Presentation of topics : drills	Presentation of topics : drills
Week 7 : Sample TOEIC Test 1	Sample TOEIC Test 1
Week 8-12 : Presentation of topics : drills	Presentation of topics : drills
Week 13 : Sample TOEIC Test 2	Sample TOEIC Test 2
Week 14 : Analysis of test performance	Analysis of test performance

Homework is a major part of this course. This means doing sample exercises and reading passages from the textbook and prints for 30-45 minutes a day. Homework will be checked : the more you do, the better your progress. Also, the instructor will suggest further materials for each student. It is optional, but highly recommended.

履修上の留意点

Half of each class will cover listening, the other half reading. Several points & concepts will be introduced each week. Aural testing will proceed each week : reading and grammar testing will occur every second week.

Two full sample TOEIC tests will be given in class in the first semester, and two full TOEIC tests in the second. Students will also be encouraged to register for actual TOEIC tests in the second semester or afterwards.

To the students : You will be expected to attend class on time and do your best to understand the material. Be positive in class and study regularly at home. About 30-45 minutes each day is enough—you will lose concentration if you work longer.

成績評価の方法

Students will be evaluated and graded as follows : (1) classwork, the use of the textbook & prints, 25% : (2) classwork, attendance and performance, 25% : (3) homework, amount of exercises and readings done, 25% : and (4) test performance in terms of progress

教 科 書

To be announced in class and supplied by the instructor. Also, there will be printed exercises and readings given each week.

参 考 書 等

Materials : Each student must bring an English-English dictionary to class. The instructor will give advice on suitable dictionaries in the first meeting.

Students are urged to have Internet access or E-mail addresses. The instructor will post information and news, and students may access TOEIC and TOEFL, as well as EIKEN and even SAT sites for materials.

科目名	担当者名	配当学科	単 位
オーラル・イングリッシュ	ナトウシュ, B. A.	英米文3・4選	2

講義のねらい

To improve students' productive proficiency in speaking.

講義の内容・授業スケジュール

Warm Up Activities
 Students converse using simple telephone dialogues to practise listening, note taking pronunciation and speaking skills. (Pair work)
 Vocabulary Expansion
 Quizzes on word definitions and synonyms based on a weekly theme to extend active vocabulary usage. (Pair and team work)
 Fluency Development
 Exercises using fixed expressions to develop fluency. (Pair and group work)
 Listening for Main Points
 Retelling a news item after 2-3 repetitions of a short talk. (Individual)

成績評価の方法

Class attendance, quiz performance, participation in asking questions, communicative performance, two oral presentation projects, two written tests at end of Semesters1and2.

教科書

『*Real Life Spoken English Series 2*』 (3 small workbooks)
 『*A Dictionary of Communicative Expressions*』 (Nanundo)
 Photocopied materials will also be used.

科目名	担当者名	配当学科	単 位
オーラル・イングリッシュ	ハバード, W. D.	英米文3・4選	2

講義のねらい

The two main goals of this course are : (1) to provide students with expressions and strategies necessary for successful communication and (2) to teach students to be sensitive to cultural differences and to interact successfully so that their intercultural experiences can be more satisfying.

講義の内容・授業スケジュール

This course is discussion oriented and requires a fair amount of group work. Students are first presented with information on how to be an effective group leader and group participant. Current social issues or sociopoints serve as a central focus for all class activities. Some activities raise student awareness of issues in social interaction. Addition exercises are designed to teach them how to interact appropriately. Each sociopoint is divided into a warming up, a talking task, a listening exercise, a summing up, and a vocabulary learning section. This course is useful for ESL learners who desire to improve their English, but usually do not have access to interaction with native speakers of English.

履修上の留意点

Students who take this course should have completed an Oral English II or equivalent class.

成績評価の方法

Final grades will be based on attendance, class participation, preparation, and tests.

教科書

DESIRE by Robert M. Homan and Christopher Jon Poel, Macmillan LanguageHouse, Tokyo

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
オーラル・イングリッシュ	リアーディ, N.	英米文3・4選	2

講義のねらい

To improve the student's listening and speaking ability to a degree where they are able to take the STEP Test Grade I by the end of the academic year or early in the following year :

講義の内容・授業スケジュール

The first semester will be concerned with improving the student's Listening and Speaking ability. As listening seems to be one of the rather weak points of most students, they will be taught in such a way that they should be able to listen and comprehend a variety of English sentences with comparative ease.

The second semester will place emphasis on speaking and writing.

Here, the students will be given ample opportunity to construct compositions on a wide variety of subjects and present them individually to the class as a whole. Any mistakes in grammar, intonation, reading speed and pronunciation, etc, will be corrected by the instructor during the above - mentioned presentations.

Thus, by the end of the year, most students should be ready to sit for the STEP Test and pass it with confidence.

The method of improving the student's listening ability in the first semester will be attained by individual and group training. We will be using a textbook and tapes during this time in order to train the student's ear in listening to and comprehending English spoken at normal speed.

In the second semester, individual presentations should serve to break down any inhibitions that the student might have with regard to speaking before a group of people.

As the student is giving his or her presentation, the instructor will carefully correct any mistakes being made as mentioned above.

成績評価の方法

There will be two principle tests during the academic year : one in the first semester and one in the second. However, the student will be able to earn additional points for the content and quality of his or her presentations given in the second semester.

At the end of the academic year, all grade will be added together and divided by two.

This will constitute the final grade.

教科書

In the first semester we will be using a textbook [the level of which will be decided on the ability of the class as a whole]. There is a set of tapes that come with the textbook, and copies of these can be obtained from the instructor before the end of the semester.

In the second semester, we will probably be using the materials for the STEP Test Grade I. These will be supplied by the instructor.

The only article that the student is required to purchase is the textbook used in the first semester. All other materials : tapes, STEP Test materials, etc, will be supplied by the instructor.

科目名	担当者名	配当学科	単位
オーラル・イングリッシュ	レイン, R.V.	英米文3・4選	2

講義のねらい

This discussion-oriented class will provide students with the opportunity to improve their ability to think logically, make opinions and express those opinions effectively in English.

講義の内容・授業スケジュール

Students will be shown American television commercials and taught as to how to determine their effectiveness. After several weeks of instruction, students will bring to class a video tape of two-three commercials as taped from Japanese television. The students will then show the commercials to the class and explain the merits of each, carefully explaining the reasons for the evaluation.

履修上の留意点

Students should be aware that attendance is important. If the student is absent for 1/3 of the scheduled classes [approximately eight times], the student will fail the class.

成績評価の方法

Students will be graded regularly on the quality of class presentations. Depending on class size, students can expect to give a presentation [and be graded] no fewer than twice a month.

教科書

none

科目名	担当者名	配当学科	単位
3年次ゼミ	あづま 東 ゆういちろう 雄一郎	英米文3必	4

講義のねらい

19世紀のニューイングランドの田舎町アマストに生まれたアメリカ初の本格的な女性詩人、エミリー・ディキンソンの詩芸術を通して、現在にかかわる多様な問題をとりあげ、討論をする。

講義の内容・授業スケジュール

授業ではディキンソンの作品の訳、内容解釈などの発表を毎回してもらいますが、発表もその後の討論も英語でおこなう。発表者は、発表内容の英文原稿を必ず作成し、他のゼミ生に配布する。英文原稿は、400字から600字程度のもの。また、ディキンソンに関する批評、アメリカ詩に関する論文等も読み進める。テキスト等の精読により、英語の深い読みの訓練をおこなうが、それと共に presentation の能力の向上を目指す。

成績評価の方法

授業内での研究発表、小レポート、出席率、前期・後期レポートによって総合的に評価する。

教科書

新倉俊一解説注釈『ディキンソン詩選』（研究社小英文学叢書）
 亀井俊介編『ディキンソン詩集』（岩波文庫）
 新倉俊一訳編『ディキンソン詩集』（思潮社）

英米文

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
3 年 次 ゼ ミ	あら い よし お 荒 井 良 雄	英米文3必	4

講義のねらい

英語文化ゼミナールの研究主題は、「禅と英語文化」(ZEN and English Culture)である。英語文化の背景にある聖書とシェイクスピアを中心に、文学や美術や音楽や映画などを題材にして、「禅」との関連を探求したい。

講義の内容・
授業スケジュール

R. H. Blyth の *Twenty-Five Zen Essays* をテキストにして、前期は講読、夏休みにはレポートを課し、後期はレポートの発表を中心にゼミナールを進める。

成績評価の方法

毎時間の発表とレポートの成績を総合して評価する。

教 科 書

Twenty-Five Zen Essays by R. H. Blyth (北星堂書店)

参 考 書 等

プライスの著作集(北星堂書店)と『鈴木大拙全集』40巻(岩波書店)、その他。

そ の 他

毎時間、発表形式で授業を進めるので、出席を重視する。ゼミ論集出版のため、夏休みのレポートと、後期の発表原稿に基づく小論文を提出することになる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
3 年 次 ゼ ミ	おう み あき ひさ 逢 見 明 久	英米文3必	4

講義のねらい

英米演劇における映画化作品研究。

講義の内容・
授業スケジュール

アメリカの劇作家ユージン・オニールの自伝的な家族の愛憎劇『夜への長い旅路』を取り上げる予定。前期は映画版と並行してテキストを精読し、夏季休暇にそれぞれの視点から作品を追求してレポートにまとめ(400字10枚程度)、後期はレポートを発表し、他のメンバーと意見を交換しながら問題点を煮詰める。

履修上の留意点

毎回全員に発表の機会があるので、予習は怠らないこと。

成績評価の方法

毎時間の発表姿勢と、レポートの結果から判断する。

教 科 書

プリント使用

参 考 書 等

荒井良雄著『英米文学映画化作品論』(新樹社、1996年)2,500円
ベラ・バラージュ著 佐々木基一訳『映画の理論』(学藝書林、1995年)2,680円
劇評や映画評は <http://www.eoneill.com> から入手できる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
3年次ゼミ	かわさき まさとし 河崎 征俊	英米文3必	4

講義のねらい

イギリスの14世紀は、百年戦争、農民一揆、黒死病の流行、政治的闘争など、多彩な時代であった。と同時に、英語が復権し、騎士道精神華やかになりし時代でもあった。この時代に現れた詩人ジェフリー・チョーサーはこのような時代の特徴をすべて吸収し、その独特なパーソナリティーをとおして、イギリス文学の特性ともなるヒューモアとか風刺の精神を、いわゆる、デタッチ・ドな態度で描いている。そして、この詩人は当時の宮廷と深く関わりながら、ウェルギリウス、オウィディウスといったラテン詩人や、ダンテ、ボッカチオといったイタリア詩人、およびギョーム・ド・ロリス、ジャン・ド・マン、ジャン・フロワサルといった中世フランス詩人たちの古典文学に通じ、当時のイギリスに初めて文学らしきものを確立したと言われている。この詩人の作品を精読しながら、イギリス文学および英語のものと姿をとらえ、学習・研究の幅を広げるのが、このゼミのねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

チョーサーの作品を中心に、14世紀の英語の発音の仕方や文法を学習し、当時の英語が基本的に読めるように授業を進めたい。ある段階において、各自に課題を課し、自発的なゼミ運営を計りたい。

履修上の留意点

ノート整理を怠らず、着実な研究姿勢を身につけてもらいたい。

成績評価の方法

年1回の筆記試験およびレポート課題が中心であるが、平常時の学習態度をもとにして総合的に判断する。

教科書

教科書は、A. C. Baugh 版をコピーにして使用する予定。

参考書等

参考書は、授業の進行に合わせて紹介する予定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
3年次ゼミ	くぼうち ただお 久保内 端 郎	英米文3必	4

英
米
文

講義のねらい

英語学とりわけ英語史に関心をもつ諸君の歴史的・通時的研究への関心をさらに深めていただくためのゼミとなれど願っています。前期のテキストには Robert McCrum のほか *The Story of English* (BBC Publications, 1986) のテキスト版を用います。BBC で放映されたものが原本になっています。ビデオも適当な時期に少しずつ見たいと思っています。後期はこれの後半を読むか他の本に移るか、参加の諸君の希望を聞きたいと思っています。

講義の内容・授業スケジュール

- | | | |
|------|---------------------|-----------------------|
| (前期) | (1) 英語の歴史を学ぶとは | (3~6) 英語の系統 |
| | (7) バイキングの侵入とバイリンガル | (8~10) ノルマン人の征服の影響 |
| | (11~13) チョーサーとウィクリフ | |
| (後期) | (14~16) ルネサンス期の英語 | (17) 以後の箇所は参加者の希望による。 |
| | (18~22) 未定 | (23) まとめ |

履修上の留意点

授業への積極的な参加を強く要望します。

成績評価の方法

成績評価は平常点とレポートによる。

教科書

Robert McCrum ほか『BBC：英語ものがたり』（英宝社）1,850円

科目名	担当者名	配当学科	単位
3年次ゼミ	佐藤真二	英米文3必	4

講義のねらい

地域や社会階級、年齢、性別等による発音の違い (accents of English) を、音声資料を用いて研究する。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) International Phonetic Alphabet、地域による相違、社会階級による相違、性別、年齢による相違。地域としては、ロンドン、イングランド北部、スコットランド、アイルランド、ウェールズ等を予定している。資料には、インタビュー、ニュース、テレビ番組、映画、音楽などを予定。
(後期) 学生の研究発表を中心とする。

履修上の留意点

音声学の基礎知識およびプラクティカルな英語力が要求される。参考書や資料も英語のみである。後期には、学生各自に、自分の関心のあるテーマで発表してもらう予定である。後期の発表のためには、前期の授業に毎回出席し、テキストの要約発表や ear-training などの基礎学習をすることが必要となる。毎回予習の上出席すること。

成績評価の方法

授業内の発表とレポートによって評価する。

教科書

教場にて指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
3年次ゼミ	佐藤千春	英米文3必	4

講義のねらい

アメリカ文学史上、1830年頃から40年の中頃にかけて、(Transcendentalism) という文芸思潮が頂点に達していた。これは宇宙の本質、神と人間の内部とは究極的に同質のものだとし、人間の精神、自我そのものが神であると主張した。当然そこには、個人こそあらゆるものの根源であるという徹底した個人主義思想が生まれてきた。そして超絶主義はこの神と自我のつながりを認識する媒体能力として直観を重んじた。理性というワクをとりはずし、いっさいの経験、悟性に先立つ直観能力、想像力に信頼をよせ、無限者神との合一を求めた。そこには明るい未来像、世界像が描かれていた。しかしこれに疑問を持ち、その未来像を否定的にさえ眺めていた作家もいた。ナサニエル・ホーソン (Nathaniel Hawthorne, 1804-64) である。ここでは彼の作品を精読し、さらにほかの作家との比較も行いながら、その人間観、世界観などを探っていくことにする。あわせて、この時代、アメリカ・ルネッサンスという時代も展望してみたい。

講義の内容・授業スケジュール

ホーソンの作品を精読し、その間、これらの作品と共通、あるいは対照的な他の作家の作品なども紹介して行く。講読する作品は授業開講時に連絡する。

履修上の留意点

あらかじめ発表部分をあてておくので十分な予習をもって授業に臨んでほしい。作品の訳読、内容の分析、ならびに難解な部分の解説や説明を行ったり、説明を求めたりする形式で進めて行く。

成績評価の方法

分担して発表してもらう姿勢と内容、作品の内容と分析に関するテスト、あるいはレポートを課題として出す予定。出席が重視されるのは当然と考えてほしい。

教科書

プリントを使用する。

参考書等

参考書、翻訳書など多数にのぼるので授業内において、その都度紹介して行く。

科目名	担当者名	配当学科	単位
3年次ゼミ	サンダース, L.P.	英米文3必	

講義のねらい

このセミナーは、カルチャー・スタディのアプローチをもとに、1980年代から現在までのコンテンポラリー文学を学ぶ。
そして次の3つの点に注目する——technology, media and literature。
今年度は、“サイバー・スペース”のクリエイターであるウィリアム・ギブソンの代表作『ニューロマンサー (1984)』などを学習する。

成績評価の方法

後期にレポート提出とする。

その他

ビデオを使用する。英語で授業を行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
3年次ゼミ	高野正夫 <small>たかの まさお</small>	英米文3必	4

講義のねらい

1930年代に最も活躍し、そして最も典型的な詩人であった W.H. Auden は、1939年1月にアメリカに渡った後、アメリカに住み続け、代表的な長編詩を次から次へと発表していった。激動の時代を常に放浪者として生きながら、故国イギリスを離れて自由の地アメリカで新たな詩作の生活を歩み出した1939年以降のオーデンの詩を読んでいく予定です。
さらに、このオーデン以外にも、イングリッシュ・ラインと呼ばれる、イギリスの伝統にしながらって詩を書いている現代のイギリス詩人のなかでも、最も知られた、最も人気のある詩人、フィリップ・ラーキンについても読んでいきます。

講義の内容・授業スケジュール

毎時間、1、2名に発表してもらいながら授業を進めていきます。

履修上の留意点

積極的に提起された問題をそれぞれの視点から捉えるようにして下さい。

成績評価の方法

レポートや、授業の時の発表や出席状況を見ながら総合的に評価する。

教科書

W. H. Auden, *Collected Shorter Poems 1927~1957* (Faber) を使用します。

英米文

科目名	担当者名	配当学科	単位
3年次ゼミ	富士川義之 <small>ふじがわ よしゆき</small>	英米文3必	4

講義のねらい

オスカー・ワイルドの The Picture of Dorian Gray 研究。『ドリアン・ 그레이の肖像』を精読しながら、ワイルドの文学についてさまざまな角度から考察してみたい。

講義の内容・授業スケジュール

精読が中心になるが、適宜課題を与えて発表してもらおうつもり。レポートなど論文の書き方についても最低限必要な知識についてもふれる。

履修上の留意点

辞書をよく引いて授業に出てほしい。毎回出席をとる。

成績評価の方法

試験と発表態度と出席回数を総合的に判断して評価する。

教科書

『ドリアン・ 그레이の肖像』(開文社)

参考書等

適宜指定する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
4年次ゼミ	あづま 東 ゆういちろう 雄一郎	英米文4選	4

講義のねらい

大学生生活、4年間の集大成として重要な意義をもつ卒業論文の指導をおこなう。具体的には、テキストの選択方法、関係書誌の利用方法、書式、その他は言うまでもなく、まずは、何を論文にとりあげ、何を論じるかを、各自が徹底的に考え、それを要約したレポート(小レポート)を提出してもらう。

共通テーマごとに(例えば、アメリカ小説・ヘミングウェイ、アメリカ19世紀詩、アメリカ文化論、アメリカのヴィジュアルアートなど)、グループを作り、共同研究のグループ発表をし、参加者全員で討論をする。

6月の論題提出の時期までには、各自の論文構想のおおまかができあがっているように努力して欲しい。夏休み後、後期の授業の初日に、400字詰め原稿用紙、40~60枚の下書きを提出してもらう。ゼミに参加する以前に、卒業論文についての強い問題意識をもつようにしてもらいたい。

成績評価の方法

評価は授業中の発表、小レポート等で総合的に下します。欠席率が3分の1を超えた場合は不合格とする。

教科書

テキスト、論文作成に関するもの(『論文の書き方』など)を数点、授業時に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
4年次ゼミ	あらい よしお 荒井良雄	英米文4選	4

講義のねらい

4年次のゼミナールで扱う主題は、シェイクスピアを中心にしたイギリス演劇、イギリス演劇や小説の映画化作品、英米の美術や音楽などとする。これらの分野を論じる卒業論文の指導をおこなう。

講義の内容・授業スケジュール

学生の卒業論文の主題にそった個人指導を中心に、卒業論文の書き方を指導する。前期は論文の構成と資料の収集、参考書の選択などを指導し、後期は卒業論文の完成まで、個別指導をおこなう。

履修上の留意点

就職活動に時間を取られるであろうが、出来るだけ出席して、大学生活最後の研究成果を挙げて卒業するように努力すること。

成績評価の方法

出席と論文作成過程での作業状況、論文の完成度などで評価する。

教科書

使用しない。

参考書等

野町二著『卒業論文のテーマと書き方』(研究社)など。

科目名	担当者名	配当学科	単位
4年次ゼミ	おうみあきひさ 逢見明久	英米文4選	4

講義のねらい

英米演劇における映画化作品研究。

講義の内容・
授業スケジュール

3年次ゼミの研究テーマを基礎に卒業論文を書くことを目的とする。開講時に論文の要旨(400字5枚程度)と章立ての構想を必ず提出のこと。前期はこれをもとに論文の方向性を明確にして6月の論題提出に備え、夏期休暇を利用して全体を書き上げる。9月中旬に原稿の写しを一部提出のこと。後期は、原稿を推敲して論文の完成を目指す。

履修上の留意点

論文作成の経過報告を忘れずに、論文の完成に向けて必ず指導を受けること。

成績評価の方法

卒業論文を評価。

参考書等

適宜指示。

科目名	担当者名	配当学科	単位
4年次ゼミ	かわさきまさとし 河崎征俊	英米文4選	4

講義のねらい

3年次ゼミで習得した中世英国の文学を精読し、当時の政治的、経済的ならびに社会的背景を探る予定。入手可能な文献を実際に扱いながら、英文学の源流となった詩人たちの特性に焦点を当ててみたい。なお、卒業論文の作成作業をも考慮しながら、作品の読み方や文献の収集法にも触れる予定。

講義の内容・
授業スケジュール

14世紀後半に書かれたとされる作者不詳の *Pearl* という作品を読みながら、中世英国における宗教的テーマを追究していく。ある段階において各自に課題を課し、自発的なゼミ運営を計りたい。

履修上の留意点

作品を精読するため、ノート整理が常に要求される。着実な研究姿勢を身につけてもらいたい。

成績評価の方法

演習回数および年一回のレポート課題が中心となるが、平常時の学習態度や意欲をもとに総合的に判断する。

教科書

教科書は Oxford 版の *Pearl* をコピーにして使用する。

参考書等

参考書は、授業の進行に合わせて随時紹介していく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
4 年 次 ゼ ミ	くぼうち ただお 久保内 端 郎	英米文 4 選	4

講義のねらい

英語を理解するためには、英語そのものを熟読し、味読し、聴解し、響きを楽しむといったことに加えて、英語について英語とはどんな特徴をもつ言語であるか、構造的に、音韻的に、綴り字的に、語彙的に、歴史的になどなど、英語を英語たらしめている特徴は何かといったことに対する理解を深める必要があります。そのような問題に関心をもつ諸君の参加を希望します。テキストには Sidney Greenbaum and Randolph Quirk, *A Student's Grammar of the English Language* (Longman, 1990) を用います。その中でとくに重要と思われる問題を扱う章を重点的に精読したいと思っています。前期は第18章「主題、焦点、情報処理」を中心に、後期は第19章「センテンスからテキストへ」ほかを読む予定です。ただしこれの後半を読むか他の本に移るか、参加の諸君の希望を聞きたいと思っています。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|-------------------------|-----------------|
| (前期) (1) 英語のセンテンスの構造 | (3~6) 第18章前半 |
| (7) まとめ | (8~10) 第18章後半 |
| (11) まとめ | (12~13) 関連する諸問題 |
| (後期) (14) 節と節の結合と文と文の結合 | テキストの成立条件 |
| (15~19) 第19章前半 | (20~22) 第19章後半 |
| (23) まとめ | |

履修上の留意点

授業への積極的な参加を強く要望します。

成績評価の方法

成績評価は平常点とレポートによる。

教科書

テキストはプリントで。

英米文

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
4 年 次 ゼ ミ	さとう しんじ 佐藤 真 二	英米文 4 選	4

講義のねらい

3年次にゼミで研究した事項（音声学）を基礎として、それを発展し、卒業論文へまとめあげることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) 研究方法の再確認。テーマの決定。資料の収集。卒業論文の書き方。アウトライン作成。
(後期) 卒業論文指導が中心となる。10月初旬序章（或いは第1章）提出、11月初旬第1章（或いは第2章）提出の予定。

履修上の留意点

履修者は必ず第1回目の授業に出席し、担当教員と連絡を取ること。
5月末からの論題提出期間までには、テーマを決定し、論題の案を用意し、その上で担当教員に連絡の上、相談にいくこと。
教育実習に行く学生は早めに論題の準備しておくこと。
就職活動で忙しい場合でも、何らかの方法で担当教員に連絡すること。

成績評価の方法

レポートにより評価する。

教科書

渡部昇一他『論文・レポートの書き方』スタンダード英語講座8（大修館書店）1984年 他

科目名	担当者名	配当学科	単位
4年次ゼミ	佐藤千春	英米文4選	4

講義のねらい

卒業論文作成の基本となるゼミと考えてほしい。作家・作品その他論題の決定、そのための準備、そして完成への助言、助力を行う。

講義の内容・授業スケジュール

アメリカ・ルネッサンス期の作家を中心として指導を行う。研究室で行うが、人数によりグループ別に分けて隔週でこれを行う予定。6月までにテーマを決め、その研究方針・報告を受け、それに従ってスケジュールをたてる。

履修上の留意点

決められたスケジュールに従って報告をしてもらうので十分な準備をしていただくことになる。

成績評価の方法

報告の内容、論文の内容などを考慮し評価を出す。

教科書

とくに使用せず。

参考書等

研究対象によって異なるので、その都度指摘することにする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
4年次ゼミ	サンダース, L.P.	英米文4選	4

講義のねらい

このコースでは卒業論文の書き方について学習する。

講義の内容・授業スケジュール

- 4段階とする。
1. Developing a topic
 2. Conducting research
 3. Writing process
 4. Checking.

成績評価の方法

論文の進み具合などによって評価する。

教科書

教材は教室にて配布する。

その他

ビデオを使用する。

英
米
文

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
4 年 次 ゼ ミ	たかのまさお 高野正夫	英米文4選	4

講義のねらい

4年次の卒業論文の執筆に向けて様々な指導を行ないます。どのようにして卒論を書いたらよいかということについて、具体的な例をあげながら説明していきます。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、卒論の論題受付に向けて、どのようなジャンルやテーマを選んだらよいか、そしてどのような作家や作品を選んだらよいかなどについて、相談しながら論題を決定する作業を行います。

後期は、論文を書く時の具体的な原稿用紙の書き方などについて説明し、さらに下書きの段階で提出された論文を訂正するなどして、論文の完成に向けての細かな作業を行います。

履修上の留意点

卒論の作成は長期間にわたるものなので、粘り強く様々な作業を進めることが必要であり、授業の時だけでなく日頃から自主的な姿勢で研究作業を進めていくことが望まれる。

成績評価の方法

授業への積極性や論文の進み方などにより評価する。

教 科 書

授業開講時に教場で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
4 年 次 ゼ ミ	ふじかわよしゆき 富士川 義之	英米文4選	4

講義のねらい

卒業論文作成にむけて書き方の指導を中心に行なう。

講義の内容・
授業スケジュール

論文の書き方、文献の選び方、読み方などについて指導する。

履修上の留意点

真面目に自分の課題と取り組んでほしい。

成績評価の方法

発表態度と内容を最も重視したうえで総合的に判断して評価する。

教 科 書

コピーを用いる。

参 考 書 等

適宜指示する。

そ の 他

講義と演習を組み合わせる。

Ⅱ 專 門 教 育 科 目

3 地 理 学 科

地
理

地

理

II. 専門教育科目

(3) 地理学 科

自然地理学概論〈小池一之〉	419
人文地理学概論〈佐藤哲夫〉	420
人文地理学概論〈桜井明久〉	420
自然地理学実習(地図学実習含む)〈田中靖〉	421
自然地理学実習(地図学実習含む)〈高木正博〉	421
自然地理学実習(地図学実習含む)〈早船元峰〉	422
自然地理学実習(地図学実習含む)〈田中靖〉	422
自然地理学実習(地図学実習含む)〈中村和郎〉	423
自然地理学実習(地図学実習含む)〈長沼信夫〉	423
人文地理学実習(地図学実習含む)〈橋詰直道〉	424
人文地理学実習(地図学実習含む)〈佐藤哲夫〉	424
人文地理学実習(地図学実習含む)〈小田匡保〉	425
人文地理学実習(地図学実習含む)〈桜井明久〉	425
人文地理学実習(地図学実習含む)〈高橋健太郎〉	426
人文地理学実習(地図学実習含む)〈土谷敏治〉	427
地域文化研究概説 〈土谷敏治・小田匡保・佐藤哲夫・高橋健太郎・橋詰直道〉	428
地域環境研究概説 〈高木正博・佐藤哲夫・田中靖・長沼信夫・早船元峰〉	429
地域概論〈藤永豪〉	430
地理思想史〈吉田敏弘〉	431
地図学〈中村和郎〉	432
村落地理学〈前期：高橋健太郎、後期：佐藤哲夫〉	432
都市地理学〈橋詰直道〉	433
交通地理学〈土谷敏治〉	434
文化地理学〈小田匡保〉	434
文化生態学〈休講〉	
歴史地理学〈小田匡保〉	435
リモートセンシング〈田中靖〉	435
環境地理学〈早船元峰〉	436
計量地理学〈土谷敏治〉	436
応用地理学〈高木正博〉	437
地域計画論〈原昭夫〉	438
地理情報論〈村山祐司〉	439
地域文化調査法(現地調査含む) A 〈休講〉	
地域文化調査法(現地調査含む) B 〈小田匡保〉	439
地域文化調査法(現地調査含む) C 〈休講〉	
地域文化調査法(現地調査含む) D 〈佐藤哲夫〉	440
地域文化調査法(現地調査含む) E 〈休講〉	
地域文化調査法(現地調査含む) F 〈高橋健太郎〉	440
地域環境調査法(現地調査含む) A 〈休講〉	
地域環境調査法(現地調査含む) B 〈桜井明久〉	441
地域環境調査法(現地調査含む) C 〈休講〉	
地域環境調査法(現地調査含む) D 〈田中靖〉	441

地域環境調査法 (現地調査含む) E	〈 休 講 〉	
地域環境調査法 (現地調査含む) F	〈長 沼 信 夫〉	442
地域文化演習 A	〈 休 講 〉	
地域文化演習 B	〈土 谷 敏 治〉	442
地域文化演習 C	〈 休 講 〉	
地域文化演習 D	〈中 村 和 郎〉	443
地域文化演習 E	〈 休 講 〉	
地域文化演習 F	〈 休 講 〉	
地域環境演習 A	〈 休 講 〉	
地域環境演習 B	〈小 池 一 之〉	443
地域環境演習 C	〈 休 講 〉	
地域環境演習 D	〈高 木 正 博〉	444
地域環境演習 E	〈 休 講 〉	
地域環境演習 F	〈 休 講 〉	
地理学演習	〈小 田 匡 保〉	444
地理学演習	〈小 池 一 之〉	445
地理学演習	〈佐 藤 哲 夫〉	445
地理学演習	〈高 木 正 博〉	446
地理学演習	〈桜 井 明 久〉	446
地理学演習	〈高 橋 健 太 郎〉	447
地理学演習	〈田 中 靖 靖〉	447
地理学演習	〈土 谷 敏 治〉	448
地理学演習	〈長 沼 信 夫〉	449
地理学演習	〈中 村 和 郎〉	449
地理学演習	〈橋 詰 直 道〉	450
地理学演習	〈早 船 元 峰〉	450
巡検 A	〈橋 詰 直 道〉	451
巡検 B	〈 休 講 〉	
巡検 C	〈 休 講 〉	
巡検 D	〈早 船 元 峰〉	451
実地演習	〈清 水 長 正〉	452
日本地誌	〈橋 詰 直 道〉	453
外国地誌 特講	〈梅 原 弘 光〉	453
アジア地誌	〈前期：佐藤哲夫、後期：高橋健太郎〉	454
アメリカ地誌	〈仁 平 尊 明〉	455
ヨーロッパ地誌	〈桜 井 明 久〉	455
経済地理学	〈兼 子 純〉	456
産業地域論	〈八 久 保 厚 志〉	456
地形学	〈小 池 一 之〉	457
地形学実習	〈清 水 長 正〉	458
社会地理学	〈宮 口 侗 勉〉	458
外書講読	〈佐 藤 哲 夫〉	459
気候学実習	〈中 村 和 郎〉	459
気候学実習	〈中 村 和 郎〉	460
水文学実習	〈長 沼 信 夫〉	460
水文学実習	〈長 沼 信 夫〉	461
人口地理学	〈江 崎 雄 治〉	462
歴史地理学実習	〈小 田 匡 保〉	462
地球物理学	〈柳 田 誠〉	463

土	壤	地	理	学	〈漆	原	和	子〉	463		
生	物	地	理	学	〈清	水	善	和〉	464		
計	量	地	理	学	実	習	土	谷	敏	治	465
測		地	理	学	学	習	土	谷	敏	治	465
第		地	理	学	学	習	土	谷	敏	治	465
一		地	理	学	学	習	土	谷	敏	治	465
現	代	地	理	学	特	論	〈	休	講	〉	466
地	理	学	特	講	I	〈	橋	詰	直	道	467
地	理	学	特	講	II	〈	長	沼	信	夫	467
地	理	学	特	講	III	〈	澤	渡	貞	男	468
地	理	学	特	講	IV	〈	山	縣	毅	469	
地	理	学	特	講	V	〈	平	井	史	生	469

地

理

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自然地理学概論	こ い け か ず ゆ き 小 池 一 之	地文・環境1必(地文・環境1年)	4

講義のねらい

周囲を海に囲まれ山がちな日本列島の自然は変化に富んでいる。この講義は地理学科に入学したばかりの学生に対して、日本列島の成立と多様な自然環境について解説するものである。

講義の内容・
授業スケジュール

まず、自然地理学の基礎的概念を説明し、次いで、日本列島を特徴付ける代表的な自然についてふれていく。同時に、関連する世界各地の自然も紹介する。時に最先端の研究成果や地形変化事変（各種の災害など）にも言及する。

年間の授業スケジュールの概要は次の通りである：

(前期)

自然地理学の基礎的概念 地球の歴史と第四紀

第四紀の気候変化と海面変化

(後期)

地震と関連する諸問題 火山の恵みと災害

人間活動と自然環境の変化 地球温暖化にまつわる諸問題

履修上の留意点

地理学の中ではかなり理学的（地球科学の1分野でもある）な色彩の強い学問分野である。高校時代に地学を履修していない学生にも理解できるよう出来るだけ基礎的概念から説明する予定である。

成績評価の方法

基本的には、学年末試験の成績で評価するが、出席点や時に応じて与える課題の提出状況などを、最大5割ほどまで加味する。

教科書

特に指定しない。授業中に重要な本（新書版など）を紹介し、読書メモの提出を求め、成績評価の一部とする。

参考書等

日本第四紀学会（編）（1987）『百年・千年・万年後の日本の自然と人類』（古今書院）2,200円＋税

小池一之ほか訳（1983-1984）『一般地質学 1, 2, 3』（東京大学出版会）各巻 3,400円＋税

その他

授業は講義形式でプリント類を配布するとともにスライド、ビデオなどを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学概論	佐藤 哲夫	地文1必(地文・環境2年)	4

講義のねらい

この授業は、地域文化を研究するために知っておかなければならない人文地理学の専門領域全般について解説した入門的講義です。高校の地理を復習しながら、地域文化を担う人々の暮らしを理解するために必要な地理学的な知識や、地域の見方を身につけることが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

授業では以下の各項目について、教科書を参照しながら1~2回で解説します。ただし教科書の順番どおりに学習するわけではありません。地域調査を念頭において、とくに日常生活の場に焦点をあてて講義を進めます。教科書で説明が不足している部分は、配布資料で補います。

1. 生活様式と地図：地理学の研究方法に特徴的な地域スケールと地図について説明します。
2. 人口の地域構造：日本の人口分布と構成の変化を、人口動態と人口移動から説明します。
3. 都市景観の形成：日本における都市の発達と形態について説明します。
4. 都市の内部構造：現代の都市内部における地域分化について説明します。
5. 商業地区の類型：商業施設の立地と、商業地区の機能・形態について説明します。
6. 都市住民の行動：都市に住む人々の生活圏について、消費者行動を例にして説明します。
7. 交通体系と地域：交通施設と集落や都市の立地・相互関係について説明します。
8. 工業地区の性格：工業の立地と集中、地域社会との関わりについて説明します。
9. 都市の立地理論：社会の構造と都市の機能、都市システムについて説明します。
10. 農村空間の構成：日本における村落の立地条件と土地利用について説明します。
11. 畑作農村の変化：畑作農村のとらえかたについて、産地形成の観点から説明します。
12. 稲作農村の現状：稲作農村の現状について、日本農業の変化に注目して説明します。
13. 漁場と漁業集落：漁村や水産都市の特徴を、漁場利用という観点から説明します。
14. 文化と地域計画：地域文化の創生に焦点をあてながら、地域計画について説明します。

成績評価の方法

成績は前期末および学年末試験(50%)と出席(20%)、夏休みの課題(30%)で評価します。

教科書

浮田典良『人文地理学総論』(朝倉書店)(総観地理学講座9.)

地
理

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学概論	桜井 明久	環境1必(環境・地文2年)	4

講義のねらい

専門としての人文地理学のオリエンテーションである。講義全体を通じて、人文地理学とは何か、その方法上の特色はどこにあるかを考える。

講義の内容・授業スケジュール

前期には、「地図」で考えるという意味について考察し、ついで専門ともっとも関係の深い、人文地理学における環境研究と、重要な調査法の基礎である野外観察についても概説したい。後期には、具体的な研究を例として挙げながら、分布、地域、地域分化、地域構造などについて考え、人文地理学の各研究分野のおおよそを紹介し、人文地理学を深く学ぶための助けとなるよう、情報を提供したい。

履修上の留意点

授業の最後に、または教科書のある部分を読んだ後に、疑問や質問をミニ教場レポートという形で書いてもらい、次時にはその疑問や質問を取り上げて考察を深めたい。授業に積極的に参加するよう望みたい。

成績評価の方法

出席とミニレポート30点、ミニレポート(読書レポートなど3回ないし4回)20点、夏休みレポート20点、試験30点といったバランスで評価したい。

教科書

『地理学講座1 地理学への招待』(古今書院)2,500円

参考書等

適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
自然地理学実習(地図学実習含む)(後期)	たなか やすし 田 中 靖	地文1必(地文・環境2年)	1

講義のねらい

自然地理学の学習・研究に必要な基礎的な技術と考え方を習得する。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 天気図の作成
2. 基礎統計
3. 地形図の読図、地形計測
4. グラフの作成
5. レポートの作成

履修上の留意点

必ず出席し、課題は期限を守って提出すること。

成績評価の方法

課題・レポートの質と出席状況、参加態度で判断する。

教科書

適宜紹介する。

参考書等

適宜紹介する。

その他

定規や色鉛筆、地形図等を購入する必要がある。適宜指示する。E-mail アドレスを取得しておくこと。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
自然地理学実習(地図学実習含む)(後期)	たかぎ まさひろ 高 木 正 博	地文1必(地文・環境2年)	1

講義のねらい

自然地理学を学ぶためには、地形図読図や空中写真判読などの基本的な作業が必要である。本講義は、これらの作業をとおして基礎的な技術の修得を目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

次の内容を予定しているが、進捗状況に応じて変更することがある。

- 1) 地形図の読図（等高線の形状から地形特性や地形断面などを読む）
- 2) 起伏量図、水系図など主題図の作成（地形図の読解、製図）
- 3) 空中写真の実体視・判読による土地利用図の作成（空中写真と地形図を対照して地域の変容を調べる。現地調査を求める。）
- 4) 資料や調査結果を図・表に表現する方法（統計資料の図表転換作業）

履修上の留意点

地形図の読図は地道な作業であるが、地域調査の基礎であり、課題に取り組む積極的な姿勢を求める。成果は期日内に提出できるよう努力すること。

成績評価の方法

提出物（図面とレポート）の内容、毎回の作業進捗状況、出席回数などを点数化し総合的に評価する。

教科書

各課題毎にプリントを配布して説明する。特定の教科書はない。

参考書等

必要に応じて紹介する。

その他

30cm 程度の定規、図面保護筒は必需品である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然地理学実習(地図学実習含む)(後期)	はや 船 元 峰 早 船 元 峰	地文1必(地文・環境2年)	1

講義のねらい

地理学を修める上に必要な自然関係の基礎的作業を中心に行う。

講義の内容・授業スケジュール

- 2.5万分の1あるいは5万分の1地形図を用いた主題図の作成(切峰面図・起伏量図・带状平行投影地形断面図など)
- 試料の収集・分析・整理の方法(粒度分析など)
- 調査器材・器具の使用法
- 空中写真判読
- 地形断面図(実測)の作成

履修上の留意点

地形図や製図用具は各自用意してもらう。
出席をこころがけ、成果の提出期限を守ること。

成績評価の方法

出席状況・提出物の内容などにより評価する。

その他

実習に必要な資料は随時配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然地理学実習(地図学実習含む)(前期)	た 中 やすし 田 中 靖	環境1必(環境・地文2年)	1

講義のねらい

自然地理学の学習・研究に必要な基礎的な技術と考え方を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 天気図の作成
2. 基礎統計
3. 地形図の読図、地形計測
4. グラフの作成
5. レポートの作成

履修上の留意点

必ず出席し、課題は期限を守って提出すること。

成績評価の方法

課題・レポートの質と出席状況、参加態度で判断する。

教科書

適宜紹介する。

参考書等

適宜紹介する。

その他

定規や色鉛筆、地形図等を購入する必要がある。適宜指示する。E-mail アドレスを取得しておくこと。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
自然地理学実習(地図学実習含む)(前期)	なかむら かずお 中 村 和 郎	環境1必(環境・地文2年)	1

講義のねらい

地理学の学習・研究に必要な基礎的な技術、とくに地図を作成するスキルの習得を目標とし、あわせて、地形図の作業などを通して自然地理学の基本的な知識ならびに研究方法の基礎を学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

1. キャンパスの中の自然地理
2. 地図の作成
直線や曲線の種類、各種の記号・色・文字などの意味を正しく理解した上で、製図ペンを使って地図を描く技術を身につける。
3. 地形図の作業などを通して地域の特性を読み取って、オリジナルマップを作成する。

履修上の留意点

地理学は教科書の勉強だけでは本当の理解が得られない。実習の時間は、自分から進んで手足を動かして、地理学的なものを見方考え方を習得するように心がけること。

成績評価の方法

出席状況と、平常の取り組み方、および提出物によって評価する。理由のない遅刻と欠席はきびしく注意する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
自然地理学実習(地図学実習含む)(前期)	ながぬま のぶお 長 沼 信 夫	環境1必(環境・地文2年)	1

講義のねらい

この実習は自然地理学的立場から、専門領域を深めるために必要な基礎的諸作業を修得する目的で実施する。この実習を通して種々の資料蒐集・整理、その結果から図表の表現化、作成した図表の読み方などを行う。さらに野外調査の際に必要な技術的作業の方法についても実習する予定である。

講義の内容・
授業スケジュール

- 実習内容としては、次のような作業を予定している。
- 1) 地形図の読図、地形図を用いて地形計測(水系分布図、起伏量図などの作成)
 - 2) 海図の読図、海図を用いて海底地形や底質の分布図作成
 - 3) 地質図の読図、描き方、地層の厚さの求め方
 - 4) 各種の統計・調査資料の検討とその整理方法
 - 5) 簡易測量(高さ・距離などの測定、平板測量)

地
理

履修上の留意点

地形図や図版作成のために必要な器具などを用意してもらうことになるが、これらは実習の時間に適時指示する。

成績評価の方法

出席を重視し、定期的に提出する図版やレポートなどを基に総合的に評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

谷岡武雄ほか著『新訂 地理実習』(大明堂)2,520円

その他

実習に必要な資料は随時配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
人文地理学実習(地図学実習含む)(前期)	はし づめ なお みち 橋 詰 直 道	地文1必(地文・環境2年)	1

講義のねらい

人文地理的諸現象を調査・分析し、レポートにまとめるための基礎的手法を学習する。

講義の内容・授業スケジュール

①②地理学文献の検索方法、地図・空中写真・地理データの入手方法、③④地理情報の判読(地形図判読、空中写真判読)、⑤⑥地理データの処理(パソコンを用いたグラフ化)、⑦⑧地理データの分析手法(基礎統計分析手法)、⑨⑩調査課題の設定(地理的課題と地域の設定)、⑪⑫現地調査の方法(フィールドノートのとり方、アンケート調査用紙の作成)、⑬⑭調査レポート(プレゼンテーション・文献レビュー)
授業の多くは総合情報センターのパソコン教室を使用する。

履修上の留意点

必修科目であり、毎週新たな課題が出されるので、特に課題への積極的な取り組みが必要である。もちろん、出席(遅刻をしないこと)状況や授業への参加態度も重視する。課題レポートはパソコン使用。課題の提出期限を厳守すること。

成績評価の方法

期間中に出される課題・レポートなどの成果品、授業への出席(一定基準以上)や授業への参加状況などを総合的に評価する。

教 科 書

とくに定めない。なお、毎時間の課題についてはプリントを配布する。

そ の 他

総合情報センター利用登録を4月中に済ませておくこと。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
人文地理学実習(地図学実習含む)(前期)	さ とう てつ お 佐 藤 哲 夫	地文1必(地文・環境2年)	1

講義のねらい

この実習では、パソコンを用いて人文地理学のレポートが作成できるようになることを目標にします。図表やレポートの体裁、統計分析や地図作成などの基礎的技術について学びます。

講義の内容・授業スケジュール

以下の予定を基本にしますが、受講者の理解度を見て内容を調整しながら進めます。

1. 地図のトレース：地図の特徴と編集・作図作業
2. 写真レポート：写真の撮影と利用
3. 地形図の計測：長さ、面積の計測作業
4. 文献情報の検索：インターネットによる文献の検索
5. 論文要旨の作成：ワープロによるレジュメ作成
6. パソコンで作図：作図ソフトによる主題図作成
7. 統計情報の整理：地理統計と表計算ソフトの利用
8. 基本的統計処理：平均と標準偏差、特化係数の計算
9. 統計のグラフ化：表計算ソフトによるグラフの作成
10. 回帰分析と予測：表計算ソフトによる回帰分析

履修上の留意点

毎回課題を出します。授業時間内に終わらなかった課題は、持ち帰って仕上げてもらいます。自宅でウィンドウズPCを利用できない場合は、大学の自習室を利用してください。パソコンやソフトの操作法についてはあまり時間をかけずに、作業の意味や原理について説明します。従って、すでにパソコンの操作に習熟している人は、進んで初心者の方の友人の手助けをしてください。わからなくなったら、いつでも誰にでも遠慮なく質問してください。

成績評価の方法

課題の提出状況で評価します。出席も取りますが、これは受講者の進度を把握するためのものです。課題提出の最終的な締め切りは7月16日で、遅れた場合は不可になります。

教 科 書

教材と作業課題は授業時間に配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学実習(地図学実習含む)(前期)	小田 匡保	地文1必(地文・環境2年)	1

講義のねらい

この科目では、人文地理学の研究調査に必要な資料について学習し、さらに基本的な図表の作成ができるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

1. 雑誌・参考図書紹介
2. 地形図の説明
3. 主題図の作成
4. 情報検索
5. 統計資料の加工(表・グラフ作成)

履修上の留意点

毎回課題を出すので、出席はもちろんのこと、課題を遅れずに提出すること。ただし、不十分な内容の場合は再提出を求める。後半の授業は総合情報センターを利用するので、利用者IDを手元に用意しておくこと。総合情報センター主催のワープロ・表計算ソフト講習会に参加したり、コンピュータ基礎科目を履修するなどして、パソコンの基本的な使い方に慣れておくこと。

成績評価の方法

成績評価は、出席状況、課題の提出状況(遅れずに提出したかどうか)によって行なう。提出された課題のできればえも勘案する。ただし、提出されない課題がある場合は、単位認定は保証できない。

教科書

担当教員作成のプリントを配布する。

参考書等

授業中に紹介する。

その他

定規・地形図などを用意する必要がある。詳細は、授業時に随時指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学実習(地図学実習含む)(後期)	桜井 明久	環境1必(環境・地文2年)	1

講義のねらい

人文地理学の研究・調査のための基礎的な方法を学ぶための実習である。

講義の内容・授業スケジュール

地形図の利用、土地利用図の作成、分布図の作成、統計資料の収集、統計図表の作成、統計地図の作製、統計手法の利用、表計算ソフトの利用、データベースの意味と利用などについて実習する。

履修上の留意点

実習であるから、授業に出席し、ともに作業をすることが前提である。なお、事前に準備すべきものは前もって伝える。欠席した場合は、次の授業で準備すべきものを、出席した同級生に聞くなどして確認しておくこと。

成績評価の方法

授業で制作、作成する作品・レポートとその提出状況で評価される。

その他

様々な地域の地形図、色鉛筆、定規などを準備する必要がある。詳細は授業開始時に指示する予定。

地
理

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
人文地理学実習(地図学実習含む)(後期)	高橋 健太郎 <small>たか はし けんたろう</small>	環境1必(環境・地文2年)	1

講義のねらい

人文地理学の調査・研究手法の基礎を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

(1)文献資料の検索・利用、(2)ワープロ・ソフトの利用、(3)統計資料の収集・利用、(4)表計算ソフトの利用、(5)地図の作成、(6)地理的写真の撮影、(7)空中写真の判読。

履修上の留意点

実習授業のため、大人数が受講する講義とは性格が異なるということに、まず注意する必要がある。毎回出席し、授業および課題の目的と内容をきちんと理解し、地道な作業を積み重ねていくことが重要となる。また、課題の提出期限を厳守のこと。

成績評価の方法

出席状況と提出物の内容で評価する。

教 科 書

特に指定しない。授業中にプリントを配布する。

参 考 書 等

授業中に適宜紹介する。

そ の 他

実習授業のため、作業に必要な用具等は各自で購入してもらうものもある。これらは授業中に随時指示する。また、学内のPCを利用する際に必要なIDとパスワードを各自できちんと管理し、初回の授業から総合情報センターのPCにログインできるようにしておくこと。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学実習(地図学実習含む)(後期)	つち 土 谷 敏 治	環境1必(環境・地文2年)	1

講義のねらい

人文地理学の調査・分析に必要な資料の収集・整理方法、統計的分析方法、製図技術を身につけることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

9～11月上旬：コンピュータを用いて、レポートの作成方法、文献検索方法、統計データの処理・グラフ化を行う。

11月中旬～12月：資料の整理、図表・地図の作成の実習を行うとともに、分析・考察能力を身につける。

主な実習項目は、次のとおりである。

1. ワードプロソフトによる文書作成：レポート、論文の作成に備えて、作文能力を高め、ワードプロソフトを使いこなせるようにする。
2. 文献の検索と読解：文献検索能力を身につけるとともに、地理学に関する文献を読んで、書評を書くことにより、読解力を身につける。
3. 作表実習：表計算ソフトにより、作表技術を身につける。
4. 統計分析：表計算ソフトを使用して、統計データの集計、分析、グラフ作成の実習を行う。
5. 地図作成：統計データを地図表現する能力を身につける。

履修上の留意点

毎回必ず出席し、授業で説明を聞いた上で、各課題について実習する。上記のスケジュールにしたがって課題を与えるので、その結果の図・表と分析・考察を必ず提出する。コンピュータを使用するので、総合情報センターの利用者登録をしておく必要がある。コンピュータ使用の経験者・未経験者を問わず、基礎から使用方法を学習することを原則とするので、未経験者もとくに心配する必要はない。ただし、経験者ならびに希望者は総合情報センターの設備のみでなく、地理学科の地理分析用コンピュータやソフトウェアを使用して、さらに高度な分析方法を学習することも可能である。

成績評価の方法

すべての提出物を点数化して評価する。提出物の図・表と分析・考察は1:1の比重とする。書評、地図の作製は、多くの時間を必要とすることから、他の課題の2倍の比重で評価する。また、実習としての授業の性格上出席を重んじ、出席率が7割に達しない者は単位を認定しない。

教科書

とくに指定しない。

参考書等

地理学の基礎的な調査・研究方法を学ぶ上で、たとえば次のような文献が参考となろう。
 浮田典良編『ジオ・パル21 地理学便利帖』(海青社)
 中村和郎・高橋伸夫編『地理学講座1 地理学への招待』(古今書院)
 菅野峰明・安仁屋政武・高阪宏行著『地理学講座2 地理的情報の分析手法』(古今書院)
 高橋伸夫・溝尾良隆編『地理学講座3 実践と応用』(古今書院)

科目名	担当者名	配当学科	単位
地域文化研究概説	土谷 敏治・小田 匡保 佐藤 哲夫・高橋健太郎 橋詰 直道	地文2必	4

講義のねらい

地理学の視点から地域の文化と社会をとらえる方法を学ぶことを主なねらいとする。地域に暮らす人々の生活や行動に隠されているパターンすなわち地域文化が、地域の風土や歴史、社会のしくみによって、どのように生み出されてきたのか考えてみる。

講義の内容・授業スケジュール

地域文化を研究するための地理学的方法について、5人の教員がそれぞれの視点から講義を行う。統一的なテーマとして「地域文化へのアプローチ」を意図している。各教員の講義のテーマとして、次のものを予定している。

1. アジアの地域文化を研究する
2. 地域を見る目
3. 歴史と文化と都市
4. 文化地理学いろいろ
5. 民族文化を考える
6. 風土と日本人

履修上の留意点

次のスケジュールで、1人の教員が4回ずつ担当する予定である。毎回テーマが変わるので、必ず出席すること。

- 4月13日～5月18日 橋詰直道
5月25日～6月15日 土谷敏治
6月22日～7月13日 小田匡保
9月21日～10月19日 佐藤哲夫
10月26日～12月7日 高橋健太郎
12月14日 全員

成績評価の方法

定期試験は行わず、評価はレポートおよび小テストに出席状況を考慮して行う。各担当者が採点し、その結果を総合して評価する。

参考書等

- 和辻哲郎『風土—人間学的考察—』（岩波文庫）
祖父江孝男『県民性—文化人類学的考察—』（中公新書）
市川健夫『ブナ帯と日本人』（講談社現代新書）
佐々木高明『照葉樹林文化の道』（NHK ブックス）
石川徹也『日本の自然保護』（平凡社新書）
渋谷昌三『人と人との快適距離』（NHK ブックス）
三谷康之『イギリス観察学入門』（丸善ライブラリー）
浮田典良『スイスの風景 スイスに関する80章』（ナカニシヤ出版）
早川東三・工藤幹巳『ドイツを知るための60章』（明石書店）
浜本隆志・高橋 憲『現代ドイツを知るための55章』（明石書店）
大西健夫編『ドイツの政治—連邦制国家の構造と機能—』（早稲田大学出版部）
雪山伸一『ドイツ統一』（朝日新聞社）
平井 正『ベルリン 歴史の道』（光人社）
鈴木秀夫・久保幸夫『日本の食生活』（朝倉書店）
山村順次『新観光地理学』（大明堂）
杉浦芳夫『文学・人・地域—越境する地理学』（古今書院）
徳川宗賢『日本の方言地図』（中公新書）
平山輝男『日本の方言』（講談社現代新書）
『地球の歩き方』編集室編『地球の歩き方 タイ』（ダイヤモンド社）
綾部恒雄・林行夫編著『タイを知るための60章』（明石書店）
堀淳一『アジアの地図 いまむかし』（スリーエーネットワーク）
長澤良太『リモートセンシングによる土地資源評価』（古今書院）
河辺宏編『発展途上国の都市システム』（アジア経済研究所）〔研究双書367〕
藤原健蔵編『地域研究法』（朝倉書店）〔総観地理学講座2〕
高橋伸夫ほか『文化地理学入門』（東洋書林）
佐々木信彰編『現代中国の民族と経済』（世界思想社）
可児弘明ほか編『民族で読む中国』（朝日新聞社）
松村嘉久『中国・民族の政治地理』（晃洋書房）
山下清海『東南アジア華人社会と中国僑郷』（古今書院）

科目名	担当者名	配当学科	単位
地域環境研究概説	高木 正博・佐藤 哲夫 田中 靖・長沼 信夫 早船 元峰	環境2必	4

講義のねらい

地理学の視点から環境をとらえることを主なねらいとする。地球環境から地域環境まで、個々の地域に特有な人間活動と環境とのかかわりにも注目し、さまざまな環境形成要因を考える。

講義の内容・授業スケジュール

5人の教員により視点を変えて環境の諸問題について学ぶ。意図するテーマは、「地域環境を読む」である。年間の授業スケジュールは次のとおり予定している。

1. 第四紀気候変動と最近の気候変化【4月13日～5月18日 田中 靖】
第四紀という時代／酸素同位体ステージ、ミランコビッチサイクル／第四紀海面変化／IPCC レポート／都市のヒートアイランド現象
2. 都市の環境とまちづくり【5月25日～6月8日 佐藤哲夫】
安全なまちづくり－地域環境と建築物－／快適なまちづくり－地域環境と都市計画－
3. 扇状地における自然と人間のかかわりあい【6月15日～7月13日 早船元峰】
扇状地とは－黒部川扇状地、大間々扇状地を事例地域として－／地形発達史／土地利用と水利用／集落の立地
4. 都市域の環境を水循環の視点から考える【9月21日～10月19日 高木正博】
都市の水収支／都市の河川／都市における新たな水災害／都市に自然を／都市の水循環を回復させるには
5. 地理学における地域環境研究【10月26日～12月14日 長沼信夫】
土地環境の在り方／地域の環境変化－夕張市、高山市など－／地域環境を南西諸島で考える－自然環境、産業と生活環境－

成績評価の方法

定期試験は行わず、評価はレポートおよび小テストに出席状況を考慮して行う。出題・採点は各担当者が行い、その結果を総合して評価する。
レポートによる評価：田中・佐藤・早船・高木、小テストによる評価：長沼。

参考書等

シリーズ『自然景観の読み方』全12冊（岩波書店）
シリーズ『自然環境とのつきあい方』全7冊（岩波書店）
山田安彦編著『総合 地域の科学－水と地域のかかわり合い－』（古今書院）
IPCC編『IPCC 地球温暖化第三次レポート－気候変化2001－』（中央法規）
まちづくり読本4『環境とまちづくり』（風土社）
高見沢 実『初学者のための都市工学入門』（鹿島出版会）
都市環境学シリーズ2『都市の水文環境』（共立出版）

地
理

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 域 概 論	ふじなが 藤 永 豪	地文・環境2・3・4選必	4

講義のねらい

日常生活の中で用いる、あるいは用いられる「地域」とはそもそもどのような概念であるのか。また、その実体はいかにして把握することができるのか。本講義ではこの「地域」の本質を理解するための地理学的な視点や概念、方法論について紹介し、学生の皆さんが自分なりの「地域の見方」を習得することを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 本講義は次のような基本テーマをもとに進めていきます。
- ①地理学の中で扱われる「地域」(地域性・地域差とは何?)
 - ②「地域」の概念
 - ③さまざまな地域分類
 - ④地域構造
 - ⑤「地域」と「景観」(景観からみた空間的まとまり)
 - ⑥風景というまなざし
 - ⑦頭の中の地域(イメージと認識)
 - ⑧地域科学としての地理学

履修上の留意点

毎回、講義内容に関する簡単なエッセイを書いてもらいます。場合によっては、読図や文章要約なども組み入れます。これを出席票の代わりとします。

成績評価の方法

試験と出席状況を5:5の割合で総合評価します。ただし、講義に支障をきたすような授業態度については評価上のペナルティを課しますので注意して下さい。

教 科 書

特に指定はしません。毎回、資料を配布します。

参 考 書 等

講義の中で随時紹介します。

そ の 他

授業の方法 - 講義形式

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理思想史	よしだとしひろ 吉田敏弘	地文・環境2・3・4選必	4

講義のねらい

担当者は、地理思想史という分野を、場所や地域、景観、世界（宇宙）などの生活空間に関する知識や認識をめぐる社会思想史と捉えている。したがって地理思想史研究の実践においては、古今東西のさまざまな社会における地理思想の特質を明らかにするとともに、それらの時代的・地域的な比較を通じて、普遍性や類型的把握を試みることも重要な課題となる。

本講義における主たる着眼点は、「生活空間、生活世界の図的表現」である。人類は太古以来、世界や地域、場所に関する知識をグラフィックに表現してきた。いわゆる「地図」はそのひとつのジャンルであるが、それ以外にもさまざまな絵画的表現や抽象化された模式図的表現があり、これらもまた地理思想史の対象となる。これらの図は、それぞれの社会における地理思想の一端を示す重要な資料であるが、従来の地図史や風景画史の知見に依存するのみでなく、新たな問題設定と分析方法の導入によって、地理思想史独自の知見を構築したい。また、もう一つの着眼点を「日本と西洋の出会い」におき、戦国時代以来の東西の地理思想の衝突と融和、そして近代以後における西洋の地理思想・アカデミズム地理学の導入に関する諸問題にも論及したい。

講義の内容・授業スケジュール

配布資料・Powerpointを用いて、講述方式で講義をすすめる。まず、地理思想史研究の全体的な枠組みに関して講述したのち、前期では、絵画における「遠近法」をキーワードとして、古今東西の景観表現を比較検討し、絵画と地図との関係を考察する。後期では、「地図の記号学」をキーワードとして、さまざまな古地図を事例に、そこに表現されたメッセージの読解を試み、宇宙や世界、国家や地域などの多様なイメージの形成と普及、革新について考察する。

履修上の留意点

講義時にさまざまな問いかけを行うので、つねに自ら考え、これに積極的に応えてゆくことが望まれる。

成績評価の方法

年度末レポートにより採点する。

教科書

特に指定しないが、随時指示する文献を読んでゆくことが望ましい。

参考書等

京都大学文学部地理学教室編『地理の思想』（地人書房）
織田武雄『地図の歴史』（講談社）
織田武雄『古地図の世界』（講談社）
葛川絵図研究会『絵図のコスモロジー』上・下（地人書房）
小山・下坂・吉田編『中世荘園絵図大成』（河出書房新社）
水津一朗『近代地理学の開拓者たち』（地人書房）
野沢秀樹『フランス地理学の群像』（地人書房）

地
理

科目名	担当者名	配当学科	単位
地図学	中村和郎 <small>なかむらかずお</small>	地文・環境2・3・4選必	4

講義のねらい

「地図は地理学の言語である」とも、「地図を読み書きできる」ことは「読み・書き・そろばん」と同等の第4のインテリジェンスである」ともいわれる。『できる人は地図思考』という本まである。その割には従来の地図学の教科書は、測量法、投影法、地形図の読図などだけに重点が置かれていた。身のまわりには道案内図、地下鉄路線図、鳥瞰図、ハザードマップなど各種の地図がある。いろいろな一般地図と主題地図が作られてきた歴史と、地図なしにはできなかった研究をふりかえって、地図とは何なのかをお互いに考えてみたいと思う。

講義の内容・授業スケジュール

前期：無文字社会の地図からコンピュータ時代の地図まで、いろいろな種類の地図、地図会社で働く人々
 後期：位置を示す地図、有無を示す地図、地図の重ね合わせ、時間を示す地図、頭の中の地図、地域構造を示す地図、など

履修上の留意点

OHP などを使って講義をすることが多い。講義を聴きっぱなしにするのではなく、参考書を読み、自ら進んで学んでほしい。学校地図帳などを活用してほしい。

成績評価の方法

①講義の中で頻繁に小さな作業を課し提出を求める。②夏休みの課題：日本全国の主題地図の作成とそれに基づくレポート作成。③年度末の試験。

参考書等

N. J. W. スローワー 日本国際地図学会誌『地図と文明』（表現研究所）2003
 中村和郎・高橋伸夫編『地理学講座1・地理学への招待』（古今書院）1988
 ロビンソン・セール・モリソン 永井信夫訳『地図学の基礎』（帝国書院）1984

科目名	担当者名	配当学科	単位
村落地理学	前期：高橋健太郎 <small>たかきけんたろう</small>	地文2・3・4選必	4
	後期：佐藤哲夫 <small>さとうてつお</small>	環境2・3・4選	

地理

講義のねらい

この講義では、村落の形態・構造・機能に焦点をあてて、日本とアジアの農村を比較しながら、その特徴について学びます。

講義の内容・授業スケジュール

前期は高橋が担当します。農村のとらえ方について講義した後、まず日本の農村の立地と変容について、近郊村、沿海村、中山間村など、特色ある農村をとりあげて、5回ほどで紹介します。その後、中国の経済開放と農村の変容について、地域間格差、貧困問題、環境問題などのテーマをとりあげて、5回ほどで紹介します。

後期は佐藤が担当します。日本を含むアジアの農村社会の変化について、稲作のあり方を通して考えます。下の内容について、各2~3回で講義します。

1. 稲作研究の枠組み
2. 日本の農村
3. 東南アジアの農村
4. 南アジアの農村
5. 稲作農村の発展

成績評価の方法

前期50%、後期50%のウエイトで評価します。前期は期末の最後の授業時間に試験を行い、それに出席を加味して採点します。後期は毎回の出席（20%）と学年末のレポート（30%）で採点します。

教科書

前期については、授業の中で適宜指示します。後期については、資料を授業時間に配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
都市地理学	はしづめ なおみち 橋 詰 直 道	地文2・3・4選必 環境2・3・4選	4

講義のねらい

モノ・ヒト・情報の交換や文化の創造空間として変化しつづけている現代都市のシステムやその機能及び都市の抱える諸問題をさぐる。

講義の内容・
授業スケジュール

年間の講義内容は、次の項目を予定している。①②都市の概念(都市とは・都市研究とは)、③④都市システム(中心地理論・日本の都市システム)、⑤⑥都市機能の分類(アメリカと日本での研究)、⑦⑧都市の内部構造(古典的モデル・因子生態モデル)、⑨⑩都心機能(都心機能の分化・都心の再開発)、⑪⑫都市化と大都市圏(郊外化・スプロール問題)、⑬⑭都市の居住空間(セグリゲーション・ジェントリフィケーション)、⑮～⑰郊外の居住空間(郊外住宅地・郊外の生活)、⑱～⑳都市住民の行動(生活時間と生活行動)、㉑～㉓都市空間の認知(メンタルマップ・居住地選好)、㉔㉕都市環境の整備(都市計画・緑地計画)、㉖まとめ(テスト) これらの項目について最近の都市地理学の研究成果を中心に概説する。

履修上の留意点

毎時間の出席や授業への参加状況も重視する。

成績評価の方法

中間試験(7月最終授業日)及び学年末試験の両方を受験し、かつ授業への出席日数と試験(課題を含む)の成績が基準以上であるかどうかなどを総合的に評価する。

教科書

特に定めない。

参考書等

高橋伸夫・菅野峰明・村山祐司・伊藤 悟『新しい都市地理学』(東洋書林)2,500円
石水照雄編『都市空間のシステム』(古今書院)3,605円
森川 洋『日本の都市化と都市システム』(大明堂)3,800円
荒井良雄・川口太郎・岡本耕平・神谷浩夫訳『生活の空間都市の時間』(古今書院)3,000円
荒井良雄・岡本耕平・神谷浩夫・川口太郎『生活の空間と時間』(古今書院)3,090円
若林芳樹・神谷浩夫ほか編著『シングル女性の都市空間』(大明堂)2,800円
その他の参考書や論文は授業でテーマごとに紹介する。

その他

講義は、配布プリント及びOHP、PC画像を中心に行い、課題や小テストも実施したい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
交 通 地 理 学	つち にな とし はる 土 谷 敏 治	地文2・3・4選必	4
		環境2・3・4選	

講義のねらい

現代社会において、1地域は人・物資・情報をはじめとする各種の相互作用によって他の地域と密接に結びついており、相互に依存し合っているといえよう。本講義では、(1)これらの地域間の結びつきによって形成される都市システム構造とその分析方法を解説すること、(2)現在の交通システムの特徴とその問題点を明らかにし、今後の交通政策に求められることを考えること、の2点をねらいとしている。

講義の内容・授業スケジュール

前期はこれまでの地理学の研究成果を中心に、後期は具体的な事例を中心に次のような内容を予定しているが、講義担当者も少しは勉強していきたいと考えているので、その成果によっては多少の変更が生じるかもしれない。

1. 交通と都市システム
2. 交通ネットワーク
3. 交通とアクセシビリティ
4. 都市圏内部における公共交通の現状と課題
5. 鉄道交通の現状と問題点
6. 航空交通の特徴と都市間結合関係

履修上の留意点

多少の数字・数式等を用いて講義を進めるので、了解しておくこと。ただし、その内容は中学校程度のものであり、数学の専門的知識はとくに必要としない。

成績評価の方法

前期最終回（7月）の中間試験と、1月の定期試験時の2回の試験を実施する。2回の試験は、それぞれ100点満点で採点し、その合計点で成績を評価する。

教科書

とくに指定しない。

参考書等

井田仁康『航空旅客流動と空港後背地』（大明堂）
 奥井正俊『自動車交通の地域分析』（大明堂）
 奥野隆史『交通と地域』（大明堂）
 奥野隆史『計量地理学の基礎』（大明堂）

その他

後期は、具体的な事例を示すため、スライド・ビデオを使用する。

地
理

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文 化 地 理 学	お だ まさ やす 小 田 匡 保	地文2・3・4選必	4
		環境2・3・4選	

講義のねらい

文化地理学の内容は幅広いが、特に宗教地理学の代表的な研究テーマについて研究例に基づき述べる。

講義の内容・授業スケジュール

1. 文化地理学とその概要
2. 宗教地理学
3. 宗教分布
4. 信仰圏
5. 宗教集落・宗教都市
6. 巡礼・社寺参詣
7. 墓地

成績評価の方法

成績評価は、出席状況、レポート、試験によって行なう。レポートの提出は必須で、レポートが受理されない場合は、単位も認定されない。

教科書

使用しない。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
歴史地理学	小田 匡保	地文2・3・4選必 環境2・3・4選	4

講義のねらい

主に日本の歴史地理について講じる。研究事例の紹介よりも、教科書の概説を中心とする。前期は、特に近代以降の歴史地理学の資料について詳述し、後期は歴史時代の村落・都市について概観する。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 歴史地理学とその概要
2. 歴史地理学の資料
3. 村落
4. 都市

成績評価の方法

成績評価は、出席状況、レポート、試験によって行なう。レポートの提出は必須で、レポートが受理されない場合は、単位も認定されない。

教科書

使用しない。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
リモートセンシング	田中 靖	環境2・3・4選必 地文2・3・4選	4

講義のねらい

リモートセンシングとは、離れた所から非接触で対象物を同定あるいは計測し、その性質を分析する技術の総称である。このうち、主に空中写真の判読や衛星画像解析から、地理学的に意味のある空間データを抽出する研究は、リモートセンシング研究の最も重要な一分野として位置付けられている。そこで本科目では、デジタル化された空中写真画像や人口衛星画像データを用いて、画像解析の基礎を身に付けることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

1. リモートセンシング入門
2. 電磁波
3. 画像処理の基礎（コンピュータプログラム作成によるデータ処理）
4. リモートセンシングで用いられるデータ
5. 応用解析実習（植生指数の計算、地表面温度の推定、土地被覆分類）

履修上の留意点

地図の読図・作図作業およびコンピュータによるデータ処理が好きな学生に向いている。コンピュータや数学の現在の能力は問わないが、積み上げが大切な科目なので出席を重視する。

成績評価の方法

出席点と授業内で行なうテスト、および最終成果物で評価する。

教科書

田中邦一ほか著『フォトショップによる衛星画像解析の基礎』（古今書院）3,600円

参考書等

適宜紹介する。

その他

授業はPC教場での実習を中心に行う。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
環 境 地 理 学	はやぶねげんぼう 早 船 元 峰	環境2・3・4選必	4
		地文2・3・4選	

講義のねらい

自然の人間への影響、人間の自然へのはたらきかけについて、土地利用・災害などを通じ歴史的観点をふまえて論じる。

講義の内容・授業スケジュール

前半

・北海道美瑛町・富良野市の傾斜地（観光資源“丘”）における土地利用の変化と環境保全（土壌侵食防止など）について。

後半

・多摩川上流域の山腹斜面における日本古来の伝統農法と環境保全について。
・ピオトープ・環境基本計画について。

成績評価の方法

課題（主題図の作成）・レポート・出席状況などによる平常点。

参 考 書 等

永見山幸夫・岡本次郎編著『土地利用変化とその問題』（大明堂）
脇田武光・石原照敏編『観光開発と地域振興』（古今書院）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
計 量 地 理 学	つちたにとしはる 土 谷 敏 治	環境2・3・4選必	4
		地文2・3・4選	

講義のねらい

地理学の分析に必要な統計的方法・計量的方法を理解するとともに、それらの方法を用いて実際にデータを処理・分析し、さらにその結果を解釈する能力を養うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、下記の各項目について解説する。

1. 統計データの種類と特色
2. 統計データの集計
3. 基礎統計量
4. 代表的な度数分布の型
5. データの検定
6. 相関・回帰分析
7. 多変量解析

後期は、前期に学習した分析方法について、実際にデータを処理・分析・考察することによって、それぞれの方法の理解を深める。そのため、提示されたデータや受講者各自が収集したデータを分析・考察して、結果をレポートとして提出する。また、担当者を決めて分析結果の発表を行い、全員で討論する。なお、計量的分析にはコンピュータの使用が必要であり、総合情報センターと地理学科のコンピュータを使用する。

履修上の留意点

この授業は実習的側面ももっているため、毎回の出席と、後期においては課題の提出が重要である。なお、コンピュータを使った分析では、Microsoft WindowsとMicrosoft Excelをおもに使用するため、これらを使いこなせることが履修の条件である。ただし、これらの未経験者であっても、前期において「計量地理学実習」をあわせて履修する場合は、本講義を履修することができる。また、総合情報センターを使用するため、その利用者登録を行う必要がある。

成績評価の方法

前期：7月の最終回に試験を実施する。

後期：試験は行わず、提出されたレポート・発表内容・討論への参加状況を得点化する。成績評価は、前期試験の得点、後期のレポート・発表・討論の評価点に出席率を加味して行う。

教 科 書

とくに指定しない。

参 考 書 等

奥野隆史『計量地理学の基礎』（大明堂）
野上道男・杉浦芳夫『パソコンによる数理地理学演習』（古今書院）

そ の 他

教場の関係で受講生を制限することもあるので、4月第1回目の授業に必ず出席すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
応 用 地 理 学	たかぎまさひろ 高木正博	環境2・3・4選必 地文2・3・4選	4

講義のねらい

この科目は地理学と他の研究分野を視野に入れた学際的なテーマを考えている。講義では「河川」を対象とし、これの専門分野である河川工学や農業水理学などの成果をふまえて、地理学として河川をどのように扱うかを考える。河川は、河道だけでなく流域全体を捉えることが必要である。流域(地域)における自然的特性とその土地の人々とのかかわりあいを、水災害・水資源・河川環境などの視点から講ずる。

講義の内容・
授業スケジュール

まず、河川の流出に関する基本特性について水文学的に講ずる。つぎに、いくつかの具体的な河川を事例として、利水・災害・河川環境などの視点からそれぞれの河川特性を考える。また、都市の水環境など、川をめぐる現実的な課題について考える。年間の授業内容は下記の通り予定している。

1. 河川と関連学問分野
2. 河川流域の水収支
3. 日本の河川流況特性
4. 河成平野の地形分類と防災
5. 河道治水から流域治水へ
6. 水防の再構築
7. ダムと森林
8. 日本の水利用
9. 農業用水の利用と問題点
10. 渇水とは…
11. 水資源の有効利用
12. 農業用水を考える
13. 多摩川における水利権の変遷
14. 地域用水と環境用水
15. 河川環境など

履修上の留意点

講義が中心になるが、受講者にも意識を持ってもらうため、夏休み中に現地調査を伴う課題を提示する。

成績評価の方法

学年末試験と夏休みのレポートの他、授業中の課題など平常点も加算する。

教 科 書

授業時間にプリントを配布する。

参 考 書 等

配布プリントをとおし随時紹介する。

そ の 他

講義中心。事例紹介のためのスライドやOHP、ビデオも使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地域計画論	はら 原 あき 昭 お 夫	環境2・3・4選必	4
		地文2・3・4選	

講義のねらい

ドイツ語で Erdkunde (土地の技法) という地理学の領域では、土地の履歴や現況を観察・分析する様々な手法が蓄積されて来た。それらの技術や手法をふまえて、地域の将来像をつくり、それに向けて現況の改変・整序・維持・保全していく計画学へつなげていくことを考えていく。

地域とは、立地・規模・歴史・自然・生産形態などによって多様な姿を有し、それに政治・文化・経済のあり方なども加わって日々形を変えている。

そうした地域の現況や動態を把握し、そこにどのような秩序や活性をつくり、我々の住み働らき楽しむ場所としていくか、その手法や考え方を、地域計画・都市計画・まちづくり・建築などを通して深めていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- I. (4・5月) 地域を知る：地域や都市の姿・成り立ち・現況・動態等を把握する。
- II. (6・7月) 課題を発見する：地域や都市がどのような課題を抱えているかを知る。
- III. (9・10月) 課題を考える：そうした課題がどんな原因・関連を持つか考える。
- IV. (11・12月) 地域を計画する：地域の課題を解決し、その将来像を考える。

履修上の留意点

現代の地域や都市全般についての幅広い関心と、そこでの課題の改善について意欲を持っていることが大切。

成績評価の方法

出席（授業への積極性評価）及びレポート（年数回：折々の社会の課題に対する自己の意見や論評）による。

教科書

『自治体まちづくり』（学芸出版社）2,800円＋税

参考書等

『都市計画』（共立出版株式会社）3,800円＋税
『都市計画論』（日本放送出版協会）2,400円＋税
その他授業の都度に提示する。

その他

講義形式を基本とし、折々スライドも使用。聴講人数によっては、ワーク形式も考えて見たい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理情報論	むらやまゆうし 村山祐司	環境2・3・4選必 地文2・3・4選	4

講義のねらい

地理情報の収集と空間解析の方法について説明するとともに、近年注目を集める地理情報システム GIS について概説する。

GIS は、地図（地域）情報と属性（主題）情報を一元的に取り扱う。多様な情報源から大量の空間的データを取り込み、地図情報を主体としたデータベースを作成する。それを効率的に蓄積・検索・変換・解析して、地図出力やレポート作成などを行い、ユーザの意思決定を支援する。

GIS は、国土、県域、都市などの計画管理・行政支援、ビジネスをはじめ、多くの分野で活用され始めている。極めて将来性に富んだ分野である。

講義の内容・授業スケジュール

1. 地理情報の収集方法（文献） 2. 地理情報の収集方法（統計データ） 3. 地域分析に有用な統計パッケージ 4. 地理情報と空間分析 5. 多変量解析 6. 地理情報システム GIS とは 7. GIS のハードウェア 8. GIS の発展史 9. GIS のデータ構造 10. アナログ地図とデジタル地図 11. ラスターデータとベクターデータ 12. 社会モニタリング 13. GIS の空間解析機能（オーバーレイ・バッファリング） 14. GIS の空間解析機能（ネットワーク分析・テッサレーション） 15. GIS の社会的応用（環境問題・防災） 16. GIS の社会的応用（行政・民間） 17. インターネットによる GIS・地理情報の入手 18. インターネット GIS 19. GIS の将来 20. 地理学と GIS（まとめ）

成績評価の方法

期末テストの結果に出席回数を加味して行う。

教科書

中村和郎・寄藤 昂・村山祐司編『地理情報システムを学ぶ』（古今書院）3,000円 1998年

その他

- 1) 駒澤大学「総合情報センター」において、GIS のデモを行う。
- 2) GIS 関連の企業・行政機関を訪問し、地理情報システムの使われ方に関して実地見学を行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地域文化調査法（現地調査含む）B	おだまさやす 小田匡保	地文3選必	4

講義のねらい

1. 人文地理の諸テーマについて地域調査の経験をすること。
2. 収集した資料を、体裁の整ったレポートにまとめる練習をすること。

講義の内容・授業スケジュール

現地調査に出かける前に、文献・統計などの資料を収集・分析し、簡単な事前レポートにまとめる。現地では、観察・資料収集のほか、関係者に聞き取り調査を行なう。その後、集まった資料を分析・整理し、最終的なレポート・報告書をまとめる。

履修上の留意点

体裁・内容の不十分なレポートは、現地の方に送って見ていただいても恥ずかしくないよう、何度でも修正してもらう。

成績評価の方法

成績評価は、授業の出席状況、現地での調査態度、提出されたレポートの内容などを総合して判断する。

教科書

使用しない。

参考書等

使用しない。

その他

調査地は宮崎県日南市、現地調査の期日は9月下旬または10月上旬を考えている。詳細は4月のオリエンテーション時に発表する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地域文化調査法(現地調査含む)D	佐藤 哲夫	地文3選必	4

講義のねらい

この授業では、景観を手がかりに、地域の研究にとりかかる方法を学びます。私たちが知っている「日本」とは違った自然環境や歴史的・文化的背景を持った地域を知ろうとする時、景観は大きなヒントを与えてくれます。そのヒントを解き明かす方法を学習します。外国の地誌を研究するための導入にもなるでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

現地調査の対象地域を沖縄地方として、以下のように授業を進めます。
事前準備としては、

1. 沖縄の自然や、文化・歴史など、地域を理解するための基本的なことを学びます。
開講後、数回、沖縄について講義を行ないます。その後、参加者が分担して参考文献を読んで報告し、共通の理解を深めていきます。
2. 地図や写真の利用など、景観観察に必要な地理学的技法を学びます。
大学周辺で、地図や写真、統計などを利用しながら徒歩での景観の観察・記録を行なってみます。また、地域を調べるためにどんな情報が利用できるのか学びます。
3. 参加者の関心に従い、各自が沖縄で調査するテーマ、調査地を決め、情報を収集します。
文献や地形図、空中写真も利用して調査内容や調査地域を絞り込みます。それを基に、調査ルートや調査方法などを計画し、必要があれば調査票を設計します。
現地調査は11月1日～4日(3泊4日)の予定です。
調査後、直ちに調査報告会を行ないます。その後、調査結果をまとめながら、地図や写真などの画像情報や、統計情報をコンピュータで処理する技術について学びます。

履修上の留意点

レポートは全てワープロなどで作成してもらいます。

成績評価の方法

出席状況、発表内容、現地での調査の積極性、調査報告の内容などを総合的に評価します。

参考書等

必要な資料は配布します。

地理

科目名	担当者名	配当学科	単位
地域文化調査法(現地調査含む)F	高橋 健太郎	地文3選必	4

講義のねらい

さまざまな問題を抱えながらもたくましく生きている人々や地域社会への理解を深め、さらにフィールドワークの手法の基礎を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

フィールドワーク(聞きとり調査)は、熊本県小国町の村落地域において、4泊程度の日程で実施する予定。調査項目の詳細は受講者と相談して決めるが、主に次のようなテーマが考えられる。山村における農林業の取り組み、観光開発と地域振興、人材育成と地域の活性化、UターンやIターンの地域社会への影響、地域変容と住民の郷土意識の関係など。各自が選択したテーマにしたがって、個人またはグループで、計画の立案から報告書の作成までを行う。

大まかなスケジュールは以下のとおり。

前期：研究テーマの設定、文献資料の収集と検討、研究計画の立案、フィールドワークの準備
後期：フィールドワーク、調査資料の整理と分析、調査成果の発表、文献資料の補充、報告書の作成

履修上の留意点

事前の準備やフィールドワーク、報告書の作成など、年間を通して相当量の作業が見込まれる。さらに、調査のための費用も少なくない。そのため、問題意識をもち、自分から積極的に行動する方のみ受講されたい。

成績評価の方法

出席状況、授業中の発表内容、討論への参加状況、フィールドワークでの活動状況、報告書の内容で評価。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地域環境調査法(現地調査含む)B	さくら い あき ひさ 桜井明久	環境3選必	4

講義のねらい

地域調査の方法、ないしは人文地理学の調査方法について実践を通じて学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

調査地域は未定であるが、前期は、その調査方法の概略を学ぶとともに、この調査地域についての人文的、社会的テーマについて、各人ないしは各グループで具体的にテーマを決め、討論を通じて、そのための調査の設計を行う。後期は、ある地域(未定)で現地調査を行い、その結果を報告書にまとめる。

履修上の留意点

実習・演習型の授業であり、グループでの活動が多くなるので、欠席は厳しく扱う。

成績評価の方法

出席、討論への参加の状況、作成された報告書を総合し評価する。

教科書

正井泰夫・小池一之編『卒論作成マニュアル』(古今書院)1994

参考書等

必要なものについては適宜授業の中で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地域環境調査法(現地調査含む)D	た なか やすし 田中靖	環境3選必	4

講義のねらい

現地調査は、多くの分野で最も重要な基礎である。しかしながら、現地調査から有益な情報を得るためには相応の知識・技術などを習得する必要がある。この科目では、主に地形、地質、植生といった自然地理学の現地調査法を習得することを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

1. 地理学調査法入門
2. 調査地に関する文献調査・データ解析
3. 現地調査(本年度は、巡検予定地を「有珠山とその周辺」とし、10月上旬に3泊4日の日程で実施する予定。そのうち、最後の1日はグループ別自主調査とする。)
4. 調査結果の発表(レポートの提出)

履修上の留意点

出席重視。

成績評価の方法

平常点とレポートで評価する。

教科書

適宜紹介する。

参考書等

適宜紹介する。

地
理

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地域環境調査法(現地調査含む)F	ながぬまのぶお 長 沼 信 夫	環境3選必	4

講義のねらい

ある地域を題材に、地理学の調査方法の修得、および現地調査で得られた資料を基に、その地域的特色の一端を把握・検討することを目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

この科目では現地調査を中心に行うため、前期はその事前準備・現地調査・資料整理作業・レポート作成を行う。後期は各自或いはグループ単位で調査の報告と報告書作りを行う。

現地調査は次の要領で実施する予定である。

主要テーマ：伊豆半島における自然と人々の生活

主要地域：静岡県戸田村とその周辺地域（宿泊場所：戸田村の民宿）

期 間：平成16年6月1日（火）～6月5日（土） 《4泊5日》

- 内 容：1) 伊豆地方の自然と水環境
2) 伊豆地方の産業と交通網体系
3) 戸田地域の自然と水環境
4) 戸田地域の漁業の変遷と現状
5) 戸田地域の商業活動の現状
6) 戸田地域の観光産業の現状
7) 戸田地域の環境問題

履修上の留意点

特に出席を重視するので、遅刻・欠席をしないよう望む。

成績評価の方法

出欠状況とレポートの提出などによって評価する。

教 科 書

必要な文献・資料・地形図などは現地調査前の準備段階で指示する。

参 考 書 等

必要な文献・資料・地形図などは現地調査前の準備段階で指示する。

そ の 他

各自の調査テーマや内容は、学生諸君の自主性に委ねる。

地
理

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地域文化演習B	つちたにしほる 土 谷 敏 治	地文3選必	4

講義のねらい

都市・商業・交通・人口などを主要なテーマとし、論文の検索方法を身につけるとともに、論文の講読を通して読解力を養う。また、研究テーマの設定、研究の意義づけ、分析方法の検討、資料の検索や収集、調査計画の立案、分析結果の考察のしかたなどについて全員で討論し、卒業論文作成に向けての総合的な能力を身につけることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

4月～10月

論文の講読を行う。毎回担当者を決め、その担当者が資料を用意した上で、論文要旨を発表する。その後、取り上げた論文の内容、長所、問題点などについて参加者全員で討論する。

11月～1月

それまでの学習成果をふまえ、個人あるいはグループに分かれて、模擬的な研究計画の立案、発表し、その内容の適切さ・問題点について全員で討論し、調査・研究能力をさらに高める。希望があれば、現地調査の実習を行うことも考慮する。

履修上の留意点

必ず4月の第1回目の授業に出席すること。その際に、発表の方法や発表の順序・担当者などを決定する。

演習科目であるため、毎回必ず出席するとともに、発表の準備やその内容、討論への積極的参加が重要である。また、論文講読に際しては、全員が事前に当該論文を読んでおくことを前提とする。発表者は、事前に配付資料を用意しておく必要がある。

成績評価の方法

出席状況、発表内容、積極性、討論への参加状況を総合して評価する。

教 科 書

教科書はとくに指定しないが、授業時間に取り上げる論文が、教科書に相当する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地域文化演習 D	なかむら かずお 中村和郎	地文3選必	4

講義のねらい

各自が自分で地理学的な研究課題を設定し、研究目的にもっともふさわしい方法によって、研究を遂行できるようになることを目標にする。絶えずクラスの中で意見を交換しあいながら、地理学的なものの方見方や考え方を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

地理学的な発問とは？
情報検索と情報収集
収集した情報の分類整理
パソコンを使った主題地図の作成
研究成果の発表

履修上の留意点

クラスメートと切磋琢磨する心構えを期待する。

成績評価の方法

平常の積極的な取り組みと、現地調査の態度、報告書の内容で評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地域環境演習 B	こいけ かずゆき 小池一之	環境3選必	4

講義のねらい

地域環境の基礎からやや高度な知識と現地調査の基礎を学ぶ。この演習を通して、4年次の卒業論文作成のための基礎的方法を会得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

地球環境の内、地表形態（地形）の成り立ちと現状を中心に演習をすすめる。
 (前期)
 テーマ：房総半島の自然環境：各人が房総半島に関するテーマを選び、実地調査も行って、テーマの理解を深める。富浦セミナーハウスでの合宿を含む。
 (夏休み)
 各人の好むテーマと地域を選び、小研究を行う。
 (後期)
 前期の研究および各人のテーマに関する研究を深める。成果は秋に行われる合宿で発表し、プレゼンテーション能力を高める。全体の成果を小冊子とする予定である。

履修上の留意点

かなり努力を必要とすると思われる。熱意を持って参加していただきたい。

成績評価の方法

出席、発表内容など平常点で評価する。

教科書

適宜紹介する。

参考書等

適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地域環境演習 D	たかぎ まさひろ 高木正博	環境3選必	4

講義のねらい

主として水文学や水の地理学に関する研究分野を対象とする。授業では研究論文を読み、内容を理解し、研究・調査の方法、論文の書き方などを具体的に学ぶことを目的とする。受講者全員に年2回、論文の紹介と研究テーマに関する発表を義務づける。場合によっては現地調査（巡検）も考慮する。卒業論文を意識した研究テーマを探してほしい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は研究テーマを探すことに重点を置く。現在関心あるテーマについて調べた結果を発表し、研究テーマとなりうるかを討論する。発表テーマ・発表日は事前に決めておき、当日は発表者がまとめたレジュメをもとに、全員でその内容を討論する。

後期も同様に発表形式をとるが、論文紹介に重点を置く。論文は各自の研究テーマと関連したものを選択し、その内容および各自のテーマとの関連性について詳しく説明する。または、夏休みの調査結果などを報告してもよい。

履修上の留意点

受講者は日頃から積極的に発表・討論に加わる意識が求められる。
発表者は無断欠席しないこと。

成績評価の方法

発表内容、レジュメ（レポート）、討論への参加状況などの平常点を評価する。

参考書等

肥田 登『秋田の水—資源と環境を考える—』無明舎出版、2800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理学演習	おだ まさやす 小田匡保	地文・環境4必	4

講義のねらい

1. 卒業論文の作成を通じて、論文・レポートがきちんと書けるようになること。
2. 人前でわかりやすく発表できること。
3. 他の人の発表・報告に対して、質問したり、自分の意見を言えるようになること。

講義の内容・授業スケジュール

前期：従来の研究例を参考に、自分の卒論の構想について発表する（2回）。

後期：現地調査・データ整理の結果をふまえた発表を行なう（2回）。

1月：卒論発表会。

履修上の留意点

発表の後は、受講者の間で互いにディスカッションをする。素朴な質問でよいから、受講者全員がディスカッションに参加することを期待する。もちろん、担当教員もできる範囲で助言する。就職活動・教育実習などで忙しいだろうが、できるだけ出席して他の人の発表を聞き、討論に参加すること。

4月最初の授業は、発表スケジュールを決定するので、必ず出席すること。

成績評価の方法

成績評価は、出席状況と発表・討論内容によって行なう。
卒業論文の評価とは別である。

教科書

使用しない。

地
理

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理学演習	こいけ かつゆき 池 一之	環境・地文4必	4

講義のねらい

地形学を含む地表環境全般にわたり、基礎から最新の情報までの習得を主目的とする演習である。

講義の内容・授業スケジュール

まず演習参加者全員に共通するテーマを設定し、次いで、各人のテーマ（卒論論題）を決定する。前期は共通テーマに対応する現地調査地域を決め、同調査を行なう。平行して、各人のテーマにそった研究・調査をすすめる。夏休みに各人のテーマにそった現地調査を実施し、後期はゼミ形式で討論を進めていく。

成績評価の方法

平常点をもって評価する。

教科書

演習進行時に、適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理学演習	さとう てつお 佐藤 哲夫	地文・環境4必	4

講義のねらい

この演習では卒業論文を作成するための調査の方法、資料の収集整理の方法、報告の発表方法などについて学びます。できれば小グループによる文献輪読も指導したいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

4月の第1回の授業までに研究対象を決定します。国内の地域を研究する場合は、調査地域をカバーする地形図や住宅地図などを直ちに入手し、現地を踏査して概況の把握をしてください。海外地域を研究する場合は、関連文献を徹底的にリストアップし、その所在を確認します。

その後は、おおむね次のようなステップに従って研究を進めます。5月末の段階では2までを、9月末の段階では4までを目標に進めていきます。

- 1 研究対象を決定し、その概況を把握して研究テーマの方向付けを行います。
- 2 文献リストを作成し、重要な文献を読んで研究の目的・方法を限定します。
- 3 仮説（あるいは暫定的な解釈）を設定します。
- 4 現地調査または資料調査により、仮説の検証に必要なデータを収集します。
- 5 収集した情報を整理し、章立てによって論文の構成を組み立てます。
- 6 論文の構成を修正しつつ、執筆を進めます。

全員に対する合同での指導を発表会形式で数回実施します。それ以外は各自の都合に合わせて対応しますので、各自が責任をもって研究を進めてください。発表会の日程は、最初の授業時間に相談して決めます。

互いに近い研究テーマをもった受講者がいる場合には、グループをつくり、分担して文献を輪読することも予定していますが、これについても、参加者と相談して決めます。

履修上の留意点

緊密なコンタクトをとって相談を重ねることが重要です。Eメールを通じた指導も可能なので、積極的に利用してください。報告・相談する場合には、必ずB5またはB4版の報告メモを作成してきてください。文章にすることで頭の中を整理できます。口頭での説明は、その場しのぎに過ぎません。

成績評価の方法

参加の積極性で評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 理 学 演 習	<small>たかぎまさひろ</small> 高 木 正 博	環境・地文4必	4

講義のねらい

卒業論文の作成指導を主体とする。とくに、1. 適切な論文のテーマを設定すること、2. 研究成果の要旨をまとめて発表すること、3. 論文作成の具体的な方法を指導することなどである。

授業では、文献講読、資料の収集・選択・整理、現地調査や主題図作成を課題として指示する。また、年2回の発表を義務づけ、出席者相互の活発な討論をとおして問題意識を高めてゆく。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は卒論題目の決定を目指す。各自がこれまでに描いてきた研究構想について発表し、その内容に応じた適切なテーマを考える。現地における調査研究の方法についても検討する。

後期は、現地調査や文献・資料などから得た結果を整理・考察して発表する。その際、研究上重要な主題図を示す必要がある。これについて、出席者全員で討論しあい内容の充実をはかる。このほか、執筆要領など論文作成上の諸注意をおこない提出に備える。

履修上の留意点

テーマに沿った研究・調査は、早くから手掛けることが重要である。受講者は、日頃から積極的に発表・討論に加わってほしい。自分に関係ないと思われるテーマでも、議論してゆくと参考になる事柄があるので無関心ではいられないはずである。場合によっては調査に協力してもらうこともできるであろう。授業を欠席する場合は事前に連絡すること。

成績評価の方法

課題の提出状況、口頭発表や討論への参加状況など、平常点で評価する。

参 考 書 等

適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 理 学 演 習	<small>さくらいあきひさ</small> 桜 井 明 久	環境・地文4必	4

講義のねらい

ある地域の事象ないしはある地域の人文地理学的課題について、討論を通じて、その調査方法を考え、資料を集め卒業論文として完成させる。

講義の内容・
授業スケジュール

前期については課題を解くための方法、調査法を中心に考える。後期については、収集した資料から説明すること、もしくはその説明のための統計資料の加工や表現方法について考えた。

履修上の留意点

自分の卒論研究について考えるのは当然であるが、仲間の研究の討論に積極的に参加することが重要である。そのことによって自分の研究の仕方にも刺激が得られるであろう。

成績評価の方法

ゼミへの参加の状況と討論への参加の状況、並びに各自の研究への取り組みを総合的に評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理学演習	高橋 健太郎	地文・環境4必	4

講義のねらい

卒業論文の作成を進めながら、フィールドワークや文章執筆の方法を習得し、加えて地域社会を理解する力を身につけることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

前期：研究テーマの設定、研究計画の立案、調査地域の設定、文献資料の収集と検討、フィールドワーク。
後期：フィールドワーク、調査成果の整理と分析、論文作成、研究成果の発表。

履修上の留意点

卒業論文作成についての相談にはできる限り対応するが、卒業論文は最終的には自己の責任で完成させるものであるということを、受講者には認識してもらいたい。また、卒業論文提出後に公開の発表会を行い、受講者全員に卒業論文を発表していただく。

成績評価の方法

出席状況、授業中の発表内容、討論への参加状況、発表会での発表内容で評価。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理学演習	田中 靖	環境・地文4必	4

講義のねらい

卒業論文を完成させることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

4月：研究テーマの設定
5月-7月：共通テーマでの勉強会、巡検など
夏休み前：方針発表
夏休み：調査、解析作業
10月：中間発表
12月：卒業論文提出

履修上の留意点

相談には可能な限り対応するが、できるだけ主体的に取り組むこと。

成績評価の方法

平常の研究姿勢で評価する。

地
理

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理学演習	つち ^な に ^{とし} ^{はる} 土 谷 敏 治	地文・環境4必	4

講義のねらい

3年間に学習した成果をふまえ、各自が卒業論文作成のスケジュールをつくり、そのスケジュールにしたがって、卒業論文の目的設定、研究の意義づけ、研究対象地域の選択、資料収集、現地調査、資料整理、分析、図表化、考察を行い、論文を完成させるための演習・指導を目的とする。

講義の内容・ 授業スケジュール

4月：これまでの学習成果と卒業論文の題目・目的について発表する。5・6月：各自の研究の参考となる論文を紹介するとともに、自分の研究の目的と意義、研究対象地域の概要、分析資料・調査方法について発表し、全員で討論する。7月：夏休み中の研究・調査計画について討論する。8月：夏休み中に各自が資料収集、現地調査、データの分析を行い、中間報告をまとめる。9～10月：研究の中間報告を行い、各自の研究の長所や問題点について討論することにより、今後の研究の方向づけをする。11～12月：最終的な分析・研究内容について討論し、卒業論文の完成をめざす。1月：卒業論文の発表会を実施し、討論を通じて全員の研究結果の総括するとともに、各自が研究成果を自己評価する。

履修上の留意点

授業の開始時に発表担当者のスケジュールを決定し、毎回2～3名が発表を行い、その内容について全員で討論する。発表のための資料は、事前に作成し、申し出れば必要部数を学科で準備することができる。討論の際の司会・進行役も受講生が交代で行う。このため、毎回の出席がとくに重要である。就職試験、教育実習などでどうしても出席が不可能な日については、事前に申し出ることが必要である。発表担当日がこれらの日程に重なるときは、他の受講者と発表担当日を交替すること。

成績評価の方法

発表内容が最も重要であるが、演習としての授業の性格上、出席率、討論への参加や発言回数とその内容を総合して評価する。出席していても発言がない場合は、出席者として認定しない場合もありうる。

教科書

とくに指定しない。

参考書等

卒業論文のテーマの選定やスケジュールのたてかた、書式などについては、次の文献が参考となろう。

高橋伸夫・溝尾良隆編『地理学講座3 実践と応用』（古今書院）

正井泰夫・小池一之編『卒論作成マニュアル よりよい地理学論文作成のために』（古今書院）

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理学演習	なが めま のぶ お 長 沼 信 夫	環境・地文4必	4

講義のねらい

卒業論文の作成指導を中心に行う。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、文献・資料の蒐集・整理、調査・研究の方法、論文の書き方、さらに各自のテーマに関連する文献の紹介などについてゼミ形式で行う。
後期は、各自のテーマによる調査・研究の成果を踏まえて、主に口頭発表の形式で中間報告および討論を行っていく。

履修上の留意点

最近の卒業年次生諸君は、就職活動のためと称して頻繁に欠席する。最後の年度であるので、極力出席するよう努力してもらいたい。

成績評価の方法

出席回数、文献紹介（口頭）、レポート、卒論中間発表内容などを基に総合的に評価する。

教科書

必要に応じて、文献・資料の紹介やプリントの配布を行う。

参考書等

必要に応じて、文献・資料の紹介やプリントの配布を行う。

その他

この演習では、卒論作成に関する話題提供や討論が中心となるため、自主的に努力することが期待される。また、後期には卒論の中間発表会のための合宿（2泊3日）を予定している。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理学演習	なが むら かず お 中 村 和 郎	地文・環境4必	4

講義のねらい

卒業論文作成の指導を行う。卒業論文は、4年間に学んだ専門的知識と技術とを全部活かして作成するものである。地理学では「地図が言語である（言語以上に大事である）」「地図が分析道具である」といわれてきた。そこで「地図を使って」記述し、疑問や課題を解決し、発表ができるようになることを目標にする。

講義の内容・授業スケジュール

論題の決定：地理学では「どこ」「どんなところ」「なぜ」がキーワードになる。楽しくやれる課題を選ぶこと。
情報収集：現地で観察・観測を行い、インターネットなどで関係ある情報検索ができるようにする。地図情報も忘れないこと。地図に表すことができる情報は何かを考える。
情報分析と考察：収集した情報を比較・分類して分析を行う。コンピュータを使って地図を描く技術を身につけるとともに、地図を使った分析手法を学ぶ。
研究成果のプレゼンテーション：富浦セミナーハウス（予定）で、各自の研究成果をもっとも効果的な方法で発表する。

履修上の留意点

大学教育の中で学生がもっとも自主的、主体的に学ぶことができる授業である。個人々々が接触する機会をできるだけ多くして、お互いに納得のいく最終学年にしたい。わからなくなったり、行き詰まったりしたときこそ、頻繁に相談に来てほしい。毎年先輩が出席してくれることが多い。先輩や同級生にも指導を仰ぐ心構えを期待したい。就職活動などを理由に無断欠席することがないようにしてほしい。

成績評価の方法

平常の研究態度を重視する。

参考書等

浮田典良編『ジオグラフィックパル 地理学便利帖』（海青社）
浮田典良『大学地理教育とレポート』（古今書院）
高橋伸夫・溝尾良隆編『地理学講座3 実践と応用』（古今書院）
正井泰夫・小池一之編『卒論作成マニュアル』（古今書院）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地 理 学 演 習	はしづめ なおみち 橋 詰 直 道	地文・環境4必	4

講義のねらい

卒業論文の作成のための具体的指導を中心に行う。

講義の内容・
授業スケジュール

4~5月は、卒業論文の研究テーマ、地域の設定、研究方法、研究計画などについて十分検討した上で、文献・資料調査法や現地調査法についての指導を行う。具体的な授業は、提出された年間スケジュールを基に次のように行う。

6~7月は、それまでの文献調査や事前調査などの成果をもとに中間発表会を個人別実施する。

9~11月は、夏休み中およびその後の調査成果をもとにした経過報告会を行い、議論を積み重ねながら、論文の書き方について具体的に指導する。

論文提出後、内容・構成など卒業論文として不完全なものは書き直しを要求する。

1月には卒論要旨集用の原稿の提出、同要旨集の印刷・製本を行う。1月末（2003年度は1月27日）に卒論発表会を行う。発表では各自パワーポイントを使用する。発表会には次期地理学演習（橋詰ゼミ）履修者の3年生も全員参加してもらう。

履修上の留意点

卒業論文はパソコンで作成する。卒業論文の提出後、1月に卒業論文要旨集の作成と卒業論文発表会も行うので、積極的な研究姿勢が重要である。

成績評価の方法

授業（卒論発表会を含む）への取り組み方、出席状況などを総合的に評価する。

参 考 書 等

正井泰夫・小池一之『卒論作成マニュアル』（古今書院）2,060円

そ の 他

事前に『地理学文献目録』（図書館）など地理学データベースを利用した十分な文献（論文）調査が必要である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地 理 学 演 習	はやふね げん ぼう 早 船 元 峰	環境・地文4必	4

地
理

講義のねらい

卒業論文の作成および口頭発表の指導を行う。

講義の内容・
授業スケジュール

前半は論文の作成・現地調査・文献資料の収集・整理・写真撮影などの方法について講じる。後半は各自テーマにしたがって調査研究した成果の発表（中間発表）や関連した論文の内容の紹介およびコメントをしてもらう。

履修上の留意点

就職活動や教育実習などで多忙であろうが、努めて出席のこと。活発な討論がなされるよう積極的態度をのぞむ。

成績評価の方法

出席状況・口頭発表・レジメなどで評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
巡 検 A (後期)	はしづの 橋 詰 直 道	地文・環境2・3・4選	1

講義のねらい

講義で得た知識を実際に現地調査で確認すると同時に、特定のテーマに沿った地域調査を実施し、その成果を報告書としてまとめることで地域の地理的特徴や地域のかかえる諸問題を学ぶ。

巡検のテーマ：地域の風土と都市景観や地場産業を調査する。

巡検予定地：新潟県（詳細は未定、巡検の履修者振り分け当日発表する）

現地調査期間：9月下旬～10月中旬の予定（2泊3日程度）

講義の内容・
授業スケジュール

授業は、テーマに沿った事前の文献調査・現地調査・調査結果のまとめから成る。巡検の調査では、課題テーマごとに班別調査を実施する。毎日班別の調査報告とミーティング、レポート作成が必要となる。現地へは、公共交通機関を利用すること。

履修上の留意点

選択科目であるが、現地調査への参加はもちろん、事前事後の巡検の授業（報告書作成）へも積極的に取り組む学生に限る。

成績評価の方法

毎時間の授業への出席状況（一定基準以上）、現地調査レポート、最終報告書作成への取り組み、授業及び現地調査での参加姿勢を総合的に評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
巡 検 D (前期)	はやふね 早 船 元 峰	環境・地文2・3・4選	1

講義のねらい

教室の講義のみでは理解しがたい地理的事象を、現地での体験（観察・調査）を通じて理解してもらう。

講義の内容・
授業スケジュール

現地調査：埼玉県川口市安行他首都圏

期 日：未定（前期）

日 的：自然と人間とのかかわりあい

内 容：近自然河川工法による河川・ビオトープ再生の現場の観察

雑木林の手入れの実習（カマ・ノコギリ・チェーンソー・耕耘機・草刈機・軽トラック）

地理写真の撮影技法の修得（アオリなど）（ライカ・ビューカメラ・ハッセルブラッド・デジタルカメラ）

履修上の留意点

班作業もあり、欠席なきよう努めること。

成績評価の方法

事前調査（関連した論文の発表・主題図作成）・現地調査・レポート・出席状況などにより評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
図 学 実 習 (後 期)	し み づ ち ょ う せい 清 水 長 正	地 文 ・ 環 境 2 ・ 3 ・ 4 選	1

講義のねらい

2万5千分1地形図は、環境・文化にかかわらず地理学のいろいろな調査・研究に欠くことはできません。そうした利用者からみて、地形図に表現されている内容についてよく知ることは重要なことです。この実習では、地形図の内容や作製過程などについて『地形図図式』を中心に、利用者として理解を深めてもらうのが目標です。また、近年普及しはじめたデジタルマップの情報やそれを利用した編集作業などを紹介します。

講義の内容・授業スケジュール

2万5千分1地形図を作製するにあたって、基準となる事項をまとめたものが『地形図図式』です。これは本来、プロの地形図作製者が使用する規程書ですが、ここではそれを詳細に解説します。その間にデジタルマップを利用した簡易な編集作業もやってみましょう。その他、日帰りで地形図に関する現地調査実習を実施する予定です。

履修上の留意点

地形図の最新情報・地図業界の動向など知りたい学生は履修するといいでしょう。なお、10月下旬ころに開催されるデジタルマップフェアは見学する予定。

成績評価の方法

図式に関するミニ試験、地図編集作業の成果品の作製などから評価します。

教科書

『平成14年2万5千分1地形図図式』（日本測量協会）

参考書等

利用しやすいデジタルマップや関連ソフトなどは、実習中に紹介します。

その他

現地実習・見学は受講学生の都合により日時を決めましょう。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本地誌	はしづめ なおみち 橋 詰 直 道	地文・環境2・3・4選	4

講義のねらい

日本の農村はいかに変容してきたか。この地域変容に関する最近の研究事例を紹介しながら、動態地誌的に日本列島の地域的特色とその変容過程を明らかにする。

講義の内容・
授業スケジュール

年間の講義内容は、次の項目を予定している。①②日本の風土（自然環境・生活文化）、③④自然環境と生活（気候景観・水の利用）、⑤⑥自然環境と生活（地下資源の利用・植物の利用）、⑦⑧日本の災害（自然災害・環境保全）、⑨⑩都市化と農業地域（兼業化の進展・自立型農業地域）、⑪⑫農業地域の変容（近郊農業地域・輸送園芸地域）、⑬⑭農業地域の変容（果樹園芸地域・茶業地域）、⑮⑯地場産業地域の変容、⑰～⑲中山間地域の変容（林業地域まちおこし）、⑳～㉒余暇活動地域の変容（ふるさと運動・農村観光）、㉓～㉕リゾート開発（スキーリゾート地の諸問題）、㉖まとめ（テスト）

これらの項目について各地の事例研究成果を中心に概説する。

履修上の留意点

毎時間の出席や授業への参加状況も重視する。

成績評価の方法

中間試験（7月最終授業日）及び学年末試験の両方を受験し、かつ授業への出席日数と試験（課題や小テストを含む）の成績が基準以上であるかどうかなどを総合的に評価する。

教科書

特に定めない。

参考書等

山村順次編『図説日本地誌』（大明堂）2,750円
石井素介・浮田典良・伊藤喜栄編『図説日本の地域構造』（古今書院）2,527円
市川健夫『風土の中の衣食住』（東書選書）960円
原 剛『日本の農業』（岩波新書）620円
平松守彦『地方からの発想』（岩波新書）550円
田村明『まちづくりの実践』（岩波新書）660円
その他の参考書や論文は授業でテーマごとに紹介する。

そ の 他

講義は、配布プリントとOHP、PC、ビデオ画像を利用して行い、課題や小テストも実施したい。

地
理

科目名	担当者名	配当学科	単 位
外国地誌特講	うめ はら ひろ みつ 梅 原 弘 光	地文・環境2・3・4選	4

講義のねらい

地誌を講じる目的は地域変化の説明である。ここでは20世紀後半に目覚ましい変化を遂げた東南アジア地域に注目し、その変化の過程とそれをもたらした要因、新たな問題点を確認すると同時に、われわれとの関わりの理解を目指す。そのために具体的にはフィリピン共和国を取り上げて、第二次世界大戦後の農村社会の変容とそれに伴う地域変化を検討する。

講義の内容・
授業スケジュール

最初に東南アジアにおけるフィリピンの位置付け（地体構造、民族分布、海路東西交易、農耕のはじまり）を確認した後に、戦後のフィリピン共和国の直面した問題（社会不安、土地問題）近代化政策（工業化、農地改革、農業近代化政策）、農村社会変容（農業商業化、農村階層分化、労働力移動）、地域分化（都市化の進展、地域間格差、環境劣化）について検討する。

履修上の留意点

日ごろからフィリピンのみならず東南アジアの国々に対して関心をもつことが望まれる。

成績評価の方法

基本的には夏休みの課題レポートと期末試験で評価する。ただし、授業への出欠状況も参考にする。

教科書

とくになし。

参考書等

参考文献は授業時に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ア ジ ア 地 誌	前期：佐藤 哲夫 後期：高橋健太郎	地文・環境2・3・4選	4

講義のねらい

この講義では、東南アジアと中国の地理について、風土と社会・経済に注目して学びます。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は佐藤が担当します。最初にインド半島以東の、いわゆる「モンスーンアジア」の風土を特徴づけている地形や気候などの自然のメカニズムについて解説した後、東南アジアの地理について生態的基盤、歴史的背景、経済的展開に注目して講義します。以下の構成で、とくにタイの事例を中心に紹介する予定です。

1. 自然景観と環境 (2回) … 地形、気候
2. 東南アジアのイメージ (1回)
3. 伝統的生活様式 (3回) … 植生と生業、村落社会、民族分布
4. 都市の文化景観 (3回) … 歴史的都市、近代都市、モノカルチャー経済の形成
5. 経済と現代社会 (3回) … 人口構造の変化、工業化とメガシティ、国際関係

後期は高橋が担当します。中国の地理について、人口、産業、都市、開発、民族のテーマで話を進める予定です。

成績評価の方法

前期50%、後期50%のウエイトで評価します。前期は毎回の出席 (20%) と夏休みのレポート (30%) で採点します。後期は、教場で作成してもらう小レポートの内容 (10%) と筆記試験 (40%) で採点します。

教 科 書

前期・後期とも、資料を授業時間に配布します。

参 考 書 等

前期については、事典として「事典 東南アジア」(京都大学東南アジアセンター編 弘文堂)を、地図帳として「地図で知る東南・南アジア」(高橋彰監修 平凡社)を推奨します。後期については、授業中に適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
アメリカ地誌	仁平尊明	地文・環境2・3・4選	4

講義のねらい

アメリカの自然環境と人間社会の特徴について、配付資料、教科書、インターネットをもとに講義します。南北アメリカの範囲は広いので、とくにアメリカ合衆国に注目します。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) (1・2) 北アメリカの自然環境・その1 (地形)、(3) 北アメリカの自然環境・その2 (気候・気象)、(4・5) アメリカ合衆国の歴史、(6) アメリカ合衆国の人口と都市、(7) 産業・その1 (農業)、(8・9) 産業・その2 (工業)、(10) 交通、(11・12) 西海岸・中西部の観光地理、(13) 特論1: アメリカ合衆国の文化について

(後期) (1) 特論2: 南部の景観、(2・3) 各論1: アメリカ大平原の原風景、(4) 各論2: フロンティアの開拓、(5・6) 各論3: 冬小麦地帯、(7・8) 各論4: 灌漑農業地帯の誕生、(9・10) 各論5: 水消費型産業の立地と環境問題、(11・12) 各論6: 土地資源の評価と持続的環境利用、(13) 特論3: ブラジル熱帯湿原の持続的環境利用

履修上の留意点

高校で使用した地図帳を持参すれば講義の理解が深まります。

成績評価の方法

成績は、試験 (60%)、出席 (30%)、授業ごとのコメント (10%) で評価します。試験は、ノート、教科書、参考書などを参照してかまいません。

教科書

前期は講義ごとに資料を配布します。後期はアメリカ合衆国中西部の地誌学に関する次の教科書を使用します。

矢ヶ崎典隆・斎藤 功・菅野峰明編著『アメリカ大平原－食糧基地の形成と持続性－』(古今書院) 3,500円 ISBN: 4-7722-1572-7

参考書等

講義ごとに紹介します。

その他

授業用ホームページ「<http://deanmac.hibun.tsukuba.ac.jp/~niheit/america.html>」(パスワードは授業でお知らせします)

科目名	担当者名	配当学科	単位
ヨーロッパ地誌	桜井明久	地文・環境2・3・4選	4

地
理

講義のねらい

自然環境と人間活動との関係、文化の地域的多様性と共通性、経済活動の多様性に着目しながらヨーロッパ全体を眺め、その核心部である北西ヨーロッパの農業と農村の地域的問題を考える。なお、読図の練習・訓練を行うつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、文化地域としてのヨーロッパの共通性と多様性を様々な分布図の重ね合わせから考える。後期は、中核部としての北西ヨーロッパ、とくにドイツについて、具体的な地域、村落を例に引きながら、近年における農業の変化、その地域性、近年の農村景観の変化などの状況を、日本のそれらと対比しながら考えていきたい。同様に、都市関係の問題については、パリ、ケルン、ボンなどを例に考えたい。

履修上の留意点

授業の中で地図や統計図表をとともに読みながら授業を進めるつもりである。すなわち、事実も重要ではあるが、事実を発見する方法の学習を重視したい。なお、学年末試験はここで配布した資料をもとに回答する形で試験を行うので、配付資料を紛失しないようにすること。

成績評価の方法

出席とミニレポート30点、読書レポート20点(ヨーロッパ自由研究)、夏休みレポート20点(各自のヨーロッパ自由研究)、学年末試験30点といったバランスで評価したい。

教科書

ジョーダン著・山本・石井訳『ヨーロッパ文化』(大明堂) 5,160円
桜井明久『西ドイツの農業と農村』(古今書院) 4,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済地理学	かねこ じゅん 兼子 純	地文・環境2・3・4選	4

講義のねらい 近年、商店街の衰退、ロードサイド型店舗の増加や、工場の海外移転など、経済現象に関わる空間的特性に大きな変化が生じています。本講義は人間の諸活動により形成される様々な経済現象を、空間的な視点から検討することを目的とします。「立地」「分布」「移動」をキーワードとして、前期の講義では、経済地理学の基本的な概念を、私たちの生活する「地域」と結びつけて習得します。後期には、特に「立地」に関わる理論体系を学び、経済的事象の場所による差異と、その発生要因を具体的に理解する力を養います。

講義の内容・授業スケジュール (前期) (1) 経済地理学とは (2) 地域概念 (3・4) 立地と分布 (5・6) 産業構造の転換と地域構造の変容 (7) 農業の経済地理 (8・9) 工業の経済地理 (10～12) 商業・サービス業の経済地理 (13) まとめ
(後期) (14) 経済地理学の理論と応用 (15) 立地論①農業立地論 (16) 立地論②工業立地論 (17) 立地論③中心地理論 (18) 交通理論 (19) 消費者行動モデル (20～22) 流通業の地理学 (23) 地域格差の問題 (24) 都市の構造 (25) 都市システムの概念 (26) まとめ

履修上の留意点 可能な限り身近なトピックスを取り上げる予定なので、新聞やニュースで取り上げられている事象に関心を持つことを望みます。

成績評価の方法 出席状況と定期試験の結果を総合的に判断します。出席(意見・感想)用紙の提出によって、評価補助に使用する予定です。

教科書 毎時間資料を配付し、それに基づき講義を進めます。地図帳(高等学校、中学校で使用したもので可)を持参すれば、講義への理解がより深まります。

参考書等 山本健児『経済地理学入門－地域の経済発展』(大明堂) 1994
松原宏編著『立地論入門』(古今書院) 2002

その他 講義形式で行います。不定期に簡単な実習を実施します。

地
理

科目名	担当者名	配当学科	単位
産業地域論	はちくぼ こうし 八久保 厚志	地文・環境2・3・4選	4

講義のねらい 本講義では、工業を中心とした地域産業の形成や構造及び産地間の諸関係を考察する。その際、基本的な産業立地の理論を概説したうえで、地域産業の実態を講義することにする。特に、大都市工業地域や伝統工業の地域の形成や構造について具体的事例を紹介する。このことで、受講者が身近な産業について関心と興味を醸成することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 基本的に講義形式である。講義中に適宜資料などを配付する。テキストは常時使わないが、図表など講義に参考となる資料が多いので入手されることを勧める。
①経済地理学の考え方 ②立地と配置 ③農業立地論 ④工業立地論 ⑤中間試験 ⑥工業地域の形成 ⑦工業地域の変化 ⑧地場産業論 ⑨酒造業地域の形成 ⑩産業地域社会 ⑪期末試験

履修上の留意点 出席を重視するので可能な限り出席すること。テストや課題が多いのでこの点了承の上履修して頂きたい。

成績評価の方法 出席点、講義中に行うミニテスト、課題および中間試験、期末試験で総合的に行う。

教科書 竹内淳彦編『日本経済地理学読本』最新版(東洋経済新報社) 2,500円程度
竹内淳彦編『環境変化と工業地域』(原書房) 3,000円程度

科目名	担当者名	配当学科	単位
地形学	小池一之	地文・環境2・3・4選	4

講義のねらい

地形学は、地表の形態とその形成過程を研究する学問で、山がちで変化に富む日本列島には種々の地形が分布している。このため、日本列島は地形研究の上では、世界的にみても好都合な場所である。世界の最先端の研究が多く排出している。まず、地形学の基礎的な概念から説明し、時に最先端の研究成果や地形変化事変（各種の災害など）にも言及する。

講義の内容・授業スケジュール

年間の授業スケジュールの概要は次の通りである：

前期

地形学の成り立ち、地表を変化させる種々の営力と地形の分類、
地表水の働きと地表の変化（マスウェスティング、種々の河成地形）

後期

種々の河成地形、組織地形、海水の働きと地形、地球内部の力によって形成される地形（火山地形など）、地形発達

履修上の留意点

地理学の中ではかなり理学的（地球科学の1分野でもある）な色彩の強い学問分野である。高校時代に地学を履修していることが望ましい。

成績評価の方法

基本的には、学年末試験の成績で評価する。出席など平常点はあまり加味しないが、時に応じて簡単なテストや課題を課す。

教科書

貝塚爽平著（1998）『発達史地形学』（東京大学出版会）3,400円＋税

参考書等

貝塚爽平・小池一之ほか編（1985）『写真と図でみる地形学』（東京大学出版会）4,500円＋税

小池一之ほか訳（1984）『一般地質学2』（東京大学出版会）3,400円＋税

その他

授業は講義形式で最新の情報を知らせるプリント類を多く配布するとともにスライド、ビデオなどを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地形学実習(前期)	清水 長正	地文・環境2・3・4選	1

講義のねらい

地形とは簡単にいえば地べたの形のこと。我々はこの地形の上で活動し生活しているのに、アーバンライフが定着したせいとか地形を見る目が一般に退化していると言わざるをえません。いわんや、地理学科の学生までも地形の見方が苦手？ 環境・文化を問わず地理的な現象の多くは地形の上に立脚しているのですから、地理学を勉強した中で地形のことを少しでも知っておこうよ、というのがこの実習の目標です。さらに地形を見ることによって、その土地がいろいろな災害から安全か否かという評価も可能なので、これは一生役にたつワザになるかもしれません。

講義の内容・授業スケジュール

実習の内容として、空中写真判読、現地調査に重点を置きます。空中写真判読は、各種地形形態の写真上での把握のこと。難しそうに思うかもしれませんが、まずやってみることが肝心で、あとは「習うより慣れる……」でしょう。現地調査については、休日を利用して地形調査の巡検を2~3回程度行い、現地における地形の実測と、地形を構成する物質(とくに第四紀地質)の露頭調査など、これもやってみましょう。

履修上の留意点

地形学、地球物理学、第四紀学などの地形に関する講義は、同時に履修することが望ましいが、ただし各自の都合によって履修できない場合は仕方ないでしょう。また、空中写真実地視については経験済みかもしれませんが、もう一度、コツを手ほどきします。

成績評価の方法

空中写真判読図・巡検レポートなどにより評価。

教科書

テキストは使用しない。

参考書等

参考書は実習中に指示します。

その他

とにかく地形を敬遠せずに、まずはやってみなければ話にならないよ。

地理

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会地理学	宮口 侗 迪	地文・環境2・3・4選	4

講義のねらい

社会地理学は、人間集団が、蓄積された文化を背景に、どのような空間的状況を主体的に生み出してきたかを議論する、地理学の中でもホットな分野であると考えている。この講義では、都市化の中で衰退的状況にあると一般に見られている日本の農山村地域にどのような動きがあり、どのような発展が考えられるかを、実例を踏まえて論じたい。そしてその前提として、世界の農村の多様性、日本の農村のオーソドックスな姿とユニークな姿を、文化地理的に理解してもらおう努める。

講義の内容・授業スケジュール

前期は日本の農山村がどのように歩んできたかを、諸外国との対比の上で説明し、経済成長期を経て、都市化の中でどのような変容を示してきたかを述べる。後期はその延長上に、農山村地域の活性化のためにどのような思考が必要かを、手順を追って述べたい。

履修上の留意点

自著の教科書を使用するが、話す内容はかなりオリジナルなものである。出席して直接聞くことが必要である。

成績評価の方法

前期は授業中に見せた写真やビデオについてレポートを課し、後期は最後の授業に試験をして総合的に評価する。

教科書

宮口著『地域を活かす-過疎から多自然居住へ-』(原書房) 2,800円

参考書等

宮口著『地域づくり・創造への歩み』(古今書院) 2,300円

科目名	担当者名	配当学科	単位
外書講読	佐藤 哲夫	地文・環境2・3・4選	4

講義のねらい

この授業では、英文の地理資料を読み、地理でよく用いられる英語に親しみます。英語で地理の知識を広げる楽しさを知ってもらいたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

初めに使うテキストは、タイを紹介する子供向けの本の英文で、中学生でも理解できる程度のやさしい英語で書かれています。そこで用いられている表現を、完全にマスターすることが、最初の目標です。参加者にワンセンテンスずつ逐次訳をしてもらい、重要な部分に解説を加えながら読み進めます。順不同で毎回少なくとも1度はあてます。英作文の添削によってその英語表現を身につけることにも心を配りたいと思います。

その後用いるテキストには、中学生が使う日本地理の教科書の英訳本を予定しています。内容が身近で、英語もあまり難しくないので、語彙を増やしながなるべく速く読むことを目標にします。日本の自然についての章から読み始め、歴史、文化、産業、人口などの章を読みます。

最後は地理学の学術論文または専門書の読解に挑む予定です。

履修上の留意点

下の文章は最初に用いるテキストのイントロダクションです。この意味が理解できる程度の英語力を持っている諸君を、受講対象者として想定します。

We asked a classroom of Thai children to list three things about Thailand, that they would like other foreign children to know. The numerous replies were collected and the most popular topics were selected for this book.

This book presents interesting and unique information on Thai customs, history and rich culture. It provides an insight into the people, architecture and festivals, in a simple written style that can be easily understood. Discover Thailand and immerse yourself in the exotic nature and mysteries of the Kingdom of Thailand, the Land of Smiles.

毎回必ず、英和辞書を持ってきてください。電子辞書は望ましくありません。

成績評価の方法

成績は出席（60%）と英作文などの小課題（40%）で評価します。定期試験はしません。またレポートによる救済もしませんので、注意してください。

教科書

テキストはコピーして配布します。最初のテキストの出所は下記のとおりです。
Jennifer Sharples *Thailand—Asia for young readers*, 1997 Success Media.

地
理

科目名	担当者名	配当学科	単位
気候学	中村 和郎	地文・環境2・3・4選	4

講義のねらい

気候学の基本的な諸概念を学習し、世界と日本各地の気候現象を理解できるようにする。大気の物理学というよりは、大気現象を中心とした地理学に近づけたい。

講義の内容・授業スケジュール

大気の構造、太陽放射と気温、大気中の水蒸気と降水、
気圧と風、大気大循環、気候変化、
世界の気候、日本の気候、気候区分

履修上の留意点

提出期限に遅れたレポートは受け取らない。

成績評価の方法

時々実施する出席調査を兼ねた小テストと、後期の試験によって評価する。

参考書等

高橋浩一郎・山下洋・土屋清・中村和郎『衛星でみる日本の気象』（岩波書店）
中村和郎・木村竜治・内嶋善兵衛『日本の気候』（岩波書店）
中村和郎『雲と風を読む』（岩波書店）
矢澤大二『気候地域論考』（古今書院）
吉野正敏ほか編『気候学・気象学辞典』（二宮書店）

科目名	担当者名	配当学科	単位
気候学実習(後期)	なかむらかずお 中村和郎	地文・環境2・3・4選	1

講義のねらい

「気候学」の講義で学ぶ知識を確かなものとする技術を習得し、自分で研究計画を立てて気候現象解明の研究ができるようになることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

気象観測：測器の取扱い 観測計画 観測実施
気候統計：各種統計量の計算
気候現象の解析：地上天気図 高層天気図 断熱図

履修上の留意点

「気候学」の講義を履修していることが望ましい。

成績評価の方法

出席と平常の学習態度、課題の提出によって評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
水文学	ながぬまのぶお 長沼信夫	地文・環境2・3・4選	4

講義のねらい

地理学の一分野でもある水文学の基本的な見方・考え方、水文環境の現状などについて講義する。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容の概要は次に示す通りである。
前期：1) 水の科学としての海洋学、陸水学、水文学：地理学的立場から水圏科学の現状について概説する。
2) 地球上の水循環と水量：地球上の水の一部は常に循環している。その循環過程と水量、さらに地球上の水の総量などについて概説する。
3) 陸地における水の基本的な在り方：陸水は、それぞれの場によって河川水、湖沼水、地下水などに区分することができる。そこで河川・湖沼・地下水の存在状況などについて概説する。
後期：4) 水文学の中心概念である水収支の見方・考え方：横浜市域などを事例に、降水～流出の過程を水文調査で得られた資料を基に言及する。
5) 水と地域と人間活動：横浜・川崎市域や南西諸島などを事例に、水環境の現状とその問題点について水文学的立場から考える。

履修上の留意点

選択科目であるため、水文学に興味ある学生諸君の受講を希望する。

成績評価の方法

授業期間内に2～3回程度の筆記試験を実施し評価する。

教科書

地学団体研究会編『地球の水圏—海洋と陸水—』（東海大学出版会）2,625円

参考書等

講義中に適時指示する。

その他

必要に応じて、教材プリントの配布やOHPなどを使用する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
水文学実習(前期)	なが 長 ぬま 沼 のぶ 信 お 夫	地文・環境2・3・4選	1

講義のねらい

水文的な関係資料を基に、図表の作成・検討などを行う。また、水文資料が整った地域を巡検し、水文地理学的な調査・研究方法の一端を学習する。

講義の内容・授業スケジュール

前半は基本的な水文学的資料—たとえば降水量、河川流量、地下水位、水質など—を用いて、その資料の整理・検討を行い、さらに図表の表現方法と作成、読み方などを学習する。後半は日帰り可能な小流域の水文資料を用い、現地見学と討論を行う。現地見学は休日または土曜日に実施する。また、簡便な水質分析法についても実習する予定である。

履修上の留意点

半期(1単位)のため、基礎的な水文学実習となる。水文学に関心のある諸君の受講を望む。

成績評価の方法

評価は出席回数と提出物(レポートや図版)で行う。

教科書

教科書は特に指定しないが、水文資料などは当方で用意する。

参考書等

水野篤行『水質底質調査入門』1968(ラテイス)214頁
 山本莊毅『新版 地下水調査法』1983(古今書院)490頁
 山根一郎ほか『環境科学実験法』1984(博友社)237頁
 新井 正『水環境調査の基礎』1994(古今書院)168頁
 西條八東・三田村緒佐武『新編 湖沼調査法』1995(講談社)230頁

その他

図版などの作成には、製図器具が必要となる。
 なお、本格的な「水質分析」を習得したい諸君は、次年度の水文学実習の受講が望ましい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
人 口 地 理 学	え さき ゆう じ 江 崎 雄 治	地文・環境2・3・4選	4

講義のねらい

人口現象が社会問題として表出する際には、少子化、高齢化、過密・過疎といった形をとるが、これらの理解のためには、出生、死亡、移動に関する概念や諸指標を理解する必要がある。前期ではこれらに関する基礎的な学習をもとに、日本の人口問題に関する様々な論点について理解を深める。また、地域の人口問題を扱う際には、人口の地域分布変動にもっとも大きな影響を与える地域間の人口移動についての理解が不可欠である。そこで後期では、戦後日本における人口移動の動向を学ぶとともに、移動発生と社会経済的諸要因との関連性について理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

(前期)

〔人口分析の基礎〕人口学的方程式、人口構造の把握(性比、年齢構造)

〔少子化問題と出生の分析〕出生の指標(合計特殊出生率)、出生率の低下とその要因

〔人口高齢化と死亡の分析〕死亡の指標(生命表、平均寿命)、人口高齢化とその要因

(後期)

〔人口移動の概念とデータ〕人口移動の概念、人口移動データとその特徴

〔日本国内の人口移動〕戦後日本の人口移動の概観、地方圏と大都市圏の間の人口移動

〔日本人の居住地移動〕地方圏出身者の居住地移動プロセス、Uターン移動とその要因

〔将来人口の推計〕将来人口推計の理論、コーホート変化率法による人口推計の実際

履修上の留意点

あらゆる地域において、現在の人口ピラミッドの形は将来の地域人口のあり方を大きく規定する。例えば郊外のニュータウンにおいては今後急激な高齢化が不可避である。このような地域人口変化のメカニズムを本講義を通じて理解して欲しい。

成績評価の方法

授業時間内に複数回の試験を実施し、その結果に基づき成績評価を行う。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業時間内に適宜提示する。

地
理

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
歴 史 地 理 学 実 習 (後 期)	お だ まさ やす 小 田 匡 保	地文・環境2・3・4選	1

講義のねらい

歴史地理学の研究では、古い時代の史料を扱うことが必要になる。この科目では、歴史地理学の史料(あるいは研究対象)として利用されることの多い古地図に親しむことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

教科書として挙げた『江戸時代古地図をめぐる』には、全部で95枚の古地図が掲載されている。これらの古地図を、記載文字・地図表現などを頼りに、履修者が分担して読んでいく。その作業の中で、くずし字や古文書特有の表現に慣れる。あわせて、古地図に関する学習も行なう。

履修上の留意点

旧漢字の知識があることが望ましい。

成績評価の方法

成績評価は、出席状況・報告内容とレポートで行なう。無断欠席が3回になった段階で、単位不要と判断する。

教科書

山下和正『江戸時代古地図をめぐる』(NTT出版) 1,650円

参考書等

林英夫監修『増訂近世古文書解読字典』(柏書房) 2,524円

そ の 他

教科書が品切になって入手できない場合は、別の授業内容を考える。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地球物理学	柳田 誠 <small>やなぎ た まこと</small>	地文・環境2・3・4選	4

講義のねらい

この講義は地理学専攻の学生を対象として地球物理学のなかでも地理学や第四紀学に関連する分野について論じる。地球の構造や性質について触れ、プレートテクトニクス、地震、活断層、アイヌスタシーなどを説明する。いろいろな事象について、「なぜ？」を考える。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期1. 地球の構造／地球の大きさ、内部構造について説明し、それと地表に起こる出来事との関係を見る。地球の化学組成や物性（粘性）について説明する。
 2. プレートテクトニクス／地球表面のいろいろな地殻変動はプレートテクトニクスで合理的に説明できる。基礎的な知識について説明し、プレートテクトニクスが学問のなかで市民権を得てきた歴史を振りかえる。
- 後期3. 地震と火山／日本列島周辺に起こる地震について説明する。地震予知の現状を取り上げ、社会に対する地球科学の貢献についても考えてゆきたい。また、日本列島における火山とその活動について説明する。
 4. 活断層とは何か？／内陸部の浅い所で地震を発生させる活断層についても説明し、具体的な調査例を示す。
 5. 地球の年代／地球の年齢は？どうやって決まっているのか？月の年齢は？
 6. 山はなぜ高いか？／山はなぜ高いのか、いろいろな形をしているのはなぜか？高くしているのはなにか？なにが山を削るのか？いろいろと考えてみたい。

履修上の留意点

地形学、第四紀学を履修していることが望ましい。また、基本的な数式や元素記号は理解すること。

成績評価の方法

年度末におこなう筆記試験によって、講義内容が理解できているかどうかを検討し、評価を行う。講義内容が理解できていない場合は単位は認定しない。

教科書

授業中に紹介する

その他

OHP やスライドを多く使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
土壌地理学	漆原 和子 <small>うるし ばら かず こ</small>	地文・環境2・3・4選	4

地
理

講義のねらい

世界の地生態系の分布様式について述べ、大陸東岸の日本の地生態の特色がわかるようにすること。

講義の内容・授業スケジュール

前期は地生態系のうち、特に土壌の生成環境と土壌特性についてのべる。後期は世界の土壌、植生の分布様式、日本の中の地域差についてのべる。また世界的に人間活動、開発によって地生態系が破壊されている事例について述べる。

履修上の留意点

出席し、ノートをとること。教科書のみでは十分ではありません。

成績評価の方法

定期試験の成績を重視する。ときどき出席もとるので、その状況も加味する。

教科書

E. M.ブリッジズ著 永塚鎮男、漆原和子共訳『世界の土壌』（古今書院）3,800円

参考書等

その都度指示する

その他

講義

科目名	担当者名	配当学科	単位
生物地理学	しみず よしかず 清水善和	地文・環境2・3・4選	4

講義のねらい

現在、地球上には1000万種を越える生物が存在していると推定されている。これらの種の一つ一つが地球上で特有の分布を有している。これら種の分布は現在の様々な環境条件に規定されているのみならず、過去の環境の変化やその種のだどってきた進化の道筋を反映して定まったものである。一方、個々の種はバラバラに存在するのではなく、地域の歴史や環境条件のまとまりに応じて大小様々な生物地理区を形成している。生物の分布の裏側にはさまざまな情報が隠されているわけである。そこで、本講義では生物の分布をキーワードにして、その背景にある生物進化のプロセスや生物と環境との関わりについて、具体的な地域や生物グループを取り上げながら考えていく。また、生物を取り扱う上で必要な生物進化や分類学の基本的な知識を解説し、実際のフィールド・ワークに役立つように、生物図鑑の検索方法、植物標本の作り方、植生調査の方法などについても説明する。

講義の内容・
授業スケジュール

- | | |
|----------------|----------------|
| 第1章 生物地理学の基礎 | 第6章 絶滅 |
| (1) 「生物地理学」とは？ | (1) 絶滅の様式 |
| (2) 生物の分布と移動 | (2) 大量絶滅 |
| (3) 進化のメカニズム | (3) 大型哺乳類の絶滅 |
| (4) 生態系とニッチ | (4) 人為による絶滅 |
| | (5) 絶滅と希少性 |
| 第2章 分類体系 | 第7章 大陸移動と生物分布 |
| (1) 学名と分類階級 | (1) プレートテクトニクス |
| (2) 生物五界説 | (2) ゴンドワナ起源の生物 |
| (3) 種の定義と属性 | (3) 南米生物相の発展 |
| (4) 分類の方法 | (4) ヒマラヤ造山 |
| 第3章 区系生物地理学 | (5) 魚類の進化と分布 |
| (1) 分布パターンと地理区 | 第8章 氷河期と生物分布 |
| (2) 世界の生物地理区 | (1) 氷期と気候変動 |
| (3) 日本の生物地理区 | (2) 後氷期の生物移動 |
| (4) 分布境界線と移行帯 | (3) 海面変動と生物分布 |
| 第4章 生態生物地理学 | 第9章 大洋島の生物 |
| (1) 世界の気候帯 | (1) 大洋島と大陸島 |
| (2) 植生と温度指数 | (2) 長距離散布と定着 |
| (3) 世界の植生帯 | (3) 動的平衡モデル |
| (4) 日本の植生帯 | (4) 適応放散的種分化 |
| (5) 植物群落体系と植生図 | (5) 島症候群 |
| 第5章 系統生物地理学 | (6) 島大陸と古代湖 |
| (1) 分子時計の原理 | 第10章 帰化生物 |
| (2) 系統と分布 | (1) 人為的な生物の移動 |
| (3) 琉球列島の生物相 | (2) 帰化生物の影響 |
| | (3) 家畜の野性化 |

地
理

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

試験、レポート、出席を勘案して評価する。

教科書

特に定めない。

参考書等

章ごとに適宜紹介する。

その他

講義で必要な図表は適宜プリントにして配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
計量地理学実習(前期)	つち なに とし はる 土 谷 敏 治	地文・環境2・3・4選	1

講義のねらい

今日、多くのデータを統計的・計量的方法を用いて、客観的に分析するためには、コンピュータを活用できることが前提条件となっている。本実習では、パーソナルコンピュータをベースとして、これらの分析手法を活用できるようになるため、基本的なソフトウェアの使用方法を習得するとともに、計量地理学の学習の準備をすることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

次のようなスケジュールに基づいて、実習を進める。

1. Microsoft Excel の使用方法
2. データの入力方法
3. データの加工方法
4. 統計的分析方法
5. グラフ作成方法
6. Adobe Photoshop の使用方法
7. 統計地図作成方法
8. Microsoft Power Point の使用方法
9. コンピュータによるプレゼンテーション

履修上の留意点

計量地理学の受講を希望しているが、Microsoft Excel・Power Point・Adobe Photoshop を使用して、統計的分析やグラフ・地図作成・プレゼンテーションができない学生を対象としている。これらのソフトウェアを十分活用できる学生は受講の必要がない。また、コンピュータの基本操作や Microsoft Windows の操作を習得していることを前提とする。ただし、これらの未習得学生の受講も可能とするため、未習得者は必ず第1回目の授業に出席すること。実習科目であるため、毎回の出席と課題の提出が不可欠である。

成績評価の方法

各課題を得点化して合計し、さらに出席状況を加味して評価する。

教 科 書

とくに指定しない。

参 考 書 等

駒澤大学総合情報センター『KOMAnet 利用ガイド』

そ の 他

教場の関係で受講生を制限することもあるので、4月第1回目の授業に必ず出席すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
測 量 学	田 中 靖 <small>たなか やすし</small>	地文・環境2・3・4選	4

講義のねらい

測量学は、地球表面の任意の点の位置関係を正確に把握する技術を研究する学問である。しかし最近では、旧来の「測る」技術にとどまらず、空間データを効率的にマネジメントすることも含めて「空間情報工学」としてその範囲を広げている。本講義では、測量の基礎から国土数値情報の素養を得ることまでを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|---------|---------------------------|
| 0. 基礎数学 | 5. 距離の測定 |
| 1. 地球の姿 | 6. 水準測量 |
| 2. 誤差論 | 7. GPS 測量 |
| 3. 地理座標 | 8. 空中写真測量・空中写真判読 |
| 4. 角測量 | 9. GIS (デジタルマッピングと国土数値情報) |

それぞれの項目に2~3時限程度をあてる予定。年5回程度課題を出すので必ず提出すること。

履修上の留意点

この講義は国家資格である測量士補取得(国家試験免除)のための必修科目である。したがって成績評価は厳しい。高校教科書レベルの数学(特に三角関数、対数および確率・統計)を十分に復習しておくこと。

成績評価の方法

学年末試験の点数で評価する。ただし、課題を提出していない場合には、試験の点数から未提出分を差し引く。

教科書

小田部和司著『図解 土木講座「測量学」(第二版)』(技報堂出版(株)) 3,200円+税

参考書等

村井俊治著『空間情報工学』(日本測量協会) 2,286円(税別)

その他

授業は講義中心に行うが、年間数回の課題実習を行う。

地 理

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
第 四 紀 学	鈴木毅彦 <small>すずき たけひこ</small>	地文・環境2・3・4選	4

講義のねらい

第四紀は最近200万年間のことをさす。この地質時代は人類、動植物、気候、地形など多くの事象が現在みられる姿を成立させた時代でもある。このような最近の地質時代を理解することは人類の動向も含めた地球の将来を予測することにもつながる。

本講義のねらいはこのような問題意識のもとに、第四紀の概要を理解することである。とくに全地球的な規模での歴史と日本列島特有な第四紀の諸現象についての理解を深めることに目的をおく。

講義の内容・授業スケジュール

講義前半では第四紀の基礎的概念を全般的に解説してゆく。主なテーマは第四紀の定義、氷河作用、地形・地質層序、火山灰編年、人類、動植物、年代測定などである。後半では日本列島の第四紀の主要な課題である、火山灰編年と第四紀地殻変動に焦点をあて、火山の地形と噴火、活断層、山地形成史などのテーマをとりあげる。

履修上の留意点

受講の際に高校の社会科で使用される地図帳を持参されたい。

成績評価の方法

おもには前期末のレポートと後期末の筆記試験

参考書等

教科書は特に指定しないが、参考書として、日本第四紀学会編『百年・千年・万年後の日本の自然と人類』(古今書院) 2,233円をあげる。それ以外の参考書は講義中に紹介する。

その他

講義では、ビデオ、OHP、液晶プロジェクターを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理学特講Ⅰ(後期)	はしづめ なおみち 橋 詰 直 道	地文・環境2・3・4選	2

講義のねらい

今日わが国の都市が抱える諸問題について「都市計画と社会資本整備」という視点から考える。ここでは特に、都市生活者のための生活環境整備手法の歴史とその課題について紹介する。

講義の内容・授業スケジュール

今年の講義(半期=後期)内容は、次の項目を予定している。①②都市計画(都市計画と地理学・都市計画の概要)、③④東京の都市計画史(戦前・戦後)、⑤⑥都市緑地の整備と保全(生産緑地・公園緑地計画と緑地保全政策)、⑦⑧エコ・シティ(環境共生都市・住宅)、⑨⑩英国の田園都市運動(ガーデンシティ・ガーデン・サバープ)、⑪~⑬郊外住宅地建設(アメリカ・日本の郊外住宅地建設史)、⑭まとめ(テスト)
これらの項目について最近の研究成果を中心に概説する。

履修上の留意点

「都市地理学」の単位を取得した後の受講が望ましい。出席状況や授業への参加状況も重視する。

成績評価の方法

定期試験の成績及び授業への出席日数が基準以上であるかどうかなどを総合的に評価する。

教科書

特に定めない。

参考書等

五十嵐敬喜・小川明雄『都市計画』(岩波新書)580円
五十嵐敬喜・小川明雄『都市再生を問う』(岩波新書)740円
越澤明『東京都市計画物語』(ちくま学芸文庫)1,300円
石田頼房『都市計画と都市生活』(自治体研究社)700円
その他の参考書や論文は授業でテーマごとに紹介する。

その他

講義は、参考書と配布プリント及びOHP、PC画像を利用して行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理学特講Ⅱ(前期)	ながぬま のぶお 長 沼 信 夫	地文・環境2・3・4選	2

講義のねらい

水文地理学的な視点から地中に存在する水—地下水、温泉(水)—について講義する。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容の概要は次に示す通りである。
1) 水資源としての地下水の在り方：一般的な特徴
2) 地下水の存在状態：地下水の流動、水理、水質など
3) 地下水の存在量と使用量
4) 地下水を取り巻く環境問題：開発と保全、地下水利用に伴う障害(地下水位の低下、塩水化、地盤沈下、水質汚染など)
5) 温泉の定義、温泉法、温泉の成因など
6) 温泉の存在状態：温泉の3要素、水質など
7) 温泉利用と地熱開発の諸問題

履修上の留意点

地下水や温泉に興味のある学生諸君の受講を希望する。また、選択科目の「水文学」を同時に履修することが望ましい。

成績評価の方法

授業期間内に2回程度の筆記試験を実施し評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

必要に応じて適時指示する。

その他

受講者が少人数の場合、講義のみでなくゼミ形式で実施することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理学特講Ⅲ	さわ どり さだ お 澤 渡 貞 男	地文・環境2・3・4選	4

講義のねらい

文学部地理学科学生の学問的専門履修科目の応用と実践を意図して通年課程で設置された「特講Ⅲ」は、観光産業の中核である運輸・宿泊・旅行業に共通する国家資格「旅行業務取扱主任者試験」の受験を目指す学生への補助的講座として設置されたものである。

講義の内容・授業スケジュール

主任者試験には一般と国内の区別があり、受験科目は、①旅行業法及びこれに基づく命令についての知識 ②旅行業約款、運送約款及び宿泊約款 ③国内旅行実務（運賃料金、観光地理、旅行実務） ④海外旅行実務（国内と同項目に加え出入国関連法令及び手続実務、観光英語）で、国内は上記①②③科目で例年9月に実施、一般は上記全科目で10月に実施される。これを踏まえ、一般及び国内に共通する「業法」「約款」については、それらの理解に必要な関連事項も含めて前期に重点的に講義し、実務については「旅程管理業務（添乗員業務）」を軸として旅行業界の業務内容を後期に行い、旅行業界をとり巻く課題をもってまとめとする。

履修上の留意点

業法約款の理解には旅行業の現状理解が不可欠との立場から、冒頭に業界の現状等について概括的な講義を行うので必ず出席のこと。また、各自の経験に照らして考えると理解し易いので、日頃から業法約款的な見方で接するように心がけてほしい。受験科目の勉強については、学生の専門的・集中的学習を通信講座或いは専門講座により受験対策を講じられるようお勧めする。

成績評価の方法

前期及び後期の出席率並びに定期試験成績をそれぞれ評価のうえ、単位付与並びに成績評価とする。なお一般国内旅行業務取扱主任者試験合格者には無条件4単位付与とする。

教科書

中央書院編集部『一般または国内旅行主任者試験合格ハンドブック』2004年版（㈱中央書院）東京都千代田区猿樂町2-8-11

参考書等

業法・約款は上記教科書に編纂されている。時刻表、旅行業小六法、観光白書、旅行会社の制作する広告・宣伝印刷物。必要に応じプリント配布。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理学特講Ⅳ	やまがた たけし 山 縣 毅	地文・環境2・3・4選	4

講義のねらい

本講義の目的は、地理学を学習するために必要と思われる地質学の基礎的知識、技術を習得することにあります。具体的には下記のスケジュールにある事項を学習します。前半は講義が中心に、後半は実習が中心になります。後半には、休日に野外実習（日帰り）を行います（希望者のみ参加）。受講者に地層の観察、岩石の鑑定、地質図の読解の技術を身に付けて頂けるように、講義を進めていきます。

講義の内容・授業スケジュール

[前半]

1. 地質学概説（地相論、プレートテクトニクス論、プレリウムテクトニクス論）
2. 堆積岩・地層
3. 地質年代と絶対年代
4. 火成岩と火山活動
5. 変成岩
6. 地質構造（断層、褶曲、整合・不整合、地滑り、メランジュなど）
7. 日本の地質

[後半]

1. 岩石・主要造岩鉱物の肉眼・偏光顕微鏡による鑑定法
2. 地層の見方
3. 化石の処理、同定方法
4. 野外での岩石・地層の見方（日帰り野外実習を行います）
5. 地質図の読み方、書き方

成績評価の方法

レポートで評価を行います。

教科書

最新図表地学（浜島書店）770円 ISBN4-8343-4002-3C7344

その他

講義内容については、受講生の要望を取り入れていこうと考えています。講義時間外での質問、実習にも出来るだけお応えしていきます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理学特講Ⅴ	ひらい ふみお 平 井 史 生	地文・環境2・3・4選	4

講義のねらい

「オゾンホール」「エルニーニョ現象」「台風・集中豪雨」など社会的に関心の高い時事問題を題材とし、現象の空間的な把握や分布図の重ね合わせ等の地理学的手法を用いて分析していきます。卒業論文の主題選定に役立つ話題や切り口を多く提供することをめざしています。

講義の内容・授業スケジュール

題材として次のようなものを考えています。「季節風の交替と春秋の温度変化」「成層圏オゾンと有害紫外線」「梅雨の特性」「海洋・大気相互作用」「雷雲群とダウンバースト」「熱帯低気圧の雲画像判定」「スキー場の気候学」「スギ花粉飛散と気象条件」「都市の温暖化」など。

履修上の留意点

取り上げる題材によっては、選択科目の「気候学」「水文学」「都市地理学」「地図学」と関連の深い内容となります。講義レジュメについては、ウェブサイト事前に事前掲載する予定です。レポートなどの成果品は電子媒体での提出を求める場合があります。

成績評価の方法

作図実習の成果品、提出課題、筆記試験の内容で総合的に評価をします。

教科書

講義中に資料を配布する場合があります。

参考書等

必要に応じて講義中に指示します。参考ウェブサイトを示す場合もあります。

その他

インターネットを利用して海外のサイトから情報を収集する実習を計画中です。

地
理

Ⅱ 專 門 教 育 科 目

4 歷 史 學 科

歷

史

II. 専門教育科目

(4) 歴史学科

日本史学基礎演習	[平成15年度以前入学生：基礎歴史学]	〈熊本史雄〉	… 477
日本史学基礎演習	[平成15年度以前入学生：基礎歴史学]	〈湯浅隆〉	… 477
日本史学基礎演習	[平成15年度以前入学生：基礎歴史学]	〈中野達哉〉	… 478
東洋史学基礎学演習	[平成15年度以前入学生：基礎歴史学]	〈石井仁〉	… 478
東洋史学基礎学演習	[平成15年度以前入学生：基礎歴史学]	〈中村淳〉	… 479
西洋史学基礎演習	[平成15年度以前入学生：基礎歴史学]	〈大城道則〉	… 479
西洋史学基礎演習	[平成15年度以前入学生：基礎歴史学]	〈佐々木真〉	… 480
考古学基礎演習	[平成15年度以前入学生：基礎歴史学]	〈設楽博己〉	… 480
日本史概説	[平成15年度以前入学生：日本史概説Ⅰ（古代・中世）]	〈松本信道〉	… 481
日本史概説	[平成15年度以前入学生：日本史概説Ⅱ（近世・近代）]	〈出口宏幸〉	… 481
日本史概説	[平成15年度以前入学生：日本史概説Ⅱ（近世・近代）]	〈熊本史雄〉	… 482
東洋史概説	[平成15年度以前入学生：東洋史概説Ⅰ（古代・中世）]	〈渡辺惇〉	… 482
世界史概説	[平成15年度以前入学生：東洋史概説Ⅱ（近世・近代）]	〈石井仁〉	… 483
西洋史概説	[平成15年度以前入学生：西洋史概説Ⅰ（古代・中世）]	〈佐々木真〉	… 484
日本考古学概説	[平成15年度以前入学生：考古学概説Ⅰ（日本）]	〈酒井清治〉	… 485
外国考古学概説	[平成15年度以前入学生：考古学概説Ⅱ（外国）]	〈飯島武次〉	… 485
世界史概説	[平成15年度以前入学生：西洋史概説Ⅱ（近世・近代）]	〈井村行子〉	… 486
史学概論	〈伏島正義〉		… 487
日本史学史	〈湯浅隆〉		… 487
東洋史学史	〈中村淳〉		… 488
西洋史学史	〈佐々木真〉		… 488
考古学史	〈小柳美樹〉		… 489
演習Ⅰ	〈久保田昌希〉		… 489
演習Ⅰ	〈熊本史雄〉		… 490
演習Ⅰ	〈小林和幸〉		… 490
演習Ⅰ	〈瀧音能之〉		… 491
演習Ⅰ	〈中野達哉〉		… 491
演習Ⅰ	〈廣瀬良弘〉		… 492
演習Ⅰ	〈松本信道〉		… 492
演習Ⅰ	〈湯浅隆〉		… 493
演習Ⅰ	〈石井仁〉		… 493
演習Ⅰ	〈中村淳〉		… 494
演習Ⅰ	〈渡辺惇〉		… 494
演習Ⅰ	〈大城道則〉		… 495
演習Ⅰ	〈佐々木真〉		… 495

演	習	I	〈伏島正義〉	496					
演	習	I	〈飯島武次〉	496					
演	習	I	〈設楽博己〉	497					
演	習	I	〈酒井清治〉	497					
演	習	II	〈久保田昌希〉	498					
演	習	II	〈熊本史雄〉	498					
演	習	II	〈小林和幸〉	498					
演	習	II	〈瀧音能之〉	499					
演	習	II	〈中野達哉〉	499					
演	習	II	〈廣瀬良弘〉	500					
演	習	II	〈松本信道〉	500					
演	習	II	〈湯淺隆〉	501					
演	習	II	〈石井仁〉	501					
演	習	II	〈中村淳〉	502					
演	習	II	〈渡辺惇〉	502					
演	習	II	〈大城道則〉	502					
演	習	II	〈佐々木真〉	503					
演	習	II	〈伏島正義〉	503					
演	習	II	〈飯島武次〉	503					
演	習	II	〈酒井清治〉	504					
演	習	II	〈設楽博己〉	504					
考	古	発	掘	実	習	〈酒井清治・飯島武次〉	505		
日	本	史	史	料	講	読	I〔平成9年度以前入学生：日本史史料講読〕	〈瀧音能之〉	505
日	本	史	史	料	講	読	II〔平成9年度以前入学生：日本史史料講読〕	〈久保田昌希〉	506
日	本	史	史	料	講	読	III〔平成9年度以前入学生：日本史史料講読〕	〈中野達哉〉	507
日	本	史	史	料	講	読	IV〔平成9年度以前入学生：日本史史料講読〕	〈小林和幸〉	507
東	洋	史	史	料	講	読	I〔平成9年度以前入学生：東洋史史料講読〕	〈石井仁〉	508
東	洋	史	史	料	講	読	II〔平成9年度以前入学生：東洋史史料講読〕	〈藤谷光悦〉	508
西	洋	史	史	料	講	読	I〔平成9年度以前入学生：西洋史史料講読〕	〈大城道則〉	509
西	洋	史	史	料	講	読	II〔平成9年度以前入学生：西洋史史料講読〕	〈伏島正義〉	509
考	古	学	実	習	(写真)	〈塚原明生〉	510		
考	古	学	実	習	(測量)	〈古庄浩明〉	510		
考	古	学	実	習	(実測)	〈上敷領久〉	511		
考	古	学	実	習	(情報)	〈小柳美樹〉	511		
日	本	古	代	史	〈瀧音能之〉	512			
日	本	中	世	史	〈久保田昌希〉	512			
日	本	近	世	史	〈中野達哉〉	513			
日	本	近	代	史	〈小林和幸〉	513			
日	本	史	特	講	I (古代)	〈三舟隆之〉	514		
日	本	史	特	講	II (古代)	〈休講〉			
日	本	史	特	講	III (中世)	〈小松寿治〉	514		
日	本	史	特	講	IV (中世)	〈黒田基樹〉	515		
日	本	史	特	講	V (近世)	〈桜井邦夫〉	515		
日	本	史	特	講	VI (近世)	〈休講〉			
日	本	史	特	講	VII (近代)	〈熊本史雄〉	516		
日	本	史	特	講	VIII (近代)	〈休講〉			
古	文	書	講	読	I	〈廣瀬良弘〉	516		
古	文	書	講	読	II	〈休講〉			
古	文	書	学	〈松本信道・久保田昌希・小林和幸・中野達哉〉	517				

東洋史各説Ⅰ (古代史)	〈小林 惣 八〉	518
東洋史各説Ⅱ (中世史)	〈休 講 〉	
東洋史各説Ⅲ (近世史)	〈佐藤 文 俊〉	518
東洋史各説Ⅳ (近・現代史)	〈趙 軍 〉	519
東洋史各説Ⅴ (アジア諸民族史)	〈奈良 修 一〉	520
東洋史各説Ⅵ (中世史)	〈石田 肇 〉	520
東洋史特講Ⅰ (古代史)	〈休 講 〉	
東洋史特講Ⅱ (中世史)	〈石田 肇 〉	521
東洋史特講Ⅲ (近世史)	〈趙 軍 〉	521
東洋史特講Ⅳ (近・現代史)	〈藤谷 光 悦〉	522
東洋史特講Ⅴ (アジア諸民族史)	〈片岡 一 忠〉	523
東洋史特講Ⅵ (アジア諸民族史)	〈松本 弘 〉	524
西洋史各説Ⅰ	〈休 講 〉	
西洋史各説Ⅱ	〈庄司 啓 一〉	524
西洋史各説Ⅲ	〈長谷川 岳 男〉	525
西洋史各説Ⅳ	〈田中 美 穂〉	525
西洋史特講Ⅰ	〈伏島 正 義〉	526
西洋史特講Ⅱ	〈休 講 〉	
西洋史特講Ⅲ	〈佐々木 真 〉	527
西洋史特講Ⅳ	〈休 講 〉	
西洋史特講Ⅴ	〈大城 道 則〉	528
西洋史特講Ⅵ	〈休 講 〉	
西洋史特講Ⅶ	〈早川 理 穂〉	528
西洋史特講Ⅷ	〈休 講 〉	
考古学各説Ⅰ (西アジア・インド考古学)	〈近藤 英 夫〉	529
考古学各説Ⅱ (日本歴史時代)	〈休 講 〉	
考古学各説Ⅲ (東北アジア考古学)	〈千葉 基 次〉	529
考古学各説Ⅳ (西アジア考古学)	〈休 講 〉	
考古学特講Ⅰ (日本歴史時代)	〈酒井 清 治〉	530
考古学特講Ⅱ (日本歴史時代)	〈休 講 〉	
考古学特講Ⅲ (日本石器時代)	〈設楽 博 己〉	530
考古学特講Ⅳ (外国考古学)	〈休 講 〉	
考古学特講Ⅴ (旧石器時代)	〈上敷領 久 〉	531
考古学特講Ⅵ (環境考古学)	〈休 講 〉	
考古学特講Ⅶ (文化財・遺跡保存)	〈矢野 和 之〉	531
考古学特講Ⅷ	〈休 講 〉	
日本仏教史	〈松本 信 道〉	532
日本文化史	〈吉田 政 博〉	532
西洋文化史	〈石田 恵 子〉	533
有職故実	〈近藤 好 和〉	533
日本民俗学	〈谷口 貢 〉	534
歴史地理学	〈小田 匡 保〉	534
人文地理学概説	〈小池 とみ子〉	535
地誌学	〈新井 祥 穂〉	535
地誌学	〈川元 豊 和〉	536
地誌学	〈橋詰 直 道〉	536
哲学史	〈山口 祐 弘〉	537
中国歴史文学	〈田熊 信 之〉	537
仏教美術	〈村松 哲 文〉	538

西	域	美	術	史	〈松	平	美和子〉	538
美	術	史	概	説	〈北	野	良枝〉	539
ラ	テ		ン	語	〈上	野	勝広〉	539
ギ	リ	シ	ャ	語	〈長	谷川	岳男〉	540

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本史学基礎演習	くまもと ふみお 熊本史雄	日本史1必	4
基礎歴史学		歴史1必	

講義のねらい

大学で歴史学を専攻していくうえで基礎となる、「歴史を読み解く作法」を学んでいく。

講義の内容・授業スケジュール

公文書史料や外交官・政治家・軍人の日記などを講読する。また、それら素材を複合的に組み合わせ活用することを通じて、史料批判の方法、歴史認識の生成とその意味、などについて考えていく。

今年度は、東郷茂徳『時代の一面 - 大戦外交の手記 -』（中公文庫、1989年、720円）をテキストとして使用する。

履修上の留意点

歴史には「間」がある。「暗記する歴史」ではなく、「考える歴史」、「発見する歴史」を身につけるきっかけをつかんで欲しい。

成績評価の方法

後期末に課すレポートと授業態度を総合的に勘案して判断する。

教科書

東郷茂徳『時代の一面 - 大戦外交の手記 -』（中公文庫）1989年 720円

参考書等

適宜紹介する。

その他

基本的に演習形式で行うが、解説・補足説明などを随時織り交ぜていく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本史学基礎演習	ゆあさ たかし 湯浅隆	日本史1必	4
基礎歴史学		歴史1必	

講義のねらい

大学で日本史学を専攻していくための基礎となる事項を述べていく。高等学校までは学ぶこと、すなわち既存の体系を知識・理解として習得することに努めてきた。大学では、これまでの学習を承けて研究すること、すなわち自ら問題点を見つけ自ら考えて解き明かし、他者に説得力を伴った説明をすることが必要になる。このために必要な能力は、3年生までに配当されている各科目を通して履修することになる。

この講義では、上記への準備課程として、大学の歴史学へ無理なく馴染んでいけるよう、歴史学への接し方を紹介するとともに、討議をとおして理解を身につけていこうとする。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) (1~3) 研修旅行関連 (4~6) 歴史の叙述 (7~8) 論文を読む
(9~10) 研究発表を聴く (11~13) 史料の保存と活用
(後期) (14~15) 歴史事象への先入観と再検討 (16~19) 史料の講読 (食べ物・時間)
(20~23) 現代社会 (24~25) 世界との関係 (26) まとめ

履修上の留意点

大学の歴史学には、戸惑うことが多いと思う。疑念・戸惑いは、授業の内外で早め早めの解決を図ること。

成績評価の方法

いくつかの事項については、授業中に各自の見解を尋ねる。夏期休業中には課題を、後期末には教場試験かレポートを課す。評価はすべてを合算して行なう。

教科書

特定のものを使用せず、プリントを配付する。

参考書等

その都度、提示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本史学基礎演習 基礎歴史学	なかのたつや 中野達哉	日本史1必 歴史1必	4

講義のねらい

歴史研究の現状について紹介し、大学で学び研究する「歴史学」がいかなる学問であるか、各自が認識し、考えることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

高校の教科書の記述の変化、史料や先行研究の調べ方、歴史と歴史学・歴史研究、日本人の歴史観、自国史(日本史)と世界史、時代区分の再検討、地域と歴史研究など、いくつかのテーマを設け、それについて講義する。なお、夏期休暇にあたってはレポートを課す。

履修上の留意点

授業は必ず出席すること。遅刻をしない。

成績評価の方法

夏期休暇中・年度末などに課すレポートによる。出席状況・授業への態度も重視する。

教科書

必要な資料を授業時に配布する。教科書はなし。

科目名	担当者名	配当学科	単位
東洋史学基礎演習 基礎歴史学	いし 石井 仁	外国史1必(東洋史) 歴史1必	4

講義のねらい

東洋史(中国史)を専門に研究するための、基礎的・予備的な知識と作業方法を修得することを目的とします。前期は、東洋史学の生い立ちから、現在までの研究の歩みを紹介しながら、研究の視点と方法などについて解説します。後期は、漢文史料(『史記』ほか)の読解などもまじえつつ、中国の歴史と歴史書(その他の史料)について理解を深めます。

講義の内容・
授業スケジュール

(前期) (1~4) 東洋史学とは何か (5~8) 戦後日本の時代区分論争
(9~13) レポート・論文の書き方ほか
(後期) (14~16) 中国人の歴史意識と歴史認識 (17~19) 司馬遷の『史記』
(20~23) 二十四史その他の史料について
(24~26) 工具書(=研究のための実用書)の使い方ほか

履修上の留意点

それぞれ初心に立ち帰り、なぜ歴史が好きなのか、なぜ歴史を学びたいと思ったのか、などについて考えましょう。

成績評価の方法

学期末試験・レポート(数回)の成績、および出席状況を総合的に評価します。

教科書

とくに使用しません。配付プリントをもとに講義を進めます。

参考書等

宮崎市定『中国史(上・下)』(岩波全書)
谷川道雄編『戦後日本の中国史論争』(河合文化教育研究所)
堀敏一『中国通史-問題史とみる』(講談社学術文庫)
川勝義雄『中国人の歴史意識』(平凡社ライブラリー)
など。その他の参考文献については、講義で紹介いたします。

その他

講義形式で進めますが、適宜質問をしたり、漢文史料を訓読してもらうこともあります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
東洋史学基礎演習	なかむらじゅん	外国史1必(東洋史)	4
基礎歴史学	中村淳	歴史1必	

講義のねらい

・学校教育における日本史・世界史、あるいは歴史小説などと、大学で学ぶ歴史・歴史学との間に横たわる、歴然としたそして大きな違いを理解する。
 ・1年間かけて、大学においてアジア史・東洋史学を学び、研究していく上で必要となる基本的な知識と技術を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

おおむね以下の内容を予定している。
 ・なぜ4年間なのか——カリキュラムの理解
 ・論文はどうやって出来るのか
 ・調べ方その1——図書館編
 ・調べ方その2——インターネット編
 ・基本「工具」の紹介
 ・東洋史学の歴史
 授業は、基本的事項を説明する講義形式と、実際に作業を行ないその結果を報告してもらう演習形式との二本立てで進める。

履修上の留意点

ともかくにも出席重視。4月1回目の授業から必ず出席すること。また随時、レポート等を課す。

成績評価の方法

出席点にレポート等の結果を加味して、総合的に判断する。

教科書

教科書はとくに指定しない。必要な資料は配付する。授業中に随時、参考書を紹介する。

参考書等

随時、ビデオなどを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋史学基礎演習	おおしろみちのり	外国史1必(西洋史)	4
基礎歴史学	大城道則	歴史1必	

講義のねらい

大学で西洋史学を学習し、4年間で立派な卒業論文を仕上げるために必要な、基礎的な技術を習得することを目的とした授業である。

講義の内容・授業スケジュール

1年間を通じて、以下のような内容を扱う。
 a) 図書館の使い方
 b) インターネットの利用方法
 c) 歴史学に関する文献(書籍や研究論文)の探し方
 d) レポートの書き方と提出されたレポートの添削
 e) 授業での発表
 f) 外国語文献の講読

履修上の留意点

西洋史コースの出発点となる授業であり、履修者にレポートの提出や発表などを行ってもらい、担当教員との交流の中で必要な技術や知識の習得を目指す。そのため、受講生の授業への積極的な参加が重要であり、必ず毎時間出席すること。原則として欠席は認めない。

成績評価の方法

成績は授業中の発表やレポート、必要に応じて行うテストの結果などを総合し、判定する。

教科書

教科書は特に指定しない。

参考書等

必要に応じて指示する。

その他

授業は担当教員による解説と、それに対応して受講生が行う具体的な作業を繰り返すことにより進行する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋史学基礎演習	ささき まこと 佐々木 真	外国史1必(西洋史)	4
基礎歴史学		歴史1必	

講義のねらい

大学で西洋史学を学習し、4年間で立派な卒業論文を仕上げるために必要な、基礎的な技術を習得することを目的とした授業です。

講義の内容・授業スケジュール

1年間を通じて、以下のような内容を扱います。

- a) 図書館の使い方
- b) インターネットの利用方法
- c) 歴史学に関する文献(書籍や研究論文)の探し方
- d) レポートの書き方と提出されたレポートの添削
- e) 授業での発表
- f) 外国語文献の講読

履修上の留意点

西洋史コースの出発点となる授業であり、履修者にレポートの提出や発表などを行ってもらい、担当教員との交流の中で必要な技術や知識を習得してもらいます。そのため、受講生の授業への積極的な参加が重要であり、必ず毎時間出席して下さい。原則として欠席は認めません。

成績評価の方法

成績は授業中の発表やレポート、必要に応じて行うテストの結果などを総合し、判定します。

教科書

教科書は特に指定しません。

その他

授業は担当教員による解説と、それに対応して受講生が行う具体的な作業を繰り返すことにより進行します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
考古学基礎演習	したら ひろみ 設楽 博己	考古学1必	4
基礎歴史学		歴史1必	

講義のねらい

日本考古学の諸問題 かつて、考古学は文献史学の補助学と考えられてきた。しかし、考古学は発掘という独自の調査方法によって掘り出された遺構や遺物を、型式学や層位学をはじめとする考古学的方法論にもとづいて実証的に研究することにより、文字のない人類の歴史はいうまでもなく、歴史時代の人々の暮らしや社会を復元するうえでもきわめて重要な役割を演じてきている。

本講座では、考古学の基礎になる方法論がどのようなものかみっちり勉強するかたわら、そうした方法論によって文字のないあるいは希薄な時代である旧石器・縄文・弥生・古墳時代がどのように描かれているのか、研究の最前線を紹介する。

講義の内容・授業スケジュール

前期(4・5月)は、旧石器時代の研究を前期・中期旧石器捏造問題をまじえて紹介し、現在それを乗り越えるためにどのような研究がおこなわれているのか論じる。

前期(6・7月)は、縄文農耕など生業研究、三内丸山遺跡などの事例からみた集落論、抜歯や装身具から考える社会論などに焦点を当て、縄文時代の諸問題を考える。

後期(9・10月)は、稲作の始まりの問題、青銅器や鉄器の生産と流通、墓の副葬品からみた特権階級の成長、といった弥生時代の諸問題を考える。

後期(11月以降)は、前方後円墳成立の問題、埴輪をめぐる諸問題、初期国家論など古墳時代の諸問題を論じる。

履修上の留意点

一見むずかしそうな講義内容だが、パワーポイントなどを使って分かりやすく講義するので心配なく。講義中の私語は厳禁。真剣に聞いている者の迷惑になる者は退席を願うので要注意。

成績評価の方法

年度末の試験による評価。講義をしっかりと聞いていれば大丈夫。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本史概説	まつもと のぶ みち 松 本 信 道	日本史1必	4
日本史概説Ⅰ (古代・中世)		外国史・考古学1・2・3・4選必	
		歴史1・2・3・4必(日本史) 歴史1・2・3・4選必(日本史以外)	

講義のねらい

日本の古代・中世史の歴史的展開の過程を講述することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

本講座では、飛鳥・奈良・平安・鎌倉・室町・戦国時代の政治・経済・文化などの諸様相について、関連史料の具体的な解釈を通じて概観したい。

履修上の留意点

受動的でなく、主体的に学習してほしい。

成績評価の方法

前期・後期の2回の試験の総合点で成績を評価する。

参考書等

『史料による日本の歩み 古代編』(吉川弘文館)
青木和夫『日本古代史』(日本放送出版会)
笹山晴生『日本古代史講義』(東京大学出版会)
佐々木潤之介『概論 日本歴史』(吉川弘文館)

その他

授業の方法は講義形式で進める。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本史概説	てぐち ひろ ゆき 出口 宏 幸	考古学1・2・3・4選必	4
日本史概説Ⅱ (近世・近代)		歴史1・2・3・4必(日本史)	
		歴史1・2・3・4選必(日本史以外)	

講義のねらい

日本の歴史を概説的に学ぶことにより、各時代の社会のあり方について考える。その際、できるだけ現代社会との対比をすることで、歴史上の問題をより身近な感覚で捉えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

古代～近・現代へと続く時代の流れには、いくつもの画期があり、社会的にも様々な変化を遂げてきた。そこで、日本の歴史を概説的に学び、その展開過程を考えることで、各社会を有機的に捉えたい。なかでも、近代社会の直前に位置し、幕藩体制が260年もの間続いた近世社会に注目し、その多様性と独自性などについて、時間が許す範囲で詳しく言及したい。

また、歴史を理解するには、政治・経済・文化、あるいは都市と農村など、様々な角度からのアプローチが可能であるが、できるだけその時代に生きた人々に焦点をあて、その生活をピットに描くことに努めたい。

歴史上に起こった事件や、いろいろな問題の背景を探りながら、その時代を追体験する。そのことが年代や事件を記憶することから、一歩踏み込んだ歴史学の世界への入口になれば、と思う。

成績評価の方法

試験80% 平常点20%

教科書

特に指定しない。必要な資料はコピーを配布する。

参考書等

適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本史概説	くまもと ふみお 熊本史雄	考古学1・2・3・4選必	4
日本史概説Ⅱ (近世・近代)		歴史1・2・3・4必(日本史)	
		歴史1・2・3・4選必(日本史以外)	

講義のねらい

幕末から明治、大正、昭和を経るなかで、近代日本は国民国家を如何にして形成・発展させてきたのか、その過程について政治、外交、文学、ことば（「国語」の形成）などを切り口に講述する。これら各テーマは、近代日本が西洋を中心とした外の世界との接触において、その対向たる「内」の問題として還元されていったものである。

本講義では、そうした諸相における個々の検討を積み重ねることによって、「対外関係」という視点から全体を通して近代日本像の提示を試みる。

講義の内容・授業スケジュール

前期：近代日本の西洋体験／「国語」の創出／「国語」の海外進出と植民地政策
後期：近代日本の対外政策／政党政治の形成・展開と崩壊

履修上の留意点

歴史には「問」がある。「暗記する歴史」ではなく「考える歴史」、「発見する歴史」を。

成績評価の方法

前・後期2回の定期試験の成績、および出席状況で評価する。

教科書

とくに指定しない。

参考書等

伊藤 隆『昭和史をさぐる』（朝日文庫）1991年
中野日徹『書生と官員－明治思想史点景－』（汲古書院）2002年
細谷千博『日本外交の軌跡』（NHKブックス）1993年
三好行雄編『漱石文明論集』（岩波書店）1986年
E. H. カーク著 清水幾太郎訳『歴史とは何か』（岩波新書）1962年

その他

基本的に講義形式で進め、必要に応じてレジュメと史料を適宜配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
東洋史概説	わたなべ あつし 渡辺 惇	外国史1必(東洋史)	4
東洋史概説Ⅰ (古代・中世)		外国史1必(東洋史) 歴史1・2・3・4必(東洋史)	
		歴史1・2・3・4選必(東洋史以外)	

歴史

講義のねらい

東洋史の概説であるからには、広くアジア全域にわたって言及すべきであるが、時間的にはとても無理である。それゆえ、本年度は主として中国を中心とする東アジア史を中心に講義することにする。

講義の内容・授業スケジュール

1. 黄河文明の発生
2. 古代、漢文化の成立とその拡大
3. 中世、唐王朝と国際文化の展開
4. 近世、征服王朝と漢民族の対立抗争の時代（宋・元・明・清）
5. 近代、欧米列強による植民地化と中国民族の独立、革命運動の時代
6. 現代、中華人民共和国の時代

東アジア史の特色は、(1)北方民族と中国農耕民族との対立抗争と交流、(2)漢民族の江南への拓殖発展、の2点にあり、前近代ではこの点を基軸に講義する。また近現代史は、中国民族の植民地支配からの脱却、つまり「反帝反封建」の革命運動史の側面をもつが、本講義では加えて社会史、経済史にも留意したい。

履修上の留意点

出席を重視する。

成績評価の方法

評価は定期試験に出席点を加味する。

参考書等

参考書は特に指定せず、授業のなかでその都度言及する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
世界史概説	いし 井 ひとし 仁	考古学1・2・3・4選必	4
東洋史概説Ⅱ		歴史1・2・3・4必(東洋史)	
(近世・近代)		歴史1・2・3・4選必(東洋史以外)	

講義のねらい

今日の世界史教育の源流は、明治以来の西洋史・東洋史という歴史教科にあります。後者の東洋史は近代日本におけるアジア・オリエン研究－東洋学を母胎としていますが、この学問研究の成立と発展は、明治以来の日本の対アジア政策と密接にリンクしています。講義では、歴史教科としての東洋史の生い立ちをたどりながら、近世・近代のアジアの歴史を、中国社会の動向、ならびに日中関係を柱に考察します。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|-------------------|-------------------|
| (前期) (1～3) 東洋の語源 | (4～6) 帝国主義とオリエント学 |
| (7～9) 東洋史の誕生 | (10～13) 時代区分論争 |
| (後期) (14・15) 唐宋変革 | (16・17) 清王朝の成立 |
| (18・19) アヘン戦争 | (20・21) 太平天国運動 |
| (22・23) 辛亥革命 | (24～26) 日中戦争 |

履修上の留意点

講義を通して、歴史を学び、教えることの意味を考えて欲しい。

成績評価の方法

学期末試験・レポート（1～2回）の成績、および出席状況を総合的に評価します。

教科書

とりあえず配付プリントをもとに講義を進めます。

参考書等

参考文献は、講義で随時紹介します。

その他

講義形式で進めますが、適宜ビデオも活用します（とくに後期）。

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋史概説	ささき まこと 佐々木 真	外国史1必(西洋史)	4
西洋史概説 I (古代・中世)		外国史(選択)・2・3・4必(西洋史) 歴史1・2・3・4必(西洋史) 歴史1・2・3・4選必(西洋史以外)	

講義のねらい

ヨーロッパ史の流れを、各時代の特色について解説することを中心に述べていきます。特に、我々が現在生活している、近代社会の成立に焦点を当て、授業を進めていきます。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期)
- (1) はじめに (2) ヨーロッパの成立
(3~5) 古代のヨーロッパ(ギリシア・ローマ)
(6, 7) 中世世界の成立 (8~10) 中世ヨーロッパの特色
(11~13) ルネサンスと宗教改革
(後期)
(14, 15) 絶対主義と近代の胎動 (16~19) 近代ヨーロッパの成立
(20~23) 近代ヨーロッパの特色 (24, 25) 近代ヨーロッパへの視点
(26) まとめ

履修上の留意点

週1回の講義で、具体的な事件を挙げつつヨーロッパ史全体の流れを述べることは不可能であり、講義では抽象的な解説が多くなります。そのため、ヨーロッパ史に関する具体的な知識をある程度有していることを前提として講義をするので、高等学校の世界史程度の知識は自ら身につけておいて下さい。また、講義中に紹介された書籍をなるべく多く読むことを希望します。

成績評価の方法

成績は前期末のレポートと学年末試験および出席により判定します。

教科書

教科書は特に指定しません。

参考書等

参考書等は講義中に、必要に応じて紹介します。

その他

授業は講義形式で行い、随時参考資料を配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本考古学概説	さか い きよ し 治 酒 井 清 治	考古学1・2必	4
考古学概説Ⅰ		日本史・外国史1・2・3・4選必	
(日本)		歴史1・2・3・4必(考古学) 歴史1・2・3・4選必(考古学以外)	

講義のねらい

日本の考古学は発掘も膨大にあり日々新しい資料も蓄積されている。その資料はどのような意味があるのか、資料からどのようなことが分かるのか、日本の考古学の中に位置づけ考古学とは何かを理解してもらおう。

講義の内容・授業スケジュール

考古学の遺跡・遺物を時代を追って取り上げ、最新の資料も紹介しながら日本考古学を時代史的に概観する。前期は考古学とは何かにふれた後、旧石器時代から弥生時代まで、後期は古墳時代から歴史時代までを概観する。

履修上の留意点

遅刻厳禁

成績評価の方法

定期試験で採点。平常点も加味する。

参考書等

鈴木公雄『考古学入門』（東大出版社）
安藤雅雄『考古学キーワード』（有斐閣）
江上波夫『考古学ゼミナール』（山川出版社）
そのほか授業中に解説しながら紹介する。

その他

講義の中でOHPを使用し、図や写真あるいは実物資料を利用し理解を深める。

科目名	担当者名	配当学科	単位
外国考古学概説	い い じ ま た け つ ぐ 次 飯 島 武 次	考古学1・2必	4
考古学概説Ⅱ		日本史・外国史1・2・3・4選必	
(外国)		歴史1・2・3・4必(考古学) 歴史1・2・3・4選必(考古学以外)	

講義のねらい

東洋考古学概説の講義を行う。地域的には中国を中心に話をし、中国考古学研究の現状を理解してもらおう。

講義の内容・授業スケジュール

時代的には、旧石器時代から開始して、新石器時代・殷周時代・秦漢時代・南北朝時代を経て、隋唐時代までの講義を完了することを目標に授業をすすめていく。

履修上の留意点

欠席・遅刻をしないこと。

成績評価の方法

成績評価は学年末の試験で行うが、授業内容および試験の内容は、考古学専攻者としては一般的な常識であるのでよく勉強して臨むこと。

参考書等

飯島武次『夏殷文化の考古学研究』（山川出版社）1985年
飯島武次『中国新石器文化研究』（山川出版社）1991年
飯島武次『中国周文化考古学研究』（同成社）1998年
飯島武次『中国考古学概論』（同成社）2003年

その他

スライドやビデオを多用する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
世 界 史 概 説	井 村 行 子 <small>むら けい こ</small>	考古学1・2・3・4選必	4
西 洋 史 概 説 II		歴史1・2・3・4必(西洋史)	
(近世・近代)		歴史1・2・3・4選必(西洋史以外)	

講義のねらい

西洋史を中心に世界史を概説する。できるだけ情報量を制限して、考え方の筋道がつかみやすい授業を心がけたい。

講義の内容・授業スケジュール

第1講	世界史の成立	第13講	自由主義と発展主義
第2講	古代オリエント	第14講	諸国民の春
第3講	古代地中海世界(1)	第15講	帝国と国民統合
第4講	古代地中海世界(2)	第16講	ベル・エボック
第5講	中世ヨーロッパ世界	第17講	ハプスブルク帝国とラテンアメリカ
第6講	ビザンツ帝国と正教世界	第18講	世界戦争の衝撃
第7講	近世ヨーロッパ(1)	第19講	大衆動員の時代
第8講	近世ヨーロッパ(2)	第20講	大恐慌と一国主義的分立状況の出現
第9講	近世ヨーロッパの社会経済(1)	第21講	社会主義的ユートピア
第10講	近世ヨーロッパの社会経済(2)	第22講	戦後世界と冷戦
第11講	オスマン帝国と東ヨーロッパ	第23講	冷戦の終結と新世界秩序
第12講	革命の時代	第24講	エスニシティとジェンダー

成績評価の方法

前期と後期の筆記試験の成績による。

教科書

近藤和彦編『西洋世界の歴史』(山川出版社)1999 3,200円(必ずしも購入しなくてよい)

参考書等

開講時に世界史全般に関する文献目録を配布する。個々のテーマについてはその都度、必要性に応じて適宜紹介する。

その他

歴史映画のビデオ等によって歴史的なイメージの喚起に努めたいが、扱わなければならない事項は多く、時間は限られているので、現実にはなかなかむずかしい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
史学概論	伏島正義	考古学1必	4
		日史・国史1・2・3・4選	
		歴史2・3・4必	

講義のねらい

「歴史とは何か。」「歴史学は学問たりうるのか。」等の質問にたいする答えには公式な正解があるわけではない。各人が自身で探求するほかない。本講では、歴史はどのように認識されてきたのかについて、古代以来のその道筋を概略し、辿ってみる。

講義の内容・授業スケジュール

古代から近代までの、歴史認識の展開とその特徴を、日本、中国、西洋においてみる。

履修上の留意点

本講は「歴史とは何か。」を自身で考えるために、その参考となるように古代以来の考え方を概観するものであり、歴史についての狭義の知識を詰め込もうという性格のものではない。したがって本講を受講するに当たって必要なのは自分自身で考えようとする心構えであり、特別な歴史の知識の多寡ではない。

成績評価の方法

この点は毎年あらかじめ定められているわけではない。具体的には受講生と相談し、決めている。これまでは概して、前期終了のころ提出していただくレポートと、学年末テストに拠って成績の評価をした。

教科書

教科書は特に定める必要はない。前期の講義開始の最初の授業で掲げる参考書、また講義の進行の途上でその都度必要に応じて指摘する参考書を読んでいただきたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本史学史	湯浅隆	日本史1・2必	4
		歴史2・3・4必(日本史)	
		歴史2・3・4選(日本史以外)	

講義のねらい

現在の私たちは、日本列島を舞台として各時代の人びとが積み重ねてきた営為のうち、いくつかの要素を抽出し、系統的に組み立てて日本史像を構築している。これまでの日本史認識の積み重ねの到達点として、こんにちの日本史像があり、それは将来も変わり続けていくと想定できる。

この科目では、これまでの日本史認識の変遷を説くことで、われわれの出発点として、日本史学における現在のありようを理解することを目的としている。この理解を踏まえて、これから各自が自らの歴史像を構築していくことを期待している。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) (1)記憶の保存と継承 (2)過去への認識 (3~4)中国の正史 (5~6)8世紀以前の修史 (9)六国史 (10)私撰の歴史 (11~13)中世の史書(愚管抄・神皇正統記・太平記)
- (後期) (14~15)神道・儒学 (16~19)近世の史書(幕府の修史・大日本史・国学者の歴史) (20~22)近代の日本史学 (23~26)現代の日本史学

履修上の留意点

日本史学の潮流を知識としてではなく理解として記憶するようにして欲しい。

成績評価の方法

いくつかの事項については、授業中に各自の見解を尋ねる。後期末には教場試験を課す。評価はすべてを合算して行なう。

教科書

特定のものを使用せず、プリントを配付する。

参考書等

その都度、提示する。

その他

授業は講義形式となる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
東洋史学史	なかむらじゅん 中村淳	歴史2・3・4必(東洋史) 歴史2・3・4選(東洋史以外)	4

講義のねらい

東洋史学は、日本が世界に誇ることの出来る学問のひとつである。本講では、日本における東洋史学の成り立ちと発展についてできるだけ平易に概論し、現在の我々の位置するところを理解してもらうことを第一の目的とする。同時に、東洋史を学ぶ上で当然知っておかなければならない基本的な事項を修得してもらう。

履修上の留意点

ほぼ毎回出欠をとる。できるだけ工夫して講義を進めるが、本講の性格上、やや単調とならざるを得ない。しかし、東洋史学を学ぶ上で必要不可欠なことばかりで、また、学年を経る毎に重要になる内容であることは間違いないので、心して受講してもらいたい。

成績評価の方法

まず出席を重視する。また、随時小テストを行ないレポートを課して、理解度をみる。それらの評価を出席点に加味し判断する。

参考書等

授業時に随時、紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋史学史	ささきまこと 佐々木真	歴史2・3・4必(西洋史) 歴史2・3・4選(西洋史以外)	4

講義のねらい

西洋史の各時代の主要な歴史学に関する作品を紹介し、歴史学の方法論上に関する基礎知識、とりわけ西洋史を学ぶようとする者が当然知っていなければならない学問上の常識を解説します。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期)
- (1) 概論
 - (2~4) 古代ギリシアの歴史叙述 (ヘロドトス、ツキディデスなど)
 - (3~5) ヘレニズム・ローマの歴史叙述 (ポリュビオス、リーヴィウスなど)
 - (6~8) 中世キリスト教の救済史観
 - (9~10) 中世の世俗的歴史叙述
 - (11~13) ルネサンスと啓蒙思想期の歴史叙述
- (後期)
- (14) 近代的歴史学の成立
 - (15、16) ランケの歴史学
 - (17、18) 歴史の政治化とプロイセン学派
 - (19~21) 歴史の科学化とヘーゲル
 - (22、23) マルクス主義歴史学
 - (24~26) 現代歴史学の諸課題

履修上の留意点

西洋史学史の全貌を1年の講義で紹介することは不可能なので、受講生は講義中に紹介された書籍をなるべく多く読んで下さい。

成績評価の方法

成績は前期終了時、および学年末に2回提出してもらうレポートにより判定します。

教科書

教科書は特に指定しません。

参考書等

林健太郎・澤田昭夫『原典による歴史学入門』(講談社学術文庫)
 グーチ『19世紀の歴史と歴史家たち』(筑摩叢書)
 ピーター・バーク『フランス歴史学革命』(岩波書店)
 リン・ハント編『文化の新しい歴史学』(岩波書店)
 竹岡敬温『「アナール」学派と社会史』(同文館)
 ノワリエル『歴史学の危機』(木鐸社)など。

その他

授業は講義形式で行い、随時参考資料を配布します。歴史学科改組に伴い、独立した授業として開講するのは今年度が最後となりますので、2年次生および3年次生以上の未履修者は、今年度必ず履修して下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
考古学 史	こやなぎ よしき 小柳美樹	考古学1・2必	4
		歴史2・3・4必(考古学)	
		歴史2・3・4選(考古学以外)	

講義のねらい

日本考古学研究の歴史を通して、研究の方法や論理の構築の仕方、議論の展開について学び、また近年の考古学の発見がどういう意義を持っているのかを確認する。そして、自己の研究への姿勢、理念、方法等の確立を望む。

講義の内容・授業スケジュール

日本考古学の歩みを発見、発掘調査、研究者列伝、論争などを軸として、日本通史の時代別に分けて論じる。

履修上の留意点

限られた時間内では全てを言及することができないため、授業の中で取りあげられた文献や調査報告書に自主的に積極的に目を通し、博物館などで実物資料を観察して補充して欲しい。授業の理解度や興味の深さが一層増すはずである。学生諸君には考古学という枠組みをこえたさまざまな領域に興味を持つことを期待したい。

成績評価の方法

夏季休暇のレポート作成
学年末の試験
出席はあくまで参考

教科書

なし（レジュメを準備し、授業時に配布している）

参考書等

授業時に紹介していく

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	くぼた まさき 久保田昌希	歴史3必	4

講義のねらい

本講座は特定の史料の講読を受講者自身が分担し発表形式で行い、他の受講者との内容討論を行うことによって、受講者（発表者）自身はもちろん受講者全体の研究方法や問題意識を高めることを目的としている。受講される皆さんは積極的に取り組んでほしい。

講義の内容・授業スケジュール

本講座では数年来、戦国大名関係の文書と取り組んでおり、そのなかでもとくに東国戦国大名（今川・武田・北条・上杉氏）を対象としている。その理由は発給文書の数も多く、また内容も多岐にわたっており、しかも研究史としての蓄積も比較的多いと思われるからである。演習では一点の文書を中心に、発表担当者には、そこから読み取れることを研究史も含めて、できるだけ調べてくることを課したい。それによって来るべき卒論への準備段階として、史料への認識を大いに持っていただきたいと考えている。

履修上の留意点

受講人数によっては補講を実施することがある。

成績評価の方法

定期試験は行わない。発表の内容、提出レポート、出席状況などによる。

教科書

適宜史料コピーを配布する。

参考書等

適宜紹介する。また大いに図書館を利用してほしい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	くまもと ふみお 熊本史雄	歴史3必	4

講義のねらい

昭和期を中心とする近代日本の政治と外交につき、配布史料を読解、検証する作業を積み重ねることで、歴史像を自ら構築する力を養う。これら作業を、翌年に控えた卒業論文作成の準備に役立てたい。

講義の内容・授業スケジュール

具体的には、外交史料館所蔵記録（公刊物としての『日本外交文書』を含む）や外交官、政治家の日記などを講読対象史料・文献とする。

報告者は、事項、人物、問題の背景など基礎的事項を把握したうえで、報告者自らが設定した問題となるテーマに沿って報告をする。その際、必要に応じて先行研究や関連史料なども踏まえること。さらに、参加者全員で討論し、問題に対する理解を深めていく。

履修上の留意点

配布史料や課題図書参照指定箇所には、必ず事前に目を通すように。授業冒頭には、配付史料・図書に対する感想や問題点、疑問などを、「1分間コメント」として参加者全員に手短かに述べてもらう。

成績評価の方法

出席、報告内容、授業態度などを基に総合的に判断する。

教科書

適宜史料を配布する。

参考書等

適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	こばやし かずゆき 小林和幸	歴史3必	4

講義のねらい

日本近現代史上の政治、思想、文化に関する諸問題を検討する。近代日本の形成・確立の過程は、その複雑さと多様性の故に、確定されていない歴史的な事実も多く残されている。また、それだからこそ、興味深い研究のテーマも豊富に存在しているといえるであろう。本演習は、受講者による史料に則した報告と演習参加者全員による討論を通じて、各自が日本近現代史に関する史料の読み解き方や研究法を身につけることを目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

本演習では、幕末維新期及び明治・大正期の史料を素材とし、担当報告者が正確に史料内容をつかんだ上立って、興味深いテーマを見つけ、関係史料や先行研究業績を適宜参照して報告、さらに参加者全員によって討論をすることで日本近現代史に関する理解を深めていく。

履修上の留意点

既存の価値判断から離れ、史料に基づいた新しい日本近現代史像を構築するという積極的な姿勢を期待する。

成績評価の方法

出席、報告、学習態度を総合的に勘案する。

教科書

教室で指示すると共に、適宜史料を配布する。

参考書等

報告に則して、関連する先行研究を適宜参照すること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 I	たき おと よし ゆき 瀧 音 能 之	歴史3必	4

講義のねらい

『古事記』と共に、日本古代史の研究の不可欠の史料である『日本書紀』をテキストにして、史料の読解力や扱いかたを養成すると共に、史料を通して古代社会を構築する力を養いたいと考えています。

講義の内容・授業スケジュール

はじめの数回は、私が、『日本書紀』についてのガイダンスをします。そのあとは、参加者に担当した部分の報告をしてもらいます。

履修上の留意点

演習は、講義とことなり、みなさんの参加の度合いが強い授業形態です。こうした形態をプラスにするのもマイナスにするのもみなさんの熱意次第です。積極的な参加を期待します。

成績評価の方法

担当個所の報告内容、および他者の報告に対する意識によって評価します。

教科書

はじめの授業のさいに、指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演 習 I	なか の たつ や 中 野 達 哉	歴史3必	4

講義のねらい

史料の解読・分析力、関連資料・文献の調べ方、先行研究の理解・批判力をつけ、日本近世史（織豊期～幕末期）研究のための基礎的な力を養うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

日本近世史の史料は各地に所在し、しかも膨大な量があり、その多くは活字になっていない。そのため、研究にとりかかるとき、史料調査やくずし字の解読から始める必要がある。この点を踏まえ、前期は、草書で記された『朝野舊聞哀藁』（幕府が編纂した徳川氏創業の歴史書）などを取り上げて講読し、古文書に慣れるとともに、近世の社会について考える。講読は受講者が分担して解読し、関連資料・文献を調べ、授業で発表・討議する。また、後期には、各自が研究テーマを設け、研究史の整理と研究課題についてまとめ、授業で発表・討議する。なお、後期授業での発表の準備として夏期休暇中にレポートを課す。

履修上の留意点

前期の講読に際しては必ず予習し、前後期とも積極的に討議に参加することが望まれる。

成績評価の方法

授業での発表と討議、出席状況、夏期のレポートにより評価する。定期試験はなし。

教科書

前期に使用するテキストは、コピーを配布する。教科書はなし。

その他

史料の見学・調査なども考えたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	ひろ せ りょう こう 廣 瀬 良 弘	歴史3必	4

講義のねらい

中世史料の講読を通じて、戦乱の世をしたたかに生きた人びとの生活・文化・宗教等について考えます。また、人びとのものの考え方、慣習、しぐさと芸能、主従の関係、男女の関係、人びとの信仰と神や仏などについても考えたいと思います。例えば、中世の村々の寺院は文字通り駆込み寺化しておりましたが、どのような人物が駆込んで身の安全を図ろうとしたのでしょうか。敗戦者・殺人犯・離縁希望者・逆心者（反逆者）・博徒など様々です。また、「女房の密懐」（不倫）にプライド高い男たちはどのように対応したのでしょうか。戦国大名は「困った」問題にいかに対応しようとしたのでしょうか。史料に基づく事実の究明はとても興味深いものです。少し難しいが、すぐにおもしろくなる授業にしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

どのようなものを読み進めて行くか、受講者の希望を生かしたものにしますが、以下のような授業を予定しています。

前期の第1回から14回は室町幕府法や戦国大名の分国法の中から不入・走入り（駆込）・無縁所や密懐（不倫）に関するものなど、文化史に関する条文を中心に読み進めます。

後期の第15回から26回も引き続き戦国大名の分国法を講読していきますが、さらに、戦国時代に嫁ぐ者に対して、求められる「嫁」像を説く「幻庵覚書」、弾丸が飛び交った乱世を生き抜いた「おあむ」「おきく」の物語などにも触れたいと思います。

履修上の留意点

最初は少し難しいが、すぐに興味深いものになります。探究心をもって史料に臨んでほしいと思います。

成績評価の方法

担当した史料に対する発表状況、他者の発表に対する質問等での積極的な参加などを考慮します。試験は行いません。

教科書

随時、史料のコピーを配布します。

参考書等

随時紹介してゆきますが、『くずし字解説辞典』（東京堂出版）2,200円などがあるとよいと思います。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	まつ もと のぶ みち 松 本 信 道	歴史3必	4

歴 史

講義のねらい

日本古代史の史料の輪読により、史料読解力の養成と史料を通して当該時代の歴史的状況を把握することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は『日本後紀』をテキストとして用い、輪読しながら平安時代初期の政治・経済・文化の諸様相について再検討してみたい。後期は卒業論文作成の準備過程として正倉院文書・木簡・金石文・律令その他の性格の異なる史料を輪読し、史料読解力を養成するとともに、文献の検索・収集・読解の方法と研究の進め方などについても指導する。

履修上の留意点

受講生は必ず予習して出席すること。

成績評価の方法

平常点と出席点の総合で行う。

教科書

当該部分をコピーして配布します。

参考書等

『新字源』（角川書店）

そ の 他

授業の方法は輪読と討論のゼミ形式で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	湯浅隆 <small>ゆあき たかし</small>	歴史3必	4

講義のねらい

日本近世史のうち、都市・文化・宗教などのテーマを中心とした演習となる。具体的なテーマに基づいて、先行する研究成果の検討、史料に接し文言の解釈、歴史像の構築などを行っていく。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) 史料を輪読しながら、江戸時代後半の社会のありようを大きく把握することをめざす。テキストには『日暮硯』(岩波文庫)を用いる。
 (1~3) 先行研究の整理 (4~13) 史料の講読と内容検討
 (後期) 江戸町方にかんする史料を講読し、歴史事象の抽出と内容検討とを行なう。併せて、卒業論文作成に向けての課題の絞り込みをおこなう。
 (14~21) 史料の講読と内容検討 (22~26) 卒業論文にむけて課題の絞り込み

履修上の留意点

『日暮硯』は4月授業開始前に入手し、岩波文庫本78ページまでは読んでおくこと。

成績評価の方法

授業中の発表・討論での発言に基づく。

教科書

前期は『日暮硯』(岩波文庫)、後期はプリントを配付する。

参考書等

その都度、提示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	石井仁 <small>いし い ひとし</small>	歴史3必	4

講義のねらい

中国史、ことに隋唐時代以前の歴史を研究する際の基本史料は、歴代王朝によって公式の記録と認定された歴史書-「正史」です。正史は司馬遷『史記』から『明史』まで24あり、「二十四史」と呼ばれています(中華民国の時に正史に加えられた『新元史』をあわせて「二十五史」ともいう)。正史はすべて本紀(帝王の伝記、および在位中の諸事件の記録)と列伝(帝王以外の重要人物の伝記、もしくは諸外国の記録)を柱とする、いわゆる紀伝体の形式で書かれています。二十四史中、魏・蜀・呉-三国時代(3世紀)を記録したものが、有名な『三国志』(西晋の歴史学者、陳寿の撰)です。講義では、この『三国志』の講読を通して、正史の読み方、あるいは正史を用いた研究方法などについての理解を深めることを目的とします。なお、『三国志』のどの巻から講読するかについては、開講後、相談のうえ決定します。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) (1・2) ガイダンス (3~13) 講読演習
 (後期) (14~26) 講読演習

履修上の留意点

予習・復習に十分な時間をとって講義に臨んでください。

成績評価の方法

講義に対する取り組み方を総合的に評価しますが、レポートを課すこともあります。

教科書

中国・中華書局刊行の標点本をテキストに使用します(コピーを配付)。

参考書等

随時紹介します。

その他

テキストを受講者が輪番で漢文訓読します(必要に応じて現代語訳)。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	中 村 淳 <small>なかむらじゅん</small>	歴史3必	4

講義のねらい

清の趙翼が著した『二十二史劄記』を講読しながら、漢文読解能力を養成し、受講者各自がより具体的な問題意識を持つきっかけとなることをねらう。

講義の内容・授業スケジュール

具体的にどの箇所を読むかは、授業時に指示する。毎回、担当者を決め、担当者にはレジュメを作成し、それに基づいて報告してもらう。

履修上の留意点

出席重視。

成績評価の方法

出席点と平常点とを総合して評価する。

教 科 書

必要な史料はプリントで配布。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	渡 辺 惇 <small>わたなべあつし</small>	歴史3必	4

講義のねらい

趙翼著『二十二史劄記』（王樹民校証の中華書局本）を講読する。趙翼は清朝の乾隆・嘉慶時代の学者で、進士に合格して官僚となったが、報いられず、のち著述に専念した。『二十二史劄記』は中国歴代の正史の中から、特に後世に参考となる重要問題を選んで簡条書きにした解説集。文章もわかり易く、日本では従来より中国史の史料講読を行う際に、テキストとしてもっとも広く用いられている。

講義の内容・授業スケジュール

本年は明代の部分を中心に講読する。各自割当てられた部分について調べてきて資料をつくり、自ら読んで説明を行う。

履修上の留意点

出席を重視する。

成績評価の方法

評価は平常点と出席点を総合して決める。

教 科 書

テキストは入手が困難なため、プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	おおしろみちのり 大城道則	歴史3必	4

講義のねらい

最終目標である卒業論文作成の準備のために、文献の読み方、資料の集め方と扱い方を学ぶのが講義のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

- ①卒業論文作成の手始めとして、西洋古代史に関する外国語文献をテキストとし輪読を行う。
- ②各自が決定した卒業論文作成のための文献収集とその結果報告を行う。
- ③後期には、各自が選んだ卒業論文のテーマについての発表・報告を行い、意見交換を行う。

履修上の留意点

まずは演習に参加し、他の学生の考え方などを知ることが重要である。

成績評価の方法

講義に対する取り組み姿勢と出席率により評価する。

教科書

テキストは受講生と相談のうえ決定し、そのコピーを配付する。

参考書等

必要があれば適時紹介する。

その他

後期に行う発表・報告は1時間に2~3人を予定している。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	ささきまこと 佐々木真	歴史3必	4

講義のねらい

西洋近代史に関する英語文献をテキストとし、その輪読により授業を進め、外国語文献・史料の読解力を養うと同時に、卒業論文作成の準備を行います。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは、授業開始時に受講生と相談して決定します。また、夏休みを利用して、各自が関心を持っている分野に関する文献の調査レポートを作成する課題を出します。卒業論文作成の準備としては、後期のあいだに、各受講生に、自分が論文のテーマにしようとする分野に関する報告を義務づけます。

履修上の留意点

発表の分担を事前に指定することはしないので、毎時間確実に予習してきて下さい。

成績評価の方法

成績は授業中の各自の発表内容に出席を加味して決定します。テキストを正確に読むためには、内容を常に理解することが肝要であり、それには前後関係の理解が重要となります。そのため、欠席は原則として認めません。また、文中に出てくる固有名詞は、できる限り事前に調べておくこと。演習科目では受講生の授業への積極的な参加が肝要となり、出席はあくまでも必要条件でしかないことに留意して下さい。

教科書

授業開始時に、講読する文献のコピーを用意します。

その他

授業はゼミ形式で行い、文献講読の場合には輪読で、1時間に2人~3人に発表をしてもらいます。また、年度最初の授業には必ず出席して下さい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	伏 島 正 義	歴史3必	4

講義のねらい

まず第1に、当該演習Iは4年次に課される卒業論文の作成のための第1次準備段階であることからして、各人は自己の卒論テーマを具体的に決定し、その研究に着手しなければならない。したがってそのための文献、史料の収集とその方法に習熟することである。第2に、受講生にとって共通となる文献を輪読し、相互の意見交換などにより、歴史研究を深める機会とする。

講義の内容・授業スケジュール

まず各自の設定した卒論のテーマに添って、文献、史料の収集と読解に努める。次に前期においては受講生の共通となる論文、専門書などの文献を、とりわけ西欧史研究では依然として共通語の1つである独語、仏語、英語のいずれかで書かれた文献を、発表などを交えながら輪読する。後期は、前期から各人の進めてきた卒論のテーマの研究を1人1時限を使って発表、質疑応答する。

履修上の留意点

卒論のテーマに該当する言語に習熟することは言うまでもなく、当該演習の共通言語にも読解力をつけておくことが必要である。研究文献、史料の検索、収集には多大の時間を必要とするものである。したがってそのための気概が期待される。

成績評価の方法

演習にいかに関心し積極的に参加しているかが基本的な基準である。具体的方法は受講生と相談し、決める。

教 科 書

テキストは受講生と相談し、決める。

参 考 書 等

必要に応じて随時指摘する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 I	飯 島 武 次	歴史3必	4

講義のねらい

中国語原典『新中国考古五十年』（1999年）および『新中国的考古発現和研究』（1984年）の講読。

講義の内容・授業スケジュール

1時間当たり半頁を読む予定。テキストは授業開始後コピーして渡す。中文講読は、発音と内容解釈からなり、講読部分の引用関連文献にも目を通しておく必要がある。

履修上の留意点

発表者はいかなる理由があっても無届けで欠席・遅刻をしないこと、発表者の欠席・遅刻は他の学生の大変な迷惑になる。発表者の欠席・遅刻に関しては、教師側の判断で落第にする場合がある。

成績評価の方法

成績評価は平常点。

教 科 書

『新中国考古五十年』（文物出版社）1999年
『新中国的考古発現和研究』（文物出版社）1984年

参 考 書 等

飯島武次『中国考古学概論』（同成社）2003年

そ の 他

授業方法は学生による原典講読と研究発表。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	したらひろみ 設楽博己	歴史3必	4

講義のねらい

洋書講読 縄文時代の文化がアメリカン・ネイティブの文化と類似していることは、古くから指摘されてきた。最近では、アメリカン・ネイティブが非農耕社会であるにもかかわらず、階層化しており奴隷もいることから、縄文文化も階級化社会だったのではないか、という議論がおこなわれている。しかし、比較の対象になるアメリカン・ネイティブの文化の歴史がどのようなものか、というまとまった記述はさほど多くない。

アメリカポートランド州立大学のケネス・M・エームズ教授が著した『People of the north-west coast』は、すぐれたアメリカン・ネイティブの考古学書であり、上述の比較のための有効な情報を得ることができる。そこで、受講者には割り当てられた部分を邦訳してもらう。

講義の内容・授業スケジュール

まず、割り当てを決める。4・5月は邦訳の準備期間にあてると同時に、すでに私が邦訳した部分の紹介をおこない、本書に慣れる。その後、1時間に2名ほどの訳文発表を行い、翻訳や考古学的内容についての議論をおこなう。

履修上の留意点

考古学の普遍的方法論を身につけるための準備として、洋書講読は必要である。割り当て部分だけではなく、毎時間各自翻訳をしていくことが大事。

成績評価の方法

割り当て部分の翻訳の提出と年度末の試験。試験は、テキストから取り出した文章を翻訳してもらう。

教科書

テキストはその都度コピーを配布するが、できれば購入を薦める。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習 I	さか い きよ し 酒井清治	歴史3必	4

講義のねらい

将来卒業論文を作成するための基礎的な力を養うため、日本考古学の論文の読み方、論文作成のための資料収集法、執筆の方法を学ぶ。また、論文作成の基礎知識を養う。

講義の内容・授業スケジュール

いくつかの日本考古学の論文を選び、文献や資料の使い方、図版の作り方などを学び、その問題点などについて全員で論議する。各自で興味あるテーマを日本考古学の中から選び、研究レポートを書く。それを授業で資料収集方法などを含め、発表要旨を添えて発表してもらう。それについての問題点を質疑応答する。

履修上の留意点

受講者はそれぞれが積極的に論文を読み、発表に対する質疑にも積極的に参加すること。また関連する遺物・遺跡を自ら積極的に見学することを心がけること。

成績評価の方法

研究レポート、発表要旨、報告者へのコメント、出席状況。

教科書

特にないが研究する上に必要な論文等は授業の中で指摘する。

参考書等

論文掲載の引用文献

その他

授業はゼミ形式で。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	久保田 昌 希	歴史4必	4

講義のねらい

本講座では、3年次での演習Ⅰの成果に立って、特定の史料や受講者自身の研究テーマについて、それぞれ発表し、且つ他の受講者とのそれらに関する討論を行いたい。そしてそのことで、受講者（発表者）自身はもちろん、受講者全体の研究方法や問題意識の高揚を一層はかることを目的としている。受講される皆さんは積極的に取り組んでほしい。
なお、本講座ではあわせて卒業論文の指導も行う。

講義の内容・授業スケジュール

まず本講座の最初に、講読する史料を決めるか、卒業論文に関する個人研究にするかを話し合いたい。その結果により年度の方針を決めたいと思う。

履修上の留意点

卒業論文は、本学科に学んだ成果の現れでもある。大いに尽力してほしい。

成績評価の方法

定期試験は行わない。発表の内容、提出レポート、出席状況などによる。

教科書

とくに指定しない。特定の史料が決定次第そのコピーを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	熊本 史 雄	歴史4必	4

講義のねらい

卒業論文作成の指導を主として行う。
昭和期を中心とする日本近代史研究の状況を把握しつつ、各種公文書（内閣、外務省、陸軍省、海軍省など）や私文書（日記や手紙）についての史料状況を解説する。また、関連する先行研究を読むことも併せて行う。これらを踏まえた後、受講生が自らのテーマについて研究を深め、卒業論文作成の指導を行う。

講義の内容・授業スケジュール

前期の前半は上記についての解説と先行研究の確認を行う。前期の後半より後期にかけて、受講生各自が報告を行い、それに基づき参加者全員で討論を行う。

履修上の留意点

各自の選んだ研究テーマに真摯に取り組んで欲しい。

成績評価の方法

報告、授業態度などを基に総合的に判断する。

歴
史

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	小林 和 幸	歴史4必	4

講義のねらい

維新、明治期を中心とする日本近代史研究の現状を把握した上で、史料状況を検討分析し、近代日本の政治や文化について考察する。受講者各自のテーマについて研究を深化させ、あわせて「卒業論文」作成の指導を行う。

講義の内容・授業スケジュール

担当者が、先行研究や関係史料の分析検討の結果を報告し、さらに演習参加者全員による討論を行い、各自テーマの理解を深める。

履修上の留意点

研究テーマに対する真摯な取り組みが欲しい。

成績評価の方法

報告、授業態度などを総合的に勘案する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	たき おと よし ゆき 瀧 音 能 之	歴史4必	4

講義のねらい

日本古代史に関する卒業論文指導をおこなうつもりです。

講義の内容・
授業スケジュール

授業は討論・報告形式をとり、前期には各人の卒業論文のテーマの決定・目次の作成・文献目録の作成をめざします。後期には研究史の整理、そして実際に卒業論文を作成するための準備をおこないます。

履修上の留意点

卒業論文は4年間のしめくりです。各人がはっきりとした自覚をもって積極的にとりくむ意欲をみせて下さい。

成績評価の方法

授業における報告・討論、そして、卒業論文の内容によって評価を決定します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	なか の たつ や 中 野 達 哉	歴史4必	4

講義のねらい

大学生生活の最も大きな成果の一つとなる卒業論文の作成とともに、史料の調査方法と解説・分析力、論理的に考察・論述する力を身につけることを目的とする。そして、それを、歴史研究のみならず、社会生活においても役立てて欲しい。

講義の内容・
授業スケジュール

各人が卒業論文のテーマに基づき、前期・後期に各1回程度報告し、受講者による討論を行う。また、随時、卒業論文の指導を行う。

履修上の留意点

本講座は日本近世史（織豊期～幕末期）を対象とするものである。第1回目の授業において、各人の卒業論文のテーマの方向性を考え、報告する日程（順番）を決めるので出席すること。

成績評価の方法

授業での報告と討議、出席状況により評価する。定期試験はなし。

教科書

なし

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	ひろ せ りょう こう 廣 瀬 良 弘	歴史4必	4

講義のねらい

史料の読解・分析力を養い、より高い水準の卒業論文の完成をめざします。

講義の内容・
授業スケジュール

受講者各自が提示した卒業論文テーマ・関連研究論文等に対して、受講生全員によるディスカッションを行い、卒論の論題を確定し、各自卒論の中心的史料・文献等の講読・分析を通じて、論点を明確にし、卒論の完成をめざしていきます。授業スケジュールとしては、
 (1・2) 卒業論文のテーマの提示 (4月～) (3～6) 研究史の整理 (5月～)
 (7・8) 卒論論題の確定 (6月10日論題提出) (9・10) 研究史の整理と参考文献の検討
 (11～13) 中心的史料等の分析と論点の明確化 (14) 卒論の章立に関する作業
 (17・18) 卒論の概要に関する発表 (9月～) (19・20) 中間報告
 (21) 卒論作成に関する技術的なアドバイス (22) 最終報告
 (23・24) 下書の提示に基づく指導と添削
 (25・26) 清書・完成・提出 (12月10日提出) (27) 卒論をふりかえる
 の順で、論題提出日、卒論提出日等に合わせて進めていくが、全体として、発表・相互のディスカッション・指導という形式で進めていきます。

履修上の留意点

よりよい卒業論文を完成させる意欲を持って臨んでほしい。随時、発表を求めるので早めに作業・研究を進めて授業に臨んでほしい。

成績評価の方法

卒業論文の内容とともに、完成に至る過程も重視して評価します。

教 科 書

各自の卒論のテーマに応じて随時示していきます。

参 考 書 等

随時、示していきます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	まつ ちと のぶ みち 松 本 信 道	歴史4必	4

講義のねらい

日本古代史の史料の輪読により、史料読解力の習熟と史料解釈を通じての歴史的諸様相の把握を目的とし、必要に応じて卒業論文作成の指導を行う。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、『令義解』所収の「職員令」をテキストとして用い、輪読・討論しながら奈良時代の官僚組織について再検討してみたい。
 後期は、各自の卒業論文の研究テーマについての発表と討論を行い、それをもとに卒業論文を完成させる。

履修上の留意点

受講生は必ず予習をして出席すること。

成績評価の方法

平常点と出席点の総合で行う。

教 科 書

『令義解』の当該部分をコピーして配布します。

そ の 他

授業の方法は輪読・討論のゼミ形式で行う。

歴
史

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	湯浅隆 <small>ゆあさ たかし</small>	歴史4必	4

講義のねらい

日本近世史のうち、都市・文化・宗教などのテーマで卒業論文を作成しようとする者を対象とした演習となる。
卒業論文を4年間の生活が凝縮するものとして捉え、それへ向かってオリジナルの作品を悔いなく創りあげていくことをめざす。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) 卒業論文のテーマ・先行する研究、論文構成の骨格を確定させていく。
(1~5) 卒業論文のテーマを確定し、先行研究を把握する。(6) 論題の確定
(7~13) 史料を収集し検討を加えつつ、中間発表を行なう。
(後期) 論文の構成を確定し、個々の論証を加えつつ、論文の作成にあたる。
(14~20) 論旨の中心部分について発表を行ない、ゼミ構成員の検討を受ける。
(21~26) 論文下書きを報告して、ゼミ構成員の検討を受ける。

履修上の留意点

自己の卒業論文のみならず、ゼミ構成員全般のテーマ・方法に関心をもつこと。

成績評価の方法

授業中の発表・討論での発言に基づいて行なう。

教科書

使用しない。

参考書等

その都度、提示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	石井仁 <small>いし い ひとし</small>	歴史4必	4

講義のねらい

東洋史（中国史）に関する卒業論文の作成を指導します。研究テーマの設定から、参考文献や基本史料の調査・収集・解説、具体的な論文執筆の方法・手順に至るまで、全般的にバックアップします。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) (1) ガイダンス (2~13) 演習
(後期) (14~26) 演習

履修上の留意点

講義時間外も、可能なかぎり、相談に応じます。「自分の研究なのだ」という自覚をもち、一生に一度の卒業論文の執筆に情熱を傾けましょう。

成績評価の方法

卒業論文の作成に対する取り組み方を総合的に評価します。

その他

前期では、各自の問題関心にかかわる基本的な研究、ないしは注目する研究について調査し、輪番で報告します。そのうえで、これまでの研究の問題点や精査を要する事項などをチェックしつつ、研究テーマをしばらくこみ、論文作成の手順を確認します。後期では、できるだけ早い時期に、各自の研究テーマを輪番で中間報告し、作業手順を再確認します。進捗度によっては、作業手順（あるいはテーマ自体）の補足・修正などについてもアドバイスします。ただし、受講者が極端に少ない場合には、前期・後期とも個別指導をおこないません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	中 村 淳 <small>なかむらじゅん</small>	歴史4必	4

講義のねらい

卒業論文に関する指導を主とし、並行して文献講読を行なう。

講義の内容・授業スケジュール

卒業論文の相談会・中間発表を随時行なう。スケジュールについては、最初の講義の際に発表する。

履修上の留意点

出席重視。

成績評価の方法

出席点と平常点とを総合して評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	渡 辺 惇 <small>わたなべあつし</small>	歴史4必	4

講義のねらい

卒業論文に関する指導を主とし、並行して中国文の講読を行う。

講義の内容・授業スケジュール

夏休みあけの9月～10月の間、各自が進行中の論文について中間発表をやってもらいます。これは各自の考えをかため、より確かなものにする上で意義があるので、全員必ず行うこと。

履修上の留意点

卒論指導と並行して、范文瀾著『中国近代史』の講読を行う。これは純粋な現代文で、中国文の雑誌論文等の文献を読む力をつけ、卒論作成を助けようとするのがねらいです。主に私が読みます。

成績評価の方法

平常点と出席点を総合して決める。

教 科 書

テキストは入手が困難ゆえ、プリントを配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	大 城 道 則 <small>おおしろみちのり</small>	歴史4必	4

講義のねらい

演習Ⅰで行った基礎作業を踏まえ、最終目標である卒業論文の完成に向けての指導を行う。

講義の内容・授業スケジュール

前期は各自がそれぞれ選んだ外国語文献を読み、その内容について講義中に紹介を行う。後期は各自が準備を進めている卒業論文のテーマについての発表を行う。その際に準備状況についての最終的な確認を行う。

履修上の留意点

就職活動を優先することはいたしかたないが、発表者は必ず欠席しないこと。

成績評価の方法

各自の発表内容と授業への積極的な参加・出席を重視する。

教 科 書

教科書は無いが、発表者各自がレジメを作成し、それをコピーし配布する。

参 考 書 等

必要があれば適時紹介する。

そ の 他

発表・報告は1時間に1～2人を予定している。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	佐々木 真 ^{まこと}	歴史4必	4

講義のねらい

外国語文献の輪読を中心として授業を進め、随時必要に応じて卒業論文作成の指導を行います。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは昨年度使用した Brian Singer, *Violence in the French Revolution* の続きを読むことを予定しています。また、必要に応じて各受講生の卒業論文の準備状況を報告してもらいます。

履修上の留意点

発表の分担を事前に指定することはしないので、毎時間確実に予習してきて下さい。

成績評価の方法

成績は授業中の各自の発表内容に出席を加味して決定します。演習科目では受講生の授業への積極的な参加が肝要となり、出席はあくまでも必要条件ではないことに留意して下さい。

そ の 他

授業はゼミ形式で行い、文献講読の場合には輪読で、1時間に2人～3人に発表をしてもらいます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	伏 島 正 義 ^{ふせ じま まさ よし}	歴史4必	4

講義のねらい

演習Iで進めてきた卒論のテーマに添った研究を最終的に完成するよう指導することが最大のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

演習Iの段階で読むことのできなかった文献の入手と解説に全力を尽くすとともに、これまでの研究上の不備な点を再検討し、万全を期す。

履修上の留意点

上記の諸点は夏期休暇の期間内に履行し、ほぼ完了することが望ましい。なぜならば、卒業後就職しようとする者にとっても、さらに上級の大学へ進学しようとする者にとっても当該演習IIの4年生はなすべきことはあまりにも多く、したがって忙殺のため当初掲げたさまざまな課題を十分に満足することのできなかった例をこれまで少なからず見てきたからである。なによりもそのための努力、忍耐が期待される。

成績評価の方法

演習にいかに関心を持って積極的に参加しているかが基本的な基準である。具体的方法は受講生と相談し、決める。

歴
史

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	飯 島 武 次 ^{い い じま たけ づぐ}	歴史4必	4

講義のねらい

卒業論文の指導。

講義の内容・授業スケジュール

考古資料の調査研究を行う。毎時間、履修者の研究発表となるが、発表者は配布資料等を十分に準備して発表に臨むこと。

履修上の留意点

発表者はいかなる理由があっても無届けで欠席・遅刻をしないこと。発表者の欠席・遅刻は他学生の大変な迷惑になるので、発表者の欠席・遅刻に関しては、教師側の判断で落第にする場合がある。

成績評価の方法

成績評価は平常点。

そ の 他

授業方法は、学生による研究発表。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	酒 井 清 治	歴史4必	4

講義のねらい	卒業論文をどのように書くのかを指導する。
講義の内容・授業スケジュール	前半は各自自分のテーマと関連ある主要論文を読み込み、研究の方向性を決め、各自のテーマに沿った卒業論文の構成作りを行う。後半はテーマに基づいた研究発表を行い、皆で論議しながら論文としてまとめられるよう指導する。
履修上の留意点	発表者は事前に発表する日を知らせるので、準備するとともに、当日発表者は遅刻、欠席をしないこと。欠席した場合は単位が取れないと考えてほしい。
成績評価の方法	卒論の進行状況を把握するためにも出席を重視する。発表内容、発表者への質問も考慮する。
教科書	特になし
参考書等	授業の中で紹介する。
その他	授業はゼミ形式で。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習 II	設 楽 博 己	歴史4必	4

講義のねらい	日本の中の異文化 日本は単一民族国家だと言った総理大臣がいた。しかし、アイヌ民族、琉球諸島の民族、在日コリアンをはじめとするさまざまな国から来た人々、それ以外の由来をもつ人々、そうした多様な民族から成り立っているのが日本の実情である。そうした多民族性は、歴史的に形成されてきた。弥生時代の始まりにおける朝鮮半島からの渡来系の人びと、古墳時代にはオンドルの施設のある家が発掘されている。北海道の縄文時代には擦文文化という古墳文化と類似点のある文化とオホーツク文化というサハリンや沿海州とつながりのある文化が並存していた。少し考えただけでも異文化問題が考古学には山積みになっている。 本演習では、受講者が考古学における異文化の問題を各自でとりあげ、研究発表し、討論する。民族と文化とは同義ではないが、異文化問題が民族の問題を考える基礎になることは間違いない。現代社会で暮らすうえでも、異文化理解はきわめて重要な問題である。これをきっかけに異文化問題を歴史の問題として理解する視点を養ってもらいたい。
講義の内容・授業スケジュール	前期は旧石器時代～弥生時代まで、後期は古墳時代～歴史時代までのテーマで演習をおこなう。各自テーマをまず出してもらい、類似のテーマによってグループをつくり、グループ発表をおこなうこととする。
履修上の留意点	各グループは発表内容の綿密な打ち合わせをおこなうとともに役割分担し、発表の進行や討議に対して責任を持って運営してほしい。つまり、下準備に時間をかけてもらいたい。それがこれから社会へ出たときに、各種のプレゼンテーションやシンポジウムなどで役に立つであろう。
成績評価の方法	発表内容や質疑応答の状況で評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
考 古 発 掘 実 習	さかい きよし いいじま たけつぐ 酒井 清治・飯島 武次	歴史3必(考古学)	2

講義のねらい 考古学の基本は発掘した資料から人類の歴史を考えることであるが、発掘技術の優劣により発掘資料の情報量も異なってくる。発掘現場で対応できる発掘技術の習得を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール 考古発掘実習の授業は、通常の教場での授業と夏休みの野外考古発掘実習からなっている。

履修上の留意点 夏休みの野外考古発掘実習は実習先の都合もあり、夏休み直前まで場所と日程が決定しないのが通例である。従って履修者は、博物館実習等との関係をよく考えあわせ、夏休みの計画の中に、発掘実習と館務実習以外の計画を先行して予定しないこと。夏休みの私的な計画は、発掘実習と館務実習の期間が決定した後には計画を作ること。

授業と野外考古発掘実習においては、授業連絡・授業教程の関係から無届けの欠席、遅刻は一切認めない。またいかなる理由があっても年度の第1回の授業には出席すること。以上の件に反した学生に対しては、教師側の時々の判断で履修を禁止することがある。これは勝手な欠席・遅刻が該当年度の野外考古発掘実習の計画・実行を妨げるからで、履修学生の協力をお願いする。

成績評価の方法 成績評価は出席点と平常点および発掘実習と発掘日誌。

教科書 『考古学調査ハンドブック1 野外編』（雄山閣）1984年

参考書等 授業の中で資料を配付する。

その他 通常は講義で、夏休みに野外発掘実習を行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 史 史 料 講 読 I (10年度以降入学生)	たま おと よし ゆき 瀧 音 能 之	歴史2選必(日本史)	4
日 本 史 史 料 講 読 (9年度以前入学生)		歴史2・3・4選(日本史以外)	
		歴史2必(日本史)	
		歴史2・3・4選(日本史以外)	

講義のねらい 8世紀のはじめに成立した『常陸国風土記』をテキストにして、それを読みながら、古代の常陸および東国の社会のさまざまな様相について考えてみたいと思っています。

講義の内容・授業スケジュール 毎回、テキストを使って、その解説をおこないますが、単に私だけが、講義をするのではなく、質問などを通して出席者とのコミュニケーションを大事にしたいと考えています。また、できれば、ビデオなどの視覚教材も使いたいと思っています。

成績評価の方法 筆記試験をおこない、その結果を重視しますが、それに授業での平常点を加えて評価します。

教科書 はじめの授業のさいに、指示します。

その他 ただ、授業をきくのではなく、積極的に参加しようという熱意を期待します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本史史料講読Ⅱ (10年度以降入学生)	くぼた まさき 久保田 昌 希	歴史2選必(日本史)	4
日本史史料講読 (9年度以前入学生)		歴史2・3・4選(日本史以外)	
		歴史2必(日本史)	
		歴史2・3・4選(日本史以外)	

講義のねらい

言うまでもないが歴史研究には史料が必要である。それ故に歴史(日本史)研究の出発点(基本)は史料を読むことと解釈にあるとよい。それによって、各自が歴史像を構築していくのである。そうした積み重ねが大事である。その過程で各自が新たな発見を通して、楽しさや意義を見出すことができるだろう。

史料講読は、3・4年次の演習Ⅰ・Ⅱで行うが、より早い段階から史料への取り組みに慣れておく必要があるということで、本講座では中世史分野に関する基礎史料を対象とする。

それでは中世に関する史料にはどのようなものがあるのだろうか。前代までの朝廷・寺社関係に加えて新たに鎌倉・室町幕府、守護・戦国大名その他在地領主といった武士階層による文書や記録、さらに農民・惣村や町・都市に伝わった文書・記録が増えてくる。

また、最近の中世史研究が明らかにしているように、例えば絵図や絵画・絵巻物、板碑・鰐口をはじめとする金石文、中世考古遺物・遺跡の有効な活用は、文書・記録の多角的な解釈とともにこれまでの既成の中世社会像への再検討を提起するにいたっている。

これらの史料は今日、多くのものが活字化されてきており、わたくしたちも容易に見られるようになってきている。そしてそのことが中世史研究の発展につながっているといえよう。

講義の内容・
授業スケジュール

本講座としては、上に掲げた中世史料をすべて対象とすべきであろうが、もとより中世史料は前時代とくらべて多く、その一端に止めざるをえない。史料の講読・紹介につとめつつ、史料所蔵機関や閲覧についても解説していきたい。

(前期)

1. 中世史料入門
2. 吾妻鏡を読む
3. 御成敗式目・建武式目を読む
4. 中世史料所蔵機関の紹介

(後期)

5. 中世民衆史料を読む
6. 公家日記を読む
7. 棟札や金石文を読む
8. 中世史料・遺跡保存への視点

履修上の留意点

本講座に限ったことではないが、本学図書館には多くの活字化(刊行)された史料がある。そういったものに早く、自分なりに問題関心にそって目を通そうとすることが大切だと思う。

成績評価の方法

定期試験の結果、提出レポート、出席状況などによる。

教科書

とくに指定しない。適宜必要に応じて資料を配布する。

参考書等

『史料による日本の歩み(中世編)』(吉川弘文館)2,936円

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本史史料講読Ⅲ (10年度以降入学生)	なかのたつや 中野達哉	歴史2選必(日本史)	4
日本史史料講読 (9年度以前入学生)		歴史2・3・4選(日本史以外)	
		歴史2必(日本史)	
		歴史2・3・4選(日本史以外)	

講義のねらい

歴史の研究は、いかに理論を組み立て、それを実証していくかにある。そして、そのためには、先人たちの足跡として残された史料を読み解くことが必要である。本講義では、日本近世の史料を正確に読み込み、判断する力をつけることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

織豊期～幕末期にかけてのさまざまな史料を取り上げて読み、分析していく。いうまでもなく、近世については、武家文書・町方文書・村方文書・寺社文書など多様な分野にわたり膨大な量の史料が伝えられている。授業では、いくつかのテーマを設けて行っていくが、読むための基礎的な力をつけるだけでなく、その史料の背景にある社会情勢などについても考えていく。

また、近世史料のなかには、活字になっていないものも多くあり、その所在も個人宅や図書館・博物館・文書館など多様である。史料の所在や調査方法などについても触れていきたい。

履修上の留意点

難解なものとは怖がらず、親しみをもって史料を読んでほしい。

成績評価の方法

授業での平常点および年度末に行う定期試験により評価する。

教科書

教科書はなし、必要な資料は適宜プリントして配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本史史料講読Ⅳ (10年度以降入学生)	こぼやしかずゆき 小林和幸	歴史2選必(日本史)	4
日本史史料講読 (9年度以前入学生)		歴史2・3・4選(日本史以外)	
		歴史2必(日本史)	
		歴史2・3・4選(日本史以外)	

講義のねらい

歴史研究の基礎となる文献史料の取扱い方と解読の手法を学ぶことにより、日本近代史研究のための基礎的な史料読解力の養成を目的とする。あわせて、近代史料の特質や史料の伝来等を解説すると共に、各史料保存機関の所蔵史料についても随時紹介していく。

講義の内容・
授業スケジュール

幕末期から明治・大正期にかけての近代日本の公文書類や政治家の書翰、日記等の一次史料をテキストにして、受講者と共に解読し史料内容の検討分析を行う。

履修上の留意点

テキストは、教室で配布するので、各自解読の予習をする必要がある。

成績評価の方法

レポート及び定期試験

教科書

随時、テキストとなる史料を配布する。

参考書等

児玉幸多編『くずし字解読辞典』(東京堂)

科目名	担当者名	配当学科	単位
東洋史史料講読Ⅰ (10年度以降入学生)	石井 仁	歴史2選必(東洋史)	4
東洋史史料講読 (9年度以前入学生)		歴史2・3・4選(東洋史以外)	
		歴史2必(東洋史)	
		歴史2・3・4選(東洋史以外)	

講義のねらい

北宋の司馬光(1019-1086)が編纂した『資治通鑑(しじ・つがん)』294巻は、周の威烈王二十三年(西暦紀元前403年)から五代後周の世祖顯徳六年(紀元後959年)までの1362年間を編年体で叙述した歴史書です。司馬光は各時代の基本史料を整理収集し、事実と考えられる記事を採用しました。内容は政治過程を基調としつつも、社会経済・文化など、多岐にわたり、各時代の概況が通観できるように工夫されています。また、元の胡三省が『資治通鑑』にほどこした精密な注釈(=胡注)は、単なる字句の解釈にとどまらず、政治制度・地理などの各分野ですぐれた見解を提示しています。

以上のような特色を兼ね備える『資治通鑑』の講読を通して、漢文史料読解力の向上はもとより、研究のための各種実用書-工具書(辞典・年表・地図・索引類など)の使用方法や、文献の検索方法など、中国史研究に不可欠の基本知識と作業手順の修得をめざします。なお、『資治通鑑』のどの時代、何巻から講読するかについては、開講後、相談のうえ決定します。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) (1・2) ガイダンス (3~13) 講読
(後期) (14~26) 講読

履修上の留意点

予習・復習に十分な時間をとって講義に臨んでください。

成績評価の方法

講義に対する取り組み方を総合的に評価しますが、レポートを課すこともあります。

教科書

中国・中華書局刊行の標点本をテキストに使用します(コピーを配付)。

参考書等

随時紹介します。

その他

テキストを受講者が輪番で漢文訓読します(必要に応じて現代語訳)。

歴史

科目名	担当者名	配当学科	単位
東洋史史料講読Ⅱ (10年度以降入学生)	藤谷 浩悦	歴史2選必(東洋史)	4
東洋史史料講読 (9年度以前入学生)		歴史2・3・4選(東洋史以外)	
		歴史2必(東洋史)	
		歴史2・3・4選(東洋史以外)	

講義のねらい

1894年の日清戦争から、1911年の辛亥革命に至るまで、中国の近代は、日本と独特な関係を持った。多くの留学生や亡命者が日本に至り、日本を舞台に活動を行ったからである。そして、日本の一部の政治家や民間人も、様々な思惑から、それに協力した。本講読では宮崎滔天『三十三年の夢』や外務省文書を取りあげ、1911年の辛亥革命に至るまでの、中国の近代と日本との関係を考えます。また、史料を読み進めながら、東京や横浜、神戸に残る、中国に係わる史跡も紹介します。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、宮崎滔天『三十三年の夢』を輪読します。
後期は、外務省外交史料館所蔵外務省文書『国内政関係雑纂 支那ノ部 革命党関係(亡命者を含む)』の、原文書の複写を読みます。

履修上の留意点

外務省文書の読解力は、慣れ親しむことが肝要です。また、時代的背景を知ることにより、興味も増すことでしょう。受講生の自発的な学習に期待します。

成績評価の方法

授業への出席率、報告内容、学期末のレポートによって行ないます。

教科書

宮崎滔天著、島田慶次・近藤秀樹校注『三十三年の夢』(岩波文庫) 770円
後期に行なう外務省文書については、史料のプリントを随時配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋史史料講読Ⅰ (10年度以降入学生)	おおしろみちのり 大城道則	歴史2選必(西洋史)	4
西洋史史料講読 (9年度以前入学生)		歴史2・3・4選(西洋史以外)	
		歴史2必(西洋史)	
		歴史2・3・4選(西洋史以外)	

講義のねらい

西洋史をテーマとして卒業論文を書く場合、外国語を読むことは避けることが出来ない。そこで本講義では、西洋史研究の基礎となる外国語文献および外国語史料の扱い方・読み方を学ぶ。また外国語文献に接する機会を数多く持つことにより、常日頃から外国語を読むことに慣れるのがねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

古代西洋史・古代オリエント史に関する外国語文献を読み、輪読を行い、必要があれば適時その内容について講義中に解説を行う。

履修上の留意点

毎回の出席を望む。本講義は語学ではなく歴史学の講義であり、内容の理解度を重視するため、テキスト中に登場する固有名詞(人名・地名)などについても調べておくこと。事前に訳者を割り当てたりはしないため、必ず毎時間予習してくることを心がけること。

成績評価の方法

授業への積極的な参加・出席を重視し、学年末の試験により総合的に評価する。

教科書

受講生と相談して決定する予定である。講読する文献のコピーは配布する。

参考書等

必要があれば適時紹介する。毎回辞書を持参すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋史史料講読Ⅱ (10年度以降入学生)	かせしままさよし 伏島正義	歴史2選必(西洋史)	4
西洋史史料講読 (9年度以前入学生)		歴史2・3・4選(西洋史以外)	
		歴史2必(西洋史)	
		歴史2・3・4選(西洋史以外)	

講義のねらい

西洋史を学ぼうとする場合、それが人文・社会科学の1部門であるとの立場に立つ限り、その根拠として、史料は必要不可欠であり、必須の前提条件であることは言うまでもない。しかも史料を読むことにより、それを包む社会がいかなるものであったのかについて、さまざまな角度からの検討を可能とさせる。なぜならば、史料は自身からはなんら自動的に語り出すものではなく、我々の史料への問いかけ次第で、多くの事柄について汲めども尽きないヒントを与えてくれるはずだからである。

講義の内容・授業スケジュール

具体的にいかなる史料を扱うかについては受講生と相談のうえ、決める。但し本講では西欧諸国を対象とし、概して前近代をその範囲とする。また史料は翻訳に拠ることなく原典それ自体を読むこととしたい。なぜならば、翻訳は翻訳者の一定の見解を濾過したものである限り、それに依存することは我々各人の自由で、独創的な解釈を阻害する危険があるからである。したがって初歩的な原典の原語を学びたい。これまでは初歩のラテン語を学び、次にラテン語の史料を読んだ。

履修上の留意点

歴史を原典史料に降り立って、じっくりと研究しようとする志を持つ、地道な姿勢が期待される。

成績評価の方法

演習形式で授業を進めるため、毎回授業に出席し、いかに積極的にして熱心に参加しているかが基本的な基準である。学期末にテストを実施し、決める。

教科書

D. A. Kidd, *Collins Gem Latin Dictionary Latin - English ; English - Latin*
 その他必要な史料等はプリントして、配布する。

参考書等

授業に合わせて、その都度指摘する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
考古学実習(写真)	塚原明生 <small>つか はら あけ お</small>	歴史2・3・4選必(考古学)	2

講義のねらい	考古学における、発掘現場写真撮影出土遺物写真撮影について基礎より学ぶ。
講義の内容・授業スケジュール	写真撮影の為のカメラ機材及び写真用品の解説とその使用方法、用途や目的に応じたその利用方法を写真専門用語と共に基礎より学び、撮影実習暗室実習を通して写真記録の重要性を考える。
履修上の留意点	受講生は実習を円滑に進める為、原則的に35mm判一眼レフカメラを所持する事を条件とする。(デジカメ及びコンパクトカメラは不可)
成績評価の方法	課題写真提出、出席点(どちらが欠けても評価の対象外とする)
教科書	特になし
参考書等	特になし
その他	前期に講義を中心とし撮影実習(屋外)後期に撮影実習(屋内)及び暗室実習を行なう。

科目名	担当者名	配当学科	単位
考古学実習(測量)	古庄浩明 <small>ふる しょう ひろ あき</small>	歴史2・3・4選必(考古学)	2

講義のねらい	発掘調査に必要な測量技術を習得する。
講義の内容・授業スケジュール	測量機器を使って野外で測量活動をおこなう。
履修上の留意点	野外での作業を伴うので、作業しやすい服装で受講すること。
成績評価の方法	出席を最も重視する。また、一定の技術を習得したか試験を行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
考古学実習(実測)	かみしきりょう 上敷領 久	歴史2・3・4選必修(考古)	2

講義のねらい

考古学の基本は遺跡の発掘と出土遺物の実測です。特に遺物実測は単に土器や石器を模写するのではなく、先人が作った道具に込められた技術の復元や機能の推定等を行う重要な基礎作業です。本講義では上半期を土器、下半期で石器の実測を行い、土器と石器の観察方法とそれに基づく実測の手順を習得することを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

上半期は土器の実測を行います。4月から5月に近現代の陶磁器を1点、6月から7月で古代の土器を1点、合計2点の実測図を作成します。

下半期は石器の実測を行います。9月から10月に自ら打ち欠いた黒曜石の剥片を1点、11月から12月に縄文・旧石器時代の石器を1点、合計2点の実測図を作成します。

履修上の留意点

本講義は考古学を専門に目指す学生を対象としています。出席はとりませんが、土器と石器あわせて4枚の実測図の完成を以って評価の対象としますので継続して受講する必要があります。

成績評価の方法

年度末定期試験・レポート提出は行いません。土器と石器あわせて4枚の実測図の完成を以って評価の対象とします。

参考書等

講義中に適宜レジュメを配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
考古学実習(情報)	こやなぎ よしき 小柳美樹	歴史2・3・4選必修(考古)	2

講義のねらい

この授業は、考古学上の調査および整理、研究におけるパソコンの活用について基礎的な方法や目的、考え方などを学ぶものである。

講義の内容・授業スケジュール

基本的なパソコン・ソフトである文章作成機能、数理統計機能、図画作成、写真加工機能、インターネット環境などを使用し、与えられた課題を処理していく。そのため、授業時間の大半は、パソコンを活用しながらの作業になる。

履修上の留意点

履修する学生はパソコン利用が初心者であるものを優先したい。すでにパソコンに慣れている学生には物足りなく感じてしまう恐れがある。ご注意願う。

課題は考古学に関するものである。そのため、基礎的な考古学用語などを把握している学生が望ましい。

成績評価の方法

きちんと出席していること。
課題を全て提出していること。

教科書

指定する教科書・参考書はない。

その他

フロッピー・ディスク2枚を、用意すること。
開講時までに学内パソコン利用の登録を済ませておくこと。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 古 代 史	たき おと よし ゆき 瀧 音 能 之	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

時代的には古代を対象とし、地域的には出雲に注目して、そこに展開されたであろう歴史的要素をとりあげるつもりです。古代史における出雲地域の特殊性については、しばしば指摘されるところです。記紀神話にみられる出雲系神話のウェイトの大きさに加えて、近年の神庭荒神谷遺跡や加茂岩倉遺跡の発見は古代における出雲の重要性を再認識させました。こうしたことをふまえて古代史の再構成をめざしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

テキストをもとにして、毎回、ひとつのテーマをとりあげて、それについて述べていくつもりです。

履修上の留意点

古代の特に地域史に興味をもっている学生の積極的な参加を期待しています。

成績評価の方法

成績の評価は、隔年末のテストを重視しておこないますが、それに加えて出席状況などの平常点を考慮して総合評価とします。

教 科 書

瀧音能之著『古代の出雲的世界』（白鳥舎）

参 考 書 等

瀧音能之著『古代出雲と風土記世界』（河出書房新社）

そ の 他

授業は講義形式でおこないますが、何回かはビデオなど使用して、立体的な授業にしたいと思っています。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 中 世 史	くぼた まさ 希 久保田 昌 希	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

本講座は中世社会の構造を概観し、日本史上に占める位置を考えることを目的とする。日本中世史の研究は、明治期における原勝郎の『日本中世史』によって提起された、いわば武家社会発展史（公家政権の衰退史）が伝統的史観であり、それは戦後日本中世史研究の出発点となった石母田正の『中世的世界の形成』へ継承されていく。

それから約60年を経つある段階の今日、中世史研究はまことに活況である。さまざまな視点や方法論による史料解釈などがその多彩性を生み出している。しかしそれは同時に研究の細分化をとまなうことになった。ここではそうした研究の現状を追いかけるのではなく、中世社会の基礎的な構造について紹介する。

その目的は、はたして中世という社会は、古代から近世社会の間でいかなる構造をもち、いかなる展開を遂げたのかという、いわば中世社会の「枠組み」を考えることの大切さを強調したいからである。本講座ではこれらの視点に立って、研究史も紹介しながら概観していく。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期)
1. 古代から中世へ
 2. 鎌倉幕府と朝廷
 3. 武家と公家の法秩序
 4. 鎌倉中・後期の幕府と朝廷
 5. 建武新政をめぐる
- (後期)
6. 室町幕府と守護体制
 7. 惣的結合と一揆の時代
 8. 戦国大名領国の形成
 9. 豊臣政権
 10. 近世（幕藩制）社会へ

履修上の留意点

細かな政治史、事件等の経緯については、各自で中世史関係の論文や図書を読んでほしい。

成績評価の方法

定期試験の結果、提出レポート、出席状況などによる。

教 科 書

とくに指定はしない。適宜史料コピーを配布することがある。

参 考 書 等

適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本近世史	なかの 野達哉	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

近世前期の領主支配と地域社会の形成・変容について、関東、とくに武蔵国を中心に、現在の研究上の問題点に触れながら考えることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

関東転封より江戸幕府開幕までの関東領有期の徳川氏の領国整備の過程を中心に、おおよそ享保期までの在地支配と地域社会について、具体的に史料をあげながら講義する。徳川氏の関東転封、近世初頭の江戸および江戸城の状況とその建設、徳川氏の家臣団の知行割と初期検地、代官頭および代官の支配と村社会、近世社会の基礎を支えた村の構造、村社会の慣行と秩序、そして、それらによる地域社会の形成と変容などについて触れていく。

履修上の留意点

「知識としての日本史」を深めるために受講するのではなく、日本史あるいは近世の社会を大局的に捉え、考えるための糧とすべく講義を受講して欲しい。

成績評価の方法

基本的には、年度末の定期試験により評価する。試験は論述方式をとる。なお、授業の出欠状況も参考とする。

教科書

必要な資料は、授業時に配布する。教科書はなし。

参考書等

とくになし。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本近代史	こばやし かず ゆき 小林和幸	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

いわゆる「近代化論」は、明治維新以降の日本の発展を肯定的に捉える考え方であるが、本講義では、この歴史アプローチを検討しつつ、近代日本の国家像を理解することを目指す。本年度の講義では、具体的には、明治の国家目標の一つであった「公議・輿論」による政治の実現過程の検討、さらに帝国憲法下の日本近代の歩みを通じて、日本近代史の展開を明らかにしていく。

講義の内容・授業スケジュール

本年度の講義は、以下の通り進める。

- 一、歴史認識と歴史観
「近代化論」・「リビジョニズム」、近代日本における「歴史観」の推移
- 二、明治国家の誕生
明治維新の国際環境
明治維新の国家目標
- 三、立憲政治の実現を目指して
「華族」の政治的な役割
帝国憲法の成立
帝国議会－貴族院と衆議院
- 四、帝国議会の実態
初期議会における藩閥政府と議会
- 五、政党・官僚・貴族院
- 六、おわりに

履修上の留意点

幕末維新期から昭和期という近代日本に興味を持つ学生に受講してほしい。柔軟な発想、積極的な意見交換を望む。

成績評価の方法

レポートと定期試験により、出席状況も勘案する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

随時紹介する。

その他

基本的に講義形式で進めるが、映像資料の参照も行いたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本史特講Ⅰ (古代)	三 舟 隆 之 <small>み ふね たか ゆき</small>	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

歴史学がどのような学問であるのか、『日本霊異記』を史料としてさまざまな視点から歴史像を浮かび上がらせることを試みる。今まで高校などで学習してきたような、国家の歴史像に偏るのではなく、地域に生きた民衆の生活と信仰について焦点を当てて行きたい。『日本霊異記』の内容は、仏教思想の「因果応報」に基づく説話が多いが、この講義では、その中の地方の民衆の生活や信仰について、地域史的な観点で見していきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

(前期)『日本霊異記』に見える古代寺院
 [1・2]『日本霊異記』の特質と地方寺院の成立 [3・4]冥界説話と信濃の古代寺院
 [5]紀伊の古代寺院 [6・7・8]行基と「山寺」、蟹の恩返し・山城蟹満寺
 [9～11]地方寺院の縁起－遠江・鵜田堂、備後・亀の報恩と三谷寺、伊予・建郡造寺
 [12]武蔵・大伴氏の氏寺 [13]播磨・寺院と法会
 (後期)『日本霊異記』の地域社会
 [14]「道場法師説話」－古代の地域社会
 [15・16・17]古代の市と商業、美作・鉄、古代の産業、寺院経済
 [18]越前・浮浪人長、母の罪、『霊異記』の女性
 [19～22]『霊異記』の社会－讃岐・社会福祉、古代の犯罪、貧困と救済、病氣
 [23・24]『霊異記』の在来信仰、古代の地域社会と信仰

成績評価の方法

成績評価はレポート、試験で総合評価する。

教科書

教科書はとくに指定せず、適宜プリントを配布する。

参考書等

多田一臣『日本霊異記』(上)(中)(下)(ちくま学芸文庫)
 三舟隆之『日本古代地方寺院の成立』(吉川弘文館)

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本史特講Ⅲ (中世)	小 松 寿 治 <small>こ まつ とし はる</small>	歴史2・3・4選	4

歴
史

講義のねらい

譲状や置文などの相続にかかわる史料を検討しつつ、鎌倉時代の武士の「イエ」の在り方について考えてみる予定です。

講義の内容・
授業スケジュール

相続にかかわる研究のなかで代表的な論文の解説をする。そのうえで個別の事例にあたりたいと思います。

履修上の留意点

講義では板書が多くなるので、ノートをとることを勧めます。

成績評価の方法

評価は試験によって行いますが、論理的に説明ができていないかを重視します。

教科書

教科書は特に定めず、参考となる文献については授業中に紹介しますので、購入等は自己の判断でしてください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 史 特 講 IV (中世)	黒 田 基 樹 <small>くろだもと き</small>	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

15C後半～17C前半は、日本史上における大きな転換期にあたる。これまで中世と近世という形で分断されてきたこの時期を、一つの時代として認識するとともに、「中世の戦争と飢饉」から「近世の平和」へ、という観点から、この時代の歴史的段階としての特徴について追求していきたい。

近年の中世史研究における村落論の進展によって、社会を村落・民衆の視点から認識できるようになった。ここではその視点をさらに発展させるべく、人々の生存・生活という側面に迫り、そこから15C後半～17C前半（いわゆる戦国～江戸初期）という時代の特徴を考えていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

今年度は、15Cから展開した徳政問題を具体的な題材とする。前期については、15Cから展開した徳政問題の実態について、村落・民衆の視点から追究し、その歴史の意味を明らかにする。後期については、16Cから登場してくる戦国大名の徳政問題への対応について具体的に取上げながら、戦国期における徳政問題の展開と、その歴史の意味を明らかにする。これらを通じて15・16C列島社会の歴史的段階とその特徴を提示する。

履修上の留意点

授業中に示した参考文献についても、なるべく読むようにしていただきたい。また授業のなかで不明な点があれば、積極的に質問されるよう望む。

成績評価の方法

レポート、出席状況などから判断する。

参 考 書 等

適宜、授業のなかで紹介する。

そ の 他

授業は、史料を講読しながらすすめていく。その都度、プリントを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 史 特 講 V (近世)	桜 井 邦 夫 <small>さくらい くに お</small>	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

近世社会の実態について、交通史に関する史料から探ってみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は街道・宿場・飯盛女などに関する史料を、後期は庶民の旅に関する史料などを読んだり、考えたりしながら講義をすすめる。必要に応じ、交通史からはなれた関連史料を読むこともある。

成績評価の方法

レポート及び出席日数などを総合して評価する。なお、レポートは、講義に関係する課題を自ら設定し、フィールドワークにもとづくものを提出すること。

教 科 書

使用しない。必要に応じて随時史資料を配布する。

参 考 書 等

随時紹介する。

そ の 他

各地の博物館や文書館などで近世の交通や旅に関する展覧会などが開催されている。これらの情報は随時紹介するので、積極的に見学などに訪れてほしい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本史特講Ⅶ (近代)	くまもと ふみお 熊本史雄	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

第一次大戦から第二次大戦を経て、戦後のサンフランシスコ平和条約締結に至るまでの日本外交につき史料を交えて講述し、その外交方針の根底に潜む思想を解明する。戦前期の外交については、対外機構の改変問題も関連づけながら当該期日本外交の中心であった対中関係を考察しつつ、日本が如何なる途を模索し最終的には戦争に進んでいったのかを検討する。戦後期の外交については、占領下において、当時の外務省さらには戦後日本の政治指導者として大きな役割を担った吉田茂が如何にして日本再生の途を模索したかを、条約締結交渉とその準備過程を通じて検証する。

講義の内容・授業スケジュール

前期：第一次大戦と日本／「新外交」の模索／対中文化政策への視線／ワシントン体制の成立と対米英関係／満州事変から日中戦争へ／日米交渉と太平洋戦争
後期：終戦工作／占領の開始／「自主外交」の模索／平和条約締結の準備／サンフランシスコ平和会議／安保条約と行政協定

履修上の留意点

史料の講読を通じて外交政策の決定過程を追体験して欲しい。外交指導者が下した決断の理由は何か、その根底にある主張とは何か、といった問題意識を常に持つことが重要。

成績評価の方法

前・後期2回の定期試験の成績、および出席状況で評価する。

教科書

とくに指定しない。

参考書等

適宜紹介する。

その他

基本的に講義形式で進め、必要に応じてレジュメと史料を適宜配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
古文書講読Ⅰ	ひろせ りょうこう 廣瀬良弘	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

古代・中世古文書の読解力と分析力を身につけることと、その楽しさを知ることを目的とします。歴史の研究は資料の解読に始まることは、言うまでもありません。なかでも、多くの情報を含んでいる古文書史料の解読の能力を持つことは、歴史を云々する以前の問題であり、歴史学のスタートラインと言えます。合わせてアーカイブ(史資料)に関する知識・意識を高めます。

前期では古文書の概要と形式を把握し、人名や度量衡の単位などが多数記載されている検地帳や戦国期のパターン化されている比較的読みやすいものからはじめます。後期には平安鎌倉・南北朝期の古文書の読解に努め、古文書のバリエーションに対応できる力を養います。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) (1・2) 古文書の概要と形式 (3～6) 検地帳を読む(人名・度量衡)
(7～10) 戦国大名文書に親しむ(禁制・印判状)
(11～13) 天下人の書状を読む(信長・秀吉・家康)
(後期) (14) 古代文書を読む(太政官府・院庁下文) (15・16) 女房奉書を読む
(17) 頼朝下文を読む (18・19) 関東下知状 (20・21) 室町将軍家御教書を読む
(22・23) 文書伝達のシステム(遵行・打渡状) (24・25) 戦国時代の文書を読む
(26) まとめ

履修上の留意点

古文書の読解力は、慣れ親しむことから身につきます。予習復習はもちろんのこと、授業の時だけでなく、日頃から文書に接する時間をつくることが望まれます。

成績評価の方法

学年末試験の結果と受講者の提出物の内容に依拠して行います。問題作成および成績評価にあたっては、講義に積極的に参加した人が有利になるよう配慮します。

教科書

講読する史料のプリントを随時配布します。参考書としては『くずし字解読辞典』(東京堂出版) 2,200円、『古文書解読辞典』(柏原書房) 2,500円の携帯を望みます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
古文書学	松本 信道・久保田昌希 小林 和幸・中野 達哉	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

古代から近現代にいたるわが国の史料保存の歴史や史料論について講義する。とかくおちいりがない、ひとつの時代に片寄った史料論ではなく全時代を対象とした古文書学をめざす。また、文書を後世に残していこうという姿勢を国家レベルで打ち出した公文書館法（昭和62年制定）やアーキビスト（文書士）養成問題などもふまえて史料の保存と利用に関する問題にもふれるつもりである。さらに、古文書のみならず歴史資料として絵画や出土遺物・金石文なども視野に入れて考えていきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- (1) ガイダンス……4月16日（担当教員全員）。
- (2) 古代の文書様式、木簡、漆紙文書・墨書土器などの利用法、金石文の有効性…4月23日～5月28日（松本担当）。
- (3) 中世古文書の形態・様式、中世古文書学の発達と保存・伝来とその利用法…6月4日～7月9日（久保田担当）。
- (4) 近世の古文書学、古文書の整理・分類方法、史資料の保存・利用法…9月17日～10月22日（中野担当）。
- (5) 近現代の情報文書学、近現代の公文書と私文書の収集・整理・修復・保存・利用法…10月29日～12月10日（小林担当）。
- (6) ※以上とは別途に文書館・史料館等への見学を実施する予定。

履修上の留意点

古代から近現代までの古文書の全体について学びたいと思っている学生、また、従来の古文書学に加えて史資料の保存・利用といった観点に興味をもっている学生の履修を期待する。

成績評価の方法

試験・レポートの成績によって評価する。

教科書

教科書は特定のものを用いず、必要に応じて担当教員が指示する。

参考書等

各担当教員が教場において指示・紹介する。

その他

講義が中心となるが、必要に応じてビデオ・スライド・OHPなどを使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
東 洋 史 各 説 I (古代史)	こ ばやし そう はち 小 林 惣 八	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

本講義で取扱う範囲は、秦の統一から後漢滅亡までの約400年間である。
 今日確認できる最古の王朝は夏王朝を倒した殷王朝からである。文献学上のうえで最古の王朝とされる夏王朝はその実在が確認されておらず、今後の中国考古学の大きな課題となっている。殷王朝の実体は多数の邑制国家の連合体であった。次の西周においても、この構造は基本的には同じであった。東周時代の初めには、このような邑制国家は二百数十を数えたが、春秋・戦国時代の激しい抗争の間こ滅国併合された結果、秦が天下を統一して秦そして漢の統一国家の時代を迎えるのである。またこの間は、新石器時代に芽生えた文明が中国固有の文化に発展して1つの結実をもたらした時期でもあった。その高度な文化は周辺の諸民族に多大な影響を与え、やがて中国を中心とする東アジア世界の形成に向かうのである。
 中国の歴史の中で、我々はこの一連の時期を古代としてとらえている。したがって本講義の取扱う範囲は中国古代史であり、そのうちでも特に漢代史に焦点を当てるものである。

講義の内容・授業スケジュール

取扱う内容は
 (1) 古代帝国の成立 (秦時代) (2) 古代帝国の発展 (前漢時代)
 (3) 古代帝国の没落 (新・後漢時代) (4) 古代中国をめぐる国際関係
 以上を軸に、講義を主に、時にディスカッションを交えて進めたい。

履修上の留意点

中国史の概説書・図表を座右に置き、常に出席することを心掛ける。

成績評価の方法

評価については、追って指示する。

教 科 書

特に定めない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
東 洋 史 各 説 III (近世史)	さ とう ひみ とし 佐 藤 文 俊	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

《明清時代史》 本講義の扱う時代は、中国の宋・元・明・清四王朝を対象とし、特に明清時代を詳説する。漢民族王朝の宋・明・非漢民族支配王朝の元・清の継起の中で、今日いう中華民族国家が清代に形成された。
 中国国家の清代近世の軸ともいふべき明清時代の政治・経済・社会・文化等の歴史について、最近の研究動向も取り入れた講義を行い、現代中国との関連も検証したい。
 なお明清時代を扱う場合、世界史の動向と関連しつつ東アジア史の中で位置づけて考える必要がある。つまり東アジアの多くの国でこの時期、近代と関連する各々の伝統社会が形成されたことである。この点にも留意したい。

履修上の留意点

遅刻をしないこと。

成績評価の方法

試験による成績評価を軸とする。なお受験資格は実授業数の3分の2以上の出席を要する。

参 考 書 等

授業でその都度紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
東 洋 史 各 説 Ⅳ (近・現代史)	趙 <small>ちよう</small> 軍 <small>ぐん</small>	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

数千年にわたる中国の歴史の中で、近・現代史は一番身近な歴史で、しかも今日の東アジアおよび世界情勢に対して大きな影響を及ぼしているものである。本講義は政治・経済・外交・文化などの方面を通して、近代以来の中国の歴史を概要的に解説し、中国の歴史と現代を正しく理解できる知識や教養を高める。

講義の内容・ 授業スケジュール

前期は1840年のアヘン戦争から1949年中華人民共和国の成立までの歴史を解説し、後期は中華人民共和国成立以来の歴史を解説する。

1. アヘン戦争と中国の「開国」
2. 「太平天国」農民運動
3. 洋務運動と日清戦争
4. 士紳らの救国運動－戊戌維新－
5. 農民らの救国運動－義和団事件－
6. ブルジョア階級による救国運動－辛亥革命－
7. 北洋軍閥統治下の中国
8. 国民革命の開始と挫折
9. 日本の満州侵略と紅軍の長征
10. 中国の抗日戦争
11. 解放戦争と新中国の誕生
12. 1950年代前期の中国
13. 「反右派闘争」前後
14. 「文化大革命」の嵐
15. 鄧小平と改革開放政策

履修上の留意点

受講者とのコミュニケーションを図るため、毎回出席カードを配り、授業内容に関する質問・感想・提言などはそのカードの裏に積極的に記入して提出してほしい。

成績評価の方法

年に2回レポートの提出を要求し、課題は数週間前に提示する。成績評価には出席日数を参考にする。

教 科 書

小島晋治・丸山松幸著『中国近現代史』（岩波書店）岩波新書336

参 考 書 等

授業の中で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
東洋史各説 V (アジア諸民族史)	奈良修一 な ら しゅう いち	歴史2・3・4選	4

講義のねらい 東南アジアという地域は、古来よりインド、中国の両文明に挟まれ交易により潤ってきている。しかし、日本との関係が深いにも関わらず、この地域に対する理解が深いとは言えないのが現状である。故に、この地域の歴史、文化を再確認したい。そのためには、単に歴史的な知識だけを入れるのではなく、歴史の流れと見方を学んでいきたい。

普通、東南アジア史というと、各国史の総合のような形で説かれることが多いが、近代的な国家概念では、前近代の国を理解することができない。それゆえ、世紀割りに歴史を見ていき、各王朝の変遷を追いながら、歴史の流れを把握していく方法をとる。また、歴史を研究する時に盲点になりやすい、文化、宗教、技術の点にも触れていく予定である。

講義の内容・授業スケジュール (前期) (1) 東南アジアの定義、(2) 時代区分について、特に「近世」の説明、(3・4) 12世紀までの歴史、(5～13) 世紀ごとの近世史、(後期) (14～17) 宗教を含む文化史、(18～21) 19世紀の歴史、(22～25) 20世紀の歴史、(26) まとめ

履修上の留意点 東南アジア史は各地の自発的な発展の歴史であると同時に東西交流の場として世界的な動きの影響を色濃く受けている。それだけに、基本的な世界史の知識を確認しておいていただきたい。また、授業中には地図帳を持ってきてもらいたい。

成績評価の方法 成績はレポートによって評価する。

教科書 必要な資料はコピーを配布する。

参考書等 石澤良昭、生田滋『世界の歴史13 東南アジアの伝統と発展』(中央公論社)
石井米雄他『東南アジア史』全9巻、別巻1(岩波書店)

科目名	担当者名	配当学科	単位
東洋史各説 VI (中世史)	石田肇 いし た ぼしめ	歴史2・3・4選	4

講義のねらい 〈唐宋時代の諸問題〉と題して講義します。唐から宋にかけては唐宋変革期といわれ、中国史上の大きな転換期として、ひいては東アジア史上の転換期として認識されており、時代区分の問題とも絡んで重要な時期ですので、様々な議論がなされています。そこでこの変革に絡めて講義します。

講義の内容・授業スケジュール (前期) 昨年度は〈唐宋変革期の諸問題〉と題して唐代を中心に概説しました。本年度は時代区分論について紹介し、ついで征服王朝という視点からこの時代を概観します。
(後期) 前期の講義をふまえていくつかのテーマについてお話する予定です。現段階ではテーマは決まっていますが、思想史・士大夫論・史学史といった私の関心のある分野から選んで講義することになると考えられます。

履修上の留意点 講義ではなるべく史料を示して解説してゆきますので、配布史料は必ず持参すること。

成績評価の方法 出席ならびに課題提出そして試験によります。

教科書 なし。

参考書等 随時、講義中に示します。

その他 講義形式ですが、なるべく出席者の発言を求めます。出席者の人数が少なければゼミ形式を取り入れるつもりです。また出席者の関心に応じて講義内容をかえるつもりです。

科目名	担当者名	配当学科	単位
東洋史特講Ⅱ (中世史)	いしだ はじめ 石田 肇	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

〈書道史から見た唐宋時代〉と題して講義します。いわゆる書道史というと美術史の一部門になりますが、ここでは名品を通覧する一般の書道史とは視点をかえて、書を史料としてとらえたり、あるいは中国文化史という立場から講義します。いわば中国古文書学ということにもなります。書道などというアレルギーを起こす人がいるかもしれませんが、書の作品自体が歴史学からすれば史料ということになります。書道に関する素養は一切必用ありません。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) 中国書道史の時代区分についてお話ししたうえで中国書道史の流れを概観します。
(後期) 唐宋時代の書を史料としてとりあげ、一方、書を文化史という視点から様々な形で考えて行くことにします。具体的には顔真卿が書いたといわれる告身つまり辞令を文書学的に検討したり、科挙と書道の関係を分析したり、五代を生き抜いた官僚で書の方面でも著名な楊凝式の生涯をたどったりする予定です。

履修上の留意点

講義ではなるべく多くの資料を配布しますので、配布資料を必ず持参すること。

成績評価の方法

出席ならびに課題提出そして試験によります。

教科書

なし

参考書等

随時指示します。

その他

講義形式ですが、なるべく出席者の発言を求めます。実物を見ることが大切です。博物館や美術館へゆくことを勧めます。

科目名	担当者名	配当学科	単位
東洋史特講Ⅲ (近世史)	ちよう ぐん 趙 軍	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

〈近・現代日中関係史〉と題して講義する。その目的は外交・貿易・文化往来などの方面を通して、二千年以上にわたる日本と中国の間の友好と不友好の歴史を概要的に解説し、日本とアジア諸国とりわけ中国との関係を正しく理解できる知識や教養を高めることである。

講義の内容・授業スケジュール

近代以前の日中関係史を概要的に紹介し、「西力東漸」以後、とりわけ第一次世界大戦以後の日中関係史を具体的に解説する。

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 近代以前の日中交通史 | 9. 「満州事変」から日中戦争へ |
| 2. 「日清提携」と「征亜論」の創生 | 10. 日本の敗戦と台湾との「国交」 |
| 3. 「アジア連帯」と国権主義の台頭 | 11. 政経分離と政経不可分 |
| 4. 宮崎滔天と中国 | 12. 国交正常化と日中平和友好条約 |
| 5. 頭山満と中国 | 13. フィーバーと摩擦 |
| 6. 辛亥革命・孫文と日本 | 14. 改革開放と「新アジア主義」 |
| 7. 内田良平と中国 | 15. 真のアジア共生をめざして |
| 8. 中国の国民革命と日本の対応 | |

履修上の留意点

受講者とのコミュニケーションを図るため、毎回出席カードを配り、授業内容に関する質問・感想・提言などはそのカードの裏に積極的に記入して提出してほしい。

成績評価の方法

年に2回レポートの提出を要求し、課題は数週間前に提示する。成績評価には出席日数を参考にする。

教科書

趙軍著『大アジア主義と中国』（亜紀書房）1996年
竹内実著『日中国交基本文献集』上・下巻（蒼々社）1993年

参考書等

田中明彦著『日中関係 1945-1990』（東京大学出版会）1991年
ホームページ「日中関係資料館」<http://www.est.hi-ho.ne.jp/~zhaojun/> など。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
東 洋 史 特 講 Ⅳ (近・現代史)	ふじ や こう えつ 藤 谷 浩 悦	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

本講義では、東アジアの近代の歩みについて、清末中国における社会と文化を中心に考察する。テーマは前期が「民衆反乱」、後期が「文化摩擦」である。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容は以下の通りである。

〔前期〕

- | | | | |
|-----------|-------------|------------|-----------|
| (1) 問題提起 | (2) 18世紀の世界 | (3) 白蓮教徒の乱 | (4) 民間諸宗教 |
| (5) 反乱の世界 | (6) 会党と近代 | (7) 太平天国1 | (8) 太平天国2 |
| (9) 太平天国3 | (10) 義和団1 | (11) 義和団2 | (12) 義和団3 |
| (13) 辛亥革命 | (14) (予備) | (15) (予備) | |

〔後期〕

- | | | | |
|-------------|------------|-------------|-------------|
| (1) 問題提起 | (2) お茶と文化 | (3) 茶の世界史 | (4) 病気の歴史 |
| (5) 茶とアヘン | (6) アジアの近代 | (7) アヘン戦争1 | (8) アヘン戦争2 |
| (9) 上海と横浜 | (10) 上海の歴史 | (11) 留学生と日本 | (12) 文化と政治1 |
| (13) 文化と政治2 | (14) (予備) | (15) (予備) | |

履修上の留意点

当該時期に関心を抱くことが望ましい。

成績評価の方法

成績評価は試験に出席率を勘案して行う。

教 科 書

教科書や参考書は授業の中で指示する。

そ の 他

適宜、史料を配付する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
東洋史特講 V (アジア諸民族史)	かた おか かず ただ 片 岡 一 忠	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

中国とその西方、すなわち西域との関係は、絹の西方への伝播や仏教の中国への伝来等、平和的な関係もあったが、中国王朝にとって西域は政治軍事上きわめて重要な位置にあった。講義では、西域をめぐる中国と北方の遊牧民との関係からはじめ、主に18世紀以降の問題について検討し、今日の中央アジア情勢の背景をさぐる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 西域とは
- 2 西域の地理的環境
- 3 オアシア世界の政治経済的特徴
- 4 遊牧民と西域
- 5 中国と遊牧民
- 6 中国と西域
- 7 中国王朝の西域政策
- 8 清朝の西域征服とその統治政策
- 9 19世紀の世界情勢と西域
- 10 清朝の政策の変更
- 11 辛亥革命と西域（新疆）
- 12 20世紀中央アジア・ソ連と中国
- 13 今日の中央アジア

履修上の留意点

とくに予備知識を必要としない。中国の辺境や西域（中央アジア）に関心のある学生の聴講を期待する。

成績評価の方法

小テストや後期末試験の成績に平常点・出席点を加算する。

教科書

とくに指定しない。関係資料を配布する。

参考書等

授業の中で指示する。

その他

講義形式

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
東 洋 史 特 講 VI (アジア諸民族史)	まつもと ひろし 松 本 弘	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

本講義は中東史であり、一般にイスラーム期と呼ばれる中世と、近現代がその内容となる。近年、日本における中東やイスラームに関わる研究は急速に拡大、充実しているものの、一般にはその理解は未だ十分ではない。それゆえ、講義の対象には初学者を想定し、中東及びイスラームの基礎的な理解のための情報提供を第一の目標とする。

しかし同時に、中東に関する一般的な興味、関心が、現在報道されている様々な事件にあることを考慮し、それらの解説や論評も行なう。これが、第二の目標となる。当然、両者は別々のものではなく、中東史に関わる基礎的・一般的理解と、その現状に関わる個別的な理解との総合が、本講義の大きな枠組みとなる。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) (1)授業の目的と予定 (2~5)中東の地域概念、国や民族・宗教の構成、中東一神教世界(ユダヤ教、キリスト教、イスラーム)などの概説 (6・7)イスラームの成立 (8・9)ウマイヤ朝・アッバース朝 (10・11)イスラーム法学 (12・13)イスラーム神学

(後期) (14~15)オスマン帝国 (16・17)中東の近代概説 (18・19)ナショナリズムの時代 (20~22)中東和平問題の歴史と現状 (23~25)イスラーム原理主義の史的展開 (26)現代中東の民主化

履修上の留意点

中東の歴史を、現代の状況や諸問題からも考えていく作業となるので、中東やイスラームに関わる新聞報道(特に国際面)の見出しだけでも、毎日見る習慣を身につけて欲しい。

成績評価の方法

前期末および学年末のテストによって、評価する。

教科書

特に用いない。

参考書等

適宜、プリントなどで指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 洋 史 各 説 II	しょうじ けいいち 庄 司 啓 一	歴史2・3・4選	4

歴
史

講義のねらい

アメリカ合衆国の歴史

アメリカ合衆国について情報は氾濫している。それは日本と政治・経済・文化などの分野において最も密接な関係がある国だからである。そればかりではない。アメリカは世界最強の軍事・経済・文化帝国であり、世界のあらゆる出来事に強い影響を与えている。しかしながら、アメリカ合衆国の全体像、その基本的な性格を理解するには、その歴史に遡らなければならない。「アメリカ史」を日本の若者はどのように学んできたのだろうか。日本の若い人々にとり生活の一部となっており、わざわざ勉強しなくてもいい、と考えられていないだろうか。

アメリカはヨーロッパの植民地として歴史がはじまり、原住民であるインディアンを追い払いながら、ヨーロッパから多様でたくさんの人々を受け入れてきた「移民国家」である。黒人はアフリカ大陸から強制的に奴隷として連行されてきたのであり、決して自由な移民ではない。また、アジアからも中国、日本、フィリピンなどからの移民は人種・民族的な差別を体験しながらアジア系アメリカ人としてのアイデンティティを模索している。このような世界各地の人々が自らを「アメリカ人」として自己認識するには長い歴史的な時間が必要であった。

世界の辺境の地に植民地として歴史がはじまったアメリカ合衆国が世界最大の工業国家に成長し、世界に君臨するようになり、その歴史的な限界をも露呈するようになった今日、アメリカの歴史の基本線を勉強することは、日本人にとっても大切なことだと考える。

成績評価の方法

前期・後期ともに論述試験実施。

教科書

開講時に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋史各説Ⅲ	ほせがわ たけお 長谷川 岳 男	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

2004年にはアテネでオリンピックが開催されることになっていることは周知のことであろう。そもそもオリンピックは古代ギリシア人がゼウスのための祭典として千年以上にわたって行ったものであり、それが19世紀末にヨーロッパで復活させられたものである。そのため第1回オリンピックもアテネで開催された。しかし古代のオリンピックは近代のそれとは全く違う社会的背景でなされたものであり、本講義ではその相違への注目を出発点として古代ギリシア世界を探り、近代オリンピックの再生に象徴される、この社会が有した歴史的な意義を考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では次のテーマを扱う予定である。①古代ギリシア史概説 ②ギリシア世界の実像と虚像 ③スパルタ社会 ④オリンピックをめぐる問題（ここまでが前期） ⑤アレクサンドロス大王の東征とヘレニズム世界概観 ⑥ヘレニズム世界認識の諸問題 ⑦ポリス世界変容の再検討 ⑧ギリシア認識の系譜（以上後期）。これらいくつかのトピックから西洋文明に中世以降現代まで多大に影響力を行使したギリシア世界を多面的に考察したいと考えている。

履修上の留意点

ただ情報を得るだけでなく、講義内容を土台に西洋古代世界とは現実的にはいかなる社会であったのかを自分なりにイメージし、自らが所属する現代社会とはいかに違うのかを考えるという積極的な姿勢で講義に参加して貰いたい。なお基本的な概説は行うので、ギリシア史の知識のない学生の参加も歓迎する。

成績評価の方法

講義をした上で年度末に試験かレポートを行って評価するが、出席が前提となる。

教科書

使用しない。

参考書等

なお参考書は講義中に随時、指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋史各説Ⅳ	たなか みほ穂 田 中 美 穂	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

中世ヨーロッパ世界では、聖人は、教会や修道院だけではなく、世俗社会においても重要な存在でした。聖人が起こしたとされる奇蹟や予言は、ヨーロッパ各地に残る聖人伝に記されました。聖人伝は、執筆者側の主張やプロパガンダを含み、当時の世俗社会を知るための重要な史料でもあります。講義では、中世初期アイルランドを中心に、聖人と世俗社会との関わりについて考えていきます。前期は、アイルランドの重要な聖人を個別に取り上げ、後期は、7世紀末頃にアイオナ修道院で執筆された『聖コロンバ伝』の内容に関して、詳細に講義します。

歴史

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) (1) アイルランドについて (2・3) 中世アイルランド史研究の昔と今 (4・5) 聖書と聖人伝 (6・7) 聖パトリック (8) 聖ブリジット (9・10) 聖コロンバ (11~13) 聖コロンバヌス、聖ブレンダンなど
(後期) (14・15) アダムナーンの『聖コロンバ伝』 (16~18) アイオナ修道院 (19・20) イー・ネール王国 (21・22) ダール・リアダ王国 (23・24) ノーサンブリア王国 (25・26) 現在に生きる聖人の遺産

履修上の留意点

講義中の私語、携帯電話、遅刻を禁止します。

成績評価の方法

出席、前期と後期の終わりに課すレポートにより評価します。講義中の態度も考慮に入れます。

教科書

講義内容をまとめたプリントを毎回配布します。

参考書等

講義中に随時、紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 洋 史 特 講 I	ふせ じま まさ よし 伏 島 正 義	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

中世史に興味がひかれる契機は、ある伝説的物語のもつ魅力に負うところが少なくない。本講ではそうした物語を選んでみたい。そして、そうした物語がある特定の歴史的背景を反映したものであるとの認識に立ち、それがいかなる社会的背景に基づくものであるかについて考えてみたい。具体的にはどのような物語を扱うかについては、受講生と相談のうえ決める。

講義の内容・
授業スケジュール

文献、・関係論文（邦文、英文）、史料などを読み、それを演習形式により授業を進める。なお、本講では論文（邦文、英文）をその数において多く読むことよりも、その1つ1つを丁寧、正確に読むことを心がけることにより、当該論文の筆者の主張を深く理解し、合せて歴史研究の方法を学ぼうとするものである。

履修上の留意点

本講は西洋史一般の知識を広く、そして多く獲得することを単に目的とするものではなく、むしろ歴史の深部を探求し、考求しようとするものである。したがって授業は演習形式で行うため、受動的な態度ではなく、地道にして、しっかりした心構えを持つ受講生を希望します。

成績評価の方法

毎回授業にどれ程熱心に、積極的に参加しているかが基本的な基準となることは言うまでもない。授業で毎回とる出席と期末テストで評価する。

教 科 書

教科書は特に定めない。必要な論文、史料はプリントとして配布する。

参 考 書 等

参考書は授業の進行に合わせて、その都度指摘する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋史特講Ⅲ	佐々木 真	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

テーマは、「フランス絶対王政期の王権の表象について」です。最近の絶対王政に関する研究では、絶対王政期の王権の統治能力が相対的に弱かったことが指摘されており、それを補完するものとして、儀礼や芸術作品により王権が象徴的に自らの権力を表象し、それにより形成された国王イメージが、統治において有効に作用していたことが主張されています。そこで、この講義では、ルイ14世治政下に制作された建築や絵画、彫刻において戦争や王権がいかに描かれていたのかを解説し、その特色を検討します。芸術作品の内容や成立過程を検討することで、ルイ14世とそのブレインたちがどのような戦略を用いて自らのイメージを確立しようとしたのかを明らかにし、それが当時のフランスの人々にどのように受け入れられていったのかを考察します。

講義の内容・授業スケジュール

(前期)

- (1) 問題点の提示
- (2, 3) 研究状況の概説
- (4, 5) 16～17世紀の王権論
- (6, 7) ルイ14世のイメージ戦略
- (8, 9) 絵画について① (肖像画)
- (10, 11) 絵画について② (歴史画)
- (12, 13) 絵画について③ (戦争画)

(後期)

- (14～17) 建築について① (ヴェルサイユ宮殿)
- (18～20) 建築について② (ヴィクトワール広場、サン・ドニ門、サン・マルタン門など)
- (21～23) イメージの伝播について (暦、騎馬像、銅版画、メダルなど)
- (24, 25) 王権の表象をめぐる論争 (新旧論争を中心に)
- (26) まとめ

履修上の留意点

授業中に紹介する参考文献をなるべく多く読み、広い知識を身につけて下さい。

成績評価の方法

成績は学年末に行う筆記試験の成績に、不定期に調査する出席点を加えて判定します。

教科書

教科書は特に指定しません。

参考書等

参考文献は必要に応じて講義中に紹介します。

その他

授業は講義形式で行い、随時参考資料を配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 洋 史 特 講 V	おおしろみちのり 大 城 道 則	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

人類の歴史の中でも異彩を放つ古代エジプト王国は、約2000年前に既に滅亡したにもかかわらず、その文化は消滅することなく、現在においても未だその輝きを失っていない。本講義は、その古代エジプトの文化に焦点を当て、いまだ我々を魅了する古代エジプト文化とはいったいどのようなものであったのかについて理解を深めることがねらいである。

講義の内容・
授業スケジュール

古代エジプト文化がどのように形成され、拡散し、そしてどのように現代世界にまで影響を及ぼしているのかを具体例を用いながら講義を行う。以下のような講義内容を予定している。

- ①古代エジプト文化の形成期について
- ②ピラミッドテキストにみる古代エジプトの宗教観
- ③文学作品にみる古王国時代の終焉
- ④アメンエムハトI世のクーデター
- ⑤ヒクソスとはどのような民族であったのか
- ⑥アマルナ書簡と新王国時代
- ⑦第三中間期とリビア王朝
- ⑧クシュ王国の歴史
- ⑨アレクサンドロスとアレキサンドリア
- ⑩古代ローマ世界における古代エジプト文化

履修上の留意点

15分以上の遅刻には出席を認めない。

成績評価の方法

後期試験の結果および出席を重視する。

教 科 書

大城道則『古代エジプト文化の形成と拡散－ナイル世界と東地中海世界－』（ミネルヴァ書房）

必要に応じて講義内容に関する資料をコピーし、配布する予定である。

参 考 書 等

必要があれば適時紹介する。

そ の 他

スライド等の映像資料を用いながら講義形式で行う。

歴 史

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 洋 史 特 講 VII	はやかわり穂 早 川 理 穂	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

本講義では、フランスのアンシャン・レジームから19世紀を中心として、「下から」の視点で歴史を見るべく、民衆運動に焦点をあてていく。具体的事例としては、アンシャン・レジーム期に起こった、「小麦粉戦争」と呼ばれる食糧暴動や、革命期の民衆運動などをとりあげていく。一見無秩序に見える暴動の中にも、ある種の秩序が見られる点などから、「上から」の視点だけでは見過ごされてしまう側面が、浮かび上がってくるであろう。

履修上の留意点

授業は講義形式で行う。

成績評価の方法

成績評価の方法としては、学年末にレポートを提出してもらう予定である。

教 科 書

教科書は特に指定しないが、西洋史概説・フランス史概説などに目を通しておくことが望ましい。

参 考 書 等

授業内で随時紹介していく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
考古学各説Ⅰ (西アジア・インド考古学)	近藤 英夫 こん どう ひで お	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

授業の内容であるが、南アジア最古の都市文明であるインダス文明の解説を中心におき、講義をすすめる。授業各時限に個別のテーマ（「都市と農村」や「交易」など）を設定し、都市を存立させたさまざまな基盤について検討していく。その際、インダス文明と平行する年代のメソポタミアや湾岸地域の動向についても紹介していく。これらの作業を通して、「都市とはなにか」「文明とはなにか」について考えていく。

履修上の留意点

授業では極力、視聴覚資料を多用し理解をはかる。また、授業中に参考文献等を示していくので、事前にそれに目を通して授業に臨んでほしい。

成績評価の方法

授業の進行に従い、数度のレポートを課し、それを総合して成績評価を行う。

教科書

特に定めない。

参考書等

辛島昇他『インダス文明』（日本放送出版協会）1980年
 近藤英夫編『四大文明〔インダス〕』（日本放送出版協会）2000年
 『ORIENTE』23,（古代オリエント博物館）2001年
 その他の文献については、授業の進行に応じ適宜、示していく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
考古学各説Ⅲ (東北アジア考古学)	千葉 基次 ち ば もと つぐ	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

近隣諸国諸地域の歴史の形成をたどることで、その文化・社会の特徴を知り、相互理解の一助とする。民族・組織・特定文物など考古学研究の関連項目の中から、一つのキーワードを選び授業の主題とする。

講義の内容・
授業スケジュール

主題と周辺を含む研究史から始め、個々の研究内容を解説し、最後に今後の課題を示す。

履修上の留意点

板書事項もあり、薄くても充分なので専用のノートを用意することが望ましい。

成績評価の方法

毎時出席を確認し、平常授業を評価の基とする。レポートについては、出欠状況を見て決める。

教科書

特になし。

参考書等

授業の中で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
考古学特講 I (日本歴史時代)	酒井清治	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

5世紀初頭に朝鮮半島から伝わった須恵器は、古墳時代の畿内政権あるいは各地の首長層と密接な関連があり、古墳時代あるいは古代を考える重要な土器である。この須恵器は全国各地で詳細な編年ができて、考古学的な年代決定の重要な資料となっている。また生産地である窯跡や工房が発見されており、消費地との需給関係が分かる。さらに須恵器生産は古墳時代においてきわめて政治的に生産が開始されており、須恵器生産地から生産体制を解明する材料となっている。

当時の手工業史としての須恵器生産史や流通史を解明することにより須恵器から古墳時代、古代を考える。また、朝鮮半島の土器生産と比較し、土器から見た生産体制の違いを考えてみる。

講義の内容・授業スケジュール

須恵器や窯跡に関する論文を紹介しながら、須恵器生産・流通・歴史的背景を概観する。

履修上の留意点

遅刻しないこと

成績評価の方法

定期試験とレポート、平常点

教科書

授業の中で適宜紹介する

参考書等

中村浩『須恵器』（ニュー・サイエンス社）
中村浩『和泉陶器窯の研究』（柏書房）
山田邦和『須恵器生産の研究』（学生社）

その他

授業はOHPを利用して講義で行うが、遺物の観察法についても実物を見ながら解説する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
考古学特講 III (日本石器時代)	設楽博己	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

考古学の年代論 弥生時代が500年さかのぼるのではないかと、という新聞記事は記憶に新しい。でもなぜなのか、知っている人は少ないだろう。日本に前期・中期旧石器時代があったという詐欺に、日本考古学がまんまとだまされてしまったのはなぜか。年代には相対年代と絶対年代がある。考古学独自の年代決定方法は相対年代の決定にとくに有効であるが、歴史学の基礎になる実年代を求めていくには自然科学的手法の助けを借りなくてはならない。考古学により実年代がどのように決められてきたのか、現在の年代論の到達点と問題点をさぐるとともに、AMS法という高精度な炭素14年代測定法によって純粋考古学の年代観が大きく揺さぶられている状況を紹介し、これからの考古年代論のあるべき姿をともに考える。

講義の内容・授業スケジュール

前期 ①AMS法による高精度編年とはなにか ②考古学的手法による年代決定法
③自然科学的方法による各種の年代測定 ④前期・旧石器捏造問題と年代論
後期 ①縄文時代の土器編年と実年代 ②弥生時代の実年代を論じる ③古墳時代の始まりと邪馬台国問題 ④考古学と年代論

履修上の留意点

考古学の基礎は年代論にあるので、しっかりと講義を聞いてほしい。講義中の私語厳禁。真剣に聞いている者の迷惑になる者は退席を願うので要注意。

成績評価の方法

年度末の試験による評価。

科目名	担当者名	配当学科	単位
考古学特講 V (旧石器時代)	かみしきりょう 上敷領 久	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

旧石器時代研究は、他の時代と比較して資料が極端に少ない中で、主に石器の観察によって進められます。本講義では様々な石器観察の視点と分析方法等について研究史を辿りながら再検討し、現代旧石器研究の現状と課題を整理します。さらに分析対象とする地域を選んで検出遺構・出土遺物の分析を行い、そこから先史時代社会を復元していく方法論を考えます。

講義の内容・授業スケジュール

4月・5月は旧石器時代の研究史を振り返ることによって、現在の諸問題の所在を明らかにすることから始めます。6月・7月は基本的な石器の観察と分析方法、および遺跡の研究方法について学びます。9月・10月は旧石器時代研究に必要な周辺諸科学の問題について検討します。11月・12月はまとめとして都内多摩地区を流れる野川流域の遺跡を分析し旧石器時代の社会について考えます。

履修上の留意点

旧石器時代研究の基本は何よりも「石器」を良く観察する事です。概説書や報告書の写真・図面だけで満足せず、可能な限り自分の目で実物を見ること。あるいは旧石器時代の発掘現場の情報を探索し、その感触を体験する事が強く望まれます。

成績評価の方法

年度末の定期試験で、講義中にキーワードとして重点的に説明した内容について、論述形式の試験を行います。なお、出欠状況も評価の参考とします。

参考書等

講義中の内容に沿った文献を適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
考古学特講 VII (文化財・遺跡保存)	やの かつゆき 矢野和之	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

近年、遺跡の保存と活用の必要性が叫ばれている。考古学、歴史学専攻の学生は、将来地方自治体の教育委員会に籍をおき、文化財保護行政に携わるケースが多いと思われる。このため、単に遺跡の発掘調査のみならず遺跡整備や遺跡博物館の計画を担当するものと考えられるので、文化財の保存計画の基本となる理念、計画プロセス、保存技術等を理解しておく必要がある。

講義の内容・授業スケジュール

- ・文化財の保存と活用の理念
 - ・日本建築史（古代）概要
 - ・遺構とその上部構造体の復元
 - ・保存計画概論
 - ・保存科学、保存工学概論
 - ・まちづくりと文化財
 - ・計画策定の実務
 - ・国内の事例
 - ・海外の事例、文化財保存の国際機関
- 以上を一部演習を混じえながら講義する。

履修上の留意点

特にないが、人文系の知識だけでなく、理科系の知識も必要となる。

成績評価の方法

試験、演習提出物

教科書

なし

参考書等

適宜指示

その他

講義は、スライド、OHP、ビデオ（保存工事の記録等）を使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本仏教史	まつもと のぶ みち 松本 信 道	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

本講座は、「仏教の日本の受容」というテーマを中心として、日本の古代史を再検討してみようというのがねらいである。

講義の内容・
授業スケジュール

仏教が日本に受容された背景を、政治的・社会的・思想的・宗教的環境の中で有機的にとらえていくということを基本的姿勢として講義を進める。とくに、インド・中国・朝鮮半島などの動向も視野に入れた国際的視点と、日本古代社会の皇族・貴族・豪族のみでなく、一般民衆の「苦悩」と「祈り」と「救済」をも視野に入れた民衆史的視点からもアプローチしてみたい。

成績評価の方法

前期・後期2回のレポートと出席点を総合して評価する。

教科書

随時、プリントにて配布します。

参考書等

速水侑『日本仏教史 古代編』（吉川弘文館）

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本文化史	よしだ まさひろ 吉田 政 博	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

日本の文化の歴史が、社会の生産や生産組織の問題と深くかかわっていたことに留意し、朝廷・公家・武家ばかりでなく、民衆も文化の創造にかかわっていったことを、明らかにする。

講義の内容・
授業スケジュール

日本文化の流れを概観し、鎌倉期から江戸期にかけての文化について講述する。つぎのような順序で授業を進めていく。

- ① 中世文化史研究の動向
- ② 中世文化の成立
- ③ 鎌倉新仏教と文化
- ④ 五山文学
- ⑤ 南北朝～室町文化
- ⑥ 北山文化の形成
- ⑦ 東山文化の展開
- ⑧ 中世の職能民
- ⑨ 禅宗と文化
- ⑩ 知識人の思想
- ⑪ 連歌師の旅
- ⑫ 京都と大名領国の文化
- ⑬ 桃山文化
- ⑭ 近世文化史研究の動向

履修上の留意点

復習が必要であることはもちろんであるが、例えば中世・近世の文化をテーマとした博物館・美術館での展示会を展覧する機会を積極的に持ってもらいたい。受講する上では図書館所蔵の文化史・美術史に関する資料・ビデオ等を大いに活用していただきたい。また禅文化歴史博物館への見学・説明会を実施することとする。

成績評価の方法

定期試験の結果による。これに授業の出欠状況を加味する。

教科書

特に指定しない。必要な資料は随時コピーを配布する。

参考書等

授業中に随時示していく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋文化史	いしだ けいこ 石田 恵子	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

東洋に対する西洋文化のルーツをたどっていくと、ギリシャ・ローマの地中海世界を経て、古代西アジア地域の文化にまでたどっていくことが出来る。特に西アジアに起源する印章文化の展開を柱として、それにまつわる古代オリエントの歴史、印章の種類、役割の多様性などを紹介しつつ、ヨーロッパ世界に伝えられていった指輪型印章や封ロウをルネサンス時代まで追いつき、今日まで残る印章の意義を考える。

講義の内容・授業スケジュール

前期はメソポタミアで誕生したスタンプ印章の使用開始から円筒印章の登場、メソポタミアに栄えた円筒印章の変遷、その素材と技術、メソポタミア周辺の印章文化も紹介する。後期は書写材料・文字の変遷による円筒印章の終焉とスタンプ印章の復活、ギリシア・ローマ世界、ビザンチン・イスラム世界、中世ヨーロッパ及びそれ以降の印章及び印章に関わる文化を概観する。

履修上の留意点

広く興味を持って本や展覧会など見るようにすること。

成績評価の方法

出席点と課題レポート

教科書

特になし

科目名	担当者名	配当学科	単位
有職故実	こんどう よしかず 近藤 好和	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

10世紀後半以降の平安貴族社会で、和様化した公事（朝廷の儀式・政務）のマニュアルとして、令・格・式・儀式などを基礎に成立したのが有職故実である。従って、その扱う範囲は本来多岐にわたり、前近代では、有職故実研究はそのまま歴史研究でもあった。ところが、明治以降、有職故実が扱う範囲は、服飾・武具・調度・乗用具などの限定されたものになってしまった。しかし、これらが有職故実が扱う重要な分野であることは確かである。特にかかる「モノ」を実用の道具として即物的に扱うのが有職故実の特徴であり、「モノ」を現在の歴史学に取り込むためには、有職故実的な手法が不可欠と考える。また、それらの「モノ」を正しく理解することで、古典文学の理解もより深まる。そうしたなかで、本講義では、公家男女・武家男子の装束を中心に講義する。特に公家男子の装束は、ファッションではなく、厳しい規制や慣習のもとでの身分や職掌の象徴でもあることを理解してほしい。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、有職故実の歴史を概観したうえで、装束の基本である束帯について、肌着から上着・装身具個々についての概説をする。後期では、前期で理解したことを基礎に、束帯以外の公家男子装束と武家男子装束について、同様に概説する。さらに女子の装束として宮中の女房装束を概説する。

成績評価の方法

後期一回のレポートを予定。

教科書

特になし。授業ごとにプリントを配布する。

参考書等

特になし。授業ごとにプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本民俗学	谷口貢	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

日本民俗学は世をこえて伝承されてきた習俗・慣習の考察を通して、日本社会に展開する生活文化を究明する学問である。民俗はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的知識を把握できるようにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は「日本人の一生」をめぐる民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していくことにしたい。年間の講義予定は以下に掲げるとおりで、各々2回程に分けて行う。

- 第1講 家族と社会
- 第2講 産育儀礼
- 第3講 子どもと遊び
- 第4講 若者の民俗文化
- 第5講 成人儀礼
- 第6講 婚姻儀礼
- 第7講 女性の民俗文化
- 第8講 交際と贈答
- 第9講 老人の民俗文化
- 第10講 日本人の靈魂観
- 第11講 葬送儀礼
- 第12講 墓と先祖祭祀

成績評価の方法

夏期レポート及び小レポートを実施する予定。受講者の成績評価は、夏期レポートと小レポート、そして学年末の筆記試験の合計をもって行うものとする。出席を重視する。

教科書

使用しない。

参考書等

谷口貢・他編『現代民俗学入門』（吉川弘文館）

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史地理学	小田匡保	歴史2・3・4選	4

歴史

講義のねらい

主に日本の歴史地理について講じる。研究事例の紹介よりも、教科書的概説を中心とする。前期は、特に近代以降の歴史地理学の資料について詳述し、後期は歴史時代の村落・都市について概観する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 歴史地理学とその概要
2. 歴史地理学の資料
3. 村落
4. 都市

成績評価の方法

成績評価は、出席状況、レポート、試験によって行なう。レポートの提出は必須で、レポートが受理されない場合は、単位も認定されない。

教科書

使用しない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
人 文 地 理 学 概 説	こ いけ とみ子	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

地理学における人文地理学分野を取り扱う。地理学的視点から、世界の諸地域の問題を検討することによって、現代世界の現状と課題を明らかにすることをめざす。

講義の内容・授業スケジュール

現代世界の地域構成を理解するために、前期は主として民族・国家の観点から各地域における民族問題・地域紛争などを取り上げる。後期は経済地理学的視点から、経済発展と地域の変容を世界の諸地域について検討し、現在の課題を追求する。

履修上の留意点

地図帳を持参していただきたい。

成績評価の方法

試験を行う。また平常時のレポートも参考にする。

教科書

特に指定しない。講義時に資料プリントを配布する。

参考書等

高校用地図帳（『新詳高等地図』帝国書院など。高校時代に使用したものがあればそれでもよい。）
その他の参考書は講義の中で順次紹介する。

その他

授業は講義形式で行う。時々ビデオ、スライドなどを取り入れる予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地 誌 学	あら い 新 井 祥 穂	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

農山村が現在直面する問題を、現場の感覚から理解すること。机上の空論や抽象的な議論が知らず知らずのうちに陥りがちな誤解に対して意識的になること。これらを通じて、「健全な」公共政策批判とは何かを考える。

講義の内容・授業スケジュール

わが国の農村・山村・離島部では、かつて基幹産業であった第一次産業が長らく停滞しており、そこに居住する人々は、就業先の確保をはじめ生計の組み立て方に様々な困難を抱えてきた。高度成長期以降、これらの地域に多大な公共投資がなされてきたのもこうした理由による。しかし、国家財政が逼迫するなかで、1990年代以降はこれまでのような政策的な介入が簡単には認められなくなってきている。つまり現在は、いったい何が公共的に解決すべき問題であるか、改めて吟味すべき時期にきているといえよう。この作業には、現場からの精確な情報とそれにもとづいた検討が不可欠であるが、これらの地域について、そしてそもそも政策と人間の関係については、理念やイメージが先行し、その経済・社会に政策が何をもたらしたかという本質的な情報は意外に少ない。

本講義では、日本の農村・山村・離島部がどのような経済社会であるのかについて、具体的に精確な理解を目指す。その際に、これまでの公共政策ではこれらの地域の内実がどのようなものと理解され、いかなる方向に誘導されていたのか、という点との比較を強く意識する。また随時、ヨーロッパや東南アジア等、海外の農山村の状況や関連する政策との比較も織り込む予定である。

履修上の留意点

参加者には休暇等を利用して自主的に農村・山村・離島部・海外を旅行し、地域のリアリティを体感することを期待する。

成績評価の方法

成績評価は夏期のレポート（1回）、年度末の試験（1回）の両方を課す。随時とる出席も考慮する。

教科書

特に指定しない。オリジナルな配布資料をこちらで用意する。

参考書等

ピンチ著 神谷浩夫監訳 『福祉の世界』（古今書院）2001

その他

講義形式をとる予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地誌学	かわもとよかず 川元豊和	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

南アジア・東南アジアの地誌について授業を進める。テーマは「地域の変貌」であり、主な対象地域としてバングラデシュとマレーシアを予定している。前半では、主にバングラデシュの村落を対象とし、1960年代後半以降の「緑の革命」にともなう農耕の変化や農業開発の過程で生じる地主・小作関係に根ざす土地問題や小作制度の変更、労働力の問題などについて考えてゆきたい。後半では、主にマレーシアを対象とし、多民族社会の地理的特徴や工業化・都市化にともなう村落の変貌などについて、最近の地域研究の成果を紹介してゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

①地域研究について ②稲作における「緑の革命」 ③バングラデシュ農村における近年の農業の変化 ④バングラデシュ農村における土地所有と小作制度 ⑤バングラデシュ村落の変貌と都市化 ⑥マレーシアにおける多民族社会の形成 ⑦半島マレーシアにおける地方都市の発展 ⑧サラワク州におけるイバンの生活

履修上の留意点

高校時代に使用したものでよいから、地図帳を持参して講義に臨んでもらいたい。

成績評価の方法

出席及び前期末のレポート提出を前提とし、学年末の筆記試験と併せて総合的に評価する。

教科書

特に定めず、プリントを配布する。

参考書等

授業内において、その都度紹介する。

その他

講義中心の授業であるが、スライドやビデオの使用も予定している。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地誌学	はしづめなおみち 橋詰直道	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

世界と日本の地域システムと地域の変容について学習する。特に、教職教科でもあるので、講義だけでなく地誌の教育と学習という観点から、小テストや地図作業なども取り入れたい。

講義の内容・授業スケジュール

①②地誌学とは何か(地誌と地理学、地誌の教育と学習)、③④地図を活用する(地図帳、主題図、地形図を読む)、⑤⑥日本の諸地域(風上と地域・自然環境の特色)、⑦⑧日本の諸地域(気候景観・地下資源の利用)、⑨～⑪日本の地域変容(農業地域)、⑫⑬日本の地域変容(都市地域)、⑭⑮日本の地域変容(地場産業地域・中山間地域)、⑯⑰災害と日本列島、⑱～⑳世界の諸地域(北米大陸、アメリカ合衆国)、㉑～㉓世界の諸地域(ヨーロッパ、イギリス)、㉔㉕世界の諸地域(東南アジア、中国)、㉖まとめ(テスト)

などについて、最近の地理学の地域研究成果を紹介しながら概説する。

講義だけでなく、地図の読図作業や地誌に関するテスト(高校生レベル)も随時実施したい。地図帳(高等学校で使用したものでよい)を持参すること。

履修上の留意点

毎時間の出席や授業への参加状況も重視する。

成績評価の方法

中間試験(7月最終授業日)及び学年末試験の両方を受験し、かつ授業への出席日数と試験(課題や小テストを含む)の成績が基準以上であるかどうかなどを総合的に評価する。

教科書

特に定めない。

参考書等

高橋伸夫・谷内達・阿部和俊・佐藤哲夫編『ジオグラフィー入門』(古今書院)1996年2,575円

その他の参考書や論文は授業でテーマごとに紹介する。

その他

講義は、配布プリントとOHP、PC、ビデオ画像を利用して行い、課題や小テストも実施する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学史	山口祐弘 <small>やまぐち まさひろ</small>	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

カントを源とするドイツ観念論の諸思想は現代に様々な照明を与えてくれる。今日確実な思索を行おうとするならば、繰り返しそこに立ち返ることが求められ、またその意義は尽きない。だが、その発展を一望のもとに収めることはたやすいことではない。その根本にあった問題は何か、それを駆動したものは何か、が問われねばならない。そうした問題論的展開として捉ええた時に、ドイツ観念論は一つの歴史となるのである。本講は、この意味でドイツ観念論に歴史を発見しようとする試みである。カントが提起しかつ後世に残した課題を明らかにし、それが如何なる方向に解決を求めていったかをフィヒテ、シェリング、ヘーゲルを軸として考察する。

成績評価の方法

定期試験は行なわない。小論文を課し、評価する。平常点も加味する。

参考書等

山口祐弘『カントにおける人間観の探求』、『ドイツ観念論における反省理論』（勁草書房）

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国歴史文学	田熊信之 <small>た くま のぶ ゆき</small>	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

広大な中国の大地に生きた人々、殊にその主体となった漢民族によって築きあげられた重厚な文化は、音、義、形を具備する特異な書写言語である“漢字”を生み育て、これを駆使する独特な表現世界を多岐にわたって発展させた。本講座は、中国の大地とそこに生きた人々によって育まれた表現世界の実態を把握し、理解するため、伝存する作品や再発見された遺文等を選出して、読み解いていこうとするものである。

講義の内容・授業スケジュール

前期、後期にわたり、適宜中国文学史上の個々の作品を選読する。中国文学の世界には、例えば、歌謡や巫歌に由来する韻文の流れや、卜辞、告誓、記事などに始まる散文の流れがあり、このもとには、社会生活を営む個々人の離合集散する哀歓もごもの人間模様が、各々の時代の思潮や思想、信仰に彩られながら、さまざまな形で綴り残されている。本年度は、漢字、漢語を通して綴られる中国文学のあやどりの世界の一面を具体的に理解して行くために、歌謡、詩偈等をも含めた韻文や、人伝、僧録などをも含めた史伝、碑文、墓誌等の散文を読み進めて行きたい。

履修上の留意点

中国の地理、風土、歴史等については、各自概説書や関連著作などを参看して、基礎的知識を得ていて欲しい。

成績評価の方法

受講の状況を重視しながら、課題等への対応のさま、レポート或いは試験等の結果を併せて、総合的に行なう。

教科書

テキストについては、プリントを配布してこれを使用する予定。参考書、資料等については、授業時に説明、紹介する。

その他

授業は、講義及び演習の両方式を混じえて行なう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏 教 美 術	むら まつ てつ しみ 村 松 哲 文	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

インド・中国・朝鮮・日本の仏教美術について、歴史的背景と照らし合わせながら概観する。仏像は、地域や時代によって、その作風などに相違が生ずることを理解してもらいたい。そして、その相違を自分で発見できるようになることが本講義の目標である。

講義の内容・授業スケジュール

- [前期] 仏教美術の世界 (1)
 インド・無仏時代 (2・3)
 インド・ガンダーラ仏とマトゥラー仏 (4・5)
 中国・初期の仏像 (6)
 中国・敦煌石窟 (7～9)
 中国・雲岡石窟 (10～12)
 中国・龍門石窟 (13～15)
- [後期] 中国・地域的な様式差 (16～17)
 朝鮮・三国の仏像 (18～20)
 朝鮮・統一新羅の仏像 (21)
 日本・飛鳥時代の仏像 (22～23)
 日本・白鳳時代の仏像 (24～25)
 日本・天平時代の仏像 (26～28)
 日本・平安時代の仏像 (29～30)

履修上の留意点

博物館・美術館・寺院に行き、多くの仏像を観察するように努めてもらいたい。

成績評価の方法

定期試験と出席点、レポートなどで総合的に評価する。

教 科 書

参考書・参考論文などは講義中に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 域 美 術 史	まつ だいら みわこ 松 平 美和子	歴史2・3・4選	4

歴 史

講義のねらい

広義の西域をシルクロードととらえ、西欧から日本まで広がる文化圏で、どのような美術があらわれ発展していったかを考える。

講義の内容・授業スケジュール

前期 シルクロード上の代表的遺跡をとり上げ、その美術について考える。ペルセポリス、バーミヤン、キジール、敦煌などの他、東南アジアの美術もとり上げる。
 後期 シルクロード上で生まれ発達したガラス工芸の東西交流について考えたい。具体的には、古代ガラス、ローマングラス、ササングラス、中国のガラスなどをみていく。

成績評価の方法

夏期休暇後のレポート、学年末のレポート試験の評価に出席状況を加味する。

教 科 書

プリントを随時配布する。

参 考 書 等

講義時に紹介する。

そ の 他

毎時間スライドを、時にビデオも用いる。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
美術史概説	きたのよしえ 北野良枝	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

奈良時代から江戸時代に至る日本絵画の流れを、中国およびヨーロッパとの関係に留意しつつ概説する。美術の歴史を解説するにあたっては、常に作品を参照する必要があるため、授業では毎回スライドを使用する。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期 奈良時代から室町時代の絵画
- (1) ガイダンス (2) 絵画に関する基礎知識、法隆寺金堂壁画
(3)～(4) 仏教絵画 (5)～(6) 絵巻物
(7)～(8) 肖像画 (9)～(12) 室町時代の水墨画
- 後期 室町時代から江戸時代の絵画
- (13)～(14) 土佐派、狩野派 (15)～(16) 狩野永徳と桃山画壇
(17) 江戸時代の狩野派 (18)～(19) 琳派
(20)～(21) 浮世絵 (22) 南蘋派
(23) 文人画 (24) 秋田蘭画と司馬江漢
(25) 江戸から明治へ

履修上の留意点

ペンライトなどを持参し、スライドで映写する内容についてもノートをとることが望ましい。

成績評価の方法

学年末に筆記試験を実施し、その得点によって評価する。

その他

毎回スライドを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ラテン語	うえのかつひろ 上野勝広	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

ラテン語の基礎文法を概説し、理解できるようにします。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを用いて基礎文法の要点を順次説明し、必要に応じてテキストにない文例も補充してゆきます。その後、各課末にあるラ文和訳の練習問題に取り組みます。
前期は序論から第10課まで、後期は第11課から第24課までを学習します。

履修上の留意点

練習問題については、毎回出席者に指名し和訳例を発表してもらいます。受身でなく、自ら学び取る姿勢をもって授業に臨みましょう。

1回でも欠席してしまうと追いつくのが容易ではありません。授業そのものに加え、自習の負担も大きな科目です。

成績評価の方法

年間2回（前期末・後期末）のテストの結果（60％）に平常点（40％）を合わせて評価します。

教科書

松本悦治『ラテン語入門』（駿河台出版社）1,500円

参考書等

初回の授業で紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ギリシャ語	はせがわ たけお 長谷川 岳 男	歴史2・3・4選	4

講義のねらい

本講義の対象となる古代ギリシア語はラテン語とともに現在の世界では使用されていない死語であるが、欧米をはじめとする全世界で学ばれている。なぜならば、まず第一に今日の欧米文化に多大な影響を与えた古代ギリシア文明を理解するために必要であり、第二に現在使用されている様々なヨーロッパの言語のルーツにあたり、文字こそ違おうが、語彙や文法の基本となっているからである。この点をふまえて本講義は古代ギリシア語の基礎を習得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

上記の目的を達成するために、まず我々にはなじみの薄い古代ギリシア語に慣れることから始め、最終的には基本的な語形変化を理解し、辞書のある程度使用できるようになることをめざしたい。学習意欲を高めるために、随時ギリシア文化の諸相や後世への（特に近代以降の欧米文化）影響も紹介する予定である。

履修上の留意点

ヨーロッパの古典文学（例えばヘッセの『車輪の下』）でもおなじみのように、ギリシア語習得は多大な困難をともなうと見なされている。本講義では受講生諸君に基本的なギリシア語の習得を達成してもらいたいので、その困難に臆することなく立ち向かえる姿勢を望みたい。

成績評価の方法

どの程度ギリシア語を理解しているかを問うテストを何度かに分けて実施し、それ以外にも授業中に練習問題を答えてもらったり、課題を提出してもらい、その結果を勘案して成績評価する予定である。

教科書

田中利光著『新ギリシア語入門』（大修館書店）1994

参考書等

参考となる資料は随時、配布する。

Ⅱ 專 門 教 育 科 目

5 社 会 学 科
社 会 学 專 攻

社(社会学)
会

II. 専門教育科目

(5) 社会学科 (社会学専攻)

社会学概論	坪井健	545
社会調査	牛島千尋	546
社会学基礎研究	坪井健・牛島千尋・川崎賢一・川本勝・松信ひろみ・山田信行・李妍炎	547
情報処理実習	軽部幸浩	548
調査統計基礎演習	松信ひろみ	549
社会学史	李妍炎	550
社会学演習Ⅰ	牛島千尋	550
社会学演習Ⅰ	川崎賢一	551
社会学演習Ⅰ	川本勝	551
社会学演習Ⅰ	小林弘人	551
社会学演習Ⅰ	坪井健	552
社会学演習Ⅰ	山田信行	552
社会学演習Ⅰ	李妍炎	553
社会学演習Ⅰ	松信ひろみ	553
社会学演習Ⅱ	牛島千尋	554
社会学演習Ⅱ	川本勝	554
社会学演習Ⅱ	小林弘人	554
社会学演習Ⅱ	坪井健	555
社会学演習Ⅱ	山田信行	555
社会学演習Ⅱ	李妍炎	555
社会学演習Ⅱ	川崎賢一	556
理論社会学	川崎賢一	556
外書講読	川崎賢一	557
現代社会論	松信ひろみ	558
政治社会学	岩瀬庸理	559
家族社会学	松信ひろみ	560
法社会学	小林弘人	561
文化社会学	休講	
宗教社会学	芳賀学	561
地域社会学	休講	
災害社会学	休講	
マス・コミュニケーション論	休講	
産業・職業社会学	山田信行	562
社会心理学	坪井健	562
社会病理学	山本功	563
社会学原論	渡辺源樹	564
教育社会学	伊藤茂樹	565
宗教人類学	佐藤憲昭	565
社会調査演習	牛島千尋	566
社会統計学演習	牛島千尋	567
社会調査実習	山田信行	568
社会学理論研究Ⅰ	川本勝	568
社会学理論研究Ⅱ	李妍炎	569

社会	学	特殊	殊	講	義	I	〈李	妍	炎〉	570
社	学	特	殊	講	義	II	〈川	本	勝〉	570
行	学	政					〈鶏	德	啓	登〉
法	学	(福	社			〈小	林	弘	人〉
社	会	保	障	社			論	水	浩	行〉
老	人	福	社	社			論	東	光	雅〉
児	童	福	社	社			論	澁	谷	昌
地	域	福	社	社			論	豊	田	宗
児	童	福	社	社			論	横	山	宗
産	業	心		理			学	〈	休	講
環	境	心		理			学	〈	大	野
老	年	心		理			学	〈	中	里
社	会	政					策	光	岡	博
劳		働					法	藤	本	茂
民							法	大	官	隆
経	済	原					論	大	野	克
							論	浅	野	克
										巳〉

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学概論	つばい 井 健	社会1必	4

講義のねらい

この講義は、社会学を初めて学ぶ学生を対象に、社会学の見方・考え方の基礎を学ぶことを目的とする。具体的には、社会現象特有の性格の社会的分析例、社会学の基礎的概念の使い方、さらに現代社会の諸問題をトピックスとして取り上げ、さまざまな領域の社会学的研究を具体的研究例を通じて理解する。そして、2年次以後の社会学研究の基礎づけと方向づけに資する内容の講義を行う。

講義の内容・授業スケジュール

1. はじめに - 講義の方針と受講の仕方 -
2. 社会学とは何か - 3つの方法 -
3. 私の社会学観 - 人生と社会学の経験 -
4. 社会現象の不思議1 - 予言の自己成就 -
5. 社会現象の不思議2 - 自殺的予言と潜在的機能 -
6. 社会現象の不思議3 - 社会的ジレンマ -
7. 社会現象の不思議4 - 歴史のパラドックス -
8. 社会現象の不思議5 - 組織のパラドックス -
9. 社会現象の不思議6 - 犯罪のパラドックス -
10. 社会現象の不思議7 - 情報社会のパラドックス -
11. 社会学の基礎概念1 - 社会的行為 -
12. 社会学の基礎概念2 - 相互作用 -
13. 社会学の基礎概念3 - 社会的地位 -
14. 社会学の基礎概念4 - 社会的役割 -
15. 社会学の基礎概念5 - 文化 -
16. 社会学の基礎概念6 - 価値と規範 -
17. 社会学の基礎概念7 - 集団と組織 -
18. 社会学の基礎概念8 - 社会的性格と社会化 -
19. 現代社会論1 - 崩壊する家族 -
20. 現代社会論2 - 多文化の世界 -
21. 現代社会論3 - 人生と職業労働 -
22. 現代社会論4 - 高齢化社会と生き方 -
23. 現代社会論5 - 豊かさとは何か -
24. まとめ - 社会学の仕方 -

履修上の留意点

1. 授業時間中の私語は厳禁する。目に余る場合は、出席停止とし単位を与えない。
2. 毎回、授業の感想や意見を記入する用紙を配布するので、積極的に記入すること。
3. 個別質問は、講義後5分程度の質疑応答時間を設けるので、その際、積極的に尋ねてもらいたい。
4. 各テーマは1時間で完結の予定である。内容や順序は変更することもある。なお、年数回ビデオ教材を使って、社会認識を深める工夫をする予定である。
5. 授業中は配布プリントを参考にノートを取り、さらに深く研究する人は、紹介した文献を参考に自主的に学習することが望ましい。

成績評価の方法

1. 出席+毎時間の受講態度、感想、意見、質問など (30%)
2. 課題レポート・期末試験 (70%)

教科書

各テーマの授業時間に指示する。

(社会学)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 調 査	うし しま ち ひろ 牛 島 千 尋	社会1必	4

講義のねらい

社会調査とは、私たちの周囲に生起する社会的現象を解明することを目的として、データを収集し、記録・整理し、分析するという一連の過程を指す。本講義は社会学の重要な方法としての社会調査を学習していくが、しかし、単に技法の習得だけでは社会学の真の研究にはつながらない。本講義では、技法の講述に加えて、これまでに行われた実証的研究を紹介しながら、履修者の理解を深めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 実証主義の精神と社会調査
2. 社会調査の範囲と系譜 1—行政目的の統計調査、社会福祉(事業)目的の調査—
3. 日本における社会調査の始まりと発展—ビデオ—
4. 社会調査の範囲と系譜 2—市場調査、世論調査、研究目的のための調査—
5. 理論化の道程—帰納法と演繹法、命題・仮説・検証—
6. 社会調査の二つの方法 1—量的方法と質的方法—
7. 社会調査の二つの方法 2—量的方法と質的方法—
8. 量的方法を使用した実証的研究—デュルケームの「自殺論」—
9. 質的方法を使用した実証的研究—デュルケームの「社会分業論」—
10. 仮説の修正と新たな発見—メーヨーの「ホーソン実験」—
11. 社会調査のさまざまな技法 1—横断的調査と縦断的調査—
12. 社会調査のさまざまな技法 2—モレノのソシオメトリーとその応用—
13. 社会調査のさまざまな技法 3—ホワイトの「ストリート・コーナー・ソサエティ」と参与観察—
14. 既存データ、既存資料の収集と使い方 1—国勢調査データ、官公庁統計
15. 既存データ、既存資料の収集と使い方 2—各種民間調査データと公開個票データ—
16. 調査実施過程の説明—フィールド・ノート作成、調査票を使用した面接調査の手順—
17. 資料の収集とリスト作成
18. 作業仮説の設定と質問項目の作成
19. 調査方法の選定と準備 1—非構成的技法と構成的技法—
20. 調査方法の選定と準備 2—全数調査と標本調査、母集団、標本数と誤差—
21. 調査票の作成 1—質問文作成の注意点—
22. 調査票の作成 2—選択肢作成の注意点—
23. 調査票の作成 3—回答形式の種類、コードブック作成の注意点—
24. 質問文を使用した調査の方法—個人面接調査・留置き調査・郵送調査法・電話調査・集合調査・インターネット調査—
25. 標本抽出の方法 1—単純無作為抽出法、系統抽出法—
26. 標本抽出の方法 2—層化抽出法、多段抽出法、有意抽出法—
27. データの整理と集計の準備 1—データの整理とデータ入力—
28. データの整理と集計の準備 2—データのクリーニング、論理チェック、アフター・コーディング—
29. まとめ—社会調査をする際の心構え—
30. 後期試験

履修上の留意点

必修科目であるので、オリエンテーションぬきで第一回から講義に入ります。

成績評価の方法

出席状況、授業中のレポート提出、後期試験(持ち込み不可)によって評価します。

教科書

森岡清志編『ガイドブック・社会調査』日本評論社、1998年

参考書等

谷岡一郎『「社会調査」のウソ』(文春新書)
K. プラマー『生活記録の社会学』(光生館)
渡辺久哲『調査データにだまされない法』(創元社、1,500円)

その他

授業は講義形式で行いますが、テキストに書かれている内容よりもはるかに多くのことを講述するので、ノートをしっかりとってください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会学基礎研究	坪井 健・牛島 千尋 川崎 賢一・川本 勝 松信ひろみ・山田 信行 李 妍炎	社会1必	2

講義のねらい

社会学科社会学専攻に所属することになった新入生諸君は、これから4年間の大学生活で社会学を中心に学んでいくことになる（その成果は「卒業論文」としてまとめられる）。高校までの勉強では、問題が与えられ、それに必ず解答があったはずである。ところが、大学での学習は、問題（研究テーマ）をみずからみつけなければならないし、その問題（研究テーマ）に模範解答などというものは存在しない。自分で解答を探し出していくということが求められるのである。

こうした大学での社会学研究を進めていくにあたって必要な知識やノウハウを習得し、同時に社会学という学問がもっている多様な側面を紹介することによって、新入生諸君の問題発見に役立ててもらおう、というのがこの授業のねらいである。

講義の内容・授業スケジュール

前期：受講生はすべて1つの教室に集まって授業をおこなう。6人の教員が持ち回りで2～3回ずつ講義をおこなう。受講生はかわるがわる登壇する6人の教員全員の講義を聴くことができるわけである。社会学を学んでいくにあたってのところがまえ、あるいは諸君が自分自身で研究テーマを見つけていく手助けとなるような内容の講義をする。社会学と一口にいってもその研究領域は多岐にわたるので、各教員がその専門とする領域の立場から講義をおこない、社会学の多様な側面を紹介することになる。

後期：受講生は6人の教員いずれかのもので授業を受けることになる。したがって少人数で授業をおこなう。内容は、社会学研究にあたって必要となるさまざまな知識やノウハウの習得である。社会学がその研究対象とする「社会」を見る眼とは何かといったことにはじまり、文献や資料、統計データの探し方・読み方・まとめかた、レジュメや論文・レポートの書き方、ゼミでの報告のしかたなど具体的な内容までを含んだ授業内容となる。

履修上の留意点

授業の進め方が前期と後期で異なるなど、複雑である。したがって、必要に応じて掲示などで指示をおこなう。また、必修科目であるから出席は厳しくチェックする。後期の教員の配当（クラス分け）については別途指示するのでそれにしようこと。

成績評価の方法

出席状況、受講態度、習得状況などから総合的に評価する。

教科書

安藤喜久雄編『わかりやすい・論文レポートの書き方』（実業文日本社）特に後期に使用する。

参考書等

必要に応じて指示するが、社会学を学ぼうとするものとして「社会学辞典」を1冊もつことが望ましい。「社会学辞典」にも分厚く高価なものからコンパクトで廉価なものまで数多くある。具体的には授業の中で紹介するので、購入するのはその後のこと。

（社会学）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情 報 処 理 実 習	かる べ ゆき ひろ 軽 部 幸 浩	社会1必	4

講義のねらい

現在の情報化社会において人間とコンピュータとは、いっそう密接なかわりを持ってきている。ここ数年の情報スーパーハイウェイ構想やマルチメディアの浸透により、大学における情報処理教育は、依然過渡期であるといえよう。それにともない本格的なカリキュラムの変更も検討されている。本講義では大学生に必要な最低限度のコンピュータ・リテラシ、ネットワーク・エシックの獲得と理解を目的とする。具体的には、コンピュータを活用してレポート等が作成できる能力を養う。なお、パーソナルコンピュータを個人で所有することで理解の程度が飛躍的に向上するであろう。余裕があれば履修中または履修後に購入することをすすめる。

講義の内容・授業スケジュール

授業はすべて実習形式でおこなう。1つのテーマに数時間を当て、毎回授業内でおこなう課題、と授業外でおこなう簡単な課題の提出を求める。具体的な内容は次のとおりである。

- ・パソコンの基本操作とOSの基礎
- ・MS-Windowsの習得
- ・タッチタイプの完全習得 (Type Quick を利用して)
- ・日本語ワープロの習得 (MS-Word)
- ・スプレッド・シートの習得 (MS-Excel)
- ・統計ツールパッケージの習得 (秀吉 Pro2000for Windows)
- ・プレゼンテーションの実際 (MS-PowerPoint を利用したプレゼンテーションの基礎)
- ・応用実習 (データの収集、解析、プレゼンテーションの総合実習)
- ・データベースの習得
- ・情報処理の基礎
- ・コンピュータ・ネットワークとインターネットの現状
- ・Internet 利用の実際と注意 (マナーやモラルについて)
- ・電子メールおよび WWW の利用

履修上の留意点

原則的に遅刻、欠席は認めない。欠席を5回おこなった時点で、期末試験の受験資格を失う。また、遅刻は2回で欠席1回とする。授業内容の性格上、授業時間内だけでは絶対的に実習時間が不足する。行事等との衝突がなくても年間約20回程度の授業しかおこなうことができない。そのため、本格的にコンピュータを応用するためには絶対的に実習時間が不足する。したがって週あたり2～3回 (1回平均約2時間程度) の実習が必要となる (昨年度実績では週平均約10時間程度の実習を、学生はおこなっていたようである)。

また、Type Quick, MS-Excel, MS-Power Point、秀吉 for Windows の習得は、単位取得のための必須条件である。

成績評価の方法

出席および課題の提出を前提とし、前期・後期末におこなう筆記試験と併せて総合的に評価する。経験則から連続2回欠席すると授業の進度についていけなくなる。なお、遅刻は認めない。出席確認後の入室は認めるが、出席とはならないので注意する。連続3回以上欠席したものは、その時点で期末試験の受験資格はない。なお、この科目は必修科目であるため単位の認定を受けられない者は翌年度の履修となるが、機器の関係で実習装置を与えられない可能性がある。したがって1年次に履修を完了すること。

教 科 書

年度始めの授業のときにあらためて説明する。

参 考 書 等

授業中に適宜紹介する。教材は、授業の中で全て配布する。配布された資料は、授業に際して常に用意しておくこと。その他、年間約5枚程度の3.5インチ高密度フロッピディスクが必要となる。

そ の 他

年間20数回程度の講義時間しかないため絶対的な時間が不足する。従って、週あたり2回から3回 (1回2時間程度) の自習が必要となり、それに対応する課題が出される。自習には、総合情報センター1F自習室を利用する。独自に購入するのであれば、MS-Windows対応のパソコンでMS-WindowsとMS-Officeが導入されているものを購入するとよい。詳細については開講時に解説する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
調 査 統 計 基 礎 演 習	まつ のぶ 松 信 ひろみ	社会2必	4

講義のねらい

本講義の目的は、①既存の調査データや調査報告書などの統計データを読み解くために必要な基礎的な統計知識、および②社会調査を企画・実施した際に得られた結果(データ)を集計・分析するための統計知識、を習得することにある。前期は主として、社会調査における多様なデータの位置づけと記述統計について検討する。後期は、統計データの集計・分析に必要な推測統計の知識や変数の連関・解析について講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

統計的データの理解、集計・分析に必要な基礎統計を検討する。前期は記述統計、後期は推測統計を中心に、以下のような項目にしたがって講義を進める。各々の項目について数回ずつ講義を行い、随時、内容確認のための演習問題を学生自身に解いてもらうという形式で進めてゆく。

1. 社会調査と統計
2. データの記述とまとめ方
3. 度数分布
4. 確率変数と確率分布
5. 標本抽出と標本分布
6. 点推定と区間推定
7. 有意性の検定
8. 変数間の関係とその解析

履修上の留意点

高校程度の確率・統計の基礎知識が必要である。各自復習をしておいて欲しい。

成績評価の方法

学年末の試験と平常点（出席、演習問題の提出など）によって評価する。

教 科 書

ロウントリー（加納訳）『新・涙なしの統計学』（新世社）2002年 1,600円

参 考 書 等

ボンシュテッド&ノーキ（海野、中村訳）『社会統計学』（ハーベスト社）1990年 6,500円

そ の 他

基本的に講義形式で行うが、演習問題については学生からの解答を求める。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 学 史	李 妍 炎 <small>り けん えん</small>	社会2必	4

講義のねらい

学史を学ぶ目的は、社会学の理論や人物に関する知識を得るためだけではない。むしろ社会学者の発想法を学び、現代社会の諸事象を鋭く描き出すための道具を身につけるためである。従ってこの講義では、社会学を学んでいく上で必要となる基本的な諸概念を理解してもらおうと同時に、社会学的な思考法を学んでもらうことを目的とする。本年度は「秩序問題」すなわち「社会秩序はいかにして可能か」という社会学の根本問題を講義の中心テーマとして設定し、「秩序」について理解を深めてもらうことも目指したい。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、2つの軸に沿って進めていく。全体的には時系列の軸に従って、社会学の誕生から今日に至るまでの各発展段階を踏まえて、主要な社会学者とその理論を紹介していく。各発展段階の具体的な内容は、もう一つの軸、すなわち「秩序問題」へのアプローチの視点・手法の相違という軸を視野に入れながら、理論の整理を行う。講義では社会学誕生の背景と経緯、社会学理論の特質などを概説した上で、社会学の成立期、展開期、脱中心期という三つの段階に沿って、それぞれの段階で重要な位置づけにある社会学者を取り上げて、その問題関心と発想を紹介し、理論内容の検討を行う。具体的には、M・ウェーバーや、E・デュルケーム、G・H・ミード、シカゴ学派、E・フロム、T・パソンズ、R・K・マートン、シンボリック相互作用論、M・フーコー、J・ハバースマス、N・ルーマン、A・ギデンズなどを中心に社会学理論の検討をしていく。

履修上の留意点

私語をしない、携帯電話の電源を切るなど、基本的なマナーを守ること。

成績評価の方法

平常点50点（出席と小テスト）期末レポート50点で評価を行う。

教科書

指定しない。授業中にプリントを配布する。

参考書等

新陸人ほか『社会学のあゆみ』、『社会学のあゆみパートII』（有斐閣新書）1979

その他

主に講義形式で授業を進める。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 学 演 習 I	牛 島 千 尋 <small>うし じま ち ひろ</small>	社会3必	4

講義のねらい

履修者は「都市」に関するテーマを絞りこみ、論文という形に完成させるまで研究を進めていく。他者に理解できるような発表の仕方についても学んでいく。

講義の内容・授業スケジュール

前期はテーマを絞り込み、洗練させ、文献検索と資料収集をする（基礎研究の復習）。後期は、研究論文の骨子を考え、引き続き、文献検索と資料収集を行い、発表を重ねていく。

履修上の留意点

履修者は、大学での演習と、さらに合宿での研究発表を併せて年に3回以上の発表を行う。

成績評価の方法

出席回数、発表内容、演習中の発言にて評価します。

教科書

特になし。

参考書等

随時、紹介していく。

その他

「沈黙は金」ではなく、「発言は金」であることを自覚して演習に臨んでください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学演習 I	川崎賢一 <small>かわ さき けん いち</small>	社会3必	4

講義のねらい

このゼミの目標は2つある。1つは、卒業論文執筆のノウハウを習得することである。そのために、3年次では、(1)研究テーマの複数設定(2)研究計画(3)テーマ絞りこみまでをおこなう。したがって、自主的な研究意欲と熱意が要求されるのはいうまでもない。もう1つは、(1)社会学的分析のトレーニングと、(2)文化や情報化・国際化に対応した文献(英文を含む)を講読する。前者は、オーソドックスな分析法を身につけることを目的に、各自の興味あるテーマ別に、発表形式で行う。後者は、最近の社会学研究の動向を踏まえた研究成果を講読する。

履修上の留意点

いずれにしろ、研究を優先し、インターネットや英会話などがある程度できることをゼミ生に期待している。

成績評価の方法

平常点による。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学演習 I	川本勝 <small>かわ もと まさる</small>	社会3必	4

講義のねらい

社会学の理論と方法を学びます。

講義の内容・
授業スケジュール

マス・コミュニケーションの社会学を中心に扱う。

前期は、マス・コミュニケーション論に関する論文を読みながら、理論の整理を行い、メディアと社会生活を分析する社会学的視点を修得する。

後期は、内容分析などを行い、方法論を修得する。理論と方法論を学んで、卒業論文のテーマを見つける。

年2回のゼミ合宿を行います。

成績評価の方法

出席、レポートによる報告、議論への参加によって評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学演習 I	小林弘人 <small>こ ばやし ひろ ひと</small>	社会3必	4

講義のねらい

この演習は、社会学・社会福祉学専攻者の3年生を対象とする。この演習の年間予定は、前半において両専攻に関連する文献を講読する。後半は各自の興味(どんな事柄でもよい)を卒業論文テーマにリンクさせ、合宿等によって、卒論テーマを確定する作業を予定している。

成績評価の方法

出席を重要視し、平常点で処理する。

(社会学)会

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会学演習 I	坪井 健	社会3必	4

講義のねらい

このゼミでは、社会学・社会心理学の学習を通して、我々が生活している世界の認識能力を高め、社会の中で自己を活かす能力の育成をめざして、理論的・実践的な相互学習することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

具体的には、集団心理、対人関係、世代（青年・高齢者）文化、国際交流、異文化理解など研究領域から、具体的な共同研究テーマを設定して、①文献研究、②データ収集、③整理分析、④報告書作成まで、グループ学習と集団討議を通して実際的な研究をする。

具体的な共同研究テーマは、毎年変わる。

<坪井ゼミの年間行事予定>

「新歓コンパ」（4月）／「ゼミOB会」（7月）／「ゼミ合宿」（9月）／「4年生卒論発表会」（12月）／「追い出しコンパ」（1月）／海外セミナー旅行（8月または3月未定）／「卒論構想春合宿」（3月）

履修上の留意点

ゼミは、知識伝授型の学習ではなく、問題発見と問題解決型の学習を基本とする。従って、ゼミ学習の主体は、学生自身であり、ゼミ学習の場は、教室外の街中や国内・海外を含む行動力が求められる。

成績評価の方法

①ゼミ活動への参加度、②レポートや報告などの課題達成度、により総合的に評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会学演習 I	山田 信行	社会3必	4

講義のねらい

現代の日本社会では、例えば大学を卒業しても定職につかず、アルバイトで生活費を稼ぎながら生活している若者たちがかなりの数に登り、社会問題のひとつとなっている。いわゆる「フリーター」とよばれている人々の問題がそれである。「フリーター」の増加は、（一部の）産業への人的資源供給が滞るといった直接的な問題だけでなく、働くことの意味や学校教育の機能、ひいては人間形成のあり方などをめぐって多様な問題を提起している。この演習は、「フリーターの研究」というテーマのもとに、あくまで産業社会学的なアプローチを基本としながらも、教育論、若者意識論なども視野に含めながら、こうした問題について検討し、参加者が“社会”に出るまえに働くことの意味を見つめる場を提供したい。

講義の内容・授業スケジュール

ゼミは、その参加者が集団を形成することから始まる。そのために、まず自己紹介を行って、お互いを知り合うことから開始したい。そのうえで、レジュメの書き方などを含めた「ゼミのやり方」を確認して、前期の授業では二人一組で文献の報告を行ってもらい、それをもとに議論することにした。後期には、前期の輪読で共有した問題意識を各自の立場から深める意味で、各自が選択した文献について一人ずつ報告してもらおう。

履修上の留意点

ゼミは何よりも出席することが重要。無断欠席は厳禁。

成績評価の方法

平常点による。

教科書

開講時に指示する。

その他

合宿などの実施・時間については、参加者と相談して決める。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学演習 I	李 妍 炎 <small>り けん えん</small>	社会3必	4

講義のねらい

この演習には2つの目的がある。第1に、検索力、理解力と表現力を高めることである。そのために演習メンバーをグループ分けし、各グループでテーマを設定して定期的に発表を行う。それによって特定のテーマに関する検索作業、文献読み、プレゼンテーションの力を高める。第2の目的は演習メンバーが各自卒業研究に向けて準備作業を行うことである。それぞれが卒業研究で行いたい分野を見つけ、テーマを絞り、研究対象と課題を見つけるために一連の必要な作業を行う。

講義の内容・授業スケジュール

前期は演習の進め方、研究の進め方などの基本的な情報を共有した後に、4,5人単位のグループに分けて、交替でグループ発表を行う。発表テーマは書くグループで自由に決める。グループ発表を行ってもらうと同時に、メンバーが各自の卒業研究準備作業を開始する。卒業研究の指導は個人指導の形で行う。

後期はグループ発表のほかに、ディスカッションもしくは個人によるプレゼンテーションも実施する。また、引き続き卒業研究の個人指導を行う。なお、3月に合宿を行い、卒業研究の中間発表を予定している。

履修上の留意点

演習でHPを作って運営し、メンバー同士でEメールのやりとりを行うことが多くなるので、自宅でもネット環境があったほうが望ましい。

成績評価の方法

平常点。

教科書

特に指定しない。

参考書等

特に指定しない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学演習 I	まつ のぶ ひろみ <small>まつ のぶ ひろみ</small>	社会3必	4

講義のねらい

本演習では、現代家族やジェンダーにかかわる諸現象・諸問題に焦点を置き、基礎文献の講読、グループでの研究報告や討論、レポートの作成などを行う。一連の作業を通じて、卒業論文に向けての研究手法を習得するとともに、卒業論文のテーマの絞込みと研究の基礎固めを行うことが目的となる。

講義の内容・授業スケジュール

まず、いくつかのグループを作り、前期は基礎文献の輪読を行う。文献の読み方、レジュメの作成や報告の仕方など、ゼミの基本を確認するとともに、後期の研究テーマの発見に努める。後期は、各々のグループごとに研究テーマを設定して調査研究を進め、レポートの作成を行う。

履修上の留意点

履修者は前期、後期各々最低1回ずつの報告が期待される。

成績評価の方法

平常点およびレポート。

教科書

輪読する文献は開講時に指示する。

参考書等

必要に応じて紹介する。

その他

ゼミは、出席することはもちろん、参加しなければ意義がない。「恥じはかき捨て」のつもりで積極的に自分の意見を発言するように心がけて欲しい。

(社会学) 会

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学演習Ⅱ	牛島千尋 <small>うしじまちひろ</small>	社会4必	4

講義のねらい

演習Ⅰでは、すでに自分の研究テーマを絞り込み、論文作成のために文献を収集し、章立てと各章の概要をまとめているはずである。演習Ⅱでは、各自の研究テーマを引き続き深め、卒論完成を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、卒論のおおよその骨子をまとめ、順に発表していく。後期は、細部にわたって論文の修正を行っていく。

成績評価の方法

出席回数、授業内での発表、発言、レジュメの内容、定期的な提出物によって総合的に評価する。

教科書

特になし。

参考書等

随時、紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学演習Ⅱ	川本勝 <small>かわもとまさる</small>	社会4必	4

講義のねらい

卒業論文の作成に向けた議論と指導が中心となります。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、卒業論文のテーマと内容について検討します。夏合宿で、卒業論文の構成を考え、章、節だてを行います。後期はドラフトを検討し、論文を書き上げていきます。

成績評価の方法

出席と議論への参加、レポート、論文の内容によって評価する。

参考書等

卒業論文のテーマによって適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学演習Ⅱ	小林弘人 <small>こばやしひろひと</small>	社会4必	4

講義のねらい

4年次生は、各自の論題についての指導をする。

成績評価の方法

出席を重要視し、平常点で処理する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学演習Ⅱ	坪井 健	社会4必	4

講義のねらい

このゼミでは、三年の「社会学演習Ⅰ」に引き続き、大学における社会学学習の総括として自分自身のオリジナルな社会学研究「卒業論文」作成のための指導を行うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

具体的には、3年次3月の「卒論構想春合宿」で卒論構想を固め、4月以降、①文献研究、②調査の企画と実施などを行い、9月中旬の「卒論中間報告」で主要研究結果を口頭発表する。10月以降、補充研究と下書きおよび清書して、12月卒論を提出する。提出後、3年ゼミ生を対象に「卒論報告会」(12月)。最後に「坪井ゼミ卒業論文集」を作成。1月末の「口頭試問」で坪井ゼミを終了する。

〈坪井ゼミの年間行事予定〉

「新歓コンパ」(4月) / 「ゼミOB会」(7月) / 「卒論中間報告ゼミ合宿」(9月) / 「卒論発表会」(12月) / 「新年会」(1月) / 「追い出しコンパ」(1月末) /

履修上の留意点

最終学年のこのゼミは、就職活動などと競合することもあるが、卒業論文を書かなければ卒業できないことをしっかり認識し、卒論研究ノートを常に携帯して、空時間等を上手に利用して、図書館等で自主的・計画的に研究を進めることが肝要である。

成績評価の方法

①卒論への取り組み方、②中間報告などの課題達成度、により総合的に評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学演習Ⅱ	山田 信行	社会4必	4

講義のねらい

卒業論文の執筆に向けた指導を行う。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、自分の問題意識を見極めることを通じて、少なくとも論文のテーマだけは確定することを目標にしたい。就職活動の合い間を縫って参加する学生が多くなることが想定されるが、テーマ設定は卒論執筆の前提なので頑張ってもらいたい。後期は、一人あたり少なくとも二回の中間報告を行ってもらい、執筆に向けた作業を詰めて行きたい。最終的には提出前に全員の草稿の読みあわせを行いたい。

成績評価の方法

卒業論文の執筆をもって、単位認定を行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学演習Ⅱ	李 妍 炎	社会4必	4

(社会学)会

講義のねらい

この演習は、メンバーが各自充実した卒業研究を行うためのサポートを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

前半では、メンバーそれぞれが定期的に各自の卒業研究について発表を行い、それを巡って全員で議論していく。後半では、各自のテーマと研究方法および進行状況に応じて、個別指導を中心に行う。

履修上の留意点

他人の研究に関心を持つように心がけること。

成績評価の方法

平常点。

教科書

特に指定しない。

参考書等

特に指定しない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学演習Ⅱ	かわさき けんいち 川崎賢一	社会4必	4

講義のねらい

卒業論文を作成するために必要な指導が中心となる。

講義の内容・
授業スケジュール

最初に、卒論の書き方、そのマネジメントを教える。それから、各自の進行具合に即して、個人指導を中心にして行う。なお、時間が足りない場合は、別途アポイントメントをとって補足する予定である。

履修上の留意点

卒論への取り組みは早め早めにおこなうこと。

成績評価の方法

平常点・論文の出来、を勘案して評価する。

教科書

特になし。

参考書等

各自の必要性に応じて教示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
理論社会学	かわさき けんいち 川崎賢一	社会2・3・4選	4

講義のねらい

目的は、現代社会学理論、特に、文化に関する理論についてその概要を理解することである。イントロダクションに、現代社会学理論について概説をする。それから、いくつかのキーワードに沿って代表的な社会学者と彼らの理論を紹介・整理する。文化的グローバリゼーション・グローバルシティ・文化政策・文化産業・文化交流、などについてみていった後に、最終的には人類文化の観点から、現代社会学理論の果たすべき役割と可能性について言及する。

講義の内容・
授業スケジュール

最初に、現代社会学理論について概説する。(デュルケム・ウェーバー・パーソンズなどの理論を整理する。4月。)次に、文化的グローバリゼーション(トムリンソン・ホール・クレイン5・6月)、グローバルシティ(町村・サッセン7月)、文化政策(川崎・クレイン・ランドリ9月)、文化産業(フランクフルト学派・トフラー・岩渕、10月)、文化交流(川崎・平野・ミッチェル、11月)、などの理論を整理する。そして最後に、人類文化の観点からいくつか代表的理論を紹介する。(セン・緒方など、12月)

履修上の留意点

できれば、授業中に挙げた文献に目を通した上で講義を聞いて欲しい。

成績評価の方法

最後の時間に小論文のテストをするか、あるいは、レポートによって評価する予定である。

教科書

特に定めない。しかし、出来れば、A. ギデンズ、『社会学』(而立書房)程度の入門書をあらかじめ読んで欲しい。

参考書等

D. Crane, N. Kawashima, K. Kawasaki (eds.), *Global Culture*, Routledge, 2002,
川崎賢一『情報社会と現代日本文化』(東京大学出版会) 1994

科目名	担当者名	配当学科	単位
外書講読	川崎賢一 <small>かわ さき けん いち</small>	社会2・3・4選	4

講義のねらい

現代社会学を理解するうえで、必要な英語を読む力をつけることを目的とする。単に、古典を読むことはしない。むしろ、前半は、実用的な読解力を新聞・雑誌・入門書でつけて、後半は、実際に、現代社会学を代表する文献の一部を購読する。

講義の内容・授業スケジュール

前半は、新聞(朝日新聞英語版・インターナショナルヘラルドトリビューン)・雑誌 (News Week)、入門書(Giddens の Sociology か Kohen らの Global Sociology)等を使い、日本に関連する記事や論文の一部を読む力をつける。後半は、現代社会学代表する理論の一部(Giddens, The Transformation of Intimacy, 1992; Naoki Sakai, You Asians, 2002, 等)を使い、読解力や解釈力を高める。

履修上の留意点

授業の性格から、ゼミ形式をとり、事前に読むべき文献のコピーを渡し、それを読んだ上で授業に出席することが前提である。なお、何度かレポーターが回ってくることも承知しておいてもらいたい。

成績評価の方法

平常点を中心として、最後に簡単なレポートを貸す予定である。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業の中で指示する。

その他

社会学辞典(日本語と英文)を前もって購入しておくこと。また、出来る限り、英英辞典を使用すること。必要があれば、相談すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現 代 社 会 論	まつのぶ 松 信 ひろみ	社会2・3・4選	4

講義のねらい

本講義では、「ジェンダー」という視点から現代社会を考察する。
現代社会には多様な現象・問題が存在しているが、「ジェンダー（＝社会的文化的性差）」という視点の導入により、それらの新たな側面を提示してみたい。
「ジェンダー」を含め性別にかかわる概念を概観した上で、いくつかの具体的なトピックを取り上げて検討してゆく。

講義の内容・
授業スケジュール

以下のような項目について講義する。

1. ジェンダーとは	7. 日本型雇用とジェンダー
2. 「性」の多様性	8. セクシュアリティと女性に対する暴力
3. 男とは、女とは	9. 性の商品化
4. 性別役割分業と専業主婦という存在	10. ケアとジェンダー
5. 生殖医療の進展とジェンダー	11. 男女共同参画社会とジェンダー
6. 育児とジェンダー	

履修上の留意点

漫然と講義に臨むのではなく、問題意識をもって出席して欲しい。

成績評価の方法

学年末の試験とブックレポートによって評価する。

教 科 書

江原由美子・山田昌弘『改訂新版ジェンダーの社会学』（放送大学教育振興会）2003年
2,300円

参 考 書 等

随時紹介する。

そ の 他

基本的に教科書を使用するが、随時プリントも配布する。また、一方的な講義ではなく、できるだけ学生諸君との意見交換の場も設けたい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
政治社会学	岩瀬庸理 <small>いわせ のぶただ</small>	社会2・3・4選	4

講義のねらい

政治社会学の講義目標は、社会学の理論と概念を用いて「市民社会」と「政治社会」の相互関係を理解し、説明する能力を育成することである。

講義の内容・授業スケジュール

1. 政治社会学の対象と方法
政治社会学の分析視角、政治社会学の学説史、システム理論と行学理論、政治社会学の現状
2. 政治的社会化
政治的自我的形成、政党支持態度の学習、社会化機関の比較、社会化パターンの変容
3. 参加行動
投票行動の変化、階層の非構造化、社会移動の効果、社会運動の類型
4. 権力構造
支配構造の特徴、大衆社会の権力構造、地域社会の権力構造、多元的権力構造
5. イデオロギー
イデオロギーの構造、イデオロギーとパーソナリティ、イデオロギーと市民社会

履修上の留意点

共に考えるという姿勢をもって出席して欲しい。

成績評価の方法

試験。

教科書

教室で指示する。

参考書等

教室で指示する。

その他

講義形式とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
家 族 社 会 学	まつのぶ 松 信 ひろみ	社会2・3・4選	4

講義のねらい

本講義では、現代の結婚と家族にかかわる現象や問題を社会学的な観点から考察する。シングル増加、少子化、高齢化など、結婚や家族をめぐる諸現象が数多く指摘されているが、それらの実状のみ、あるいは、家族社会学の理論や枠組みの講義のみにとどまることなく、現代の結婚と家族を家族社会学の視点から捉えてみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

現代の結婚と家族の現状に照らし合わせながら、家族社会学の基礎も講義してゆく。教科書を使用して、以下のような項目について講義する。

1. 家族とは
2. 家族規模・家族機能の変化
3. 家族とライフコースの変化
4. 恋愛と現代の結婚
5. 性別役割分業の変化
6. 少子化と高齢化
7. ドメスティック・バイオレンス
8. 地域と家族
9. 多様な家族のありかた（欧米諸国の家族との比較）

履修上の留意点

「家族」は私たちの最も身近な集団である。漫然と講義に臨むのではなく、問題意識をもって出席して欲しい。

成績評価の方法

学年末の試験とブックレポートによって評価する。

教 科 書

増子勝義編著『増補改訂版 新世紀の家族さがし—おもしろ家族論』（学文社）2003年 2,500円

参 考 書 等

森岡清美・望月嵩著『新しい家族社会学 四訂版』（培風館）1997年 1,700円

そ の 他

基本的に教科書を使用するが、随時プリントも配布する。また、一方的な講義ではなく、できるだけ学生諸君との意見交換の場も設けたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法社会学	小林弘人	社会2・3・4選	4

講義のねらい

法社会学の概念についての理解、法社会学の対象と方法、具体的事例についての解説が授業の主たる内容である。

講義の内容・授業スケジュール

日本および諸外国の法社会学史について前期一杯講義する。具体的には、まず日本の法社会学の学説史について解説する。その後、ヨーロッパおよびアメリカの法社会学史について説明する（例えば、モンテスキュー、イエーリング、マックスウェーバー、マリノウスキーやギユルヴィッチ、ホームズ、パウンドなどの学説の紹介である。）

次いで、法社会学の方法論について解説する。また、法社会学に関連する法学の諸分野と社会諸科学との関連についても解説する。

後期からは、法と社会との関連性について全体社会と法、部分社会と法について、具体的事例をあげながら説明する。立法過程、司法過程、農村、都市のかかえる課題の対応には時間をさきたい。

履修上の留意点

とくになし。資料の配布については、該当日以外は、配布しないので、注意すること。

成績評価の方法

レポートと期末テストを勘案して行う。

教科書

及川伸著『法社会学講義』（法律文化社）2,781円

参考書等

講義初日に説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗教社会学	芳賀学	社会2・3・4選	4

講義のねらい

古今東西、人間社会には（形の違いこそあれ）何らかの宗教が存在し、それぞれの社会や時代の状況に対応してさまざまな役割を果たしてきました。この授業では、アイデンティティをキーワードとして、そもそも人間にとって宗教が必要である根本的な理由と、われわれの住むこの日本社会において宗教（及び宗教周辺現象）が果たしてきた（または果たしている）役割について概括的に理解することを目指しています。

講義の内容・授業スケジュール

- （前期）(1) オリエンテーション (2～5) アイデンティティと宗教
 (6～8) 新宗教とは何か（発達段階・思想・組織・活動）
 (9～13) 時代の中の新宗教（幕末から現在まで）
 （後期）(14・15) 宗教周辺現象の拡大 (16・17) 心理療法的な活動
 (18～20) ネットワークビジネスとエステ
 (21・22) 占いとヒーリング (23・24) オウム事件と危機管理
 (25・26) 自分探しのパラドックス

履修上の留意点

本講義を履修するにあたっては、以下の二点に留意してください。①有用な情報を用意しているので、可能な限り講義には出席すること。②多くの情報をどん欲に吸収すると同時に、それを鵜呑みにしないで、自分に引き付けてじっくりと考える態度を意識的に維持すること。

成績評価の方法

成績については、基本的に、夏期休暇に課すレポート（4000字程度）と年度末に行うペーパーテスト（筆記式）との総合評定で決定しますが、不定期に課すリアクションペーパーの提出状況によってはその結果に若干の加点措置を講じる予定です。

（社会学）

科目名	担当者名	配当学科	単位
産業・職業社会学	やま だ のぶ ゆき 山田 信行	社会2・3・4選	4

講義のねらい

“労使関係”をキ概念として、産業社会学を体系的・概論的に講義する。

講義の内容・授業スケジュール

講義は2部から構成される。第1部（前期）では、産業（・職業）社会学の主要な分野について日本での事例について紹介しながら概説する。

第2部（後期）では、“グローバル化”をポイントにして労使関係の歴史比較分析を行う。具体的な講義プランは、以下のとおり。

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 第1部 現代日本の産業・労働・職業 | 第2部 労使関係の国際比較 |
| 1. 産業（・職業）社会学の対象・方法・課題 | 1. グローバリゼーションと労使関係 |
| 2. 労使関係とはどんな関係なのか | 2. インダストリアリズムと多元的資本主義発展 |
| 3. 賃金・雇用・労働者 | 3. アメリカ合州国と不自由労働 |
| 4. 労働者の統制と参加 | 4. 資本・賃労働の国際化と日本的労使関係 |
| 5. 労働組合と労働運動 | 5. 周辺社会マレーシアの労使関係と資本主義発展 |
| 6. 技術革新と技能の変化 | 6. 労使関係と社会変動・再論 |
| 7. 国家と労使関係 | |
| 8. 変容する産業・労働・職業の世界 | |

履修上の留意点

必修科目ではないので、自覚的な参加を希望する。

成績評価の方法

主として、学年末試験による。

教科書

山田信行『労使関係の歴史社会学』ミネルヴァ書房

参考書等

適宜、指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会心理学	つば い つよし 坪井 健	社会2・3・4選	4

講義のねらい

この講義は、個人の社会的行動、対人関係、集団行動と個人、集団心理現象など、われわれが日常的に出会うテーマについて、社会心理学の興味深い研究成果を紹介する。社会心理学は、元来社会学と心理学の境界科学であり、実験、テスト、観察、調査など心理学と社会学の研究方法が用いられており、社会学の領域から見れば、かなり心理学的色彩の強い研究が含まれる。この講義では、境界科学としての特徴を生かし、具体的なテーマを中心に、ビデオ教材を利用したり、小実験や心理テストなど多彩な方法を用いて授業を展開したいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

- はじめに - 講義の方針と受講の仕方 -
- 社会的自己のはなし - 自己過程の社会心理 -
- 他者との交わり - 友人関係と対人魅力 -
- 対人関係の心理 - 援助行動と社会的影響 -
- 集団の中の個人 - 同調行動と意思決定 -
- 文化現象と個人 - 異文化と日本人 -
- 現代社会と個人 - 現代人の社会心理 -
- その他（社会的認知、社会的欲求、態度変容、リーダーシップなど）

履修上の留意点

- 授業中に、小実験や心理テストなどを行なうことがあるので、積極的に参加すること。
- 講義の内容は、通年テーマの概略である。授業の流れとの関係で内容や順序は変更する。
- 授業中は、配布資料を参考にノートを取り、さらに深く研究したい人は、紹介した文献を参考に自主的に学習内容を深めてもらいたい。

成績評価の方法

- 出席＋毎時間の受講態度、感想、意見、質問など（20%）
- 課題レポート・期末試験（80%）

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会病理学	やまもと いさお 山本 功	社会2・3・4選	4

講義のねらい

まず、社会病理学の基本的概念・方法・研究領域について概観する。まず、従来のオーソドックスな社会病理学の概念・学説史をとりあげ、最後に近年注目を集めている社会構築主義について紹介する。

ついで、様々な「社会病理現象」のうち、犯罪・非行を中心に取り上げ、犯罪学を紹介する。少年の「凶悪化」が叫ばれ、2000年秋に少年法が改正されたが、少年が「凶悪化」したと言えるのだろうか。また、何かしら事件が起こるたびにメディアでは「親が」「学校が」「社会が」と様々な原因が論じられるが、それらは妥当なのだろうか。そもそも、犯罪や非行についてどうして人は語りえるのだろうか。

講義の内容・授業スケジュール

- 【前期】 第1回 イントロダクション「社会病理」とは何か 第2～4回 「社会病理」の基礎概念と社会病理学史 第5～8回 「社会病理」現象の具体的諸相 第9～13回 「社会問題」論と社会構築主義
- 【後期】 第14～16回 「犯罪」「非行」概念 第17～19回 人はどうして犯罪について語りえるのか犯罪報道、公式統計、暗数問題 第20～24回 実証主義的犯罪原因論 第25～26回 ラベリング論と社会構築主義

履修上の留意点

webに参考資料をアップする。ネット環境が整っていることが望ましい。携帯電話では不可。

成績評価の方法

定期試験結果で評価するが、適宜行う小レポートを加味する。

教科書

米川茂信『現代社会病理学』（学文社）3,398円 ISBN4-7620-0392-1

参考書等

守山正・西村春夫『犯罪学への招待』（日本評論社）1999年
 澤登俊雄『少年法』（中公新書）2000年
 鮎川潤『少年犯罪』（平凡社新書）2001年
 中河伸俊『社会問題の社会学』（世界思想社）1999年
 平英美・中河伸俊編『構築主義の社会学』（世界思想社）2000年
 矢島正見『少年非行文化論』（学文社）1996年
 法務省編『犯罪白書』
 警察庁編『警察白書』

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学原論	わた なべ もと き 渡 辺 源 樹	社会2・3・4選	4

講義のねらい

社会学の主要な対象である社会的人間、集団、組織を柱に据え、加えて社会変動の問題を加味させた社会意識論を配置し、その各々を構成する主要な問題を講述する。そのためのものとして社会学の概念や理論を用いて、身近な社会現象をとらえて社会学的な理解や認識を深めさせたい。

講義の内容・
授業スケジュール

授業内容とそれに必要な準備

- 第1回 社会学とは何か
社会的事実／実証性 “予期せんがために見る”／社会学的分析／現代社会学の領域と方法
- 第2回 社会的行為
なぜ“action”からなのか／社会の基礎的単位としての行為／行為の社会性・歴史性
- 第3回 相互行為・社会関係・社会過程
人間の行為は“nter”して社会的となる／人間関係・社会関係・国際関係／交換／社会過程
- 第4回 社会的役割の基本公準
- 第5回 1、役割の取得－社会化 フロイドとパーソンズの“社会化の過程”を中心に
- 第6回 2、役割の準拠－準拠集団 準拠枠／所属集団と準拠集団／動機と態度の概念
- 第7回 3、役割の葛藤－マージナル・マン アイデンティティとモラトリアム／マージナルマンとして青年期／マージナルマンとしての職場人間
- 第8回 社会統制と逸脱行為
1、規範と同調－逸脱の次元 行為と社会的秩序／サンクション・パターン
- 第9回 2、ラベリングと予言の自己成就 印象操作／シンボルとシンボル操作／逸脱とラベリング／予言の自己成就
- 第10回 アノミー デュルケムのアノミー、マートンのアノミー論 マクロ社会学とミクロ社会学
- 第11回 社会集団
1、社会集団とは何か 集団の特質／集団の分類／家族と企業体
- 第12回 2、社会有機体説と構造・機能／機能連関／機能要件 (AGIL 図式)
- 第13回 3、集団と構造と機能 地位と役割 集団の単位としての役割／ロールセット、地位系列／業績的地位・帰属的地位
- 第14回 4、集団のリーダーシップ 集団目標／集団効果性／ホワイトのリーダーシップ論／PM 理論とリーダーシップ
- 第15回 5、集団の凝集性・モラール 同調への圧力・斉一性／集団規範／凝集性を高める条件／モラール
- 第16回 前期試験 集団・文化・パーソナリティ
- 第17回 組織論と官僚制
1、組織の一般理論 現代社会と組織体／組織の一般理論
- 第18回 2、官僚制組織の基本原則 ウェーバーの支配の3類型／官僚制組織の基本原則 (ウェーバー、ミヘルス)／支配・権力・権威
- 第19回 3、官僚制組織の動態 官僚制組織における“目標の転移”／ホーソン実験／ゲールドナー、ブラウの官僚制論
- 第20回 社会意識
1、社会意識とは何か 社会意識の2つの途／マルクスとウェーバー
- 第21回 2、ウェーバーのエートス論 「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」を中心として
- 第22回 3、社会的性格
イ. フロムの社会的性格 「自由からの逃走」を中心として
- 第23回 ロ. ミルズ、リースマンの社会的性格 「ロンリー・クロード」を中心として
- 第24回 4、社会的態度 (社会心理) 行為の科学的説明／ニューカムの社会的行動の説明図式
- 第25回 全体社会の構成
1、経済と社会…経済と経済社会学／産業社会・消費社会／経済の国際化・従属理論
- 第26回 2、政治と社会…政治と政治社会学／権力／政治文化
- 3、法と社会…法と法社会学／法の機能／規範
- 4、教育と社会…教育と教育社会学／学歴と社会移動
- 第27回 社会成層の社会学 階級と階層／職業構成／社会移動／地位の一貫性・非一貫性／成層研究の課題

成績評価の方法

定期試験（有り）、レポート（有り）。

教科書

開講時に提示。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育社会学	伊藤茂樹	社会2・3・4選	4

講義のねらい

教育社会学は、教育を社会現象ととらえ、社会学の手法を用いてアプローチする学問であり、教育や学校、子ども、青少年などに関するあらゆる現象が対象となる。分析のレベルも国の教育政策といったマクロレベルから、教室内での人間関係や相互作用といったマイクロレベルまで多岐にわたる。そして、私たちがともすれば自明視しがちな「常識」を相対化して批判的なまなざしを向けたいうで、実態の客観的な分析をふまえて実践や政策に寄与する知見を得る学問である。この学問についての基礎知識を持ち、それを用いて現代社会の教育について考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

とりあげるテーマとして、教育社会学の対象と方法、学校の歴史と機能、社会化とその変容、情報化社会と青少年、教育制度、カリキュラムと知識、学校の組織と文化、階層と教育、教育問題と教育改革、などを予定している。

履修上の留意点

授業への積極的な参加を求める。

成績評価の方法

課題とレポートにより評価する。

教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗教人類学	佐藤憲昭	社会2・3・4選	4

講義のねらい

宗教人類学は、文化人類学の視点と方法から諸民族の宗教文化について比較研究をする学問である。そして、その営為を通して「人間とは何か」という問題に答えようとするものである。本年度は、人類に根源的・普遍的な文化のひとつに数えられている「シャーマニズム」を取り上げ、宗教人類学の考え方について習得することを目指す。

シャーマニズムとは、神霊と直接交流をしながら、予言、託宣、祭儀、治病行為などの役割を果たす人物（＝シャーマン）を中心とする宗教現象である。この現象はあらゆる宗教と結びつく性格を具えている。内外の事例を紹介しながら、多角的に考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、1. 文化人類学・宗教人類学・宗教民族学、宗教民俗学、2. フィールドワーク、3. 人類学的方法論的特色、4. アニマ（霊）とマナ（力）、5. 民俗宗教の特質、6. 呪術—宗教的職能者の分類などについて具体的に考察する。後期は、1. シャーマニズム研究史、2. シャーマンの特質、3. 脱魂文化と憑霊文化、4. 都市のシャーマニズム、6. シャーマニズムと仏教文化などのテーマのもとに考えてみたい。

履修上の留意点

欠席をする場合（または欠席をした場合）には、欠席届（形式は任意）を提出することが望ましい。

成績評価の方法

学年末のレポートで評価する。合格の基準は、1. 講義内容を踏まえていること、2. 参考文献を読みこなしていること、3. みずからの言葉で論じていること、の三点にある。なお、不合格の場合には、出席点を加算して最終評価を行う予定。

教科書

使用しない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

（社会学）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会調査演習(前期)	うし しま ち ひろ 牛 島 千 尋	社会2・3・4選	2

講義のねらい

この演習と社会統計学演習では、一年次必修科目の「社会調査」を履修した学生に対して、社会学的データの分析で用いる基礎的な分析法について、その考え方と主要な計量モデルを習得していくことをねらいとしている。「社会調査」で解説した集計・分析法の中から、主にクロス集計、傾向分析、コーホート分析を詳細に解説し、公開データや国勢調査データなどを使用して、実際に受講者にデータの収集・集計・分析をして発表し、報告レポートを作成してもらう。なお、集計にあたっては、EXCEL、SPSS統計パッケージを用いる予定である。EXCELはすでに「情報処理実習」において学習しているので新たに取り上げないが、SPSSの基本操作についてはこの演習で指導していく。

講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーション-社会学的データの収集、集計、分析について
2. 傾向分析とコーホート分析の解説
3. クロス集計と多変量解析の解説
4. 国勢調査データを使用して傾向分析に挑戦1
5. 国勢調査データを使用して傾向分析に挑戦2
6. 国勢調査データを使用して傾向分析に挑戦3
7. 分析結果の発表
8. 社会調査データを使用してクロス集計に挑戦1
9. 社会調査データを使用してクロス集計に挑戦2
10. 社会調査データを使用してクロス集計に挑戦3
11. 分析結果の発表
12. 社会意識調査データを使用してコーホート分析に挑戦1
13. 社会意識調査データを使用してコーホート分析に挑戦2
14. 社会意識調査データを使用してコーホート分析に挑戦3
15. 分析結果の発表とレポート作成の諸注意

履修上の留意点

演習時間だけでSPSSの習熟は不可能なので、空いた時間を利用して、学内パソコンにインストールされているEXCELとSPSSに慣れてください。

成績評価の方法

出席状況、発表、レポートによって評価します。

教科書

遠藤健治『Excel, SAS, SPSSによる統計入門』(培風館)2003年

その他

演習科目であり、実際に受講者はパソコンを使用して集計・分析を行うので、受身ではなく、積極的に参加する姿勢が求められます。また、卒業論文で、自分で社会調査を行ったり、既存統計データを加工して使用する予定の学生は、この演習を積極的に履修してください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会統計学演習(後期)	うし じま ち ひろ 牛 島 千 尋	社会2・3・4選	2

講義のねらい

社会調査演習とこの演習では、一年次必修科目の「社会調査」を履修した学生に対して、社会学的データの分析で用いるより高度な分析法について、その考え方と主要な計量モデルを解説し、習得していくことをねらいとしている。

講義の内容・授業スケジュール

1. オリエンテーションーさまざまな多変量解析の紹介
2. 回帰分析法の解説とデータの準備
3. 国勢調査データを使用して重回帰分析に挑戦1
4. 国勢調査データを使用して重回帰分析に挑戦2
5. 因子分析の解説とデータの準備
6. 社会学的データを使用して因子分析に挑戦1
7. 社会学的データを使用して因子分析に挑戦2
8. クラスタ分析の解説とデータの準備
9. 国勢調査データを使用してクラスタ分析に挑戦1
10. 国勢調査データを使用してクラスタ分析に挑戦2
11. ロジスティック回帰分析の解説とデータの準備
12. 公開データを使用してロジスティック回帰分析に挑戦1
13. 公開データを使用してロジスティック回帰分析に挑戦2
14. 分析結果の発表
15. 分析結果の発表とレポート作成の諸注意

履修上の留意点

演習時間だけでSPSSの習熟は不可能なので、空いた時間を利用して、学内パソコンにインストールされているSPSSに慣れてください。

成績評価の方法

出席状況、発表、レポートによって評価します。

教科書

石村貞夫『SPSSによる多変量データ解析の手順』（東京図書）2001年

参考書等

遠藤健治『Excel、SAS、SPSSによる統計入門』（培風館）2003年

その他

概要だけ読むと難しそうな用語が並んでいますが、ある項目がどのような要因で説明されるのか、社会的な事象の間にどのような関係があるのか、東京にはどのような地域がありどのような特徴を持つグループに分かれるのかなど、一種の謎解きの感覚で怖がらずに履修してください。ただし、この演習を履修する人は、基礎的な分析を行う「社会調査演習」を必ず履修しておいてください。また、卒業論文で、自分で社会調査を行ったり、既存統計データを加工して使用する予定の学生はこの演習を積極的に履修してください。

(社会学)

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会調査実習	山田信行	社会3・4選	4

講義のねらい

2年生までに受講した社会調査関連の授業で体得した理論・分析手法・スキルを総動員し、通常行われている社会調査の全過程に関わることを通じて、“現実の”社会に接し、社会認識を深めることを課題とする。

講義の内容・授業スケジュール

参加学生は相互に協力しながら、自らの問題意識をもって仮説をたて、調査を企画し、調査票を作成し、調査を実践し、収集データを分析し、報告書をまとめてもらわなければならない。社会調査関連の授業の総決算として、社会調査という学問を最終的にマスターすることを目指す意欲的な学生の参加を期待する。

履修上の留意点

授業に参加することがなりよりも重要。

成績評価の方法

出席と参加意欲を重視した平常点によって評価する。参加者は報告書の分担執筆の義務がある。

教科書

特になし。

参考書等

安田三郎他『社会調査ハンドブック』有斐閣など。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学理論研究 I (前期)	川本勝	社会3・4選	2

講義のねらい

社会学の研究領域の1つであるマス・コミュニケーション研究における社会学理論を扱う。マス・コミュニケーションの社会学的研究のなかで、もっとも精力的に行われてきた領域の1つが、マス・コミュニケーションの効果や影響に関する研究である。この講義では、過去の効果研究の概要を整理し、70年代以降に登場した新しい効果理論を中心に検討する。

「高度情報社会」と呼ばれるようになった今日、インターネットやデジタル放送などいわゆるニューメディアが次々と登場している。その結果、既存のテレビ、新聞、雑誌などのマス・メディアに加え、多メディア、多チャンネル化したメディアの社会的影響が問われている。そうした現状のなかで、マス・コミュニケーションの効果理論を学ぶことは重要であり、意義のあることと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

1. マス・コミュニケーションの効果研究の推移
2. 初期の効果研究の代表的理論
3. 新しい効果理論
 - (1) 議題設定機能仮説
 - (2) 沈黙の螺旋理論
 - (3) 培養理論
 - (4) メディアシステム依存理論
 - (5) エンコーディング/デコーディングモデル
4. まとめ-今後の課題-

成績評価の方法

何回かのレポートに平常点を加味して評価する。

参考書等

田崎、児島編著『マス・コミュニケーション効果研究の展開 (新版)』(北樹出版)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会学理論研究Ⅱ(後期)	李 妍 炎 り けん えん	社会3・4選	2

講義のねらい

公共事業は国民に借金してでも行うべきなのだろうか？公共機関とは行政が管理する機関のことを言うのだろうか。

この授業では、近年盛んに議論されている「公共性」の問題を取り上げる。J・ハバーマスによる「公共性の構造転換」以来、日本においても、公共性は中心的な理論的課題の1つとされるようになった。今後の日本社会の進路を考える上で、また、世界全体の情勢を理解する上で、公共性は欠かせないキーワードとなっている。この授業では、公共性に関する基本的な理論的見知を整理・検討した上で、日本における公共性議論の主要ないくつかを紹介し、公共性によって語られる新たな社会像とは何かについて探っていく。

講義の内容・
授業スケジュール

前半では公共性に関する基本的な議論を整理・分類し、理解していく。特定の教科書は使わないが、ハバーマスの議論を手がかりとして、歴史的に公共性に関する議論をみていく。

後半では、主に日本で行われている公共性に関する議論を取り上げ、日本における「公共性」の特殊性を説明し、現在の議論の動向を示していく。さらに、公共性に関連する出来事の事例を挙げながら、公共性の議論が実践においてどのように反映されるのかについて検討していく。

履修上の留意点

履修条件ではないが、前期で社会学特殊講義Ⅰを受講すれば、より深く授業の内容を理解できる。

成績評価の方法

平常点30点とレポート70点で評価する。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

斉藤純一『公共性』(岩波書店)2000
山口定『新しい公共性：そのフロンティア』(有斐閣)2003

そ の 他

履修人数が多い場合は、主に講義形式で行うが、人数が少なければ、演習形式で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会学特殊講義Ⅰ(前期)	李 妍 炎 <small>り けん えん</small>	社会3・4選	2

講義のねらい

1995年以降、日本社会において新たな社会問題解決のシステムとして注目されている領域がある。ボランティア組織とNPOである。しかし、8年間経ったいまでも、この領域は人々の期待に十分に答えられるまでに発展したとは言いがたい。それどころか、むしろ今後の展開方向が定まらないままである。この授業では主に日本のNPO（非営利組織）を取り上げ、日本で発展してきた経緯を明らかにした上で、海外との比較や具体的な事例検討を行い、その現状と課題について分析していく。

講義の内容・授業スケジュール

- 具体的には以下のスケジュールで行う。
1. ガイダンス&NPOとはなに？
 2. NPOの力とは？
 3. 日本のNPO
 4. 海外のNPO (1)
 5. 海外のNPO (2)
 6. NPOの特質
 7. テーマ別事例検討 (NPOとコミュニティ)
 8. テーマ別事例検討 (NPOとボランティア)
 9. テーマ別事例検討 (NPOのマネジメント1)
 10. テーマ別事例検討 (NPOのマネジメント2)
 11. テーマ別事例検討 (NPOと行政)
 12. テーマ別事例検討 (NPOと企業)
 13. NPOのサポートとエンパワーメント

履修上の留意点

履修条件ではないが、後期の理論研究Ⅱも合わせて履修すると、授業内容への理解がより深まる。

成績評価の方法

平常点30点と期末レポート70点で評価する

教科書

特に指定しない

参考書等

李妍炎『ボランティア活動の成立と展開』（ミネルヴァ書房）2002

その他

履修人数が多い場合は講義形式で行い、人数が少ない場合は演習形式で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会学特殊講義Ⅱ(後期)	川 本 勝 <small>かわ もと まさる</small>	社会3・4選	2

講義のねらい

社会変動の1つである社会の情報化とその社会的影響について考察する。高度情報社会と言われる現代社会はどのような特徴を持つのかを整理し、情報環境の変容等が、我々の情報行動や生活にどのような影響をもたらしているかを検討する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 情報化とは
2. 情報環境の変容と高度情報化
3. 高度情報社会と生活の情報化

成績評価の方法

レポート、授業時間内での課題の報告等の平常点を加味して評価する。

参考書等

その都度適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
行政法	けい とく ひろ とう 鶏 徳 啓 登	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

現代国家は、一般に福祉国家と言われるようになったが、我国も憲法制定後50年経過して、国外的・国内的に、社会情勢の変化に伴う新しい問題が生じてきている。国内的には戦後の経済政策の下になされた約1万件に上る規制の緩和がなされる一方で、国民の高齢化問題に対処すべく消費税率の引き上げ、宗教法人法の改正による宗教団体の規制問題など枚挙に暇がない。

本講義は、種々の行政作用を中心に行政法の輪郭を理解することをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

1. 行政とは何か 2. 行政の原則 3. 行政法の意義と解釈 4. 行政作用の分類と内容・効力 5. 行政行為の瑕疵と効力 6. 行政手続 7. 行政上の強制の方法と制裁 8. 国家による賠償と補償 9. 国民の権利侵害に対する救済の種類と手続

成績評価の方法

成績評価は出席状況と試験またはレポートによる。

教科書

原田尚彦著 『行政法要論』(学陽書房) 3,000円
『小六法』 出版社・定価各種

参考書等

塩野宏著『行政法I・II』(有斐閣) 4,000円 その他、教場にて説明。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学(福祉)	こ ばやし ひろ ひと 小 林 弘 人	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

社会福祉法制として理解されている各種の法令の意義・内容を理解することを目標とする。具体的には、社会福祉の組織、活動、財政、争訟に関する法令の解説をなるべく平易に説明をする。

講義の内容・授業スケジュール

[目標]

- 1 社会生活における法の作用や役割について理解させる。
- 2 憲法、民法及び行政法の基礎を理解させる。

[内容]

- 1 社会生活と法
- 2 憲法
 - 1) 基本原理
 - 2) 基本的人権
 - 3) 地方自治
- 3 民法
 - 1) 総則
 - 2) 物権
 - 3) 契約
 - 4) 不法行為
 - 5) 親族
 - 6) 相続
- 4 行政法
 - 1) 行政行為
 - 2) 行政不服審査
 - 3) 行政訴訟
 - 4) 行政手続
 - 5) 地方行政組織

成績評価の方法

出席状況と年三回位のレポートの提出および定期試験を勘案し、総合評価する。

教科書

小林弘人著『高齢化社会における社会福祉の法』(創成社)

参考書等

授業時間中に指示する。

(社会学)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 保 障 論	ふなみずひろゆき 船 水 浩 行	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

現代社会における私たちの生活は、多くの場合、働いて収入を得ることによって成り立っている。これにより、食べるもの、着るもの、住むところなどを手に入れる。しかし、働く力を失った人、働く機会に恵まれない人など、所得を得ることができない人々はどうするのであろうか。また、人々の生活そのものを荒廃させかねない、病気やケガになったらどうするのであろうか。

社会保障は、このような所得の欠乏、疾病への対応として、所得と医療の保障を主たる目的に形成されてきた。そして、現代社会においては、各国それぞれの文化、社会・経済の状況等の諸要因により、構造、形態、財源等に相違は見られるものの、人々の生活の維持、向上のために必要不可欠の政策であり、制度となっている。

本講義では、この社会保障が、どのような考え方に基づいて形成されてきたものであるのかを踏まえた上で、①現代社会における社会保障の役割と意義はどのような点にあるか、②「社会保障構造改革」という言葉に代表されるように、転換期を迎えているわが国の社会保障制度の課題はどのようなものであるのか、を中心に考察していく。

講義の内容・
授業スケジュール

※以下の諸点を主要な内容とする。

- 1 現代社会と社会保障
- 2 社会保障制度の体系
- 3 年金保険
- 4 医療保険
- 5 介護保険
- 6 労働保健（労災保険、雇用保険）
- 7 民間保険
- 8 社会保障の運営管理
- 9 「社会保障構造改革」と今後の社会保障制度

成績評価の方法

学期末毎の試験、レポート課題、出席状況等を勘案し、総合評価します。

教 科 書

福祉士養成講座編集委員会編『改訂 社会福祉士養成講座5 社会保障論』（中央法規）

参 考 書 等

総理府社会保障制度審議会事務局編『社会保障統計年報』（法研）
厚生省大臣官房政策課監修『社会保障入門』（中央法規）

科目名	担当者名	配当学科	単位
老人福祉論	とうじょうみつまさ 東 條 光 雅	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

老人虐待の多発、家族介護の深刻化、社会保険料の負担増、老齢年金の減額、介護保険の導入等、老年期や高齢者に関する事柄が、近年富にマスメディアを賑わしている。こうした事柄が騒がれる背景は、世界一の「人生80年」という長寿化の進行と急激な少子化による日本社会の高齢化である。

わが国の高齢化の度合いはいよいよ欧米社会のそれに匹敵するまでとなり、今世紀には人類未曾有の高齢社会を迎えようとしている。その時に高齢者となるのは、現在“青・壮年期”にある人々である。これから一層高度化してゆく高齢社会、深刻化してゆく高齢者問題にどのように準備し対応してゆくかは、日本社会にとって大変重要な問題である。

本講義では、社会的対応策としての老人福祉の制度・政策についてのみでなく、対象者理解の観点から高齢者や老年期の特性をも含み、幅広く講じてゆきたい。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 前期
- ・人口高齢化の意味
 - ・高齢者問題の背景
社会変動、家族変動
 - ・高齢者の生活問題
 - ・老化と老年期の身体疾患、身体障害、精神障害
 - ・高齢者の保健福祉ニーズ
ニーズ把握の方法、保健福祉ニーズの種類
- 後期
- ・老人保健福祉法制と関連施策
近年の制度及び政策の動向、老人保健法、老人福祉法、
介護保険法、関連施策
 - ・老人保健福祉の供給システムと財源
供給システムとは、供給システムの仕組み（含む、シルバーサービス）、
財源、マンパワー
 - ・在宅サービスの制度と処遇
在宅サービスの制度的枠組み、在宅サービスの歴史・理念・目標、
在宅サービスの種類、在宅サービスにおける援助事例
 - ・施設サービスの制度と処遇
入所（入院）施設の種類と概要、社会福祉分野の入所施設、
保健・医療分野の入所（入院）施設、施設における処遇、
施設サービスにおける援助事例
 - ・地域及び住環境の整備と福祉機器

履修上の留意点

この授業は講義形式で進めてゆくが、適宜受講生に対して講義内容に関する質問をしたり、意見発表をしてもらうことがある。授業態度に問題がある場合には退室してもらうことがあるので、気を引き締めて履修してもらいたい。

成績評価の方法

原則的には、前期試験と年度末定期試験の平均点をもって評価する。

教科書

教科書は初回講義時に指示する。

参考書等

参考書等については必要に応じてその都度紹介する。

その他

ほぼ毎回プリント資料を配布する。

（社会学）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
児 童 福 祉 論	しづやまさし 澁谷昌史	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

子ども家庭福祉の基礎を形成する思想、歴史、現行制度及び子どもを取り巻く諸問題の実態について幅広く学習する機会を提供し、児童福祉の基礎知識を形成することを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 子ども家庭福祉の理念－不登校への対応事例を通して
2. 子ども家庭福祉の歴史
3. 子ども家庭福祉各論～健全育成
4. 子ども家庭福祉各論～保育
5. 子ども家庭福祉各論～子育て支援
6. 子ども家庭福祉各論～子ども虐待
7. 子ども家庭福祉各論～社会的養護
8. 子ども家庭福祉各論～ひとり親家庭

履修上の留意点

児童福祉法及び児童虐待防止法はインターネットからでも入手できるので、何らかの形で入手しておいて欲しい。

成績評価の方法

期末試験によって評価する。試験会場へのノートや配布資料の持込は不可。なお、出題形式は、論述ではなく、議論する前提としての知識を習得したかを客観的に評価できるように、選択式・短答式を採用する。

教 科 書

植木信一編著『保育ライブラリ シリーズ「保育・福祉を知る」児童福祉』（北大路書房）

参 考 書 等

柏女霊峰『現代児童福祉論』（誠信書房）
 全国保育団体連絡会・保育研究所編『保育白書 2003』（草土文化）
 そのほか随時紹介する。

そ の 他

少人数であれば討論法を用いるが、そうでなければ講義形式で授業を進める。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地域福祉論	とよ だ むね ひろ 裕 田 宗 裕	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

地域福祉論で学習すべきポイントは、大きく分けて以下の3点である。本講義ではこれらについて、われわれが生活している地域そのものの持つ特色を明らかにしたうえで、福祉問題の出現過程について学び、その解決のための手段や考え方を理解する。

- (1) 総論としての地域福祉の枠組み（地域福祉とはどのようなものか。何故必要なのか）
 - ①地域福祉論の概念、②地域福祉の歴史的展開、③コミュニティの捉え方・考え方
 - ④現在の地域福祉施策の特徴
- (2) 各論としての地域福祉の各種制度や援助方法（地域福祉施策の内容と提供方法）
 - ①地域福祉サービスの種類とその提供方法、②サービス提供組織やその仕組み
 - ③福祉ニーズの把握や組織化活動の展開方法
- (3) 現在および将来的な地域福祉に関連した施策の動向と展望
 - ①地域福祉に関連した、経済的・社会的な動向と展望、②計画づくりと福祉制度
 - ③これからの方向性

講座には、様々な年次の学生がいることを考慮し、なるべく具体的な、かつ実践に役立つ内容を盛り込んで、講義を進めたい。併せて、本科目は社会福祉士試験の指定科目ということもあり、試験の内容も考慮して講義を行いたいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

講義スケジュール（番号は授業回数ではない）

	講義テーマ	講義内容
1	地域福祉と生活問題	地域福祉の考え方と現代の生活問題
2	地域福祉とコミュニティ	地域社会の変遷とコミュニティの形成 住民の社会参加の状況とコミュニティ 他
3	地域福祉理念の変遷	地域福祉理念の歴史的変遷
4	地域福祉の概念とその範囲	地域福祉の代表的な考え方とその類型
5	地域福祉のサービス体系	地域福祉サービス体系の考え方とその基本理念 地域福祉活動の体系とその内容 他
11	地域福祉の推進方法	地域援助技術の必要性と社会福祉計画 他
16	福祉教育の推進	福祉教育の考え方とその推進
17	地域福祉の財源	地域福祉の財源と共同募金の理解 等
21	地域福祉の推進組織	社会福祉協議会、行政、各種団体・機関 非営利団体の活動とNPO法 他
24	地域福祉のマンパワー	ボランティア活動とその動き 地域における地域福祉のマンパワー（民生委員を中心に）

成績評価の方法

出席回数、試験期間内の定期試験および授業時間中に課すレポートの提出（随時）の双方の状況により、判定する。

教科書

福祉士養成講座編集委員会編『地域福祉論』（中央法規出版）

（社
会
学）
会

科目名	担当者名	配当学科	単位
児童心理学	よこやま つよし 横山 剛	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

人間の心身の形態や機能の変化の過程、それに伴う行動の体制化の様相、変化を支配する規制や条件などを考えていく。授業では、年令的に全生涯を見通しながら、受胎から学童期を主に扱う。具体的には、各段階の、身体・運動、知覚・認知、言語、記憶、思考、情緒・パーソナリティ、社会性の発達を概説していく。また、精神保健・臨床心理の知見も含めてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

(詳細な講義スケジュールについては、最初の授業に提示する)。

履修上の留意点

授業中、受講者に質問したり、感じたことなどを書いてもらうことを予定しています。履修しようとする方は第一回から必ず出席し、教科書を持参し積極的に参加して下さい。

成績評価の方法

平常点+レポート課題+試験

教科書

山内宏太郎編『人間の発達を考える 上』(北樹出版)

その他

プリント資料・最近の学会誌論文・VTR・スライドも使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
環境心理学	おおの りゅうぞう 大野 隆造	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

人間は環境を操作・改変し、逆に環境は人間の心理・行動あるいは発達に影響を及ぼす。この人間と環境との相互作用を理解することは、住みよい建築・都市を構想する上で重要である。本講義では、人が環境をどのように知覚し、判断し、記憶し、評価しているか、また対人的な社会行動において環境がどのように影響するかなどについて講じる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 環境心理学の沿革
- 2 環境心理学と環境デザイン
- 3 環境知覚の特性
- 4 環境認知とイメージ
- 5 小空間のエコロジー：テリトリー・プライバシー
- 6 環境デザインと防犯性
- 7 子ども、老人、ハンディキャップの知覚と行動
- 8 環境の伝える意味
- 9 環境知覚・認知の文化差
- 10 環境心理を捉える調査・研究方法
- 11 環境を記述する方法・環境シミュレーション
- 12 環境設計のデザインガイドライン

成績評価の方法

講義中に課す演習レポートおよび期末試験により評価

参考書等

日本建築学会編『人間環境学—よりよい環境デザインへ—』(朝倉書店) 1998
中島・大野編『人間行動学講座第3巻「すまう」』(朝倉書店) 1996

科目名	担当者名	配当学科	単位
老年心理学	なか ざと かつ ほん 中 里 克 治	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

本講義のねらいは老年期の心理を理解することにある。心理学は自分の体験から出発することが大切なので、単に客観的事実を学ぶという態度ではなく、まず、自分の親の問題であり、やがては自分の問題となることであること、また、気づいた時から老年期への備えを始める必要があることを前提として、学んで欲しい。

老年期は衰退の時期とのみ考えられてきたが、成長の時期でもある。また、正常な加齢（老化）と病的な加齢（病気）を区別することも大切である。一生涯にわたる発達の完成期である老年期の発達を生涯発達の枠組みの中で学んで行く。

教科書

下仲順子編『老年心理学』（培風館）1997 1,995円

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会政策	みつ おか ぼく み 光 岡 博 美	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

社会政策とは、資本主義社会で発生する社会問題や労働問題を体制内において解決する思想や政府の政策を意味している。この社会政策という学問は19世紀の半ばに、その当時のヨーロッパでは後進国であったドイツで発生したが、やがて近代化をめざす日本に紹介された。この意味で、戦前から社会政策学は日本の経済学のなかでも重要な位置を占めてきたが、それは戦前日本の経済学がドイツ経済学から大きな影響を受けてきたからであった。

戦後の時代になると、社会問題や労働問題の処理は、政府の政策によってだけでなく、国民の権利を前提にして、その解決が意図されるようになってきた。殊に、労働問題は政府の介入を避け、労使の自主的な団体交渉によって事態に対処していくという方向に向かった。労働基準法、労働組合法、労働関係調整法といった労働法体系は、このような体制を作り出すために制定された法律だったのである。

このような現実世界の変化は、社会・労働問題へのアプローチの方法として、労使関係論の学問は発達を促すこととなった。戦後の日本においても欧米社会で開拓された労使関係論を吸収し、労使関係をその実態に即して理解しようという研究が大きな影響を及ぼしている。

なお、全体の講義を通じて、その時々社会政策や労働運動・社会運動によってどのような問題が解決され、どのような問題が未解決のまま残されその解決が迫られているのかを考えてみることにする。

講義の内容・授業スケジュール

そこで、上に述べたような社会政策論や労使関係論の動向を視野に置いたうえで、本年度は、次のような講義内容で授業を行うこととしたい。

- (1) 社会改良の思想と理論
- (2) 労使関係論の思想と理論
- (3) 日本における社会政策・労働問題（戦前）
- (4) 日本における社会政策・労働問題（戦後）
- (5) 戦後日本における労使関係の展開
- (6) 高齢化社会と社会保障
- (7) 日本の労使関係の現実と未来

上にのべた(1)～(7)のテーマについて、各々約3回程度の講義を予定している。しかし、時には、社会政策や労働問題を勉強するための専門書の解説、最近注目されている外国人労働者問題やフェミニズム論、また私が専門的に研究してきた問題なども解説したいと考えている。

履修上の留意点

特にないが、これまでは毎年かなりの数の履修者がいるために教場も比較的大きな教場であった。そのためか、時として後部座席での私語が目立った。教場での私語は慎むこと。また私の講義では黒板をフルに利用するので、受講者はなるべく黒板の近くで聞いてほしい。

成績評価の方法

本年度は前期末に試験を行うか、あるいはレポートの提出を求める。どちらにするかは適当な時期に講義のなかで指示する。但し、受講者が多い場合は実施できない場合もある。年度末試験については2～3週間前の授業で詳しく解説する。成績評価は前期末の試験かレポートと年度末試験の成績による。なお、再試験は実施しない。

教科書

特にないが、講義の内容と関連して参考書を適時指示する予定である。

（社会学）会

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
労 働 法	ふじもと しげる 藤 本 茂	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

今日、雇用社会は、雇用調整・リストラや能力主義人事管理の導入に見られるように大きく変貌しています。現在は、変動期にあるといえましょう。
 労働法は、労働関係において生じる紛争を法的に解決する方法を検討する法領域です。この変動に無関係ではられません。
 この変動期において、労働者に降りかかるさまざまな事象は、雇用関係法領域において、顕著です。たとえば、労働基準法改正、労働時間、解雇法制や男女雇用平等などです。
 本講義ではこの雇用関係法領域を中心に、基礎的な知識を身につけてもらうことを念頭においています。

講義の内容・授業スケジュール

下記事項について、基礎的知識を学びつつ、現代的課題に言及します。
 詳細は第1回目の授業のときにプリントを配布して述べます。ここでは、一応の項目を掲げるに止めます。

- (1) 労働法の基礎的考え方
- (2) 日本型雇用システムの変化と労働法
- (3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- (4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
- (5) 雇用における男女平等
- (6) 労働条件の決定－労働契約、就業規則、労働協約
- (7) 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間
- (8) 人事異動－配転、出向、転籍
- (9) 雇用の出口－解雇、定年、退職
- (10) 賃金、賞与、退職金
- (11) 労働時間、時間外・休日労働
- (12) 休憩、休日、休暇
- (13) 労働災害など

履修上の留意点

出席を心がけてください。私語はNo、携帯電話はOff、内職はNo。そして無断で席を立つこともNo。いわゆる授業のマナーは守ってください。
 憲法、民法、社会保障法、社会政策は履修してほしい科目です。

成績評価の方法

成績は、学年末試験がメインで、レポートなどとともに、総合的に評価します。
 追・再試験は実施します。

教科書

道しるべとして、浜村彰ほか著『ベーシック労働法』（有斐閣）か浅倉むつ子はか著『労働法』（有斐閣）のうち1冊を購入して自宅学習に使ってください。受講者は必ず、1冊は用意してください。

参考書等

概説書・参考書をいくつか、第1回目の授業において紹介します。
 六法は最新のもの（法律改正があるので特に注意）。そして、労基法施行規則の載っているものを用意してください。

その他

各々の事項について法的にはどのように考えていくのか、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を揚げながら授業を進めます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
民 法	おおみや たかし 大 宮 隆	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

家族を研究対象とするとき、哲学・心理学・社会学・歴史・経済・医学など、さまざまな角度からアプローチすることが可能である。これを法律の視点からみると、民法という法律の中に、講学上家族法とよばれる法分野があり、民法第4編・第5編がこれに該当する。家族法は、我々の生活の中でも、結婚・離婚・親子・相続といった日常的で、親しみやすい家庭生活に関する法律である。各種試験（たとえば家庭裁判所調査官）に対応できる講義をしたいと思っている。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 親族
親族の概念、範囲、効果
2. 婚姻
成立、効果、解消、婚約及び内縁
3. 親子
親子の種類、実子、養子
4. 親権
成立、効力、消滅
5. 後見及び保佐
機関、事務、終了
6. 相続
相続制度の基礎、開始、相続人、効力、承認放棄、遺留分、相続人の不存在
7. 遺言
方式、効力、執行

履修上の留意点

六法を常に持参すること。

成績評価の方法

年2回程度の小テストと年度末の定期試験による。

教 科 書

『新民法概説（3）親族・相続〔改訂版〕』（有斐閣双書）1,800円

参 考 書 等

適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済原論	あさの かつみ 浅野 克巳	社会1・2・3・4選	4

講義のねらい

現実の経済の動きを念頭におきながら、現代経済学の基礎理論を以下の順序で解説する。なお、公務員試験（その他の国家試験等）の受験対策にもなるように必要に応じ問題練習を行うので、下記の問題集も用意してください。

講義の内容・授業スケジュール

- I マクロ経済学
 1. 経済循環と国民所得の諸概念
 2. 所得はどのようにして決まるのか
 3. 45度線モデルとI-Sバランス
 4. IS-LM分析と財政金融政策
 5. 経済の変動と成長
 6. 賃金・物価・インフレーション
 7. 国際マクロ経済学
- II ミクロ経済学
 1. 市場と価格メカニズム
 2. 消費者行動の理論
 3. 企業行動の理論
 4. 不完全市場とは何か
 5. 市場の失敗
 6. 不完全情報の経済学
 7. リスクと不確実性
 8. 市場と企業組織の関係
- III 公共政策

履修上の留意点

経済学を勉強するうえで不可欠なことは、現実の経済問題にできるかぎり関心をもつことだ。これらはさまざまなメディアをとおしあふれるほど提供されている。特に「日本経済新聞」には毎日必ず目をとおしてもらいたい。授業でも関連する記事やデータは参考にするので、できるだけ持参してもらいたい。また必要な記事・データはスクラップ・ブックなどに整理しておく、授業だけでなく将来の就職試験などにも大いに役立つだろう。

また、経済学を理解するために数学の知識が必要だといわれるが、入門的なコースで用いる数学は高校の基礎解析あるいは代数程度で十分。必要があれば授業の中でも説明するが、要は「習うより慣れろ！」のつもりで反復練習するにかぎる。

ついでに、初心者でも使いやすいコンピュータのソフトが「駒澤大学情報センター」に常備されている。それらを利用しシミュレーションしてみることも、おもしろく経済学を学ぶ方法だろう。ともあれ、授業には必ず出席しノートをしっかり取り、予習復習を実行すれば「100点取るのも夢じゃない！」

なお授業中は、私語厳禁、勝手に席を立たないこと、ケータイなどもってのほか、以上厳守。守れない者は、直ちに退席してもらう！

成績評価の方法

定期試験とレポートによる。

教科書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス・改訂版』（成蹊堂）

参考書等

青山『経済原論の頻出問題』（実務教育出版）
八木『基礎からステップ経済学』（実務教育出版）

その他

経済学部浅野ゼミ HP の『過去問コーナー』には、授業に必要な資料・参考文献、あるいは練習問題と解答などを掲載しておくので、各自でダウンロードして参考にしてもらいたい。また、質問その他どんなことでも書き込みOK！ 大いに利用してください。

Ⅱ 専門教育科目

6 社会学科 社会福祉学専攻

社(社会福祉学)
会

II. 専門教育科目

(6) 社会学科 (社会福祉学専攻)

社会福祉原論	〈伊藤秀一〉	585
法学 (福祉)	〈小林弘人〉	586
情報処理論	〈軽部幸浩〉	587
社会福祉援助技術総論	〈桐原宏行〉	588
社会福祉基礎演習	〈小畑和〉	588
社会福祉基礎演習	〈小林弘人〉	589
社会福祉基礎演習	〈佐藤光正〉	589
社会福祉基礎演習	〈東條光雅〉	590
社会福祉専門演習Ⅰ	〈伊藤秀一〉	590
社会福祉専門演習Ⅰ	〈小畑和〉	590
社会福祉専門演習Ⅰ	〈桐原宏行〉	591
社会福祉専門演習Ⅰ	〈小林弘人〉	591
社会福祉専門演習Ⅰ	〈佐藤光正〉	591
社会福祉専門演習Ⅰ	〈東條光雅〉	592
社会福祉専門演習Ⅰ	〈長尾讓治〉	592
社会福祉専門演習Ⅱ	〈伊藤秀一〉	593
社会福祉専門演習Ⅱ	〈小畑和〉	593
社会福祉専門演習Ⅱ	〈佐藤光正〉	593
社会福祉専門演習Ⅱ	〈東條光雅〉	594
社会福祉専門演習Ⅱ	〈桐原宏行〉	594
社会福祉専門演習Ⅱ	〈小林弘人〉	594
社会福祉専門演習Ⅱ	〈長尾讓治〉	595
ソーシャルワーク・リサーチ論	〈石川久展〉	595
家庭福祉論	〈武山梅乗〉	596
児童福祉論	〈澁谷昌史〉	596
障害者福祉論	〈桐原宏行〉	597
老人福祉論	〈東條光雅〉	598
女性福祉論	〈林千代〉	599
医療福祉論	〈坂野憲司〉	599
公的扶助論	〈伊藤秀一〉	600
保健福祉論	〈休講〉	
地域福祉論	〈豊田宗裕〉	601
外書講読	〈東條光雅〉	602
社会保障論	〈船水浩行〉	602
社会福祉援助技術各論ⅠA	〈北島英治〉	603
社会福祉援助技術各論ⅠB	〈北島英治〉	603
社会福祉援助技術各論ⅡA	〈川廷宗之〉	604
社会福祉援助技術各論ⅡB	〈川廷宗之〉	605
社会学 (福祉)	〈武山梅乗〉	606
心理学 (福祉)	〈高橋良博〉	606
医学一般	〈小林 臻〉	607
介護概論	〈鈴木知佐子〉	607
介護技術	〈鈴木知佐子〉	608
精神医学	〈黄ミンシュク〉	608

精神保健学	〈坂村 雄〉	609
精神保健福祉論 I	〈上野 容子〉	609
精神保健福祉論 II	〈上野 容子〉	610
精神保健福祉援助技術各論	〈佐藤 光正〉	610
社会福祉発達史	〈林 千代〉	611
国際社会福祉論	〈休 講〉	
社会福祉計画論	〈川廷 宗之〉	612
リハビリテーション論	〈向後 礼子〉	613
家族療法	〈治田 哲之〉	613
社会福祉学特講 I	〔児童〕 〈山本 哲也〉	614
社会福祉学特講 II	〔老人〕 〈阿部 正昭〉	614
社会福祉学特講 III	〔障害児・者〕 〈向後 礼子〉	615
社会福祉学特講 IV	〔相談・援護〕 〈大須賀 力〉	616
社会福祉学特講 V	〔福祉士〕 〈長尾 讓治〉	617
社会福祉学特講 VI	〔家族〕 〈小畑 和〉	618
家族社会学	〈松信 ひろみ〉	619
法社会学	〈小林 弘人〉	620
社会病理学	〈山本 功〉	621
心理検査法	〈稲富 正治〉	622
環境心理学	〈大野 隆造〉	622
社会政策	〈光岡 博美〉	623
行政法	〈鶏徳 啓登〉	624
労働法	〈藤本 茂〉	625
民法	〈大宮 隆〉	626
経済原論	〈浅野 克巳〉	627
社会福祉援助技術現場実習 I	〈佐藤 光正〉	628
社会福祉調査実習	〈東條 光雅〉	628
社会福祉援助技術現場実習 II	〈伊藤秀一・小畑 和・桐原宏行・長尾讓治〉	629
社会福祉援助技術演習 I	〈北島 英治〉	629
社会福祉援助技術演習 I	〈讃岐 真佐子〉	630
社会福祉援助技術演習 I	〈長尾 讓治〉	631
社会福祉援助技術演習 I	〈村田 一昭〉	632
社会福祉援助技術演習 II	〈北島 英治〉	632
社会福祉援助技術演習 II	〈讃岐 真佐子〉	633
社会福祉援助技術演習 II	〈長尾 讓治〉	633
社会福祉援助技術演習 II	〈村田 一昭〉	634
精神科リハビリテーション学	〈城田 晴夫〉	634
精神保健福祉援助演習	〈佐藤 光正〉	635
精神保健福祉援助実習	〈佐藤 光正〉	635

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 福 祉 原 論	伊 藤 秀 一 <small>いとう しゅういち</small>	福祉1必	4

講義のねらい

社会福祉は、かつて、慈善事業、社会事業と呼ばれていたものが、今日では、社会を構成する「社会制度」のひとつになったものである。そして、その制度の内容は、今日的貧困をかかえながら、人間性を回復するために他からの援助を必要とする人に対し、対人関係を媒介として、有形無形のサービスを提供することである。

本講では、社会福祉の理念、概念、歴史、制度等広く概観することを目的とする。また、この講義は、1年次の必修科目であるため、社会福祉の基礎知識を整理するとともに、制度的改革の続く社会福祉の今日的な動向と課題についても把握する。

講義の内容・授業スケジュール

(前期)

- ①社会福祉の理念
- ②社会福祉の概念
- ③社会福祉の歴史（イギリス・日本）

(後期)

- ④社会福祉の制度
- ⑤社会福祉の分野
- ⑥社会福祉の方法

履修上の留意点

講義の内容は極めて広範囲にわたるので、指定されたテキスト以外の参考文献等を活用しながら各自学習を深めてほしい。

成績評価の方法

評価は、年度末の定期試験と出席状況等を勘案して行う。

教科書

仲村優一著『社会福祉概論』（誠信書房）

参考書等

随時紹介する。

その他

ビデオ教材を活用したり、受講者による意見発表会等も行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法 学 (福祉)	こ ばやし ひろ ひと 小 林 弘 人	福祉1必	4

講義のねらい

社会福祉法制として理解されている各種の法令の意義・内容を理解することを目標とする。具体的には、社会福祉の組織、活動、財政、争訟に関する法令の解説をなるべく平易に説明をする。

講義の内容・
授業スケジュール

〔目標〕

- 1 社会生活における法の作用や役割について理解させる。
- 2 憲法、民法及び行政法の基礎を理解させる。

〔内容〕

- 1 社会生活と法
- 2 憲法
 - 1) 基本原理
 - 2) 基本的人権
 - 3) 地方自治
- 3 民法
 - 1) 総則
 - 2) 物権
 - 3) 契約
 - 4) 不法行為
 - 5) 親族
 - 6) 相続
- 4 行政法
 - 1) 行政行為
 - 2) 行政不服審査
 - 3) 行政訴訟
 - 4) 行政手続き
 - 5) 地方行政組織

成績評価の方法

出席状況と年三回位のレポートの提出および定期試験を勘案し、総合評価する。

教 科 書

小林弘人著『高齢化社会における社会福祉の法』（創成社）

参 考 書 等

授業時間中に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報処理論	かるべ ゆきひろ 軽部 幸浩	福祉1必	4

講義のねらい

現在の情報化社会において人間とコンピュータとは、いっそう密接なかかわりを持ってきている。ここ数年の情報スーパーハイウェイ構想やマルチメディアの浸透により、大学における情報処理教育は、依然過渡期であるといえよう。それにともない本格的なカリキュラムの変更も検討されている。

本講義では大学生に必要な最低限度のコンピュータ・リテラシ、ネットワーク・エシックスの獲得と理解を目的とする。具体的には、コンピュータを活用して実験レポート等が作成できる能力を養う。なお、パーソナルコンピュータを個人で所有することで理解の程度が飛躍的に向上するであろう。余裕があれば履修中または履修後に購入することを推奨する。

講義の内容・授業スケジュール

授業はすべて実習形式でおこなう。1つのテーマに数時間を当て、毎回授業内でおこなう課題、と授業外でおこなう簡単な課題の提出を求める。具体的な内容は次のとおりである。

- ・パソコンの基本操作とOSの基礎
- ・MS-Windowsの習得
- ・タッチタイプの完全習得（Type Quickを利用して）
- ・日本語ワープロの習得（MS-Word）
- ・スプレッド・シートの習得（MS-Excel）
- ・プレゼンテーションの実践（MS-PowerPointを利用したプレゼンテーションの基礎）
- ・応用実習（データの収集、解析、プレゼンテーションの総合実習）
- ・データベースの習得
- ・情報処理の基礎
- ・コンピュータ・ネットワークとインターネットの現状
- ・Internet利用の実践と注意（マナーやモラルについて）
- ・電子メールおよびWWWの利用

履修上の留意点

原則的に遅刻、欠席は認めない。欠席を5回おこなった時点で、期末試験の受験資格を失う。また、遅刻は2回で欠席1回とする。

授業内容の性格上、授業時間内だけでは絶対的に実習時間が不足する。行事等との衝突がなくても年間約20回程度の授業しかおこなうことができない。そのため、本格的にコンピュータを応用するためには絶対的に実習時間が不足する。したがって週あたり2～3回（1回平均約2時間程度）の実習が必要となる（昨年度実績では週平均約10時間程度の実習を、学生はおこなっていたようである）。

成績評価の方法

出席および課題の提出を前提とし、前期・後期末におこなう筆記試験と併せて総合的に評価する。経験則から連続2回欠席すると授業の進捗についていけなくなる。なお、遅刻は認めない。出席確認後の入室は認めるが、出席とはならないので注意する。連続3回以上欠席したものは、その時点で期末試験の受験資格はない。なお、この科目は必修科目であるため単位の認定を受けられない者は翌年度の履修となるが、機器の関係で実習装置を与えられない可能性がある。したがって1年次に履修を完了すること。

教科書

年度始めの授業のときにあらためて説明する。

参考書等

授業中に適宜紹介する。教材は、授業の中で全て配布する。配布された資料は、授業に際して常に用意してくること。その他、年間約5枚程度の3.5インチ高密度フロッピーディスクが必須となる。

その他

年間20数回程度の講義時間しかないため絶対的な時間が不足する。従って、週あたり2回から3回（1回2時間程度）の自習が必要となり、それに対応する課題が出される。自習には、総合情報センター1F自習室を利用する。独自に購入するのであれば、MS-Windows対応のパソコンでMS-WindowsとMS-Officeが導入されているものを購入するとよい。詳細については開講時に解説する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉援助技術総論	桐原宏行	14以降入学生/福祉1必	4
		13以前入学生/福祉2必	

講義のねらい

- ・人権尊重、権利擁護、自立支援等の観点を踏まえた社会福祉サービスと援助活動の関係について理解する。
- ・福祉専門職と専門援助技術の関係について理解する。
- ・社会福祉援助技術に由来する倫理について理解する。
- ・ソーシャルワーカーに必要とされる対人援助関係の形成を図るための基本的コミュニケーション方法等を理解する。
- ・社会福祉援助活動の展開過程を重視しつつ、その目的・価値・原則及び体系とそこにおける共通課題について理解する。
- ・社会福祉援助活動における専門援助技術体系を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

<前期内容>

- ・社会福祉における援助活動の意義（第1回～第2回）
- ・社会福祉、社会福祉サービスと援助活動の関係（第3回～第5回）
- ・専門性と専門援助技術の関係（第6回～第8回）
- ・専門援助技術と倫理（第9回～第10回）
- ・社会福祉援助技術の歴史的展開（第11回～第13回）

<後期内容>

- ・直接援助技術（ケースワーク・グループワークの意義、展開過程、関連技術等の理解）（第1回～第8回）
- ・間接援助技術（コミュニティーワークを中心とした間接援助技術の意義、展開過程、関連技術等の理解）（第9回～第12回）
- ・ケーススタディのまとめ（授業で継続して取り扱ってきた事例に関する検討）（第13回）

履修上の留意点

この授業では、継続的にさまざまな事例に接し、自ら思考、判断していく主体的取り組み行っていく、その成果を成績にも加味していく。

成績評価の方法

出席状況、定期的なレポート（ケーススタディ）の提出、前期終了時点での中間評価試験及び年度末試験等を総合して評価する。

教科書

福祉士養成講座編集委員会編『社会福祉援助技術論Ⅰ』（中央法規）2,500円

参考書等

講義のなかで随時指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉基礎演習	小畑和	福祉2必	4

講義のねらい

社会福祉専攻の学生が専門分野を学ぶ上で必要な基礎的事項について広く学習する。

講義の内容・授業スケジュール

演習の内容は『厚生労働白書』に準拠して行う。

内容は、「多様な高齢者、高齢者と家族、高齢者の経済的実像、高齢者と健康、高齢者と社会・地域、介護制度、社会福祉構造改革、少子化と子育て支援施策等…」である。

履修上の留意点

講義の形態は演習であり、討論学習を主とする。演習が明るく、活発に行われるために初回講義で一定の約束をする。

成績評価の方法

出席状況・日常の課題に対する取り組みの状況及びテスト、提出されたレポートの内容などを勘案して評価する。

教科書

『厚生労働白書』

その他

日本社会福祉実践理論学会編『社会福祉基本用語辞典』（川島書店）2,400円をいつも携帯することが望ましい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉基礎演習	こばやしひろひと 小林弘人	福祉2必	4

講義のねらい

社会福祉学専攻の2年生が、社会福祉学専門の学習をする前段階としての基礎学習が中心となる。

講義の内容・
授業スケジュール

クラスを小人数に分け、それぞれのグループに与えられたテーマについて、それぞれのグループが報告し、討論するという方式で授業を行う。

成績評価の方法

グループごとの報告内容と年度末に各自に課されたレポートおよびテストによって評価する。

教 科 書

授業開始の初日に指示する。

参 考 書 等

授業開始の初日に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉基礎演習	さとうこうせい 佐藤光正	福祉2必	4

講義のねらい

社会福祉専攻の学生が、今後、専門分野を学ぶ上で必要な基礎知識について幅広く学習する。

講義の内容・
授業スケジュール

前期で『厚生労働白書』（平成15年度版）などにより幅広い知識を身につけ、後期で社会福祉に必要な視点の演習を行う。

履修上の留意点

特別な事由がない限り、出席8割以上が必要である。

成績評価の方法

平常点（出席状況、授業態度、課題提出状況）を中心に総合的に評価する。

教 科 書

『厚生労働白書』（平成15年度版）

参 考 書 等

随時紹介する

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉基礎演習	東 條 光 雅 とう じょう みつ まさ	福祉2必	4

講義のねらい

本演習は、専門演習へ入る前の導入的位置付けであり、資料収集の仕方、資料のまとめ方、分析の仕方、発表の仕方等を実際に体験しながら体得してもらう。

講義の内容・授業スケジュール

履修学生の研究関心によりクラスを小グループ（3～4名）に分け、グループ研究課題を設定してもらう。前期終了時点と後期終了時点の2回、グループ毎の研究報告をしてもらう。演習であり、グループ活動でもあるので、出席は非常に重視する。

こうした作業の過程で、研究課題の設定の仕方、文献検索の仕方、研究のまとめ方、各種機器の使い方、発表の仕方等の指導を行う。

履修上の留意点

出席は勿論、演習であるから自主的・主体的・積極的な参加を重視する。

研究報告会では、エクセルやパワーポイントを使うことになるので、情報処理論の授業でしっかりと会得しておくこと。

成績評価の方法

評価は、クラスワークへの出席率、討議への参加度・貢献度、研究報告の内容等により、総合的に行なう。

教科書

特には指定しない。

参考書等

適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉専門演習 I	伊 藤 秀 一 い どう しゅう いち	福祉3必	4

講義の内容・授業スケジュール

狭い意味の社会保障の分野だけでなく、社会福祉を広く解して、その中から、各自のテーマを自己の意志で選択し、それぞれの考究をすすめることとした。当初は、討議のための共通基盤をつくっていくために、適当なテキスト、文献を使用し、これを共同で解説する。その後、3年次において、具体的な卒論テーマを設定し、卒論作成への準備に入っていく。

成績評価の方法

出席状況やクラスワークのあり方等をふまえ、総合的に評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉専門演習 I	小 畑 和 お へた かず	福祉3必	4

講義のねらい

少子・高齢化の構造を持つ社会は本源的に永続的な効果を持たなくなり、経済の停滞により社会は閉塞化し、社会保障制度を維持することが困難になる。

少子化問題は、他面では男女共同参画社会の構築の問題でもあり、女性の生き方の問題でもある。演習では「少子化社会の社会保障政策」を基調にしながら、このような問題も取り上げていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

『厚生労働白書』を参考にしながら、少子高齢社会に対する知識を深め、各自の選んだ研究テーマにそった報告と討論を通して問題意識を深めていく。年度末には小論文の提出を義務付ける。

履修上の留意点

出席状況及び積極的学習態度、レポートなどを総合的に勘案して評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉専門演習Ⅰ	桐原宏行 きり ほん ひろ ゆき	福祉3必	4

講義のねらい

研究を行っていく上で必要とされる基礎的事項（文献研究、調査研究、事例研究、実験研究等の研究方法）の習得を目指す。演習では各自が年間研究スケジュールを設定して、それに沿って成果を数回に分けて発表し、議論を通して問題意識を深めていく。

講義の内容・授業スケジュール

演習では、障害者及び特別なニーズのある子どもの福祉を主なテーマとして展開していく。具体的には「障害児・者の福祉サービス」「障害者雇用」「障害児・者のQOL」「家族支援」「地域支援」「障害理解（福祉教育）」「バリアフリー」などの問題の中から、各自の研究課題を選択、決定し、研究を進めていくこととなる。

成績評価の方法

出席状況、レポートの作成と数回のプレゼンテーションを総合して評価する。

参考書等

『社会福祉研究の課題と方法』（田研出版）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉専門演習Ⅰ	小林弘人 こ ばやし ひろ ひと	福祉3必	4

講義のねらい

この演習は、社会学・社会福祉学専攻者の3年生を対象とする。この演習の年間予定は、前半において両専攻に関連する文献を講読する。後半は各自の興味（どんな事柄でもよい）を卒業論文テーマにリンクさせ、合宿等によって、卒論テーマを確定する作業を予定している。

成績評価の方法

出席を重要視し、平常点で処理する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉専門演習Ⅰ	佐藤光正 さ とう こう せい	福祉3必	4

講義のねらい

この演習では、精神保健及び精神障害者の福祉に関するテーマを中心にゼミを展開する。またそれらのソーシャルワークに必要な「エンパワメント」「アドボカシー」「ストレングス」などの大事な視点をベースに、素朴に“どうしてだろう”という問題意識から演習を行う。演習では各学生が関心を持つテーマについて調べた事柄等のディスカッションをとおして考察を深める。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、各自が自分の関心領域から、テーマを絞り込むための演習。後期は、そのテーマを深めるために必要な演習を行う。必要に応じてゼミ合宿を行う。

履修上の留意点

特別な事由がない限り、出席8割以上が必要である。

成績評価の方法

平常点（出席状況、授業態度、課題提出状況）を中心に総合的に評価する。

参考書等

随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉専門演習 I	とう じょう みつ まさ 東 條 光 雅	福祉3必	4

講義のねらい 本演習では、福祉関連雑誌、新聞記事、インターネット等を活用しながら、高齢者福祉の制度・サービス・処遇に関する基礎的な知識の修得を目指す一方、研究報告会や集団討議等を通して、自己表現能力を磨いてもらう。

講義の内容・授業スケジュール 高齢者福祉ならびに処遇方法論を主テーマとするゼミではあるが、4月にゼミ履修学生の意向を確認した上で、1年間の進め方等を決定する。基本的には、演習であるので、学生の主体的な研究活動が中心となる。したがって、主体的・積極的な姿勢が求められる。夏と春にそれぞれゼミ合宿を行い、各自の研究報告を行ってもらう。
なお、年末までに、各自の研究テーマで400字×30枚のゼミ論文を提出してもらう。

履修上の留意点 出席ならびに積極的なコミットメントを重視する。なお、年2回（9月と3月頃）の合宿研修を実施している。
12月上旬までに、12,000字以上のゼミ論文を作成することを義務づける。

成績評価の方法 評価は、クラスワークやゼミ合宿への出席率、討議への参加度・貢献度、ゼミ論文の内容等により、総合的に行なう。

教科書 特には指定しない。

参考書等 適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉専門演習 I	なが お じょう じ 長 尾 譲 治	福祉3必	4

講義のねらい この演習では、保健や福祉に関する身近で興味深いテーマを題材として、ゼミを展開してゆく。いのちと生活に関連した社会問題に関心を深めるとともに、これらの問題を通じて客観的な思考方法とコミュニケーション能力、またわかりやすい文章の書き方を身につけることを目指している。具体的には、ディベートやディスカッションを通していろいろなテーマを一緒に考えながら、ゼミ論・卒論に向けての準備を行っていくことになる。ゼミの運営は、学生の意見・希望を随時聞きながら、皆の合意の上で進めていく。このような「グループワーク」としての運営の性格上、授業への出席と主体的参加が何より求められる。従って、ゼミ選択時及び成績評価等には出席点が重視されることに留意して頂きたい。

講義の内容・授業スケジュール (今年度の例)
1 保健・福祉に関連するテーマのディベート授業（出生前診断、代理母、脳死、安楽死、死刑、遺伝子組換え、少年法改正、介護保険、身体拘束、措置制度 等）
2 グループ発表・ディスカッション（夫婦別姓、痛告知、喫煙、ドナーカード、温室効果ガスに関する京都議定書、精神障害者と犯罪・措置入院 等）
3 週間福祉ニュース（福祉時事問題に関するグループ発表とディスカッション）
4 ゼミ論に向けての個別指導

履修上の留意点 本ゼミは、グループ作業が中心となる。上述のように、出席と各自の主体的参加がゼミの成否を左右する。楽しく充実したゼミにするために、協力的に行動してほしい。

成績評価の方法 平常点（出席、授業態度、課題提出状況）により評価する。

教科書 特に指定しない。

参考書等 特に指定しないが、授業中に随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉専門演習Ⅱ	伊藤 秀一 <small>いとう しゅういち</small>	福祉4必	4

講義のねらい

3年次の専門演習Ⅰの学習成果を踏まえ、各自のテーマにもとづき、卒業論文作成の指導を行う。

成績評価の方法

出席状況やクラスワークのあり方等をふまえ、総合的に評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉専門演習Ⅱ	小畑 和 <small>おばた かず</small>	福祉4必	4

講義のねらい

専門演習Ⅰの継続授業として、少子・高齢化の構造を持つ社会について学ぶ。演習では「少子化社会の社会保障政策」を基調にしながら、各自の選んだ研究テーマにそった報告と討論を通して問題意識を深め、卒業論文の作成に結びつけていく。

講義の内容・授業スケジュール

少子化問題は、他面では男女共同参画社会の構築の問題でもあり、女性の生き方の問題でもある。演習では「少子化社会の社会保障政策」を基調にしながら、このような問題も取り上げていきたい。

『厚生労働白書』を参考にしながら、少子高齢社会に対する知識を深め、各自の選んだ研究テーマにそった報告と対論を通して問題意識を深めていく。

履修上の留意点

出席率8割以上を演習参加の必要条件とする。

成績評価の方法

出席状況や積極的学習態度を勘案して評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉専門演習Ⅱ	佐藤 光正 <small>さとう こうせい</small>	福祉4必	4

講義のねらい

必修科目である卒業論文の指導が中心となる。社会福祉専門演習Ⅰでの各自の成果をもとに必要となる事項に関して行う。

履修上の留意点

特別な事由がない限り、出席8割以上が必要である。

成績評価の方法

平常点（出席状況、授業態度、課題提出状況）を中心に総合的に評価する。

参考書等

随時詳解する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉専門演習Ⅱ	とうじょうみつまさ 東 條 光 雅	福祉4必	4

講義のねらい

本演習は、3年次の社会福祉専門演習Ⅰの持ち上がりであり、「講義のねらい」に関しては、Ⅰの内容の延長上にある。

講義の内容・
授業スケジュール

必修科目である卒業論文の個別指導が主な内容となるが、学生の要望があれば卒業論文の指導とは別に、テーマを設けてクラスワークを行なうこともある。夏と春にそれぞれゼミ合宿を行ない、各自の研究報告を行なってもらおう。

履修上の留意点

原則的に、出席状況と積極性を重視する。

成績評価の方法

評価は、クラスワークやゼミ合宿への出席率、討議への参加度・貢献度等により、総合的に行なう。

教科書

特には指定しない。

参考書等

必要に応じて紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉専門演習Ⅱ	まりはらひろゆき 桐 原 宏 行	福祉4必	4

講義のねらい

この演習では、前年度の「社会福祉専門演習Ⅰ」での各自の成果を基礎として、卒業論文の作成・提出に向け必要となる事項に関して学習をすすめるものである。

具体的には、それぞれの設定している課題に沿って、文献・資料分析、調査や事例のデータ分析を行い、その結果に関して議論を重ねつつ展開していく。

成績評価の方法

出席状況、研究進行過程での数回のプレゼンテーションを総合して評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉専門演習Ⅱ	こばやしひろひと 小 林 弘 人	福祉4必	4

講義のねらい

4年次生は、各自の論題についての指導をする。

成績評価の方法

出席を重要視し、平常点で処理する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉専門演習Ⅱ	ながおしろうじ 長尾 譲治	福祉4必	4

講義のねらい

この演習は、専門演習Ⅰに引き続いて4年次に開講される。3年次終了時に各自が決定した卒業論文のテーマにそって、個別指導を行うとともに、そのテーマに関するディスカッション等のグループ作業を行う。

4年次のゼミは、3年間の学習の総仕上げである。文章力・自己表現力（発言力）をしっかりと身につけて、社会に通用する自己を形成することをめざしている。自己の成長の場として、授業を大いに活用してほしい。

講義の内容・授業スケジュール

（今年度の例）

- 1 卒業論文指導（個別面談授業）
- 2 各自のテーマに関するグループ・ディスカッションの設定との実施
- 3 就職その他、進路に関する個別相談

履修上の留意点

本ゼミは、3年次のゼミと同じメンバーで開講される。仲間関係を有効に活かし、積極的・協力的に履修してほしい。

成績評価の方法

平常点（出席、授業態度、課題提出状況）により評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

特に指定しないが、必要なものは授業中に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ソーシャルワーク・リサーチ論	いしかわひさのり 石川 久展	14以降入学生/福祉1・2・3・4履 13以前入学生/福祉1必	4

講義のねらい

本講義は、社会福祉に従事する専門家に必要と思われる社会調査あるいは社会福祉調査（ソーシャルワークリサーチ）の基礎的な知識を養うことを目的とする。

具体的な内容としては、まず、社会福祉分野においてなぜリサーチが必要なのか、その目的や意義といった理念からスタートし、社会福祉調査の発展経緯、調査の目的や方法、プロセスなど、基本的な調査の枠組みを中心として学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

具体的な講義内容とスケジュールは以下の通りである。

- ①オリエンテーション（授業概要と評価方法）、調査の目的と意義
- ②社会調査及び社会福祉調査の歴史的経緯
- ③仮説や理論モデル及び概念化・操作化について
- ④尺度と変数、尺度の水準について
- ⑤尺度の妥当性、信頼性について
- ⑥量的調査の意義と内容
- ⑦質的調査の意義と内容
- ⑧ソーシャルワークリサーチの実際

履修上の留意点

授業全体としては、講義形式が中心となるが、学生同士のディスカッションによる演習形式も若干取り入れるので、学生の主体的な参加が望まれる。

成績評価の方法

成績の評価方法については、まず、出席についてであるが、出席は全体の20%を占めることになるので、出席するよう注意されたい。なお、出席日数が出席すべき日数の3分の1に満たない者は、評価の対象としないので注意されたい。その他の評価は、中間レポート（30%）、定期試験（50%）によって行う予定である。これらの詳細については、授業の中で逐次説明していく。

教科書

特に指定無し。

参考書等

- ①社会福祉士養成講座編集委員会編『社会福祉援助技術各論Ⅱ』（中央法規出版）1999年
- ②野村哲也『社会福祉調査論』（新評論）1980年
- ③古谷野巨・長田久雄『実証研究の手引き』（ワールドプランニング）1992年

科目名	担当者名	配当学科	単位
家庭福祉論	たけやま うめのり 武山梅乗	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

家族の諸問題を女性、子ども、高齢者という観点から概観した上で、〈家族福祉〉の限界を指摘し、家族という枠組みを超えて地域、行政、NPO、企業等を巻き込みながら展開される〈家庭福祉〉の可能性について模索することを目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) I. 家庭福祉の視点：(1)家庭福祉の視点、(2)世帯構造と核家族化、(3・4)家族制度とは、(5)核家族の機能と構造、(6)家族周期とライフコース、(7)イエ制度と〈近代家族〉
- II. 女性と家庭福祉：(8・9)フェミニズムからみた家族一母性、専業主婦、中絶、(10)女性労働と育児、(11)母子家庭の諸問題、(12・13)夫婦別姓と婚姻の意義
- (後期) III. 子どもと家庭福祉：(14)児童福祉の体系にみる〈こども〉親、(15)消費としての子育てと〈地域〉における子育て、(16)児童虐待
- IV. 高齢者と家庭福祉：(17)ライフサイクルの変化にみる高齢者の諸問題、(18・19)家族と高齢者介護、(20)高齢者にとっての居住福祉
- V. 国家・地域と家庭福祉：(21)日本における家族政策と福祉国家論、(22)在宅福祉と〈地域〉、(23)家庭—地域福祉という枠組み
- VI. 民間社会福祉と家庭福祉：(24)家庭福祉の市場性、(25・26)非営利セクターと家庭福祉—配食サービスを事例として

成績評価の方法

出席状況、講義期間中に課すレポートの内容、定期試験の結果から総合的に評価します。

教科書

教科書は特に指定しません。随時配布するプリントに従って講義を進めます。

参考書等

参考書は講義期間中に随時指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
児童福祉論	しげやま ますし 澁谷昌史	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

子ども家庭福祉の基礎を形成する思想、歴史、現行制度及び子どもを取り巻く諸問題の実態について幅広く学習する機会を提供し、児童福祉の基礎知識を形成することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

1. 子ども家庭福祉の理念—不登校への対応事例を通して
2. 子ども家庭福祉の歴史
3. 子ども家庭福祉各論～健全育成
4. 子ども家庭福祉各論～保育
5. 子ども家庭福祉各論～子育て支援
6. 子ども家庭福祉各論～子ども虐待
7. 子ども家庭福祉各論～社会的養護
8. 子ども家庭福祉各論～ひとり親家庭

履修上の留意点

児童福祉法及び児童虐待防止法はインターネットからでも入手できるので、何らかの形で入手しておいて欲しい。

成績評価の方法

期末試験によって評価する。試験会場へのノートや配布資料の持込は不可。なお、出題形式は、論述ではなく、議論する前提としての知識を習得したかを客観的に評価できるように、選択式・短答式を採用する。

教科書

植木信一編著『保育ライブラリ シリーズ「保育・福祉を知る」児童福祉』（北大路書房）

参考書等

柏女霊峰『現代児童福祉論』（誠信書房）
全国保育団体連絡会・保育研究所編『保育白書 2003』（草土文化）
そのほか随時紹介する。

その他

少人数であれば討論法を用いるが、そうでなければ講義形式で授業を進める。

科目名	担当者名	配当学科	単位
障害者福祉論	まり桐 原 宏 行	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

障害者福祉は、障害者が一人の人間として生活していく過程のなかで、その固有の問題をとらえ、それを権利の視点に立って把握していくことが必要になる。

この授業では、障害者援助を担うための専門職に必要な基礎的事項の学習が中心となる。具体的には、現代社会における障害の概念、障害者福祉の理念などの基礎となる考え方についての理解の促進、現行の障害者施策や障害者の相談援助活動の原則等についての知識の獲得などを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

<前期内容>

- ・障害特性の理解（視覚障害、聴覚言語障害、運動障害、内部障害、知的障害）（第1回～第7回）
- ・障害者福祉の理念（ノーマライゼーション、リハビリテーション等）（第8回～第9回）
- ・障害の概念（障害の構造的理解）（第10回）
- ・障害者の実態（第11回）
- ・障害者福祉の歴史（第12回～第13回）

<後期内容>

- ・障害者福祉の施策（障害者福祉に関連する法律の理解、障害者福祉における行政の役割、障害者プラン、支援費制度等）（第1回～第5回）
- ・障害者福祉サービス（身体障害者、知的障害者、精神障害者、障害児の各領域別福祉サービスの理解）（第6回～第9回）
- ・障害者福祉の分野別課題（保健・医療、教育、雇用、権利擁護、所得保障、バリアフリー等）（第10回～第13回）

成績評価の方法

前期終了時点での中間評価試験及び年度末試験を総合して評価する。

教科書

- ・『障害者福祉論』（コレール社）2,500円
- ・授業内容により補足資料を配布する。

参考書等

授業のなかで随時指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
老 人 福 祉 論	とう じょう みつ まさ 東 條 光 雅	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

老人虐待の多発、家族介護の深刻化、社会保険料の負担増、老齢年金の減額、介護保険の導入等、老年期や高齢者に関する事柄が、近年富にマスメディアを賑わしている。こうした事柄が騒がれる背景は、世界一の「人生80年」という長寿化の進行と急激な少子化による日本社会の高齢化である。

わが国の高齢化の度合いはいよいよ欧米社会のそれに匹敵するまでとなり、今世紀には人類未曾有の高齢社会を迎えようとしている。その時に高齢者となるのは、現在“青・壮年期”にある人々である。これから一層高度化してゆく高齢社会、深刻化してゆく高齢者問題にどのように準備し対応してゆくかは、日本社会にとって大変重要な問題である。

本講義では、社会的対応策としての老人福祉の制度・政策についてのみでなく、対象者理解の観点から高齢者や老年期の特性をも含み、幅広く講じてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期
- ・人口高齢化の意味
 - ・高齢者問題の背景
社会変動、家族変動
 - ・高齢者の生活問題
 - ・老化と老年期の身体疾患、身体障害、精神障害
 - ・高齢者の保健福祉ニーズ
ニーズ把握の方法、保健福祉ニーズの種類
- 後期
- ・老人保健福祉法制と関連施策
近年の制度及び政策の動向、老人保健法、老人福祉法、介護保険法、関連施策
 - ・老人保健福祉の供給システムと財源
供給システムとは、供給システムの仕組み（含む、シルバーサービス）、財源、マンパワー
 - ・在宅サービスの制度と処遇
在宅サービスの制度的枠組み、在宅サービスの歴史・理念・目標、在宅サービスの種類、在宅サービスにおける援助事例
 - ・施設サービスの制度と処遇
入所（入院）施設の種類と概要、社会福祉分野の入所施設、保健・医療分野の入所（入院）施設、施設における処遇、施設サービスにおける援助事例
 - ・地域及び住環境の整備と福祉機器

履修上の留意点

この授業は講義形式で進めてゆくが、適宜受講生に対して講義内容に関する質問をしたり、意見発表をしてもらうことがある。授業態度に問題がある場合には退室してもらうことがあるので、気を引き締めて履修してもらいたい。

成績評価の方法

原則的には、前期試験と年度末定期試験の平均点をもって評価する。

教科書

教科書は初回講義時に指示する。

参考書等

参考書等については必要に応じてその都度紹介する。

その他

ほぼ毎回プリント資料を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
女性福祉論	はやし ちよ 林 千代	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

歴史を省みるに、女性は社会構造の所産である性差別を根底に社会的、経済的、精神的なしわ寄せを受けてきた。女性問題としての発生がそれである。女性が当面する生活上の困難や矛盾に対して、社会福祉のかかわる部分はきわめて大きい。社会福祉の分野で唯一女性に対応してきた婦人保護事業を基底に、社会構造の変動と共に複雑に多様化し、かつ重複して現れる女性の生活上の諸問題とその対応策について学ぶことを目的とする。それは、男性と共に考えるべき課題であり、社会福祉の分野において男と女の地平を求めることにほかならない。

講義の内容・授業スケジュール

1. 女性福祉に関する先行理論の検証と概念規定
2. 社会福祉事業としての婦人保護事業
3. 売春防止法の成立について
4. 婦人保護事業の現状と女性の生活問題
5. その他の女性生活問題
母子世帯の暮らし、女と老い、福祉労働と女性などなど
6. 男性と女性のあり方を考える

履修上の留意点

熱心に考えようとする学生の参加を希望する。

成績評価の方法

最後にレポート提出を課す。

教科書

特に無い。その都度資料を配布する。

参考書等

林千代・慈愛会編『慈愛寮に生きた女性たち』（東京創文社）
林千代編『母子福祉を拓く』（ドメス出版）

その他

視聴覚機材を用いる予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
医療福祉論	さかの けんじ 坂野 憲 司	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

医療福祉の分野は、個々のサービスについての論議から政策の論議まで広い範囲の論議を含んでいる。本講義では医療ソーシャルワーカーを目指す学生を念頭に置いて、ソーシャルワーク実践の視座から医療福祉の諸問題を捉え直すと同時に、医療ソーシャルワークの実際について講義したいと考えている。学生が、実践的な視点から医療福祉問題に対処し得る創造力を身に付けることが本講義の目標である。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) 医療福祉と医療ソーシャルワークの理解
 (1～2) 医療と福祉の接点 (3～6) 医療福祉の理念
 (7～10) 医療福祉の歴史と現状 (11～13) 医療ソーシャルワークに必要な知識
 (後期) 医療ソーシャルワークの実際
 (14～16) ソーシャルワーク関係 (17～18) 面接の基本
 (19～20) 外来・入院におけるソーシャルワーク
 (21～22) 退院とケアマネジメント (24～) 事例から学ぶ(個別援助から地域援助まで)

履修上の留意点

講義への主体的参加を望みます。

成績評価の方法

定期試験の成績および出席によって評価する。

教科書

山川哲也著『改訂版臨床医療ソーシャルワーク』（精神書房）2,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
公 的 扶 助 論	伊 藤 秀 一 <small>い どう しゅう いち</small>	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

本講の中心的テーマは、わが国の社会保障制度体系における生活保護制度をどのように位置づけ、どのように方向づけるかである。このような問題意識のもとに、慈恵的救済から権利的保障へと歩んできた公的扶助の歴史を始め、現行法の目的、原理、原則、現行制度の組織機構、行政運営等を、総合的に検討する。また、近年、注目されている権利擁護、ソーシャル・インクルージョン等にも言及する。

講義の内容・
授業スケジュール

(前期)

- ①開講にあたって
- ②公的扶助とは何か（社会保障制度体系における位置を中心として）
- ③公的扶助の歴史的発展過程（イギリス・日本）

(後期)

- ④公的扶助の法制度（目的・原理・原則・扶助の種類・動向・最低生活保障水準）
- ⑤福祉事務所の制度運営と相談援助
- ⑥低所得対策の概要
- ⑦イギリスにおける福祉権活動・運動の動向

履修上の留意点

指定されたテキスト以外の参考文献や新聞記事等を活用しながら学習を深め、『学生参加』型の授業を心掛けたいと考えているので、貧困問題に対する関心をもってほしい。

成績評価の方法

評価は、レポート課題及び年度末の定期試験と出席状況等を勘案して行う。

教 科 書

福祉士養成講座編集委員会編『新版 社会福祉士養成講座6 公的扶助論』（中央法規）

参 考 書 等

随時紹介する。

そ の 他

ビデオ教材を活用したり、受講者による意見発表会等も行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地域福祉論	とよ だ むね ひろ 豊田 宗裕	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

地域福祉論で学習すべきポイントは、大きく分けて以下の3点である。本講義ではこれらについて、われわれが生活している地域そのものの持つ特色を明らかにしたうえで、福祉問題の出現過程について学び、その解決のための手段や考え方を理解する。

- (1) 総論としての地域福祉の枠組み（地域福祉とはどのようなものか。何故必要なのか）
 - ①地域福祉論の概念、②地域福祉の歴史的展開、③コミュニティの捉え方・考え方
 - ④現在の地域福祉施策の特徴
- (2) 各論としての地域福祉の各種制度や援助方法（地域福祉施策の内容と提供方法）
 - ①地域福祉サービスの種類とその提供方法、②サービス提供組織やその仕組み
 - ③福祉ニーズの把握や組織化活動の展開方法
- (3) 現在および将来的な地域福祉に関連した施策の動向と展望
 - ①地域福祉に関連した、経済的・社会的な動向と展望、②計画づくりと福祉制度
 - ③これからの方向性

講座には、様々な年次の学生がいることを考慮し、なるべく具体的な、かつ実践に役立つ内容を盛り込んで、講義を進めたい。併せて、本科目は社会福祉士試験の指定科目ということもあり、試験の内容も考慮して講義を行いたいと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

講義スケジュール（番号は授業回数ではない）

	講義テーマ	講義内容
1	地域福祉と生活問題	地域福祉の考え方と現代の生活問題
2	地域福祉とコミュニティ	地域社会の変遷とコミュニティの形成 住民の社会参加の状況とコミュニティ 他
3	地域福祉理念の変遷	地域福祉理念の歴史的変遷
4	地域福祉の概念とその範囲	地域福祉の代表的な考え方とその類型
5	地域福祉のサービス体系	地域福祉サービス体系の考え方とその基本理念 地域福祉活動の体系とその内容 他
11	地域福祉の推進方法	地域援助技術の必要性と社会福祉計画 他
16	福祉教育の推進	福祉教育の考え方とその推進
17	地域福祉の財源	地域福祉の財源と共同募金の理解 等
21	地域福祉の推進組織	社会福祉協議会、行政、各種団体・機関 非営利団体の活動とNPO法 他
24	地域福祉のマンパワー	ボランティア活動とその動き 地域における地域福祉のマンパワー（民生委員を中心に）

成績評価の方法

出席回数、試験期間内の定期試験および授業時間中に課すレポートの提出（随時）の双方の状況により、判定する。

教科書

福祉士養成講座編集委員会編『地域福祉論』（中央法規出版）

科目名	担当者名	配当学科	単位
外書講読	とう じょう みつ まさ 東 條 光 雅	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

英語文献に慣れると共に、訳すのではなく何が書かれているのかを理解できるように努力したい。

講義の内容・授業スケジュール

社会福祉に関する英語の外国文献あるいは学術論文を講読してゆく予定である。訳すということは目的ではなく手段であり、そこに書かれている内容を吟味してゆくことが目的である。進め方としては、授業当初に履修学生に担当箇所の割り当てを行い、以降順次報告してもらうことになる。

履修上の留意点

英語の授業ではないので、基本的な英文読解能力は必要であろう。積極的に授業に臨んでもらいたい。なお、出来れば英和大辞典を所持することが望ましい。

成績評価の方法

毎回の報告内容やそれに対する討議内容などを総合して行う。また、前期と後期の終わりに、英文和訳の小テストを考えている。

教科書

履修学生が決定した時点で、学生の意向も考慮しながら決定する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会保障論	ふな みず ひろ ゆき 船 水 浩 行	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

現代社会における私たちの生活は、多くの場合、働いて収入を得ることによって成り立っている。これにより、食べるもの、着るもの、住むところなどを手に入れる。しかし、働く力を失った人、働く機会に恵まれない人など、所得を得ることができない人々はどうするのであろうか。また、人々の生活そのものを荒廃させかねない、病気がケガになったらどうするのであろうか。

社会保障は、このような所得の欠乏、疾病への対応として、所得と医療の保障を主たる目的に形成されてきた。そして、現代社会においては、各国それぞれの文化、社会・経済の状況等の諸要因により、構造、形態、財源等に相違は見られるものの、人々の生活の維持、向上のために必要不可欠の政策であり、制度となっている。

本講義では、この社会保障が、どのような考え方に基づいて形成されてきたものであるのかを踏まえた上で、①現代社会における社会保障の役割と意義はどのような点にあるか、②「社会保障構造改革」という言葉に代表されるように、転換期を迎えているわが国の社会保障制度の課題はどのようなものであるのか、を中心に考察していく。

講義の内容・授業スケジュール

※以下の諸点を主要な内容とする。

- 1 現代社会と社会保障
- 2 社会保障制度の体系
- 3 年金保険
- 4 医療保険
- 5 介護保険
- 6 労働保健（労災保険、雇用保険）
- 7 民間保険
- 8 社会保障の運営管理
- 9 「社会保障構造改革」と今後の社会保障制度

成績評価の方法

学期末毎の試験、レポート課題、出席状況等を勘案し、総合評価します。

教科書

福祉士養成講座編集委員会編『改訂 社会福祉士養成講座5 社会保障論』（中央法規）

参考書等

総理府社会保障制度審議会事務局編『社会保障統計年報』（法研）
厚生省大臣官房政策課監修『社会保障入門』（中央法規）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉援助技術各論ⅠA(前期)	きた しま えい じ 北 島 英 治	福祉1・2・3・4選	2

講義のねらい

社会福祉援助技術における個別援助に焦点が置かれる。ソーシャルワークの視点から、人を理解するとは、また、人へのかかわり方はどのようなものであるか、理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

ここでは社会福祉の法律・制度の中や、制度の整備されていない民間で働く社会福祉の専門家や、その専門性について学ぶ。この専門性をソーシャルワークと呼び、その専門家をソーシャルワーカーと呼ぶことがある。わが国においては、社会福祉士の国家資格取得受験科目である「社会福祉援助技術」関連科目の一環として、「技術論ⅠA」に関して講義を通して学ぶ。

成績評価の方法

授業参加とレポート提出により評価を行う。

教 科 書

野村豊子・北島英治・田中尚・福島寛子著『ソーシャルワーク・入門』（有斐閣）
北島英治・副田あけみ・高橋重宏・渡部律子編『ソーシャルワーク実践の基本理論』（有斐閣）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉援助技術各論ⅠB(後期)	きた しま えい じ 北 島 英 治	福祉1・2・3・4選	2

講義のねらい

社会福祉援助技術における個別援助とともに集団援助を加えて、社会福祉実践にともなう専門価値、専門役割、専門知識、専門技術の総体を概観する。ソーシャルワークの視点から、個人と集団を理解するとは、また、個人と集団のかかわり方はどのようなものであるか、理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

ここでは社会福祉の法律・制度の中や、制度の整備されていない民間で働く社会福祉の専門家や、その専門性について学ぶ。この専門性をソーシャルワークと呼び、その専門家をソーシャルワーカーと呼ぶことがある。わが国においては、社会福祉士の国家資格取得受験科目である「社会福祉援助技術」関連科目の一環として、「技術論ⅠB」に関して講義を通して学ぶ。

成績評価の方法

授業参加とレポート提出により評価を行う。

教 科 書

野村豊子・北島英治・田中尚・福島寛子著『ソーシャルワーク・入門』（有斐閣）
北島英治・副田あけみ・高橋重宏・渡部律子編『ソーシャルワーク実践の基本理論』（有斐閣）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉援助技術各論ⅡA(前期)	かわ てい もと ゆき 川 廷 宗 之	福祉1・2・3・4選	2

講義のねらい

- ①社会福祉援助技術の中で、小集団援助技術を修得する事が、この科目の学習目的である。
- ②小集団援助技術は、個人を援助する場合に小集団を活用する技術と、小集団そのものの援助技術を含む。
- ③小集団の背景となる理論として、特にグループ・ダイナミクスの理論などを学ぶ。
- ④実際の小集団援助場面での、活動テーマとしての様々な素材やその活用方法を修得する。
- ⑤専門職としての所属機関の概要とともに小集団援助専門職としての役割を学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①前期は、個人を援助する場合の小集団活用の技法(特に、様々な状況での援助技術)を、後期は小集団そのものの援助技法(特に、援助計画立案等の援助技術)を中心に学習を進める。
- ②主な学習内容としては、理論面からは、a 集団援助技術の意義・沿革・定義、b 集団援助技術の構造、c 集団援助技術の実践原則、d 集団援助技術の展開過程、e 集団援助技術の実際とその応用展開などが中心になる。
- ③技術面からは、a 小集団観察技術、b 小集団援助の概要計画作成技術、c メンバー決定技術、d 地域資源の活用技術、e グループワークの全体プログラム作成技術、f 毎回のグループワーク援助プログラム作成技術、g ソシオメトリー作成技術、等が中心となる。

履修上の留意点

- ①この科目を履修する前に、社会福祉援助技術総論、社会福祉援助技術ⅠA およびⅠB の単位を取得しておくことが望ましい。
- ②特に社会福祉援助技術各論ⅠB の単位取得以前に履修する場合や、並行して履修する場合はかなり困難が予想されるので、その対応方法を考えておくことが望ましい。
- ③社会福祉援助技術Ⅱの修得は、理論と同時にその理論を実践に適用する技術の修得を行う。特に、コミュニティの課題を対象とするこの科目においては、実際のコミュニティをベースにした授業を行うので、欠席すると、何をやっているのか判らなく成りがちである。当然だが、欠席は極力避けること。
- ④この授業を履修し学習を進めるために必要な事項について、第1回目の授業で説明するので第1回目の授業は必ず出席すること。万一、第1回目の授業を欠席した場合は、その内容に関して友人等に聞くなど、万全の代替措置を講じておくこと。

成績評価の方法

- ①成績は、授業中(および宿題)に作成する課題40%、期末の学習効果測定点40%、授業への参加度20%のウェイトで評価する。
- ②授業中の課題は、修得した知識や技術を実際の場面で活用できるかどうか、援助内容についてどれだけ豊かにイメージを広げられるか、が評価の視点となる。
- ③学習効果測定は、この科目で取り上げる専門分野の基礎知識や理論が修得されているか、が評価の視点となる。
- ④授業への参加度は、単なる出席点ではなく、授業中にどれだけ主体的にかかわっているか、また、しばしば行われる意見交換への関わり方、が評価の視点となる。
- ⑤全体の評価が、60点に達しない場合は勿論、三つの視点からの評価の内、一つでも60%以下の得点の場合、再履修をお願いすることを原則とする。

教 科 書

福祉士養成講座編集委員会編『社会福祉援助技術論Ⅱ』(中央法規出版)

参 考 書 等

大塚達雄他編著『グループ・ワーク論』(ミネルヴァ書房)
その他、授業中に適宜指示する。

そ の 他

授業中の演習のため、1~2回の授業は(実習で指定される程度に)服装等を指定する事があるので、あらかじめ了解されたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉援助技術各論ⅡB(後期)	かわてい もとゆき 川 廷 宗 之	福祉1・2・3・4選	2

講義のねらい

- ①社会福祉援助技術の中で、間接援助技術に分類されている地域援助技術（コミュニティワーク）および社会福祉運営管理と社会福祉計画技術について学習する事が、目的である。
- ②コミュニティの背景となる理論として、特に地域社会学の業績にその理論を学ぶ。
- ③実際のコミュニティ援助場面での、援助技術や、援助計画の策定について学ぶ。
- ④専門職としての所属機関の概要とともにコミュニティ援助専門職としての役割を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

- ①最初に、個人を援助する場合の資源としてのコミュニティ活用技法を学び、次に、社会福祉運営管理と社会福祉計画の技術を学び、最後にそれを統合して、実践的なコミュニティ援助計画をまとめる。
- ②主な学習内容としては、理論面からは、aコミュニティ援助技術の意義・沿革・定義、bコミュニティ援助技術の構造、cコミュニティ援助技術の実践原則、dコミュニティ援助技術の展開過程、eコミュニティ援助技術の実際とその応用展開などが中心となる。
- ③技術面からは、aコミュニティ課題の発見方法としてのインタビュー技術、b数値化されないデータの集約技術、c統計からの問題発見（予測）技術、dコミュニティ診断技術、e問題の構造分析と解決効果予測技術、f資源確認発見技術、g計画技術、hコミュニティ集団運営のための技術、i広報技術、等を、課題の作成を通して細かく学ぶ。

履修上の留意点

- ①この科目を履修する前に、社会福祉援助技術総論、社会福祉援助技術各論ⅠAおよびⅠBの単位を取得しておくことが望ましい。
- ②特に社会福祉援助技術各論ⅠBの単位取得以前に履修する場合や、並行して履修する場合はかなり困難が予想されるので、その対応方法を考えておくことが望ましい。
- ③社会福祉援助技術Ⅱの修得は、理論と同時にその理論を実践に適用する技術の修得を行う。特に、コミュニティの課題を対象とするこの科目においては、実際のコミュニティをベースにした授業を行うので、欠席すると、何をやっているのか判らなくなりがちである。当然だが、欠席は極力避けること。
- ④この授業を履修し学習を進めるために必要な事項について、第1回目の授業で説明するので第1回目の授業は必ず出席すること。万一、第1回目の授業を欠席した場合は、その内容に関して友人等に聞くなど、万全の代替措置を講じておくこと。

成績評価の方法

- ①成績は、授業中（および宿題）に作成する課題40%、期末の学習効果測定点40%、授業への参加度20%のウェイトで評価する。
- ②授業中の課題は、修得した知識や技術を実際の場面で活用できるかどうか、援助内容についてどれだけ豊かにイメージを広げられるか、が評価の視点となる。
- ③学習効果測定は、この科目で取り上げる専門分野の基礎知識や理論が修得されているか、が評価の視点となる。
- ④授業への参加度は、単なる出席点ではなく、授業中にどれだけ主体的にかかわっているか、また、しばしば行われる意見交換への関わり方、が評価の視点となる。
- ⑤全体の評価が、60点に達しない場合は勿論、三つの視点からの評価の内、一つでも60%以下の得点の場合、再履修をお願いすることを原則とする。

教科書

佐藤豊道他編著『社会福祉援助技術論（下）』（川島書店）

参考書等

高田真治・著『地域福祉計画論』（誠信書房）
その他、授業中に適宜指示する。

その他

特になし。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会学(福祉)	たけやま うめのり 武 山 梅 乗	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

主として社会福祉士及び社会福祉主事を目指す学生を対象に社会学の基礎的な知識を提示し、現代社会における今日的な諸問題について理解することを通じて、より広い視点から(社会福祉)を展望する視点を養ってもらうことを目的としています。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) I. 社会学の基礎概念：(1)行為論 (2)役割論、(3)自我とアイデンティティ、(4・5)組織と官僚制、(6)ネットワークとボランティア、(7)社会階層と社会移動
 II. 現代社会論：(8・9)逸脱とラベリング、(10・11)ジェンダーとフェミニズム、(12・13)医療化と差別論
 (後期) III. 現代家族論：(14)家族制度と核家族化、(15)ライフサイクルとライフコース、(16)未婚化と結婚の意義
 IV. 地域社会論：(17)アーバンイズムとコミュニティ、(18)国土計画と過疎・過密、(19)まちづくりとQOL
 V. 国家とエスニシティ：(20)国民国家としての(日本)、(21)エスニシティとしての(沖縄)
 VI. 社会変動論：(22)近代化と資本主義、(23)大衆社会論と社会的性格、(24)産業社会論、(25)消費社会と企業文化・福祉文化、(26)公害と環境問題

成績評価の方法

出席状況、講義期間中に課すレポートの内容、定期試験の結果から総合的に評価します。

教科書

教科書は特に指定しません。随時配布するプリントに従って講義を進めます。

参考書等

参考書は講義期間中に随時指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学(福祉)	たか はし よし ひろ 高 橋 良 博	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

本講義のねらいとして以下の項目を目標としている。

- 1 心理学の基本概念をふまえ、人間理解のための基本的知識の理解と習得。
- 2 乳幼児期・児童期・青年期・壮年期・高齢期など人間の発達段階のそれぞれの時期に特有な身体的、心理的特徴についての理解。
- 3 援助を要する人々とかかわって行くための心理的援助技術の概要の理解と習得をはかり、援助者としての資質を高めるための自己理解をもとめる。

講義の内容・授業スケジュール

講義の予定としては、以下の項目についてふれて行く予定である。

- 1 人間の心理学的理解 ①心理学の定義と、領域および研究法 ②欲求・動機づけ ③感情・情動 ④感覚・知覚・認知 ⑤学習・記憶・思考 ⑥知能・創造性 ⑦人格 ⑧適応と不適応
- 2 人間の成長・発達の心理 ①発達段階と生涯発達 ②発達課題と高齢期 ③発達の障害と発達援助
- 3 人間理解のための心理学理論と技法 ①基礎理論：心理学的援助技術の基本的人間観 ②心理測定と診断
- 4 心理的援助技法の概要 ①心理療法(総論)心理療法の歴史と種類 ②心理療法(各論)精神分析・カウンセリング・家族療法・行動療法・認知療法・森田療法・自律訓練法など

成績評価の方法

筆記試験・レポートなどの提出物、その他、平常点(講義への出席状況や、参加度)などを総合して評価を行う。

教科書

福祉士養成講座編集委員会編『社会福祉士養成講座 心理学』(中央法規)2,500円(税別)

科目名	担当者名	配当学科	単位
医学一般	小林 稔 <small>こばやし いたる</small>	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

健康者、病弱者および高齢者に対する医学・保健学の基本的な知識を体得し、ひいては社会福祉士を目指す者にも役立つ内容とする。

講義の内容・授業スケジュール

人体の構造と機能、現代社会と疾病、老化と身体的変化、精神保健、リハビリテーション、公衆衛生、保健医療対策、医療行政、医事法制等について、講義の予定。

履修上の留意点

出席はきわめて重視する。緊急の場合を除き、欠席については連絡をすること。

成績評価の方法

筆記試験、課題提出、授業姿勢、出席状況、自己表現の良否、などから総合判断して評価する。

教科書

『医学一般』（中央法規）2,500円

参考書等

講義開始時に連絡する。

その他

一方通行の講義でなく、学生諸君と時間を共有する姿勢で、討論や質疑を中心にすすめてゆく予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
介護概論（前期）	鈴木 知佐子 <small>すずき ちさこ</small>	福祉1・2・3・4選	2

講義のねらい

本講義のねらいは将来社会福祉従事者を目指す学生の皆さんにとって必要な介護の基礎的知識と職業的倫理、他の専門職者との連携と役割について学ぶことにあります。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 介護制度の流れ、介護の原則
- (2) 介護専門職者の職業倫理
- (3) 自立支援と介護
- (4.5.6.) 介護に必要な観察技術と介護の実際（食事、排泄、身体の清潔、衣服の着脱、移動）
- (7) 他職種との連携
- (8.9) 在宅サービスにおける介護とチームケア
- (10) 施設における介護の実際（高齢者、障害者）
- (11) 介護従事者の健康管理
- (12.13) 介護場面におけるリスクマネジメント

履修上の留意点

講義内容はいずれも連動しています。将来社会福祉士国家試験を受験する人にとってはテキスト以外に国家試験対策用参考書で学習することを勧めます。

成績評価の方法

講義出席状況および定期試験にて評価します。

教科書

『介護概論』社会福祉士養成講座（中央法規）2,200円

参考書等

『介護福祉学』介護福祉学研究会（中央法規）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
介 護 技 術 (後期)	鈴 木 知 佐 子	福祉1・2・3・4選	2

講義のねらい

高齢や障害によって阻害されている生活上のニーズや課題に対して個別性に配慮し、利用者の自立支援の視点にたった的確な援助を展開するための具体的方法について学ぶ

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 介護技術の原則、介護に必要な要素
- (2) 援助に必要な技術、コミュニケーション技術、観察技術、アセスメント技術
- (3) 生活環境との整備—住環境整備、社会的環境と生活の質
- (4) 自立移動を阻害する要因と障害
- (5) 安楽姿勢と移動の援助技術
- (6) 日常生活における介護技法（食事、排泄）食事体験、排泄体験
- (7) 日常生活における介護技法（清潔、衣生活の援助）
- (8) 在宅施設における安全確保とリスクマネジメント
- (9) 福祉機器と活用法
- (10) 終末期の介護
- (11) 緊急時の対応。他職種との連携
- (12) 医療行為

履修上の留意点

講義演習で述べる内容はすべての課題に関連するため出席を重視する

成績評価の方法

出席状況、レポート提出状況、授業姿勢、筆記試験を総合判断して評価する

教科書

高崎絹子編集『介護技術』（メジカルフレンド社）

参考書等

講義の中で別途紹介する

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
精 神 医 学	黄 ミンシュク	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

精神疾患を生物学的精神医学の観点から理解することが講義のねらいである。将来、心理系・福祉系の職務に携わる者に必要と思われる臨床上の知識を学習・理解することを主な目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は機能性（内因性）精神病、神経症性障害の理解と精神科診断学の方法論（総論）を主な授業内容とする。後期は中毒性精神病、痴呆などの脳器質的疾患、人格障害、児童・思春期精神障害などを主な授業内容とする。

成績評価の方法

筆記試験（本試験）により成績評価をする。

教科書

特に定めない。

参考書等

特に定めない。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
精神保健学	さかむら ゆう 坂村 雄	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

精神保健とは精神の健康に関する公衆衛生であり、狭義には精神疾患の予防と治療、リハビリテーション、広義には精神的健康の保持と増進を目的とする諸活動である。精神医学、心理学等、精神保健に関するバックグラウンドは広いので、精神障害、異常心理などの解説をしながら、理解を深められる様に講義するが、精神保健福祉士の実践にも役立つ様、臨床的内容とし、単なる学問的知識でなく、実際に現場で働いていくために必要な知識を与えたいと思っている。

成績評価の方法

出席、レポート、試験などを総合的に評価したい。

教科書

『精神保健入門』（八千代出版）

参考書等

授業の中で随時伝えます。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
精神保健福祉論Ⅰ	うえの ようこ 上野 容子	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

障害者福祉の理念と施策の理解を踏まえた上で、精神障害者の障害特性（疾病と障害の共存）、処遇の歴史を学ぶ。特に偏見や差別の対象とされている現状認識を深める。精神障害者の社会生活、社会参加を援助、支援する精神保健福祉士の役割と実践について学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①障害概念 精神障害とは？
- ②障害者福祉における精神障害者福祉
- ③精神障害者福祉の歴史と現状～関連法との関係～
- ④精神保健福祉士とは？
 - ・活動の歴史的経過とその意義
 - ・精神保健福祉法の意義と内容
- ⑤精神障害者の地域生活支援と社会参加の促進をめざす活動

履修上の留意点

問題意義と関心をもって参加してほしい。

成績評価の方法

- ①レポート提出 ②ボランティア体験 ③出席状況

教科書

- ①『精神保健福祉論』（へるす出版）
- ②『精神科臨床サービス』（星和書店）

参考書等

授業の中で随時伝えます。

そ の 他

ボランティア体験発表予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
精神保健福祉論Ⅱ(前期)	うえの ようこ 上野 容子	福祉1・2・3・4選	2

講義のねらい

地域において、精神保健福祉活動がどのようにおこなわれているか？又、精神障害者の地域生活の実態を学び、地域生活支援システムの重要性を認識する。

講義の内容・授業スケジュール

- ①新聞、マスコミで報道される精神障害者の犯罪の背景
- ②精神障害者の生活実態～当事者の声～
- ③精神障害をもつ子供の家族の思い～事例～
- ④地域における精神保健福祉活動
保健所、社会復帰施設、ボランティア活動、ホームヘルプなど～実践家の話～

履修上の留意点

問題意識と関心をもち、(I)を合わせて履修すること。

成績評価の方法

- ①レポート提出 ②出席状況 ③グループ発表

教科書

授業開始時に紹介予定。

参考書等

授業の中で随時伝えます。

その他

セルフヘルプグループを構成し、グループワーク手法を活用。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
精神保健福祉援助技術各論	さとう こうせい 佐藤 光正	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

精神障害領域のソーシャルワークは精神医療から地域生活、就労支援まで広範囲にわたる。ここでは援助の対象となる精神障害者の置かれた状況に”ズレと痛み”を感じることを出発点とし、精神障害者がその人らしい社会参加や自立をめざすために必要となる様々な援助技術の基本を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

- (1)ソーシャルワークの価値観
- (2)精神障害の置かれた状況
- (3)精神障害者へのケースワーク
- (4)精神障害者へのグループワーク
- (5)精神障害者へのコミュニティワーク
- (6)精神障害者へのケアマネジメント
- (7)関連職種との連携
- (8)スーパーヴィジョンと自己覚知

履修上の留意点

授業への主体的な参加を期待する。

成績評価の方法

平常点(出席状況、授業態度、課題提出状況)および学期末試験等により総合的に評価する。

教科書

精神保健福祉養成セミナー第6巻『精神保健福祉援助技術各論』精神保健福祉士養成セミナー編集委員会(へるす出版)3,200円

参考書等

随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 福 祉 発 達 史	はやし 林 ちよ 代	14以降入学生/福祉1・2・3・4選 13以前入学生/福祉2・3・4選必	4

講義のねらい

いつの時代にも人々の生活不安は、自然の変化と社会の変動によって生じる。社会の変動期には、常に多くの生活問題が発生し、大多数の人々は、生活困難におちいった。それに対応する社会福祉は一定の歴史的産物であること、そしてその理解に立って本質を把握し、現状と今後の方向を考える力をつけたい。

講義の内容・
授業スケジュール

主に、英国と日本を中心に、資本主義社会の成立とともに生成した社会事業から社会福祉へ至る歩みを講述する。さらに、こんにちの福祉社会をも検証したい。単に事実の羅列ではなく、対象の存在と問題解決の方法、方法の意図や施策の背景をなす思想、それらの関連などを立体的、構造的にとらえるというのが本講義の内容である。なお今も存在しつづける慈善（事業）をもとり上げたい。

特に日本の場合、社会福祉（事業）の前段階は、厚生事業といった。きわめて日本の特質を示すものとして深い考察が必要であると考えている。

履修上の留意点

熱心にとり組もうという意欲を持ってもらいたい。

成績評価の方法

最後にレポート提出を課す。

教 科 書

特に無い。

参 考 書 等

その都度紹介する予定である。

そ の 他

特に無し。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉計画論	かわ 川 廷 宗 之 <small>てい もと ゆき</small>	14以降入学生/福祉1・2・3・4選 13以前入学生/福祉2・3・4選必	4

講義のねらい

- ①この科目では『社会福祉』と『社会計画』の二つの問題を扱う。
- ②社会福祉計画論は、本来は社会福祉援助技術の内容の一つを構成する専門的領域であるが、この授業では、専門に直接ふれるのではなく、その前提としての社会福祉の基本的な問題を含めて解説する。
- ③社会福祉計画を必要とする現代日本の社会福祉問題について、その内容の理解を図る。
- ④問題対応的なサービス提供から予防福祉的な側面が強調され、その結果、計画化が促進される現代の状況について理解を図る。
- ⑤『社会福祉計画』は、市民個々人の『福祉 (Well Being)』の保障を目指すのであるから、個々人の『福祉計画』を前提にした統合としての『社会福祉計画』として、総合的な理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

- ①前期は、『社会福祉計画』の前提となる『日本の社会福祉』が扱おうとしている様々な福祉課題について学ぶ。
- ②後期は、福祉問題の解決を目指す『社会福祉計画』の詳細について学ぶ。

履修上の留意点

- ①この講義では、開講第1回目に全体のスケジュール等を説明するので、第1回には必ず出席していただきたい。
- ②講義を中心として進めるが、時に授業中に討論を行うこともあるので、積極的主体的な参加を期待します。
- ③学習者である皆さんの主体的な学習態度を尊重すべく、質問重視の授業を進めるので、関連事項について積極的な質問を期待します。

成績評価の方法

- ①前期末、後期末のレポートの成績を中心に、主体的な出席への評価を含めて成績評価を行う。
- ②前期末のレポート課題は、前期の講義に含まれる社会福祉計画が対応することになる「日本の福祉問題」を自分自身の生活課題に引きつけて論じる課題が出題される。
- ③後期のレポート課題は、社会福祉計画論の理論的課題について、テキストの課題の中から各自自由に選択して、まとめる課題が出題される。
- ④前期レポートと後期レポートは、それぞれ40%と50%の比率で成績評価に反映される。残り10%は、出席状況等を勘案する。

教 科 書

定藤丈弘・坂田周一・小林良二編集『社会福祉計画』(有斐閣) 定価2,200円

参 考 書 等

- ①高田真治『社会福祉計画論』(誠信書房) 1979年
- ②R. パールマン A. グリン著 岡村重夫 監訳 『コミュニティ・オーガニゼーションと社会計画』(全国社会福祉協議会) 1980年
- ③全社協編『地域福祉計画——理論と方法——』(全国社会福祉協議会) 1984年

科目名	担当者名	配当学科	単位
リハビリテーション論	こうご れいこ 向後礼子	14以降入学生/福祉1・2・3・4選 13以前入学生/福祉2・3・4選必	4

講義のねらい

リハビリテーションには、医学・教育・職業・社会の4領域があるが、本講義では、職業リハビリテーションを中心に障害者が社会の中で働くということの意味を考える。併せて、障害者の就労を支える仕組みについて学ぶ。また、バリアフリーや障害理解の問題に関して、自分なりの考えを深めていく。

履修上の留意点

履修者には、リハビリテーション論で採りあげられるさまざまな問題を単なる知識として覚えるのではなく、自らの問題として考えてほしい。

成績評価の方法

講義中の小課題に対する回答と試験により評価する。なお、出席状況を加味する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

講義中に随時指定する。

その他

基本的に講義形式で進める。履修人数によっては、履修者に発表などの活動を行ってもらおう。また、ビデオ等の視聴を含む。

科目名	担当者名	配当学科	単位
家族療法	はる た てつ ゆき 治田哲之	14以降入学生/福祉1・2・3・4選 13以前入学生/福祉2・3・4選必	4

講義のねらい

心理臨床の現場では、学派や技法にかかわらず、家族に関する視点を持たずに仕事を進めることはできない。一方、家族療法に基盤を持つ心理臨床家も、家族という観点にとらわれない幅広い臨床的スタンスを持って仕事をすることが必要である。

本講座では、このような心理臨床の現場を出発点とし、家族療法という一つの体系を切り口としながら、心理臨床の基本から家族療法の実際までを実践的に扱う。

講義の内容・授業スケジュール

- ・心理臨床と治療構造
- ・家族療法の、心理臨床における位置づけ
- ・心理臨床の基礎理論
(その1～その5)
- ・家族療法の諸理論
(その1～その3)
- ・心理臨床の技法論
(その1～その3)
- ・家族療法の技法論
(その1～その3)
- ・心理臨床の実践（家族療法的視点から）
(その1～その3)

成績評価の方法

レポート、試験に、出席等の状況を加味する。

教科書

履修者の実態（予備知識等）に合わせて決定し、授業において指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉学特講Ⅰ〔児童〕	やまもと たくや 山本 哲也	14以降入学生/福祉1・2・3・4選 13以前入学生/福祉2・3・4選必	4

講義のねらい

近年、子どもを取り巻く諸問題は、複雑化、多様化し、深刻化してきている。本講では、まず、児童虐待をはじめとする、子どもを取り巻く諸問題を整理、理解することをねらいとする。次に、これら諸問題に対する取り組みの実態を調べ、今後の課題を検討していく。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、子どもを取り巻く諸問題についてのレポートをもとに、ディスカッションを織り交ぜながら、問題の理解を深めていく。

後期は、各自、出身市町村から取り寄せたエンゼルプランをもとに、行政の取り組みの実態を調べるとともに、今後の課題を比較検討する。

履修上の留意点

受講生によるレポートをもとに、受講生とともに、「考えること」を重視した授業とするので、受講生は主体的・積極的に参加することを望む。

成績評価の方法

出席状況と課題レポートに加えて、ディスカッションへの参加状況など受講姿勢・意欲によって、総合的に評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉学特講Ⅱ〔老人〕	あべ まさあき 阿部 正昭	14以降入学生/福祉1・2・3・4選 13以前入学生/福祉2・3・4選必	4

講義のねらい

高齢者福祉の現場で求められる基礎的な知識・技術の習得と将来に向けた社会福祉専門職としての成長に主眼をおき、前期は、要介護高齢者への理解とアセスメントの方法、特養・ユニットケア・グループホーム等の生活の場の在り方について学びます。後期は、主に社会福祉法人の源流を明治初期にさかのぼり、当時の理念と現在の実態を踏まえ、今後の在り方を検討します。また、社会福祉基礎構造改革の中で、社会福祉職を専門職としてとらえ、特に高齢者福祉施設職員に求められる能力について考察します。

講義の内容・授業スケジュール

(前期)

- (1・2) 高齢者の身体的・心理的特性 (3・4) ライフサイクルと高齢期の生活課題
- (5・6) 高齢者の喪失体験とケアの視点 (7・8) 要介護高齢者の生活ニーズのとらえ方
- (9～11) アセスメントの理解とケアプランの方法
- (12・13) 特養・ユニットケア・グループホームの考え方

(後期)

- (14) 高齢者福祉施設の源流と現在 (15・16) 社会福祉基礎構造改革と高齢者福祉施設
- (17・18) 介護保険と一般行政サービスの概要 (19・20) 脱工業化社会と専門職
- (21・22) 専門職としての社会福祉職 (23・24) 能力とコンピテンシー
- (25・26) コンピテンシーと高齢者福祉施設職員の能力

履修上の留意点

講義に加え、個人ワークやグループワークも取り入れていく予定です。

成績評価の方法

年度末の定期試験とレポートの提出に依拠し、授業への出席状況を配慮します。

教科書

プリントを随時配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉学特講Ⅲ〔障害児・者〕	こ う こ の れ い こ 子	14以降入学生/福祉1・2・3・4選	4
		13以前入学生/福祉2・3・4選必	

講義のねらい

障害の特性について学ぶと共に、健常者と障害者の双方の立場から「障害理解とは何か」について考える。また、障害の特性について理解するために心理検査等についても学習する予定である。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、障害についての基本的な理解を目指す。対象障害は、主として知的発達障害ならびに精神障害である（1～4）。また、いくつかの心理検査の実施方法とその解釈について学ぶ（4～7）。併せて、「障害理解」と「障害受容」とは何かについて事例を基に検討する（8～13）。
後期は、受講生毎に興味のある障害を定め、その障害についてより深く理解できるよう、個別もしくはグループ毎に課題を設定する。経過については、随時、講義の中で発表し、全体で討論する。

履修上の留意点

履修者には、障害に関わる問題を自らの問題として考えてほしい。

成績評価の方法

講義中の小課題に対する回答と試験により評価する。なお、出席状況を加味する。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

講義中に随時指定する。

そ の 他

履修者には発表などの活動を行ってもらおう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉学特講Ⅳ〔相談・援護〕	おおすか 大須賀 ちから 力	14以降入学生/福祉1・2・3・4選 13以前入学生/福祉2・3・4選必	4

講義のねらい

今日の相談・援助のシステムは多面多様化しており、それだけ国民の生活全般に対する不安・課題が拡大されてきているように思えます。

児童相談所をはじめ各所で行われている相談援助（電話相談など含め）の実態は、虐待をはじめ、いじめ・不登校など児童の周辺に起きている深刻な問題に対して、また国民の生活問題に対してどのように応えてきているのであろうか。

この講義では、まず相談機関の実態を明らかにし、その意義と現在の課題について追究していきたい。

つぎに、そのことに従事しているケースワーカーの専門性について、児童相談所で実際相談援助に従事している児童福祉司の活動及び事例等を検討する過程で明らかにしていきたい。

専門性の第一に必要なことは、相談者（利用者）とどのように向き合えるかにあると考える。そのことは「自分とどのように向き合うか」ということに他ありません。

「自分を知る」「相手を知る」ことです。

相談を受けた時に適恰にニーズを把握するために、また援助の方法を具体化するための援助技術を習得する必要が欠かせない要件となっています。

ワーカーにとって、複雑重層化した諸問題に対しどのような向き合いをしていったら良いかが問われています。

専門性の第二に必要なことは、権利擁護の立場で相談者（利用者）に向き合えるかどうかということです。

権利侵害の実態把握、発達障害としての視点、最善の利益の尊重、意見表明の保障等権利の回復及びそのための実践活動が問われています。

その他、専門性と資格問題、支援と自立の問題、地域支援の実態、ネットワークの意義、フィールドワークの位置付など共に学ぶなかで考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

（前期）

1. 相談機関の実態・今日的課題
2. 児童相談所の役割・機能・援助活動
3. 職員の専門性について

（後期）

1. ケース事例から学ぶ相談援助
2. 処遇困難ケースへの対応
3. 児童の自立・家族の自立
4. チーム処遇のあり方
関係機関との連携

履修上の留意点

職員の専門性に関して

- ①フィールドワークの必要性
 - ②権利擁護への視点
- をもって学習に臨んでほしい。

成績評価の方法

レポート・討論などの総合評価

教 科 書

『最新・社会福祉援助技術』（榎みらい）2,000円

参 考 書 等

山縣文治監修 『児童相談所で出会った子どもたち』（ミネルヴァ書房）
尾崎 新 『対人援助の技法』（誠信書房）

そ の 他

授業の方法
講義・演習・討論を中心に

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉学特講Ⅴ(福祉士)	ながお じょう 長 尾 謙 治	14以降入学生/福祉1・2・3・4履 13以前入学生/福祉2・3・4履必	4

講義のねらい

本講義は、社会福祉学専攻4年次生を対象として開講する。福祉士をめざして3年間学習をしてきた諸君の集大成の科目である。

授業では、福祉士の資格制度の現状、福祉士の職務や職場の実際、さらには就職活動のしかた(就職情報の提供も含む)などについて、外部講師の特別講義も交えながら具体的に解説していく。また、老人・障害・児童・公的扶助など、各分野において福祉士に必要とされる知識について、国家試験問題等を用いながら整理していく。これらの知識は、福祉士の本試験においても必須の知識である。

駒澤大学では、大学として福祉の専門職養成に力を入れている。本講義は、本学における福祉士国家試験対策講座の柱の1つであり、皆さんの資格取得を視野に入れて開講される。したがって、4年次生で福祉士国家試験を受験希望の学生は必ず受講するようしてほしい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 ソーシャルワークと資格制度：歴史的経緯と現状、及び今後の展望
- 2 福祉士の職場と職務内容
- 3 福祉専門職の就職活動方法の実際
 - ①福祉分野の就職動向
 - ②卒業生アンケート調査結果の紹介
 - ③就職活動・資格取得体験談：外部講師（OB・OG）による特別講義
- 4 福祉士とソーシャルワーク（国家試験形式による必須知識の再確認）
 - ①生活保護分野
 - ②老人分野
 - ③身体障害者分野
 - ④知的障害者分野
 - ⑤児童分野
 - ⑥精神保健分野
 - ⑦その他の分野
- 5 資格取得をめざして：福祉士受験対策指導
試験科目（指定科目）ごとの知識の整理・受験指導

履修上の留意点

授業では、福祉分野の職場に就職し、業務を実践するために必要不可欠の知識を解説する。同時に、国家試験受験対策として、必須となる知識を各科目ごとに整理しながら、授業を進める。このような性質上、毎回の出席こそが学習効果の上で極めて重要になる。そのため、履修者は毎回の出席を心がけてほしい。

成績評価の方法

出席状況、受講姿勢、意欲などを総合的に判断する。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

講義中、随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉学特講Ⅵ〔家族〕	お ぼた かず 小 畑 和	14以降入学生/福祉1・2・3・4選 13以前入学生/福祉2・3・4選必	4

講義のねらい

出生減退現象と言うのは社会に現れたひとつの表徴である。その社会現象は別の面から見れば、胎児の生命をどのように考えるかという生命倫理に関する側面を持っている。つまり、出生前診断による産み分けや世界的な人工妊娠中絶（abortion）の容認の傾向は、言い換えれば、Prolife か Prochoice かの問題であり、また、この現象を家族の側面から論ずれば、親子関係が希薄化し、家庭の崩壊、家庭の教育力の低下や学校教育の崩壊に繋がる。また社会的側面から見れば消費の停滞、人口の減少、経済の停滞と不安定、犯罪の増加、社会の崩壊に連動していくことの要因になっている。

講義では出生減退現象を通して生命倫理の問題、家族の変貌、社会保障制度などを取り扱うつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

成熟社会では成長が頂点に達し社会が袋小路（blind alley）に突入する。一方、限界生活費は増大するために、家族を益々制限し少子化や小さな核家族を促し、他方では三世代家族減少や老人問題を発生させている。また、人間関係は本質的關係よりは手段の關係になりシビアーでドライになる。個々人の間に緊張感を生じ孤立化するのは家族間でも同じである。

このような観点から以下のような項目で講義する。

- ① 経済社会のマクロ的な説明
- ② Prolife（胎児の生まれる権利）か Prochoice（産む、産まないは女性の権利）か
- ③ 資本蓄積と出生減退の關係、出生減退原因の諸説の紹介
- ④ 家族の変貌（血縁、結婚・離婚問題、住居、経済的基盤などの家族の構成要素の変化）
- ⑤ 家族に関する福祉制度（年金、生活保護、保育・育児の制度、エンゼルプラン、児童手当、児童扶養手当…）
- ⑥ 家庭裁判所制度（調停制度、特別養子縁組制度…）
- ⑦ 教育制度（学校教育、家庭教育、社会教育…）
- ⑧ 就業問題（雇用制度、ホームレス問題、雇用保険制度、労働災害保険制度…）

履修上の留意点

初回の講義で説明する。

成績評価の方法

5段階2乗方式によるが、その内容は初回講義で説明する。

教 科 書

講義の中で必要に応じて紹介する。

そ の 他

授業形態は講義形式であるが、ビデオやOHPが使用可能ならば利用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
家 族 社 会 学	まつのぶ 松 信 ひろみ	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

本講義では、現代の結婚と家族にかかわる現象や問題を社会的な観点から考察する。シングルが増加、少子化、高齢化など、結婚や家族をめぐる諸現象が数多く指摘されているが、それらの実状のみ、あるいは、家族社会学の理論や枠組みの講義のみにとどまることなく、現代の結婚と家族を家族社会学の視点から捉えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

現代の結婚と家族の現状に照らし合わせながら、家族社会学の基礎も講義してゆく。教科書を使用して、以下のような項目について講義する。

1. 家族とは
2. 家族規模・家族機能の変化
3. 家族とライフコースの変化
4. 恋愛と現代の結婚
5. 性別役割分業の変化
6. 少子化と高齢化
7. ドメスティック・バイオレンス
8. 地域と家族
9. 多様な家族のありかた（欧米諸国の家族との比較）

履修上の留意点

「家族」は私たちの最も身近な集団である。漫然と講義に臨むのではなく、問題意識をもって出席して欲しい。

成績評価の方法

学年末の試験とブックレポートによって評価する。

教科書

増子勝義編著『増補改訂版 新世紀の家族さがし—おもしろ家族論』（学文社）2003年
2,500円

参考書等

森岡清美・望月嵩著『新しい家族社会学 四訂版』（培風館）1997年 1,700円

その他

基本的に教科書を使用するが、随時プリントも配布する。また、一方的な講義ではなく、できるだけ学生諸君との意見交換の場も設けたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法 社 会 学	こ ぼ や し ひろ ひと 小 林 弘 人	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

法社会学の概念についての理解、法社会学の対象と方法、具体的事例についての解説が授業の主たる内容である。

講義の内容・
授業スケジュール

日本および諸外国の法社会学史について前期一杯講義する。具体的には、まず日本の法社会学の学説史について解説する。その後、ヨーロッパおよびアメリカの法社会学史について説明する（例えば、モンテスキュー、イエーリング、マックスウェーバー、マリノウスキーやギユルヴィッチ、ホームズ、パウンドなどの学説の紹介である。）

次いで、法社会学の方法論について解説する。また、法社会学に関連する法学の諸分野と社会諸科学との関連についても解説する。

後期からは、法と社会との関連性について全体社会と法、部分社会と法について、具体的事例をあげながら説明する。立法過程、司法過程、農村、都市のかかえる課題の対応には時間をさきたい。

履修上の留意点

とくになし。資料の配布については、該当日以外は、配布しないので、注意すること。

成績評価の方法

レポートと期末テストを勘案して行う。

教 科 書

及川伸著 『法社会学講義』（法律文化社） 2,781円

参 考 書 等

講義初日に説明する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 病 理 学	やま もと いさお 山 本 功	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

まず、社会病理学の基本的概念・方法・研究領域について概観する。まず、従来のオーソドックスな社会病理学の概念・学説史をとりあげ、最後に近年注目を集めている社会構築主義について紹介する。

ついで、様々な「社会病理現象」のうち、犯罪・非行を中心に取り上げ、犯罪学を紹介する。少年の「凶悪化」が叫ばれ、2000年秋に少年法が改正されたが、少年が「凶悪化」したと言えるのだろうか。また、何かしら事件が起こるたびにメディアでは「親が」「学校が」「社会が」と様々な原因が論じられるが、それらは妥当なのだろうか。そもそも、犯罪や非行についてどうして人は語りえるのだろうか。

講義の内容・授業スケジュール

【前期】第1回 イントロダクション「社会病理」とは何か 第2～4回 「社会病理」の基礎概念と社会病理学史 第5～8回 「社会病理」現象の具体的諸相 第9～13回 「社会問題」論と社会構築主義

【後期】第14～16回 「犯罪」「非行」概念 第17～19回 人はどうして犯罪について語りえるのか犯罪報道、公式統計、暗数問題 第20～24回 実証主義的犯罪原因論 第25～26回 ラベリング論と社会構築主義

履修上の留意点

webに参考資料をアップする。ネット環境が整っていることが望ましい。携帯電話では不可。

成績評価の方法

定期試験結果で評価するが、適宜行う小レポートを加味する。

教 科 書

米川茂信『現代社会病理学』（学文社）3,398円 ISBN4-7620-0392-1

参 考 書 等

守山正・西村春夫『犯罪学への招待』（日本評論社）1999年
 澤登俊雄『少年法』（中公新書）2000年
 鮎川潤『少年犯罪』（平凡社新書）2001年
 中河伸俊『社会問題の社会学』（世界思想社）1999年
 平英美・中河伸俊編『構築主義の社会学』（世界思想社）2000年
 矢島正見『少年非行文化論』（学文社）1996年
 法務省編『犯罪白書』
 警察庁編『警察白書』

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理検査法	稲富正治 <small>いな ども まさ はる</small>	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

人の身体の状態を示すものに「健康診断」というものがあるように、人の性格、情緒性、精神発達状態、知能、人間関係、病理性などを知る方法には「心理検査」があります。検査の種類によってそのやり方も理論背景も異なりますが、人の心を安易に扱う場面も少なくない現代社会の中で、授業では心理検査の技術の習得と理論背景の理解と同時に、人と真剣に向き合う「臨床」を学んで欲しいと思っています。

心理検査の中には、質問紙法（Y-G、TEGなど）、投影法（ロールシャッハ、P-Fスタディなど）、作業検査法（知能検査など）と大きく分けると3つの分野があります。この講義では、その中の代表的なものを扱いつつも、心理検査全体を網羅した授業を行いたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

パーソナリティ論、心理検査の存在性などから入り、質問紙法、作業検査法、投影法という流れで進めていきます。

履修上の留意点

福祉という立場から、直接心理検査に携わる人は少ないかもしれませんが、この講義を通して、心理検査という角度からの人間観察を行う目を養ってもらいたいと思っています。

成績評価の方法

出席はもちろんのこと平常点（授業態度など）は重視します。また、単に心理検査の結果を数字で見るだけでなく、自分の感性を大事にして欲しいので、自分の言葉を使っていかに自己分析するかを大事な評価にしたいと思います。

教科書

今のところ特に考えていませんが、必要に応じて紹介します。

参考書等

教科書同様、必要に応じて紹介します。

その他

心理検査を体験してもらおう実習形式やグループ討議やレポート提出なども行う予定です。机上の空論にならないように心がけたいと思っています。

科目名	担当者名	配当学科	単位
環境心理学	大野隆造 <small>おお の りゅう ぞう</small>	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

人間は環境を操作・改変し、逆に環境は人間の心理・行動あるいは発達に影響を及ぼす。この人間と環境との相互作用を理解することは、住みよい建築・都市を構想する上で重要である。本講義では、人が環境をどのように知覚し、判断し、記憶し、評価しているか、また対人的な社会行動において環境がどのように影響するかなどについて講じる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 環境心理学の沿革
- 2 環境心理学と環境デザイン
- 3 環境知覚の特性
- 4 環境認知とイメージ
- 5 小空間のエコロジー：テリトリー・プライバシー
- 6 環境デザインと防犯性
- 7 子ども、老人、ハンディキャップの知覚と行動
- 8 環境の伝える意味
- 9 環境知覚・認知の文化差
- 10 環境心理を捉える調査・研究方法
- 11 環境を記述する方法・環境シミュレーション
- 12 環境設計のデザインガイドライン

成績評価の方法

講義中に課す演習レポートおよび期末試験により評価

参考書等

日本建築学会編『人間環境学—よりよい環境デザインへ—』（朝倉書店）、1998
中島・大野編『人間行動学講座第3巻「すまう」』（朝倉書店）、1996

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会政策	みつ 光 かが 岡 ぼく 博 美	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

社会政策とは、資本主義社会で発生する社会問題や労働問題を体制内において解決する思想や政府の政策を意味している。この社会政策という学問は19世紀の半ばに、その当時のヨーロッパでは後進国であったドイツで発生したが、やがて近代化をめざす日本に紹介された。この意味で、戦前から社会政策学は日本の経済学の中なかでも重要な位置を占めてきたが、それは戦前日本の経済学がドイツ経済学から大きな影響を受けてきたからであった。

戦後の時代になると、社会問題や労働問題の処理は、政府の政策によってだけでなく、国民の権利を前提にして、その解決が意図されるようになってきた。殊に、労働問題は政府の介入を避け、労使の自主的な団体交渉によって事態に対処していくという方向に向かった。労働基準法、労働組合法、労働関係調整法といった労働法体系は、このような体制を作り出すために制定された法律だったのである。

このような現実世界の変化は、社会・労働問題へのアプローチの方法として、労使関係論の学問の発達を促すこととなった。戦後の日本においても欧米社会で開拓された労使関係論を吸収し、労使関係をその実態に即して理解しようという研究が大きな影響を及ぼしている。

なお、全体の講義を通じて、その時々々の社会政策や労働運動・社会運動によってどのような問題が解決され、どのような問題が未解決のまま残されその解決が迫られているのかを考えてみることにする。

講義の内容・授業スケジュール

そこで、上に述べたような社会政策論や労使関係論の動向を視野に置いたうえで、本年度は、次のような講義内容で授業を行うこととしたい。

- (1) 社会改良の思想と理論
- (2) 労使関係論の思想と理論
- (3) 日本における社会政策・労働問題（戦前）
- (4) 日本における社会政策・労働問題（戦後）
- (5) 戦後日本における労使関係の展開
- (6) 高齢化社会と社会保障
- (7) 日本の労使関係の現実と未来

上にのべた(1)～(7)のテーマについて、各々約3回程度の講義を予定している。しかし、時には、社会政策や労働問題を勉強するための専門書の解説、最近注目されている外国人労働者問題やフェミニズム論、また私が専門的に研究してきた問題なども解説したいと考えている。

履修上の留意点

特にないが、これまでは毎年かなりの数の履修者がいるために教場も比較的大きな教場であった。そのためか、時として後部座席での私語が目立った。教場での私語は慎むこと。また私の講義では黒板をフルに利用するので、受講者はなるべく黒板の近くで聞いてほしい。

成績評価の方法

本年度は前期末に試験を行うか、あるいはレポートの提出を求める。どちらにするかは適当な時期に講義のなかで指示する。但し、受講者が多い場合は実施できない場合もある。年度末試験については2～3週間前の授業で詳しく解説する。成績評価は前期末の試験かレポートと年度末試験の成績による。なお、再試験は実施しない。

教科書

特にないが、講義の内容と関連して参考書を適時指示する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
行 政 法	けい とく ひろ とう 鶏 徳 啓 登	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

現代国家は、一般に福祉国家と言われるようになったが、我国も憲法制定後50年経過して、国外的・国内的に、社会情勢の変化に伴う新しい問題が生じてきている。国内的には戦後の経済政策の下になされた約1万件に上る規制の緩和がなされる一方で、国民の高齢化問題に対処すべく消費税率の引き上げ、宗教法人法の改正による宗教団体の規制問題など枚挙に暇がない。

本講義は、種々の行政作用を中心に行政法の輪郭を理解することをねらいとする。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 行政とは何か 2. 行政の原則 3. 行政法の意義と解釈 4. 行政作用の分類と内容・効力 5. 行政行為の瑕疵と効力 6. 行政手続 7. 行政上の強制の方法と制裁 8. 国家による賠償と補償 9. 国民の権利侵害に対する救済の種類と手続

成績評価の方法

成績評価は出席状況と試験またはレポートによる。

教 科 書

原田尚彦著 『行政法要論』(学陽書房) 3,000円
『小六法』 出版社・定価各種

参 考 書 等

塩野宏著『行政法I・II』(有斐閣) 4,000円 その他、教場にて説明。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
労 働 法	ふじもと しげる 藤 本 茂	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

今日、雇用社会は、雇用調整・リストラや能力主義人事管理の導入に見られるように大きく変貌しています。現在は、変動期にあるといえましょう。

労働法は、労働関係において生じる紛争を法的に解決する方法を検討する法領域です。この変動に無関係ではられません。

この変動期において、労働者に降りかかるさまざまな事象は、雇用関係法領域において、顕著です。たとえば、労働基準法改正、労働時間、解雇法制や男女雇用平等などです。

本講義ではこの雇用関係法領域を中心に、基礎的な知識を身につけてもらうことを念頭においています。

講義の内容・授業スケジュール

下記事項について、基礎的な知識を学びつつ、現代的課題に言及します。

詳細は第1回目の授業のときにプリントを配布して述べます。ここでは、一応の項目を掲げるに止めます。

- (1) 労働法の基礎的考え方
- (2) 日本型雇用システムの変化と労働法
- (3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- (4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
- (5) 雇用における男女平等
- (6) 労働条件の決定－労働契約、就業規則、労働協約
- (7) 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間
- (8) 人事異動－配転、出向、転籍
- (9) 雇用の出口－解雇、定年、退職
- (10) 賃金、賞与、退職金
- (11) 労働時間、時間外・休日労働
- (12) 休憩、休日、休暇
- (13) 労働災害など

履修上の留意点

出席を心がけてください。私語はNo、携帯電話はOff、内職はNo。そして無断で席を立つこともNo。いわゆる授業のマナーは守ってください。

憲法、民法、社会保障法、社会政策は履修してほしい科目です。

成績評価の方法

成績は、学年末試験がメインで、レポートなどとともに、総合的に評価します。追・再試験は実施します。

教科書

道しるべとして、浜村彰ほか著『ベーシック労働法』（有斐閣）か浅倉むつ子ほか著『労働法』（有斐閣）のうち1冊を購入して自宅学習に使ってください。受講者は必ず、1冊は用意してください。

参考書等

概説書・参考書をいくつか、第1回目の授業において紹介します。

六法は最新のもの（法律改正があるので特に注意）。そして、労基法施行規則の載っているものを用意してください。

その他

各々の事項について法的にはどのように考えていくのか、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を挙げながら授業を進めます。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
民 法	おおみや たかし 大 宮 隆	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

家族を研究対象とするとき、哲学・心理学・社会学・歴史・経済・医学など、さまざまな角度からアプローチすることが可能である。これを法律の視点からみると、民法という法律の中に、講学上家族法とよばれる法分野があり、民法第4編・第5編がこれに該当する。家族法は、我々の生活の中でも、結婚・離婚・親子・相続といった日常的で、親しみやすい家族生活に関する法律である。各種試験（たとえば家庭裁判所調査官）に対応できる講義をしたいと思っている。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 親族
親族の概念、範囲、効果
2. 婚姻
成立、効果、解消、婚約及び内縁
3. 親子
親子の種類、実子、養子
4. 親権
成立、効力、消滅
5. 後見及び保佐
機関、事務、終了
6. 相続
相続制度の基礎、開始、相続人、効力、承認放棄、遺留分、相続人の不存在
7. 遺言
方式、効力、執行

履修上の留意点

六法を常に持参すること。

成績評価の方法

年2回程度の小テストと年度末の定期試験による。

教 科 書

『新民法概説（3）親族・相続〔改訂版〕』（有斐閣双書）1,800円

参 考 書 等

適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済原論	浅野 克己	福祉1・2・3・4選	4

講義のねらい

現実の経済の動きを念頭におきながら、現代経済学の基礎理論を以下の順序で解説する。なお、公務員試験（その他の国家試験等）の受験対策にもなるよう必要に応じ問題練習を行うので、下記の問題集も用意してください。

講義の内容・授業スケジュール

- I マクロ経済学
 1. 経済循環と国民所得の諸概念
 2. 所得はどのようにして決まるのか
 3. 45度線モデルとI-Sバランス
 4. IS-LM分析と財政金融政策
 5. 経済の変動と成長
 6. 賃金・物価・インフレーション
 7. 国際マクロ経済学
- II ミクロ経済学
 1. 市場と価格メカニズム
 2. 消費者行動の理論
 3. 企業行動の理論
 4. 不完全市場とは何か
 5. 市場の失敗
 6. 不完全情報の経済学
 7. リスクと不確実性
 8. 市場と企業組織の関係
- III 公共政策

履修上の留意点

経済学を勉強するうえで不可欠なことは、現実の経済問題にできるかぎり関心をもつことだ。これらはさまざまなメディアをおしあふれるほど提供されている。特に『日本経済新聞』には毎日必ず目をおしてもらいたい。授業でも関連する記事やデータは参考にするので、できるだけ持参してもらいたい。また必要な記事・データはスクラップ・ブックなどに整理しておく、授業だけでなく将来の就職試験などにも大いに役立つだろう。

また、経済学を理解するために数学の知識が必要だといわれるが、入門的なコースで用いる数学は高校の基礎解析あるいは代数程度で十分。必要があれば授業の中でも説明するが、要は「習うより慣れろ！」のつもりで反復練習するにかぎる。

ついでに、初心者でも使いやすいコンピュータのソフトが「駒澤大学情報センター」に常備されている。それらを利用しシミュレーションしてみることも、おもしろく経済学を学ぶ方法だろう。ともあれ、授業には必ず出席しノートをしっかり取り、予習復習を実行すれば「100点取るのも夢じゃない！」

なお授業中は、私語厳禁、勝手に席を立たないこと、ケータイなどもってのほか、以上厳守。守れない者は、直ちに退席してもらう！

成績評価の方法

定期試験とレポートによる。

教科書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス・改訂版』（成蹊堂）

参考書等

青山『経済原論の頻出問題』（実務教育出版）
八木『基礎からステップ経済学』（実務教育出版）

その他

経済学部浅野ゼミ HP の『過去問コーナー』には、授業に必要な資料・参考文献、あるいは練習問題と解答などを掲載しておくので、各自でダウンロードして参考にしてもらいたい。また、質問その他どんなことでも書き込み OK！ 大いに利用してください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉援助技術現場実習Ⅰ	佐藤 光 正	14以降入学生/福祉2選 13以前入学生/福祉2必	2

講義のねらい

社会福祉の現場で展開される専門職の実践活動は、当事者とともにその抱える問題を解決していくことを目指して行われる。なかでも援助活動は、利用者の人権を擁護しつつ、専門職としての対人関係を形成することをとおして、利用者が身体的・精神的に健康な生活を送れるように支援していかねばならない。

この授業では、福祉の専門的マンパワーの養成を念頭において、1年次配当科目や2年次に平行して履修される科目との関連を考慮し、社会福祉の原理と実践をつなぐかけ橋として重要な位置を占める。また、授業内容は3年次での社会福祉援助技術現場実習Ⅱの準備学習となるものである。

講義の内容・授業スケジュール

この授業では、社会福祉援助技術現場実習の意義を理解すること、社会福祉実践の実態を把握すること、自己の配属実習分野を検討することなどについての学習が中心となる。福祉現場における実践内容のビデオなどの視聴をもとにした議論、グループ討議、福祉現場の専門従事者からの話題提供、配属実習修了者との意見交換などを行う。

履修上の留意点

毎回の授業で課題を与え、レポートの提出が義務付けられる。現場への配属実習のスクリーニングも行うため、特別な事由のある場合を除き、無断欠席は認められない。

成績評価の方法

平常点（出席状況、授業態度、レポート提出状況）を中心に総合的に評価する。

参考書等

講義の中で随時紹介する。

その他

社会福祉援助技術現場実習Ⅰの単位未修得者は、原則として社会福祉援助技術現場実習Ⅱおよび精神保健福祉援助実習の履修を認めない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉調査実習	東 條 光 雅	福祉2・3・4選	2

講義の内容・授業スケジュール

この授業では、学生自身が実際に調査を行ってみることが要求される。自分の関心・興味に基づく調査を企画・設計し、作業仮説を検証出来るような調査票を作成し、実査を行い、パソコンを使って集計し、最終的に結果を報告書の形式でレポートにまとめ上げるという、社会調査の一連の手続きを体得することが目的である。履修学生の数にもよるが、基本的には5～6名を単位とする班を構成してもらい、班ごとの作業を進めてゆく。ただし、報告書は個人ごとに提出してもらう。なお、調査内容としては、「社会福祉調査実習」であるので、社会福祉に関するテーマ設定、福祉ニーズの測定などといったものが望ましい。

[前期の内容]

班の決定、調査テーマの決定、作業仮説の設定、調査対象の選定、既存・先行調査のレビュー、調査票の作成、プリテスト

[後期の内容]

調査票の修正・印刷、調査実査、回収票の点検、コーディングガイドの作成、コーディング、データ入力、集計プログラムの作成、集計・分析、報告書の作成

履修上の留意点

本授業では、授業時間内だけでなくそれ以外の時間も使って情報センターのパソコンを使用することになるので、情報センターの利用説明会に参加したり、利用手続きを行う必要がある。現時点で、パソコンの使用方法が分からなくても問題はない。授業の進展にしたがって必要に応じ教授するので、その点を心配する必要はない。

成績評価の方法

基本的には班による作業が中心となるため、出席率も重視するが、それ以上に作業参加・貢献度が重要となる。なお、最終的には提出される個人ごとの報告書の内容が評価の中心となる。

参考書等

古谷野巨著『多変量解析ガイドー調査データのまとめかたー』（川島書店）
柳井晴夫・岩坪秀一著『複雑さに挑む科学ー多変量解析入門ー』（講談社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉援助技術現場実習Ⅱ	伊藤 秀一・小畑 和 桐原 宏行・長尾 謙治	福祉3選	4

講義のねらい

本授業は、「社会福祉士」国家試験受験資格の取得に必要な指定科目の一つである。将来、福祉事務所等の公的機関におけるソーシャルワーカーや児童施設・老人施設・障害者施設等の生活指導員、社会福祉協議会におけるコミュニティーワーカーなどの専門職として従事していくために必要不可欠となる実践的知識、専門的援助者としての対人態度、職業的倫理観の形成を目指すものである。

講義の内容・授業スケジュール

授業の内容は、1年間のクラスワークと4週間の配属実習から構成される。クラスワークでは、主に、事前学習として各自が配属予定となっている諸機関・施設に関する検討、配属実習における達成課題の設定と自己評価の視点の確立（これらに関しては実習Ⅰにおける基礎学習をさらに発展させるものである）を行い、配属実習後に事後指導として、実習終了者の報告とそれに対するディスカッションを行う。

また、実習終了者は「現場実習総括レポート集」の原稿作成が義務づけられる。

履修上の留意点

受講の条件として、前年の「社会福祉援助技術現場実習Ⅰ」の単位を修得し、かつ事前のスクリーニングにおいて配属実習の実施が許可されていることを原則とする。

成績評価の方法

成績は、学内でのクラスワークへの参加状況、配属先からの評価、総括レポートを総合して行う。

参 考 書 等

『社会福祉施設現場実習指導マニュアル』、日本社会事業学校連盟・全国社会福祉協議会編、全国社会福祉協議会
『社会福祉基本用語辞典』、日本社会福祉実践理論学会編（川島書店）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉援助技術演習Ⅰ	北 島 英 治	福祉3選	2

講義のねらい

社会福祉援助技術における個別援助を強調しながら、社会福祉実践にともなう専門価値、専門役割、専門知識、専門技術を修得する。ソーシャルワークの視点から、個人を理解するとは、また、個人へのかかわり方はどのようなものであるか、演習を通して体験的な理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

ここでは社会福祉の法律・制度の中や、制度の整備されていない民間で働く社会福祉の専門家や、その専門性について学ぶ。この専門性をソーシャルワークと呼び、その専門家をソーシャルワーカーと呼ぶことがある。わが国においては、社会福祉士の国家資格取得受験科目である「社会福祉援助技術」関連科目の一環として、「演習Ⅰ」に関して演習形式で学ぶ。ビデオを見たり、事例研究やロールプレーを行う。

成績評価の方法

授業参加とレポート提出により評価を行う。

教 科 書

『ソーシャルワーク演習（上）』（有斐閣）
社会福祉教育方法・教材開発研究会編集『新社会福祉援助技術演習』（中央法規）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉援助技術演習Ⅰ	讃 岐 真 佐 子 <small>さぬき まさこ</small>	福祉3選	2

講義のねらい

社会福祉に携わる場面では、何よりもその目の前の人をどう理解して関わるか、そしてどのように対応していくかというその質が問われてくるだろう。この演習では他者に援助していくとはどういうことかを、主にまず「いかに人の話を聴くか」という観点から、いくつかの体験的学習を通して徹底的に学んでいきたいと思う。また本演習は国家試験「社会福祉士」の受験資格の取得に必要な指定科目の1つである。

講義の内容・授業スケジュール

前期は「聴く事」をめぐる諸講義、そしてまず自分自身により気づくためのワーク・プログラムを経て、ペアを組み各々がワーカーとクライアント役割を取るロールプレイ（役割演技法）を実施していく。後期もさらにそれを深めていくと同時に、社会福祉に役立つ臨床心理的知見を折にふれて様々に伝えていきたい。

履修上の留意点

出席を重視し、各ワークへの参加が不可欠となる。ロールプレイは逐語録を作成して自分の発表日に資料として配布する。発表日は前もってわかるので、各自の責任において実施する事。また本演習に引き続き同じクラスで同演習Ⅱを行うので、同時に取得することが望ましい。

成績評価の方法

出席状況、授業への参加度、レポート提出に基づいて評価する。

教科書

必要な資料は随時配布する。

参考書等

- ・尾崎新著『対人援助の技法』（誠信書房）
- ・尾崎新編著『「現場」のちから』（誠信書房）
- ・河合隼雄著『カウンセリングの実際問題』（誠信書房）
- ・鐘幹八郎著『試行カウンセリング』（誠信書房）

その他

なお、本科目は、「社会福祉援助技術現場実習Ⅱ」の履修を許可された学生のみが登録でき、クラス分けは事前に掲示されるので、注意しておくこと。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉援助技術演習 I	ながお じょうじ 長尾 譲治	福祉3選	2

講義のねらい

本演習は、社会福祉士指定科目の1つであり、IとIIを同時に履修することになる。社会福祉に必要な専門援助技術について、他の援助技術関連の講義及び現場実習と関連させながら、実技指導を中心とする演習形態によって身につけることを目的としている。また、高齢者・障害者・児童等への援助に関する具体的事例を取り上げ、福祉倫理や知識、方法についても深く検討する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 対人コミュニケーション技術
社会福祉専門職に求められるコミュニケーション技術の実践トレーニング
- 2 ケースワーク技術の習得
事例研究／ロールプレイ
- 3 グループワーク技術の習得
グループワークの計画と実践
- 4 間接援助技術の習得
コミュニティ・ワーク、ソーシャルワーク・リサーチ、ケアマネジメントの模擬実践

履修上の留意点

技術演習であるため、実技への参加やディスカッションなど、学生個々人が自分自身で学習し、考え、主体的に行動することが求められる。

成績評価の方法

毎回の授業への出席が前提である（実習等による公欠を除く）。その他、受講姿勢や随時実施する課題の提出状況等を総合的に判断する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

学生諸君の技術習得に役立つ図書を講義中、随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉援助技術演習Ⅰ	むら た かず あき 村 田 一 昭	福祉3選	2

講義のねらい

本演習では、ソーシャルワーク実践における基本的援助技術に関して、その基盤となるスキルや援助実践の展開過程について、実技や実践事例（主に児童福祉分野の援助実践事例）の検討を通じた個別的、集団的な体験学習によって、その理解を深めるとともに、習得することを目的としています。なお、本演習は、「社会福祉士」の受験資格取得に必要な指定科目のひとつです。

講義の内容・授業スケジュール

- （前期）ソーシャルワーク実践の基礎となる技術
- ①自己理解と他者理解
 - ②コミュニケーションの技法
 - ③面接の技法
 - ④マッピングの技法
 - ⑤価値と倫理
- （後期）ソーシャルワーク実践事例から学ぶ援助技術
- ①援助実践事例（援助プロセス）の検討
 - ②援助実践事例（インシデントプロセス）の検討
 - ③実習事例による援助実践の検討
 - ④その他

履修上の留意点

実技やディスカッションが中心となるため、学生個人個人の主体的、積極的な参加を期待します。

成績評価の方法

出席状況と課題レポートに加えて、実技参加やディスカッションへの参加状況などによって総合的に評価します。

参考書等

社会福祉教育方法・教材開発研究会編『新社会福祉援助技術演習』（中央法規）2,500円（税別）
 福祉士養成講座演習委員会編『社会福祉援助技術演習』（新版社会福祉士養成講座⑮）（中央法規）2,500円（税別）
 北島英治・副田あけみ他編著『ソーシャルワーク実習（上）』（社会福祉基礎シリーズ④社会福祉援助技術演習）（有斐閣）1,900円（税別）
 ※その他、随時紹介します。

その他

授業は、ロールプレイやグループディスカッションによる実技が中心となります。
 本科目は、「社会福祉援助技術現場実習Ⅱ」の履修を許可された学生のみが登録でき、クラス分けは事前に提示されるので、注意しておいてください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉援助技術演習Ⅱ	きた しま えい じ 北 島 英 治	福祉3選	2

講義のねらい

社会福祉援助技術における個別援助に加え集団援助を強調しながら、社会福祉実践にともなう専門価値、専門役割、専門知識、専門技術を修得する。ソーシャルワークの視点から、個人と集団を理解するとは、また、個人と集団へのかかわり方はどのようなものであるか、演習を通して体験的な理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

ここでは社会福祉の法律・制度の中や、制度の整備されていない民間で働く社会福祉の専門家や、その専門性について学ぶ。この専門性をソーシャルワークと呼び、その専門家をソーシャルワーカーと呼ぶことがある。わが国においては、社会福祉士の国家資格取得受験科目である「社会福祉援助技術」関連科目の一環として、「演習Ⅱ」に関して演習形式で学ぶ。ビデオを見たり、事例研究やロールプレーを行う。

成績評価の方法

授業参加とレポート提出により評価を行う。

教科書

『ソーシャルワーク演習（下）』（有斐閣）
 社会福祉教育方法・教材開発研究会編『新社会福祉援助技術演習』（中央法規）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉援助技術演習Ⅱ	讃岐真佐子	福祉3選	2

講義のねらい

本演習Ⅱは社会福祉援助技術演習Ⅰに引き続いて行われ、Ⅰと同様ソーシャルワークの基本的援助技術について体験的に学習し、その技術を習得することをその目的としている。また本演習Ⅱも国家試験「社会福祉士」の受験資格の取得に必要な指定科目の1つである。

講義の内容・授業スケジュール

社会福祉援助技術演習Ⅰを参照

履修上の留意点

社会福祉援助技術演習Ⅰを参照

成績評価の方法

社会福祉援助技術演習Ⅰを参照

教科書

必要な資料は随時配布する。

参考書等

- ・尾崎新著『対人援助の技法』（誠信書房）
- ・尾崎新編著『「現場」のちから』（誠信書房）
- ・河合隼雄著『カウンセリングの実際問題』（誠信書房）
- ・鎌幹八郎著『試行カウンセリング』（誠信書房）

その他

なお、本科目は、「社会福祉援助技術現場実習Ⅱ」の履修を許可された学生のみが登録でき、クラス分けは事前に掲示されるので、注意しておくこと。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会福祉援助技術演習Ⅱ	長尾譲治	福祉3選	2

講義のねらい

本演習は、社会福祉士指定科目の1つであり、ⅠとⅡを同時に履修することになる。社会福祉に必要な専門援助技術について、他の援助技術関連の講義及び現場実習と関連させながら、実技指導を中心とする演習形態によって身につけることを目的としている。また、高齢者・障害者・児童等への援助に関する具体的事例を取り上げ、福祉倫理や知識、方法についても深く検討する。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 対人コミュニケーション技術
社会福祉専門職に求められるコミュニケーション技術の実践トレーニング
- 2 ケースワーク技術の習得
事例研究／ロールプレイ
- 3 グループワーク技術の習得
グループワークの計画と実践
- 4 間接援助技術の習得
コミュニティ・ワーク、ソーシャルワーク・リサーチ、ケアマネジメントの模擬実践

履修上の留意点

技術演習であるため、実技への参加やディスカッションなど、学生個々人が自分自身で学習し、考え、主体的に行動することが求められる。

成績評価の方法

毎回の授業への出席が前提である（実習等による公欠を除く）。その他、受講姿勢や随時実施する課題の提出状況等を総合的に判断する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

学生諸君の技術習得に役立つ図書を講義中、随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉援助技術演習Ⅱ	むら た かず あき 村 田 一 昭	福祉3選	2

講義のねらい

本演習は、社会福祉援助技術演習Ⅰと同じく、ソーシャルワーク実践における基本的援助技術に関する理解とその習得を目的としており、「社会福祉士」の受験資格取得に必要な指定科目のひとつです。

講義の内容・授業スケジュール

社会福祉援助技術演習Ⅰを参照してください。

履修上の留意点

社会福祉援助技術演習Ⅰを参照してください。

成績評価の方法

社会福祉援助技術演習Ⅰを参照してください。

参考書等

社会福祉教育方法・教材開発研究会編『新社会福祉援助技術演習』（中央法規）2,500円（税別）
 福祉士養成講座演習委員会編『社会福祉援助技術演習』（新版社会福祉士養成講座⑮）（中央法規）2,500円（税別）
 北島英治・副田あけみ他編著『ソーシャルワーク実習（上）』（社会福祉基礎シリーズ④社会福祉援助技術演習）（有斐閣）1,900円（税別）
 ※その他、随時紹介します。

その他

授業は、ロールプレイやグループディスカッションによる実技が中心となります。
 本科日は、「社会福祉援助技術現場実習Ⅱ」の履修を許可された学生のみが登録できます。
 クラス分けは事前に提示されるので、注意しておいてください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
精神科リハビリテーション学	しろ た はる お 城 田 晴 夫	福祉3・4選	4

講義のねらい

この授業では、精神障害をもつ人々が職場や住み慣れた地域の中で障害のない人々と共に働き、暮らしていける力、市民社会を共に築いていける力を最大限に持てるように援助する精神科リハビリテーションを学ぶ。近年国家資格となった精神科ソーシャルワーカー（PSW）に関心のある学生を主に対象とする。学問としてはまだまだ新しく耳慣れないが、一部アメリカで行なわれているリハビリテーションの実状並びにその技法を紹介しつつ、より良いリハビリテーションを考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

授業は、精神科リハビリテーションの概念、精神科リハビリテーションの構成、精神科リハビリテーションのプロセスと技術、精神科リハビリテーションにおける連携と統合、精神科リハビリテーションの関連領域、の順に教科書に沿って進めていく。

履修上の留意点

履修する学生は、積極性、活動性のあると思うもの・人の世話をすることに関心のあるものが期待される。

成績評価の方法

成績評価については、出席、試験、レポートなどの総合評価とする。

教科書

『精神科リハビリテーション学（第3巻：精神保健福祉士養成セミナー）』（へるす出版）3,200円

参考書等

『こころの科学、精神保健福祉士、88巻』（日本評論社）1,143円

科目名	担当者名	配当学科	単位
精神保健福祉援助演習	佐藤光正	福祉3・4選	4

講義のねらい

精神保健福祉士は、精神障害者の保健福祉に関する専門的な知識及び技術をもって、精神障害者の社会復帰、社会参加や自立を促進する相談業務を担う。そのための具体的な援助技術を習得するための演習を行う。

講義の内容・授業スケジュール

援助に必要な (1) 利用者の理解 (2) コミュニケーション技術 (3) ケースワーク援助 (4) グループワーク援助 (5) コミュニティワーク援助 (6) ケアマネジメント援助 (7) 自己点検と自己覚知などを演習する

履修上の留意点

授業への主体的な参加を期待する。

成績評価の方法

平常点（出席状況、授業態度、課題提出状況）を中心に総合的に評価する。

参考書等

随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
精神保健福祉援助実習	佐藤光正	福祉3・4選	6

講義のねらい

実習は、精神保健福祉士をめざす者にとって大事な体験学習となる。そこでは、まず第一に現場の状況を知りそこで展開される現場での援助とこれまで学習してきた知識としての援助を結びつけて習得する必要がある。そして今後自分が精神保健福祉領域の専門家（援助者）としてやっていく“何か”を自分で探しだすことを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 精神障害者と精神医療の理解 a 精神疾患の理解 b 医療機関・社会復帰施設の理解 c 精神保健福祉法の理解
- 2 PSW 業務の理解 a PSW が配置されている意味の理解 b PSW が行う業務の理解 c 活用する社会資源の把握
- 3 援助関係のあり方についての洞察 a ケースワーク技術 b グループワーク技術 c リハビリテーション技術 d コミュニティワーク技術
- 4 実習目標の設定～まとめ a 実習目標の明確化 b 実習レポート作成 c 実習報告

履修上の留意点

すでに精神保健福祉に関するある程度の知識があることを前提とする。授業および実習への主体的な参加を期待する。

成績評価の方法

平常点（出席状況、授業態度、課題提出状況）、および実習報告の評価、配属実習先の評価等総合的に評価する。

参考書等

『精神保健福祉法詳解』（中央法規出版）6,000円（税別）
その他随時紹介する。

社会福祉学
社会

Ⅱ 專 門 教 育 科 目

7 心 理 学 科

心

理

Ⅱ. 専門教育科目

(7) 心理学科

心理学概論	〈間島英俊〉	641
心理学統計学	〈杉澤武俊〉	642
コンピュータ実習	〈大塚秀治・軽部幸浩・牧野晋〉	643
人格心理学	〈間島英俊〉	644
学習心理学	〈小野浩一〉	645
社会心理学	〈萩原滋〉	646
臨床心理学	〈佐々木雄二〉	646
生理心理学	〈谷口泰富〉	647
認知心理学	〈永田陽子〉	648
発達心理学	〈間島英俊〉	648
心理学基礎実験	〈茅原正・谷口泰富・間島英俊・ 佐藤理晴・名取志保・山岸直基〉	649
心理学研究法	〈小野浩一〉	650
禅心理学	〈茅原正〉	651
心理学実験演習Ⅰ	〈茨木博子〉	652
心理学実験演習Ⅱ	〈茅原正〉	652
心理学実験演習Ⅲ	〈休講〉	
心理学実験演習Ⅳ	〈佐藤理晴〉	653
心理学実験演習Ⅴ	〈小野浩一〉	653
心理学実験演習Ⅵ	〈軽部幸浩〉	654
心理学実験演習Ⅶ	〈間島英俊〉	654
心理学実験演習Ⅷ	〈勝俣暎史〉	655
心理学実験演習Ⅷ	〈茨木博子〉	655
心理学実験演習Ⅷ	〈勝俣暎史〉	655
心理学実験演習Ⅷ	〈佐々木雄二〉	656
心理学実験演習Ⅷ	〈谷口泰富〉	656
心理学実験演習Ⅷ	〈茅原正〉	656
心理学実験演習Ⅷ	〈永田陽子〉	657
心理学実験演習Ⅷ	〈小野浩一〉	657
心理学実験演習Ⅷ	〈間島英俊〉	657
環境心理学	〈大野隆造〉	658
児童心理学	〈横山剛〉	658
産業心理学	〈休講〉	
老年心理学	〈中里克治〉	659
宗教心理学	〈休講〉	
健康心理学	〈稲松信雄〉	659
比較行動学	〈幸島和子〉	660
精神医学	〈黄ミンシュク〉	660
心理学特講Ⅰ	〈デワラジャ、R. D〉	661
心理学特講Ⅱ	〈休講〉	
心理学特講Ⅲ	〈鈴木順一〉	661
心理学検査法Ⅰ	〈前期：佐藤尚代 後期：西脇淳〉	662
心理学検査法Ⅱ	〈稲富正治〉	663
カウンセリング	〈讃岐真佐子〉	664

情報処	理	I	〈中丸茂〉	664
情報処	理	II	〈牧野晋〉	665
宗敎	人	類	〈佐藤憲博〉	666
心理學	特殊	演習	〈茨木侯史〉	666
心理學	特殊	演習	〈勝々木雄二〉	667
心理學	特殊	演習	〈佐々木口泰富〉	667
心理學	特殊	演習	〈谷茅原正〉	668
心理學	特殊	演習	〈永田陽子〉	669
心理學	特殊	演習	〈小野浩一〉	669
心理學	特殊	演習	〈間島英俊〉	670
マス・コミュニケーション論			〈休講〉	
産業・職業社会學			〈山田信行〉	670
社会病理解學			〈山本信功〉	671
家族社会學			〈松信ひろみ〉	672
宗敎社会學			〈芳賀德啓登〉	673
行政			〈鷄原宏行〉	673
障害者福祉論			〈桐東條光雅〉	674
老人福祉論			〈澁谷昌史〉	675
児童福祉論			〈藤本宮茂〉	676
労民經			〈大野克隆〉	678
濟原			〈浅野克巳〉	679

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学概論	まじまひでとし 間島英俊	心理1必	4

講義のねらい

心理学は人間理解を科学的に究明する学問であるといえるでしょう。研究方法はさまざまであるが、その目的は同じであり、人間理解をとおして自己理解に結びつくものと思われま。講義では、諸君等がその問題を考えるための基本的事実にのみ限定して話していくことにします。心理学は科学であるために多くの近接領域の学問と関わっているがために、これらの事実もやがて過去の遺物になるかも知れません。そのためにも諸君等は科学の基礎としての心理学を学び、興味と向学心をもって、さらなる目標追求に役立ててほしいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容ならびに授業スケジュールは以下のとおりである。

- 1 ひととなりを考える
- 2 発達—自己から自己へのタイムトラベリング
- 3 “こころ”のゆきづまり
- 4 人と人との絆（家族と社会）
- 5 みること・きくこと
- 6 学ぶこと・考えること
- 7 ここを動かす・行動を起こす
- 8 人・仲間とかかわる
- 9 ことばとコミュニケーション

これらのテーマに基づいて、講義を中心に簡単な調査、検査、小実験を行なう予定です。

成績評価の方法

基本的には年度末定期試験にて評価しますが、出席はもとより調査、検査、実験への参加状況からも補助的に評価されます。

教科書

中村昭之編『心理学概説』（八千代出版）1,800円

参考書等

講義内にて紹介します。資料はその都度配布しますが、欠席したものへの後日配布はしません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理統計学	すぎ 杉 さいわ 澤 たけ 武 とし 俊	心理1必	4

講義のねらい

心理学研究を行う上で統計学の知識は不可欠です。統計学的手法を理解していなければ2年生以降、実験レポートや卒業論文で苦労するだけでなく、心理学の論文を読んでも理解することができません。本講義では、統計学の基礎的な知識の習得を目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) (1) 心理学における統計学
 (2~4) 1変数に関する記述的指標 (代表値・散布度)
 (5・6) 2変数に関する記述的指標 (共分散・相関係数・連関係数)
 (7~10) 推測統計の基礎 (母集団・標本)
 (11~13) 統計的仮説検定の考え方
 (後期) (14・15) 相関係数の検定・カイ2乗検定
 (16~18) 平均値に関するt検定
 (19~23) 分散分析 (1要因・2要因)
 (24~26) 統計手法適用時の注意点

履修上の留意点

数学が苦手という人も先入観を持たずに取り組んでください。必要な数学的知識は中学レベルです。ただし、講義で扱う内容は決して易しくはないので、確実に理解して身に付けるためにはそれなりの努力が必要なことを覚悟してください。中途半端な理解のままでは、その後の講義についていけなくなるので毎回必ず出席し、復習を欠かさず行ってください。

成績評価の方法

前・後期それぞれに期末試験を実施し、平常点を加味しながら総合的に評価します。

教科書

山田剛史・村井潤一郎『やわらかアカデミズムわかるシリーズ・よくわかる心理統計』(ミネルヴァ書房) 2004年4月出版予定) 出版されるまではプリントを配布します。

参考書等

南風原朝和『心理統計学の基礎-総合的理解のために-』(有斐閣アルマ)
 吉田寿夫『本当にわかりやすいすぐく大切なことが書いてあるごく初歩の統計の本』(北大路書房)
 その他、講義中に適宜紹介します。

その他

原則として講義形式で進めます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コ ン ピ ュ ー タ 実 習	おおつか 大塚 秀治・軽部 幸浩 まさの 牧野 晋	心理1必	2

講義のねらい

現代社会においてコンピュータは必須の情報処理装置である。とりわけ、大学生にとってのコンピュータは知的作業を行う上で最低限習得しなければならないツールである。すでに高校時代にコンピュータを利用した授業を経験したものも多いと思うが、本講義では大学で必要とされる知的生産を支援するものとしてのコンピュータの利用法を徹底的に習得する。大学に入ってからコンピュータをはじめ本格的に利用する学生もまだいると思われるので、コンピュータについてまったくの初心者が独力でコンピュータを活用して心理学実験レポート等を作成する能力を養う。また、自分の得た結果や事実、考えを表現するための方法を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

授業は全て実習形式で行う。ビデオの映写が可能ならビデオ教材も使用したい。キーボードのブラインドタッチの習得のために指定したソフトを購入する必要がある。1つのテーマに1から5時限をあて、毎回課題の提出を求める。今年度の具体的な内容については以下に記す。

- ・パソコンの基本操作
- ・ブラインドタッチの完全習得 (Type Quick を利用して)
- ・MS-Windows の習得
- ・日本語ワードプロセッサの習得 (MS-Word)
- ・スプレッドシートの習得 (MS-Excel による集計、グラフ、データベース)
- ・プレゼンテーションの実際 (MS-PowerPoint を利用したプレゼンテーションの基礎)
- ・電子的コミュニケーション (電子メールの利用法)
- ・Internet 利用の実際と注意 (マナーやモラルについて)
- ・情報処理の基礎

成績評価の方法

出席および課題の提出を前提とし、前期・後期末に行う筆記試験と合わせて総合的に評価する。経験則から連続2回欠席すると授業の進捗についていけなくなる。なお、遅刻は認めない。出席確認後の入室は認めるが、出席とはならないので注意する。連続3回以上欠席したものは、その時点で期末試験の受験資格はない。なおこの科目は必修科目であるため単位の認定を受けられないものは翌年度の履修となるが、機器の関係で実習装置を与えられない可能性がある。従って1年次に履修を完了すること。

教科書

教材は授業の中で全て配布する。それまでに配布された資料は授業に際して常に用意しておくこと。そのためにフォルダやファイルを用意するとよい。また、Type Quick については学内紀伊国屋書店で安価(約2,500円)に購入できるように手配する。その他に年間約5枚程度の3.5インチ高密度のフロッピーディスクが必要となる。

参考書等

授業中に最新のものを指示する。

その他

年間約22回程度の講義時間しかないため絶対的な時間が不足する。従って、週あたり2回から3回(1回2時間程度)の自習が必要となり、それに対応する課題が出される。自習には、情報教育センターを利用する。また、心理学実験室のパソコンについても実験等に使われていなければ利用可能である。独自に購入するのであれば、MS-Windows 対応のパソコンでMS-Windows と MS-Office が導入されているものを購入するとよい。詳細については開講時に解説する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
人 格 心 理 学	ま しま ひで とし 間 島 英 俊	心理1・2選必	4

講義のねらい

パーソナリティ研究には4つの課題がある。1つは、ある人がどのような人かを表現する方法であり、2つ目は、人間の行動における個人差を予測することである。3つ目は、発達過程においてある特徴的行動や態度がいかにして学習されるかを理解し予測すること、そして最後が、人間の行動をいかに変容させるかを明らかにすることである。本講では、これらの課題を解明するために行われてきた歴史的研究について述べ、パーソナリティ研究の将来的展望について解説することをねらいとしている。

講義の内容・
授業スケジュール

本講では、まず、パーソナリティの本質について述べ、次に代表的なパーソナリティ理論、パーソナリティの形成発達やその変容等について解説する。
また、パーソナリティの測定と診断についても一部実施し解説する。

履修上の留意点

遅刻したり欠席したりすると、講義内容の面からして、全体的把握ができなくなるので注意すること。

成績評価の方法

基本的には年度末定期試験にて評価しますが、出席はもとよりパーソナリティにともなう検査、調査、小テストにて補助的に評価されます。

教 科 書

加藤義明・中里至正編『入門人格心理学』（八千代出版）2,060円

科目名	担当者名	配当学科	単位
学習心理学	小野 浩一 <small>の こう いち</small>	心理1・2選必	4

講義のねらい

心理学でいう「学習」は単にものを覚えたり技術を習得することではなく、もっと幅広い「行動の変化」全体を含んでいる。毎日同じような生活を繰り返しているように見えても、数ヶ月あるいは数年前の自分の行動と今の自分の行動は異なっている。たとえば、「前は嫌いだった中島みゆきの曲を聴くようになった」、「朝早く起きるようになった」、「最近友達に会うのがつらい」などいろいろな変化に気づくだろう。

学習心理学の目的は人間の行動の成り立ちや行動変化の原因を科学的に明らかにすることである。さらに望ましい行動を増加させたり問題行動を減少させたり、あるいは快適な社会関係を築く方法を探究する。従って、人間そのものに興味がある人はもちろんだが、将来ヒューマンサービスの仕事を目指す人にとっても学習心理学の知識は必須である。本講義は行動変化の2つの代表的な手続きであるレスポナント条件づけとオペラント条件づけを中心に、基礎的な知識から興味深い最新の研究までAV機器やビデオを併用して分かりやすく説明するつもりである。しかし、もともとテクニカルターム（専門用語）が多く内容も多岐にわたる領域なので、少しばかりの覚悟は必要である。

講義の内容・授業スケジュール

1. 人間と行動：行動とは何か
 - ①人間は機械ではない——「元気が出たり」「へこたれる」生体である
 - ②行動は身体の変化である、そして、身体変化の原因は環境にある
2. 学習についての基礎知識
 - ①3種類の環境変化がある
 - ②2種類の行動があることを理解しよう：レスポナント行動とオペラント行動
3. レスポナント行動（刺激に誘発される行動）の学習
 - ①レスポナント条件づけの仕組み
 - ②レスポナント条件づけの基本現象：般化、弁別、消去
 - ③レスポナント条件づけはパブロフの条件反射だけではない：評価条件づけ、免疫機構の条件づけ、意識、感情の条件づけ
 - ④レスポナント条件づけについての新しい発見と考え方：味覚嫌悪学習、関係性の学習、複合刺激の学習
4. オペラント行動（結果によって変化する行動）の学習
 - ①結果の重要性——通行禁止！「忠告」「貼り紙」はなぜ効かない？
 - ②オペラント条件づけの基本：3項強化随伴性
 - ③新しい行動の獲得：動物実験に学ぶ
 - ④行動を変化（増加、減少、維持、消失）させる手続き：強化スケジュール
 - ⑤行動は時と場合そして環境によって変化する：刺激統制
 - ⑥嫌悪刺激による行動の変化——そして何もしなくなった
5. ことばと行動——言語はオペラント行動である
 - ①ことばの基本：聞き手としての行動、名前づけ、刺激等価性
 - ②ことばの働き——どんなときに何を言うのだろうか
 - ③ことばによる行動の制御：ルール支配行動と言行一致訓練
6. オペラント条件づけ研究の展開
 - ①不確実場面における行動：確率学習、迷信行動
 - ②選択行動——今の10万円と3年後の15万円では？
 - ③なぜ行動はマナー化するのか：獲得と遂行、行動変動性
 - ④性格は行動パターン：遺伝と過去経験
 - ⑤あわてるな、行動は急には変わらない：行動変化のプロセス
7. 社会的行動

競争や協力関係は環境によって作られる
8. 応用行動分析

オペラント条件づけの知見を自分自身や社会に活かす

履修上の留意点

なし

成績評価の方法

出席と定期試験による総合評価

教科書

特に指定しないが、参考資料を随時配布する

参考書等

授業時間中に適宜紹介する

その他

なし

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会心理学	はぎ 原 じゅん 秋 原 滋	心理1・2選必	4

講義のねらい

主として心理学の立場から社会心理学の諸領域を概観し、人間の社会行動の基礎となる心理的過程についての理解を深めたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期においては、自分たちの社会的環境をいかにして把握するかという問題、すなわち「社会的認知」と呼ばれる研究領域を中心に、均衡理論、認知的不協和理論、帰属理論など社会心理学の代表的な理論枠組について概説し、それに依拠して行われた実験など具体的な研究事例を詳しく紹介する。後期においては、対人コミュニケーションからマス・コミュニケーションまで幅広く「コミュニケーション」過程を取り上げるが、前者に関しては「説得的コミュニケーションと態度変容」、後者に関して「テレビの社会的機能、对人的影響」に焦点を当てて、新旧取り混ぜて社会心理学的研究の成果を紹介する。

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

前期と後期に、それぞれ筆記試験を行い、その総合点によって成績評価を行う。

教科書

特定の教科書は用いない。

参考書等

参考書は、講義を進める中で、適宜、指示する。

その他

授業の方法は講義とする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
臨床心理学	ささき ゆう じ 佐々木 雄 二	心理1・2選必	4

講義のねらい

臨床心理学に関する基礎知識を身に付ける。

講義の内容・授業スケジュール

「臨床心理学」は、「心理臨床」を実践する際の基盤となる心理学である。本講では、臨床心理学の概念について述べた後、臨床心理学の歴史、臨床心理士の資格に必要な条件、クライアントの心理、クライアントを理解し援助するための基礎となる面接法、心理診断法、心理療法、ストレスとストレス対処法などについて述べる。また具体的な事例を通して心理臨床活動の一端に触れる。

成績評価の方法

試験と出席

教科書

使用しない。

参考書等

必要に応じて資料を配布する。

心
理

科目名	担当者名	配当学科	単 位
生 理 心 理 学	谷 口 泰 富 <small>たに ぐち やす とみ</small>	心理1・2選必	4

講義のねらい

生理心理学は生理学と心理学とにまたがる領域で、行動の心理的機能と生理的機能の対応関係を研究する科学である。古くは、この問題は心と体の関係として、あるいは心身問題として多くの哲学者によって論じられてきたのであるが、今日の生理心理学は心理学的事象の生理学的解釈あるいは心理学的事象の生理学的研究を目的としている。本講は、統合的有機体としての人間の行動を解明するための生物学的基礎について学ぶことを目的とする。

講義の内容・ 授業スケジュール

1. 精神身体観とその歴史
2. 行動の生理学的基礎（神経系の構造と機能）
 - ① 中枢神経系と末梢神経系
 - ② 大脳皮質の構造と機能
 - ③ 大脳辺縁系の機能
 - ④ 下位脳幹の主たる機能
 - ⑤ 自律神経系と体性神経系
3. 感情・情動と身体反応
 - ① 情動理論
 - ② 感情・情動と身体反応
4. 初期値と慣れ
5. 感覚・学習・記憶・認知と脳活動
6. 生理心理学的測定（実習を含む）
 - ① 脳波測定とその心理学的活用
 - ② 呼吸測定とその心理学的活用
 - ③ 心拍測定とその心理学的活用
 - ④ 脈波測定とその心理学的活用
 - ⑤ 皮膚電気活動測定とその心理学的活用
7. 瞑想の生理心理学的研究とその意義
8. 人格の生物学的基礎

履修上の留意点

中学校で学習する程度の理科的教養（物理・化学・生物）が欲しい。
視聴覚教材を使用した授業や、実習形式の授業があるので欠席をしない。

成績評価の方法

出席、レポートおよび定期試験による総合評価とする。ただし、レポートの未提出者および本講での実習（模擬実験）に出席していない学生は成績評価をしないので注意すること。

教 科 書

参考資料（プリント）を配布するので教科書は使用しない。

参 考 書 等

参考書は随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
認知心理学	ながた陽子	心理1・2選必	4

講義のねらい

心理学においては心理学的事象をどのような立場で捉えるかという研究上の視点の問題がある。この立場にはいろいろあるが、そのうち主要なふたつの立場、すなわち、行動の側面に焦点をあてて考察しようとする立場と認知という側面に焦点をあてて考察しようとする立場が基礎心理学においては極めて重要な視点であるといえる。通常、前者を行動論といい、後者を認知論という。認知論の視点に立脚して心理学的事象を捉えようとする心理学は認知心理学ともよばれている。本講義は認知心理学に対する基本的知識を習得させる目的で用意されている講義である。

講義の内容・授業スケジュール

認知心理学は近年急速に発展してきている分野である。本講義では認知心理学の歴史的概観をおさえた上で、種々の最新トピックスを取り上げ、これらに対する認知心理学の基本的考え方について言及していく予定である。

履修上の留意点

本講義は心理学コースの学生の必修単位であるが、受講学生を1年目から4年目までの学生にいわばひろく開かれたかたちで開講されているので、どの学年においても履修可能である。

成績評価の方法

筆記試験のほか、出席状況などを考慮し、総合的に評価する。

教科書

特定の教科書を使用することはないが、適宜、参考書等を紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
発達心理学	ましま英俊	心理1・2選必	4

講義のねらい

本講義はエリクソン, E.H.の発達理論を中心に展開する。エリクソンの中心的概念である自己同一性 (Self-identity) 理論は、青年後期における自己確立を発達課題となす。彼は人間の一生を誕生から死に至るライフサイクル理論ならびにそれに対応する心理・社会的危機論にて説明している。それらライフサイクルを概観することにより、諸君は「自己」についての過去-現在-未来へのタイムトラベリングが可能になるのである。講義では各ライフサイクル上にて起こるライフイベントを紹介しながら発達理論を展開する予定である。

講義の内容・授業スケジュール

1. 発達理論 (認知発達理論、社会的学習理論、精神分析理論)
2. 胎児期
3. 乳児期 (信頼 VS 不信)
4. 歩行期 (自律 VS 恥・疑惑)
5. 学童前期 (積極性 VS 罪悪感)
6. 学童中期 (勤勉性 VS 劣等感)
7. 青年前期 (集団同一性 VS 疎外)
8. 青年後期 (個人的同一性 VS 役割拡散)
9. 成人前期 (親密性 VS 孤立)
10. 成人中期 (生殖性 VS 停滞)
11. 成人後期 (統合 VS 絶望)
12. エピローグ (今日の問題に対する心理学的知識の応用として)

以上のスケジュールにそって講義を進めていく。

履修上の留意点

本講義を履修される学生は、人格心理学と併せて履修すると理解しやすい。

成績評価の方法

成績は年度末定期試験にて基本的に評価しますが、年に1~2回課せられるレポート・出席も補助的評価として参考にします。

教科書

教科書は指定しません。

参考書等

参考書は資料としてプリントされたものなかで紹介します。なお配布されるプリントについては後日再配布はされませんので、各自で補うこと。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 基 礎 実 験	茅原 正・谷口 泰富 間島 英俊・佐藤 理晴 名取 志保・山岸 直基	心理2必	2

講義のねらい

現代心理学は実験という方法を取り入れることにより、飛躍的に発展してきた。言葉をかえて言えば、現代心理学の主要な部分は実験によって得られた知識によって成り立っているといっても過言ではない。従って、心理学を学ぶものは、どのような領域に関心があるものでも、必ず実験について十分習熟していることが求められる。

本実習は、心理学の各領域から5つの代表的実験を選び、実験デザイン、実施方法、結果の処理法等を実習を通して身につけることを目的とする。さらに、実験レポートの作成方法について詳しく指導する。

講義の内容・授業スケジュール

ミューラー・リエル錯視 暗記学習 重量弁別
鏡映描写 好悪判断

履修上の留意点

実習はグループ単位で実施するので、遅刻・欠席をしないこと。

成績評価の方法

出席状況（遅刻は2回で1回欠席になる）、5単元分の実験レポート、被験者経験の結果をあわせて総合的に評価する。なお、成績評価についてはオリエンテーションの時間に詳しく説明する。なお、欠席が7回以上の場合は単位の認定をしない。

教科書

心理学研究室編の『実験手引』を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学研究法	小野 浩一	心理2必	4

講義のねらい

現代の科学的心理学の知識は、論理的な思索や理論的考察によって導き出されたものではなく、具体的な実証的データの積み重ねによって成り立っている。特定の研究テーマに従って推進される1つ1つの研究の単位をリサーチといい、リサーチは、問題（目的）の設定—特定の研究デザインによるデータの収集—データの分析—結論づけ—結果の公表という一連のステップによって成り立っている。

この科目は、すでに1年間心理学を学んできた学生に心理学におけるリサーチとはどのようなものであるかを提示し、3年次以降に履修する心理学実験演習Ⅰ～Ⅵ、心理学特殊演習、演習、卒業論文へと発展させていくように設置されたものである。

心理学の研究には心理学の専門用語についての最低限の知識が必要である。そこで本講義のサイドワークとして、1年間を通じて1,000語の心理学用語（日本語と英語）を学習するプログラムを取り入れている。

講義の内容・授業スケジュール

1. 心理学研究法総論

- ① イントロダクション：心理学におけるさまざまなアプローチ
- ② 心理学の対象と方法：歴史の変遷
- ③ 科学的研究のプロセス：失敗例を検討する
- ④ データ収集と処理の基本：代表値と散布度を例として

2. 文献検索法

- ① 文献にはどのようなものがあるか：研究の公表方法—学会発表と論文学術論文と紀要・ジャーナル（国内および海外）のいろいろ
- ② 文献をどのように手に入れるか：Psychological Abstractの利用方法
データベースの利用・図書館の利用方法
- ③ 引用文献のはたらき：引用法
- ④ 文献からみた研究の進展課程：Kuhn（1970）の理論の応用

3. 観察法

- ① 観察法の種類
- ② 直接観察の手順：問題の設定と標的行動の選択・標的行動の定義
反応次元の選択（頻度・持続時間・潜時・強度・トポグラフィ）
- ③ 直接観察による行動測定：事象記録・持続時間の記録・潜時記録・間隔記録・瞬時タイムサンプリング
- ④ 信頼性と妥当性

4. 実験法

- ① 実験の目的：科学的心理学の目的・実験と観察の相違
- ② 実験の種類：要因決定実験と関数決定実験
- ③ 行動をコントロールしている要因：実験変数と剰余変数
実験変数の統制・剰余変数の統制・個体変数の統制法
- ④ 実験デザイン
 - 1) 多標本実験デザイン：単一グループ実験デザイン・独立2群実験デザイン・関連2群実験デザイン・多重処理デザイン
 - 2) 単一被験体法：ABA デザイン・多重ベースラインデザイン

5. テスト理論

- ① 項目反応理論と内的整合性
- ② 心理テスト作製の方法

6. 質問紙調査

心
理

成績評価の方法

出席と定期試験とレポート（授業期間中に1回提出）による総合評価

教科書

使用しない。適宜、プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅心理学	も 茅 原 ほら 正 ただし	心理3必	4

講義のねらい

複雑で、ストレスに満ちた現代、瞑想に関する科学的研究がさかんに行われ、身心に及ぼす良好なる効果が数多く発表されている。本学における「禅の心理学的研究」の成果は、国内のみならず国際的にも高く評価されている。心理学科の3年次必修専門科目としての「禅心理学」は、建学の精神を活かすものであり、禅の精神によって培われた、心豊かな「行学一如」の人材の育成を目指す、他大学には例をみない本学の特色である。

本講義では、坐禅を主とする禅の心理生理学的研究の歴史、および研究の成果について概観するとともに、実験的課題と展望、禅の心理理論、唯識の心理学などについても考察する。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は、以下のようなテーマにそって、授業を進めるつもりである。

- ・東洋の心理学の特質
- ・禅と心理学
- ・東洋的行法の研究－日本－
- ・東洋的行法の研究－外国－
- ・禅瞑想の心理・生理学的研究
- ・調身・調息・調心
- ・「普勧坐禅儀」考
- ・禅とコトバ
- ・禅の心理理論
- ・「空」の立場
- ・「有時」－存在と時間－
- ・華嚴の世界観
- ・唯識の心理学

履修上の留意点

本講義は3年次の必修専門科目であるため、出席を重視する。

成績評価の方法

年度末の定期試験のほか、課題、講義への出席状況を考慮して、総合的に判定する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

秋重義治『禅の心理学』（法政大学出版局）
 春木・清水・水沼（監訳）『瞑想の心理学』（川島書店）
 児玉和夫（監訳）『瞑想の生理学』（日経サイエンス社）
 その他、参考文献、資料等については、講義の際、詳しく紹介する。

その他

授業は主として講義の形式で進めるが、OHP、プリント等により、理解しやすいように努めるつもりである。また、坐禅堂の使用が可能であれば、禅の精神を体得するという意味で、月に一度ぐらい坐禅の実習を行う予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 実 験 演 習 I	いばら ぎ ひろ こ 茨 木 博 子	心理3選必	2

講義のねらい

臨床心理学においては、人格理解、心理療法と共に、「心理学的アセスメント」は重要な部分を占めている。とりわけ、病院臨床では心理テストの依頼が多く、将来、心理臨床の仕事を目指す者は、必要不可欠な課題である。従って本講では、心理学的アセスメントの習得を目的とした演習を行なう。

講義の内容・授業スケジュール

心理学的アセスメントを習得するということは、諸心理テストの理論の理解にはじまり、施行法、結果の整理、解釈、報告までを含んでいる。従って本演習では、受講者が検査者、被検査者になり、実際に心理テストを実施することによって、より具体的、体験的にアセスメントを学習できるよう進める。取り上げる心理テストとしては、質問紙から投影法（描画テスト、ロールシャッハ・テスト）まで、よく使われているテストをあつかう。

履修上の留意点

実際にテストを取ることによって、いろいろ重要な点に気づくので、出席を重視する。なお、心理学的アセスメントは、被検者の人格理解のために行なうものであって、単に自分を知りたいというような興味本位での受講はしないでほしい。

成績評価の方法

実習態度、実施した心理テストのリポート、出席で評価する。

参 考 書 等

必要に応じて紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 学 実 験 演 習 II	ち ほら ただし 茅 原 正	心理3選必	2

講義のねらい

応用心理学の諸研究を通して、文献、実験計画、方法、結果、論文のまとめ方、などを学ぶ。照明、騒音、温熱など、実際の生活場面における社会的・物理的條件が、人間の行動に如何なる影響を及ぼすか、基本的な実験を行う。

講義の内容・授業スケジュール

本年度の実習テーマとして、精神テンポや時間評価など、時間体験に関する実験、情動に関わる呼吸機能の生理学的測定、精神集中やリラクゼーションなど、身心のコントロールに関する実験等を予定しているが、受講者と相談の上、別のテーマを設定して実験を計画することも考えている。

履修上の留意点

実験演習という科目の性質から出席を重視する。実習テーマの課題レポート提出は必須である。

成績評価の方法

年度末の筆記試験、課題レポート、出席状況等、総合的に行う。

教 科 書

特に使用しないが、必要に応じて文献等の紹介をする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学実験演習Ⅳ	佐藤 理晴	心理3選必	2

講義のねらい

知覚研究においては、刺激の提示から、被験者の反応の記録、データの分析にいたるまでコンピュータが広く用いられている。本講では知覚研究に必要な技術の習得を目的とし、刺激のプログラミング、結果の分析、研究発表の資料作成など実習形式で行う。

講義の内容・授業スケジュール

前期はプログラミング言語（C++）、および実験に必要なハードウェア関連の知識について説明する。後期はいくつかの例題から研究テーマを選択し、実験計画から結果の分析、発表資料の作成までを実習形式で進め、年度末に期末試験として研究発表を行う。

履修上の留意点

コンピュータに関する予備知識は特に要求しないが、プログラミング、実験などの実習が中心となるため、課題として時間外に行う作業は多くなる。また本講は研究方法のみにテーマを絞っているため、他の感覚、知覚、認知心理学関連科目を併せて履修することを強く推奨する。

成績評価の方法

課題の提出状況、年度末の研究発表により評価する。

教科書

指定しない。

参考書等

授業中に随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学実験演習Ⅴ	小野 浩一	心理3選必	2

講義のねらい

心理学研究のプロセスを統一的に習得することを目的として、文献検索法、論文の読み方、実験デザインの組み方、実験の実施方法、結果のまとめ方、論文の書き方、口頭発表の仕方などを含めた総合的な実習を行う。

講義の内容・授業スケジュール

実習テーマとしては「感覚による音楽や飲料の識別」、「不確実場面（ギャンブルのように予測が困難な場合）における人間の心理」、「フィールドにおける行動観察」、「性格テストの作り方」などを予定している。その他、本年度は試験的な試みとして、ゲーム形式を取り入れたグループワークを随時実施し、心理学を体験的に楽しく学ぶ方法について受講生と一緒に考えてみたい（現在考案中の例：懇親会での名刺交換をゲームにした「よろしくゲーム」、モバイル時代のコミュニケーションスキル向上ゲーム「ディレクション」、劇場型オペラント行動形成ゲーム「ザ・シェイピングショウ」、集団意志決定ゲーム「戦争と平和」など）。

成績評価の方法

出席・レポート・課題への取り組みなどにより総合的に評価する。

教科書

その都度配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学実験演習Ⅵ	かるべゆきひろ 軽部幸浩	心理3選必	2

講義のねらい

本講義は、生理心理学的測定技法、機器の操作方法および資料の分析方法等についての学習を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

機器等はかなり整備されているが、受講生の数によっては、内容を一部変更することがあり得る。したがって、受講者が決定した後には計画表を配布する。

履修上の留意点

精密機器を扱うことが多く、また危険防止のためにも細心の注意をして実験をおこなうこと。受講生をいくつかのグループに分け、各グループが異なる実験をおこなう。したがって、グループ編成のためにも初回の説明会には必ず出席すること。遅刻や欠席については厳しく指導する。

なお、内容は主として生理心理学的測定であるので、予め生理心理学を受講しておくこと。

成績評価の方法

各実験終了後に提出されたレポートにより評価する。

教科書

年度始めの授業のときにあらためて説明する。

参考書等

随時紹介する。

その他

実験データの分析・統計処理は、「MS-Excel」と「Excel統計2000」を使用しておこなう。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学実験演習Ⅶ	ましまひでとし 間島英俊	心理3選必	2

講義のねらい

本演習は発達心理学領域における心理学的研究のプロセスを総合的に学ぶことを目的としています。

講義の内容・授業スケジュール

受講者は研究上必要な文献検索、実験・調査計画、またそれに必要な実験器材の操作ならびに心理検査の習熟、結果と考察のまとめ方、論文の書き方、そしてプレゼンテーションの方法について実習します。

実習テーマは発達に関することを予定していますが、別に受講者の希望があれば話し合いにて別のテーマの設定も考えています。

履修上の留意点

初回の演習ガイダンスには出席して、この実験演習の説明をきいて履修を決定してください。

成績評価の方法

出席はもとより、真摯な研究態度、並びに年2回の研究発表（個人、グループ可）に対して評価がなされます。

参考書等

教材についてはその都度コピー等にて配布しますし、参考図書については演習内にて紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学実験演習Ⅷ	勝俣 史 <small>かつ また てる ちか</small>	心理3選必	2

講義のねらい

臨床心理学の主な課題は、種々の心理臨床の領域で適用できる「心理査定法」と「心理療法」を習得することにある。しかし、多様な理論的背景をもつ「心理査定法」や「心理療法」を理解することは至難の技である。本講では、コンピタンス心理学の視点から、わが国において紹介されている主要な「心理査定法」や「心理療法」を取り上げ、それらに共通する原理があることを体得することをめざした実習を行う。

講義の内容・授業スケジュール

前期においては、コンピタンス心理学の視点からみた「心理査定法」と「心理療法」について論究する。後期においては、受講者の興味に応じた「心理査定法」（ロールシャッハ・テスト、コンピタンス尺度、ストレス尺度、インタビュー面接など）と心理療法（記憶療法＝記憶術の諸技法を媒介にした心理療法など）について実習を行う。

履修上の留意点

実習を主として行うので、出席及びレポートの提出に心がけてください。

成績評価の方法

出席、レポートの提出、課題への取り組みなどにより総合的に評価する。

教科書

その都度、資料を配布する。

参考書等

その都度、資料に記載して紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習	茨木 博子 <small>いばら き ひろ こ</small>	心理4必	4

講義のねらい

本演習は、各受講生の研究テーマに沿った個別指導および演習形式を通して、論文を完成させることを目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

受講者は、①受講者自らの研究テーマに対する構想（特に研究計画、方法）を練る、②論文の構想に沿ったデータの収集、結果の整理と分析、考察、参考文献の収集を行なう、の手續きで論文を完成させるが、その際、論文の書き方のコツも含めた個別指導、演習形式による指導、助言を随時行なう。

履修上の留意点

自分の研究テーマに協力してくださる機関や人々に対して、感謝の気持ちを忘れないことが、論文作成に不可欠であり、そのことが限られた時間内で論文を仕上げる一つのコツである。

成績評価の方法

卒業論文作成に取り組む姿勢（出席も含む）によって評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習	勝俣 史 <small>かつ また てる ちか</small>	心理4必	4

講義のねらい

卒業論文作成に必要な具体的な研究実施計画を立て、各自の生活時間を考慮に入れながら、実施可能なタイム・テーブルを作成し、できるだけ早期の実施に努める。

講義の内容・授業スケジュール

受講者各自の研究テーマに即して計画的に指導を行う。
①研究テーマの確認、②文献研究状況の確認、③研究方法の確認、④得られた資料の分析の観点・方法の確認、⑤考察の視点の確認などのそれぞれのステップの確認をしながら、卒業論文の完成をめざす。それぞれのステップ毎に中間報告の機会を設ける。

履修上の留意点

正規の演習時間外にも、必要に応じて、面接及びe-mailでの相談に応じるので積極的に取り組まれない。

成績評価の方法

各ステップでの中間報告（レポート）、出席状況、取り組みの姿勢などにより評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習	佐々木 雄二 <small>ささき ゆうじ</small>	心理4必	4

講義のねらい

受講生各自のテーマに合わせた卒業研究・卒業論文作成に必要な指導を行う。

講義の内容・授業スケジュール

最初に受講生各自が、関心の強い研究テーマを発表し、そのテーマに適した研究方法(調査・実験)や具体的な実践手続きなどについて指導する。研究の「構想発表」「中間発表」の時間を設ける。

成績評価の方法

出席と発表内容、発言などによって評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習	谷 口 泰 富 <small>たに ぐち やす とみ</small>	心理4必	4

講義のねらい

本講は、主として卒業論文作成に関する詳細な実験計画やデータの分析方法等について解説し、各自が自分の研究を心理学の各領域の中に位置づけられるようにすることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

学生一人一人の研究テーマに沿った形で計画的に指導を行う。従って、当該時間内だけの指導では不十分であるので学生と相談の上、別の時間割を作成しそこで個別に指導を行う。

履修上の留意点

研究テーマにより個別指導が中心となる。従って、週2回以上の指導をうけることが義務となる。学生の人数によっては、早朝や深夜の指導もあり得るので留意されたい。また、遅刻や欠席は厳に慎まれたい。なお、ゼミ決定後、『卒業論文作成カルテ』を配布する。このカルテに従って進行すれば論文が完成する仕組みになっている。

成績評価の方法

課題報告(毎週)の内容、レポート、卒業論文の質的側面から評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習	茅 原 正 <small>ち はら ただし</small>	心理4必	4

講義のねらい

卒業論文の作成指導を中心におこなう。各人のテーマに関わる問題点の指摘や研究のすすめ方、論文の書き方など、具体的な指導をおこなう。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、テーマの決定・参考文献・資料の収集・分析、実験・調査の計画、論文の構成など、文献研究を中心に、問題点を整理して構想を練る。
後期は、実験・調査のデータ整理、結果の報告、論文構成の決定、執筆というスケジュールで、各自が研究の成果を検討・考察して中間報告をおこない、発表・討論を経て論文の完成を目指す。

履修上の留意点

前期は、卒業論文の構想について文献的研究中心の中間発表。
後期は、随時、関連する論文の内容の紹介や、実験・調査の結果報告や卒論の具体的内容について発表・議論してもらおう。

成績評価の方法

出席および発表・討論に対する積極性を重視し、評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習	なが た よう こ 永 田 陽 子	心理4必	4

講義のねらい

本演習は卒業論文の作成指導を主としている。従って、各受講者の論文の完成を最終目標として、そのための文献研究、実験の計画とその実施、結果と考察のまとめ方、論文の書き方、さらに口頭発表の仕方を指導することが本演習の目的である。

講義の内容・授業スケジュール

受講者各自の論文テーマに則した実質的・具体的な指導を個別かつ演習形式で遂行していく。受講者は各自のテーマについて個別に指導を受けると同時に、演習時にその研究経過を発表し、他の受講者からの意見・討論などを通じて、論文の完成を高めていくことになる。

履修上の留意点

各受講者の卒業論文に関わる面接を随時行う。

成績評価の方法

演習時における年間を通じた研究姿勢によって評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習	お の こう いち 小 野 浩 一	心理4必	4

講義のねらい

受講者各自の卒論テーマに則した指導を行うと共に、行動分析学について学ぶ。行動分析学はスキナーによって始められたオペラント条件づけの研究に端を発するが、現在では基礎研究のみならず、応用行動分析として人間社会のさまざまな問題に取り組んでいる。本演習では、基本的文献を題材に関連する諸問題について議論する。

演習形式による行動分析学の学習と卒業論文の指導を平行して行う。

講義の内容・授業スケジュール

正規の演習の時間の他に各受講生と卒論テーマについての面接を随時行う。

成績評価の方法

出席と平常点によって評価する。

教 科 書

本年は、次の文献をテキストに使う予定である。

Skinner, B. F. 1987. "Whatever happened to psychology as the science of behavior?" American Psychologist, 42, 780-786.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演 習	ま じま ひで とし 間 島 英 俊	心理4必	4

講義のねらい

本演習は卒業論文の作成を最終目的としています。したがって、論題(卒論テーマの決定)、問題(文献研究)、目的・方法(研究計画とその実施)、結果・考察(研究結果の分析、議論)のスケジュールにそって、指導がなされます。

講義の内容・授業スケジュール

基本的には受講者各自の研究テーマにそって、上述のスケジュールに則った具体的指導が個別になされます。演習という性格から、受講者は、1. 卒論テーマの設定 2. 文献研究法 3. 研究計画および実施 4. 研究結果の考察、議論についてゼミでの発表、意見、討論をとおしてお互いの研究向上を目指すこととなります。

履修上の留意点

演習時間内では、上述の1~4の発表、意見、討論ならびに個別指導がなされますが、個人の研究の進捗状況によっては演習時間外も指導します。

成績評価の方法

出席はもとより演習における真摯な研究態度に対して評価がなれます。

心
理

科目名	担当者名	配当学科	単 位
環境心理学	おのりゅうぞう 大野 隆造	心理2・3・4選	4

講義のねらい

人間は環境を操作・改変し、逆に環境は人間の心理・行動あるいは発達に影響を及ぼす。この人間と環境との相互作用を理解することは、住みよい建築・都市を構想する上で重要である。本講義では、人が環境をどのように知覚し、判断し、記憶し、評価しているか、また対人的な社会行動において環境がどのように影響するかなどについて講じる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 環境心理学の沿革
- 2 環境心理学と環境デザイン
- 3 環境知覚の特性
- 4 環境認知とイメージ
- 5 小空間のエコロジー：テリトリー・プライバシー
- 6 環境デザインと防犯性
- 7 子ども、老人、ハンディキャプトの知覚と行動
- 8 環境の伝える意味
- 9 環境知覚・認知の文化差
- 10 環境心理を捉える調査・研究方法
- 11 環境を記述する方法・環境シミュレーション
- 12 環境設計のデザインガイドライン

成績評価の方法

講義中に課す演習レポートおよび期末試験により評価

参考書等

日本建築学会編『人間環境学—よりよい環境デザインへ—』（朝倉書店）、1998
中島・大野編『人間行動学講座第3巻「すまう」』（朝倉書店）、1996

科目名	担当者名	配当学科	単 位
児童心理学	よこやま つよし 横山 剛	心理2・3・4選	4

講義のねらい

人間の心身の形態や機能の変化の過程、それに伴う行動の体制化の様相、変化を支配する規制や条件などを考えていく。授業では、年令的に全生涯を見通しながら、受胎から学童期を主に扱う。具体的には、各段階の、身体・運動、知覚・認知、言語、記憶、思考、情緒・パーソナリティ、社会性の発達を概説していく。また、精神保健・臨床心理の知見も含めてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

(詳細な講義スケジュールについては、最初の授業に提示する)。

履修上の留意点

授業中、受講者に質問したり、感じたことなどを書いてもらうことを予定しています。履修しようとする方は第一回から必ず出席し、教科書を持参し積極的に参加して下さい。

成績評価の方法

平常点+レポート課題+試験

教科書

山内宏太郎編『人間の発達を考える 上』（北樹出版）

その他

プリント資料・最近の学会誌論文・VTR・スライドも使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
老年心理学	なかぎと 中里 かつはる 克治	心理2・3・4選	4

講義のねらい

本講義のねらいは老年期の心理を理解することにある。心理学は自分の体験から出発することが大切なので、単に客観的事実を学ぶという態度ではなく、まず、自分の親の問題であり、やがては自分の問題となることであること、また、気づいた時から老年期への備えを始める必要があることを前提として、学んで欲しい。

老年期は衰退の時期とのみ考えられてきたが、成長の時期でもある。また、正常な加齢（老化）と病的な加齢（病気）を区別することも大切である。一生涯にわたる発達の完成期である老年期の発達を生涯発達の枠組みの中で学んで行く。

教科書

下仲順子編『老年心理学』（培風館）1997 1,995円

科目名	担当者名	配当学科	単位
健康心理学	いなまつ のぶ 稲松 信雄	心理2・3・4選	4

講義のねらい

従来の生理学的ストレス理論を出発として生理心理学の基礎、神経系の概略を学び、W. B. Cannon & H. Selye の学説を理解し、内分泌、免疫系に多少言及する。Psychological Stress を中心に Stressor Agents の認知、評価の問題を扱い、それと最近のトピックである精神神経免疫学 (Psychoneuroimmunology) を関係づけて、最後に psycho の部分の感情、に焦点をあて、無力性の情動 (Asthenic Emotion) の統御の必要性を学習し、感情と密接な動機や人格、発達についても健康の面から言及する。後期は認知の変容、積極的思考・感情の養成や、長寿高齢者の良き適応例を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容は以下のような項目となる

- ①序：健康心理学について精神活動と心の重要性
- ②精神活動と身体反応との関係
- ③心理学的ストレスと生理学的ストレス
- ④ストレスと情緒反応
- ⑤情緒の生理学的機構
- ⑥情緒の分類と感情の統御
- ⑦情緒と精神神経免疫学
- ⑧情緒と欲求との関係
- ⑨感情&ストレスと健康の総括
- ⑩積極思考の涵養
- ⑪長寿高齢者の良適応

履修上の留意点

外国語を英語で受験した人が望ましい、英文の補助プリントを使用する時がある。

成績評価の方法

最終講義時間に筆記試験を行う。多肢選択形式と記述式を併用する。出席を加味する。(但：履修者が20名以下の場合 前・後期それぞれレポート提出で評価する)

教科書

教科書として『健康心理学：資料集』（東邦大学医学部心理学研究室編）を使用する（授業開始時に配布：実費徴収）、その他随時補助プリントを用いる。

参考書等

Rober J. Gatchel *et al.* *An Introduction to HEALTH PSYCHOLOGY—Second Edition* (McGraw-, Inc.)

その他

講義を中心とするが、ビデオや OHP を使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
比較行動学	こうしまかずこ 幸島和子	心理2・3・4選	4

講義のねらい

カルガモの一家はなぜ行列を作って歩くのだろう。ウグイスはなぜ春にさえずるのだろう。どうして雄と雌がいるのだろう。ゴクラクチョウの雄はなぜ美しいのだろう。私達はなぜ日本語が話せるのだろう。赤ちゃんはなぜかわいいのだろう。

比較行動・エソロジーはこのような問いに生物学の立場から答えようとする学問である。もちろん、人間もその研究対象である。

講義の内容・授業スケジュール

前期には、主に行動研究の歴史に加えて、行動のしくみやはたらき、発達等に関する行動学の基礎的概念の理解を目的とした講義を行う。人の行動についても言及する予定である。

後期には、動物の環境認識やコミュニケーションに加え、行動が動物の生存にどう役立っているかという視点に立って、採餌行動や配偶行動や利他的な行動の進化などについて講義する。

行動という生物の一つの形質に焦点をあてた講義であるがこれをおして、生物の進化そして、動物の多様性、ヒトの特徴などに対する生物学的な見方を身につけてもらいたい。

講義内容がより具体的にイメージできるよう、できるだけ多くの映像資料（ビデオ、スライド、OHP）を用い、動物達の野外での生き方を提示しながら講義を進める予定である。また、講義に加えてマン・ウォッチング（人間の行動観察）実習を行う予定である。

成績評価の方法

講義の進行にあわせて与えるテーマについての簡単なレポートと期末試験の得点に基づいて評価する。

参考書等

随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
精神医学	こう 黄ミンシュク	心理2・3・4選	4

講義のねらい

精神疾患を生物学的精神医学の観点から理解することが講義のねらいである。将来、心理系・福祉系の職務に携わる者に必要と思われる臨床上の知識を学習・理解することを主な目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は機能性（内因性）精神病、神経症性障害の理解と精神科診断学の方法論（総論）を主な授業内容とする。後期は中毒性精神病、痴呆などの脳器質的疾患、人格障害、児童・思春期精神障害などを主な授業内容とする。

成績評価の方法

筆記試験（本試験）により成績評価をする。

教科書

特に定めない。

参考書等

特に定めない。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学特講Ⅰ	デワラジャ, R. D.	心理2・3・4選	4

講義のねらい

この講座では、主に「行動療法」がよくつかわれる臨床心理学および医学心理学的な問題を概観し、その心理的問題が、「行動療法」を用いてどのように治療されているのか、その実際を事例研究（ケーススタディ）を通して学習し、クラスディスカッションによって理解を深めていく。そしてこの講座の終わりには、心理的問題を行動心理学的な立場から理解することを目指している。また適宜、心理学用語を英語で教示していくので、専門用語の習得にも役立ててほしい。

講義の内容・授業スケジュール

<http://www1.accsnet.ne.jp/~ratnin/>を参照のこと。

履修上の留意点

各学生が、積極的にディスカッションに参加することを望む。

成績評価の方法

出席と平常のディスカッションでの参加態度・内容で評価する。さらに個人またはグループ単位で、「行動療法」の事例研究（ケーススタディ）を一つ選んで学習発表してもらい、そのディスカッションの内容も評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学特講Ⅲ	すずき じゅんいち 鈴木 順一	心理2・3・4選	4

講義のねらい

心理臨床の分野で、集団の持っている相互の啓発・成長・治療効果などを活用したグループ・アプローチがある。第1の潮流を精神分析、第2の潮流を行動主義として、第3の潮流と言われている人間性心理学や、第4の潮流とも言われているトランス・パーソナル心理学などを背景にするワークショップで、特に盛んに実施されています。本講座では、エンカウンター・グループ、サイコ・ドラマ、交流分析、ゲシュタルト療法などの成長志向の強い集団心理療法を、ワークショップ（体験学習）形式で学んでいきます。

講義の内容・授業スケジュール

構成的エンカウターのリレーション（人間関係）づくりから始め、メンバー相互の人間関係を深めながら、自己内及び自他のコミュニケーションと気づきを促進する技法を体験的に学んでいきます。

履修上の留意点

体験的学習という性格上、出席して参加体験することが必要です。皆の同意が得られるならば、長時間の集中的ワークショップを実施するかも知れません。

成績評価の方法

出席点とレポートなどの平常点で評価します。

教科書

特にありません。

参考書等

必要に応じて紹介します。

その他

講義形式の概念学習ばかりに慣らされてしまっている人にとっては、体験学習の全体参加性にとまどいと面白さを実感できるでしょうし、その重要性にも気づかれるでしょう。欠席しがちな人は、履修しないで下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理検査法 I	前期：佐藤 高代 後期：西脇 淳	心理2・3・4選	4

講義のねらい

本講義では、心理検査法のうち、前期には〈知能検査とその関連領域〉を、後期には〈投影法心理検査〉を学ぶ。この二領域の検査は、検査場面自体が対人関係場面である（検査者と被検査者が同じ場面に身を置き、課題を提示したり言葉を交わしたりしながら検査を執り行う）ものが多い。

前期の〈知能検査とその関連領域〉では、知能・発達検査を中心に講義する。これらは構成度の高い課題を遂行する検査であり、「自分が何を検査されているか」「（親への質問によって児童の発達を測る場合）我が子の発達のどの点を検査されているか」が被検査者にも伝わりやすい。自身の知的機能の低下や、我が子の発達の遅れなどを自覚している場合、検査されることで緊張や不安が高まることもある。従って、これらの検査を理解するためには、検査の特徴と共に被検査者の立場についても学ぶことが必要である。講義では、検査の有用性と限界、利用の注意点などについても考えたい。

後期の〈投影法心理検査〉では、その施行・解釈技法をしっかりと身につけるためには、系統的かつインテンシブな専門トレーニング（大学院や各種研修機関などでの専門教育）が必要な領域である。将来このような専門トレーニングを受けることを希望している学生は、講義を通じて、その土台となるであろう投影法の基礎的理解を体得し、心理アセスメントの基本的な構えを身につけてもらいたい。後期の講義では、（心理学の専門家を目指す者も目指さない者も）全ての受講生が、投影法心理検査に関する基本的な知識と教養を身につけることを第1の目標とする。また、知識の習得にとどまらず、投影法心理検査を施行する際に不可欠であるところの「相手の話したことを素早く正確に書き取る力」、検査結果の解釈の際に必要となる「自分の感じていること（わかったこと）を根拠を提示しながらまとめる力」を高めることが、後期講義の第2の目標である。

講義の内容・授業スケジュール

（前期）

1. 心理検査とは何か
心理査定とは何か、発達・知能検査の位置づけ
2. 発達検査について
津守式、デンバー式など
3. 知的機能の検査について
（個人）WAIS-R、田中ビネー、痴呆のスケール、RPCM、コースなど
（集団）京大NX など
4. 発達・知能検査の実際
テストのバッテリーと施行のインターバル、検査の見方・まとめ方、疾患との関連

（後期）

1. 投影法心理検査について
心理アセスメントと心理検査、心理検査と投影法、なぜ査定するのか？、何が査定できるのか？
2. 各種投影法心理検査の実際（成り立ち、背景理論、歴史、適用、施行（実習））
ロールシャッハ・テスト、TAT、SCT、描画法、その他の投影法
3. 心理アセスメントの実際
査定結果の活かし方、受け取る側にわかるような査定結果の報告

履修上の留意点

前期・後期の授業初日に、授業の進め方や注意事項、成績評価についての説明を行う。履修希望者は各期の初日に必ず出席のこと。

実習では、受講生同士が検査者＝被検査者の役割を交換して行なうので、休まずに出席することを前提とする。やむなく欠席した場合は、個人の責任において実習や提出物に関するフォローを各自が行なうこと。

また、本講義では、各領域にわたる心理検査全般を扱っていない。検査法に対して幅広い基礎知識を身につけたい者は、「心理検査法II」の授業も履修することが望ましい。（両講義を同時に履修しても可。異なる年度にどちらから履修しても可）

成績評価の方法

出席を重視する。前期、後期とも、提出物（感想文、授業ノート、レポートなど）を課する。学年末に定期試験を行なう。

教科書

講義において指示する。

参考書等

必要に応じて指示する。

そ の 他

実習や提出用授業ノート作成など、個人学習のウェイトが大きいと思われる。また、検査者・被検査者体験を伴うため、相互の体験を共有するグループ・ディスカッションの場を持つ予定であり、レポート中にもそれらの体験をまとめた記述が必須となる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
心 理 検 査 法 Ⅱ	<small>いな</small> <small>どみ</small> <small>まさ</small> <small>はる</small> 稲 富 正 治	心理2・3・4選	4

講義のねらい

臨床心理学の中にあり、重要な位置を占める「心理検査」は、人の性格、情緒性、精神発達状態、知能、人間関係、病理性などがその対象で、検査の種類によってそのやり方も理論背景も違います。人を知るための技法であり、心理検査の技術の習得と理論背景の理解はもちろんのことですが、心理検査を通して真剣に人と向き合うという「臨床」を学んで欲しいと思っています。ここで扱う心理検査は、もっとも多く使われている質問紙法（Y-G、TEG、CMIなど）と神経心理学的な検査（ペンダーゲシュタルトテストなど）です。「心理検査法Ⅰ」と合わせて心理検査全体を網羅したいと思っています。

講義の内容・
授業スケジュール

1年を通して代表的な心理テストの理論と技法を学びながら、人の理解を深めるような授業を行います。臨床現場での心構えにも随時触れていきます。

履修上の留意点

人間を理解するということはどういうことなのかを真剣に考えてもらいたいと思っています。人への観察の前に自己観察をするつもりで履修してください。

成績評価の方法

「臨床」は真剣な世界です。出席はもちろんのこと平常点（授業態度など）は重視します。また、単に心理検査の結果を数字で見ただけではなく、自分の言葉を使っていかに自己分析するかを大事な評価にしたいと思います。

教 科 書

今のところ考えていませんが、必要に応じて紹介します。

参 考 書 等

教科書同様、必要に応じて紹介します。

そ の 他

心理検査を体験してもらおう実習形式やグループ討議やレポート提出なども行なう予定です。机上の空論にならないように心がけたいと思っています。

科目名	担当者名	配当学科	単位
カウンセリング	讃岐真佐子	心理2・3・4選	4

講義のねらい

カウンセリングとは、何らかの状態において心の悩みをもつ人に対して、その人自身の力が回復していくよう心理的な働きかけをする面接活動のことであり、学問的には臨床心理学をその基盤としている。カウンセリングというどうしても実践中心のように思われるが、その前に多くの知識や長期にわたる訓練が必要とされることは言うまでもない。ここではその第一歩として前期は主に知識面、後期はグループ・ワークを通して様々な角度から「カウンセリング」について広く学んでいきたく思う。カウンセラーを目指す人のみならず、自分自身の在り様、他者との関わり等考えてみたい学生諸君の参加を望む。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) I. カウンセリングとは何か — カウンセラーとクライアントの関係性をめぐって
 II. カウンセリングの主理論
 (後期) III. グループ・ワーク (主にロール・プレイを中心として)
 IV. 事例研究

履修上の留意点

授業の性質上、出席を重視する。またその日の授業への質問や感想を毎回書いて提出してもらう。

成績評価の方法

出席状況、グループ・ワークへの参加度、定期試験

教科書

必要な資料は適宜配布する

参考書等

伊東博著『カウンセリング』（誠信書房）
 河合隼雄著『カウンセリングの実際問題』（誠信書房）
 河合隼雄監修『臨床心理学』第1～5巻（創元社）
 佐治守夫・岡村達也・保坂亨著『カウンセリングを学ぶ』（東京大学出版会）

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報処理 I	中丸茂	心理2・3・4選	4

講義のねらい

現在、心理学を研究するにあたって、論文作成や心理学の実験制御のためにコンピュータの操作は「必要な技能」となっている。本コンピュータ実習では、VB (Visual Basic) を使って実験制御に必要な技術を習得することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期：VBA・VBの基本的なプログラミングの技術習得を目的とする。
 1. MS-WORD & MS-EXCEL VBA
 2. VBの基本プログラミング
 3. 心理統計のプログラミングを作ってみよう
 後期：VBを使って心理学の実験プログラミングの技術習得を目的とする。
 1. グラフィックデータの取り扱い
 2. 時間制御
 3. アプリケーションソフトの利用方法
 4. 心理学実験のプログラムを作ってみよう

履修上の留意点

自主性、積極性を重んじる。

成績評価の方法

下記2つの課題により評価する
 前期：オリジナルの心理統計プログラムの作成
 後期：オリジナル心理学実験のプログラムの作成
 (マニュアルの作成を含む)

教科書

1. 『30時間でマスター Visual Basic』（実務出版）
 2. 『はじめての Visual Basic6.0 グラフィックス&ゲームプログラミング』（技術評論社）

参考書等

『Visual Basic6.0 パーフェクトマスター』（秀和システム）
 池谷ら『2001 Visual Basic 逆引き大全 500の極意』（秀和システム）

心
理

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報処理Ⅱ	まさの野 すすむ 晋	心理2・3・4選	4

講義のねらい

本講義では、コンピュータ実習や情報処理Ⅰなどを通じて身に付けたコンピュータ・リテラシーを十分に活用し、情報処理に関するより深い理解とより高度な技術の習得を目的とする。具体的な主な講義内容は次のとおり。まず、計算機・情報処理、コンピュータ・ネットワークやインターネットに関する基礎知識の習得を行う。この単元は主に講義形式になる。次に計算機を使ったデータ解析を中心に行い、コンピュータを用いて卒業論文レベルの実験データの分析が独力で可能となることをめざす。実習にはPC-SASを使用する予定だが、単に統計パッケージの使い方をマスターするのではなく、統計的手法の基本を含めて学習する。

講義の内容・授業スケジュール

授業は講義形式に加え、主に実習形式で行う。1つのテーマに1から5時限をあて、毎回簡単な課題の提出を求める。今年度の具体的な内容については以下に記す。

- ・情報処理概論
ハードウェアとソフトウェア、OSの理解、データの符号化と内部表現など
- ・コンピュータ・ネットワークの基礎とインターネットの現状について
ネットワークの基礎知識の習得
自分のパソコンをインターネットに接続するには？
HTML入門など（可能ならば）
- ・主にPC-SASを利用しての統計処理および分析方法の理解
データ解析と統計的手法の基礎
PS-SASの操作方法の習得
SASプログラムの書き方
- ・コンピュータを使ったプレゼンテーションの総合実習
MS-PowerPointを使ったプレゼンテーション

履修上の留意点

本講義の受講にあたっては、コンピュータ実習の単位を習得していること、または同等の知識を持っていることが条件となる。

また、本講義は実習形式で行うことが多いので、2回以上続けて欠席すると授業の内容が理解できなくなるので注意を要する。さらに、授業時間内だけでは絶対的に実習時間が不足するので、各自自習室等を利用した自習が必要となる。

成績評価の方法

出席および課題の提出を前提とし、年度末に行う筆記試験と合わせて総合的に評価する。ただし、講義の理解の程度、履修人数、実習での応用力の程度によっては期末試験を免除する場合がある。

教科書

- ・授業の中で配布する印刷教材。
- ・竹内 啓監修、市川伸一・大橋靖雄・岸本淳司・浜田知久馬著『SASによるデータ解析入門 [第2版]』（東京大学出版会）

参考書等

参考書については、授業中に適宜紹介する。

その他

年間2～3枚程度のフロッピーディスク（2HD）が必要となる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗教人類学	佐藤憲昭	心理2・3・4選	4

講義のねらい

宗教人類学は、文化人類学の視点と方法から諸民族の宗教文化について比較研究をする学問である。そして、その営為を通して「人間とは何か」という問題に答えようとするものである。本年度は、人類に根源的・普遍的な文化のひとつに数えられている「シャーマニズム」を取り上げ、宗教人類学の考え方について習得することを目指す。

シャーマニズムとは、神霊と直接交流をしながら、予言、託宣、祭儀、治病行為などの役割を果たす人物（＝シャーマン）を中心とする宗教現象である。この現象はあらゆる宗教と結びつく性格を具えている。内外の事例を紹介しながら、多角的に考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、1. 文化人類学・宗教人類学・宗教民族学、宗教民俗学、2. フィールドワーク、3. 人類学の方法論的特色、4. アニマ（霊）とmana（力）、5. 民俗宗教の特質、6. 呪術・宗教的職能者の分類などについて具体的に考察する。後期は、1. シャーマニズム研究史、2. シャーマンの特質、3. 脱魂文化と憑霊文化、4. 都市のシャーマニズム、6. シャーマニズムと仏教文化などのテーマのもとに考えてみたい。

履修上の留意点

欠席をする場合（または欠席をした場合）には、欠席届（形式は任意）を提出することが望ましい。

成績評価の方法

学年末のレポートで評価する。合格の基準は、1. 講義内容を踏まえていること、2. 参考文献を読みこなしていること、3. みずからの言葉で論じていること、の三点にある。なお、不合格の場合には、出席点を加算して最終評価を行う予定。

教科書

使用しない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学特殊演習	茨木博子	心理3選	4

講義のねらい

本演習は、卒業論文執筆に向けての準備段階として、受講者が日ごろ興味、関心のあるテーマを積極的に発表し、明確にしていくこと、およびそのために必要な手続きや参考文献を調べることが目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

特に臨床心理学領域で関心を抱いた独自の研究テーマを明確にし、そのテーマに沿った研究計画および方法を具体化していくための個別指導、演習形式の指導を行なう。その際、構想発表会、途中経過の口頭発表会などを開き、討論する他、文献講読も行なう。

履修上の留意点

卒業論文は、受講生にとって初めての研究であり、「自分は、このテーマで研究したい」と思うことが大切である。従って、探し求めたテーマは諦めないで取り組んでもらいたい。

成績評価の方法

出席、口頭発表、レポートなどによって総合的に評価する。

参考書等

研究に必要な参考書、文献を随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学特殊演習	かつ また てる ちが 勝 俣 暎 史	心理3選	4

講義のねらい

この演習は、4年次必修の「演習」とともに、卒業論文作成に係わる授業である。従って、卒業論文に結合できるテーマの選択、卒業論文研究に着手するために必要な手続きなどを視野に入れながら、受講者各自の関心を発展させるため必要な作業を行う。

講義の内容・
授業スケジュール

前期においては、①研究テーマの決め方、②研究課題の絞り方、③文献研究のあり方、などについてガイダンスを行った後、各自の研究テーマを決め、文献研究を行い、主要な研究論文について発表する機会を設定する。後期においては、卒業論文研究の実施計画を視野に入れながら、実施に必要な具体的な作業（事例研究に必要な準備、質問紙調査に必要な材料の準備など）を行う。

履修上の留意点

研究に取り組む楽しさを体験できるように、積極的な意欲をもって取り組んで欲しい。

成績評価の方法

年間を通じた取り組みの成果や姿勢を総合して評価する。

教科書

なし

参考書等

なし

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学特殊演習	まさき ゆう じ 佐々木 雄 二	心理3選	4

講義のねらい

4年次の卒業論文作成へ直結する演習である。したがって本講を受講する過程で、自分の卒業研究のテーマを見出し、具体的な研究計画を立てていくことになる。

講義の内容・
授業スケジュール

①最近発刊された臨床心理学やカウンセリング心理学、健康心理学領域の専門誌（原則として英文誌）からゼミ生自身が関心のある論文を探し、2、3編選んでくる。②その中から講師が指定する1編を訳し、原文、全訳文、抄訳文、参考資料をつけて提出する。提出資料をゼミ生全員に配布し、その論文の要点を説明した後、論文の展開に従って研究課題、具体的な研究目的、対象、実験や調査などの方法、結果の分析、検討内容、今後の課題などについて発表する。③その発表に基づいて質疑応答を行う中で、ゼミ生自身の臨床心理学研究の課題を見つけ、方法論を学び、卒業研究の準備にあたる。

成績評価の方法

発表および質疑応答の内容に基づいて評価する。

参考書等

本学図書館で閲覧可能な心理学領域欧文誌の「一覧表」を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学特殊演習	谷口泰富	心理3選	4

講義のねらい

4年次の卒業論文が必修となっているが、実証的研究の時間としては1年間では不十分である。そこで本講では、将来の卒業論文作成に関する基礎的問題を演習形式にて検討することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

本講では、学生が自分の関心のある研究領域を決定するための助言を行い、卒業論文作成のための文献講読や予備実験等についての指導を行う。

履修上の留意点

本講では、特に生理心理学や人格心理学の領域にしぼった形での指導が中心となるので、学生も予め自分の興味のある分野について考えておくことが望ましい。また、演習形式にて実施するので、課題やレポートの提出回数は多くなる。従って、そのための時間が充分であることが必要である。なお、遅刻や欠席については厳しく指導する。

成績評価の方法

研究報告書や課題レポート（一人一人異なる）により評価する。

参考書等

随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学特殊演習	茅原 正	心理3選	4

講義のねらい

3年次選択の「心理学特殊演習」は、対話討論方式の授業によるもので、4年次必修の「演習」に準ずる性格をもつ。したがって、この演習は卒業論文作成の準備段階としての役割を担っており、学生も2年間かけて卒論研究に取り組むことになるので、各人が、関心をもった自己のテーマをよく考慮した上で選択されたい。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕
意識の問題、心理的時間、瞑想の心理・生理、身心の統御、呼吸法などに関する欧文文献を輪読する。
〔後期〕
各自がテーマとする分野に関する報告を義務付ける。特に、年度の後半においては、各自の研究成果の発表、質疑応答を通して問題点を認識し、4年次の卒論作成に備える。

成績評価の方法

出席および発表・討論に対する積極性を重視し、評価する。

教科書

R. E. Ornstein The Psychology of Consciousness の予定である。
プリント配布。

参考書等

参考書・文献等については、随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学特殊演習	なが た よう こ 永 田 陽 子	心理3選	4

講義のねらい

本演習は4年次に提出の卒業論文を2年間かけて作成することを希望する3年次の学生を対象として設けられた演習である。従って、受講者が卒業論文のための各自の主題を明確にし、そのための文献研究や実験・調査の準備を行うことが本演習の目的である。

講義の内容・授業スケジュール

前半は、受講者各自の論文テーマを明確にするために、文献研究を中心に行う。後半は、その研究テーマをもとにした具体的な研究方法について検討する。受講者は各自のテーマについて個別に指導をうけると同時に、演習時にその研究経過を発表し、他の受講者からの意見・討論などを通じて、4年次の卒業論文に備える。

履修上の留意点

各受講者の研究に基づく面接を随時行う。

成績評価の方法

口頭発表とレポートによって総合的に評価する。

参考書等

必要な参考図書および文献を演習時に随時提示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学特殊演習	お の こう いち 小 野 浩 一	心理3選	4

講義のねらい

本演習は、卒論2年間コースを希望する学生のための3年次の演習である。3年次においては各自テーマを決定し、そのテーマについての学習を行い、データ収集の準備（できれば予備実験や予備調査）を行う。

演習は、テーマが近いもの同士でグループを作り、各グループが共通の問題について論文を調べたり、議論した成果をさらに全体の場で討議するという形で進める予定である。

履修上の留意点

正規の演習の時間の他に各受講生と卒論テーマについての面接を随時行う。

成績評価の方法

出席・レポート・課題への取り組みなどにより総合的に評価する。

参考書等

米国科学アカデミー編『科学者をめざす君たちへ』（化学同人）1996年
B.F.スキナー『罰なき社会 行動分析学研究第5巻第2号』1990年

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学特殊演習	間島英俊	心理3選	4

講義のねらい

本演習は4年次の卒業論文作成を2年間かけてじっくり構想をかさね、より質的に高い研究をするための3年次の演習であります。そのために、4年次の演習の「講義のねらい」に準拠します。

講義の内容・授業スケジュール

4年次の「演習」の講義のねらい、講義内容・授業スケジュールをそのまま当てはめることができます。ただし、時間的には余裕がありますので、この演習では各自の研究テーマの設定のために、前期はエリクソン、E.Hの理論を中心に進め、後期は研究テーマの設定、研究計画および実施まで辿り着きたいと思います。

履修上の留意点

基本的には上述のように4年次の演習に結びつくことがねらいですが、履修届けの前に一応どんなことに興味をもって卒論として取りくみたいかを話し合いたいと思います。その上で、本演習を希望するのであれば履修していただきたいと思います。

成績評価の方法

出席、レポート、発表、討論等演習における真摯な研究態度に対して評価がなされます。

参考書等

参考書、文献等については随時紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
産業・職業社会学	山田信行	心理1・2・3・4選	4

講義のねらい

“労使関係”をキイ概念として、産業社会学を体系的・概論的に講義する。

講義の内容・授業スケジュール

講義は2部から構成される。第1部（前期）では、産業（・職業）社会学の主要な分野について日本での事例について紹介しながら概説する。

第2部（後期）では、“グローバル化”をポイントにして労使関係の歴史比較分析を行う。具体的な講義プランは、以下のとおり。

第1部 現代日本の産業・労働・職業

1. 産業（・職業）社会学の対象・方法・課題
2. 労使関係とはどんな関係なのか
3. 賃金・雇用・労働者
4. 労働者の統制と参加
5. 労働組合と労働運動
6. 技術革新と技能の変化
7. 国家と労使関係
8. 変容する産業・労働・職業の世界

第2部 労使関係の国際比較

1. グローバリゼーションと労使関係
2. インダストリアリズムと多元的資本主義発展
3. アメリカ合州国と不自由労働
4. 資本・賃労働の国際化と日本的労使関係
5. 周辺社会マレーシアの労使関係と資本主義発展
6. 労使関係と社会変動・再論

履修上の留意点

必修科目ではないので、自覚的な参加を希望する。

成績評価の方法

主として、学年末試験による。

教科書

山田信行『労使関係の歴史社会学』ミネルヴァ書房

参考書等

適宜、指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会病理学	やまもと いさお 山本 功	心理1・2・3・4選	4

講義のねらい

まず、社会病理学の基本的概念・方法・研究領域について概観する。まず、従来のオーソドックスな社会病理学の概念・学説史をとりあげ、最後に近年注目を集めている社会構築主義について紹介する。

ついで、様々な「社会病理現象」のうち、犯罪・非行を中心に取り上げ、犯罪学を紹介する。少年の「凶悪化」が叫ばれ、2000年秋に少年法が改正されたが、少年が「凶悪化」したと言えるのだろうか。また、何かしら事件が起こるたびにメディアでは「親が」「学校が」「社会が」と様々な原因が論じられるが、それらは妥当なのだろうか。そもそも、犯罪や非行についてどうして人は語りえるのだろうか。

講義の内容・授業スケジュール

【前期】第1回 イントロダクション「社会病理」とは何か 第2～4回 「社会病理」の基礎概念と社会病理学史 第5～8回 「社会病理」現象の具体的諸相 第9～13回 「社会問題」論と社会構築主義

【後期】第14～16回 「犯罪」「非行」概念 第17～19回 人はどうして犯罪について語りえるのか犯罪報道、公式統計、暗数問題 第20～24回 実証主義的犯罪原因論 第25～26回 ラベリング論と社会構築主義

履修上の留意点

webに参考資料をアップする。ネット環境が整っていることが望ましい。携帯電話では不可。

成績評価の方法

定期試験結果で評価するが、適宜行う小レポートを加味する。

教科書

米川茂信『現代社会病理学』（学文社）3,398円 ISBN4-7620-0392-1

参考書等

守山正・西村春夫『犯罪学への招待』（日本評論社）1999年
 澤登俊雄『少年法』（中公新書）2000年
 鮎川潤『少年犯罪』（平凡社新書）2001年
 中河伸俊『社会問題の社会学』（世界思想社）1999年
 平英美・中河伸俊編『構築主義の社会学』（世界思想社）2000年
 矢島正見『少年非行文化論』（学文社）1996年
 法務省編『犯罪白書』
 警察庁編『警察白書』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
家 族 社 会 学	まつのぼ 松 信 ひろみ	心理1・2・3・4選	4

講義のねらい

本講義では、現代の結婚と家族にかかわる現象や問題を社会的な観点から考察する。シングルが増加、少子化、高齢化など、結婚や家族をめぐる諸現象が数多く指摘されているが、それらの実状のみ、あるいは、家族社会学の理論や枠組みの講義のみにとどまることなく、現代の結婚と家族を家族社会学の視点から捉えてみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

現代の結婚と家族の現状に照らし合わせながら、家族社会学の基礎も講義してゆく。教科書を使用して、以下のような項目について講義する。

1. 家族とは
2. 家族規模・家族機能の変化
3. 家族とライフコースの変化
4. 恋愛と現代の結婚
5. 性別役割分業の変化
6. 少子化と高齢化
7. ドメスティック・バイオレンス
8. 地域と家族
9. 多様な家族のありかた（欧米諸国の家族との比較）

履修上の留意点

「家族」は私たちの最も身近な集団である。漫然と講義に臨むのではなく、問題意識をもって出席して欲しい。

成績評価の方法

学年末の試験とブックレポートによって評価する。

教 科 書

増子勝義編著『増補改訂版 新世紀の家族さがし—おもしろ家族論』（学文社）2003年 2,500円

参 考 書 等

森岡清美・望月嵩著『新しい家族社会学 四訂版』（培風館）1997年 1,700円

そ の 他

基本的に教科書を使用するが、随時プリントも配布する。また、一方的な講義ではなく、できるだけ学生諸君との意見交換の場も設けたい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
宗 教 社 会 学	芳 賀 学 <small>は が まなぶ</small>	心理1・2・3・4選	4

講義のねらい

古今東西、人間社会には（形の違いこそあれ）何らかの宗教が存在し、それぞれの社会や時代の状況に対応してさまざまな役割を果たしてきました。この授業では、アイデンティティをキーワードとして、そもそも人間にとって宗教が必要である根本的な理由と、われわれの住むこの日本社会において宗教（及び宗教周辺現象）が果たしてきた（または果たしている）役割について概括的に理解することを目指しています。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) (1) オリエンテーション (2~5) アイデンティティと宗教 (6~8) 新宗教とは何か (発達段階・思想・組織・活動) (9~13) 時代の中の新宗教 (幕末から現在まで)
- (後期) (14・15) 宗教周辺現象の拡大 (16・17) 心理療法的な活動 (18~20) ネットワークビジネスとエステ (21・22) 占いとヒーリング (23・24) オウム事件と危機管理 (25・26) 自分探しのパラドックス

履修上の留意点

本講義を履修するにあたっては、以下の二点に留意してください。①有用な情報を用意しているの、可能な限り講義には出席すること。②多くの情報をどん欲に吸収すると同時に、それを鵜呑みにしないで、自分に引き付けてじっくりと考える態度を意識的に維持すること。

成績評価の方法

成績については、基本的に、夏期休暇に課すレポート(4000字程度)と年度末に行うペーパーテスト(筆記式)との総合評定で決定しますが、不定期に課すリアクションペーパーの提出状況によってはその結果に若干の加点措置を講じる予定です。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
行 政 法	鷄 徳 啓 登 <small>はい とく ひろ とう</small>	心理1・2・3・4選	4

講義のねらい

現代国家は、一般に福祉国家と言われるようになったが、我国も憲法制定後50年経過して、国外的・国内的に、社会情勢の変化に伴う新しい問題が生じてきている。国内的には戦後の経済政策の下になされた約1万件に上る規制の緩和がなされる一方で、国民の高齢化問題に対処すべく消費税率の引き上げ、宗教法人法の改正による宗教団体の規制問題など枚挙に暇がない。

本講義は、種々の行政作用を中心に行政法の輪郭を理解することをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

1. 行政とは何か 2. 行政の原則 3. 行政法の意義と解釈 4. 行政作用の分類と内容・効力 5. 行政行為の瑕疵と効力 6. 行政手続 7. 行政上の強制の方法と制裁 8. 国家による賠償と補償 9. 国民の権利侵害に対する救済の種類と手続

成績評価の方法

成績評価は出席状況と試験またはレポートによる。

教科書

原田尚彦著 『行政法要論』(学陽書房) 3,000円
『小六法』 出版社・定価各種

参考書等

塩野宏著『行政法I・II』(有斐閣) 4,000円 その他、教場にて説明。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
障 害 者 福 祉 論	きり 桐 原 宏 行 ほら ひろ ゆき	心理1・2・3・4選	4

講義のねらい

障害者福祉は、障害者が一人の人間として生活していく過程のなかで、その固有の問題をとらえ、それを権利の視点に立って把握していくことが必要になる。

この授業では、障害者援助を担うための専門職に必要な基礎的事項の学習が中心となる。具体的には、現代社会における障害の概念、障害者福祉の理念などの基礎となる考え方についての理解の促進、現行の障害者施策や障害者の相談援助活動の原則等についての知識の獲得などを旨とする。

講義の内容・授業スケジュール

<前期内容>

- ・障害特性の理解（視覚障害、聴覚言語障害、運動障害、内部障害、知的障害）（第1回～第7回）
- ・障害者福祉の理念（ノーマライゼーション、リハビリテーション等）（第8回～第9回）
- ・障害の概念（障害の構造的理解）（第10回）
- ・障害者の実態（第11回）
- ・障害者福祉の歴史（第12回～第13回）

<後期内容>

- ・障害者福祉の施策（障害者福祉に関連する法律の理解、障害者福祉における行政の役割、障害者プラン、支援費制度等）（第1回～第5回）
- ・障害者福祉サービス（身体障害者、知的障害者、精神障害者、障害児の各領域別福祉サービスの理解）（第6回～第9回）
- ・障害者福祉の分野別課題（保健・医療、教育、雇用、権利擁護、所得保障、バリアフリー等）（第10回～第13回）

成績評価の方法

前期終了時点での中間評価試験及び年度末試験を総合して評価する。

教 科 書

- ・『障害者福祉論』（コレール社）2,500円
- ・授業内容により補足資料を配布する。

参 考 書 等

授業のなかで随時指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
老人福祉論	とう じょう みつ まさ 東 條 光 雅	心理1・2・3・4選	4

講義のねらい

老人虐待の多発、家族介護の深刻化、社会保険料の負担増、老齢年金の減額、介護保険の導入等、老年期や高齢者に関する事柄が、近年富にマスメディアを賑わしている。こうした事柄が騒がれる背景は、世界一の「人生80年」という長寿化の進行と急激な少子化による日本社会の高齢化である。

わが国の高齢化の度合いはいよいよ欧米社会のそれに匹敵するまでとなり、今世紀には人類未曾有の高齢社会を迎えようとしている。その時に高齢者となるのは、現在“青・壮年期”にある人々である。これから一層高度化してゆく高齢社会、深刻化してゆく高齢者問題にどのように準備し対応してゆくかは、日本社会にとって大変重要な問題である。

本講義では、社会的対応策としての老人福祉の制度・政策についてのみでなく、対象者理解の観点から高齢者や老年期の特性をも含み、幅広く講じてゆきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期
- ・人口高齢化の意味
 - ・高齢者問題の背景
社会変動、家族変動
 - ・高齢者の生活問題
 - ・老化と老年期の身体疾患、身体障害、精神障害
 - ・高齢者の保健福祉ニーズ
ニーズ把握の方法、保健福祉ニーズの種類
- 後期
- ・老人保健福祉法制と関連施策
近年の制度及び政策の動向、老人保健法、老人福祉法、介護保険法、関連施策
 - ・老人保健福祉の供給システムと財源
供給システムとは、供給システムの仕組み（含む、シルバーサービス）、財源、マンパワー
 - ・在宅サービスの制度と処遇
在宅サービスの制度的枠組み、在宅サービスの歴史・理念・目標、在宅サービスの種類、在宅サービスにおける援助事例
 - ・施設サービスの制度と処遇
入所（入院）施設の種類と概要、社会福祉分野の入所施設、保健・医療分野の入所（入院）施設、施設における処遇、施設サービスにおける援助事例
 - ・地域及び住環境の整備と福祉機器

履修上の留意点

この授業は講義形式で進めてゆくが、適宜受講生に対して講義内容に関する質問をしたり、意見発表をしてもらうことがある。授業態度に問題がある場合には退室してもらうことがあるので、気を引き締めて履修してもらいたい。

成績評価の方法

原則的には、前期試験と年度末定期試験の平均点をもって評価する。

教科書

教科書は初回講義時に指示する。

参考書等

参考書等については必要に応じてその都度紹介する。

その他

ほぼ毎回プリント資料を配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
児 童 福 祉 論	しげやまさし 澁谷昌史	心理1・2・3・4選	4

講義のねらい

子ども家庭福祉の基礎を形成する思想、歴史、現行制度及び子どもを取り巻く諸問題の実態について幅広く学習する機会を提供し、児童福祉の基礎知識を形成することを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 子ども家庭福祉の理念－不登校への対応事例を通して
2. 子ども家庭福祉の歴史
3. 子ども家庭福祉各論～健全育成
4. 子ども家庭福祉各論～保育
5. 子ども家庭福祉各論～子育て支援
6. 子ども家庭福祉各論～子ども虐待
7. 子ども家庭福祉各論～社会的養護
8. 子ども家庭福祉各論～ひとり親家庭

履修上の留意点

児童福祉法及び児童虐待防止法はインターネットからでも入手できるので、何らかの形で入手しておいて欲しい。

成績評価の方法

期末試験によって評価する。試験会場へのノートや配布資料の持込は不可。なお、出題形式は、論述ではなく、議論する前提としての知識を習得したかを客観的に評価できるように、選択式・短答式を採用する。

教 科 書

植木信一編著『保育ライブラリ シリーズ「保育・福祉を知る」児童福祉』（北大路書房）

参 考 書 等

柏女霊峰『現代児童福祉論』（誠信書房）
全国保育団体連絡会・保育研究所編『保育白書 2003』（草土文化）
そのほか随時紹介する。

そ の 他

少人数であれば討論法を用いるが、そうでなければ講義形式で授業を進める。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
労 働 法	ふじもと しげる 藤 本 茂	心理1・2・3・4選	4

講義のねらい

今日、雇用社会は、雇用調整・リストラや能力主義人事管理の導入に見られるように大きく変貌しています。現在は、変動期にあるといえましょう。
労働法は、労働関係において生じる紛争を法的に解決する方法を検討する法領域です。この変動に無関係ではられません。
この変動期において、労働者に降りかかるさまざまな事象は、雇用関係法領域において、顕著です。たとえば、労働基準法改正、労働時間、解雇法制や男女雇用平等などです。
本講義ではこの雇用関係法領域を中心に、基礎的な知識を身につけてもらうことを念頭においています。

講義の内容・授業スケジュール

下記事項について、基礎的な知識を学びつつ、現代的課題に言及します。
詳細は第1回目の授業のときにプリントを配布して述べます。ここでは、一応の項目を掲げるに止めます。

- (1) 労働法の基礎的考え方
- (2) 日本型雇用システムの変化と労働法
- (3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- (4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
- (5) 雇用における男女平等
- (6) 労働条件の決定－労働契約、就業規則、労働協約
- (7) 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間
- (8) 人事異動－配転、出向、転籍
- (9) 雇用の出口－解雇、定年、退職
- (10) 賃金、賞与、退職金
- (11) 労働時間、時間外・休日労働
- (12) 休憩、休日、休暇
- (13) 労働災害など

履修上の留意点

出席を心がけてください。私語はNo、携帯電話はOff、内職はNo。そして無断で席を立つこともNo。いわゆる授業のマナーは守ってください。
憲法、民法、社会保障法、社会政策は履修してほしい科目です。

成績評価の方法

成績は、学年末試験がメインで、レポートなどとともに、総合的に評価します。
追・再試験は実施します。

教科書

道しるべとして、浜村彰ほか著『ベーシック労働法』（有斐閣）か浅倉むつ子ほか著『労働法』（有斐閣）のうち1冊を購入して自宅学習に使ってください。受講者は必ず、1冊は用意してください。

参考書等

概説書・参考書をいくつか、第1回目の授業において紹介します。
六法は最新のもの（法律改正があるので特に注意）。そして、労基法施行規則の載っているものを用意してください。

その他

各々の事項について法的にはどのように考えていくのか、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を挙げながら授業を進めます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
民 法	おおみや たかし 大 宮 隆	心理1・2・3・4選	4

講義のねらい

家族を研究対象とするとき、哲学・心理学・社会学・歴史・経済・医学など、さまざまな角度からアプローチすることが可能である。これを法律の視点からみると、民法という法律の中に、講学上家族法とよばれる法分野があり、民法第4編・第5編がこれに該当する。家族法は、我々の生活の中でも、結婚・離婚・親子・相続といった日常的で、親しみやすい家族生活に関する法律である。各種試験（たとえば家庭裁判所調査官）に対応できる講義をしたいと思っている。

講義の内容・授業スケジュール

1. 親族
親族の概念、範囲、効果
2. 婚姻
成立、効果、解消、婚約及び内縁
3. 親子
親子の種類、実子、養子
4. 親権
成立、効力、消滅
5. 後見及び保佐
機関、事務、終了
6. 相続
相続制度の基礎、開始、相続人、効力、承認放棄、遺留分、相続人の不存在
7. 遺言
方式、効力、執行

履修上の留意点

六法を常に持参すること。

成績評価の方法

年2回程度の小テストと年度末の定期試験による。

教 科 書

『新民法概説（3）親族・相続〔改訂版〕』（有斐閣双書）1,800円

参 考 書 等

適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 済 原 論	あさの 浅野 かつみ 克巳	心理1・2・3・4選	4

講義のねらい

現実の経済の動きを念頭におきながら、現代経済学の基礎理論を以下の順序で解説する。なお、公務員試験（その他の国家試験等）の受験対策にもなるよう必要に応じ問題練習を行うので、下記の問題集も用意してください。

講義の内容・
授業スケジュール

- I マクロ経済学
 1. 経済循環と国民所得の諸概念
 2. 所得はどのようにして決まるのか
 3. 45度線モデルとI-Sバランス
 4. IS-LM分析と財政金融政策
 5. 経済の変動と成長
 6. 賃金・物価・インフレーション
 7. 国際マクロ経済学
- II ミクロ経済学
 1. 市場と価格メカニズム
 2. 消費者行動の理論
 3. 企業行動の理論
 4. 不完全市場とは何か
 5. 市場の失敗
 6. 不完全情報の経済学
 7. リスクと不確実性
 8. 市場と企業組織の関係
- III 公共政策

履修上の留意点

経済学を勉強するうえで不可欠なことは、現実の経済問題にできるかぎり関心をもつことだ。これらはさまざまなメディアをとおしあふれるほど提供されている。特に『日本経済新聞』には毎日必ず目をとおしてもらいたい。授業でも関連する記事やデータは参考にするので、できるだけ持参してもらいたい。また必要な記事・データはスクラップ・ブックなどに整理しておく、授業だけでなく将来の就職試験などにも大いに役立つだろう。

また、経済学を理解するために数学の知識が必要だといわれるが、入門的なコースで用いる数学は高校の基礎解析あるいは代数程度で十分。必要があれば授業の中でも説明するが、要は「習うより慣れろ！」のつもりで反復練習するにかぎる。

ついでに、初心者でも使いやすいコンピュータのソフトが「駒澤大学情報センター」に常備されている。それらを利用しシミュレーションしてみることも、おもしろく経済学を学ぶ方法だろう。ともあれ、授業には必ず出席しノートをしっかり取り、予習復習を実行すれば「100点取るのも夢じゃない！」

なお授業中は、私語厳禁、勝手に席を立たないこと、ケータイなどもってのほか、以上厳守。守れない者は、直ちに退席してもらう！

成績評価の方法

定期試験とレポートによる。

教 科 書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス・改訂版』（成蹊堂）

参 考 書 等

青山『経済原論の頻出問題』（実務教育出版）
八木『基礎からステップ経済学』（実務教育出版）

そ の 他

経済学部浅野ゼミHPの『過去問コーナー』には、授業に必要な資料・参考文献、あるいは練習問題と解答などを掲載しておくので、各自でダウンロードして参考にしてもらいたい。また、質問その他どんなことでも書き込みOK！ 大いに利用してください。

心

理

Ⅲ 他学部履修科目

他
学
部

履
修
科
目

Ⅲ. 他学部履修科目

〔第1部・フレックスAで開講される他学部履修科目〕

禅学概論	〈石井修道〉	687
中国禅宗史	〈石井修道〉	687
日本禅宗史	〈佐藤秀孝〉	688
禅籍講読Ⅰ	〈石井修道〉	688
禅籍講読Ⅲ	〈岩永正晴〉	689
仏教概論	〈池田練太郎〉	689
インド仏教文化史	〈金沢篤〉	690
中国仏教文化史	〈永井政之〉	690
日本仏教文化史	〈袴谷憲昭〉	691
中国古典語初級	〈吉村誠〉	691
中国哲学史	〈前川亨〉	692
上代文学研究Ⅰ	〈中嶋真也〉	692
中古文学研究Ⅰ	〈松岡智之〉	692
中世文学研究Ⅰ	〈櫻井陽子〉	692
近世文学研究Ⅰ	〈近衛典子〉	692
近代文学研究Ⅰ	〈榎本正樹〉	693
比較文学	〈満谷マーガレット〉	693
西洋思想史	〈柴野博子〉	693
演劇概論	〈阿部由香子〉	693
日本民俗学	〈谷口貢〉	693
イギリス文学特講Ⅰ	〈石原孝哉〉	693
イギリス文学特講Ⅱ	〈高野正夫〉	693
イギリス文学特講Ⅲ	〈岡崎寿一郎〉	693
イギリス文学特講Ⅳ	〈荒井良雄〉	694
イギリス文学特講Ⅴ	〈富士川義之〉	694
イギリス文学特講Ⅵ	〈丸小哲雄〉	694
アメリカ文学特講Ⅰ	〈東雄一郎〉	694
アメリカ文学特講Ⅲ	〈足田和人〉	694
演劇特講(イギリス・アメリカ)	〈落合和昭〉	694
時事英語	〈サンダース, L. P.〉	694
地理思想史	〈吉田敏弘〉	694
地形学	〈小池一之〉	695
人口地理学	〈江崎雄治〉	695
文化地理学	〈小田匡保〉	695
応用地理学	〈高木正博〉	695
現代地理学特論	〈休講〉	
日本仏教史	〈松本信道〉	695
日本史特講Ⅶ〔近代〕	〈熊本史雄〉	695
東洋史特講Ⅲ〔近世史〕	〈趙軍〉	695
考古学特講Ⅲ〔日本石器時代〕	〈設楽博己〉	695
西洋文化史	〈石田恵子〉	696
哲学史	〈山口祐弘〉	696
産業・職業社会学	〈山田信行〉	696
マス・コミュニケーション論	〈休講〉	
社会福祉発達史	〈林千代〉	696

国民所得論	〈吉野 紀〉	697
日本経済史	〈橋野 知子〉	698
農業政策	〈溝手 芳計〉	699
教育経済論	〈谷 敷 正 光〉	700
日本経済論	〈小林 正 人〉	701
中国経済論	〈小 杉 修 二〉	702
アメリカ経済論	〈瀬戸岡 紘〉	702
EU統合論	〈 休 講 〉	
現代西欧経済論	〈 休 講 〉	
シニア・東欧経済論	〈山 縣 弘 志〉	703
財務会計論	〈小 栗 崇 資〉	704
会計監査論	〈森 田 佳 宏〉	705
管理会計論	〈石 川 祐 二〉	706
貿易論	〈古 沢 紘 造〉	707
行政法各論	〈金 子 昇 平〉	708
比較憲法	〈西 修 〉	708
西洋法制史	〈竹 中 智 香〉	709
英米法	〈北 野 かほる〉	710
英米法	〈北 野 かほる〉	711
英米法	〈若 林 亜里砂〉	712
ヨーロッパ政治論(1)	〈若 松 邦 弘〉	712
ヨーロッパ政治論(2)	〈若 松 邦 弘〉	713
国際政治学	〈小 堀 訓 男〉	713
ヨーロッパ政治史	〈浦 田 早 苗〉	714
地方自治法	〈富 井 幸 雄〉	714
比較政治学	〈木 暮 健 太郎〉	715
現代国家論	〈大 塚 桂 〉	716
比較憲法	〈 休 講 〉	
経営労務論	〈鹿 嶋 秀 晃〉	717
国際経営論	〈茂 垣 広 志〉	718
商業史	〈山 田 勝 〉	718
保険経営論	〈石 名 坂 邦 昭〉	719
財務会計論	〈渡 邊 惠 一 郎〉	720
経営分析論	〈片 桐 伸 夫〉	721
税務会計論	〈 休 講 〉	
経営情報論	〈高 井 徹 雄〉	722
情報理論	〈西 村 和 夫〉	723
経営統計	〈長 国 強〉	724
医療宗教学	〈 休 講 〉	
医療経済学	〈 休 講 〉	
異文化コミュニケーション	〈奥 原 淳 子〉	725
国語学	〈片 山 晴 賢〉	726
国語史	〈服 部 龍 太郎〉	726
女性史	〈高 嶋 めぐみ〉	727
文化概論	〈藪 部 幹 生・井上 優・佐藤憲昭・内藤寿子・藤田和美〉	727
文学特殊研究	〈小林 治・鈴木裕子・藪 部 幹 生・松田直行〉	728
古典戯曲演劇	〈岡 田 万里子〉	728
メディアと表現	〈松 田 直 行〉	729
時事英語	〈岡 本 誠〉	729

履修科目
他学部

臨床放射線特論〈休 講〉

〔フレックスBで開講される他学部履修科目〕

商学総論	〈大吹勝男〉	730
社会思想史	〈阿部弘〉	731
国際経済論	〈休 講〉	
商業政策	〈岩下弘〉	732
アジア経済論	〈鄭章淵〉	733
社会政理策	〈光岡博美〉	734
価格理論	〈荒木勝啓〉	735
銀行論	〈齊藤正〉	736
マーケティング	〈休 講〉	
経営管理論	〈休 講〉	
中小企業論	〈休 講〉	
人口論	〈休 講〉	
労務管理論	〈休 講〉	
法思想史	〈高橋洋城〉	737
日本法制史	〈茂野隆晴〉	738
西洋法制史	〈休 講〉	
経済法	〈荒井登志夫〉	739
国際関係論	〈南山淳〉	739
地方自治法	〈富井幸雄〉	740
国際紛争解決法	〈王志安〉	741
倒産処理法	〈雨宮眞也〉	741
アメリカ経営学	〈宮城徹〉	742
経営財務論	〈高田光明〉	743
経営組織論	〈日野健太〉	744
公益企業論	〈園田哲男〉	745
管益理會計論	〈猿山義広〉	745
会計監査論	〈阿部一人〉	746
日本経済論	〈羽鳥茂〉	747

他
学
部

履
修
科
目

〔第1部・フレックスAで開講される他学部履修科目〕

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅学概論	石井修道	文学部全学科	4

講義のねらい

この禅学概論の講義は禅とは何かを概観するものである。その場合、禅とは「学」の対象として成立しうるか。成立しうるかすれば、いかなる性格なのかを常に問題意識として持ち続けたい。禅学に取り組む勉強の仕方も折りに触れたい。具体的には、まず、「禅」の語の意味、インドの禅と中国で成立した禅宗について述べ、中国語のもつ性格と禅思想の関係を問題にしたい。つづいて、禅の研究の工具書の紹介や禅籍概論を踏まえて、圭峰宗密の『禅源詮集都序』の禅の分類の分析、禅と「心・身」、禅と「人」、禅と言葉、禅と教育、禅と生活に及び、禅と文化について幅広く言及したい。禅と禅宗の歴史は、講義の中で織り交ぜながら進めるが、講義内容としては、この講義では省略し、その専門の履修科目があるのでそれに譲る。

講義の内容・授業スケジュール

プリントの原典資料をできるだけ配布しながら講義を進めたい。

履修上の留意点

教科書の『中国禅宗史話』を読み、予備知識を付けておく。禅学概論の講義は、当然のこととして、禅宗の歴史を含むものであるが、この講義は教科書を読んで既に中国禅宗史の基礎知識を身につけたものと見なして講義を進める。

成績評価の方法

夏期休暇後に教科書の感想文のレポート（400字詰め5枚程度）の提出による20点と学年末の筆記試験80点で評価する。成績にはある程度出席数を考慮し、原則として二桁の数の出席を目安とする。

教科書

石井修道『中国禅宗史話』（禅文化研究所）3,605円

参考書等

駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』（更生社）2,369円
 『全訳 漢辞海』（三省堂）2,840円
 『禅学大辞典』（大修館書店）
 入矢義高等『禅語辞典』（思文閣書店）

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国禅宗史	石井修道	文学部全学科	4

講義のねらい

この講義は中国禅宗史を概観するものである。禅宗史を学ぶのに必要な資料にまず触れ、勉強の仕方も折りに触れたい。具体的には、唐・五代・宋・元代の最も魅力ある禅者を一人一人禅宗史上で位置づける中で学んで行きたい。年間、数限られた人数しか触れられないであろうが、しかし、できるだけ数多くの禅者に触れてみたい。特に唐・五代を中心に①菩提達磨②二祖慧可③五祖弘忍④六祖慧能⑤青原行思⑥南嶽懷讓⑦石頭希遷⑧馬祖道一⑨葉山惟儼⑩百丈懷海⑪雲巖曇晟⑫南泉普願⑬趙州從諤⑭邨山靈祐⑮黃檗希運⑯洞山良价⑰臨濟義玄⑱雪峰義存⑲玄沙師備⑳雲門文偃などを取り上げる。宋・元では、①芙蓉道楷②宏智正覺③圓悟克勤④大慧宗杲⑤中峰明本などを取り上げる。興味ある行状はできるだけ触れるつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

プリントの原典資料をできるだけ配布しながら講義を進めたい。

履修上の留意点

教科書の『中国禅宗史話』を読み、予備知識を付けておく。

成績評価の方法

夏期休暇後に提出された教科書の感想文（400字詰め5枚程度）のレポート20点と学年末の筆記試験80点で評価する。成績にはある程度出席数を考慮し、原則として二桁の数の出席を目安とする。

教科書

石井修道『中国禅宗史話』（禅文化研究所）3,605円

参考書等

『禅学大辞典』（大修館書店）、入矢義高等『禅語辞典』（思文閣書店）。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本禅宗史	佐藤秀孝	文学部全学科	4

講義のねらい

本講座は、日本における禅宗の歴史を講義するものである。唐・宋代に隆盛した中国禅宗がどのように日本に伝来し、如何なる展開・発展を遂げて日本禅を形成していったのか、その過程を探ることで、思想史的な意義と日本文化への影響などを論じたい。

講義の内容・授業スケジュール

禅宗の伝来、荣西と能忍、兼修禅の系譜、道元の仏法と初期永平寺僧団、来日僧と純粹僧、日本禅の二十四流、五山の成立と五山文学、中世文化と禅宗、応燈関の一流、瑩山紹瑾と曹洞宗の地方展開、隠元の来日と黄檗宗、近世臨済宗と白隠禅、近世の曹洞宗の宗統復古、近代国家と禅宗、といったテーマを順次進めていく。

履修上の留意点

禅の教理や思想の理解および日本史の一般的知識を習得しておくこと。

成績評価の方法

平常点（出席）と試験による総合評価。

教科書

伊吹敦『禅の歴史』（法蔵館）3,800円

参考書等

田中良昭編『禅学研究入門』（大東出版社）6,000円
 駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』（更正社）2,600円
 船岡誠『日本禅宗の成立』（吉川弘文館）2,500円
 その他、日本禅宗に関する諸文献

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅籍講読Ⅰ	石井修道	文学部全学科	4

講義のねらい

この講義は中国禅宗典籍を原典テキストで味読するものである。今年度は圭峰宗密が裴休に答えた『裴休拾遺問』を読む。この禅籍は、唐代の北宗・牛頭宗・洪州宗・荷沢宗の宗風の特色を分類したものである。この分類は、唐代の初期の禅の分類を考えるのに貴重なものであり、その後の禅宗の展開を知るには、是非とも読まねばならないものである。幸いに名古屋の真福寺文庫本を私が紹介することができたので、それを講読したい。

講義の内容・授業スケジュール

原典にいきなり真っ正面からぶつかる。テキストはプリント配布。

履修上の留意点

必ず手持ちの漢和辞典を持参すること。無ければ『全訳 漢辞海』（三省堂）等を購入して欲しい。また、『中国禅宗史話』（禅文化研究所）を読み、中国禅宗史の予備知識を付けておく。

成績評価の方法

夏期休暇後に提出された圭峰宗密と裴休の伝記（400字詰め5枚以上）のレポート20点と学年末の筆記試験80点で評価する。成績にはある程度出席数を考慮し、原則として二桁の数の出席を目安とする。

教科書

プリント配布

参考書等

石井修道『中国禅宗史話』（禅文化研究所）3,605円。『全訳 漢辞海』（三省堂）2,840円。入久義高等『禅語辞典』（思文閣書店）。

科目名	担当者名	配当学科	単位
禅籍講読Ⅲ	いわながしやうせい 岩永正晴	文学部全学科	4

講義のねらい

この科目は日本禅宗初期の典籍を講読するものである。また禅学科の選択必修科目であるので、これまで広く読まれてきた基本的な典籍を講読しなければならないと考える。よって本年度は道元禅師撰『学道用心集』を取り上げることとする。『学道用心集』は明治18年に定められた曹洞宗大学林専門学本校の授業科目でも宗部正講の初級に定められているほどで、曹洞宗旨を学ぶためには必須の基本的な典籍であり、この科目の目的に添うものと思う。

講義の内容・授業スケジュール

まず解題として『学道用心集』の成立・刊行状況・特徴・位置付けなどを講じた後、本文を読み進める。

履修上の留意点

漢文で書かれた典籍であるので、普段から漢文に慣れる努力をして授業に臨んで貰いたい。また、紹介する参考書等は積極的に読んで頂きたい。

成績評価の方法

学年末の試験の他に、出席点とレポート（数回）によって成績評価を行う。

教科書

コピーし製本したものを配布する。

参考書等

『道元禅師全集』第7巻（春秋社）、角田泰隆『道元入門』（大蔵出版）、大本山永平寺編『学道用心集の参究』（国書刊行会）、篠原寿雄『学道用心集—学習と修行のこころえ—』（大東出版）等。その他は講義で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教概論	いけだれんたろう 池田練太郎	文学部(国文学科除く)	4

講義のねらい

本講義は「概論」という性格上、仏教に関する細かい問題を掘り下げるのではなく、常に「仏教とは何か」という基本的な問題を意識しながら、大きな視点で仏教の輪郭を捉えることを目指したい。

講義の内容・授業スケジュール

教科書として用いる『仏教入門』の次第に準じて、おおむね以下のように講義を進める。
a, 仏教とは何か b, ブッダの生涯 c, 仏について d, 法について e, 輪廻と業・煩惱
f, 心について g, 修行について h, 戒律と教団 i, 仏教の歴史

履修上の留意点

講義を一つの材料として、自分自身で「仏教」について考える姿勢を持ってほしい。

成績評価の方法

基本的には年度末におこなう筆記試験によって評価する。

教科書

高崎直道著『仏教入門』（東京大学出版会）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
インド仏教文化史	かな ざわ あつし 金 沢 篤	文学部全学科	4

講義のねらい

インド生まれの仏教を、広範で多岐多彩なインド文化の史的展望の中でとらえてみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

神や人間などが織りなす奇想天外なインド的物語世界の解説を皮切りに、仏教の出現と展開と衰頹にまつわる文化的トピックを論究する。

履修上の留意点

仏教や古今のインド文化に熱い関心を持つ学生諸君の主体的取り組みを期待する。

成績評価の方法

年度末試験などで総合的に判断する。

教科書

渡辺照宏著『仏教（第二版）』（岩波新書）740円

参考書等

教場で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国仏教文化史	なが い まさ し 永 井 政 之	文学部全学科	4

講義のねらい

仏教をさまざまな人間の営みの一環として捉えようとするのが本授業の中心となる。いささか具体的に述べるなら次のようになる。

すなわち今から約2500年前、インドに起った仏教は、紀元前後に中国へ伝来する。中国人にとっては異文化であった仏教は、少なからぬ変容を遂げつつ、中国に定着する。言うまでもなく定着した仏教は、中国人の理解した仏教ということとなる。

今年は、「仏教の葬送儀礼」にテーマを設定して論ずるものとした。

履修上の留意点

適宜プリントを配布し、参考文献を指示する。

成績評価の方法

レポート及び出席点によって成績を評価する。

参考書等

曹洞宗総合研究センター編『葬祭—現代的意義と課題—』1,300円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本仏教文化史	袴谷憲昭 <small>はかま や のり あさ</small>	文学部全学科	4

講義のねらい

下記の教科書により、仏教思想とはなにかという課題を断えず問いかけながら、日本における仏教文化の実態を検討する。

講義の内容・授業スケジュール

- I 仏教東漸—半跏思惟像
- II 「玉虫厨子」と捨身供養
- III 『往生要集』と地獄極楽
- IV 『一言芳談』と後世物語
- V 『日本史』における仏教
- VI 『新論』の国体論と仏教
- VII 仏教西来—靖国問題考

履修上の留意点

参加者には、文献を自ら読もうとすることが要求される。なお、必要に応じて資料を配布するが、資料の再発行は原則としてしないので、気をつけられたい。

成績評価の方法

学年末の定期試験による。ただし、参加者の状況によっては評価の方法の変更もありうる。

教科書

袴谷憲昭著『仏教入門』（大蔵出版）2004年

参考書等

渡辺照宏『日本の仏教』

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国古典語初級	吉村 誠 <small>よし むら まこと</small>	文学部全学科	4

講義のねらい

著名な仏典を読みながら、漢文訓読の基本をマスターします。漢文の句法について学ぶとともに、仏教漢文特有の読み方に慣れ親しみ、仏典を正確かつ批判的に読む力を養います。前期は『維摩経』と『法華経』（『観音経』）の一部を読み、後期はその訳者である鳩摩羅什の伝記（『高僧伝』）を通読します。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) (1) 漢文の読み方 (2) 仏典とは何か (3~7) 『維摩経』を読む (8~13) 『法華経』を読む (13) まとめ
(後期) (1) 『高僧伝』の世界 (2) 鳩摩羅什の事跡 (3~12) 鳩摩羅什伝を読む (13) まとめ

履修上の留意点

初歩から丁寧に指導しますので、漢文や中国語を学習したことがない者、仏教関連の授業を受けていない者でも心配はありません。ただし、語学の習得には継続した学習が不可欠ですので、毎回出席する覚悟のある者のみ履修してください。歴史・思想・文学・美術などの分野で仏教漢文を資料として読みたい者、東アジアの仏教を原典で学びたい者の受講を期待しています。

成績評価の方法

予習や出席の状況、およびレポートを総合して評価します。

教科書

プリントを使用します。

参考書等

漢和辞典は必携。『新字源』（角川書店）、『漢語林』（大修館書店）、『漢辞海』（三省堂）を推奨します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国哲学史	まえかわ 前川 亨 <small>どる</small>	文学部全学科	4

講義のねらい

東アジア世界の文化・社会に多大な影響を与えた中国の思想を学ぶ。儒教・道教・仏教それぞれの思想と相互の関連、それらが朝鮮・日本にどのようなかたちで影響を及ぼしたのか、などの課題をとりあげることになる。それを通して、中国人の思考様式を明らかにしていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は孔子の時代から唐代までを扱う。まず中国の思想史の全般的な問題を概括し、その後、孔子・孟子・荀子から始めて、儒家・道家・神仙思想、更に道教の成立や仏教伝来などに及ぶ。断代史的ではなく、問題史的に検討するように心掛け、思想史研究の面白さと困難さを伝えたいと思う。

履修上の留意点

当該テーマに関心を持ち、継続して出席し、積極的に授業に参加する意志と意欲を有する学生諸君の履修のみを、心から歓迎する。レポートのみ提出して単位を取得しようなどという安易な気持ちの者の履修は認めない。中国の文献を扱う関係上、中国語についての初歩的な知識を有することが望ましいが、授業そのものは中国語を履修していなくても理解することが可能である。東アジアの思想・宗教・社会・文化……など様々な分野に関心のある諸君の積極的参加を期待したい。

成績評価の方法

前期・後期それぞれにレポートを書いてもらう。テーマは授業で取りあげた内容に基づくものとする。

教科書

特に必要としない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

その他

できるだけ多くの話題を提供するため、講義形式をとるが、受講者の意見を聞く機会もつくる。積極的な問題提起を歓迎する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
上代文学研究 I	なかしま しんや 中嶋 真也 <small>や</small>	文学部(国文学科除く)	4

(P.319) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
中古文学研究 I	まつおか ともゆき 松岡 智之 <small>ゆき</small>	文学部(国文学科除く)	4

(P.320) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
中世文学研究 I	さくら いようこ 櫻井 陽子 <small>こ</small>	文学部(国文学科除く)	4

(P.321) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
近世文学研究 I	このえ のりこ 近衛 典子 <small>こ</small>	文学部(国文学科除く)	4

(P.322) 参照

履修科目
他学部

科目名	担当者名	配当学科	単位
近代文学研究 I	えの 榎 <small>もと</small> 本 <small>まさ</small> 正 <small>き</small> 樹	文学部(国文学科除く)	4

(P.323) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
比較文学	みつたに 満谷 <small>マーガレット</small>	文学部(国文・歴史学科除く)	4

(P.352) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋思想史	しば の ひろ こ 柴 野 博 子	文学部(国文・歴史学科除く)	4

(P.357) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
演劇概論	あ べ の 由 香 子 阿 部 由 香 子	文学部(国文・歴史学科除く)	4

(P.358) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本民俗学	たに ぐち みつぎ 谷 口 貢	文学部(国文・歴史学科除く)	4

(P.354) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講 I	いし はら ごう さい 石 原 孝 哉	文学部(英米文学科除く)	4

(P.379) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講 II	たか の まさ お 高 野 正 夫	文学部(英米文学科除く)	4

(P.380) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講 III	おか ぎき としいちろう 岡 崎 寿一郎	文学部(英米文学科除く)	4

(P.380) 参照

他学部
履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講Ⅳ	荒井良雄	文学部(英米文学科除く)	4

(P.381) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講Ⅴ	富士川義之	文学部(英米文学科除く)	4

(P.381) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講Ⅵ	丸小哲雄	文学部(英米文学科除く)	4

(P.382) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
アメリカ文学特講Ⅰ	東 雄一郎	文学部(英米文学科除く)	4

(P.384) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
アメリカ文学特講Ⅲ	足田和人	文学部(英米文学科除く)	4

(P.384) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
演劇特講(イギリス・アメリカ)	落合和昭	文学部(英米文学科除く)	4

(P.383) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語	サンダース, L.P.	文学部(英米文学科除く)	4

(P.389) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
地理思想史	吉田敏弘	文学部(地理学科除く)	4

(P.431) 参照

他学部
履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
地形学	小池 一之 <small>こいけ かずゆき</small>	文学部(地理学科除く)	4

(P.457) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
人口地理学	江崎 雄治 <small>えさき ゆうじ</small>	文学部(地理学科除く)	4

(P.462) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化地理学	小田 匡保 <small>おだ まさやす</small>	文学部(地理学科除く)	4

(P.434) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
応用地理学	高木 正博 <small>たかぎ まさひろ</small>	文学部(地理学科除く)	4

(P.437) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本仏教史	松本 信道 <small>まつもと のぶみち</small>	文学部(歴史学科除く)	4

(P.532) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本史特講Ⅶ(近代)	熊本 史雄 <small>くまもと ふみお</small>	文学部(歴史学科除く)	4

(P.516) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
東洋史特講Ⅲ(近世史)	趙 軍 <small>ちよう ぐん</small>	文学部(歴史学科除く)	4

(P.521) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
考古学特講Ⅲ 〔日本石器時代〕	設楽 博己 <small>したらく ひろみ</small>	文学部(歴史学科除く)	4

(P.530) 参照

他学部
履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
西洋文化史	石田恵子	文学部(歴史学科除く)	4

(P.533) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学史	山口祐弘	文学部(歴史学科除く)	4

(P.537) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
産業・職業社会学	山田信行	文学部(社会・心理学科除く)	4

(P.562) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会福祉発達史	林千代	文学部(社会学科除く)	4

(P.611) 参照

科目名	担当者名	配当学科	単位
国民所得論	吉野 紀 <small>よし の おさむ</small>	文学部全学科	4

講義のねらい

為替レートや株価はなぜ減値したり、高騰するのか。失業率はなぜ上昇するのか。物価の変動はどのような影響を我々の生活に及ぼすのか。これらはいずれもマクロ経済学の主要な課題である。

失業率5.4%といえは実数にして300万人余の労働力人口が失業していることを意味する。特定の個人が終業しているか失業しているかは、その個人のスキル（能力）などによるところが大きく、国民経済全体の失業率とは直接の関係はない。しかし、後者は国民経済全体の景況状態の良い指標ともなる。

この授業では相対的な国民経済の動きを説明することが主題となる。個々人の日常的な経済活動の意志決定は受動的に大きな影響を受けるが、能動的に影響を及ぼすことを直感的にも経験的にも把握することは難しい。したがって、マクロ経済の仕組みを理解するには豊かな想像力と鋭い推理力が求められる。

講義の内容・授業スケジュール

1. 「国民経済計算の話」……………5回
GDP、GNPなどの経済指標や消費、投資、輸出入などの国民経済全体をとらえる単位を理解することと、さまざまな諸取引間の相互関係を日本経済の循環図を通してとらえることが主題である。
《参考》経済企画庁「平成13年日本経済の循環図」（配布資料）
2. 「総需要・均衡産出量・均衡所得」……………4回
いわゆる単純なケインズ派の所得決定理論が、モデル分析に則って説明され、次の第3講で活躍するIS曲線の基礎理解を得ることが目標となる。このテーマの終了後、練習問題を解くレポートが課せられる。解答は配布され、解説は授業の中で行なわれる。
《参考》中谷巖 『入門マクロ経済学』（日本評論社）第3章
3. 「貨幣・利子および同時均衡」……………8回
この段階で貨幣の果たす役割が明示的に導入され、前講までの主題との接合がはかられて、IS曲線とLM曲線を主な武器とする分析が進められてゆく。モデルを用いた説明が中心となるが、日本経済の現状との関連が説明の中に登場する機会も増えてゆくであろう。また、利子率に触れるとき、預貯金の利率に加えて有価証券の利回りにも馴染んでもらうことになるであろう。その他、国家公務員、地方公務員、国税専門官などの専門科目試験の例題を示す事もある。本テーマの終了時にも、簡単な練習問題がレポートの課題として課せられる。正解と解説は授業中で示す。
《参考》伊達邦春（編）『マクロ経済学』（八千代出版）第9章
4. 「金融政策、財政政策」……………4回
前講までの内容が理解できれば、金融政策と財政政策の発動によって、望ましい所得水準を達成するプロセスは比較的容易に理解できるものと思われる。その上で、国内および国際的クラウディング・アウト効果を取り扱われる。アメリカのベトナム戦争時に生じた国内的クラウディング・アウト効果に関するケース・スタディは興味をよぶのであるまいか。
《参考》ドーンブッシュ・フィッシャー『マクロ経済学（上）』（CAP出版）第4章
5. 「労働市場を組み込んだ総需要・総供給分析」……………5回
ここまで扱われてきたのは、財・サービスの市場と貨幣市場であったが、これに労働市場が明示的に組み合わされる。さらに物価の変動が重要なテーマとして加わる。

成績評価の方法

基本的には期末試験による。2回の練習問題に対するレポートは一定の評価対象となりうる。再試験は実施。

教科書

R. J. ゴードン『現代マクロエコノミクス（上）』（第6版）（多賀出版）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 経 済 史	はし 野 知 子 橋 の とも こ	文学部全学科	4

講義のねらい

本講義では、19-20世紀の日本における経済社会の変化を国際的な経済環境のなかに位置づけながら考察していきます。特に近年の数量経済史や経済発展論における研究蓄積を紹介しつつ、また西欧やアジアとの比較を念頭において講義する予定です。

学生諸君には、日本経済における現代的課題や戦後経済史の重要な問題が、この講義で考察する歴史的背景のなかで生まれてきたことを理解して欲しいと思っています。知ること、そして変化の原因を考えることこそが重要なのです。

講義の内容・
授業スケジュール

19-20世紀の日本経済を、歴史的な流れをとらえつつ、重要なトピックスを中心に講義します。講義形式で進めますが、映像の利用による説明も随時取り入れる予定です。講義は、以下の項目順に進める予定です。

1. ガイダンス日本経済史をみる眼
2. 近代経済成長への胎動
幕藩制政治経済システムの特徴／国内市場の変質／開国と幕藩体制の解体
3. 資本主義経済の成立
諸改革から地租改正へ／地租改正の歴史的意義／殖産興業政策の展開／資本家・労働者の出現／貿易構造と諸産業
4. 産業革命の展開
企業勃興期／産業基盤や制度の整備／諸産業・貿易の発展からの接近／欧米・アジア・日本の貿易からみた世界経済の再編過程／資本主義の確立と諸問題
5. 両大戦期の日本経済
「大正新時代ノ天佑」としての第一次大戦／国際経済環境の変化と日本／大戦後の経済と社会／恐慌の時代／高橋財政
6. 戦時から戦後へ
戦時経済／戦後改革と経済復興
7. 現代経済の形成過程
高度経済成長／高度成長の終焉／バブルの時代／平成不況／ここからどこへ

履修上の留意点

他の受講生の迷惑となる行為は慎んで下さい。

成績評価の方法

前期末・学年末試験により評価します。再試験はございませんのでご注意ください。

教 科 書

特に指定しません。毎回資料（レジュメ）を配付します。

参 考 書 等

講義の中で毎回紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
農 業 政 策	みづ て よし かず 溝 手 芳 計	文学部(心理学科除く)	4

講義のねらい

“工業が先進国型産業であるのに対して農業は途上国型の産業だ”、“工業が環境負荷になりやすいのに対して、農業は環境に優しい産業である”、“食料価格は主に農業の生産性の高さによって決まる”、“日本農業の競争力が低いのは、主に農家の人が甘えているせいだ”、、、こうした認識は果たして正しいでしょうか。

農業は、一方では、他産業、とりわけ川上の農機具・資材産業や川下の食品関連産業などいわゆるアグリビジネスとの関連が強まり、他方で、WTO農業交渉に象徴される国際化への対応を求められるなど、かつて見られなかった激動の時代を迎えています。こうした時代に農業政策のあり方を考えるためには、農業という産業の特質と現代の農業問題の構図を理解するとともに、政策ツールについて批判的に検討していくことが必要です。

授業では、現代の主要な農業問題と農業政策をいくつか取り上げて、経済学の視点から説明します。

講義の内容・授業スケジュール

1. 「農業政策」とは (1～2回)
2. 食料問題と食料政策 (3～7回)
3. 農家所得問題と農産物価格政策・直接支払い (8～12回)
4. 農業構造問題と構造政策 (13～18回)
5. 戦後における日本と世界の農業政策 (19～25回)

履修上の留意点

充実した授業は、教員の努力だけでできるものではありません。授業中に「コミュニケーション・カード」を配布しますので、授業の感想や質問、意見を書いてください。授業改善の参考にします。

成績評価の方法

成績評価は定期試験を基本とします。再試験は行いません。

教 科 書

田代洋一『新版農業問題入門』(大月書店)

参 考 書 等

F. マグドフ他編 (中野一新監訳)『利潤への渴望』第5章 (大月書店)
梶井功『新基本法と日本農業』(家の光協会)

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育経済論	谷 敷 正 光	文学部全学科	4

講義のねらい

この講義は経済発展に産業教育が果たした意義とその役割について明らかにするのがねらいである。

日本は近年、「経済大国」として世界的に認められるようになったが、この発展を築いた基礎に日本の高い教育水準と人材養成があるといわれている。そして欧米各国では経済面での国際競争力の低下が教育水準の低下と密接に関連しているとの観点から日本の産業教育政策を説明するとともに、2000年に向けて一連の教育改革を行ってきた。アメリカの「危機に立つ国家」「全米教育サミット」「アメリカ教育法」、イギリスの「教育改革法」「二十一世紀に向けての教育・訓練」、フランスの「ジョスパン法」など各国の改革の中心は厳しい経済競争に勝ち残るための教育水準の向上、教育に市場原理の導入、高等教育の質的充実、教育投資の拡大など教育を「国の最優先課題」と位置づけている。

そこで本年度は、こうした欧米先進国の経済再建と教育改革の動向、日本の経済と教育の現状をまず明らかにする。

次に、外国からは高く評価されている日本の高い教育水準、人材養成教育を戦前は産業資本確立期を中心に、戦後は朝鮮戦争を契機に復興した経済復興期から平成景気までを中心にそれぞれの経済発展段階の特徴とそれに応じた産業界の人材教育要求と国の教育政策、産業教育政策を明らかにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 先進国の経済発展と教育

- (1) 日本の産業化とリテラシー・識字率
- (2) 日本の経済成長と教育
- (3) アメリカの教育最前線 (ビデオ)
- (4) レーガン大統領の経済と教育 1 「危機に立つ国家」 (一部ビデオ)
- (5) レーガン大統領の経済と教育 2 「国家は応える」 (一部ビデオ)
- (6) ブッシュ大統領の経済と教育 1 「全米教育サミット」 (一部ビデオ)
- (7) ブッシュ大統領の経済と教育 2 「2000年のアメリカ」 (一部ビデオ)
- (8) クリントン大統領の経済と教育「アメリカ教育法」 (一部ビデオ)
- (9) サッチャー首相の経済と教育「教育改革法」 (一部ビデオ)
- (10) ブレア首相の経済と教育「福祉のニューディールとオプティミズム」 (一部ビデオ)

2. 戦前日本の経済発展と実業教育政策

- (11) 学制時代における経済と教育 1 富国強兵・殖産興業 (映画)
- (12) 学制時代における経済と教育 2 学制公布と「行政管理学校」
- (13) 教育令時代における経済と教育 1 工場払下と産業の勃興 (一部ビデオ)
- (14) 教育令時代における経済と教育 2 教育令公布と実業補習学校・徒弟学校
- (15) 学校令時代における経済と教育 1 産業革命と紡績業の発展 (一部ビデオ)
- (16) 学校令時代における経済と教育 2 学校令公布と実業教育・「機業地学校」
- (17) 実業学校令時代における経済と教育 1 重工業の発展と資本主義の確立 (一部ビデオ)
- (18) 実業学校令時代における経済と教育 2 実業学校令公布と「委託教育」「工場内学校」

3. 戦後日本の経済発展と産業教育政策

- (19) 復興期の経済発展と教育 産業教育振興法 (一部ビデオ)
- (20) 高度成長第1期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
- (21) 高度成長第2期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
- (22) 高度成長第3期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
- (23) 高度成長終焉後の経済発展と教育

履修上の留意点

- ① 年間5～6回程度小テストを実施し、平常点とする。
- ② 現実的理解のためにビデオ・映画・OHPを使用する。
- ③ 毎時間、講義用のプリントを配布する。一度配布したプリントは、後の時間では配布しない。
- ④ 毎時間かなり板書するので、黒板が見えにくい人はできるだけ前に着席のこと。

成績評価の方法

- ① 授業中の小テストと期末試験の成績によって評価する。
- ② 再試験を実施する。

教科書

毎時間、講義の教材として年間40～50枚のプリントを配布するので、教科書は特に使用しない。

参考書等

参考文献は講義の中で適宜紹介するので、興味のある人は読んで講義の参考にして下さい。
小林泰宏『アメリカで進む教育改革』(朝日新聞社)

森嶋通夫『サッチャー時代のイギリス』（岩波新書）
 G・メイナード『サッチャーの経済革命』（日本経済新聞社）
 舟場正富『ブレアのイギリス』（PHP 新書）
 プライアン・サイモン『現代の教育改革・イギリスと日本』（エイデル）
 A・グリーン、J・ハリスン『英国病』（新評論社）
 揖西光速『日本資本主義発達史－産業資本の成立と発展－』（有斐閣）
 猪木武徳『学校と工場』（読売新聞社）
 三好信浩『日本の女性と産業教育－近代産業社会における女性の役割－』（東信堂）
 天野郁夫『教育と近代化』（玉川大学出版部）
 沼口博『学校教育と経済発展』（学文社）
 その他は講義の中で紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本経済論	こばやし まさと 小林 正人	文学部(社会・心理学科除く)	4

講義のねらい

日本経済の（第二次世界大）戦後の歴史について総合的に講義する。とくに日本経済を支える産業の発展史について詳しく説明し、これに対する日本的経営システムの役割について検証する。さらに、平成不況のなかで浮き彫りになってきた日本の経済システムの課題について述べる。

日本経済は、高度経済成長をへたのち、幾度かの「危機」（とくに1970年代の石油ショックと、1980年代後半の円高）をのりこえてきた。しかし今日の平成不況の中で、日本の経済システムや経営システムの問題点も浮き彫りになった。これまでの発展の条件が、地球規模での技術発展と競争環境の中で、逆の条件に転化したのである。このような経済の発展や変化の意味をリアルにつかむには、産業や企業のレベルにまで立ち入り、技術発展や企業間競争の実態について調べる必要がある。講義ではここに力を注ぐ予定である。

講義の内容・授業スケジュール

- 戦後日本経済の展開過程
 - 景気の現状と雇用情勢
 - 戦後改革
 - 日本の高度経済成長：歴史とその原因
 - 産業政策の役割
 - 石油ショック、円高、バブル経済、平成不況
- イノベーションと産業発展
 - 産業構造の理論と歴史
 - 主要産業の歴史：鉄鋼、自動車、電機、半導体、工作機械
 - 日本型経営システムの意義。欧米諸国との比較
 - 製品の安全性とPL法
- 日本の経済発展の総括と展望
 - 平成不況の意義
 - 情報通信革命（インターネット）

履修上の留意点

講義資料は一度しか配布しないので確実に収集し、保管する。講義資料なしで定期試験を受けることはむずかしい。講義ではOHPなどをひんばんに使うので、見やすい位置に着席すること。板書はあまりせず、プレゼンテーション中心の講義である。講義の節目に小テストを実施することもある。

成績評価の方法

学期末テストと小テストの総合評価による。試験は論述式である。再試験は実施しない。

教科書

なし

参考書等

適時指定する。

その他

成績質疑応答では講義資料を持参しなければならない。

他
学
部
履
修
科
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国経済論	小杉修二	文学部全学科	4

講義のねらい

前期は中華人民共和国の経済を歴史的に学ぶ。その開発目標に着目して、中ソ同盟下の大国志向としての「ソ連モデル」(1949-57)、独自の超大国を志向して米ソと対立した「毛沢東モデル」(1958-78)について学ぶ。

ソ連モデル期に中国は途上国の特徴＝機械の生産能力の欠如を克服し、国民生活を改善した。

毛沢東モデル期に兵器の一定の自給と核ミサイルの保有に至った。この時期、国民生活は改善されず、臨戦体制づくりのため経済効率低下し行きづまった。

後期はこの状況を打開した「鄧小平モデル」(1978-)を学ぶ。独自の超大国志向は維持しながらも平和共存政策への転換の下、開放政策による外資の呼びこみ、沿海部重点開発、軽工業優先開発、「独立した工業体系」づくりからの脱却、生産請負等の農業改革、市場経済への移行によって高度成長を達成、また、国民生活を改善し、「世界の生産現場」になった。後期には中国のかかげていた社会主義、「中国脅威論」等の問題をも考えてみたい。

履修上の留意点

言うまでもないが、私語、飲食、携帯電話は禁止（授業に集中できない人は出席不可）。

成績評価の方法

前期レポート、後期試験。

教科書

前期 小杉修二『増補 現代中国の国家目的と経済建設』（龍溪書舎）4,000円

参考書等

平田幹郎『中国データブック2000-2001』（古今書院）3,800円

その他

授業方法 講義+ビデオ映像の活用

科目名	担当者名	配当学科	単位
アメリカ経済論	瀬戸岡 紘	文学部全学科	4

講義のねらい

現代のアメリカ経済事情を幅広くわかりやすく解説します。特別な経済学の予備知識がなくても理解できる授業です。アメリカ経済を自力で理解していく力をつけることが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

以下の項目をさしあたり準備しています。受講者の要望の強いものから講義していきます。
 ◇大統領の今年の経済政策、◇建国の理念と現実、◇アメリカの農業、◇アメリカの工業、◇ベンチャービジネス、◇雇用と労働者、◇商業とサービス、◇金融、◇教育と経済、◇科学技術、◇先端産業、◇経済と環境問題、◇アメリカ社会とヴォランティア、◇女性・マイノリティ、◇ドルの地位とIMF、◇アメリカの貿易、◇軍の世界的ネットワークと経済的意義、◇海外援助、◇多国籍企業とアメリカ経済、◇アメリカとEC、◇アメリカと日本、◇アメリカとアジア・太平洋、◇アメリカとカナダ・メキシコ、◇アメリカの経済学、など

履修上の留意点

1回の講義でひとつのテーマをとりあげます。あたらしい情報やトピックスを、解説つきで、つねに受講者に紹介します。アメリカの諸大学の授業にみられる長所を可能なかぎりとり入れた授業です。

成績評価の方法

随時、受講者には小論を書いてもらい、それで成績評価をします。平常点重視のためえから、一発勝負の年度末試験は、受講者の強い要望がないかぎり実施しません。それゆえ再試験も実施しません。

教科書

最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定の教科書は使用しません。講義では、随時よい文献などを紹介していきます。日々のニュースと諸君の周囲にあるさまざまなアメリカものの本の全体がこの講義の教科書ですが、どうしてもといわれれば、グリーンバーグ『資本主義とアメリカの政治理念』（瀬戸岡訳 青木書店）1994年 瀬戸岡ほか編著『グローバル時代の貿易と投資』（桜井書店）2003年をおすすめします。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア・東欧経済論	やまがたひろし 山 縣 弘 志	文学部全学科	4

講義のねらい

外国経済研究の課題を、その経済事情に通じることという形で、狭く設定する必要はないので、各自の問題意識に引きつけてとらえてもらえばよいが、とりわけ、独特のソ連経済からロシア的・資本主義的・市場経済への転換を、資本主義世界経済のあり方、日本経済のあり方を念頭に置きつつ講義する予定である。その際、ソ連経済史の評価のためには社会主義論の捉え直しが不可欠であり、他方で政策も含めた経済現象の総体を文化的基盤と切り離して論じることではできないから、常に総合的視点と批判精神を伴った受けとめを期待する。

講義の内容・授業スケジュール

ソ連邦が解体し、東欧諸国も再編成されて、一つの歴史的移行過程にあるが、「どこからどこへ？」の問題は必ずしも決着済みではない。この地域が従来の歴史的経緯を背負って今後多少とも独自の経済圏を形成していくことは確かであろう。

ロシア・東欧圏は、ヨーロッパとアジアにまたがりオリエントと接するユーラシア地域として、独自の、また内部的には多様な文化を醸成してきた。この地域は、帝国主義の時代に入って、第1段階としてロシア革命、第2段階として第2次大戦を契機に社会主義をめざすことになった。そしてその歴史は通例まぎれもない社会主義の歴史として通俗的に理解されてきたが、本来は社会主義の模索として開始されたものであり、社会主義に到達しえたか否か自体が吟味の対象である。これは同時代史の問いかけに答えるために必要な認識であろう。

社会主義論の歴史的な捉え直しの上に立って、1930年代にソ連邦で形成され40年代に東欧に移植された独特の体制の認識が深まれば、「どこからどこへ？」の問題の第1段階に答える可能性が生まれるであろうし、その第2段階を検討することは、我々の時代の当面している課題を明らかにすることに通じるであろう。

1. 社会主義とロシア革命
 - (1) 社会主義論とマルクス
 - (2) ロシア革命のめざしたもの——レーニン時代——
2. ソ連経済体制の成立とスターリン時代
 - (1) 1920年代から30年代への転換
 - (2) ソ連型「社会主義」の特質と行きづまり
3. 「計画経済」と经济管理システム
 - (1) 「計画経済」の成立と実態
 - (2) ソ連型经济管理システム
4. ソ連経済の生産力水準
 - (1) 経済構造の特質と軍事生産
 - (2) 工業生産力と工業技術
 - (3) 農業問題
5. 停滞からペレストロイカへ
 - (1) 経済改革の時代
 - (2) プレジネフと停滞の時代
 - (3) ペレストロイカとその挫折
6. ロシア・東欧経済の現状と課題
 - (1) ロシア・東欧の文化と社会
 - (2) 資本主義化の諸問題
 - (3) ロシアと日本——比較経済史——

履修上の留意点

トピックスにコメントすることが多いと思われるので、必ずしも授業計画通り、またその全てを網羅して進むとは限らないが、部分から全体を照射するように心がけたい。敢えて挑発的な講義にしたいので、学生諸君にはステレオタイプから脱して自分自身の頭で考えることを期待する。

成績評価の方法

成績評価はレポート（9月提出、40点配点）と定期試験（自筆ノート持込み可、60点配点）によって行う。模範答案等の丸写しは認めない。オリジナリティを評価する。再試験実施。

教科書

教科書はない。参考書は適宜指示する。歴史の見直しが必要とされ、変化の激しい時代に、万全の教科書はありえない。

その他

教科書はないので、授業中にノートを取るのとは当然のことになるだろう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
財 務 会 計 論	小栗 崇 資 <small>おぐり たかし</small>	文学部全学科	4

講義のねらい

企業の活動内容を外部の利害関係者や投資家に報告・開示することを目的とするのが財務会計である。外部報告会計とも言われ、報告内容による社会的な影響も大きいことから、財務会計については商法や証券取引法のような法律や規則によって社会的に規制されている。日本の財務会計を規制する企業会計制度は現在、会計ビッグバンと呼ばれる大きな変化のまただなかにある。戦後、日本独自の発展をとげてきた企業会計制度もグローバルスタンダードの影響のもとに国際的に比較可能なものへと変わりつつある。制度変化による経済やビジネスへの影響は大きく、日本の財務会計がどのような発展をとげていくかが、現在、問われているところである。

講義の前半では、そうした制度変化を理解する上で必要な、経済社会と会計との関係や会計に関する規制の仕組みなどについて論じたのち、日本の企業会計制度の歴史と会計ビッグバンの概要について学習を進める。講義の後半では財務諸表（貸借対照表、損益計算書）の基本的な構成や内容について論じ、さらに現代会計のテーマである連結会計、金融商品会計、年金会計などを取り上げ検討する予定である。

講義の内容・
授業スケジュール

次のような構成で進めたい。

1. 財務会計とは何か
2. 経済社会と企業会計
3. 会計規制の仕組み
4. 日本の企業会計制度と会計ビッグバン
5. 財務諸表の仕組み
6. 貸借対照表の構造と内容
7. 損益計算書の構造と内容
8. キャッシュフロー計算書の構造と内容
9. 連結財務諸表の構造と内容
10. 金融商品会計
11. 退職給付会計
12. リース会計
13. 現代会計と会計の国際化

履修上の留意点

会計学は専門知識を積み上げていく学習スタイルが必要ですし、時々、副教材としてプリントを配布しますので、欠席しないこと。

成績評価の方法

中間試験および学年末試験により評価します。また、時々、小テストやレポートも実施し、成績評価に加算します。なお、再試験は行わないので注意して下さい。

教 科 書

遠藤・小栗・新谷・徳前著『新世紀の企業会計論（第2版）』（白桃書房）

参 考 書 等

小栗・熊谷・陣内・村井編著『国際会計基準を考える—変わる会計と経済』（大月書店）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
会 計 監 査 論	もり た よし ひろ 森 田 佳 宏	文学部全学科	4

講義のねらい

会計監査とは、企業における会計記録および会計行為の全部または一部につき、それに関与しない独立の第三者が分析的に検討を加え、その適否または正否に関する批判的意見を表明することである。これは、会計監査の一般的意義であるが、会計監査のうち、現在もっとも広く行われ、かつ、もっとも重要な監査方式は、職業監査人すなわち公認会計士による財務諸表監査である。財務諸表監査とは、企業が作成する財務諸表の適否について、監査人が公正な立場から検討を加えて専門家としての意見を表明し、もって財務諸表に対する社会一般の信頼を高めるための制度であり、主として、投資者、債権者その他の利害関係者の利益擁護を目的とする監査である。

いうまでもなく、財務諸表監査は、企業が作成する財務諸表をその対象としている。財務諸表とは、周知のとおり、毎事業年度に作成される貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書等の財務に関する決算書類である。

これら財務諸表の適否の検討にあたって、監査人の判断の基礎となるものが、商法、財務諸表等規則、企業会計原則等の会計に関する法令および慣習規範であり、監査人の行為の尺度となるものが監査基準である。

講義の内容・授業スケジュール

職業監査人による財務諸表監査（特に証券取引法監査）を中心として、前期は会計監査の意義・目的、種類および歴史、ならびに会計・監査制度について、後期は監査基準の内容について講義を行う。

履修上の留意点

本講義の履修にあたっては、すでに「簿記論」、「会計学総論」および「財務会計論」を履修済みであることが望ましい。

成績評価の方法

原則としてレポートおよび期末試験により評価する。なお、再試験は実施する。

教科書

指定しない。必要に応じて資料を配布する。

参考書等

財団法人会計基準機構監修『企業会計規則集』（税務研究会出版局）

科目名	担当者名	配当学科	単位
管理会計論	いし <small>かわ</small> ゆう <small>じ</small> 石川祐二	文学部全学科	4

講義のねらい

企業がそれを取り巻く社会の中で円滑に活動するためには、自社の状況を把握し、それに基づいて適切な管理をしていかなければならない。とりわけ、グローバル化が進展し、変化が激しい現代の社会環境に適切に対応するためには、よりの確な企業管理を行う必要性に迫られる。このとき、様々な情報の中でも、会計情報を利用することが一つの重要な鍵となる。というのも、企業は会計的な利益を獲得することを目的として活動しており、そのような目的と直接的に結びつく情報だからである。企業管理のために会計情報を利用するうえでは、その基本的な意味や、その背後にある基礎的論理を身につける必要がある。そこで、本講義においては、管理会計上の基礎的知識・基礎的論理の修得に主眼がおかれる。そして、それと同時に、その会計情報が社会的諸関係の中で果たす役割や意味を考える機会の提供を目指すものである。

講義の内容・授業スケジュール

前期においては、まず、管理会計をとらえる上での基本的な視点を明らかにする。つぎに、原価概念や利益概念といった基礎的な概念を取り上げる。そのうえで、伝統的に利用されてきた管理会計上の手法を取り上げる。後期においては、近年、管理会計上の中心的話題となっている手法を取り上げ、その社会的な意味を考えることにする。

履修上の留意点

本講義の履修にあたっては、「簿記論」および「会计学総論」を履修済みであることが望ましい。また、電卓を利用するので、持参すること。

成績評価の方法

小テスト・レポート・年度末試験を総合評価する。再試験は実施しない。

教科書

プリントを配布する。一年間の講義をつうじて蓄積されたプリントが、学生個人々の成果を反映したテキストとなる。

参考書等

講義において適宜配布する。

その他

講義においては問題練習を行い、知識の定着を目指す。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
貿 易 論	ふる さわ こう ぞう 古 沢 紘 造	文学部全学科	4

講義のねらい

オゾン層破壊、熱帯林破壊、温暖化、酸性雨、放射能汚染など地球を取り巻く環境はますます深刻になっています。一方、私たち生命体は水・大気・土壌の汚染により生存を脅かされるところまで来ています。本講義では、こうした危機的状況を踏まえ、生命系の経済学の立場に立って、貿易問題、さらには国際分業のあり方について深く考えてみたいと思います。その中で、経済学、生態学、倫理学からなる総合的視角の重要性を認識しつつ、私たちの生活のありようを問うことにも力を注ぎたい。

生命系の経済学とは、人格をもった人間としてのニーズ、環境、資源、地球のすべての生命との共存、などを基準とした主体的な指標の確立と、それを実現し保証する政策と運動を具体的に提出する経済学です。詳しくはポール・エキンズ編著『生命系の経済学』（御茶の水書房）を読まれるとよいでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

I. 生産・消費と貿易

1. 農産物と貿易
2. 水産物と貿易
3. 林産物と貿易
4. 鉱物資源と貿易
5. 工業製品と貿易

II. 政治・経済・社会と貿易

1. 開発援助と貿易
2. 環境と貿易
3. WTOと貿易
4. グローバリゼーションと貿易
5. 持続可能な発展と貿易

社会・経済状況の変化に対応して、アップ・ツー・デートな貿易問題も積極的に取り上げるようにしたい。

成績評価の方法

テスト、提出物（講義ごとのまとめ、前期、後期の終り 授業で書いてもらう講義全体のまとめ）などを総合して評価を行う。テストやまとめを書くとき、論点を明確にし、自分の考えをしっかりと出すように努力してもらいたい。思考の跡がうかがえないものは、評価の対象とはならないでしょう。

再試験を実施しない。

教科書

特にこれといった教科書は使いません。専門用語などむずかしいことは、そのつど説明しますので、授業に出てもらえれば内容は充分理解できると思います。

参考書等

講義の中で興味をもち、もっと知りたいことがありましたら、遠慮なく相談にきてください。参考になる本など教えます（研究室：第2研究館、4階34号室）。

科目名	担当者名	配当学科	単位
行政法各論	かねこしょうへい 金子昇平	文学部全学科	4

講義のねらい

現代の行政法は、従来、対象とされていない、新たな法分野が続出している。例えば、行政手続法、情報公開法等の制定をはじめ、各行政分野ごとの基本法が整備されようとしている。また現実の行政需要も変化、発達し、その適正化が求められている。

講義は、行政紛争解決の手法として、行政救済法を、主な内容として行う。そこで具体的に、どのような国家賠償事件、行政事件が存在し、何が法律上の問題となっているのか、また、どのように法的解釈を、すべきかについて解明していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

行政法の基本的な原理や原則に対する、再学習をし、総論と各論とのリンケージを確認しながら講義を行う。

- (1) 国家補償（国家賠償法、損失補償）
- (2) 行政上の苦情処理
- (3) 行政上の不服申立（行政不服審査法）
- (4) 行政訴訟（行政事件訴訟法）

履修上の留意点

行政法は、きわめて数多くの法律が登場してくるので、六法全書を必ず持参すること。

成績評価の方法

期末試験の成績により評価する。

教科書

原田尚彦『行政法要論』（学陽書房）

その他

塩野宏他編『行政判例百選Ⅰ・Ⅱ』第四版（有斐閣）

科目名	担当者名	配当学科	単位
比較憲法	にし おさむ 西修	文学部全学科	4

講義のねらい

比較憲法は、世界の憲法動向を知り、日本国憲法を広い視野から眺めるという点で非常に大きな効用をもっている。本講義は、主要諸国のみならず、アジアや発展途上国の憲法をも対象にして、立体的に組み立てる。

講義の内容・授業スケジュール

おおむね以下の内容になる。①比較憲法とは（研究の意義、比較の対象、方法、限界など）②主要諸国の憲法（アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、中国など）の概要、③アジアおよび発展途上国の憲法（韓国、北朝鮮、タイ、イスラム圏）の概要、④項目別の比較（平和主義、人権条項、有事対処、憲法改正など）。

履修上の留意点

①開講時にシラバスを配付するか、KOMSY に詳細を記載するので、よく読んでおくこと
②日本国憲法との関連で問題意識をもつこと ③私語は絶対に慎むこと ④途中からの入退室はしないこと。

成績評価の方法

①出席・レポート 30点 ②前期試験 30点 ③後期試験 40点。

教科書

年度内に作成の予定だが、コピーなどを配付する。

参考書等

- ①西修著『ここがヘンだよ！日本国憲法』（アスキー）2001年。とくにPART3「世界の憲法はこうなっている！」
- ②アルバート・ブラウスタイン著、西修訳『棋界の憲法—その生成と発展—』（成文堂）1994年
- ③西修著『憲法体系類型的研究』（成文堂）1997年

その他

授業中に試験をする可能性があるので、注意すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
相続法	竹中智香	文学部全学科	4

講義のねらい

民法典第五編「相続法」は第4編「親族法」と大きくリンクしていることから、前期に親族法を概説したうえで、後期で相続法の説明に入ります。親族法は、われわれにとって最も身近な家族生活を規制する法律であり、「家制度」の存在とその解体、高度・低度経済成長期やバブル前後の経済的变化、さらには少子化・超高齢化、女性の社会進出といったさまざまな社会の動向に影響を受けています。社会の変化に伴って生じてきた問題に対して、親族法がどのように対応しているかを、具体的な裁判例の紹介も交えながら、検討していきます。一方、後期に取り上げる相続法も、第二次大戦の敗戦後、戦前の家督相続が庶子均分共同相続へと変遷し、さらに近年、遺言制度の利用も増加するなど、著しく変化している分野です。本講義では、こうした変遷の内容とその背景の理解とともに、財産法の応用問題といわれるほど難解な相続法の理解を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕

- (1) 家族法と財産法の相違と家族法の特徴、欧米家族法との比較とわが国の家族法の特徴
- (2) 氏と戸籍、親族
- (3・4) 婚姻：婚約、婚姻成立の要件
- (5・6) 婚姻：婚姻の効果、夫婦財産制
- (7) 婚姻解消
- (8・9) 親子：実親子関係
- (10・11) 親子：養親子関係
- (12) 後見・保佐・補助、扶養

〔後期〕

- (1) わが国の相続法の変遷とその背景
- (2) 相続人
- (3～5) 相続の効力：相続財産の範囲
- (6) 相続の効力：相続分
- (7) 相続の効力：遺産の共有
- (8・9) 相続の効力：遺産分割、相続回復請求権
- (10) 相続の承認・放棄、財産分離、相続人の不存在
- (11・12) 遺言と遺留分

履修上の留意点

身近な問題を取り上げる分野とはいえ、難解なテクニカルタームが多用されています。講義を受ける際には、教科書の該当部分を読んだうえで、分からない文言を調べておくことが望まれます。

成績評価の方法

学年末の筆記試験の他、出席状況などの平常点も重視します。

教科書

有斐閣双書『民法 (8) 親族 [第4版増補版]』(有斐閣) 1,600円
有斐閣双書『民法 (9) 相続 [第4版増補版]』(有斐閣) 1,600円

参考書等

六法
久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選 [第5版]』(有斐閣) 2,200円
『法律学小辞典』(有斐閣) 4,500円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西 洋 法 制 史	きたの 北 野 かほる	文学部全学科	4

講義のねらい

イギリスの法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。特に注目される法的現象を挙げながら、各時代毎の法制度の全般的特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1部 総論
 - 第1章 法制史学概説
 - 第1節 法制史学の方法と対象
 - 第2節 法制史学の目的と効用
 - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
 - 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
 - 第1節 時間的範囲
 - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
 - 第1章 古代
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 法構造
 - 第2章 中世 (1066-1350)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造 封建制
 - 第3節 統治構造 封建制の解体
 - 第4節 法構造
 - 第3章 近世 (1350-1650)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 統治構造
 - 第4節 法構造

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

年度当初に指示する。

そ の 他

一冊で間に合うような参考書はないため、試験準備に最も有効なものは講義の際に筆記した各自のノートである。今年度から講義内容を少し変更するため、過去の講義ノートはあまり役に立たない。敢えて出席はとらないが、出席してノートをとらないと事実上試験準備ができなくなるので十分注意すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英米法	きたの 北野かほる	文学部全学科	4

講義のねらい

近現代法治国家の主要法系のひとつである英米法系について、日本法を含む大陸法系と比較しての基本的特徴を外観し、その主要な理由をなすと考えられる、法形成における裁判の意味について、判例法を中心に考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1章 法系
 - 第1節 近代法の法系
 - (1) 西洋近代法 (2) 二大法体系 (3) 大陸法系あるいはローマ法系
 - (4) 英米法系あるいはコモン・ロー法系
 - 第2節 イギリス法の特徴
 - (1) 一般的特徴 (2) 歴史的特徴
 - 第3節 英米法の分類
 - (1) 法域 (2) 法源 (3) コモン・ロー
- 第2章 英米法の特徴
 - 第1節 法内容の歴史性
 - (1) 歴史的連続性 (2) 法系としての特徴
 - 第2節 法観念の社会性
 - (1) 法の観念 (2) 法システムにおける裁判の位置 (3) 救済と権利
 - 第3節 法思考の実務性
 - (1) 総論 (2) 法曹一元
- 第3章 判例法の理論
 - 第1節 判例法
 - (1) 判例法 (2) 判決における法考察 (3) 判例法の考察
 - 第2節 判例法の理論
 - (1) 外枠 (2) 内実 (3) 先例性の判断
 - 第3節 制定法の解釈
 - (1) 制定法の位置づけ (2) 厳格な分離解釈の理論

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教科書

特に指定しない。

参考書等

望月礼二郎『英米法（新版）』（青林書院）現代法律学全集55 5,150円
その他の参考書：年度当初に指示する。

その他

試験準備には講義ノートが最も有効である。各自注意して出席し、ノートをとること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済法	わかばやしありさ 若林 亜理紗	文学部全学科	4

講義のねらい

経済法の中心をなす独占禁止法を理解することを目標とする。独占禁止法は、市場における競争秩序の維持になうものであるが、これは事業者の活動にかかわるのみならず、私たち消費者の生活にも密着している。この点を念頭に置き、講義では、なるべく多くの事例を紹介することにより、独占禁止法の解釈や運用について具体的なイメージをもって理解できるように進める予定である。

講義の内容・授業スケジュール

以下のトピックについて講義を行う予定である。

- 1 独占禁止法の基礎概念
- 2 不当な取引制限
- 3 私的独占
- 4 一般集中規制
- 5 市場集中規制
- 6 不公正な取引方法
- 7 公正取引委員会
- 8 私的エンフォースメント・刑事罰

成績評価の方法

期末試験により評価を行う。

教科書

丹宗・厚谷編『新現代経済法入門（第2版）』（法律文化社）

参考書等

別冊ジュリスト『独禁法審決・判例百選（第六版）』（有斐閣）

その他

授業は毎回配布するレジメに基づいて進めることとする（基本的には教科書に沿ったものとなる予定である）。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ヨーロッパ政治論(1) (前期)	わかまつくにひろ 若松 邦弘	文学部全学科	2

講義のねらい

市場と国家の対立、民主主義の保証と統治の改善、国際統合の進展など、西ヨーロッパの諸国が今日抱える政治上の課題を理解するために重要な枠組みについて概説的な講義を行います。各国の相違というより地域の共通性、個別の事象というより基底の構造を明らかにすることに重点を置きます。

講義の内容・授業スケジュール

以下のトピックを順に各1～2回の講義で扱います。

- ①ヨーロッパ政治をみる視点、②歴史的背景、③イデオロギーと政党グループ、④対外関係、⑤西欧における国際統合、⑥西欧の民主主義

履修上の留意点

現代政治は現実の問題であるため、新聞、国際ニュース、インターネットのニュースサイト等により、最新の国際ニュースに触れておくことが望まれます。参考書を随時紹介しますので、それらを含めた関係分野の文献を自発的に検索し、授業外での学習を進めることを期待します。また、高校の「世界史」の知識を前提に授業を進めますので、自信のない人は復習しておいてください。

成績評価の方法

学期末試験の結果を成績とします。

教科書

とくに指定しません。

参考書等

授業内で各トピックごとに参考書を紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ヨーロッパ政治論(2) (後期)	わかまつくにひろ 若松邦弘	文学部全学科	2

講義のねらい

議会政治の祖国であり、日本の政治制度にも大きな影響を与えてきたイギリスの政治をとりあげ、そのしくみを理解するために基礎となる見方を概説します。幅広く関心をもってもらうため、現代のイギリスを中心に講義を進めていきますが、表面的な知識の寄せ集めではなく、その裏にあるイギリス政治・社会の構造を理解してもらえよう期待しています。

講義の内容・
授業スケジュール

以下のトピックを順に各1～2回の講義で扱います。
①「連合王国」の構成、②自由主義の歴史、③立憲体制、④議会、⑤行政機構、⑥政党制と選挙制度、⑦第二次大戦後の政治史

履修上の留意点

新聞、国際ニュース、インターネットのニュースサイト等により、最新のニュースに触れておくことが望まれます。また、参考書を随時紹介しますので、それらを含めた関係分野の文献を自発的に検索し、授業外での学習を進めることを期待します。

成績評価の方法

学期末試験の結果を成績とします。

教科書

とくに指定しません。

参考書等

授業内で各トピックごとに参考書を紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国際政治学	こぼりのりお 小堀訓男	文学部全学科	4

講義のねらい

国際社会に展開する政治現象を、政治学的アプローチで論及し、国際政治の本質を理解することが、本講義のねらいである。

前期の講義は、国際政治とは、いかなるものか、分かり易く概説する。具体的には、国家、権力、民族、階級、国際政治における権力と道義、国内政治と国際政治等をテーマに“国際政治の本質”について考察する。つぎに、より理解を深めるために、“国際政治の基調”と題して、国際政治が展開し、現在に至るまでの、各時代の国際政治の基調を、歴史的に概観する。

後期では、“国際政治の問題”と題して、冷戦後の国際政治、ナショナリズム、地域的安全保障、エネルギーと環境問題、国連の使命と限界、地域統合と国家の役割の変化等の、国際政治学が取り組むべき課題を、理論的かつ実証的に解明しながら、受講生とともに考えたい。

講義の内容・
授業スケジュール

講義のテーマ、内容については予告する。受講生は必ず予習をして、講義に出ること。基本的な知識については、共通の理解を徹底したいので、全員で討論しながら授業を進めたい。よって、積極的な参加を求める。

成績評価の方法

1年間に数回程度、授業中に30分のショートテストを実施する。これは講義の理解の程度を知るためであるが、このテストの評価を30%とし、定期試験を70%の評価とする。

教科書

必要に応じて講義のなかで紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ヨーロッパ政治史	浦田早苗	文学部全学科	4

講義のねらい

現代西ヨーロッパの政治は、そこから多くのことを学んできた我々の先達が描いたほど理想的な状態で機能しているわけではなく、数々の矛盾にみちている。自由、平等の精神なり、『華やかなりし議会政治』の概念は、激動の現代政治のなかにあっては時として空虚な響きを投げかけてくることは否定できない。しかし、国家や政党、国民や民族といった西洋で生まれた近代政治の概念に再検討が迫られている今ほど、そうした概念の本質を成立した歴史過程のなかで考察することの重要性が問われたときはなかった。本講義では、近代ヨーロッパの歴史全般を概説しながら、ヨーロッパが抱える問題の本質を明らかにすること、及び現代政治を誤りなく把握する上で必要な基礎概念を検討することに視点がおかれている。

講義の内容・授業スケジュール

- ・近代の始点—ルネサンス期と18世紀
- ・英国革命とIRA
- ・ジャコバイトと英国王室
- ・議院内閣制の成立変遷過程
- ・英国における政治腐敗防止過程
- ・フランス革命と国家の概念
- ・フランス政治におけるジャコバン主義
- ・「後発国型近代化」の問題点—ドイツの場合—
- ・統合ヨーロッパの源流

成績評価の方法

年5～6回とる出席点は学年末試験に加算する。試験はあらかじめ提示した4問から2題出題する。(ノートの持ち込みは不可)

教科書

特に教科書は指定しないが、さらに詳細な研究を望む学生には適宜参考書を推薦する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地方自治法	富井幸雄	文学部全学科	4

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをかみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎週レジメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

成績評価の方法

前期試験(40%)と学年末試験(60%)で総合的に評価する。

教科書

原田尚彦『地方自治の法としくみ』(学陽書房)2,000円

参考書等

『地方自治判例百選(第2版)』(別冊ジュリスト)。
なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』(良書普及会)は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』(岩波書店)、同他『概説日本の地方自治』(東京大学出版会)は必読。

その他

講義では頻りに法律の条文に言及するので、六法(『地方自治小六法』(学陽書房)があるがポケット六法でよい)は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大規模な改正がなされたので、必ず平成13年度版を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両法分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
比較政治学	木暮健太郎	文学部全学科	4

講義のねらい

本講義の目的は、20世紀に発展をとげた比較政治学の諸理論を中心に考察を行い、各国の政治の類似点や相違点を明らかにするための視座を提供することである。それぞれの理論の解説を通じて、比較政治学のさまざまな理論が、現実政治を考察する上でいかに適応可能なのかという点についても言及する。政党システムや政治システムに関する代表的な理論から、討論型民主主義や電子民主主義といった近年の新しい理論まで、幅広くとり上げる。

前期（4～7月）は、比較政治学の基本的な前提について考察した後、政党システムをめぐる理論を中心に講義を進める。後期（9月～1月）は、現代世界の民主主義理論を中心に講義を進める。後期後半では、比較政治学と国際関係との関連性についても言及する。

講義の内容・授業スケジュール

（前期）（1～2）イントロダクション。（3～9）政党システムと政党システムの規定要因。（10～12）政党システムの変化といくつかの事例。（13）前期まとめ。
（後期）（14～17）現代民主主義の基礎理論。（18～19）現代民主主義のタイプ。（20～22）新しい民主主義理論。（23～25）民主化と国際関係。（26）後期まとめ。

履修上の留意点

関連する他の科目と併せて履修することが望ましい。また、この科目に関連する情報を新聞やニュース、インターネットなどを通じて日常的に収集し、理解を深める努力を求めたい。

成績評価の方法

定期試験およびレポートの評価を総合して判断する。前期もしくは後期のいずれかを筆記試験とし、もう一方の学期をレポートとするような形態を考えている。

教科書

岩崎正洋『政党システムの理論』（東海大学出版会）2,800円

参考書等

河野勝・岩崎正洋編『アクセス比較政治』（日本経済評論社）2,500円

その他

講義形式を中心とする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代国家論	おおつか 大塚 かつら 桂	文学部全学科	4

講義のねらい

近年、政治制度の諸改革（1府12省庁、地方分権、規制緩和 etc）がすすんでいます。これにより、21世紀型国家が構築されたものと評価されています。ところで、第2次大戦後、新生日本国家がスタートしました。民主化の徹底、人権意識の高揚がはかられました。これにより、大日本帝国体制が清算されたと考えられています。しかし、果たしてそうといえるのでしょうか。明治国家のフレームワークは、今日にあっても直接間接に影響を与えていますし、その痕跡もはっきりと残っています。現代国家を理解するにあたっては、明治国家の構造を知ることが有益です。本講義では、明治国家における制度、思想、運動について究明していきます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 国家論の課題
2. 幕末政治過程
3. 幕末政治思想（水戸学、国学）
4. 公議政体論
5. 太政官制・内閣官制
6. 大日本帝国憲法
7. 法典整備・司法制度
8. 統帥権・戒厳（令）
9. 地方官官制
10. 自由民権運動
11. 帝国議会
12. 財政制度
13. 教育勅語
14. 国家神道
15. 社会主義運動
16. 大正デモクラシー
17. 天皇機関説
18. 天皇制ファシズム
19. 統制経済
20. まとめ

成績評価の方法

受講生と相談の上で、以下のいずれかの方式によって単位を認定します。
 A方式（レポートによる単位認定）～年4回の課題報告を提出してもらい成績を評価します。
 レポート作成を通して、読解力と書く能力を涵養します。
 B方式（試験による単位認定）～中間、期末試験により評価します。
 ※なお、B方式のみ追・再試験を実施します。

教科書

大塚桂『明治国家の基本構造』（法律文化社）3,300円

参考書等

大塚桂『現代国家へのアプローチ』（成文堂）3,000円

その他

私の研究室は、第2研究館8階（2835）です。電話は3418-9377（直）です。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経 営 労 務 論	か しま ひで あき 鹿 嶋 秀 晃	文学部全学科	4

講義のねらい

この講義では、現代の日本企業とそこに働く労働者が抱える経営労務問題を幅広く扱っていく。具体的には経営学と経営労務論、戦後日本経済と日本的経営論、終身雇用、年功序列賃金、企業別組合制度、福利厚生制度、異動と昇進、人材形成、労働時間問題、ホワイトカラーの労働問題、女性労働問題、新しい労働法制と労働問題などの小テーマを設けて講義していく。学生には経営労務論を受講することで企業と労働、社会について幅広い問題関心を持ってもらいたい。

講義の内容・ 授業スケジュール

講義は1コマ1テーマの原則。各回の最初に「日本は本当に終身雇用なのか？」といったような問題点を掲げ、その解説をおこなう。また、最近の新聞記事から重要な経営労務問題をピックアップして紹介する。

履修上の留意点

詳細は最初の講義で説明する。出席は取らないので、出席点は無し。(1) 私語は真剣に聞いている他の学生に迷惑になるのでしないこと。(2) 携帯電話は消音すること。ひどいときには退室してもらい、単位の認定をしない。

成績評価の方法

評価は学期末試験とレポート提出の合計点で成績評価を実施する。

教 科 書

テキストは特に指定しない。

参 考 書 等

参考図書としては、津田真澄『人事労務管理』ミネルヴァ書房、1993(定価3000円程度)、労務学説史をわかりやすく説明したものとして渡辺峻『企業組織の労働と管理』中央経済社、1995(定価2600円程度)、経営労務をより体系的に深く学習するのによい白井泰四郎『現代日本の労務管理第2版』東洋経済新報社、1992(定価3500円程度)をあげておく。この他にも講義の中で適宜いろいろな文献を紹介していく。

そ の 他

授業は講義形式でおこなうが、図表やグラフを多用し、ただ聞いてノートを取るだけでなく「頭をつかう」ような形にする。ホームページでも授業に関する情報提供をしていく。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kashima/> この科目は再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際経営論	茂垣広志 <small>もがきひろし</small>	文学部全学科	4

講義のねらい

国際経営とは、国境を越えて事業を展開している企業（多国籍企業）の戦略およびマネジメントの課題に取り組んでいる経営学の一領域である。本講義のねらいとしては、経営戦略論、管理論、組織論をベースとして、比較経営や異文化マネジメントの視点を加味して、多国籍企業の戦略行動とマネジメントの特徴を理解することにある。つまり、国内的企業ではあまり問題とならないような、企業の国際化、多国籍化にかかわる諸問題を企業経営の視点から多面的に捉え、検討することを通じて国際経営に関する基本的理解を深めることを講義の目的としている。

講義の内容・授業スケジュール

日本企業を念頭において授業を進めるが、欧米系多国籍企業との比較、ケースを用いて理解が深められるような講義の内容を予定している。授業のスケジュールに関しては、下記のような構成となっている。

1. 国際経営論入門、2. 経営戦略の基礎と国際経営戦略、3. 企業の国際化と国際経営環境、4. 企業の多国籍化と国際化の発展段階、5. 国際競争戦略のパターン、6. 国際戦略提携、7. 国際経営組織、8. 国際経営のモデル、9. 日本企業の国際経営（日米欧多国籍企業比較）、10. 海外子会社のマネジメント、11. 異文化マネジメント、12. 海外派遣（出向）者の育成・選抜・処遇、13. 日本企業の国際経営上の課題と展望

履修上の留意点

教科書を用いて講義を進めるため、授業に教科書を携帯のこと。

成績評価の方法

成績は、期末試験の結果によるが、その際、出席状況を加味する。

教科書

茂垣広志『グローバル戦略経営』（学文社）2,800円

参考書等

必要に応じて指示する。

その他

プロジェクターを用いて講義形式で授業を進行する。また、必要に応じて資料を配布する。この科目は再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
商業史	山田勝 <small>やまだまさる</small>	文学部全学科	4

講義のねらい

商業経営の歴史的発展の過程を、文化との関係に留意しながら講義する。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容の主なテーマは次のとおりである。

(1) 商業史の視点	(6) 継続性
(2) 歴史研究とパラダイム論	(7) 流通量
(3) 利潤	(8) 大衆消費社会の特質
(4) 商品	(9) 価格革命
(5) 市場	(10) 情報社会と商業

履修上の留意点

講義を聴くことのみが学習の方法ではないが、講義は各自の学習の導きとしては有益であると思う。出席はとらないが、聴講に努めて欲しい。質問は歓迎する。教場での私語は他人の迷惑となるので厳禁とする。必要があれば教場から出て話すこと。

成績評価の方法

成績評価は定期試験による。

教科書

山田勝著『現代商業の歴史と展開』（創成社）2,850円

その他

この科目は再試験を実施しません。

履修科目
他学部

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
保 險 経 営 論	いしなざか くに あまき 石名坂 邦 昭	文学部全学科	4

講義のねらい

本講義においては、保険学のアプローチとして近年一般化しつつあるリスク・マネジメントの基本的事柄につき理解した後に、保険理論の基本的知識を正確にし、わが国の保険事業並びに一般企業がかかえているリスクに関する諸問題にどのように対処したらよいかの応用能力が持てるようになることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

保険学の研究は、保険法学的アプローチ、保険経済的アプローチ、保険経営学的アプローチとそれぞれの時代を背景に論じられてきた。今日、保険学研究については保険経営学的研究をより発展させた、「危機管理論」（リスク・マネジメント）研究が主流となっている。本講義においては、最初にリスク・マネジメントの基本体系について論じ、リスク・マネジメントの理論、歴史的発展について見た後に、リスク・マネジメントの中心となる保険の機能、保険本質、保険技術について詳しく見ていきたい。

前期はリスク・マネジメントを中心とした講義を行い、後期に保険論を中心とした講義を行う。講義は、理解しやすいように工夫をこらしていく。教科書は使用するが、それは本講義を理解するための基本的共通知識として使用し、講義は教科書に書かれている事柄が理解されていることを前提として進めていく。

履修上の留意点

保険およびリスク・マネジメントを理解するためには使用される専門用語を理解されていなければならない、学ぶことも広範囲にわたるため、講義を受ける前に必ず教科書を読み講義後の復習も忘れないようにしてほしい。学生諸君の積極的な授業への参加を望む。

成績評価の方法

講義への出席状況および授業時の質疑応答と定期試験の結果を総合して成績評価を行う。

教科書

石名坂著『リスク・マネジメントの理論』（白桃書房）3,500円

参考書等

石名坂著『ファミリーリスク・マネジメントと保険』（白桃書房）
石名坂著『リスク・マネジメントの基礎』（白桃書房）

その他

この科目は再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
財 務 会 計 論	わた なべ えいちろう 渡 邊 恵一郎	文学部全学科	4

講義のねらい

財務会計論は会計学の一分野であり、企業の経営成績と財政状態を明らかにするという基本的職能を取り扱っている。財務会計の目的は、企業経営に責任を負う経営者に、投資者、債権者その他企業と利害関係を持つ外部の人々に対して、適切な企業財務情報を提供させることにある。この主たる手段が、損益計算書、貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書などの財務諸表である。

講義では、財務諸表を作成するための会計処理（測定）と表示方法（伝達）を中心的課題とし、またこれに関するわが国の商法、税法などの会計法規も取り上げ、さらに国際会計基準との関連にも触れる。

講義の内容・
授業スケジュール

講義の内容はおおむね下記の教科書によることとし、この授業スケジュールは次のとおりである。

- ① 4～5月 財務会計の機能と制度、利益計算の仕組み、会計理論と会計原則
- ② 6～7月 利益計算と資産評価の基本原則、現金預金と有価証券、売上高と売上債権、棚卸資産と売上原価
- ③ 9～10月 固定資産と減価償却、繰延資産、負債、資本
- ④ 11～12月 財務諸表の作成と公開、連結財務諸表、外資建取引等の換算

履修上の留意点

毎時間の出席率と宿題提出（年1回）を重視する。

成績評価の方法

成績評価は、出席率、宿題提出及び定期試験点数の総合による。

教 科 書

桜井久勝著『財務会計講義』（中央経済社）

参 考 書 等

日本公認会計士協会編『監査小六法』（中央経済社）

そ の 他

- (1) 授業の方法は、講義による。(2) 簿記学・会計学の単位を修得していること。
- (3) この科目は再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経営分析論	かたぎり のぶ お 片 桐 伸 夫	文学部全学科	4

講義のねらい

経営分析とは、文字どおり「企業の経営を分析すること」であり、かなり多方面にわたる内容をもっています。

皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか（安定性分析）、
 - 2 「儲け」はどうだろうか（収益性分析）、
 - 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか（生産性分析）、
 - 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか（成長性分析）、また、
 - 5 社会に対してどのように貢献しているだろうか（社会性分析）、
- といった内容です。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、企業の毎期の経営活動を報告する「貸借対照表」や「損益計算書」などの「財務諸表」の読み方をまず説明し、安定性・収益性分析を学習します。

後期は生産性・成長性・社会性分析や、さらに、損益分岐点・利益増減その他の分析をとりあげます。

「各自が企業の経営を分析できるようになる」ため、授業で必要最小限の理論を学び、ただし、新聞などの最新のトピックによって企業の現実にふれます。

履修上の留意点

この授業の目的は、「財務諸表分析」を中心に、各人が就職を希望する、あるいは興味を持っている会社の「分析」をしていただくことにあります。つたなくても、ささやかでも、その成果は皆さんの貴重な「財産」です。

成績評価の方法

成績評価はレポートと授業中のテストで行います。学年末試験は行いませんのでご注意ください。

- * レポート・テーマ：前期「各自が関心を持っている企業の収益性・安定性分析」
：後期「各自が関心を持っている企業の成長性その他の分析（続）」

☆提出日（授業はじめに配布するシラバスに明記）以外は受け付けませんのでご注意ください。

- * テスト範囲：財務諸表数値を用いた経営比率の算出問題。

☆質問は授業以外にも研究室2307号室で随時受付けますので、遠慮なくおいでください。

教科書

開講時、指示します。

参考書等

随時、紹介します。

その他

この科目は再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営情報論	高井 徹 雄	文学部全学科	4

講義のねらい

経営スタッフの役割は、意思決定を支援すること、すなわち、意思決定者が適切な意思決定を行えるよう、決定の指針となる情報を提供することに外ならない。本講義では、将来、企業や官庁における経営スタッフを目指す諸君のために、経営情報に関するシステムの観点と、情報利用技術の基礎について解説する。

講義の内容・授業スケジュール

I. 経営情報とシステムの観点（前期）

(1) 科学とシステムの観点（4月～5月：4週）

情報学のバックグラウンドにある考え方や知識について整理する。科学の方法とシステムの的なものの見方、それに基づく問題へのアプローチとはどのようなものかについて理解を深める。

(2) 情報学の基礎と周辺領域（5月～6月：5週）

情報処理技術に関わる基礎的な勉強をする。主としてコンピュータベースのシステムによる情報の取り扱いに関し、知っておくべき基礎的事項について整理する。

(3) 情報環境の発展と経営における利用（6月～7月：5週）

経営の場における意思決定と情報利用技術の関わりについて学ぶ。まず、企業における情報利用の形態の歴史的変遷を概観する。次いで、今日から近未来において、インターネット環境下の戦略的な情報の利用はどうあるべきか。すなわち、ITを用いた意思決定と管理のあり方、また電子商取引の現在と今後の発展について考察する。

II. 情報の利用技術（後期）

(1) 多変量データ解析（9月～10月：7週）

調査収集された生のデータは、そのままでは情報としての価値はない。データを加工・分析し、それが表す意味を解釈することで初めて意思決定のための情報が得られる。ここでは、定量的データを分析するための、重回帰分析、主成分分析、判別分析法を、またアンケート調査などで得られる定性的データを分析するための数量化I、II、III類法について、その原理と適用方法を学ぶ。

(2) シミュレーション（11月～12月：4週）

複雑な対象の動的な特徴を分析するための有力な方法としてシミュレーション技法がある。まず、社会経済系に関するシステム・ダイナミクス、工学的システムに関する有限要素法などの数値シミュレーション、待ち行列現象の解析に威力を発揮する離散系シミュレーションなど、代表的な手法についてその特徴を概観する。次いで、乱数を用いるモンテカルロ法の基礎的方法に触れた後、離散系シミュレーションの原理とモデル構築の方法について学ぶ。

(3) DSSとES（12月～1月：3週）

人工知能の原理と、その経営の場での応用として期待されるDSS（意思決定支援システム）、ES（専門家システム）の概要について学ぶ。

履修上の留意点

「情報処理基礎」と「経営数学」を履修済みまたは同時に履修していることを前提として授業を行う。また、「統計原論」か「経営統計論」のいずれかを履修済みまたは同時に履修することが望ましい。

成績評価の方法

前期、後期末に実施する筆記試験に基づき評価する。その他、出席状況も評価に反映させる。

教科書

教科書は指定せず、授業の各テーマに沿って適宜プリントを配布する。

参考書等

本講義のテーマに関わりの深い参考書として、高原康彦・高津信三編、高井徹雄他著『経営情報システム』（日刊工業新聞社）3,200円を推奨しておく。

その他

この科目は再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報理論	にしむらかずお夫 西村和夫	文学部全学科	4

講義のねらい

近年では日常的に使われる言葉となっている“情報”の本質を探ります。主に、情報の量(情報量)を定義したシャノン(C. E. Shannon)流の情報理論について講義します。

この授業を受講すれば、ある通報や記号のもっている情報量を、具体的な数値として(シャノンという単位で)計算できるようになります。これによって、たとえばDNAの情報記録するために十分なフロッピーディスクの枚数が、たちどころに計算できるようになります。

また、情報量の期待値(平均値)であるエントロピーという概念も理解できます。これは、経営情報論、符号理論、通信理論、暗号理論などで利用される重要な概念です。

その後で、エントロピーによって冗長度を導入します。言語の文字や音が冗長であることが、会話を成立させるために重要であることを理解します。

途中で、古代から現代にわたる暗号の話をしてします。現代の暗号技術の基礎についての理解は、現代社会で生きていくために必要なことです。

講義の内容・授業スケジュール

- 4月3回 授業内容概説、情報とは、情報量への要求
- 5月3回 対数の原理と性質、計算練習
- 6月4回 情報量の定義、練習、情報量の利用、2進法
- 7月3回 暗号系と用語、古典的な暗号、“踊る人形”の解説
- 9月2回 現代的な暗号、暗号技術を使ってできること
- 10月2回 符号化(JISコード、国際符号化文字集合)、対数・情報量の中間試験
- 10月2回 確率過程およびマルコフ過程
- 11月2回 遷移確率と同時確率
- 11月1回 エントロピーの定義
- 12月2回 冗長度、言語のエントロピー
- 12月1回 価格以外の情報がない場合の市場占有率予測
- 12月1回 検査桁(CD)、情報の圧縮と乱数、デジタルとアナログ

履修上の留意点

4年次で履修するのは困難です。2～3年次のうちに履修しておくように強く奨めます。また、毎回出席して計算練習に参加していないと、試験問題を解くことは無理でしょう。

内容の性質上、確率と対数に関する多少の数学的知識が必要になりますが、これらについて全く知らなくても理解できるように配慮しています(上表5月参照)。

成績評価の方法

10月の中間試験(30%)と定期試験(70%)との合計点によります。

教科書

クイズと計算練習を適宜とりいれます。また、プロジェクトとプリントを使います。適当な教科書はありません。

参考書等

そのつど紹介します。

その他

〔関連科目〕→ 経営情報論

講義内容のページ：<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kazov/Nis/lecture/info.html>

この科目は、再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営統計	ながこ きょう 長 国 強	文学部全学科	4

講義のねらい

統計と企業経営の関わりについてを展開する経営統計とは、分析目的に対応して主に経営情報としてのデータを収集・処理・分析し、複雑な現象を理解すると共に、データを生成した集団や構造についてを予測し、いろいろな意思決定をサポートすることである。経営的意思決定において最も重要なことは、将来の経営状況をどう見るかであり、その予測に対して経営統計は十分な役割を果たされるはずである。

この講義では、企業経営における統計データの具体例を数多く取り入れることによって、経営統計の手法をわかりやすく説明していく。また、数学苦手の学生を配慮し、講義の内容説明は微・積分などの計算をいっさい用いず、数式の使用も必要最小限に止める。

講義の内容・授業スケジュール

予定している講義内容は以下の通りである。

経営統計について：経営統計の役割、基礎概念

統計特性値：平均、分散、正規分布

市場調査と統計整理：調査の諸段階、標本設計、データ整理

経営時系列：傾向成分の測定、季節指数の計算、時系列予測

経営指数：物価指数、数量指数

統計的意思決定理論：意思決定基準、期待効用理論

履修上の留意点

年間5回程度の演習問題を適時に配布し、それを独自かつ理解的に解ければ、中間試験や定期試験に心配する必要はない。

成績評価の方法

講義への出席状況と中間・定期試験の結果により総合的に判断する。

教科書

特に使用しないが、プリントは適時に配布する。

その他

統計学、あるいは統計原論を先にまたは同時に履修することが望ましい。
この科目は、再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
異文化コミュニケーション	おく ぼら じゅん こ 奥 原 淳 子	文学部(国文学科除く)	4

講義のねらい

目的は「外へ目を向けること、そして同時に内を知ること」です。「外」と「内」は、それぞれ「外国」に対する「日本」であり、「他」に対する「自己」でもあります。

近年、国際化が進み、異なる文化を背景とした人との交流が盛んになってきました。しかも、私たちが接する対象は、国籍、年齢、文化背景、ステータスなど実に多様化しています。このような状況下にあって、今後必要となってくるのは、「異なる文化を理解し、受容すること」であり、同時に、「自己の文化を理解し、発信すること」だと言えます。

しかし、理解すること、受容すること、そして、発信することは容易なことではありません。それらについて、一つ一つ考えていきたいと思えます。

講義の内容・ 授業スケジュール

以下の点について考えていきます。

- ・「日本人」とはだれか。
- ・「コミュニケーション」とは何か。
- ・それぞれの状況での自分（相手）の態度はどのような価値判断に根ざしているのか。
- ・非言語コミュニケーションは国によってどう違うのか。
- ・異なる文化背景を持った者同士は共生していくことができるのか。また、そのためにはどうしたらいいのか。

また、上記の内容を探ると同時に、自分の意見を持つこと、それを論理的に伝えること、そして、レポートを書くこと等についてその方策を提示していきます。

履修上の留意点

授業は教師側からの一方的な知識の伝達ではなく、学生自身が考え、調べ、発言する形をとります。具体的には、多くの文献を読むこと、グループでの意見交換や考察、発表などが授業の中心的な活動となります。従って、受身でなく、自ら積極的に学ぶ姿勢を持って授業に臨むことを期待します。

成績評価の方法

出席(毎回とります)・提出物・発表・試験・レポート

教 科 書

開講時指示します。

参 考 書 等

開講時指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語学	かた やま はる かた 片山晴賢	文学部(国文・英米文学科除く)	4

講義のねらい

国語学というのは、日本語そのものを研究対象とする学問です。
私たちが日常使用している日本語を、どのような過程を経て成立してきたのか、また、どのようなメカニズムを持っているのか、といった視点から分析していきます。

講義の内容・授業スケジュール

まず、日本語の特徴を概観し、それから、音声・音韻・文字・語彙の各方面から概説します。
なお、概要は次の通りです。

- ・音声／音韻：どの器官を使って声をだしているのか
どのように声を作っているのか
音声をどのように表記するのか
アクセント・イントネーション・プロミネンスとは何か
- ・文字：漢字・ひらがな・カタカナ・ローマ字の成立と変遷
仮名遣いの諸問題
- ・語彙：語彙の種類とその特徴

履修上の留意点

授業には、受身でなく、自ら考え、分析し、発表するという態度で臨むこと。

成績評価の方法

筆記試験の結果／授業態度（出席）／課題の提出状況

教科書

適宜プリントを配布します。
春日正三・古瀬順一・輝博元・川口明美著『国語学概説』（双文社出版）1,800円

参考書等

その都度指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国語史	はっ とり りゅうたろう 服部龍太郎	文学部(国文・英米文学科除く)	4

講義のねらい

各時代の資料により、国語の様相を具体的に確認することによって、国語の歴史を概観する。

講義の内容・授業スケジュール

- (前期) (1) 概説 (2～4) 上代語 (5～8) 中古語 (9～11) 中世語 (前期)
(12・13) まとめ
(後期) (14～17) 中世語 (後期) (18～20) 近世語 (前期)
(21・22) 近世語 (後期) (23) 近代語 (24) 現代語
(25・26) まとめ

成績評価の方法

試験やレポート、受講状況等によって判断する。

教科書

適宜プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
女性史	高嶋めぐみ	文学部全学科	4

講義のねらい

日本古代・中世・近世・近代・現代の家族・婚姻の具体像を探りながら女性の生き方を考える。また新聞などの記事・統計をもとに、現在わきあがっている女性周辺のさまざまな問題について考察していく。

講義の内容・授業スケジュール

時代を①原始古代②中世③近世④近代⑤現代に分け、各時代の社会、家族、そして女性の社会的地位の変遷などについて実態面および法的側面などから講述していく。

履修上の留意点

講義に集中すること。他人を思いやり、迷惑をかけること。

成績評価の方法

総合評価 (①出席、受講の状況②レポートまたは試験)

教科書

特に指定はしない。

参考書等

講義内容と関連して、適宜指示する予定。

その他

ビデオ・OHP など適宜使用する予定。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
文化概論	菌部幹生・井上優 佐藤憲昭・内藤寿子 藤田和美	文学部全学科	4

講義のねらい

「タブー」(taboo) を共通のテーマとして、下記のような日程と担当者によって、それぞれの専門とする立場からアプローチがなされる。

講義の内容・授業スケジュール

以下に示す日程にしたがって授業を進める。講義の内容をはじめとするその他の詳しいことからは、各担当者により指示があるのでそれにしたがうこと。

本年度の日程と内容は以下の通りである。

◎4月14日(水) オリエンテーション

①文学とタブー《4/21、4/28、5/12、5/19、5/26、6/2(6回)》

②タブーと宗教《6/9、6/16、6/23、6/30、7/7、7/14(6回)》

③メディアとタブー《9/22、9/29、10/6、10/13、10/20、10/27(6回)》

④慣習のタブー《11/10、11/17、11/24、12/1、12/8(5回)》

◎12月15日 まとめ

◎1月8日 レポート提出(資料室)

菌部幹生
井上 優
佐藤憲昭
内藤寿子
藤田和美
菌部幹生

履修上の留意点

最初の授業時(4/14)にオリエンテーションを行うので、受講者は必ず出席すること。

成績評価の方法

レポート及び出席状況等により評価する。

教科書

各担当者より指示する。

参考書等

各担当者より指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国文学特殊研究	小林 治・鈴木 裕子 蘭部 幹生・松田 直行	文学部(英米文学科除く)	4

講義のねらい

「音」をテーマとして、下記の日程と担当者によりそれぞれの立場からの考察がなされる。

講義の内容・授業スケジュール

各担当者から、その都度指示があるので、それに従うこと。本年度の内容と日程及び担当者は、次の通りである。

- ① 近現代文学の中の音と音楽 〈4/15, 4/22, 5/6, 5/13, 5/20, 5/27, 6/3〉 小林治
- ② 説話文学における音 〈6/10, 6/17, 6/24, 7/1, 7/8, 7/15〉 蘭部幹生
- ③ 歌の近代史～J-POPへの道程
〈9/16, 9/30, 10/7, 10/14, 10/21, 10/28, 11/4〉 松田直行
- ④ 王朝人が聞いた「音」—古代の物語と日記から—
〈11/11, 11/18, 11/25, 12/2, 12/9, 12/16〉 鈴木裕子

履修上の留意点

最初の授業時(4/15)にオリエンテーションを行うので、受講生は必ず出席すること。

成績評価の方法

レポートおよび出席状況等により総合的に評価する。

教科書

担当者により指示する。

参考書等

授業中に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
古典戯曲演劇	岡田 万里子	文学部(英米文学科除く)	4

講義のねらい

テーマ：歌舞伎と日本文化論

日本の古典劇のひとつにかぞえられる歌舞伎は、今日まで、いわゆる日本論、日本人論、日本文化論に、日本人のエートスの表象として引用されてきました。本講義は、履修者に対する歌舞伎へのガイダンスではありますが、歌舞伎を高尚な趣味として鑑賞するのではなく、歌舞伎、さらには歌舞伎に託されたいわゆる「日本文化」を対象化し、分析、批判的に考察することを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

歌舞伎を用いた日本文化論を講読します。関連する舞台のビデオ鑑賞や戯曲講読を通して理解を深めた上で、討議を行っていきます。

履修上の留意点

履修前の歌舞伎に関する予備知識は問いませんが、履修後は積極的に歌舞伎を含む古典芸能を鑑賞してほしい。土日あるいは夜間を利用して、団体鑑賞の機会を設けます。

成績評価の方法

前期および後期末のレポートと授業への貢献度などを総合的に勘案します。

教科書

河竹登志夫『舞台の奥の日本—日本人の美意識』(ティービーエスブリタニカ)新装版2000年7月、1,500円 ISBN4484002132
このほかの講読資料はコピーを配布します。

参考書等

教場において指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
メディアと表現	まつだ なおゆき 松田直行	文学部全学科	4

講義のねらい

マルチメディア社会における多様な表現形態の全体像を俯瞰するとともに、実際の表現現場における仕事の具体性に触れることによって、メディアと表現の現在を多角的に考察する。

講義の内容・授業スケジュール

担当者からのガイダンスと総論の講義のあと、現在様々なメディアと表現にかかわる分野で、実際に仕事をされている方々を毎回ゲストとしてお招きし、現場の具体的な状況についてのお話をうかがう特殊形態授業となる。ゲストのスケジュールは初回の授業で発表するが、1人1回から3回で交代し、テレビ局、広告代理店、出版社、通信会社、映画・演劇・音楽関係、俳優ほか、できる限り多様な職種の方々をお招きしたい。

履修上の留意点

受講希望者が教場の定員を越える場合は、他学部履修生については抽選とすることもある。初回の授業でガイダンスと受講生の確認を行うので、必ず出席すること。

成績評価の方法

学年末の定期試験期間中に提出していただくレポートによって採点する。それ以外に、適宜提出していただく小レポートにより、出席を確認する。

教科書

指定しない。

参考書等

教場で適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語（前期）	おかもと まこと 岡本誠	文学部（国文・英米文学科除く）	4

講義のねらい

「時事英語」なる英語があるわけではない。英語でしいて言えば“Current English”ということになるだろうか。文学作品でお目にかかるような構成や文体のものではないわけである。メディアの英語と考えてよい。

小説やドラマには起承転結というか、順を追ってプロットが展開され、終りに近くなってクライマックスに達する。時事英語では、これとは逆に、最初に話の内容を全部さらけ出し、重要な点から説明していく。この最初の部分をleadという。

かくして、内容の構成や文体の点で新聞・雑誌・放送といったメディアで接する英語についてはそれなりの認識が必要となる。本講義ではそういった分野の英語にふれることをねらいとする。

講義の内容・授業スケジュール

その日の朝のアメリカからの短波放送のニュースを聴き、そのニュースキャスターの原稿を作ってみる。インターネットも利用した内外の新聞やNewsweekなどの記事も併用する。受講する諸君はこの分野の語法である journalese に親しみ、新聞英語ぐらひは読み慣れるようにしてほしい。

履修上の留意点

世界の政治・経済の動きに注意を払ってほしい。それが社会の事象に対して問題意識をもつことに通ずる。こういう態度はいよいよ社会人になるときにモノを言う。講義中にケータイを鳴らした者は減点。

成績評価の方法

受講中の発表。小テスト。出席情況。

教科書

特定の教科書は使用しない。

参考書等

『時事英語講座』（研究社）

〔フレックスBで開講される他学部履修科目〕

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 学 総 論	お 大 吹 勝 男 <small>あ お ぶ き か つ お</small>	文学部全学科	4

講義のねらい

近年ますます大学において、学問が軽視される風潮にあります。そして生残りをかけ、学生集めのために実学主義・実用主義を売りものにする大学が増加しています。大学は学生および社会的要請に答えねばならないという主張のもとに、会社・企業のために大学が存在することを主張し、かつ君たちに会社人間になることを勧めるマスコミや評論家等がいます。そして一方で、学問に背を向け、それらに迎合する大学人がいます。しかし、大学は入学した君たちのためにあり大学で学ぶことは、将来君たちが人間らしく生きるための助けになるものでなければなりません。本学もまた大学である限り、学問の場でなければなりません。いいかえれば、大学においてしか学ぶことのできない、物事の見方、考え方を学ぶことです。さらにいうならば、実用的でないもの、すぐには役立たないもの、これらを学ぶのが大学です。何年かキャリアを積んだビジネスマンから聞くことは、大学時代に学問をしておくべきであったということです。諸君も、過労死か過労自殺をすることなく、そして使い捨てのサラリーマンになることのないように、体系的に思考する能力を身につけて下さい。そして、社会人として現実に困難な問題に出会った時に、学問をした人間として、大学の卒業生として、きちっと解決のできる人間になってください。母さん、学者の良心はどこまで転落してゆくのでしょうか。本講義では現代における流通および商業に関する諸現象を科学的に認識するために必要な流通理論（物流の基礎理論を含む）および商業資本の理論を講義しますが、それらの知識を習得するとともに、それらを学ぶ過程において体系的な思考方法を習得し、思考能力を高めてください。そのためには一年間を通して授業に出席することが必要です。また本講義は、君たちが履修するであろうマーケティングや商業政策・流通政策のための基礎理論を提供するとも思います。

講義の内容・授業スケジュール

授業内容は下記の項目の通りですが、本年度は、これらの項目について講義しながら、現代企業の経営戦略において重要性を増している物流問題を考えるうえで、その基礎となる理論について特に力を入れるとともに、同時にロジステックスについても考え、さらに、サイプライチェーンとそのマネジメント（管理）について検討します。また、マーケティングおよびブランドの問題についても検討する予定です。

- (1) 商品論（価値論）・電子マネー
- (2) 生産過程論（労働過程論）
- (3) 流通過程論（資本の流通過程 商品在庫と保管費用・市場と商品輸送）
- (4) 資本の回転と流通資本
- (5) 商業資本の本質論・自立化論・卸売排除論・電子商取引（eコマース）
- (6) 商業利潤論
- (7) 商業労働論・ホワイトカラー労働論（サラリーマン論）

成績評価の方法

評価は期末試験によるが、授業の予習をかねてレポートを課すこともありうる。また各授業項目が終る毎に、小テストを実施し、君たちの理解度を確かめ、一層の理解を深める手段とします。

期末試験は論述形式でおこなう。再試験は実施する。

教 科 書

大吹勝男『流通費用の基礎理論』（4月刊行予定）

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会思想史	阿部 弘 <small>あべひろし</small>	文学部全学科	4

講義のねらい

「経済学」という科学は、人間社会の歴史とともに歩んできた内容を持ちます。しかし、その学問としての成立過程は、19世紀に入って、ヨーロッパ社会で「近代市民社会」が成立してくる時期と軌道を一つにしています。

この講義では「経済学」の成立と「市民社会」との関係を明らかにすることを目標にしていますが、「経済学」の原型は、古代の社会で形成されてきた、「帝王学」的な政治・経済政策論に求められるから、最初にその実態を、東洋社会の「経世済民論」とインド・ヨーロッパの農業政策技術や重商主義的な政策論の展開に観ていくことにします。第2部として近代ヨーロッパ社会での、フランス革命に象徴される「ブルジョアジー」、およびその後登場してくる「プロレタリアート」が「経済学」の成立過程にどのような影響を及ぼしたのかを考察します。そのうえで、現代社会にあって、「経済学」は何を問題提起しているのかを受講生諸君と共に考えていきたいと考えています。

講義の内容・授業スケジュール

年間の講義は次の構成となります。

第1部：「経世済民」という考え方

第1章：古代中国での「経世済民」思想

第2章：インド・ヨーロッパ的帝王学

第3章：日本における輸入学問としての「経世済民論」

第2部：ヨーロッパ社会での「経済学」の形成過程

第1章：「個人主義」思想の形成と「道徳哲学」の新たな展開

－マンデヴィル思想から「道徳感情論」へ

第2章：フランス革命と「経済学」の形成過程

第3章：マルクスの経済学体系

成績評価の方法

- 「成績評価」は年間4回のレポートの作成で行います。
レポートは5月・7月・10～11月・12月におこないます。したがって「定期テスト」は行いません。
年4回のレポートを行うのは、講義形式のばあいには評価を年1回のテストで行いますと、となく受講生の皆さんと講師との交通がみられなくなるからです。
レポートの形式は、5月の第1回目は講師が受講生全体に共通なテーマを設定し、第2回以後は作成されたそれぞれのレポートからのテーマをも設定します。
- 上記のように年間4回のレポートを皆さんとともに実施していくのですから、回数が少なくてもよいとか、1回だけレポートを密かに作成して「送りつけ」てきたり、私のポストに投げ入れたりしても、評価が悪くなるだけですから注意してください。
- 「評価」はレポートで行いますので、「定期試験」および「追試験」とか「再試験」は行いません。

教科書

阿部弘『労働と所有』（八千代出版）3,200円＋税

その他

受講生と講師が「レポート」外で連絡し得るようにするために、講師の住所を下に記しておきます。

阿部弘：〒179-0072 練馬区光が丘6-1-4-204/TEL03-3976-7984

研究室：第2研究館5F No. 2538/TEL03-3418-9360

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商 業 政 策	いわ した ひろし 岩 下 弘	文学部全学科	4

講義の内容・
授業スケジュール

- 一 わが国の小売商業構造と蓄積構造
 - 1 90年代の小売商業構造
 - 2 80年代の大手小売業の資本蓄積構造
 - 3 90年代の大手小売業の資本蓄積構造
- 二 わが国の流通政策論
 - 1 中小小売商保護政策論
 - 2 流通近代化政策論
 - 3 流通システム化計画論
 - 4 流通革命論
- 三 流通ビジョンと流通政策
 - 1 70年代の流通
 - 2 80年代流通産業ビジョン
 - 3 90年代流通ビジョン
 - 4 21世紀へ向けた流通ビジョン
- 四 わが国の小売商業調整政策の展開過程
 - 1 百貨店法
 - 1) 第一次百貨店法 2) 第二次百貨店法
 - 2 中小小売商業振興法
 - 3 小売商業調整特別措置法
 - 4 大店法
 - 1) 1973年法 2) 1979年改正法
 - 3) 1991年改正法
 - 5 凍結宣言、要綱及び条例
 - 6 通産省による行政指導=抑制措置
 - 7 規制緩和
 - 1) 規制緩和の流れ-前川レポート、行革審報告
 - 2) 日米構造問題協議 3) 適正化措置
 - 8 特定商業集積法
 - 9 街づくりと都市計画
- 五 流通政策の転換
 - 1 大店立地法
 - 2 中心市街地活性化法
- 六 海外の流通政策
 - 1 イギリス
 - 1) 出店調整政策-都市・農村計画法
 - 2) 日曜営業問題-商店法
 - 2 フランス-ロワイエ法
 - 3 ドイツ-土地利用計画
 - 4 アメリカ-ゾーニング規制

成績評価の方法

定期試験、レポート、出席により評価。再試験は実施しない。

教科書

指定しない。

参考書等

その都度指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
アジア経済論	鄭 章 淵 <small>ちよん ちやん よん</small>	文学部全学科	4

講義のねらい

この講義では、受講生諸君のアジア経済に対する理解を深めるために、アジア経済を歴史・理論・現状分析の3分野に大きく分け、できるだけその全体像に迫る予定である。基本的な視座としては、1960年代以降本格化したアジアの経済発展を20世紀後半期に新たに勃興した資本主義発展の事例と捉え、その特徴並びに発展と矛盾のメカニズムの解明に焦点を当てる。その際、従来のアジア経済論のように（典型的には、新古典派開発経済学）工業化の本格化した60年代以降の時期にのみ注目するのではなく、その「前史」をなす時期（特に、植民地期や戦後1950年代までの時期）も射程に入れて、通史的に経済発展過程を捉える。また、60年代以降の工業化過程において常に経済発展をリードしてきたアジア国家の役割を重視し、「開発独裁」概念を援用した分析を試みる。そして、あくまでもアジアに視座を置きつつも、現在に至る歴史過程において、その都度、アジア経済に決定的な影響を及ぼしてきた世界経済の動向にも注意を払いたい。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕

1. 経済発展の前史
 - (1) 植民地経済の概要
 - (2) 戦後経済発展の初期条件
2. アジアNIEsの経済発展
 - (1) アジアNIEsの範疇と経済発展の特徴
 - ※NIEsの用語説明、経済開発戦略の特徴、産業的特徴
 - (2) 開発独裁体制の成立
 - ※韓国の事例、その他の開発独裁
 - (3) 経済発展と民主化の弁証法
3. ASEAN諸国の経済発展
 - (1) タイ・マレーシア・インドネシアの経済発展過程
 - (2) ASEANの歴史
 - (3) 日本企業の進出状況

〔後期〕

4. アジア社会主義諸国の開放政策
 - (1) 中国の開放政策
 - (2) その他……ベトナム、北朝鮮
5. アジア経済発展論の系譜
 - (1) アジアNIEs論
 - (2) 東アジア経済発展論
6. アジアにおける地域経済協力
 - (1) APECの発展過程
 - (2) ASEANの自由化過程
 - (3) その他の中小規模経済圏
7. アジア経済の現状
 - (1) アジア通貨危機の発生とその影響
 - (2) その他の諸問題…環境問題 etc.
 - (3) 日本とアジアとの関係の展望

成績評価の方法

前期および夏期の2回のレポートと学年末の定期試験で総合的に評価する。試験の際に自筆のノートを参照にしてもらうので、講義中ノートをよくとってもらいたい。再試験を実施する。

教科書

特に定めませんが、準テキストとして以下の文献を読んでもらいたい。
大野健一・桜井宏二郎『東アジアの開発経済学』（有斐閣アルマ）2,000円（税抜き）

参考書等

参考文献については、講義中に随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社 会 政 策	みつ おか はく み 光 岡 博 美	文学部(社会学科除く)	4

講義のねらい

社会政策とは、資本主義社会で発生する社会問題や労働問題を体制内において解決する思想や政府の政策を意味している。この社会政策という学問は19世紀の半ばに、その当時のヨーロッパでは後進国であったドイツで発生したが、やがて近代化をめざす日本に紹介された。この意味で、戦前から社会政策学は日本の経済学のなかでも重要な位置を占めてきたが、それは戦前日本の経済学がドイツ経済学から大きな影響を受けてきたからであった。

戦後の時代になると、社会問題や労働問題の処理は、政府の政策によってだけではなく、国民の権利を前提にして、その解決が意図されるようになってきた。殊に、労働問題は政府の介入を避け、労使の自主的な団体交渉によって事態に対処していくという方向に向かった。労働基準法、労働組合法、労働関係調整法といった労働法体系は、このような体制を作り出すために制定された法律だったのである。

このような現実世界の変化は、社会・労働問題へのアプローチの方法として、労使関係論の学問は発達を促すこととなった。戦後の日本においても欧米社会で開拓された労使関係論を吸収し、労使関係をその実態に即して理解しようという研究が大きな影響を及ぼしている。

なお、全体の講義を通じて、その時々社会政策や労働運動・社会運動によってどのような問題が解決され、どのような問題が未解決のまま残されその解決が迫られているのかを考えてみることにする。

講義の内容・授業スケジュール

そこで、上に述べたような社会政策論や労使関係論の動向を視野に置いたうえで、本年度は、次のような講義内容で授業を行うこととした。

- (1) 社会改良の思想と理論
- (2) 労使関係論の思想と理論
- (3) 日本における社会政策・労働問題（戦前）
- (4) 日本における社会政策・労働問題（戦後）
- (5) 戦後日本における労使関係の展開
- (6) 高齢化社会と社会保障
- (7) 日本の労使関係の現実と未来

上にのべた (1) ~ (7) のテーマについて、各々約3回程度の講義を予定している。しかし、時には、社会政策や労働問題を勉強するための専門書の解説、最近注目されている外国人労働者問題やフェミニズム論、また私が専門的に研究してきた問題なども解説したいと考えている。

履修上の留意点

特にないが、これまでは毎年かなりの数の履修者がいるために教場も比較的大きな教場であった。そのためか、時として後部座席での私語が目立った。教場での私語は慎むこと。また私の講義では黒板をフルに利用するので、受講者はなるべく黒板の近くで聞いてほしい。

成績評価の方法

本年度は前期末に試験を行うか、あるいはレポートの提出を求める。どちらにするかは適当な時期に講義のなかで指示する。但し、受講者が多い場合は実施できない場合もある。年度末試験については2~3週間前の授業で詳しく解説する。成績評価は前期末の試験かレポートと年度末試験の成績による。なお、再試験は実施しない。

教科書

特にないが、講義の内容と関連して参考書を適時指示する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
価格理論	あらまきよしひろ 荒木勝啓	文学部全学科	4

講義のねらい

授業のあらまし：価格理論の目的は、経済の中でマイクロ主体が互いに競争と最適化を行うことにより、市場および経済一般がどのような方向に向かうかを研究することにある。もし競争が理想的に行われ、情報や資源移動の完全性が保証されるならば、市場はパレート最適と呼ばれるある種の理想状態に達し、価格は自然に社会的厚生を最大化する水準に定められる。しかし例えば市場参加者が2という少数者で行われるならば、たとえ同様の競争自体が行われても、結果はクールノ・ナッシュ均衡とよばれるような、完全競争とは異なった市場均衡に到達するであろう。またその競争のありようによっては同じ2という参加者の競争から、シュタッケルベルク均衡と呼ばれるさらに異なった均衡状態が作り出されるかもしれない。その点はもはやパレート最適からはほど遠い点である。

このように、価格理論は、一般に「物価水準」と呼ばれているような現実のデータとしての価格というよりも、経済の市場の枠組みやマイクロ主体の行動様式に関する様々な想定から導出される as if パフォーマンスとしての価格決定を調べる科目である。従ってその分析のためにはどこまでも「最適化」手法がつかまとう。しかも経済学の場合最適化はほとんどの場合「制約付き最適化」である。

制約のないところに経済は成立しない。近代経済学を生み出した限界革命の旗手であるカール・メンガーは次のように述べる。村にわき出る泉があり、その水をだれでもが飲めるならば、その水をめぐる「経済」現象は生じないのであろう。しかし、旅人が増えて村人が水を自由に飲めなくなったときから泉の水に経済現象が生じ始め、水に価値が生まれはじめる。

以上のように価格理論では内容の理解がほぼ制約付き最適化手法の理解如何にかかっているといってもよい。従って講義のかなりの部分があるために準備と練習にあてられると思っただきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 価格理論で学ぶこと
- (2) 多変数関数と曲面
- (3) 微分、偏微分、全微分
- (4) 対数関数の微分と成長理論
- (5) 生産関数、コブ・ダグラス生産関数
- (6) ベクトルの直交と勾配ベクトル
- (7) 制約付き最適化問題のグラフィカルな理解
- (8) ラグランジュ乗数法
- (9) 加重限界効用均等の法則
- (10) 練習問題
- (11) 代替効果と所得効果の計算
- (12) 需要曲線と需要の価格弾力性
- (13) パレート最適、ボックスダイアグラム
- (14) MR 曲線
- (15) 独占均衡
- (16) 消費者余剰と生産者余剰、独占均衡の死重的損失
- (17) 消費曲線と供給曲線
- (18) 生産関数から短期費用関数の導出
- (19) 生産関数から長期費用関数の導出
- (20) クールノ・ナッシュ均衡
- (21) クールノ・ナッシュ均衡解の練習問題
- (22) 等利潤曲線
- (23) シュタッケルベルク均衡解
- (24) シュタッケルベルク均衡解の練習問題
- (25) ゼロサムゲームの解法

成績評価の方法

試験はノート・教科書・参考書持ち込み可。再試験実施。

教科書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス』（成蹊堂）

科目名	担当者名	配当学科	単位
銀行論	さいとう 藤 正 ^{ただし}	文学部全学科	4

講義のねらい

「フリー、フェア、グローバルな金融市場」の実現を掲げた「日本版金融ビッグバン」及び小泉「構造改革」の下で日本の金融制度は大きく様変わりした。一方では、大手銀行の統合や合併、外資系金融機関の対日参入攻勢、異業種によるネットバンキングや決済専門銀行への参入、など、グローバル化とIT革命を背景とした激しい競争が「華々しく」繰り広げられている。他方では、バブル崩壊後の長期不況、不良債権処理の遅れのなかで、「銀行不倒神話」が崩壊し、金融システム不安も依然解消されていない。その影響は、特に地域金融機関において厳しく、地域経済は深刻な衰退状況にある。

不良債権の「最終処理」、パイオフ解禁への対応、など、銀行を取り巻く状況はきわめて厳しいが、銀行は依然として「貨幣の供給および決済システム」を同時に担う唯一の主体であり、社会的に不可欠の存在であることには変わりはない。それゆえ、いまこそ21世紀における「持続的成長」を保証する金融システム、銀行の健全なあり方が強く問われている。

本講義では、現代の銀行が直面している諸問題を銀行の基礎理論に関連づけながら検討し、あるべき銀行の姿を考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) まず、講義へのガイダンスとして、1990年代以降、銀行が直面している諸問題を概観し、新聞紙上等でよく見聞きする基本的用語と「銀行論」との関連づけを行なう。
- (2) 前期は銀行の基礎理論の理解を中心に据える。
 - 1) 銀行経営の不振とは対照的に大手消費者金融会社や商工ローン会社（貸金業）は史上最高の収益を達成している。
銀行制度の成立以前からすでに存在していた「金貸し業者」や「高利貸し」と「銀行」の違いがどこにあるのかを考えながら、「銀行」の基本的機能および経済社会（メーカー、流通業、消費者、さらに国家など）との関連を明らかにする。
 - 2) 銀行が一方で預金を受け入れ、他方で貸出を行っていることは広く知られている。しかし、銀行は受け入れた預金をそのまま貸し出すのではなく、「信用創造」という銀行のみに認められた方法で行い、その際「預金通貨」という「マネー」を供給する。このメカニズムを明らかにするとともに、インターネットバンキングや電子マネーなど、エレクトロニクス技術の発展にもとづいた「キャッシュレス社会」の意味について考える。
- (3) 後期では戦後の日本経済に果たした銀行の役割を時期ごとに検証する。
 - 1) 「専門的金融機関制度」といわれる戦後日本の金融制度の特徴とそれぞれの専門機関（普通銀行、長期金融機関、中小企業金融専門機関、証券会社、保険会社など）の役割を理解する。
 - 2) 時期区分は、おおまかに高度成長期（1974年まで）、低成長・自由化期（1985年まで）、バブル経済期（1990年まで）、グローバル期（1990年代以降）とし、欧米の動向も参考にしながらそれぞれの時期にどのような「銀行理論」が展開されていたのかを紹介する。
 - 3) 現代の銀行制度が抱えている主要な問題を浮かび上がらせる契機となったのが、80年代後半以降の「バブル経済」と90年代以降の「バブル崩壊」、「グローバル化」である。戦後銀行制度の抜本的改革を目指すビッグバン及び小泉「構造改革」を様々な角度から検討しながら望ましい銀行システムのあり方を考える。

履修上の留意点

理解をさらに深めるために

- 1) 前期科目の「現代産業事情 III（野村証券提供講座）」
- 2) 通年科目の「金融論」、併せて履修されることが望ましい。

成績評価の方法

成績は、定期試験（またはレポート）による評価を基本とするが、出席状況、授業態度における積極性も十分に加味するので、講義に対する質問、疑問を大いに歓迎する。再試験を実施する。

教科書

齊藤正『戦後日本の中小企業金融』（ミネルヴァ書房）2003年。
なお、授業は毎回配布するレジメに沿って進める。

参考書等

大橋・小西・齊藤・田村・平沢著『日本のビッグインダストリー6 金融業』（大月書店）
日本銀行『新版 わが国の金融制度』
建部正義『はじめて学ぶ金融論』大月書店

科目名	担当者名	配当学科	単位
法思想史	高橋洋城	文学部全学科	4

講義のねらい

法に関する概念や用語が生まれてきた歴史的、哲学的背景や世界観に遡って検討するのが法思想史の役割である。これには二つの側面がある。一つは、中核的な概念の由来や変遷を知ることにより現代法を形成する要素の理解を深めることである。しかし同時に、様々な思考様式に触れることによって近代的思考を相対化し、実はそれが或る特殊な一様式なのだということを自覚する、ということも重要である。

なお題材はヨーロッパの法思想史にほぼ限定される（東洋および日本固有の法思想を扱うことはできない）。講義の理解のためには、最低限の世界史的知識が必要だが、講義時間内においてはそこに時間をさくことはではないので、そうした点について不安のある受講者は自学自習して講義に臨んでもらわねばならない。また20世紀以降の法理論史については本講義ではとりあげず、むしろ法哲学講義の方で扱うことになるのでそちらを参照されたい。

講義の内容・授業スケジュール

- [1] 簡単に講義の意義・注意事項などについての説明したのち、プラトン思想の背景として、ソフィストとソクラテスの問題について概観する。
- [2] プラトンの法思想：『国家』を中心にその意義を検討する。
- [3] アリストテレスの法思想：まずアリストテレス哲学の基礎理論を形相質料論を中心に紹介する。その後、『ニコマコス倫理学』『政治学』等を題材として、正義論、政治体制論を中心に検討する。
- [4] ローマ法の思想史的意義：現代に至るまでヨーロッパの法律学・法思想を規定してきたローマ法上の諸概念、思考方法について概説的な紹介を行なう。
- [5] キリスト教の法思想への影響を概念史的に考察する。
- [6] 中世自然法論：トマス・アクィナスの思想をとりあげ、古典的自然法論への理解を深める。また後半では、唯名論思想と近代的な世界像への転換についても言及する。
- [7] 社会契約説総論とホッブズの法思想：『リヴァイアサン』を中心にホッブズの議論を紹介し、またその現代的意義について考察する。
- [8] ロックの法思想：『統治論』を中心に、ホッブズとの比較を念頭に置きつつ考察を行なう。
- [9] ロックの所有権論に関連させつつ、同時に所有権論史全般について考察する。
- [10] ルソーの法思想：題材としては『社会契約論』『不平等起源論』が中心になる。
- [11] カントの哲学と法思想：法理論におけるカント思想の重要性を論じ、さらに現代のカント主義的理論の展開をとりあげる。

履修上の留意点

とりあげる著作の原文抜粋を中心とした資料をあらかじめ配布し、これに基づいて説明を加える形式で講義を進める。受講者は少なくとも資料の該当箇所を事前に読んだ上で講義に臨むことが要求される。

成績評価の方法

年度末の定期試験によって評価する。それ以外に課題レポート等を設定する可能性もあるが、その場合は自由提出課題とし加算点にのみ用いる（定期試験のみを受験するのでもかまわないということ）。

教科書

教科書としては特定の書籍を指定しないが、講義の理解を深めるため、法思想史全般の概観ができる図書を手元に置き、予・復習に役立てることを推奨する。次項の参考図書参照。

参考書等

- 法思想史に関する概説書の例として
- ・三島淑臣『新版・法思想史』（青林書院）4,854円：講義内容をさらに深く掘り下げて勉強したい場合に有益であろう。
 - ・田中成明他編『法思想史』（有斐閣Sシリーズ）1,800円：法思想史の流れを大まかにつかみ整理するのに役立つだろう。
- 講義開始時に、上記の他にもいくつかの概説的な入門書について、それぞれの特徴などを紹介するが、書店・図書館などで手に取ってみて自分にあったものを選ぶと良いと思う。また講義でとり上げる思想家の著作原著については、そのつど指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 法 制 史	しげのたかはる 茂野隆晴	文学部全学科	4

講義のねらい

基礎法学の一つとしての法制史は、文字通り、法学教育における史学である。私の担当する「日本法制史」は日本国民の法生活の歴史的考察を行うものである。年間の通史の授業は時代区分に基づいて行うのがふつうである。近年では、近現代史のもつ重要性も強調されるようになってきているので、講義ではそうしたことにも配慮しつつも、本年は国初から近世までの4期の法制の特色を主に講述し、最後に『家』制度を行いたい。

年間の講義を受講することによって、日本の法文化への愛着が深まったといわれるようになればと思う。

講義の内容・
授業スケジュール

序 日本法制史を学ぶにあたって

- I 日本法制史とは
- II 基礎法学のなかの法制史
- III 日本法制史の時代区分
- IV 日本法制史教育の沿革

第1章 上古（氏族法時代）

- (1) 総説 (2) 氏族制度 (3) 法の始源 (4) 法の分化

第2章 中古（律令法時代）

- (1) 総説 (2) 律令法

第3章 中世（武家法時代前期）

- (1) 法の系統 (2) 分国法〔国法〕 (3) 起請文

第4章 近世（武家法時代後期）

- (1) 織豊二氏の法令 (2) 徳川幕府の法令

終りに 『家』制度と現代の法意識

履修上の留意点

史資料に則して行う授業ですのでテキストは必ず揃えて欲しい。また、授業中の私語は当然ながら厳禁ゆえ、守れない者があれば直接にも指摘することになろう。

成績評価の方法

年間1度の定期試験と出席点によって評価する。

教 科 書

大久保治男・茂野隆晴共編著『日本法制史史料60選』（芦書房）2,300円

参 考 書 等

大久保治男・茂野隆晴共著『日本法制史』（高文堂出版社）3,000円。このほかにも、場合によりプリントを配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済法	荒井登志夫	文学部全学科	4

講義のねらい

規制緩和・グローバル化の下で独占禁止法を中心とする経済法の分野はいよいよ重要性を増し、近年、相次いで法改正等が行われています。本講では、独占禁止法、景品表示法、下請法及び官製談合防止法の規定を、①実体経済の動きや歴史的視点をバックに、②規定の意味内容を平易に解説するとともに、③抽象的な規定の適用実態を理解できるよう具体的な適用事例を挙げて説明する計画です。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕 (1～3)前史、全体像・基本的概念 (4～5)私的独占 (6～10)不当な取引制限等(価格カルテル・入札談合、事業者団体カルテル、官製談合防止法、課徴金) (11～13)不正な取引方法・前半
〔後期〕 (14～16)不正な取引方法・後半(景品表示法・下請法) (17～18)第四章規定(株式所有・合併・持株会社) (19)寡占問題(独占的状態・価格の同調的引上げ) (20～23)公正取引委員会、手続規定・措置体系 (24～25)国際的環境(海外独禁法、国際的協定) (26)まとめ

成績評価の方法

学期末試験の結果と前期末の受講者の提出物の内容に基づいて行います。問題作成及び成績評価に当たっては、講義に出席し実態的な理解を深めた方が有利になるよう配慮します。

教科書

舟田正之・根岸哲『独占禁止法概説』(有斐閣)3,600円
なお、適宜プリントを配付し、法改正情報、事例研究の参考となるようにします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際関係論	南山淳	文学部全学科	4

講義のねらい

近代ヨーロッパに成立した国際社会は、戦争による世界秩序の崩壊と新たな世界秩序の創造というサイクルを描きながら、地球全体を覆うまでにその規模を拡大してきている。他方冷戦構造の崩壊、グローバル化の拡大、米国における同時多発テロ、イラク戦争等に象徴されるように、近年の国際関係は激しく変動し、複雑化の一途をたどっている。

本講義の目的は、伝統的な国家間関係とトランスナショナルな関係が相互に影響を与え合う現代国際関係の全体像を構造的に理解することにある。構造的な理解とは、近代から現代にいたる国際関係のダイナミズムのなかで、持続する領域と変容する領域を画定していく作業に他ならない。そのためには、歴史と理論を別々に考えるのではなく、共通の視角を設定して理解することが不可欠である。現実の国際構造の変動とともに学問としての国際関係論のあり方も大きく変化しており、できるだけ最新の研究動向とカレントな問題を関連させながら、講義を進めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、主権国家、国際的アナーキー、権力政治、安全保障、相互依存など、国際関係論の基本概念の理解と主要理論の解説に重点をおき、後期は、国際組織、地域紛争、グローバル経済、地球環境問題、ジェンダーなど、現代国際関係の諸問題を近年の(特に理論的な)研究動向と併せてとりあげる予定である。

履修上の留意点

政治経済、国際関係史、時事問題に関する基本的な知識を整理したうえで受講すること。

成績評価の方法

学期末試験およびレポートにより評価する。

教科書

南山淳著『国際安全保障の系譜学—現代国際関係理論と権力／知—』(国際書院)
進藤榮一著『現代国際関係学—歴史・思想・理論—』(有斐閣)

参考書等

国際関係論を体系的に学習するうえで必要な文献リストを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地方自治法	とみ い ゆき お 富井幸雄	文学部全学科	4

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをかみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎週レジメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

成績評価の方法

前期試験（40％）と学年末試験（60％）で総合的に評価する。

教科書

原田尚彦『地方自治の法としくみ』（学陽書房） 2,000円

参考書等

『地方自治判例百選（第2版）』（別冊ジュリスト）。
なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』（良書普及会）は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』（岩波書店）、同他『概説日本の地方自治』（東京大学出版会）は必読。

その他

講義では頻繁に法律の条文に言及するので、六法（『地方自治小六法』（学陽書房）があるがポケット六法でよい。）は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大規模な改正がなされたので、必ず平成13年度版を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両方分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来てください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際紛争解決法	おうしあん 王 志 安	文学部全学科	4

講義のねらい

国際法における紛争処理の様々な手段について、それぞれの形態、機能、限界及び適用可能性を把握し、国際紛争解決の法的仕組みを理解する。

講義の内容・授業スケジュール

国際紛争の処理を具体的な法制度、手続きの側面から取り上げ、一回の講義で一つの課題を絞り、それぞれ制度の展開、機能及び事例検証の形で説明する。前期では、国際紛争の基本構造、紛争解決手段の基本的枠組みを講義した上で、外交的手段による紛争解決、国連における紛争解決及び世界貿易機構（WTO）の紛争処理制度を取り上げる。具体的には、国際義務違反の責任形態、紛争の平和的解決の意義、交渉、仲介、国際調査及び調停といった制度の展開及び適用、国連における紛争処理の制度的展開及び現状、そして WTO の紛争処理制度の発展、手続き及び制度の意義を講義する。後期では、仲裁裁判及び国際司法裁判を取り上げる。具体的には、国際裁判の史的展開、仲裁裁判制度の確立及びその手続き、国際商業仲裁の現状、国際司法裁判所の組織、管轄権、適用法規則、手続規則などを講義する。

履修上の留意点

参考資料を適宜に配布し、教科書の内容を補足しながら講義を進めていく。power point で講義を進める。簡潔な聴講ノートは、下記のホームページから入手できる。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~anzhi/index.htm>

成績評価の方法

年末の筆記試験によって評価する。ただし、前期小テストと出席状況も成績を評価する際に考慮される。

教科書

大沼保昭編著『資料で読み解く国際法』第2版（下）、東信堂、2002、2000円

参考書等

市販されている国際条約集及び国際判例集。これらにつき開講時に詳しい情報を提供する。

その他

授業は主として講義方式で行うが、判例の分析につき学生のまとめ報告を求めることもある。板書のかわりに、powerpoint を利用した講義を行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倒産処理法	あめみやまみや 雨宮真也	文学部全学科	4

講義のねらい

主として、破産法についての基礎理論と現行法の解釈論を中心に講義する。関連して会社更生法、民事再生法についても講義し、わが国の倒産処理体制の総合的理解が得られるよう講義する。

法理論は社会現象をリードするとともに、社会現象はまた法理論をリードする。両者の相互関係をふまえて、学生諸君の法的思考力の向上に努めたい。

講義の内容・授業スケジュール

教科書の構成に従って、順次講義を進める。

履修上の留意点

破産法は、法律のつぼと云われるように、実体法、手続法、刑事法から構成され、民法、商法、労働法等々を、いかに修正するかの学問でもある。破産法の学習を通して、学生諸君が実体法と手続法を総合して理解する力を養うことを期待する。

成績評価の方法

定期試験の成績により評価する。

教科書

山本和彦著『倒産処理法入門』（有斐閣）

参考書等

霜島甲一著『倒産法体系』（勁草書房）

その他

授業は講義方式となるが、受講生の数によっては、ゼミ方式をとり入れることもある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ア メ リ カ 経 営 学	みやき 宮 城 徹	文学部全学科	4

講義のねらい

世界の経営学をリードしているのは、いうまでもなく、アメリカ経営学とドイツ経営学である。そして、日本の経営学の研究・教育は、第2次大戦前はドイツ経営学から、大戦後はアメリカ経営学から圧倒的な支配的影響を受けて発展してきた。ところが、特に1960年代以降になると、ドイツ経営学にもアメリカ経営学の影響が顕著に見られるようになった。

学生諸君は、必修科目である「経営学」の授業を通じて、無意識のうちに、アメリカとドイツの経営学にかんする基礎知識をある程度身につけていることを前提とした上で、経営学徒のメッカ、アメリカ経営学をその最先端の理論的・経験的研究の基本的成果を踏まえて全般的に講義するが、主として、下記の授業計画の7つの要目について検討する。その際、日本の企業との関連についても検討を加える。

講義の内容・授業スケジュール

マイクと板書。教科書は指定しない。

この授業は1週1回90分で年間30週の時間数（ただし、期末試験日を入れて）から成る。最初の授業時間は、この科目を選択するか否かを判断するために下見に来ている学生諸君に、アメリカ経営学の1年間の授業の概要を説明する。原則として、下記の授業計画の要目をそれぞれカッパ内の授業回数（合計29回）で完結する予定である。

なお、この授業回数は一応の目安であり、授業時間が祝祭日に当たる場合は授業の進展状況によって若干変更することがある。

《2004年度『アメリカ経営学』授業計画》

- I 1年間の授業の概要 (1)
- II 経営学の対象と方法 (2)
- III 意思決定と権力（パワー）(8)
- IV 戦略（特に提携、グループ、ファミリー）(4)
- V コンティンジェンシー理論 (4)
- VI 取引コスト理論 (6)
- VII プロパティ・ライツ理論 (2)
- VIII プリンシパル－エージェント理論 (2)

成績評価の方法

期末筆記試験。なお、学生諸君の理解度と教育効果を確かめるために、期末試験以外に、小試験をおこない、その結果を評価の対象に加味することがある。

《期末試験の出題形式》

複数の問題から1題選択して論述する。詳細は試験前の授業で説明する。

参 考 書 等

- 1 宮城徹『企業の政治理論序説』（税務経理協会）1997
 - 2 宮城徹「企業制度とプロパティ・ライツ理論」『商学研究科紀要』（早大、第20号）1985
 - 3 宮城徹「情報と企業経営の理論的諸問題」日本経営学会編『情報化の進展と企業経営』（千倉書房）1987
 - 4 宮城徹「経営者論」鈴木英寿編『経営学総論』（第2版）（成文堂）1998
 - 5 宮城徹「経営学の歴史」藤芳誠一編『新版・新時代の経営学』（学文社）1993
 - 6 宮城徹「組織の経済理論の基礎構造」日本経営学会編『現代経営学の課題』（千倉書房）1997
 - 7 宮城徹（単独訳書）『情報時代の企業管理の教科書—組織の経済理論の応用—』（税務経理協会）2000（A. Picot u. a., Die grenzenlose Unternehmung, Gabler, 1998）
 - 8 宮城徹（共訳書）『新制度派経済学による組織入門』（白桃書房）1999（A. Picot u. a., Organisation. Eine okonomische Perspektive, Schaffer - Poeschel, 1997）
- ここでは紙幅の関係で上記の授業内容に直接関連のある私の著書・論文・訳書だけを参考文献の一部として掲げておいたが、その他の文献については適宜紹介しておく。

そ の 他

この科目は、再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経営財務論	高田光明 <small>たかだ みつあき</small>	文学部全学科	4

講義のねらい

〔財務の意味〕

経営財務は、企業という組織体の財務を研究する学問分野である。企業は、社会が必要とする財貨やサービスを生産し販売するという活動を営む報酬として、利益を獲得しようとする組織体である。このような活動では、機械、建物、原材料などの財貨が必要となるし、労働力も不可欠である。企業は、その活動を営むに際し、これらの財貨を取得しなければならないし、働き手も雇用しなければならないわけであり、そのために元手となる資本を必要とする。

この元手としての資本を集めることを、資本の調達という。そして、現金の状態で通常は調達する資本で、企業は、上記の財貨や労働力などを取得し、これらの生産要素により、新たな財貨やサービスを生産して販売するという営業活動を遂行し、その結果として資本が自己増殖することを目指す。このことが資本の運用であり、企業の営業活動を通じた資本の自己増殖分が利益である。企業の財務とは、現在では、企業による以上のような資本の調達と運用をいっている。

〔資本調達の位置〕

企業が資本を調達するのは、調達資本をできるだけ効率的に運用して自己増殖させ、利益を生み出すためである。その意味では、資本の運用あつての調達であるといつてよい。しかしながら、企業は、用途に合った種類の資本を、必要とする額だけ必要なときに調達できなければ、資本の運用を意図したように行い難くなる。資本運用の効率性は、企業が、資本の運用に合わせた調達をいかに行えるかに制約される。資本の運用がうまくいくかどうかの出発点は、資本をどのように調達するかにあるといえる。

資本の調達問題は、経営財務において、依然として重要な位置を占めていることに変わりがない。資本の運用あつての調達であるからといって、そのことは、資本の調達面の意義が小さくなることをけつして意味してはいないのである。この授業では、以上のような問題意識のもとで、資本の調達を中心に、必要に応じて資本の運用面と関連させながら講義するつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

基礎知識を体系的に理解し、この学問の基本的考え方を身に付けられるようにするために、まず基礎的・総論的事項から講義していく。

1. 経営財務の領域
2. 資本と資産
3. 資本の分類
4. 資本の運用形態
5. 資金調達の基本原則
6. 流動・固定分類法的重要性
7. 資金概念
8. 企業利益の概念
9. キャッシュ・フロー
10. リスクとリターン
11. 資本のコスト
12. 内部資金
13. 株式資本と他人資本との相違
14. レバレッジ
15. 資金調達の手順

履修上の留意点

経営財務論を理解する上で必要となる最小限の会計的知識も授業では説明する。しかし、簿記学と会計学を前もって履修してあることが望ましい。

成績評価の方法

原則として、期末筆記試験により評価し、出席点を加味する。

参考書等

中原章吉編著『経営財務と管理会計』（中央経済社）
 柴谷恭次郎著『資金計画の手引き』（日経文庫）

その他

この科目は、再試験を実施しません。

他学部
履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
経営組織論	日野健太	文学部全学科	4

講義のねらい

組織論のフレームワークによって、企業をはじめとする組織を分析できるようになることを目的とする。そのため、この講義では、組織論で扱われる基本概念を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

経営組織論の内容は、大きく分けて、組織の環境適応を扱うマクロ組織論と、組織における集団、個人を扱うミクロ組織論に大別される。ここでは、ミクロ組織論、マクロ組織論の順序で講義を進める。学生諸君が具体的なイメージを持てるように、何回かケースを取り上げる。また、学年末の数回は、組織論の分野の新しい理論やトピックについて扱い、全体的な理解が深まるように配慮する。

講義の対象は以下の通り（番号と講義の回数是对応しない。また必要に応じて順序を入れ替えることがある。）。

- (1) 組織論における組織観と人間観
- (2) モチベーション
- (3) 組織文化
- (4) リーダーシップ
- (5) 組織の環境適応
- (6) 戦略と組織構造
- (7) 情報処理の理論
- (8) 知識創造理論
- (9) 資源依存モデル
- (10) まとめ

履修上の留意点

特に、前提となる特別の知識は必要としないが、自分の所属する組織や見聞する組織を思い浮かべながら学習すると理解が深まるであろう。また、授業中質問することがあるが、そんなに難しいことを訊くつもりはないので、大きな声で答えてほしい。

成績評価の方法

前期授業の最終回にテストを行う。このテストのウエイトが30%程度、学年末の定期テストのウエイトが70%程度。大まかには、この二つが成績を決める。前期のテストを欠席するのは、即不可ではないが、致命的である。

授業中に小テストを行ったり、講義の内容に対してフィードバックを得るために出席をとることがあるが、必要に応じて成績評価に加味する。

教科書

金井壽宏『経営組織』（日経文庫）

参考書等

桑田・田尾『組織論』（有斐閣）

大月・藤田・奥村『組織のイメージと理論』（創成社）

田尾『モチベーション入門』（日経文庫）

経営学辞典の類、例えば、二神編著『ビジネス・経営学辞典』（中央経済社）などもなにかと重宝である。

その他

この科目は、再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
公益企業論	<small>その</small> 園 <small>だ</small> 田 <small>てつ</small> 哲 <small>お</small> 男	文学部全学科	4

講義のねらい

公益企業論の主要内容は、企業規制に関連する諸問題であり、とくに一般的企業規制と区別された意味における公益企業規制である。つまり、公益企業は、料金およびサービスに関し、規制をうけている問題であり、また、公益企業概念が、本来、制度的色彩の濃いものである。本講では、今日、企業の社会的責任の問題が論じられ、国民福祉という観点から、企業のあり方が問われ、政策事項として企業規制が問題とされている中で、公益企業の規制とは何か、また、公益企業の特質とは一体どのようなものかについて理解を深めることにある。

講義の内容・授業スケジュール

講義のすすめ方としては、前期は、公益企業概念の発達と、その問題点および公益企業概念の再検討を行なう。後期は、公益企業における持株会社の形成（前期と後期）および評価について考察し、その上で公益企業の特質について理解させる。

履修上の留意点

学問は、単に知識だけを増殖するのではなく、適切な判断と意思決定を行なうための基礎となるものと考えている。本当に学ぶ意思のある学生だけが履修してくれることを望む。

成績評価の方法

成績評価は、單元ごとに小テストやレポートを課し、総合評価とするが、大学卒業レベルの知識と問題解決能力を養う努力をしない者は厳しい評価を行なうつもりである。

教科書

園田哲男著『企業論』（八千代出版）2,800円
適宜プリントの配布を行う。

その他

この科目は、再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
管理会計論	<small>きる</small> 猿 <small>やま</small> 山 <small>よし</small> 義 <small>ひろ</small> 広	文学部全学科	4

講義のねらい

この講義では、すでに受講者が「簿記学」の単位を修得していることを前提として、企業における管理会計の基本的な理論と手法について学びます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 管理会計の意義と体系
2. 短期利益計画のためのC-V-P分析と経済性計算
3. 意思決定のための原価概念と利益概念
4. 原価管理会計
5. 予算統制
6. 投資意思決定

履修上の留意点

「管理会計論」は計算科目なので電卓を持参すること。

成績評価の方法

期末試験、夏季休業中のレポート、および平常点を考慮して、総合的に評価します。ただし、中心になるのは期末試験の結果です。

教科書

開講時に指定します。なお、適宜、プリントを配布します。

参考書等

中原章吉編著『管理会計論』（税務経理協会）
櫻井通晴著『管理会計（第二版）』（同文館）
岡本清・廣本敏郎・尾畑裕・挽文子著『管理会計』（中央経済社）

その他

この科目は、再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
会計監査論	あべかずひと 阿部一人	文学部全学科	4

講義のねらい

“監査論を無味乾燥であるとエスケープしないでくれたまえ”
もともと監査論は、その言葉自体がもつ語感からして、堅苦しく・手続的で暗いイメージを与えがちである。

監査論は他人の不実行為を暴くこと自体を目的とするものではないので、仮にその結果、内容のどこにも非のうちどころがなく全く適切で妥当なことが明らかになったとしても、それはむしろ当然の事柄であって、その人が負っている責任を免れることにもなるのである。

監査は、優れて社会的・人間的な用具として生みだされたものであるが、しかしそれを悪用したり骨抜きにしたりする者も現実には存在することは、過去の事例からも明らかなことであるけれども、そのような者が多ければなおのこと監査に対する社会的な要望も多岐に存在している。

まさに、監査がどれだけ社会一般に受け入れられているかということこそ、文明社会を映し出す尺度であると言えまいか！

監査論は財務諸表監査として特徴づけられている。

これは、企業をめぐる多数の利害関係者を保護するため、企業の発表する財務諸表が企業の財政状態や経営成績を適正に表示しているかどうかについて、職業的監査人が公正な立場から批判的意見を表明する社会制度であり、他のあらゆる監査の標準をなすものである。

本講義では、財務諸表監査を中心として、さらに監査役監査ならびに内部監査をはじめ最近の経営監査、監査の国際化などの関連領域をも含めて論及する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 会計監査の意義と目的（総論）(1)
 - ①監査の必要 ②監査の意義
 - ③監査の対象
2. 会計監査の意義と目的（2）
 - ①監査の目的 ②監査思想の変遷
 - ③監査の効用
3. 監査の機能
4. 会計上の誤謬と不正
5. 監査の種類
6. 会計監査と財務諸表監査
7. 我国の監査制度
 - ①証券取引法監査 ②商法監査
 - ③その他の監査制度
8. 監査基準（1）
 - ①必要性 ②生成と展開
9. 監査基準（2）
 - ①意義 ②体系 ③一般基準
 - ④実施基準 ⑤報告基準
10. 監査人
11. 監査証拠
12. 監査計画
13. 内部統制
14. 試算
15. 監査技術と監査手続
16. 監査調書
17. 監査報告書
18. 連結財務諸表の監査
19. 中間財務諸表の監査
20. システム監査
21. 国際監査基準
22. 現代監査論の動向
 - ①監査概念の拡大化
 - ②監査保証に程度の差を認める監査概念

履修上の留意点

「簿記学」「会計学」の科目を履修済みであることが好ましい。

成績評価の方法

評価の方法は、前期と後期の定期試験、レポート（夏季）および出席状況を考慮して、総合的に判定する。なお、最初の講義時に詳細な講義内容、試験の方法および評価の方法等について説明するので、受講希望者は必ず出席すること。

教科書

小関・柳田共著『監査論セミナー』（東京経済情報出版）3,200円

参考書等

- 大矢知浩司『監査論概説』（白桃書房）3,300円
 田島四郎『最新監査論』（税務経理協会）2,900円
 高田正淳『最新監査論』（中央経済社）2,800円
 鳥羽至英『監査基準の基礎』（白桃書房）3,900円
 三澤 一『会計監査の理論』（中央経済社）2,800円
 山樹忠恕・松田信男『監査基準精鋭精説』（税務経理協会）3,500円
 脇田良一『財務諸表監査の構造と制度』（中央経済社）3,800円

その他

この科目は、再試験を実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本経済論	はとり 羽鳥 しげる 茂	文学部全学科	4

講義のねらい

日本経済の現状と課題について以下の12のテーマを中心に、データと経済理論にもとづいて講義します。経済理論の最近の発展は著しく、それらについても現実経済への応用を重視しながら解説します。

講義の内容・
授業スケジュール

前期：

- (1・2) 日本経済の全体像と国民経済計算
- (3・4) 成長と変動の理論と実際
- (5・6) 資産価格の決定とバブル
- (7・8) 雇用・賃金と労働経済
- (9・10) 企業とコーポレート・ガバナンス
- (11・12) デフレ・スパイラルとインフレーション・ターゲティング
- (13) まとめ

後期：

- (14・15) 為替レートの変動とデリバティブ
- (16・17) 日本経済空洞化論と直接投資
- (18・19) 財政赤字とサステナビリティ
- (20・21) 金融と不良債権および金融政策
- (22・23) 人口構造の変化とマクロ経済
- (24・25) 社会保障と年金
- (26) まとめ

履修上の留意点

経済は誰にとっても生活の1つの重要な要素であるからテレビや新聞で報道される経済ニュースに日頃から接するように心がけて、問題意識を養うようにしてください。

成績評価の方法

原則として年度末の定期試験によって評価します。

教科書

小峰隆夫『最新日本経済入門』第2版（日本評論社）2003年 2,500円

参考書等

必要に応じてプリントを配布します。また参考文献の紹介も講義のなかで行います。

その他

この科目は、再試験を実施しません。

Ⅳ 「日本語」・「日本事情」科目

IV. 「日本語」・「日本事情」科目 (対象：外国人留学生・海外帰国子女)

《日本語科目》

日 本 語	I 〈佐 野 典 子〉	753
日 本 語	I 〈多田羅 哲 子〉	753
日 本 語	II 〈佐 野 典 子〉	753
日 本 語	II 〈多田羅 哲 子〉	754
日 本 語	III 〈多田羅 哲 子〉	754
日 本 語	III 〈湯 村 礼 子〉	755
日 本 語	IV 〈石 川 守〉	755
日 本 語	IV 〈湯 村 礼 子〉	755
日 本 語	V 〈石 川 守〉	756
日 本 語	V 〈多田羅 哲 子〉	756
日 本 語	VI 〈石 川 守〉	757
日 本 語	VI 〈多田羅 哲 子〉	757

《日本事情科目》

日本事情 I	〔地 理〕 (前期) 〈高 橋 健太郎〉	758
日本事情 II	〔自 然〕 (前期) 〈清 水 善 和〉	758
日本事情 III	〔歴 史〕 (後期) 〈浅 倉 直 美〉	759
日本事情 IV	〔思 想〕 (前期) 〈赤 羽 由 規子〉	759
日本事情 V	〔社 会〕 (後期) 〈川 本 勝〉	760
日本事情 VI	〔政治・法律〕 (後期) 〈三 竹 直 哉〉	760
日本事情 VII	〔文 学〕 (後期) 〈近 衛 典 子〉	761
日本事情 VIII	〔文化・芸術〕 (後期) 〈赤 羽 由 規子〉	761
日本事情 IX	〔経 済〕 (前期) 〈吉 田 敬 一〉	762
日本事情 X	〔経 営〕 (前期) 〈永 田 智 則〉	762

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 I	佐野典子	全学科	2

講義のねらい

本講義は、留学生を対象とし、日本語の聴解力、及び読解力の向上を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、テレビドラマのVTRを教材に、実際に話される日本語がどのようなものか学習し、同時に、書き言葉、話し言葉の違いを把握する。

履修上の留意点

教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法

成績は、提出物（毎週）、小試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 I	多田羅哲子	全学科	2

講義のねらい

常用漢字の読み方を中心に日本語の知識を強化する。
漢字の正確な読み、語彙の様々な意味・使い方、表現等を知ることで、日本での生活および専門教科の学習に役立つ日本語の知識を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

- ・まず常用漢字を基本とした語句の読み方を覚え、様々な使い方を知る。
- ・それらを使った例文を通してかたい文章を読むことにも慣れる。
- ・また用例から助詞・機能語・慣用表現・文法等の復習もする。

成績評価の方法

平常点（出席、授業への参加度、小テスト）および期末テスト等で総合的に評価する。

教科書

プリント教材（常用漢字を基本とした語彙集、および文科系教科の概論・入門書・新聞等から抜粋した例文集）を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 II	佐野典子	全学科	2

講義のねらい

本講義は、留学生を対象とし、日本語のみならず、広く日本文化の把握を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業は、前期は、日本の映画を中心に、日本語を勉強する。後期は、同じテーマを持った、外国の映画との、比較を通して、日本文化の特質を探る。

履修上の留意点

教材は、担当者が用意する。

成績評価の方法

成績は、提出物（毎週）、小試験、授業への参加度、出席率等により、総合的に評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 II	たたらあきこ 多田羅 哲子	全学科	2

講義のねらい

- 話すことを中心に日本語の運用能力を養う。
- 教室活動を通して正しく適切な表現を用いて言いたいことが自由に話せるようになることを目指す。
- 発音、アクセント、イントネーション等、自分の日本語を自分で見直し矯正する習慣をつける。
- 短時間で文章が書けるようにする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 説明、意見・提案などのスピーチ、その内容について質疑応答・意見交換・討論、ディベートなどを行う。
- テープで自分が話した日本語を聞く。
- 話の内容、感想、意見などを限られた時間内で文章にまとめる。

履修上の留意点

授業活動が大切なので毎時間出席すること。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教 科 書

必要に応じてコピーを配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 語 III	たたらあきこ 多田羅 哲子	全学科	2

講義のねらい

- 聴きとることを中心に日本語の総合的能力を養う。
- 話題になっていることについて日本語で聞き取り、その内容や自分の考えを口頭および文章での確に表現できるようになることを目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

- 今話題になっているテーマについてビデオを使って内容を把握し、必要に応じて細部まで理解する。
- その内容を口頭で説明したり自分の考えを述べたり討論したりする。
- また、書き言葉でも表現する。

履修上の留意点

必ず出席し、授業に積極的に参加し毎時間提出物を出すこと。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教 科 書

ビデオを使用。プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅲ	湯村礼子	全学科	2

講義のねらい

これまで修得してきた日本語能力をさらに高め、文献を自分で調べながら読み、理解できるようにする。さらに、文献を通して、考え、意見を持ち、発表・説明ができるようになることをめざす。

講義の内容・授業スケジュール

新聞・雑誌・文学作品・専門書などから教材を選び、読む。読んだ後に、意見を出し合い、討論を行ったりし、さらに認識を深め、最後に小レポートを提出する。後期は、各自分担を決めて、調べたり資料を収集したりして発表を行なう。

履修上の留意点

授業活動を重視するので、当然、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

テスト（漢字・語彙テストなど）、小レポート、授業での発表、その他の授業活動（発言、他の人の話の聴き方、授業態度など）を総合的に評価する。

教科書

授業中にプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅳ	石川守	全学科	2

講義のねらい

日本の多くのことわざのもとになっている「いろはかるた」を使って日本語の中上級の文法・表現・文法・アクセントなどを勉強していく。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は、「ぬ」から行っていくことにする。
 1. 「盗人の昼寝」
 2. 「糠に釘」
 3. 「瑠璃も玻璃も照らせば光る」
 4. 「類をもって集まる」
 5. 「老いては子に従う」

履修上の留意点

受身の立場ではなく、できるだけ発言することが望ましい。

成績評価の方法

授業へのとりくみ（出席と授業への参加態度）と期末試験等で総合的に評価する。評価の比率は、50：50ほど。

教科書

授業中にプリントを配布する。

参考書等

特になし。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅳ	湯村礼子	全学科	2

講義のねらい

書くことを中心に授業を進める。大学生活に必要な文章力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

文・段落・文章の書き方、文章の種類などについて講義、そして実践し、原稿用紙に書く。書いたものを再度見なおす。

履修上の留意点

講義・授業中の活動が重要なので、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

作文（5回程度）
 授業活動（発言、授業態度、提出物など）

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 V	いし ^{かわ} 石川 ^{まもる} 守	全学科	2

講義のねらい

日本語の「基礎文法」についてより深く理解するために詳しく分析し、そこに潜む日本語文法の特徴を考え、ひいては話し、聞き、書き、読む際により正確に深く日本語が理解できるようになることを目指したい。したがって、基礎的な文法に特に自信のない学生に受講してもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、自作プリントを使って、そこに出てくる項目を中心に、ともに考え分析しながら進めていきたい。始めは、呼称からはじめ、指示詞、場所関係の表現、形容詞・形容動詞、テンスとアスペクト、依頼、などの順で進んでいく。

履修上の留意点

扱う学習項目は主に初級文法であるが、文法的な問題は、基礎的なものほど難しく、また深く掘り下げて分析して行くので、内容は単なる初級であると考えないでもらいたい。

成績評価の方法

成績評価は、筆記試験と平常点（出席、授業への参加度・態度など＝質問への答え）の二つで評価する。比率は50：50ぐらいである。

教科書

教材は、授業中にプリントを配布する。

参考書等

特になし

その他

授業は講義形式ではなく、常に教師から学生に質問をする形で行なっていく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 V	たたら ^{あき} 多田羅 ^こ 哲子	全学科	2

講義のねらい

来日後間もない人を対象に、日本で生活する上で必要な基本的な日本語を中心に、総合的に学習する。

講義の内容・授業スケジュール

初中級レベルからスタートし、話すことを中心に進める。また、聞く、必要に応じて読み・書き（漢字）も練習する。

履修上の留意点

出席して、積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法

平常点を中心に判断する。

教科書

後日、授業時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 VI	いし ^{かわ} ^{まもる} 石川 守	全学科	2

講義のねらい

H日本語Vで学習した基礎文法の残りを学習していく。

講義の内容・授業スケジュール

日本語Vで学習した内容は引き続き、更にその残りの文法と中上級全般とのかかわりを中心に講義を進めていく。

主たる項目は以下の通りである。

- ・目的の表現
- ・試みの表現
- ・条件の表現 「と」「たら」「なら」
- ・原因・理由の表現
- ・逆接の表現
- ・依頼の表現
- ・使役の表現と用法
- ・受身の表現
- ・自動詞と他動詞
- ・使役の受身
- ・～てしまうの用法

その他

順番は必ずしも上の通りとはならない。

履修上の留意点

授業は学生への質問という形をとって進めていくので、積極的に発言すること。

成績評価の方法

期末試験の成績と平常点（出席。授業態度＝授業への参加度）、比率は50：50ほど。

教科書

コピーを配布する。

参考書等

随時、教室で指示する。

その他

特になし。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語 VI	たたら ^{あきこ} 多田羅 哲子	全学科	2

講義のねらい

- ・読解能力を向上させる。
- ・文章を読むことを通して、文法や適切な表現・語彙の使い方を確かめ、表現力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- ・さまざまな種類の文章を、自分で調べながら読んでいく。
- ・そこに出てくる表現、語彙の使い方、文法などを確かめ、必要なものについてはより適切に使えるよう練習する。

履修上の留意点

出席するだけでなく、授業に積極的に参加すること。

成績評価の方法

平常点と筆記試験

教科書

プリント配布

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅰ〔地理〕 (前期)	たか はし けん たろう 高 橋 健太郎	全学科	2

講義のねらい

空間的側面と関連づけて、人々の生活や地域社会の仕組みと変化について考えるという人文地理学の視点から、日本の諸地域に対する理解を深める。

講義の内容・授業スケジュール

日本の文化や人々の生活、地域社会の取り組みについて、主に以下の項目について検討する予定である。◇日本の地域性、◇農山村の生活と地域振興、◇都市の構造、◇観光開発、◇地図と地名。

また、日本の地域的な特徴についての理解を深めてもらうために、統計資料の計算や地図作りなどの作業も取り入れる。

履修上の留意点

第1回目に授業の案内を行うので必ず出席のこと。

成績評価の方法

頻繁に教場で作成してもらう小レポートと学期末の筆記試験で評価。

教科書

使用しない。授業中にプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅱ〔自然〕 (前期)	し みず よし かず 清 水 善 和	全学科	2

講義のねらい

日本はアジア大陸の東端に位置する島国であり、亜寒帯の北海道から温帯の本州を通り亜熱帯の沖縄まで、約3,000kmの細長い国土を有している。四季の季節変化が明瞭で梅雨や台風、日本海の多雪のような独特な気象現象もみられる。また、37万平方キロメートルの狭い国土の中に、山脈、丘陵、河川、湖沼、平野、海岸が箱庭のように組み合わせり、多種多様な地形が形成されている。さらに、日本は複数のプレートの境界域にあたるため、世界でも有数の火山・地震地帯となっており、これらによる自然災害も多い。このような多様な自然環境を反映して、日本には独特の生物相が発達している。

本講義では日本の自然を位置、気候、地質・地形、生物の4章に分けて解説する。その際に次の3つの視点に留意する：(1)アジア全体の自然の中に日本を位置付ける、(2)現在の状態と過去の歴史とのつながりを重視する、(3)自然と日本人の生活、文化との関わりにも注目する。すなわち、できるだけ時間的、空間的に広い視野から日本の自然をとらえることにより、留学生の母国の自然とのつながりも確認できるようにしたい。なお、日本の自然破壊の歴史や自然保護のあり方等についても適宜言及する。

講義の内容・授業スケジュール

第Ⅰ章 位置

1. 国土の範囲 2. 行政区分 3. 位置の特徴

第Ⅱ章 気候

1. 気候帯 2. 日本近海の海流 3. 気候の特徴 4. 気団と季節 5. 気象観測
6. 気候と文化

第Ⅲ章 地質・地形

1. 弧状列島 2. 変動の歴史 3. 多様な地形 4. 火山 5. 地震

第Ⅳ章 生物

1. 気候帯と植生帯 2. 生物多様性 3. 生物地理区 4. 里山の生物 5. 帰化生物

第Ⅴ章 自然保護の諸制度

1. レッドデータブック 2. 国内の法律 3. 国際条約

成績評価の方法

レポート(2回)と出席回数に基づいて評価する。

教科書

講義のアウトラインを記したweb版教科書(清水執筆)を紹介する。

参考書等

web版教科書で分野ごとの参考書を紹介する。

その他

必要な図表をまとめた補助教材のプリントを適宜配布する。講義は日本語で行い、板書には漢字も使用する。漢字にはできるだけ読みがなをつける。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅲ〔歴史〕 (後期)	あさ くら なお み 浅 倉 直 美	全学科	2

講義のねらい

日本の歴史を学ぶにあたって、とくに日本史上の大変革期である16世紀から17世紀前半を取り上げ、テーマを設けて、日本の諸事情および朝鮮半島・中国大陸と日本との関係について考えていきます。

講義の内容・
授業スケジュール

- (1) 京と江戸
- (2) 織田信長と室町幕府の滅亡
- (3) 豊臣秀吉と天下一統
- (4) 城
- (5) 中世後期の文化
- (6) 古文書
- (7) 徳川家康と江戸幕府
- (8) 環日本海と鎖国
- (9) 江戸の大店と長屋
- (10) 江戸の町人文化 など

成績評価の方法

出席日数を評価の参考とし、レポートを提出してもらいます。

教科書

随時プリントを配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅳ〔思想〕 (前期)	あか ぼ ゆきこ 赤 羽 由規子	全学科	2

講義のねらい

日本人が古くから伝承してきた民族音楽の中に、日本人の精神世界を見ていく。
民族音楽とは、古来、人々が生きていく上で、衣食住と同じように必要としてきた音楽で、それは、例えば信仰、祭り、作業、遊びなどに伴う形で存在している。ほとんどは作者不詳であり、楽譜もなく、普通の人々の間で口頭伝承されていく性質のものである。テープやビデオを用いて、実際に音楽を視聴しながら講義を進めていきたい。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

出席数、筆記試験によって採点する。

参考書等

その都度知らせる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅴ〔社会〕 (後期)	川本勝 <small>かわもとまさる</small>	全学科	2

講義のねらい

日本社会にはどのような特質があるかを考えてみたい。情報化が進展し日本社会は変貌している。それにともない、日本人の人間関係、社会的行動、社会生活も変化してきている。それらの様相と問題点を検討してみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 変貌する日本の社会－都市化社会、高度情報社会の出現－
2. 生活環境の変容と生活行動－情報環境の変容と情報行動を中心として－
3. 新しい時代の人間関係と社会生活
4. まとめ－日本社会の特徴とは何か－

履修上の留意点

講義内容に関連する社会事象を見つけて発表してもらいます。さまざまな社会問題等に関心を持つよう心がけ、積極的に参加、発言することが望まれる。

成績評価の方法

授業時間内での発表等の平常点とレポートによって評価する。

参考書等

その都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅵ〔政治・法律〕 (後期)	三竹直哉 <small>みなりなおや</small>	全学科	2

講義のねらい

この授業は、留学生のみなさんとともに、日本の政治について、楽しく考える授業です。

講義の内容・
授業スケジュール

授業の内容は、最初の回に、履修するみなさんにアンケートをとり、みなさんが、日本政治のどういう点に興味や疑問をもっていて、どういうことを授業でディスカッションしたいかを把握してから決めます。

人数にもよりますが、みなさん自身で、日本の政治について、調べてきてもらったり、発表してもらったりすることもあり得ます。

履修上の留意点

辞書を使いながらでよいので、日本語で新聞を読めること、また、日本語で政治についてディスカッションできることを前提条件とします。

また、日頃から、日本の新聞やテレビで、日本の政治についての情報に接していることも条件とします。

成績評価の方法

平常点（発言点など）と期末試験を総合して素点を出します。

教科書

今のところ使う予定はありません。

参考書等

適宜、授業中に紹介します。

その他

たくさん発言してください。
最新情報は、下記のホームページで確認してください。
<http://homepage2.nifty.com/mitakezemi/>

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅶ〔文学〕 (後期)	<small>このえのりこ</small> 近衛典子	全学科	2

講義のねらい

本講義は、日本語を母語としない留学生を対象に、問題発見能力の涵養と、日本文学・日本語に対する理解を深めることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

日本文学作品を読み進めながら、年中行事、日本の美意識の変遷、文学と絵画の関係など、幅広く日本文化のあり方を考える。各自がテーマを選定し、調査研究して発表する、という方法で授業を進める。

履修上の留意点

受身でなく積極的な姿勢で臨むこと。第1回目にオリエンテーションを行うので、必ず出席すること。

成績評価の方法

出席・提出物・発表・授業態度

教科書

その都度指示する。

参考書等

その都度指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅷ〔文化・芸術〕 (後期)	<small>あかばゆきこ</small> 赤羽由規子	全学科	2

講義のねらい

いわゆる「伝統邦楽」といわれている、日本の古くからの和楽器による音楽や芝居の中に、日本人の義意識を探っていく。

また、日本の伝統音楽は、そもそもアジア諸国の音楽を学ぶことから始まり、そこから次第に日本人に合った独特のものを生み出していったのであり、更に明治以後には西洋音楽からも多くの触発を受け、戦後には「現代邦楽」を目差している。そのような過程をも合わせて見て行きたい。テープやビデオを用いて、わかりやすく講義を進めていく。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

出席数、筆記試験によって採点する。

参考書等

その都度知らせる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅹ〔経済〕 (前期)	よしだ けい いち 吉田 敬一	全学科	2

講義のねらい

第2次世界大戦に破れ、廃墟の中から経済復興に挑戦し、80年代には「Japan as No.1」と称されるに至った経済発展の秘密を、できるだけ分かりやすく説明し、留学生諸君が母国に帰った後で役に立つ経済的知識を身につけてもらうことが、この講義の目的です。

講義の内容・
授業スケジュール

- I 日本経済入門の入門
- II 戦後日本の高度経済成長の秘密
- III 経済大国日本とバブル景気
- IV 空洞化問題に苦しむ日本
- V 21世紀の日本経済の課題

履修上の留意点

難しい経済学の予習・復習は必要ありませんが、日々の経済動向に対する鋭い感受性を磨くことが必要です。そこで受講生は、新聞やテレビの経済報道に関心を持つことが望ましい。

成績評価の方法

定期試験とレポートで評価します。再・追試験は実施しません。

教科書

教科書は使用せず、ノート講義の形式で授業を行ないます。必要に応じてプリント資料を配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本事情Ⅹ〔経営〕 (前期)	なが た とも のり 永田 智則	全学科	2

講義のねらい

いかなる国も海外との交易を遮断して経済を発展させることはできません。この視点から本講義では、日本の貿易に焦点をあて、東アジア経済の変貌と日本経済について概説します。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1. 日本経済と国際貿易
- 2. 為替変動と日本経済
- 3. 東アジア経済の発展と日本の貿易構造

履修上の留意点

授業では講義に関連する世界の出来事を取り上げ、ディスカッションの場を設けます。活発に発言し積極的に授業に参加することを期待しています。

成績評価の方法

課題レポートを参考に、授業への出席を重視して平常点で評価します。

教科書

教材は、プリントを配布します。

参考書等

適宜紹介します。

V 随 意 科 目

V. 随意科目

英	語	(海外演習)	767
フ	ラン	ス語 (海外演習)	767
中	国	語 (海外演習)	767
宗	教	学 概 説	〈洗 建〉	768
宗	教	学 概 説	〈池 上 良 正〉	768
宗	教	学 概 説	〈津 城 寛 文〉	769
哲	学	概 説	〈末 木 恭 彦〉	769
哲	学	概 説	〈久 保 陽 一〉	770
倫	理	学 概 説	〈河 谷 淳〉	770
歴	史	哲 学	〈久 保 陽 一〉	771
宗	教	人 類 学	〈設 楽 博 己〉	771
宗	教	人 類 学	〈佐 藤 憲 昭〉	772
民	間	信 仰 論	〈谷 口 貢〉	772
日	本	宗 教 文 化 史	〈小 川 順 敬〉	773
日	本	宗 教 文 化 史	〈湯 淺 隆 隆〉	773
民	衆	宗 教 成 立 史	〈津 城 寛 文〉	774
民	衆	宗 教 成 立 史	〈瀧 音 能 之〉	774
美	術	史 概 説	〈北 野 良 枝〉	775
東	洋	思 想 史	〈渡 辺 惇 惇〉	775
東	洋	思 想 史	〈末 木 恭 彦〉	776
日	本	民 俗 学	〈谷 口 貢〉	776
日	本	仏 教 史	〈松 本 信 道〉	777

科目名	配当学科	単位
英語 (海外演習)	全学科1年次～	2

講義のねらい

この科目は本学の海外協定校であるクインズランド大学（オーストラリア）、ブリティッシュ・コロンビア大学（カナダ）、エクセター大学（イギリス）、カリフォルニア大学アーバイン校（アメリカ）における短期留学英語セミナーでの4週間におよぶ現地での集中演習を中心としておこなわれる英語随意科目である。受講対象学生は全学部・短大の1年次生から卒業年次生までとする。

成績評価の方法

現地演習後に四大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

その他

受講希望者は、国際センターの短期留学英語セミナーに参加申込みをする。

科目名	配当学科	単位
フランス語 (海外演習)	全学科1年次～	2

講義のねらい

この科目は本学の海外協定校であるプロヴァンス大学（フランス）における短期留学セミナーでの3週間におよぶ現地での集中演習を中心としておこなわれるフランス語随意科目である。受講対象学生は全学部・短大の1年次生から卒業年次生までとする。

成績評価の方法

現地演習後にプロヴァンス大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

その他

受講希望者は、国際センターの短期留学フランス語セミナーに参加申込みをする。

科目名	配当学科	単位
中国語 (海外演習)	全学科1年次～	2

講義のねらい

この科目は本学の海外協定校である華東師範大学（中国）における短期留学セミナーでの4週間におよぶ現地での集中演習を中心としておこなわれる中国語随意科目である。受講対象学生は全学部・短大の1年次生から卒業年次生までとする。

成績評価の方法

現地演習後に華東師範大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位の認定がなされる。

その他

受講希望者は、国際センターの短期留学中国語セミナーに参加申込みをする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 概 説	あらい けん 洗 建	全学科2年次～	4

講義のねらい

宗教学は、宗教現象を実証的に研究し、宗教を信じるのが、人間生活や社会にどのような意味を持ち、どのような働きをするものであるかを明らかにしようとする学問である。宗教学においてこれまでどのような研究が行なわれ、どのようなことが明らかにされたのかを概観し、宗教学的ものの見方を理解してもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

宗教学の立場、原始宗教、神と法、宗教的世界観、宗教儀礼、宗教と社会、宗教体験、宗教の機能などについて考察する。

履修上の留意点

事実を覚えることより、宗教学の考え方を理解してもらいたいので、できるだけ出席してもらいたい。私語のないように願う。

成績評価の方法

期末試験による評価を原則とするが、出席点、レポート提出なども配慮する。

教科書

脇本平也『宗教学入門』（講談社学術文庫）940円＋消費税

参考書等

その都度、指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 概 説	いけ がみ よし まさ 池 上 良 正	全学科2年次～	4

講義のねらい

テーマは「生活の中の宗教」。現代人にも身近な生活のトピックを取り上げ、比較宗教学的な視点から考察する。

講義の内容・授業スケジュール

具体的なトピックとしては、「儀礼と祭り」「帛いと供養」「イスラームとは何か」「憑依の諸相」などを考えている。各種のビデオを活用したい。

履修上の留意点

学生参加型の授業とする。受講者には最低1回は発表してもらおう。

成績評価の方法

課題の発表、授業中の議論、出席状況から、総合的に評価する。

参考書等

講義のなかで適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗 教 学 概 説	津 城 寛 文 つ しろ ひろ しみ	全学科2年次～	4

講義のねらい

宗教のもつさまざまな側面のうち、ここでは、人間が他界を志向するという面と、信仰は社会的表現をとるという面と、この二面に注目し、「宗教と他界」「宗教と社会」という大きなテーマの中で、宗教の多面性を考える。

講義の内容・授業スケジュール

「宗教と他界」のテーマの中では、呪術、シャーマニズム、スピリチュアリズム、神秘主義、死後生命の信仰、などを論じる。「宗教と社会」のテーマの中では、政治と宗教、市民宗教、公共宗教、現代宗教、などを論じる。

履修上の留意点

宗教に関心のない者、知的向上心の弱い者は、履修を遠慮してもらいたい。

成績評価の方法

成績評価は、講義中の態度、質疑、随時のレポート、学年末の最終レポートの総合によって行なう。基本的に出席はとらないので、自主的な参加と、自主的な学習意欲が求められる。

教科書

テキストは用いない。

参考書等

参考書は、適宜紹介する。

その他

とくになし。通常の講義スタイルである。

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲 学 概 説	末 木 恭 彦 すえ き やす ひこ	全学科2年次～	4

講義のねらい

哲学とは何であろう。そして、それは人生に如何なる意味を持つのであろうか。一哲学を学ぶ以前にこの様な問いがある。この問いにこそ、この講義を通じて探究を試みる。始めに述べた問いは、我々東アジアの人間にとっては極く自然である。何故なら、東アジアの学問の伝統の中には哲学なる学問は無かったからである。この地域では近代欧米諸国文化の強い圧力下に、新しい学問として哲学を成立させた。その時、唯翻訳するのではなく東アジアの伝統的学問を再構成して、哲学として成立させようと努力する一群の人々もいた。中国にあって、伝統をふまえて独自の哲学を試みた人々の仕事を紹介し、それを通じて冒頭の問いに我々なりの見解を持ちたい——そのような企図の下に、この講義を行う。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は、中国の近代哲学者として最も世界に名を知られた馮友蘭を取挙げる。始めに彼の哲学の背景を理解するために、伝記を紹介する。その後、彼独自の哲学新理学の主要著作の中から『新原道』の学説を紹介する。

成績評価の方法

次のものを材料にして成績をつける。

1. 試験あるいはレポート
2. 平常の受講態度（年数回抜き打ちの理解調査を行う）
3. 受講をこえる積極的な学習（任意のレポート、質問〈書面で提出して貰う〉などで判断する）

教科書

『馮友蘭自伝』、馮友蘭『新原道』（ともに和訳はないので、必要箇所を講師が訳し編集したものをプリントして配布する。中文版については授業中に解説する。）

参考書等

馮友蘭『哲学回憶録』（吾妻重二訳、『みすず』275号～284号）／柿村峻・吾妻重二訳『中国哲学史』（富山書房）／佐藤慎二編『近代中国の思索者たち』（大修館書店）

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学概説	久保陽一	全学科2年次～	4

講義のねらい

哲学は、個別的領域を没価値的に扱う科学とは異なって、世界が全体としてどのようなものか（物質的か非物質的か、合理的か非合理的か、固定的か流動的か、関係的か孤立的かなど）を理解しつつ、その中で人間はどのような振舞い方をし、どのような価値基準を選択すべきかを考える学問である。それを探求するには、（1）過去の哲学者の学説を研究する、（2）自ら事柄そのものを体系的に考察する、（3）他の領域、とりわけ現代の科学技術や社会の諸問題との関連において考える必要があるだろうが、この講義では（1）のアプローチに重点を置くことにする。特に、近代哲学を集約し、現代でも意味を失わないドイツ観念論の哲学を講義の材料として取り上げることにする。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) カント哲学（認識論、自由論、美の哲学）
- (2) フィヒテの自我哲学とその周辺
- (3) ヘルダー、シラー、ヘルダーリンの歴史と美の哲学
- (4) ヘーゲル哲学（宗教思想、社会哲学、弁証法）

履修上の留意点

よく出席し、ノートを取ることが大切である。講義で理解できない点があれば、遠慮なく質問するようにしてもらいたい。

成績評価の方法

出席状況、中間と期末の試験、レポートなどによって評価する。

教科書

久保陽一『ドイツ観念論への招待』（放送大学教育振興会）

参考書等

開講時に挙げる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学概説	河谷淳	全学科2年次～	4

講義のねらい

倫理学とは「人間の行為がかかわる限りでの善悪についての学」だと定義できよう。しかしながら、これはあくまで暫定的な定義にすぎず、その十全な意味は「人間」・「行為」・「よい」とは何かという点にかかっている。この問題を考えるにあたり、本講義は次のような二段構えの構成を採る。すなわち、一方では（a）古代ギリシア以来の西洋思想史における様々な倫理観を取り上げることでそうした倫理思想と現代との関係を考え、他方で（b）現代倫理学の諸問題とそのアプローチの仕方を取り上げることで私たちに身近なことがらを「倫理的に考える」とはどういうことなのかを考えることにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 本講義では概ね次のような内容を取り扱う。
- 前期 (a) 西洋倫理思想史
 徳倫理学（古代ギリシア）：プラトン、アリストテレス
 義務論：カント
 功利主義：ベンサム、ミル
- 後期 (b) 現代倫理学の諸問題
 生命倫理を中心とした応用倫理の諸問題
 （インフォームド・コンセント、安楽死・尊厳死、クローン技術などをめぐる諸問題）

履修上の留意点

授業を受け身的に聴くというよりは一緒に問題を考えていくという積極的な姿勢が望ましい。

成績評価の方法

中間・期末試験（それぞれ40点満点）と夏休みレポートと出席状況の総合点で評価する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史哲学	久保陽一	全学科2年次～	4

講義のねらい

歴史哲学は、個々の事件を理念や原理から統一的に説明したり評価する歴史形而上学や、歴史認識の可能性や方法論を問う歴史認識論とに大別される。本講義では、これらの考え方を歴史的に検討し、今日の歴史認識の方向を探りたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 ヘルダーと和辻の風土論
- 2 ヘーゲルの歴史哲学
- 3 マルクスの史的唯物論
- 4 新カント派の文化科学方法論
- 5 デルタイの精神科学基礎論
- 6 ハイデガー、ガダマーの解釈学

履修上の留意点

ノートをよく取ること。私語はつつしむこと。

成績評価の方法

出席状況、レポート、試験。

教科書

ヘーゲル『歴史哲学』（上中下三冊）（岩波文庫）

参考書等

渡辺二郎『現代の思想的状況—歴史の哲学』（放送大学教育振興会）、シュネーデルバッハ『ヘーゲル以後の歴史哲学』（法政大学出版局）、久保陽一『初期ヘーゲル哲学研究』（東大出版会）

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗教人類学	したらひろみ 設楽博己	歴史2年次～	4

講義のねらい

入墨の考古学・人類学 日本の原始・古代には入墨の習慣があった。古事記・日本書紀に登場する入墨の記述からはじめ、埴輪、弥生土器、縄文時代の土偶とさかのぼって入墨の始原に到達する。さらに、それぞれの時代における入墨の特徴を他の考古学的な事象とともに解釈し、入墨がどのような社会的な規範のなかで成立し、変遷し、変質していくのか探る。入墨の歴史から、原始・古代の人びとの精神文化とその社会的役割を考えるてがかりをえたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期 ①古事記・日本書紀の入墨 ②埴輪にみる入墨 ③魏志倭人伝の入墨
後期 ①弥生時代の入墨 ②縄文時代の入墨 ③入墨の歴史的変遷とその意義

履修上の留意点

最近日本でも、若者を中心とした一般の人の間に流行の兆しを見せつつある入墨については興味を持っている人も多いと思う。原始・古代にも入墨があった。なぜそれが途切れて再び江戸時代に復活するのか、日本の場合入墨にマイナスのイメージが付きまとうのはなぜか。入墨の歴史を勉強すると日本歴史の深層がみえてくるので、楽しく講義が聴けると思う。

成績評価の方法

考古学・人類学的手法による精神文化の研究という内容のレポートを作成してもらう。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗教人類学	佐藤憲昭	国・英・文・理・社2年~	4

講義のねらい

宗教人類学は、文化人類学の視点と方法から諸民族の宗教文化について比較研究をする学問である。そして、その営為を通して「人間とは何か」という問題に答えようとするものである。本年度は、人類に根源的・普遍的な文化のひとつに数えられている「シャーマニズム」を取り上げ、宗教人類学の考え方について習得することを目指したい。

シャーマニズムとは、神霊と直接交流をしながら、予言、託宣、祭儀、治病行為などの役割を果たす人物（＝シャーマン）を中心とする宗教現象である。この現象はあらゆる宗教と結びつく性格を具えている。内外の事例を紹介しながら、多角的に考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、1. 文化人類学・宗教人類学・宗教民族学、宗教民俗学、2. フィールドワーク、3. 人類学的方法論的特色、4. アニマ（霊）とマナ（力）、5. 民俗宗教の特質、6. 呪術—宗教的職能者の分類などについて具体的に考察する。後期は、1. シャーマニズム研究史、2. シャーマンの特質、3. 脱魂文化と憑霊文化、4. 都市のシャーマニズム、6. シャーマニズムと仏教文化などのテーマのもとに考えてみたい。

履修上の留意点

欠席をする場合（または欠席をした場合）には、欠席届（形式は任意）を提出することが望ましい。

成績評価の方法

学年末のレポートで評価する。合格の基準は、1. 講義内容を踏まえていること、2. 参考文献を読みこなしていること、3. みずからの言葉で論じていること、の三点にある。なお、不合格の場合には、出席点を加算して最終評価を行う予定。

教科書

使用しない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
民間信仰論	谷口貢	文学部（国文学科除く）2年次~	4

講義のねらい

日本社会の各地に展開している神祭りや信仰行事の具体的な調査事例を紹介しながら、神と人が織り成すさまざまな世界には、どのような意味があるのかを探っていくことにしたい。そして、民間信仰の性格や機能、あるいは現代的意義といった問題に考察を加えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は、「人と神との交流」をテーマとしてとりあげ、東京都青ヶ島の神祭り、福島県会津地方の神社参拝を中心とした講集団、東北地方の巫俗文化、死霊結婚の習俗、山岳信仰と修験道、憑霊信仰などを題材にしながら、民間信仰の構造と機能を明らかにしていきたい。そして、民間信仰と成立宗教との関係や、成立宗教が地域社会に受容されて土着化していく過程で民間信仰がどのような機能を果たすのかについても分析の目を注いでいくことにしたい。

成績評価の方法

学年末に課題に基づくレポートの提出を求めて成績評価を行う予定。

教科書

使用しない。

参考書等

参考書として、桜井徳太郎著『日本民俗宗教論』（春秋社）、宮田登『日本人と宗教』（岩波書店）の2冊を紹介しておきたい。

その他

授業は講義形式で行う。講義に必要な資料等については、そのつどコピーで配付する。また、講義に関連したビデオを見る予定にしている。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本宗教文化史	小川 順敬 <small>おがわ としゆき</small>	文学部 (歴史学科除く) 2年次～	4

講義のねらい

日本の他界観、生死観の変遷を考える。
われわれの文化は（われわれの文化ばかりではありませんが）自分たちが生きているこの世界の他に、もう一つ別の世界や空間を創り出してきました。そして、それはわれわれに、いかに生きいかに死ぬかという問題を考えさせる文化装置として機能してきたと言えます。（現代社会においても、他界のイメージこそ異なるでしょうが、それは一定の役割を果たしていると言えるでしょう。）
ここでは、日本の伝統的な他界や仏教がもたらした他界のイメージが、生と死の文化装置として、どの様に具体化されてきたのか、すなわち他界という見えない世界がどのように表現され演出されてきたのかを考えてみることにしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

最初に他界観の前提としての日本人の靈魂観について述べ、「生と死」をわれわれがどのように考えてきたのかを整理しておきたいと思います。その上で、様々な「他界」について紹介・検討して行きたいと思います。
山中他界や海上他界、あるいは浄土や地獄がどのように実現されているのか。様々な聖地や、民俗行事（祭礼や儀礼）、寺院行事、また物語、芸能などを題材（ビデオ等使用する予定）として、この世では見えないはずの他界が、この世でどのように表現されてきたのか、そしてこの世と他界がどのように結ばれているかを見て行きたいと思います。

成績評価の方法

レポートその他で評価する。

教科書

教科書・参考書は用いない。なお授業の内容にそって資料を配布する。また参考書はそのつど紹介することにしたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本宗教文化史	湯浅 隆 <small>ゆ あさ たかし</small>	歴史 2年次～	4

講義のねらい

日本の江戸時代における民衆文化のうち、宗教行事に起因する事項を取りあげ、それらのあり方が江戸時代の寺社政策のなかで変質を余儀なくされていった過程を述べていく。具体的には、開帳・勧化・富くじなど、本来の宗教活動が募縁を通した収益獲得の手段に変質していったことを述べていく。
この講義をとおして、宗教行事と社会との関係について視野を広げてもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

(前期) (1～2)江戸時代以前の寺社造営 (3～6)江戸時代初期の寺社造営
(7～9)寛文から元禄期の様相 (10～13)中小寺社の募縁活動
(後期) (14～15)開帳 (16～17)勧化 (18～19)富くじ (20～21)芝居興行など
(22～23)場としての寺社境内 (24～26)周知の方法

成績評価の方法

学年末試験もしくはレポート、さらに講義への参加態度を加味する。

教科書

特定のものを使用せず、プリントを配布する。

参考書等

その都度、提示する。

その他

授業は講義形式となる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
民衆宗教成立史	津城寛文	文学部 歴史学科(1) 2年次～	4

講義のねらい

この講義は、民衆宗教の前提となる、基層文化、民衆文化、深層文化などと呼ばれるテーマを、日本を領域として考察し、民衆宗教、民俗宗教の理解に役立つことを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

テキストにそって、歴史的深層、文化・心理的深層、民族主義的な深層、宗教文化の深層について、解説を加えながら進める。

履修上の留意点

基本的に板書はしないので、テキストを必ず準備すること。

成績評価の方法

成績評価は、講義中の態度、質疑、随時のレポート、学期末の最終レポートの総合によって行なう。基本的に出席はとらない。

教科書

津城寛文『日本の深層文化序説』（玉川大学出版部）1990年

参考書等

参考書は、テキストに掲載してあるほか適宜紹介する。

その他

とくになし。通常の講義スタイル。

科目名	担当者名	配当学科	単位
民衆宗教成立史	瀧音能之	歴史2年次～	4

講義のねらい

奈良時代にまとめられた『風土記』を中心史料とし、それに加えて『古事記』・『日本書紀』・『日本霊異記』などの史料を加えて使用し、民衆の間に信仰された宗教の諸様相の成立と展開について考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1回 ガイダンス
- 2回・3回 史料についての説明。
- 4回～11回 史料を用いて具体的な様相について説明を加える。
- 12回 前期のまとめ。
- 13回 前期の確認テスト。
- 14回～24回 史料を用いて具体的な様相について説明を加える。
- 25回 後期のまとめ。
- 26回 後期の確認テスト。

履修上の留意点

興味をもって、積極的に参加するよう心がけて下さい。

成績評価の方法

前期および後期のテストを中心に評価し、それに出席などの平常点を加味します。

教科書

プリントを配布する予定です。

参考書等

『風土記』・『日本霊異記』・『日本書紀』・『古事記』

その他

授業は講義形式でおこないますが、時には討論やビデオを使った視覚的授業もおこないたいと思っています。

科目名	担当者名	配当学科	単位
美術史概説	きたのよしえ 北野良枝	教養・総合・基礎	4

講義のねらい

奈良時代から江戸時代に至る日本絵画の流れを、中国およびヨーロッパとの関係に留意しつつ概説する。美術の歴史を解説するにあたっては、常に作品を参照する必要があるため、授業では毎回スライドを使用する。

講義の内容・授業スケジュール

- 前期 奈良時代から室町時代の絵画
- (1) ガイダンス (2) 絵画に関する基礎知識、法隆寺金堂壁画
(3)～(4) 仏教絵画 (5)～(6) 絵巻物
(7)～(8) 肖像画 (9)～(12) 室町時代の水墨画
- 後期 室町時代から江戸時代の絵画
- (13)～(14) 土佐派、狩野派 (15)～(16) 狩野永徳と桃山画壇
(17) 江戸時代の狩野派 (18)～(19) 琳派
(20)～(21) 浮世絵 (22) 南蘋派
(23) 文人画 (24) 秋田蘭画と司馬江漢
(25) 江戸から明治へ

履修上の留意点

ペンライトなどを持参し、スライドで映写する内容についてもノートをとることが望ましい。

成績評価の方法

学年末に筆記試験を実施し、その得点によって評価する。

その他

毎回スライドを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
東洋思想史	わたなべあつし 渡辺 惇	歴史2年次～	4

講義のねらい

本講義は教職科目の一つとして設定されたものである。それゆえ、専門的に内容を掘り下げるといふより、全体を概観することを意図したい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 仏教思想（インドから東アジアへの拡延）
2. 中国思想
 - (1) 諸子百家の思想
 - (2) 儒教思想の展開
 - (3) 道教思想の展開
3. 近代西欧文化と中華思想との対立、葛藤
4. 近代の革命思想、(孫文・毛沢東その他)

履修上の留意点

出席をとくに重視する。

成績評価の方法

評価は試験、レポートに出席点を加味する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
東 洋 思 想 史	すえ き やす ひこ 末 木 恭 彦	教 養 学 部 学 科 2 年 次 ~	4

講義のねらい

初めに、二つのことを断っておく。第一に「東洋思想」と題しているが、私は漢文による思想言説に限って問題とする。特に、中国と日本に限られるであろう。第二に、「思想史」と題しているが、通史や他の歴史現象との関連付けは主要な関心ではない。長い時間をかけて蓄積された、漢文文化の思想言説、その思想言説に光を当て、その一斑なりとも理解しよう——これが本講義の目指すところである。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は、『経史博論』を手掛りにして上記の試みを行う。但し、『経史博論』そのものの理解を目指すのではない。この書は、中国思想（儒教的教養）の概説書である。近代の眼差しが入る以前の儒教の基礎的教養を、この書を通じて確かめることができる。授業では、この書を講読する。講読を通じて、その背景にある中国の思想言説の伝統の一端に觸れてゆきたいと考えている。

履修上の留意点

書き下し文が理解できる程度の基礎的教養が必要である。

成績評価の方法

成績判定は下記の材料を勘案して行う。1. 試験又はレポート（年1回以上）2. 平素の受講態度（年数回内容理解の調査を行う。なお、この調査は予告せずに行う。）3. 受講の積極性（質問、任意のレポートなどによって判断する。質問は書面で必ず質問者名を明記して提出して欲しい。）

教 科 書

授業は、講師が用意したプリントを用いる。参考書は適宜授業中に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 民 俗 学	たに ぐち みつぎ 谷 口 貢	文 学 部 国 文 学 科 2 年 次 ~	4

講義のねらい

日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の考察を通して、日本社会に展開する生活文化を究明する学問である。民俗はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的知識を把握できるようにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は「日本人の一生」をめぐる民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していくことにしたい。年間の講義予定は以下に掲げるとおりで、各々2回程に分けて行う。

- 第1講 家族と社会
- 第2講 産育儀礼
- 第3講 子どもと遊び
- 第4講 若者の民俗文化
- 第5講 成人儀礼
- 第6講 婚姻儀礼
- 第7講 女性の民俗文化
- 第8講 交際と贈答
- 第9講 老人の民俗文化
- 第10講 日本人の靈魂観
- 第11講 葬送儀礼
- 第12講 墓と先祖祭祀

成績評価の方法

夏期レポート及び小レポートを実施する予定。受講者の成績評価は、夏期レポートと小レポート、そして学年末の筆記試験の合計をもって行うものとする。出席を重視する。

教 科 書

使用しない。

参 考 書 等

谷口貢・他編『現代民俗学入門』（吉川弘文館）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日 本 仏 教 史	まつもと のぶみち 松 本 信 道	文学部 (歴史学科除く) 2年次～	4

講義のねらい

本講座は、「仏教の日本の受容」というテーマを中心として、日本の古代史を再検討してみようというのがねらいである。

講義の内容・
授業スケジュール

仏教が日本に受容された背景を、政治的・社会的・思想的・宗教的環境の中で有機的にとらえていくということを基本的姿勢として講義を進める。とくに、インド・中国・朝鮮半島などの動向も視野に入れた国際的視点と、日本古代社会の皇族・貴族・豪族のみでなく、一般民衆の「苦悩」と「祈り」と「救済」をも視野に入れた民衆史的視点からもアプローチしてみたい。

成績評価の方法

前期・後期2回のレポートと出席点を総合して評価する。

教 科 書

随時、プリントにて配布します。

参 考 書 等

速水侑『日本仏教史 古代編』(吉川弘文館)

